

令和 7 年度

埼玉県政世論調査

報告書



は じ め に

この冊子は、令和 7 年 7 月に実施した県政世論調査^{よろん}の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和 43 年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「大地震に備えた取組について」、「受動喫煙防止対策について」の 2 つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

このたび調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、御支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和 7 年 11 月

埼玉県県民生活部長 横内 ゆり

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	15
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	20
(2)	生活程度	23
(3)	生活全体の満足度	28
(4)	各生活面に対する満足度	33
(5)	地域の安全性	50
(6)	埼玉県に魅力を感じるか	53
(6-1)	埼玉県で魅力を感じるもの	57
2	日常生活	60
(1)	地域社会活動への参加経験	61
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	64
(2)	文化や芸術の活動の経験	67
(2-1)	文化や芸術の活動への不参加の理由	70
(3)	今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動	73
(4)	文化や芸術の鑑賞	76
(5)	スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度	79
(5-1)	スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由	83
(6)	eスポーツへの関心	86
(7)	パラスポーツへの関わり	89
(8-1)	訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害	92
(8-2)	消費生活センターの認知度	95
(9-1)	「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度	98
(9-2)	エスカレーターの利用実態	102
(10-1)	性的指向の認知度	111
(10-2)	性自認の認知度	114
(10-3)	アライ (ALLY) の認知度	117
(10-4)	アウティングの認知度	120
(10-5)	職場での性の多様性に対する配慮や支援	123

(1 1－1)	多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできること	126
(1 1－2)	多文化共生社会を目指すうえで、県が力を入れるべき取組	129
(1 2)	アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）の認知度	132
(1 3－1)	人生の最終段階において望む医療やケアについて家族等や医療・介護関係者と話し合った経験	135
(1 3－2)	話し合った相手	138
(1 3－3)	話し合った内容の医療・介護従事者との共有状況	140
(1 3－4)	話し合ったきっかけ	143
(1 3－5)	話し合ったことがない理由	146
(1 4)	人生の最期を迎えたい場所	149
(1 5)	人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由	152
(1 6)	生物多様性の認知度	156
(1 7)	埼玉県に関する情報の入手先	159
(1 8－1)	県の広報媒体の視聴状況	162
(1 8－2)	県の広報媒体を知ったきっかけ	171
(1 8－3)	県広報紙「彩の国だより」に期待する記事	176
(1 8－4)	県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望	178
(1 8－5)	広報媒体がきっかけとなったか	180
3	県政への要望	198
4	大地震に備えた取組について	213
(1)	家具転倒防止対策の実施状況	215
(1－1)	家具転倒防止対策を実施していない理由	218
(2)	災害時に利用可能な備蓄状況	221
(2－1)	3日分以上の食料品を備蓄していない理由	227
(2－2)	3日分以上の飲料水を備蓄していない理由	230
(3)	災害用伝言サービスの体験利用経験	233
(3－1)	災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由	236
(4)	災害時の家族や知人の安否確認手段	239
(5)	感震ブレーカーの認知度	242
(5－1)	感震ブレーカーを設置していない理由	245
(6)	「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」の認知度	248
5	受動喫煙防止対策について	251
(1)	喫煙状況	253
(1－1)	吸っているたばこ製品	256
(1－2)	禁煙意思	258
(1－3)	禁煙するために最適なもの	261
(2)	健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度	264
(3)	各施設における受動喫煙の有無	268
(4)	劇場等、娯楽施設における受動喫煙防止対策	293
(5)	飲食店における受動喫煙防止対策	296

(6) 屋外における受動喫煙防止対策	299
Ⅲ 調査票・単純集計結果	303
Ⅰ 生活意識について	306
Ⅱ 日常生活について	308
Ⅲ 県政への要望について	316
Ⅳ 大地震に備えた取組について	317
Ⅴ 受動喫煙防止対策について	320
Ⅵ フェースシート	322
(参考資料) 世論調査実施状況	325

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、各生活面に対する満足度、地域の安全性、埼玉県に魅力を感じるか）
- (イ) 日常生活
- (ウ) 県政への要望
- (エ) 大地震に備えた取組について
- (オ) 受動喫煙防止対策について

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- | | |
|--------------|--|
| (ア) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (イ) 調査対象 | 満18歳以上の個人 |
| (ウ) 標本数 | 5,000 |
| (エ) 抽出方法 | 住民基本台帳による層化二段無作為抽出法 |
| (オ) 調査方法 | 郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）
（令和元年度までは、調査員による個別面接聴取法） |
| (カ) 調査時期 | 令和7年7月4日～7月25日 |
| (キ) 調査実施委託機関 | 株式会社サーベイリサーチセンター |

(4) 回収結果

- | | |
|--------------|--------------|
| (ア) 有効回収数（率） | 2,446（48.9%） |
| (イ) 調査不能数（率） | 2,554（51.1%） |

2 標本抽出方法

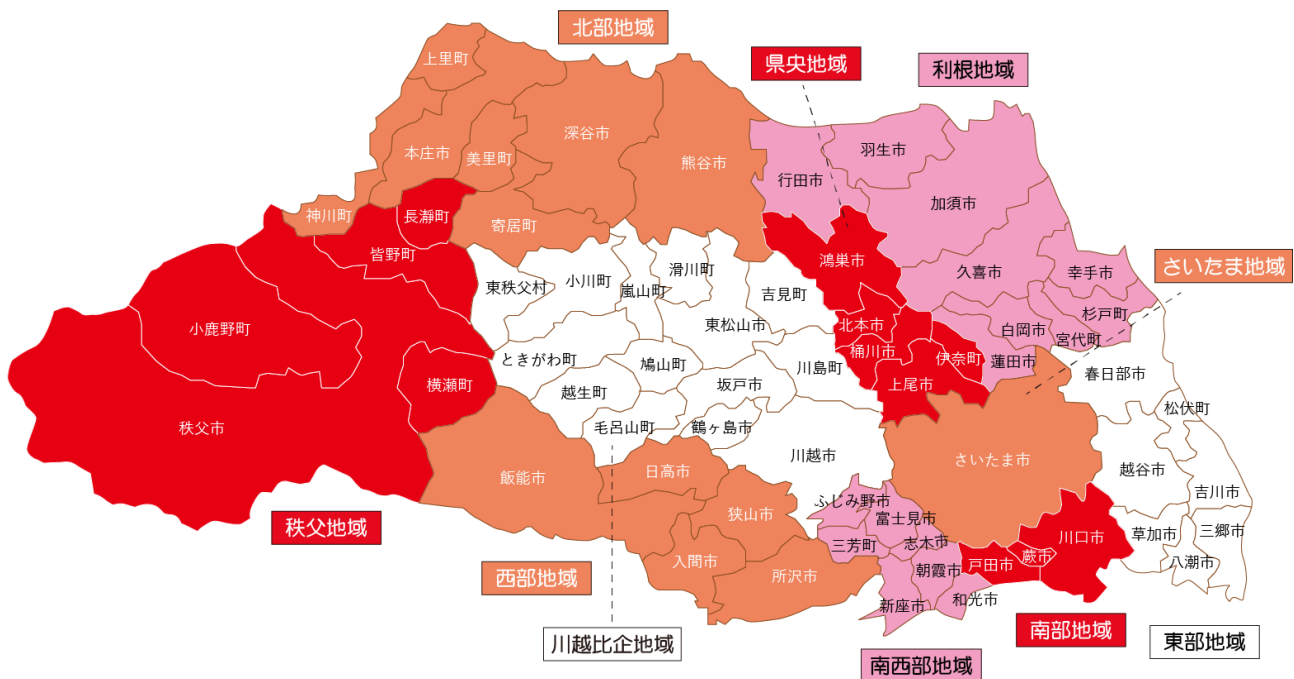
母集団：埼玉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人
 標本数：5,000
 地点数：市部 154地点 郡部（町村）11地点 合計 165地点
 抽出方法：層化二段無作為抽出法

（１）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（２）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和7年1月1日現在の推定数）により、5,000の標本を各調査地点に配分した。

（３）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、令和2年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が30程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

抽出の基点は、層における筆頭調査区から任意に算出された数を持って数えた調査区とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

市郡規模		人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部（町村）	計
地域					
県南	南部地域	642,357 510 (16)	66,948 54 (2)		709,305 564 (18)
	南西部地域	460,513 360 (12)	137,202 105 (3)	32,187 26 (1)	629,902 491 (16)
	東部地域	834,030 660 (22)	141,444 108 (3)	24,410 19 (1)	999,884 787 (26)
	さいたま地域	1,145,427 900 (30)			1,145,427 900 (30)
圏央道	県央地域	300,154 240 (8)	121,861 96 (3)	38,139 30 (1)	460,154 366 (12)
	川越比企地域	303,303 240 (8)	226,458 175 (7)	69,717 117 (3)	599,478 532 (18)
	西部地域	552,285 434 (14)	115,376 90 (3)		667,661 524 (17)
	利根地域	228,877 180 (6)	256,770 203 (7)	67,409 54 (2)	553,056 437 (15)
県北	北部地域	287,869 224 (7)	66,524 54 (2)	54,507 60 (2)	408,900 338 (11)
	秩父地域		50,017 38 (1)	9,050 23 (1)	59,067 61 (2)
計		4,754,815 3,748 (123)	1,182,600 923 (31)	295,419 329 (11)	6,232,834 5,000 (165)

（注）上段…推定母集団数（満18歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：％、以下同)

(1) 地域別 (3 区分)

総 数	県 南	圏 央 道	県 北	無 回 答
2,446	1,279	922	198	47
100.0	52.3	37.7	8.1	1.9

(2) 地域別

総 数	南 部 地 域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さいたま地域
2,446	245	224	363	447
100.0	10.0	9.2	14.8	18.3

県 央 地 域	川越比企地域	西 部 地 域	利 根 地 域
181	253	271	217
7.4	10.3	11.1	8.9

北 部 地 域	秩 父 地 域	無 回 答
166	32	47
6.8	1.3	1.9

(3) 性 別

総 数	男 性	女 性	無 回 答
2,446	1,010	1,330	106
100.0	41.3	54.4	4.3

(4) 年代別

総 数	18・19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無 回 答
2,446	32	180	256	361	497	428	648	44
100.0	1.3	7.4	10.5	14.8	20.3	17.5	26.5	1.8

(5) 職業別

総 数	自営業・家族従業 (計)		雇用者 (計)			無職 (計)		
	自営業主	家族従業 (家業手 伝 い)	勤 め (全日)	勤め(パー トタイム)	無職の主 婦・主夫	学 生	その他の 無 職	無 回 答
2,446	157	26	906	387	363	65	481	61
100.0	6.4	1.1	37.0	15.8	14.8	2.7	19.7	2.5

(6) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10 年未満	10 年～ 20 年未満	20 年～ 30 年未満	30 年以上	無 回 答
2,446 100.0	136 5.6	121 4.9	290 11.9	369 15.1	1,482 60.6	48 2.0

(7) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,446 100.0	1,020 41.7	1,368 55.9	58 2.4

(8) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人以上	無 回 答
2,446 100.0	307 12.6	858 35.1	608 24.9	431 17.6	119 4.9	50 2.0	17 0.7	56 2.3

(9) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,446 100.0	561 22.9	1,594 65.2	253 10.3	38 1.6

(10-1) 子供の有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	い な い	無 回 答
1,847 100.0	357 19.3	902 48.8	295 16.0	31 1.7	5 0.3	239 12.9	18 1.0

(10-2) 子供の段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳以上で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,590 100.0	113 7.1	90 5.7	197 12.4	139 8.7	124 7.8

短大生・ 専門学校生	大学生・ 大学院生	学校教育 終了・未婚	学校教育 終了・既婚	そ の 他	無 回 答
27 1.7	127 8.0	568 35.7	736 46.3	67 4.2	26 1.6

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,446 100.0	338 13.8	697 28.5	1,184 48.4	147 6.0	50 2.0	30 1.2

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 居住形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,446 100.0	1,572 64.3	405 16.6	337 13.8	70 2.9

社宅・公務員住宅 など給与住宅	住み込み、寮、 寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
31 1.3	3 0.1	13 0.5	15 0.6

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,446 100.0	280 11.4	151 6.2	205 8.4	166 6.8	373 15.2	611 25.0	660 27.0

※ ライフステージの分類

「年齢」「結婚」「子供の有無」「子供の成長段階」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子供がいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子供がおり、かつ、学校教育を終えた子供はいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子供がおり、かつ、既婚の子供がいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子供のいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,446であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,446}} \div 0.023$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.3の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

〔 標本誤差早見表（主なもの） 〕

区 分		基 数	回 答 率				
			90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%前後
全 体		2,446	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.9%
性 別	男性	1,010	± 2.7%	± 3.6%	± 4.1%	± 4.4%	± 4.4%
	女性	1,330	± 2.3%	± 3.1%	± 3.6%	± 3.8%	± 3.9%
年 代 別	18・19歳	32	± 15.0%	± 20.0%	± 22.9%	± 24.5%	± 25.0%
	20歳代	180	± 6.3%	± 8.4%	± 9.7%	± 10.3%	± 10.5%
	30歳代	256	± 5.3%	± 7.1%	± 8.1%	± 8.7%	± 8.8%
	40歳代	361	± 4.5%	± 6.0%	± 6.8%	± 7.3%	± 7.4%
	50歳代	497	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.3%
	60歳代	428	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.8%
	70歳以上	648	± 3.3%	± 4.4%	± 5.1%	± 5.4%	± 5.6%
地 域 別	南部	245	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.0%
	南西部	224	± 5.7%	± 7.6%	± 8.7%	± 9.3%	± 9.4%
	東部	363	± 4.5%	± 5.9%	± 6.8%	± 7.3%	± 7.4%
	さいたま	447	± 4.0%	± 5.4%	± 6.1%	± 6.6%	± 6.7%
	県央	181	± 6.3%	± 8.4%	± 9.6%	± 10.3%	± 10.5%
	川越比企	253	± 5.3%	± 7.1%	± 8.1%	± 8.7%	± 8.9%
	西部	271	± 5.2%	± 6.9%	± 7.9%	± 8.4%	± 8.6%
	利根	217	± 5.8%	± 7.7%	± 8.8%	± 9.4%	± 9.6%
	北部	166	± 6.6%	± 8.8%	± 10.1%	± 10.8%	± 11.0%
	秩父	32	± 15.0%	± 20.0%	± 22.9%	± 24.5%	± 25.0%

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 問1「昨年と比べた暮らし向き」における『楽になった(計)』のように、「楽になった」と「少し楽になった」等の2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢への回答者の実数値を合計して、比率を再計算したものを使用している。内訳となるそれぞれの選択肢の比率の合計と合致しないことがある。
- ウ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- エ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者(n)で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.(Multiple Totalの略)として表示した。
- オ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。
- カ 年代別、性別・年代別の集計に当たっては、18・19歳の標本数が少ないため、20歳代と合わせて10歳代・20歳代として集計したうえで、他の年代と比較している。
- キ 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施されていたが、令和2年度より「郵送法(郵送配布、郵送返送・インターネット回収併用)」に変更したので、令和元年度以前の結果と比較する場合には留意が必要となる。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識

(問 1 ～ 問 6)

- 問 1 「昨年と比べた暮らし向き」、問 2 「生活程度」、問 3 「生活全体の満足度」は、昭和 56 年度から毎年度実施しています。
- 問 1－1 「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成 20 年度から実施しており、今回が 18 回目となります。
- 問 4 「各生活面に対する満足度」は、平成 4 年度以降は 3 年ごとに実施しています。
- 問 5 「地域の安全性」は、平成 5 年度以降は 3 年ごとに実施しており、令和 6 年度から毎年度の実施となります。
- 問 6 「埼玉県に魅力を感じるか」と問 6－1 「埼玉県で魅力を感じるもの」は、今回が 8 回目となります。
- 平成 27 年度までは、満 20 歳以上の方を調査対象として実施しており、平成 28 年度以降は満 18 歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和 2 年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

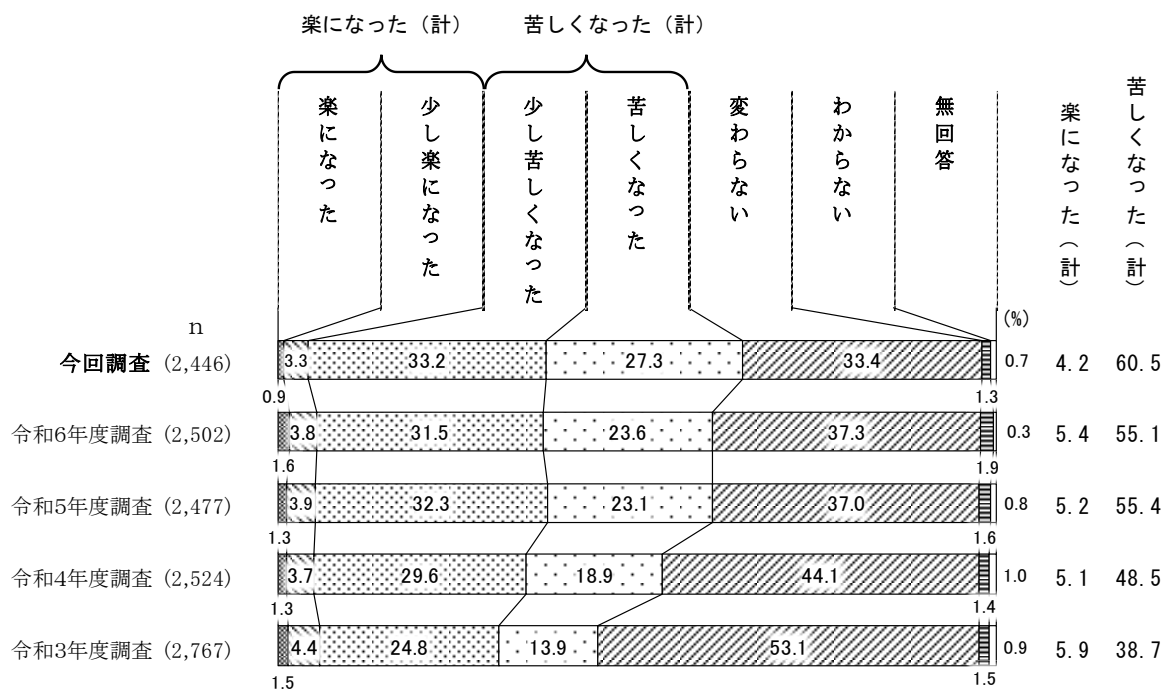
1. 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』は60.5%、「変わらない」は33.4%、『楽になった（計）』は4.2%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。（○は1つだけ）



暮らし向きが「楽になった」(0.9%)と「少し楽になった」(3.3%)を合わせた『楽になった（計）』は4.2%となっている。一方で、「苦しくなった」(27.3%)と「少し苦しくなった」(33.2%)を合わせた『苦しくなった（計）』(60.5%)は6割を超えている。「変わらない」(33.4%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

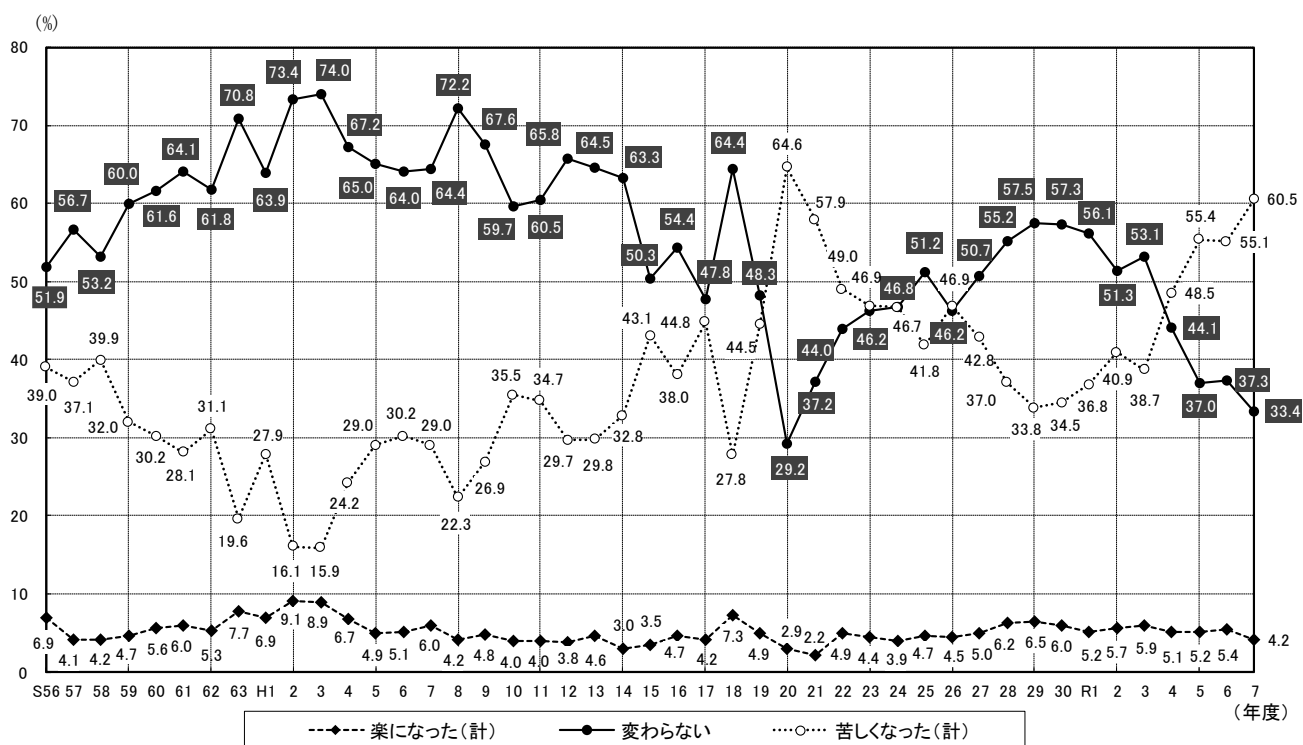
令和6年度調査と比べて、『苦しくなった（計）』(60.5%)は5.4ポイント増加している。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年度以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は、最も高かった平成20年度（64.6%）を境におおむね減少傾向が続いたが、平成30年度調査から再び増加傾向にあり、令和4年度から「変わらない」を上回っている。

『楽になった（計）』は平成2年度が9.1%で最も高く、平成21年度が2.2%で最も低くなっており、調査開始から44年間、この範囲内で推移している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

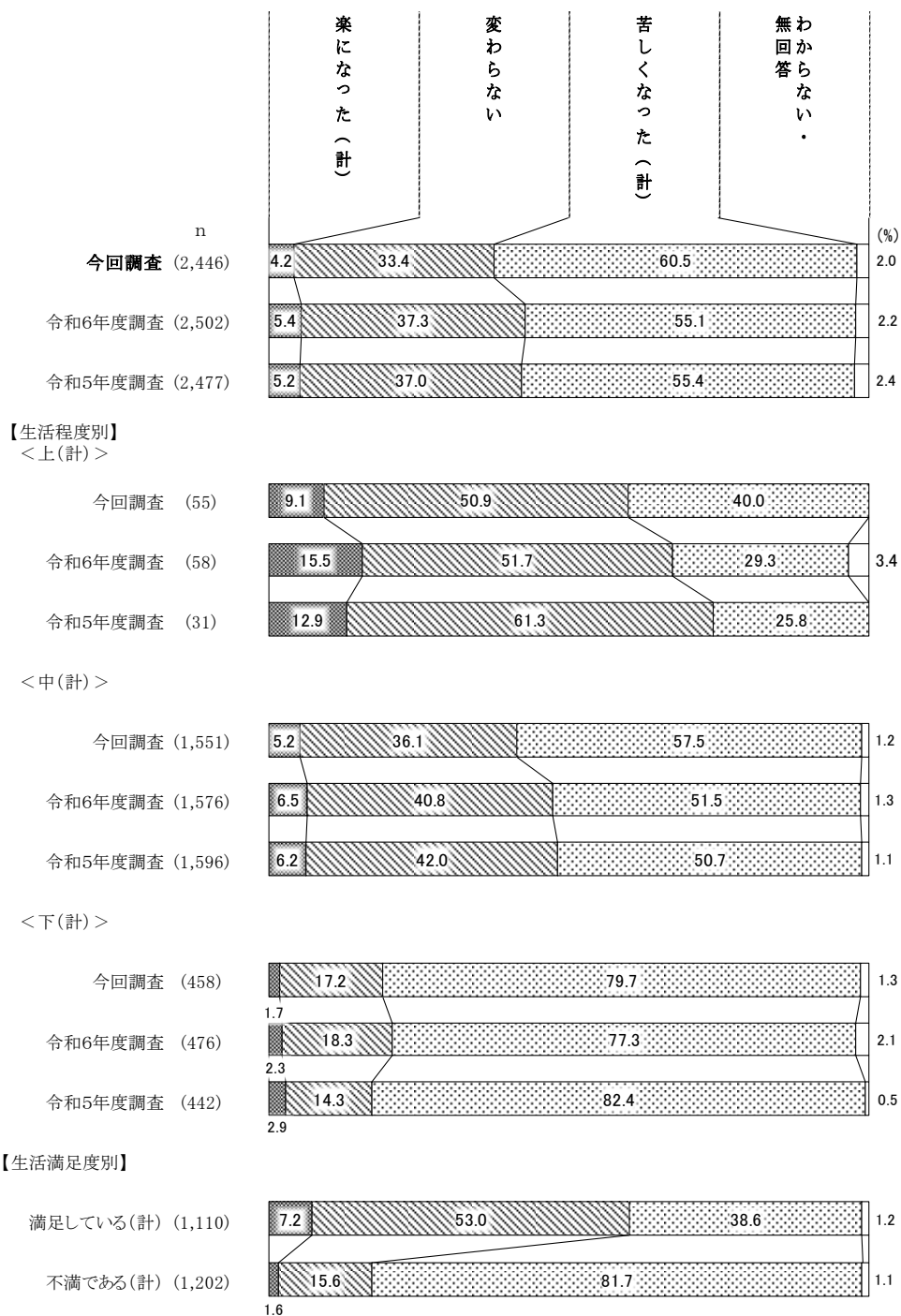
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、下（計）で最も高く79.7%、中（計）で57.5%、上（計）で40.0%と差がみられる。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）で38.6%に対して、不満である（計）では81.7%と大きく差がある。一方で、「変わらない」は、満足している（計）で53.0%と不満である（計）の15.6%を大きく上回っている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

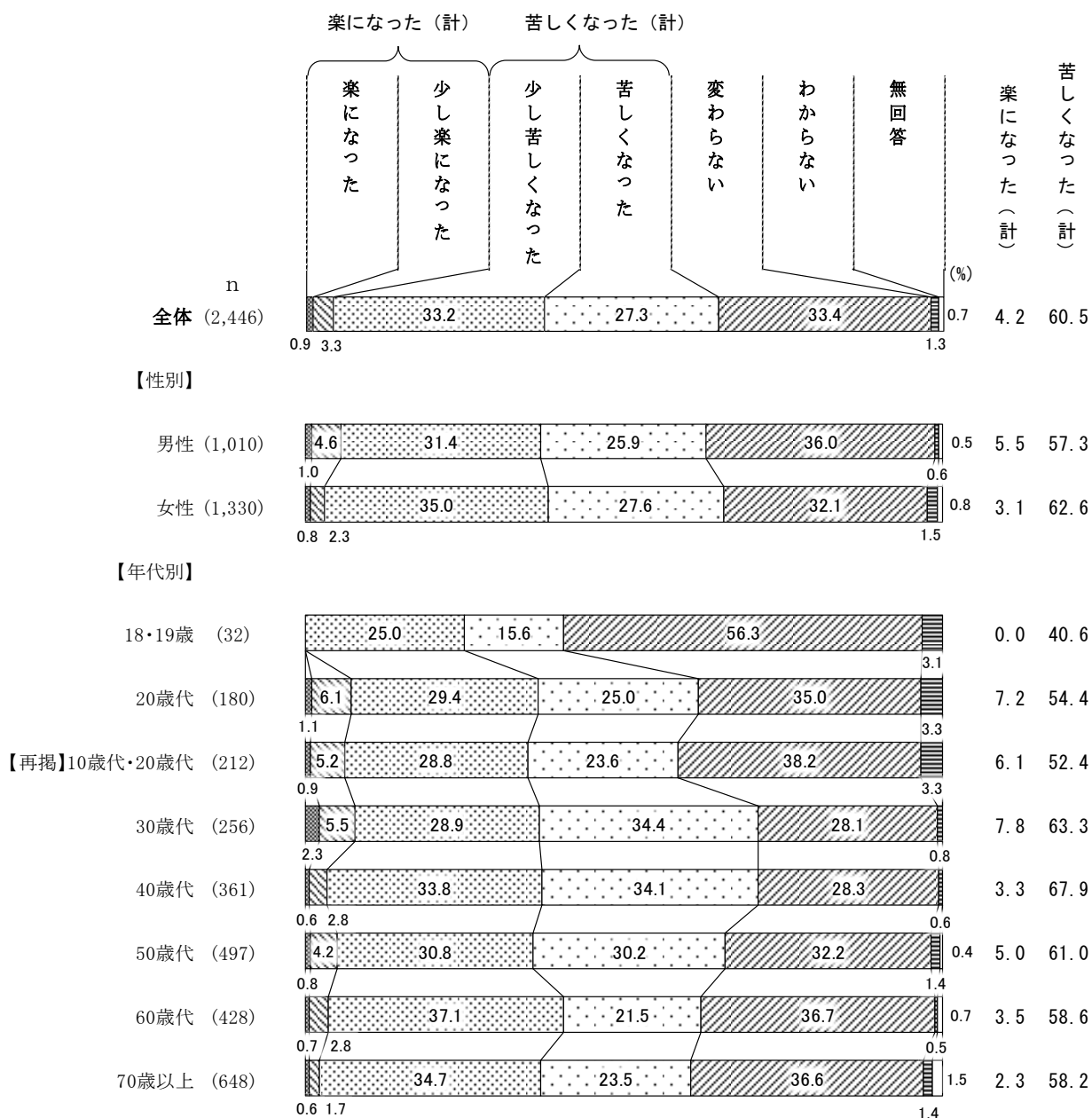
① 性別

『苦しくなった（計）』は女性（62.6％）の方が男性（57.3％）よりも5.3ポイント高くなっている。

② 年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（67.9％）で6割台半ばを超え最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③ 地域別

『苦しくなった（計）』は秩父地域（68.8%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』はさいたま地域（5.8%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『苦しくなった（計）』は女性40歳代（72.6%）で7割強と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は男性30歳代（11.0%）で1割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別では回答分布に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長前期（70.2%）で7割を超えて最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は家族形成期（7.3%）で最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

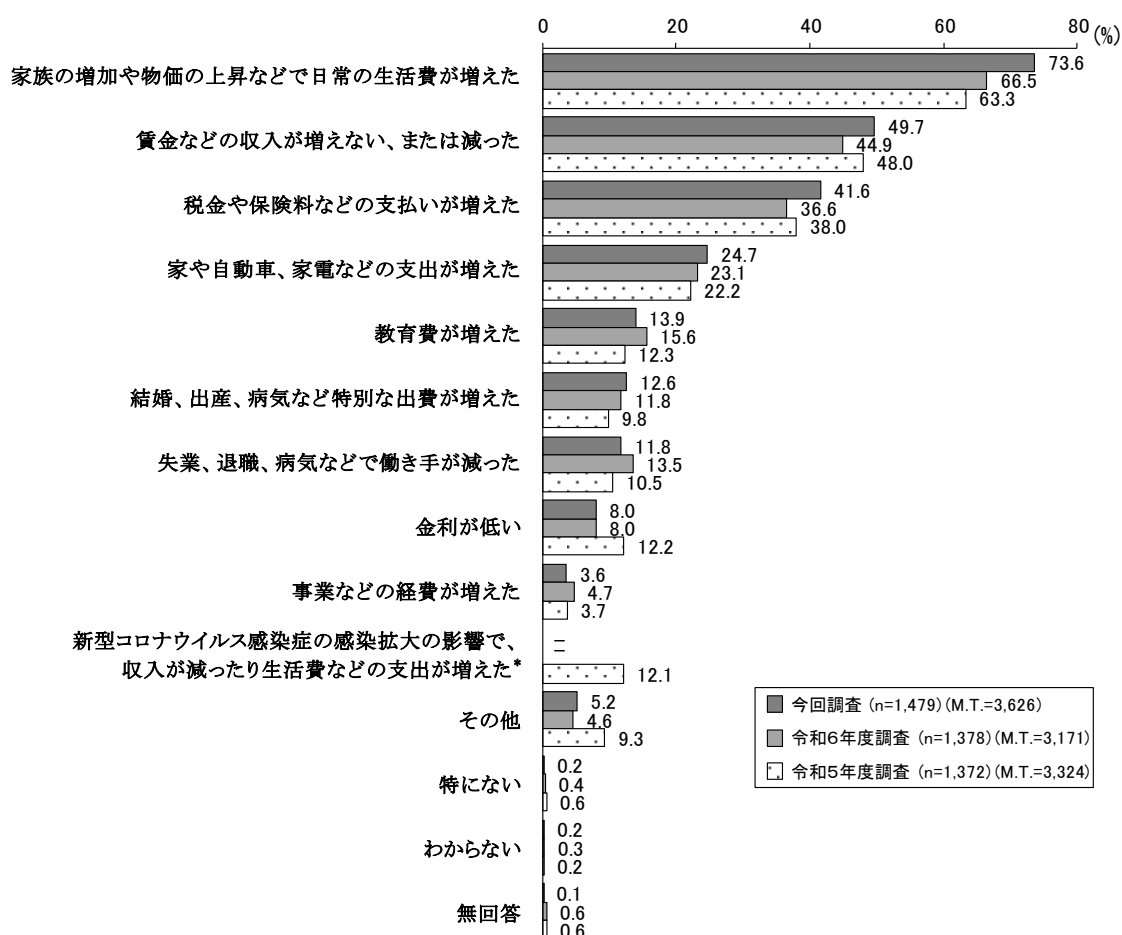
	調査数 n	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	（%）	
									楽になった（計）	苦しくなった（計）
全 体	2,446	0.9	3.3	33.2	27.3	33.4	1.3	0.7	4.2	60.5
地域別										
南部地域	245	1.2	4.5	28.6	29.0	32.7	2.4	1.6	5.7	57.6
南西部地域	224	0.9	3.1	34.8	25.0	34.8	0.9	0.4	4.0	59.8
東部地域	363	0.3	2.8	33.1	27.5	34.4	0.8	1.1	3.0	60.6
さいたま地域	447	1.3	4.5	32.4	24.2	36.7	0.7	0.2	5.8	56.6
県央地域	181	1.1	1.7	32.6	27.6	35.4	1.7	-	2.8	60.2
川越比企地域	253	0.4	3.2	36.4	26.5	32.0	0.8	0.8	3.6	62.8
西部地域	271	1.1	3.3	35.1	31.0	28.0	1.1	0.4	4.4	66.1
利根地域	217	0.9	3.2	29.5	29.5	34.6	2.3	-	4.1	59.0
北部地域	166	0.6	2.4	36.1	25.9	32.5	1.2	1.2	3.0	62.0
秩父地域	32	-	-	31.3	37.5	28.1	3.1	-	-	68.8
性・年代別										
男性／18・19歳	9	-	-	22.2	-	77.8	-	-	-	22.2
20歳代	78	-	6.4	32.1	21.8	38.5	1.3	-	6.4	53.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	-	5.7	31.0	19.5	42.5	1.1	-	5.7	50.6
30歳代	109	3.7	7.3	30.3	30.3	27.5	0.9	-	11.0	60.6
40歳代	140	0.7	4.3	32.1	27.9	34.3	0.7	-	5.0	60.0
50歳代	201	0.5	7.0	27.4	29.9	33.8	1.0	0.5	7.5	57.2
60歳代	187	1.1	3.7	31.6	21.4	41.2	-	1.1	4.8	52.9
70歳以上	286	0.7	2.1	34.3	25.5	36.4	0.3	0.7	2.8	59.8
女性／18・19歳	23	-	-	26.1	21.7	47.8	4.3	-	-	47.8
20歳代	99	1.0	6.1	28.3	27.3	33.3	4.0	-	7.1	55.6
【再掲】10歳代・20歳代	122	0.8	4.9	27.9	26.2	36.1	4.1	-	5.7	54.1
30歳代	135	1.5	4.4	28.1	35.6	29.6	0.7	-	5.9	63.7
40歳代	208	0.5	1.9	35.6	37.0	24.5	0.5	-	2.4	72.6
50歳代	280	1.1	2.1	33.9	29.3	31.8	1.4	0.4	3.2	63.2
60歳代	236	0.4	2.1	41.9	21.6	33.1	0.4	0.4	2.5	63.6
70歳以上	349	0.6	1.1	35.8	22.1	35.8	2.3	2.3	1.7	57.9
職業別										
自営業・家族従業（計）	183	1.6	4.9	30.1	27.3	35.0	0.5	0.5	6.6	57.4
雇用者（計）	1,293	0.8	4.3	33.4	27.8	32.3	1.2	0.3	5.1	61.2
無職（計）	909	0.9	1.4	33.3	26.8	35.3	1.2	1.0	2.3	60.2
ライフステージ別										
独身期	280	1.8	5.4	28.9	25.0	37.1	1.8	-	7.1	53.9
家族形成期	151	2.0	5.3	31.1	33.1	25.8	2.6	-	7.3	64.2
家族成長前期	205	1.0	3.9	41.5	28.8	24.9	-	-	4.9	70.2
家族成長後期	166	-	3.6	31.9	34.9	26.5	1.2	1.8	3.6	66.9
家族成熟期	373	1.1	2.7	30.0	29.8	34.6	1.6	0.3	3.8	59.8
高齢期	611	0.8	2.0	39.3	18.8	38.1	0.5	0.5	2.8	58.1
その他	660	0.5	3.2	29.2	31.1	32.7	1.7	1.7	3.6	60.3

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(73.6%)が最も高い

(問1で「3. 少し苦しくなった」または「4. 苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は令和5年度調査までの選択肢

暮らし向きが苦しくなった理由は、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(73.6%)が7割強と最も高く、次いで「賃金などの収入が増えない、または減った」(49.7%)が約5割、「税金や保険料などの支払いが増えた」(41.6%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(24.7%)、「教育費が増えた」(13.9%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(73.6%)が7.1ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は川越比企地域（78.6%）で8割弱と最も高く、南西部地域（67.2%）で最も低くなっている。「賃金などの収入が増えない、または減った」は南西部地域（56.0%）で5割台半ばを超えて最も高く、さいたま地域（43.5%）で最も低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は南西部地域（45.5%）で4割台半ばと最も高く、北部地域（29.1%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性（46.5%）の方が女性（37.7%）よりも8.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（84.6%）で8割台半ばと最も高く、70歳以上（66.3%）で最も低くなっている。「賃金などの収入が増えない、または減った」は50歳代（65.0%）で最も高く、「税金や保険料などの支払いが増えた」は30歳代（55.6%）で5割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性30歳代（88.4%）で9割弱と最も高くなっている。「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性10歳代・20歳代（65.9%）で6割台半ばと最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性30歳代（62.1%）で6割強と最も高く、女性60歳代（31.3%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は雇用者（計）（79.5%）で約8割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は家族形成期（90.7%）で9割を超えて最も高く、「賃金などの収入が増えない、または減った」は独身期（66.9%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」も家族形成期（56.7%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は中（計）（76.3%）の方が下（計）（67.7%）よりも8.6ポイント高くなっている。一方で、「賃金などの収入が増えない、または減った」は下（計）（61.1%）の方が中（計）（46.9%）よりも14.2ポイント高くなっている。

※上（計）（n=22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は満足している（計）（78.8%）の方が不満である（計）（72.0%）よりも6.8ポイント高くなっている。一方で、「賃金などの収入が増えない、または減った」は不満である（計）（57.2%）の方が満足している（計）（35.2%）よりも22.0ポイント高くなっている。

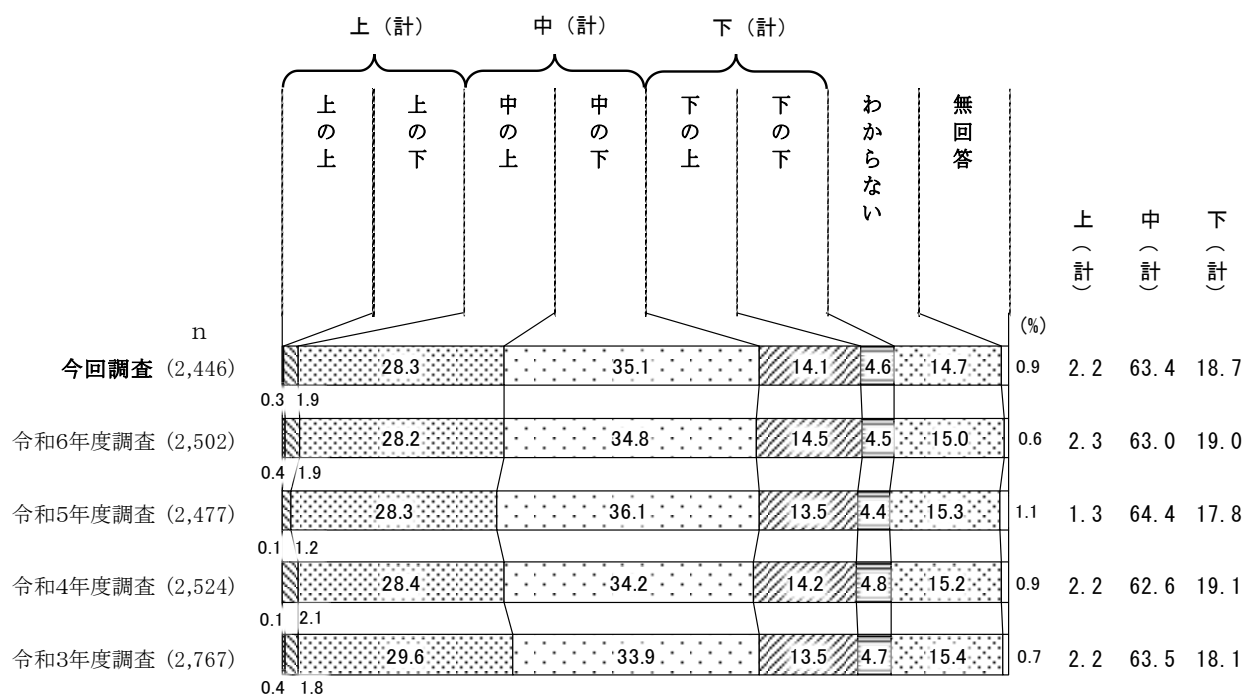
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／生活程度別／生活満足度別

	調査数	家族の増加や物価の上昇などで	賃金などの収入が増えない、または減った	税金や保険料などの支払いが増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	金利が低い	事業などの経費が増えた	その他	特にな	わからない	(%) 無回答
全 体	1,479	73.6	49.7	41.6	24.7	13.9	12.6	11.8	8.0	3.6	5.2	0.2	0.2	0.1
地域別														
南部地域	141	72.3	49.6	45.4	23.4	20.6	7.1	8.5	7.1	5.0	5.7	-	0.7	-
南西部地域	134	67.2	56.0	45.5	20.1	16.4	17.2	15.7	7.5	2.2	0.7	0.7	-	-
東部地域	220	72.3	52.7	41.4	25.5	8.6	14.1	8.6	6.4	4.5	6.4	-	0.5	-
さいたま地域	253	77.9	43.5	45.1	23.7	18.6	11.1	11.9	9.5	2.4	5.1	-	0.4	-
県央地域	109	74.3	51.4	40.4	34.9	9.2	18.3	11.9	11.9	1.8	8.3	-	-	-
川越比企地域	159	78.6	47.8	42.1	25.2	13.8	11.3	11.9	8.2	4.4	4.4	-	-	-
西部地域	179	70.9	52.5	39.1	20.7	14.5	12.8	10.1	5.6	3.4	6.7	-	-	-
利根地域	128	72.7	46.1	43.0	27.3	4.7	16.4	19.5	6.3	2.3	4.7	0.8	-	0.8
北部地域	103	72.8	51.5	29.1	26.2	15.5	6.8	12.6	8.7	5.8	4.9	-	-	-
秩父地域	22	77.3	68.2	40.9	36.4	31.8	4.5	9.1	13.6	13.6	4.5	-	-	-
性別														
男性	579	71.2	50.8	46.5	25.2	11.9	11.1	11.6	7.9	5.5	4.1	0.2	-	-
女性	832	75.0	49.0	37.7	24.8	15.5	13.6	12.3	7.7	2.4	5.9	0.1	0.2	0.1
年代別														
18・19歳	13	84.6	53.8	23.1	7.7	23.1	-	7.7	-	-	7.7	-	-	-
20歳代	98	74.5	63.3	59.2	27.6	7.1	13.3	8.2	3.1	4.1	10.2	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	111	75.7	62.2	55.0	25.2	9.0	11.7	8.1	2.7	3.6	9.9	-	-	-
30歳代	162	84.6	61.1	55.6	30.9	19.1	21.0	9.9	6.2	3.1	4.3	-	-	-
40歳代	245	84.1	50.2	44.1	24.5	39.2	6.5	7.3	9.0	3.7	4.9	-	0.4	-
50歳代	303	72.6	65.0	38.9	21.1	20.5	9.6	10.2	4.3	4.0	3.3	-	0.3	-
60歳代	251	67.7	54.6	34.3	25.1	0.8	13.1	19.1	8.4	5.2	4.4	-	-	-
70歳以上	377	66.3	26.8	37.9	26.3	0.8	15.4	13.3	12.2	2.7	6.6	0.5	-	0.3
性・年代別														
男性／18・19歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-
20歳代	42	66.7	69.0	57.1	23.8	4.8	4.8	11.9	4.8	4.8	7.1	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	44	63.6	65.9	54.5	22.7	6.8	4.5	11.4	4.5	4.5	9.1	-	-	-
30歳代	66	80.3	59.1	62.1	30.3	10.6	21.2	13.6	6.1	4.5	1.5	-	-	-
40歳代	84	83.3	52.4	50.0	29.8	35.7	7.1	3.6	13.1	4.8	3.6	-	-	-
50歳代	115	73.0	64.3	43.5	20.0	21.7	8.7	11.3	4.3	7.8	1.7	-	-	-
60歳代	99	66.7	54.5	37.4	24.2	1.0	10.1	15.2	7.1	5.1	5.1	-	-	-
70歳以上	171	64.9	31.6	43.9	25.7	1.8	12.9	12.9	9.9	5.3	5.3	0.6	-	-
女性／18・19歳	11	100.0	63.6	27.3	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-	-	-	-
20歳代	55	80.0	58.2	60.0	29.1	9.1	18.2	5.5	1.8	3.6	12.7	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	66	83.3	59.1	54.5	25.8	10.6	15.2	6.1	1.5	3.0	10.6	-	-	-
30歳代	86	88.4	60.5	50.0	29.1	26.7	20.9	5.8	4.7	2.3	4.7	-	-	-
40歳代	151	84.8	49.7	39.1	22.5	41.1	6.0	9.3	5.3	3.3	6.0	-	0.7	-
50歳代	177	72.3	65.0	35.0	21.5	20.3	9.6	10.2	4.5	1.7	4.0	-	0.6	-
60歳代	150	68.0	54.0	31.3	25.3	0.7	15.3	22.0	9.3	4.7	4.0	-	-	-
70歳以上	202	66.8	22.8	33.2	26.7	-	17.8	13.9	14.4	0.5	7.9	0.5	-	0.5
職業別														
自営業・家族従業（計）	105	61.9	61.9	40.0	22.9	21.9	12.4	8.6	1.9	32.4	1.9	-	-	-
雇用者（計）	791	79.5	59.9	45.3	25.8	19.3	10.4	7.6	7.0	1.4	5.2	-	0.1	-
無職（計）	547	67.6	33.5	37.3	24.5	5.1	15.9	18.8	10.6	1.3	5.9	0.4	0.2	0.2
ライフステージ別														
独身期	151	72.8	66.9	56.3	23.8	7.3	6.0	9.9	5.3	2.6	6.6	-	-	-
家族形成期	97	90.7	53.6	56.7	28.9	19.6	40.2	6.2	4.1	4.1	6.2	-	-	-
家族成長前期	144	90.3	47.9	39.6	25.7	52.8	6.9	4.9	4.9	2.8	3.5	-	-	-
家族成長後期	111	79.3	45.9	36.9	23.4	67.6	5.4	6.3	6.3	7.2	2.7	-	-	-
家族成熟期	223	70.9	59.2	35.0	25.6	7.6	8.5	14.3	8.1	2.7	3.1	-	0.4	-
高齢期	355	67.9	31.8	35.5	25.6	0.8	16.3	14.9	12.7	3.7	5.6	0.3	-	-
その他	398	68.8	54.5	43.5	22.9	1.0	11.6	13.8	7.3	3.5	6.5	0.5	0.5	0.3
生活程度別														
上（計）	22	90.9	36.4	45.5	22.7	18.2	9.1	-	4.5	-	4.5	-	-	-
中（計）	892	76.3	46.9	38.5	23.9	16.1	11.9	9.5	8.5	3.5	4.6	0.1	0.2	-
下（計）	365	67.7	61.1	49.0	27.1	9.6	15.1	17.8	8.5	4.7	5.8	0.5	-	0.3
生活満足度別														
満足している（計）	429	78.8	35.2	35.0	20.0	13.5	8.9	7.5	9.6	2.3	4.2	0.2	0.2	-
不満である（計）	982	72.0	57.2	44.6	27.0	14.6	14.3	13.2	7.7	4.3	5.7	0.1	0.2	0.1

(2) 生活程度

◇『中（計）』が63.4%、一方『下（計）』は18.7%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。
(○は1つだけ)



世間一般からみた生活程度は、「中の下」(35.1%)が3割台半ばと最も高く、次いで「中の上」(28.3%)となっている。両者を合わせた『中(計)』(63.4%)は6割強となっている。同様に、「下の上」(14.1%)と「下の下」(4.6%)を合わせた『下(計)』(18.7%)は2割弱、「上の下」(1.9%)と「上の上」(0.3%)を合わせた『上(計)』は2.2%となっている。

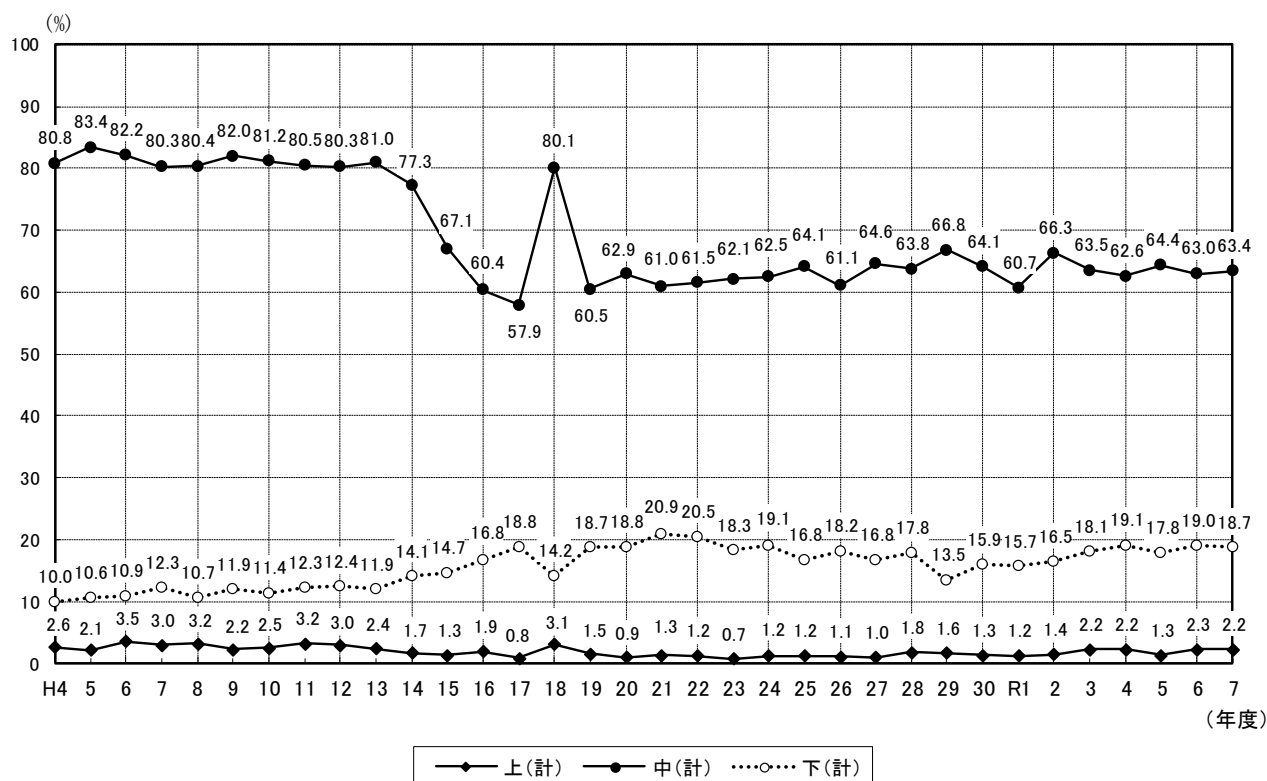
【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【経年比較】

平成19年度以降、『中（計）』は6割台で推移しており、今回調査では前回調査から増加した。また、『下（計）』は平成29年度調査以降、おおむね増加傾向にあるが、今回調査では前回調査から減少した。

○生活程度・平成4年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

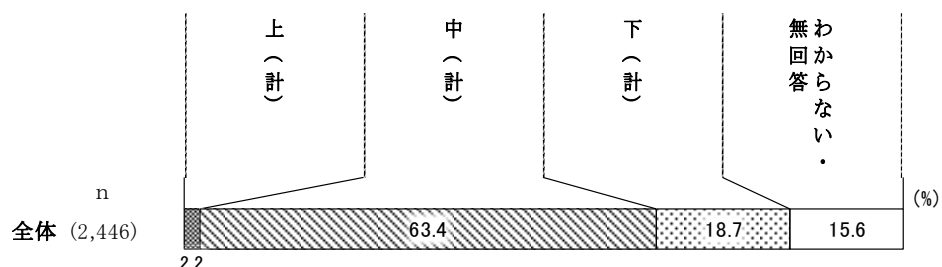
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、いずれの層でも生活程度を『中（計）』と回答した人が半数以上となっているが、楽になった（計）（78.4%）では8割弱と最も高く、次いで変わらない（68.6%）、苦しくなった（計）（60.3%）となっており、『中（計）』の割合に大きく差がある。また、『下（計）』は苦しくなった（計）（24.7%）で最も高くなっている。

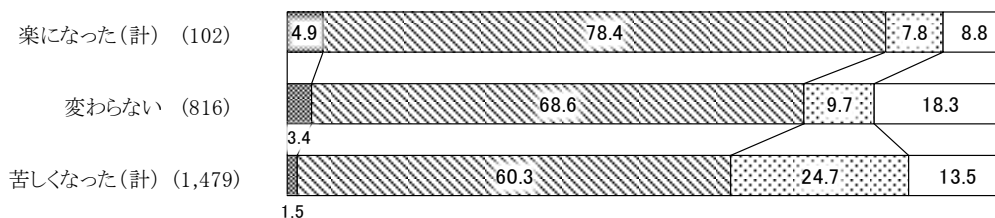
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、生活程度を『中（計）』と回答した割合は、満足している（計）（76.8%）が不満である（計）（55.8%）よりも21.0ポイント高く、一方で、『下（計）』と回答した割合は不満である（計）（30.9%）が、満足している（計）（5.9%）よりも25.0ポイント高くなっている。

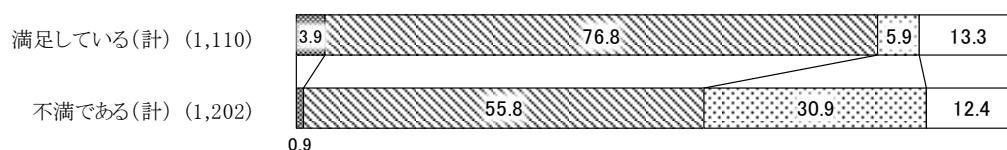
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

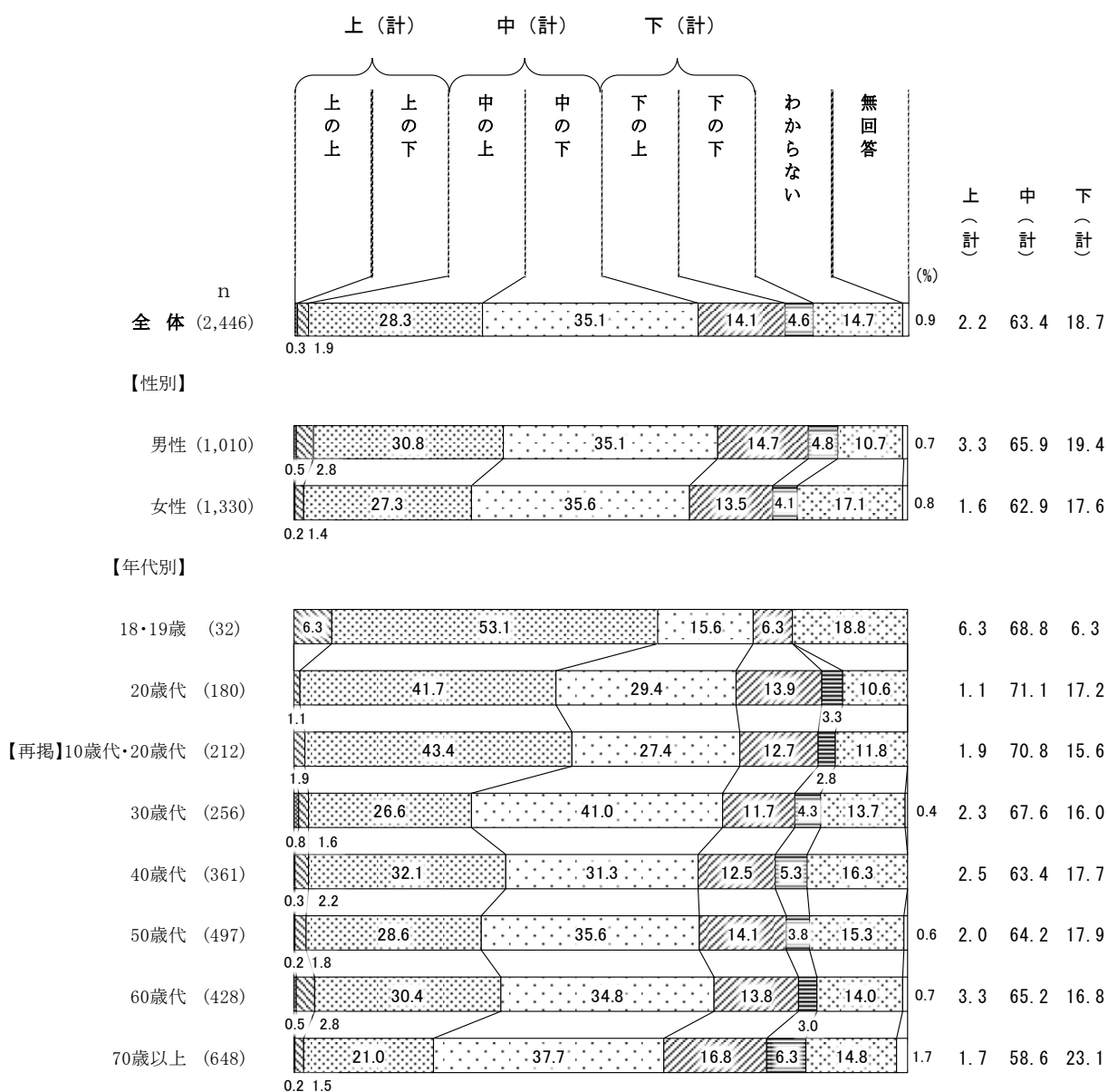
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『中（計）』は10歳代・20歳代（70.8%）で7割を超えて最も高くなっている。一方で、『下（計）』はおおむね年代が上がるにつれ割合が高くなっており、70歳以上（23.1%）で2割強と最も高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③ 地域別

『中（計）』はさいたま地域（67.8%）で6割台半ばを超えて最も高く、利根地域（54.8%）で最も低くなっている。一方で、『下（計）』は利根地域（29.0%）が約3割と最も高く、『上（計）』は南部地域（3.7%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『中（計）』は男性30歳代（75.2%）で7割台半ばと最も高くなっている。一方で、『下（計）』は男性70歳以上（25.9%）が2割台半ばと最も高く、『上（計）』は男性60歳代（5.3%）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

『中（計）』は雇用者（計）（67.0%）で6割台半ばを超え最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『中（計）』は家族成長前期（76.1%）で7割台半ばを超えて最も高く、『下（計）』はその他（25.6%）で2割台半ばと最も高くなっている。

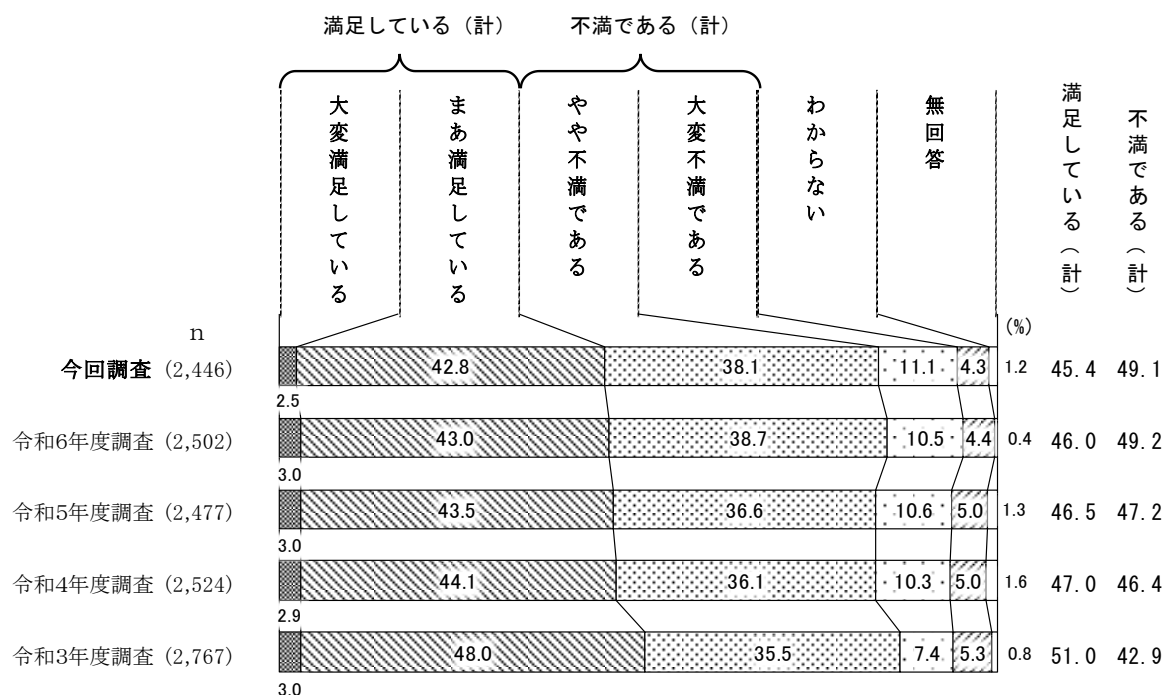
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	（%）		
	n									上（計）	中（計）	下（計）
全 体	2,446	0.3	1.9	28.3	35.1	14.1	4.6	14.7	0.9	2.2	63.4	18.7
地域別												
南部地域	245	0.4	3.3	29.4	36.3	12.7	4.1	13.1	0.8	3.7	65.7	16.7
南西部地域	224	-	1.3	23.7	39.7	13.4	4.9	16.5	0.4	1.3	63.4	18.3
東部地域	363	0.6	1.1	27.8	37.2	14.0	3.6	13.8	1.9	1.7	65.0	17.6
さいたま地域	447	0.7	2.5	35.6	32.2	11.2	2.2	15.4	0.2	3.1	67.8	13.4
県央地域	181	-	2.2	28.2	34.8	11.6	4.4	17.7	1.1	2.2	63.0	16.0
川越比企地域	253	-	2.8	24.5	33.6	18.6	4.7	15.4	0.4	2.8	58.1	23.3
西部地域	271	0.4	2.2	30.3	35.4	16.6	3.7	11.1	0.4	2.6	65.7	20.3
利根地域	217	-	0.5	22.1	32.7	17.5	11.5	15.2	0.5	0.5	54.8	29.0
北部地域	166	-	1.2	27.7	38.0	13.3	4.8	13.3	1.8	1.2	65.7	18.1
秩父地域	32	-	3.1	28.1	31.3	12.5	6.3	18.8	-	3.1	59.4	18.8
性・年代別												
男性／18・19歳	9	-	11.1	55.6	22.2	11.1	-	-	-	11.1	77.8	11.1
20歳代	78	-	-	39.7	28.2	15.4	6.4	10.3	-	-	67.9	21.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	-	1.1	41.4	27.6	14.9	5.7	9.2	-	1.1	69.0	20.7
30歳代	109	1.8	2.8	33.0	42.2	9.2	2.8	7.3	0.9	4.6	75.2	11.9
40歳代	140	-	2.9	35.7	30.7	12.9	5.0	12.9	-	2.9	66.4	17.9
50歳代	201	0.5	2.0	32.3	36.8	15.4	3.5	9.0	0.5	2.5	69.2	18.9
60歳代	187	0.5	4.8	33.7	33.2	13.4	1.6	11.8	1.1	5.3	66.8	15.0
70歳以上	286	0.3	2.4	21.3	37.1	17.8	8.0	11.9	1.0	2.8	58.4	25.9
女性／18・19歳	23	-	4.3	52.2	13.0	4.3	-	26.1	-	4.3	65.2	4.3
20歳代	99	-	2.0	43.4	30.3	13.1	1.0	10.1	-	2.0	73.7	14.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	-	2.5	45.1	27.0	11.5	0.8	13.1	-	2.5	72.1	12.3
30歳代	135	-	0.7	23.0	41.5	11.9	4.4	18.5	-	0.7	64.4	16.3
40歳代	208	0.5	1.9	30.8	31.7	11.5	5.3	18.3	-	2.4	62.5	16.8
50歳代	280	-	1.8	26.8	35.4	11.8	3.6	20.0	0.7	1.8	62.1	15.4
60歳代	236	0.4	1.3	28.0	36.9	14.4	4.2	14.4	0.4	1.7	64.8	18.6
70歳以上	349	-	0.9	20.6	37.8	16.6	4.9	16.9	2.3	0.9	58.5	21.5
職業別												
自営業・家族従業（計）	183	1.1	3.8	31.7	32.2	14.8	2.7	13.1	0.5	4.9	63.9	17.5
雇用者（計）	1,293	0.4	1.9	30.9	36.1	13.6	3.2	13.4	0.5	2.3	67.0	16.9
無職（計）	909	-	1.7	24.5	34.5	14.7	6.6	16.7	1.2	1.7	59.1	21.3
ライフステージ別												
独身期	280	-	1.8	36.4	32.5	12.5	5.4	11.4	-	1.8	68.9	17.9
家族形成期	151	0.7	4.0	29.1	40.4	9.9	2.0	12.6	1.3	4.6	69.5	11.9
家族成長前期	205	0.5	1.5	45.9	30.2	9.3	-	12.7	-	2.0	76.1	9.3
家族成長後期	166	0.6	2.4	36.7	33.7	9.0	0.6	15.1	1.8	3.0	70.5	9.6
家族成熟期	373	-	3.2	26.8	34.3	12.6	5.6	16.9	0.5	3.2	61.1	18.2
高齢期	611	0.3	2.0	27.2	37.5	15.1	4.3	13.3	0.5	2.3	64.6	19.3
その他	660	0.5	0.8	18.9	35.2	18.6	7.0	17.1	2.0	1.2	54.1	25.6

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は45.4%、『不満である（計）』は49.1%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。
(○は1つだけ)



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」（42.8%）が4割強で最も高く、次いで「やや不満である」（38.1%）となっている。「大変満足している」（2.5%）と「まあ満足している」（42.8%）を合わせた『満足している（計）』（45.4%）は4割台半ば、「大変不満である」（11.1%）と「やや不満である」（38.1%）を合わせた『不満である（計）』（49.1%）は約5割となっている。

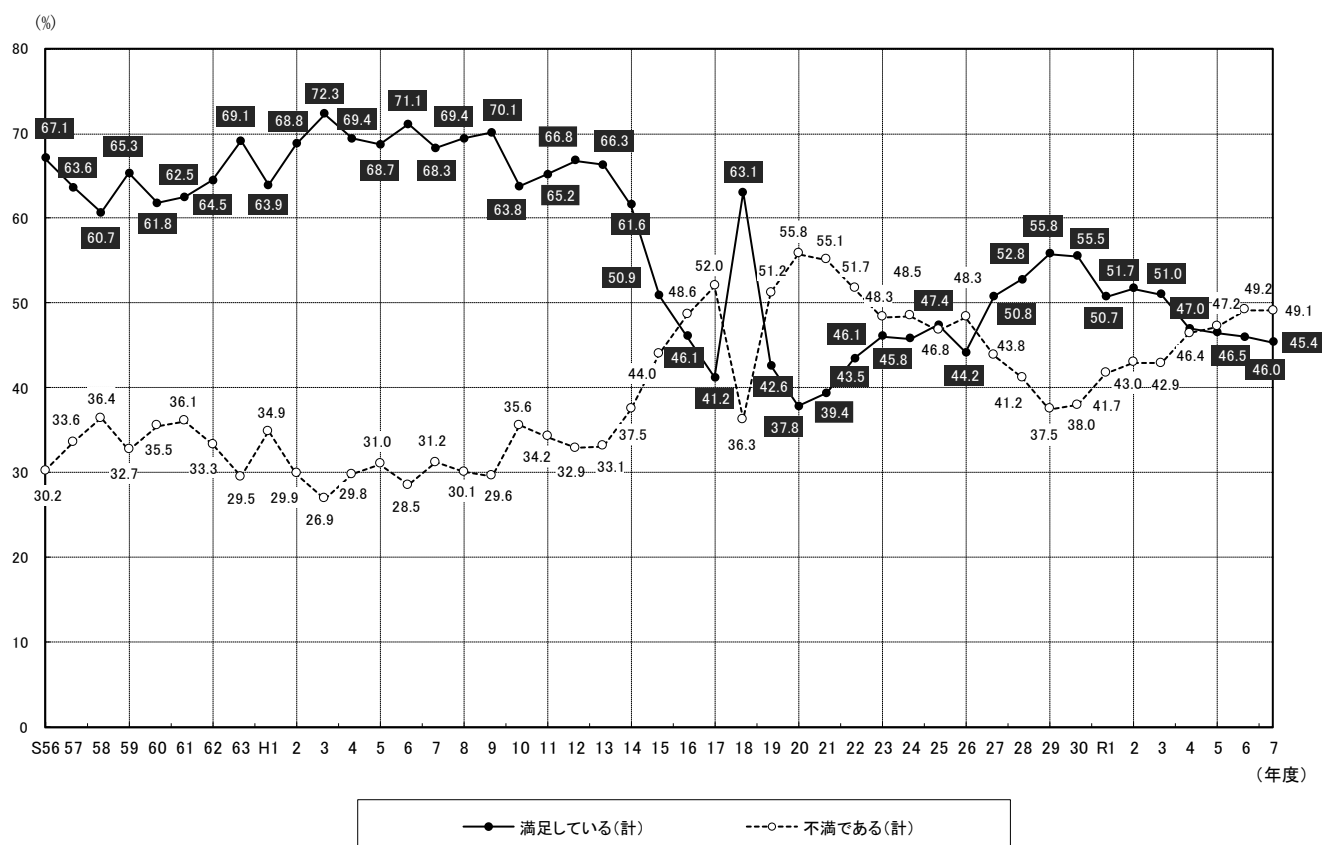
【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、令和3年度以降『満足している（計）』は減少傾向にある。

【経年比較】

昭和56年度以降の推移をみると、平成19年度以降『不満である(計)』の割合が『満足している(計)』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している(計)』の割合が平成27年度調査(50.8%)で5割を超えて逆転した。しかし令和5年度調査から、再び『不満である(計)』が『満足している(計)』を上回る結果となった。

○生活全体の満足度・昭和56年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

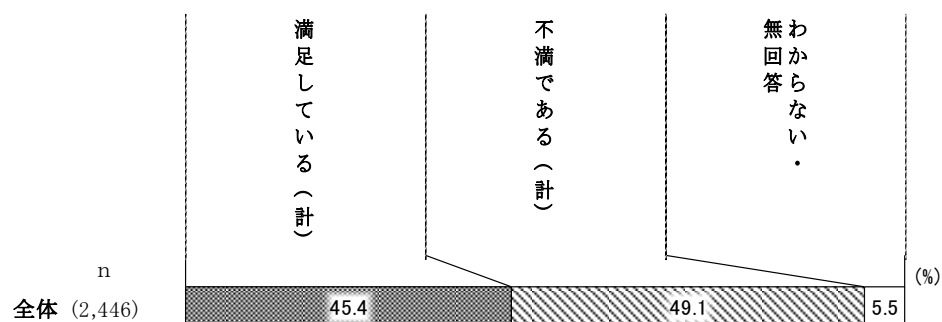
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は楽になった（計）では78.4%、変わらないでは72.1%と高くなっている。一方で、苦しくなった（計）では29.0%と低くなっている。

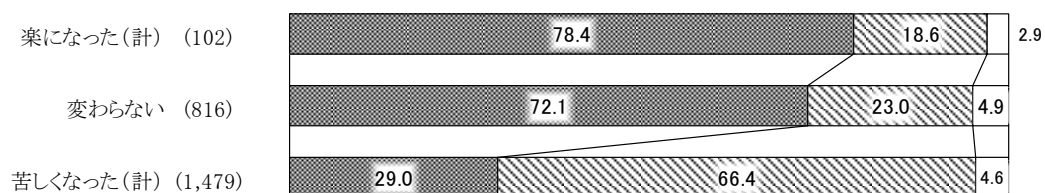
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は上（計）では78.2%と高く、中（計）でも55.0%と5割台半ばと高くなっている。一方で、下（計）では14.4%と低くなっている。

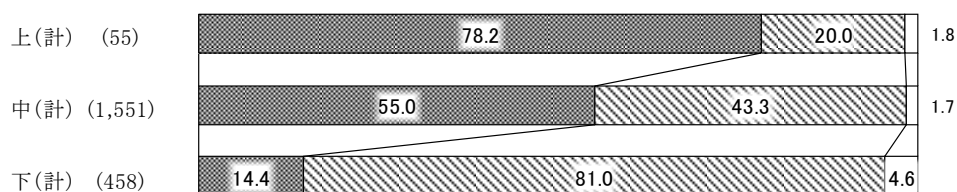
○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【属性別比較】

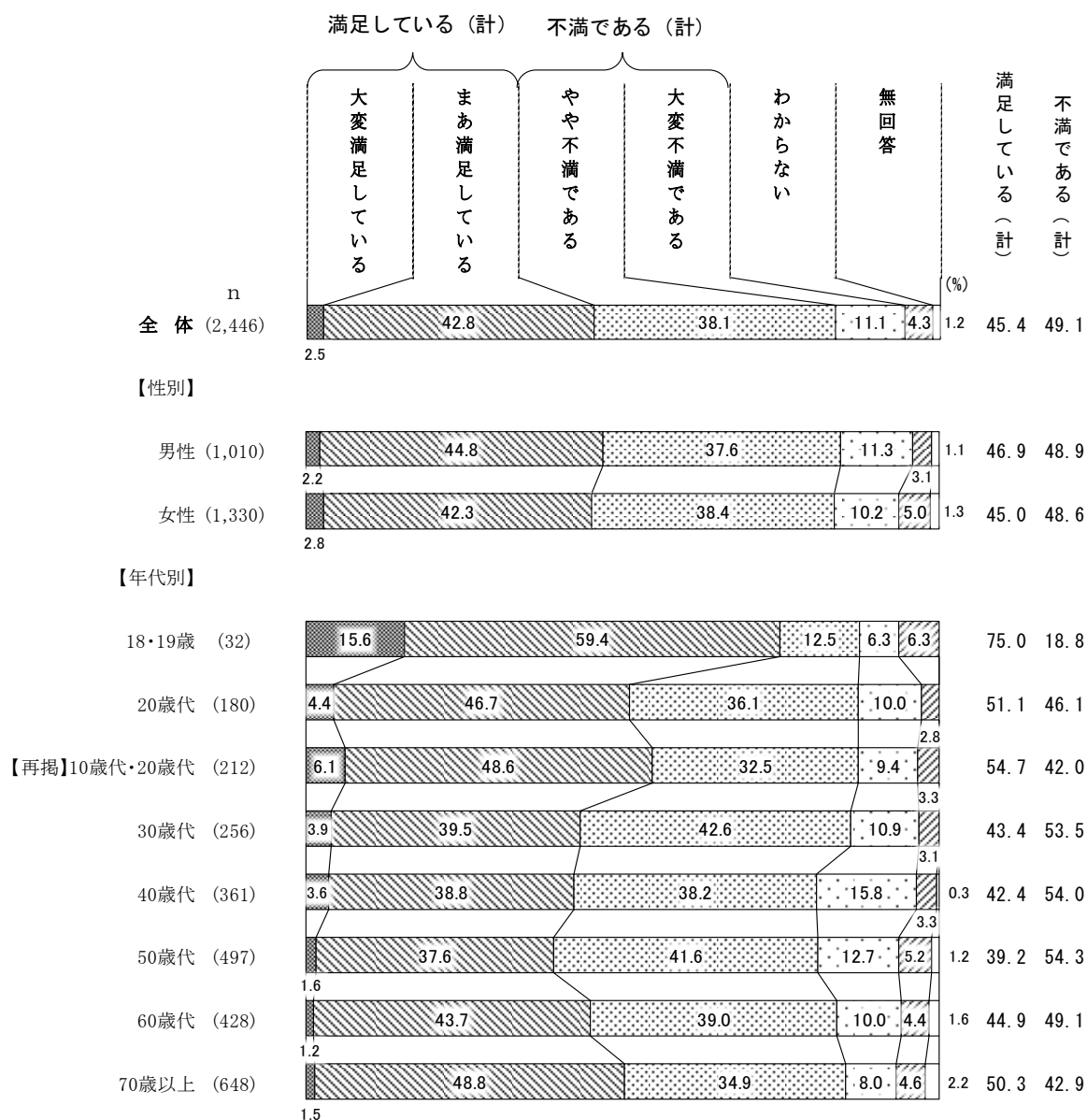
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（54.7%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は50歳代（54.3%）で5割台半ばと最も高くなっている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』はさいたま地域（52.3%）で5割強と最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は秩父地域（65.6%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（59.8%）で約6割と最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は男性50歳代（55.2%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『不満である（計）』は雇用者（計）（52.8%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（54.2%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』はその他（56.2%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

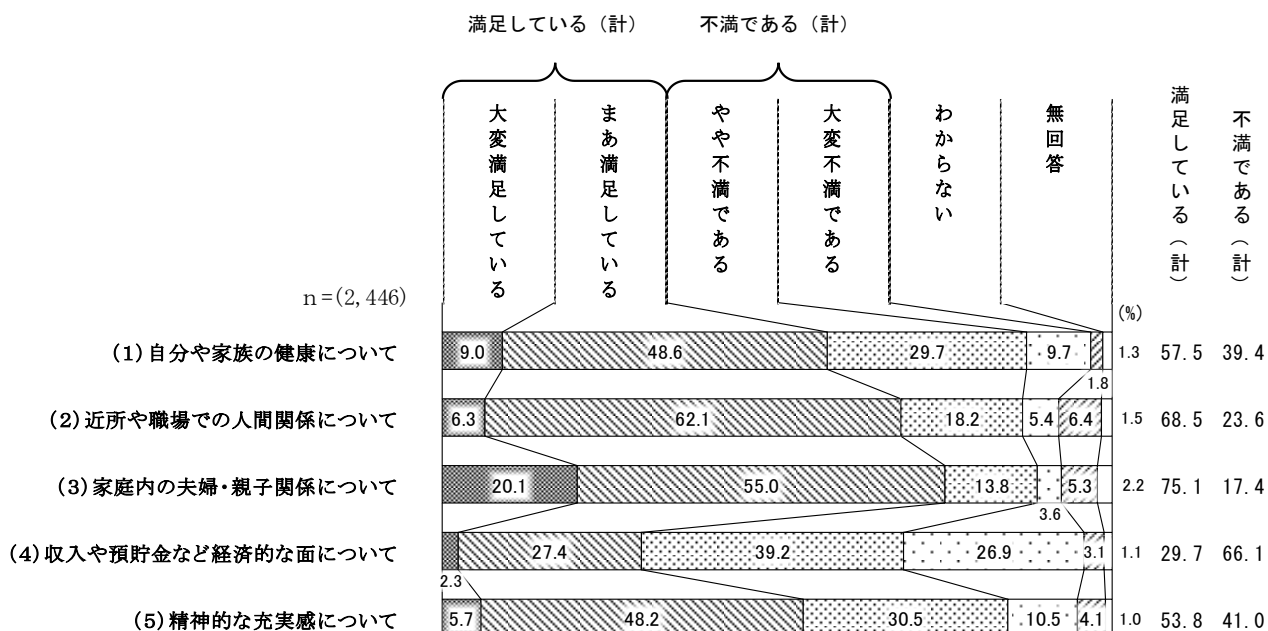
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（%）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	2.5	42.8	38.1	11.1	4.3	1.2	45.4	49.1
地域別									
南部地域	245	3.7	37.1	38.8	12.2	6.1	2.0	40.8	51.0
南西部地域	224	2.2	45.5	37.1	9.8	4.5	0.9	47.8	46.9
東部地域	363	1.7	40.2	41.0	11.6	3.6	1.9	41.9	52.6
さいたま地域	447	2.9	49.4	34.2	8.3	4.5	0.7	52.3	42.5
県央地域	181	2.8	44.8	37.6	10.5	4.4	—	47.5	48.1
川越比企地域	253	1.6	44.3	36.4	13.0	4.3	0.4	45.8	49.4
西部地域	271	2.6	41.0	40.2	10.3	4.1	1.8	43.5	50.6
利根地域	217	1.4	40.6	40.1	13.8	3.2	0.9	41.9	53.9
北部地域	166	4.2	41.6	36.7	11.4	4.2	1.8	45.8	48.2
秩父地域	32	—	34.4	56.3	9.4	—	—	34.4	65.6
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	78	—	55.1	32.1	10.3	2.6	—	55.1	42.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	56.3	28.7	9.2	2.3	—	59.8	37.9
30歳代	109	5.5	43.1	43.1	8.3	—	—	48.6	51.4
40歳代	140	1.4	42.9	35.0	17.9	2.9	—	44.3	52.9
50歳代	201	2.0	37.8	41.8	13.4	3.5	1.5	39.8	55.2
60歳代	187	1.1	46.0	38.5	7.0	5.3	2.1	47.1	45.5
70歳以上	286	1.7	46.9	36.0	11.2	2.8	1.4	48.6	47.2
女性／18・19歳	23	8.7	56.5	17.4	8.7	8.7	—	65.2	26.1
20歳代	99	8.1	39.4	39.4	10.1	3.0	—	47.5	49.5
【再掲】10歳代・20歳代	122	8.2	42.6	35.2	9.8	4.1	—	50.8	45.1
30歳代	135	3.0	39.3	41.5	10.4	5.9	—	42.2	51.9
40歳代	208	5.3	36.5	40.9	13.5	3.4	0.5	41.8	54.3
50歳代	280	1.4	38.2	41.1	11.8	6.4	1.1	39.6	52.9
60歳代	236	1.3	42.4	39.8	12.3	3.0	1.3	43.6	52.1
70歳以上	349	1.4	49.9	33.8	5.7	6.3	2.9	51.3	39.5
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	4.4	41.0	42.6	8.2	2.2	1.6	45.4	50.8
雇用者（計）	1,293	2.5	40.5	40.1	12.7	3.5	0.7	43.0	52.8
無職（計）	909	2.1	47.0	34.7	9.0	5.7	1.5	49.1	43.7
ライフステージ別									
独身期	280	5.7	46.4	35.0	9.3	3.6	—	52.1	44.3
家族形成期	151	3.3	40.4	45.7	8.6	2.0	—	43.7	54.3
家族成長前期	205	4.9	46.3	35.6	9.8	2.9	0.5	51.2	45.4
家族成長後期	166	3.0	39.8	41.0	9.6	4.8	1.8	42.8	50.6
家族成熟期	373	2.1	38.9	41.3	12.1	4.3	1.3	41.0	53.4
高齢期	611	0.8	53.4	34.4	6.4	3.8	1.3	54.2	40.8
その他	660	2.0	34.1	39.2	17.0	5.8	2.0	36.1	56.2

(4) 各生活面に対する満足度

◇『満足している（計）』は家庭内の夫婦・親子関係についてが75.1%

問4 次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

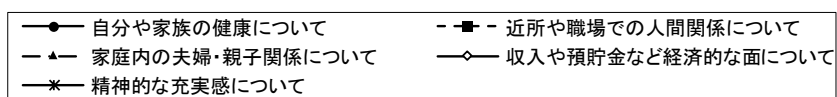
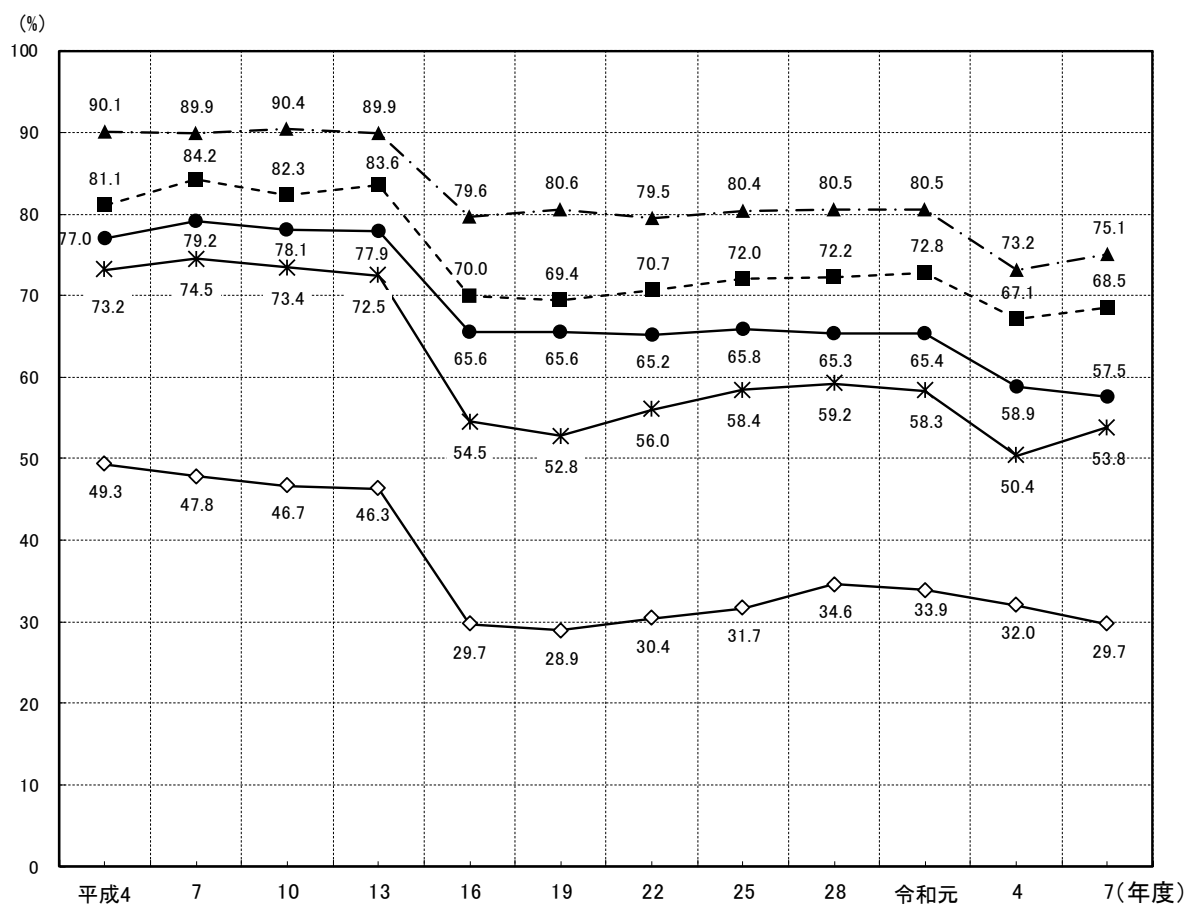


各生活面に対する満足度は、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している（計）』は（3）家庭内の夫婦・親子関係について（75.1%）が7割台半ばと最も高く、次いで（2）近所や職場での人間関係について（68.5%）が7割弱と高くなっている。一方で、「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である（計）』は（4）収入や預貯金など経済的な面について（66.1%）が6割台半ばを超えて最も高く、『満足している（計）』を上回っている。

【経年比較】

平成4年度以降の満足度の推移（3年ごと）をみると、各項目とも平成4年度から13年度までは大きな変化はないが、平成16年度にいずれも大きく減少し、今回調査では「自分や家族の健康について」「収入や預貯金などの経済的な面について」はやや減少、その他の項目では増加している。

○各生活面に対する満足度・平成4年度以降の満足層の推移



（１）自分や家族の健康について

自分や家族の健康についての満足度は、『満足している（計）』（57.5%）は5割台半ばを超え、『不満である（計）』（39.4%）は約4割となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を18.1ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『不満である（計）』がやや増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（74.5%）が7割台半ば、変わらない（67.9%）が6割台半ばを超え、苦しくなった（計）（51.3%）が5割強となっている。

【生活程度別】

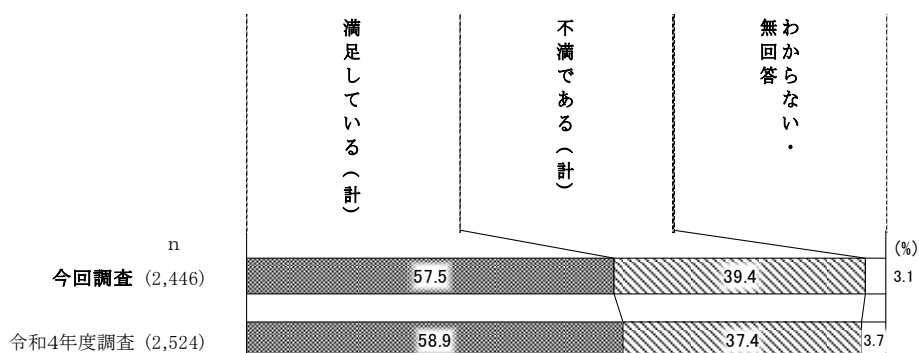
『満足している（計）』は上（計）（76.4%）が7割台半ばを超え、中（計）（63.8%）が6割強、下（計）（39.3%）では約4割と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

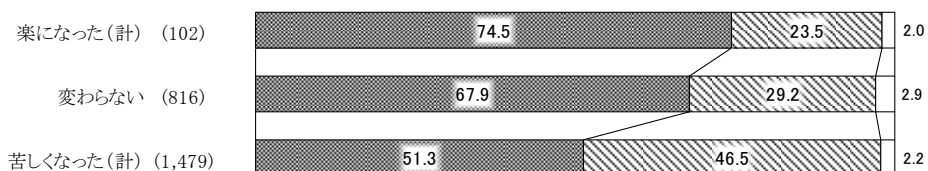
『満足している（計）』は満足している（計）（74.1%）が不満である（計）（44.3%）を29.8ポイント上回っている。

○「（１）自分や家族の健康について」・令和4年度調査との比較／

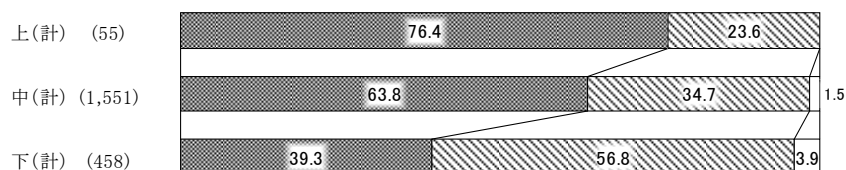
昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



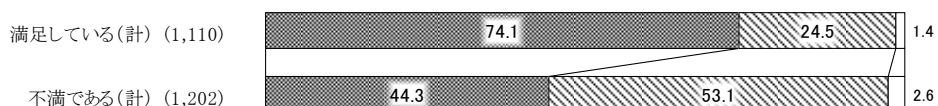
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

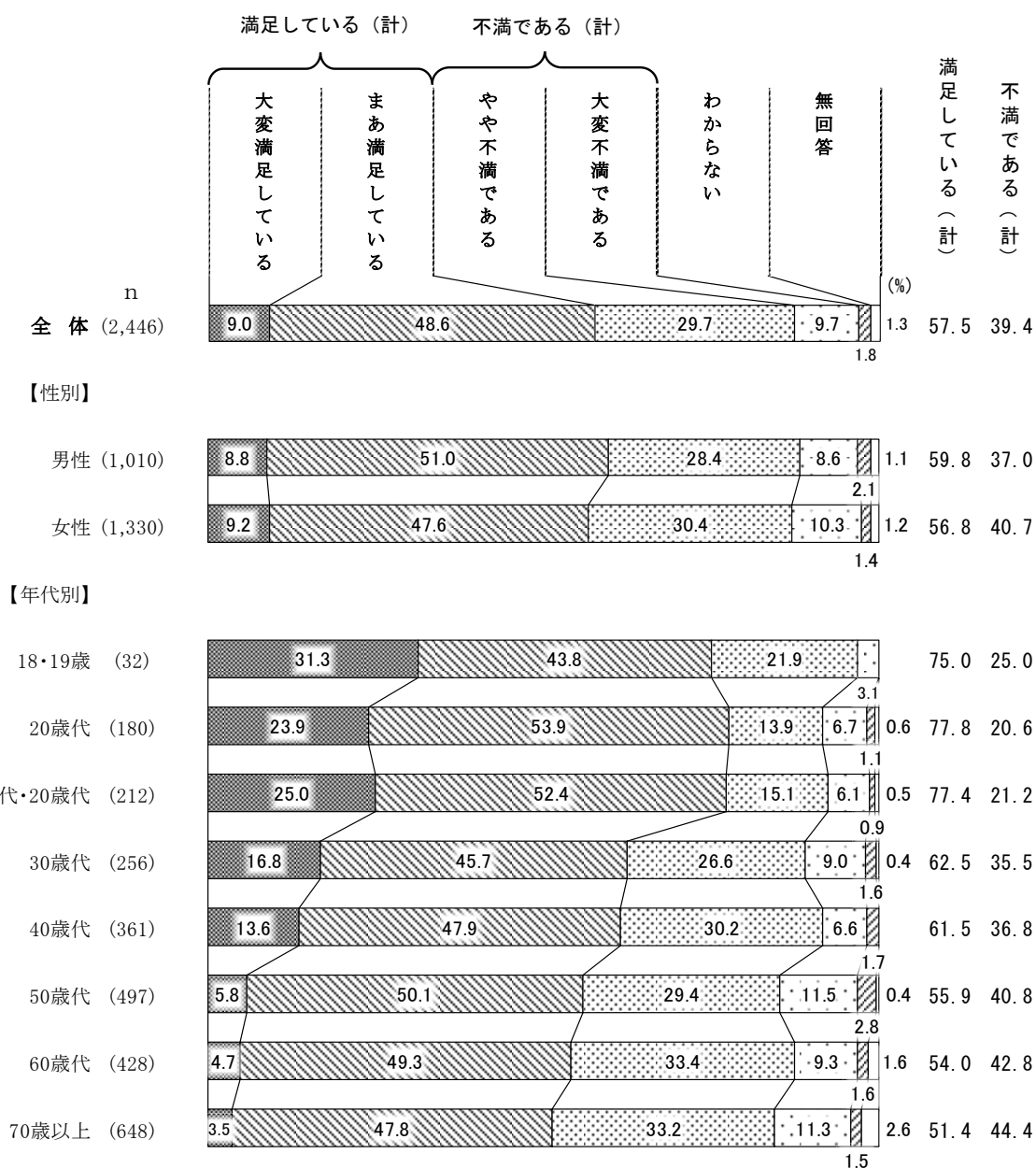
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられないが、『満足している（計）』は男性（59.8%）の方が女性（56.8%）よりも3.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（77.4%）で7割台半ばを超えて最も高く、年代が上がるにつれ割合が低くなっている。

○「（１）自分や家族の健康について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は北部地域（63.9%）で6割強と最も高く、いずれの地域でも半数を超えている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（78.2%）で8割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（62.2%）で6割強と最も高く、いずれの職業でも半数を超えている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族成長前期（75.6%）で7割台半ばと最も高く、一方で、その他は『不満である（計）』を上回っている。

○「（１）自分や家族の健康について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（％）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	9.0	48.6	29.7	9.7	1.8	1.3	57.5	39.4
地域別									
南部地域	245	11.0	48.6	24.9	11.4	2.0	2.0	59.6	36.3
南西部地域	224	8.0	47.3	32.1	10.7	0.9	0.9	55.4	42.9
東部地域	363	6.6	49.9	29.8	10.7	1.4	1.7	56.5	40.5
さいたま地域	447	9.8	50.3	30.4	7.2	1.3	0.9	60.2	37.6
県央地域	181	11.6	46.4	29.8	11.0	1.1	—	58.0	40.9
川越比企地域	253	6.7	47.8	31.6	9.9	2.8	1.2	54.5	41.5
西部地域	271	10.0	48.3	28.8	9.6	2.2	1.1	58.3	38.4
利根地域	217	6.9	46.5	32.3	10.6	2.8	0.9	53.5	42.9
北部地域	166	11.4	52.4	27.1	6.0	1.2	1.8	63.9	33.1
秩父地域	32	15.6	40.6	28.1	9.4	6.3	—	56.3	37.5
性・年代別									
男性／18・19歳	9	44.4	33.3	22.2	—	—	—	77.8	22.2
20歳代	78	17.9	60.3	11.5	6.4	2.6	1.3	78.2	17.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	20.7	57.5	12.6	5.7	2.3	1.1	78.2	18.4
30歳代	109	17.4	44.0	26.6	11.0	—	0.9	61.5	37.6
40歳代	140	12.1	49.3	30.7	4.3	3.6	—	61.4	35.0
50歳代	201	4.5	53.2	28.4	10.4	3.0	0.5	57.7	38.8
60歳代	187	5.9	54.5	27.3	9.1	1.1	2.1	60.4	36.4
70歳以上	286	5.2	48.6	33.6	9.1	2.1	1.4	53.8	42.7
女性／18・19歳	23	26.1	47.8	21.7	4.3	—	—	73.9	26.1
20歳代	99	28.3	48.5	16.2	7.1	—	—	76.8	23.2
【再掲】10歳代・20歳代	122	27.9	48.4	17.2	6.6	—	—	76.2	23.8
30歳代	135	16.3	48.9	25.9	6.7	2.2	—	65.2	32.6
40歳代	208	14.9	48.1	28.4	8.2	0.5	—	63.0	36.5
50歳代	280	6.4	48.2	30.4	12.1	2.5	0.4	54.6	42.5
60歳代	236	3.8	46.2	37.7	9.3	1.7	1.3	50.0	47.0
70歳以上	349	2.3	47.0	33.0	13.5	0.9	3.4	49.3	46.4
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	8.2	49.7	30.6	8.2	2.2	1.1	57.9	38.8
雇用者（計）	1,293	11.4	50.7	27.7	8.0	1.7	0.5	62.2	35.7
無職（計）	909	5.9	45.7	32.3	12.3	1.7	2.1	51.6	44.7
ライフステージ別									
独身期	280	20.4	44.6	22.5	10.4	1.8	0.4	65.0	32.9
家族形成期	151	16.6	57.6	20.5	4.0	0.7	0.7	74.2	24.5
家族成長前期	205	17.1	58.5	20.0	4.4	—	—	75.6	24.4
家族成長後期	166	11.4	59.0	20.5	4.8	2.4	1.8	70.5	25.3
家族成熟期	373	6.4	49.9	29.0	12.1	1.9	0.8	56.3	41.0
高齢期	611	3.8	53.0	31.9	9.7	0.5	1.1	56.8	41.6
その他	660	5.5	37.6	38.5	12.3	3.8	2.4	43.0	50.8

（２）近所や職場での人間関係について

近所や職場での人間関係についての満足度は、『満足している（計）』（68.5%）は7割弱、『不満である（計）』（23.6%）は2割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を44.9ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『満足している（計）』はやや増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（81.4%）が8割強、変わらない（77.8%）が7割台半ばを超え、苦しくなった（計）（63.6%）では6割強となっている。

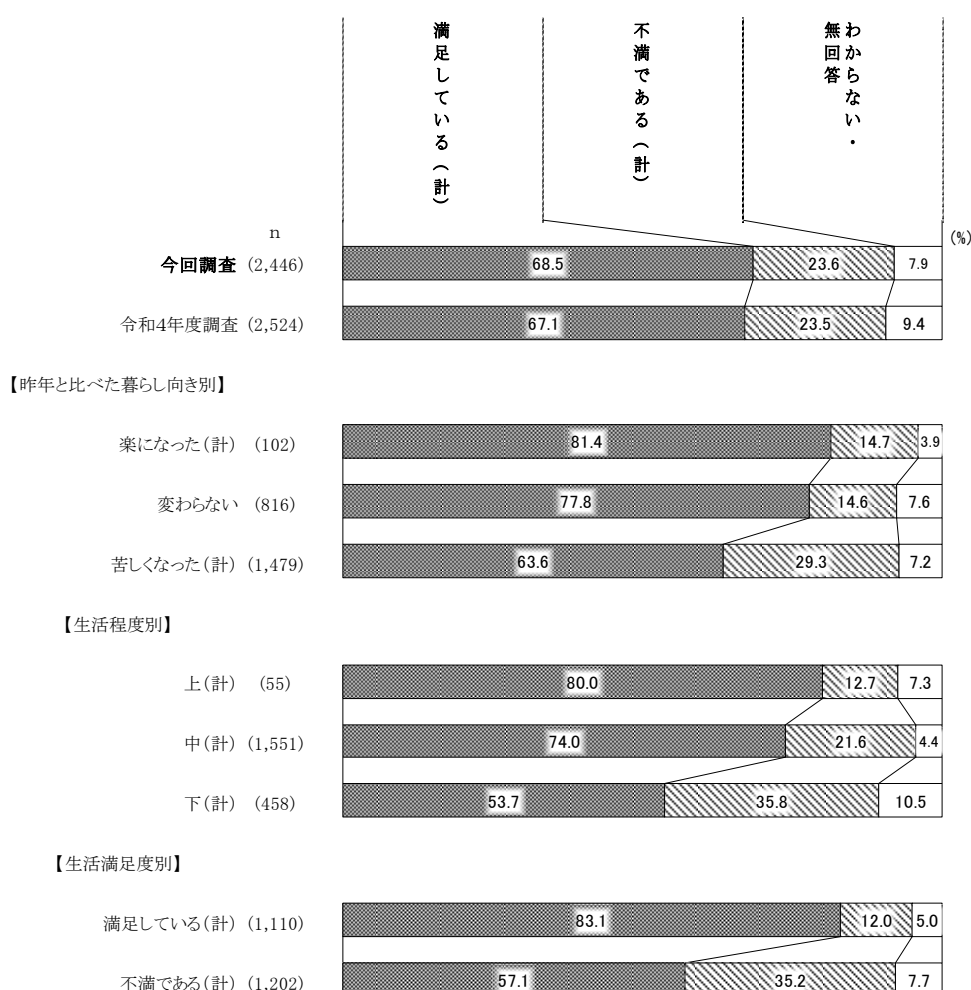
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（80.0%）が8割、中（計）（74.0%）が7割台半ばで、下（計）（53.7%）では5割強と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（83.1%）が不満である（計）（57.1%）を26.0ポイント上回っている。

○「（２）近所や職場での人間関係について」・令和4年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

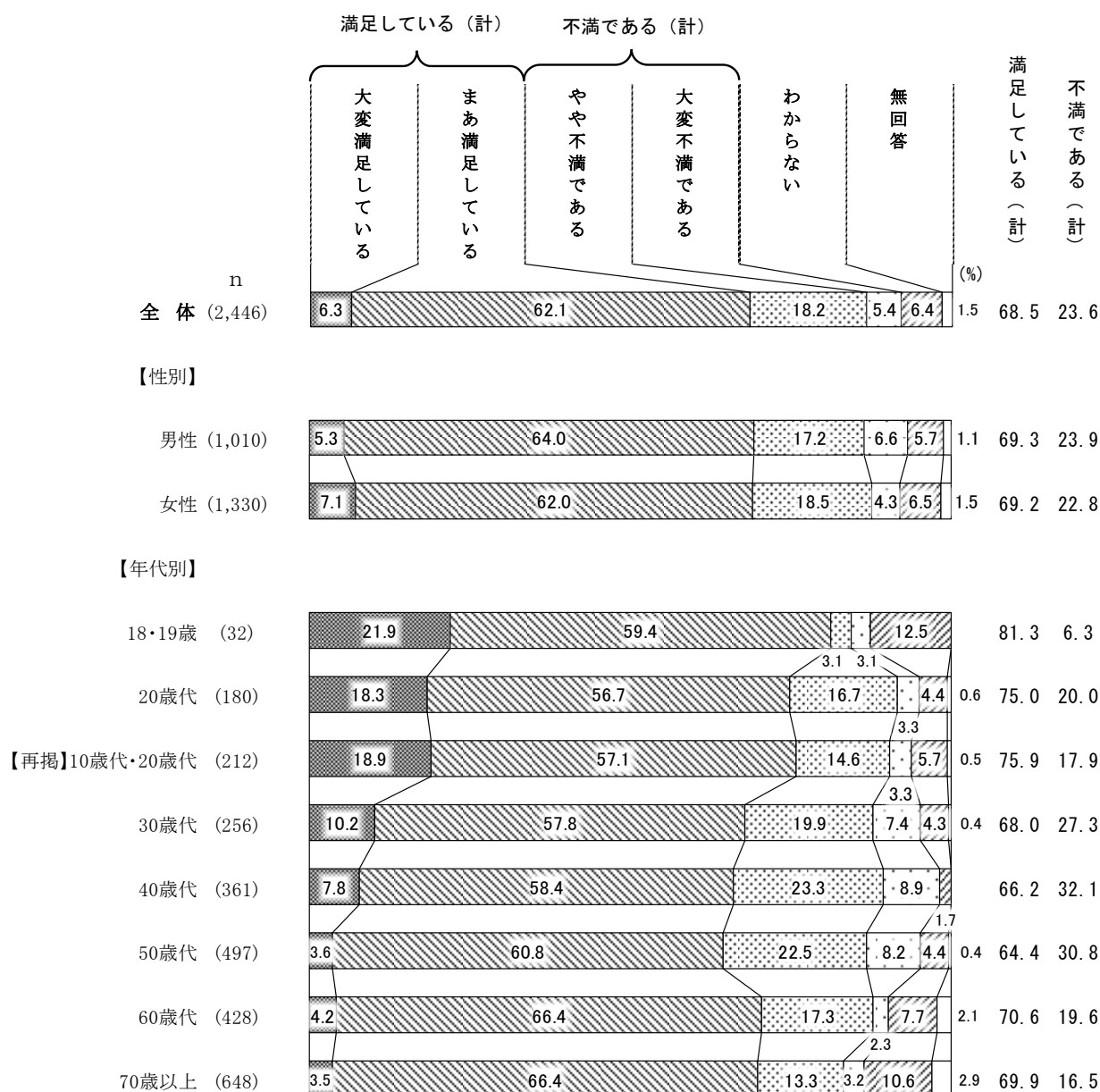
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（75.9%）で7割台半ばと最も高く、いずれの年代でも6割を超えている。

○「（2）近所や職場での人間関係について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は秩父地域（78.1%）で8割弱と最も高く、いずれの地域でも6割を超えている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（79.3%）で約8割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（72.1%）で7割強と最も高く、いずれの職業でも6割台半ばを超えている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（78.1%）で8割弱と最も高く、いずれのライフステージでも半数を超えている。

○「（2）近所や職場での人間関係について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	(%)	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	6.3	62.1	18.2	5.4	6.4	1.5	68.5	23.6
地域別									
南部地域	245	6.9	60.4	18.0	6.5	6.5	1.6	67.3	24.5
南西部地域	224	4.5	62.1	19.2	7.6	5.4	1.3	66.5	26.8
東部地域	363	6.6	58.1	19.3	5.5	8.5	1.9	64.7	24.8
さいたま地域	447	8.1	65.1	17.2	2.7	5.8	1.1	73.2	19.9
県央地域	181	7.2	66.3	16.6	2.8	7.2	-	73.5	19.3
川越比企地域	253	7.1	58.9	19.0	7.5	5.9	1.6	66.0	26.5
西部地域	271	4.8	64.9	17.3	5.9	6.3	0.7	69.7	23.2
利根地域	217	5.5	60.8	19.8	6.0	6.5	1.4	66.4	25.8
北部地域	166	6.0	62.0	18.7	6.6	4.2	2.4	68.1	25.3
秩父地域	32	-	78.1	12.5	6.3	3.1	-	78.1	18.8
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	44.4	-	-	22.2	-	77.8	-
20歳代	78	12.8	66.7	9.0	3.8	6.4	1.3	79.5	12.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	14.9	64.4	8.0	3.4	8.0	1.1	79.3	11.5
30歳代	109	10.1	56.9	18.3	10.1	3.7	0.9	67.0	28.4
40歳代	140	5.0	62.1	19.3	11.4	2.1	-	67.1	30.7
50歳代	201	2.0	60.7	22.9	9.0	5.0	0.5	62.7	31.8
60歳代	187	2.7	72.2	16.6	3.2	3.7	1.6	74.9	19.8
70歳以上	286	4.9	64.3	15.0	4.5	9.4	1.7	69.2	19.6
女性／18・19歳	23	17.4	65.2	4.3	4.3	8.7	-	82.6	8.7
20歳代	99	23.2	47.5	23.2	3.0	3.0	-	70.7	26.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	22.1	50.8	19.7	3.3	4.1	-	73.0	23.0
30歳代	135	10.4	62.2	19.3	3.7	4.4	-	72.6	23.0
40歳代	208	9.6	57.7	24.0	7.2	1.4	-	67.3	31.3
50歳代	280	4.6	61.8	21.8	7.5	3.9	0.4	66.4	29.3
60歳代	236	5.5	62.3	18.2	1.7	9.7	2.5	67.8	19.9
70歳以上	349	2.3	68.5	12.0	2.3	11.2	3.7	70.8	14.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	9.8	62.3	13.1	6.0	7.7	1.1	72.1	19.1
雇用者（計）	1,293	7.2	62.0	21.4	6.5	2.3	0.5	69.2	27.9
無職（計）	909	4.6	62.8	14.7	3.7	11.7	2.4	67.4	18.5
ライフステージ別									
独身期	280	13.2	54.3	18.2	6.8	7.1	0.4	67.5	25.0
家族形成期	151	13.2	64.9	15.9	3.3	2.0	0.7	78.1	19.2
家族成長前期	205	11.7	64.4	17.1	5.9	1.0	-	76.1	22.9
家族成長後期	166	5.4	67.5	16.9	4.8	3.6	1.8	72.9	21.7
家族成熟期	373	4.6	65.4	18.2	5.9	4.8	1.1	70.0	24.1
高齢期	611	3.3	71.7	14.7	2.5	6.9	1.0	75.0	17.2
その他	660	4.2	52.1	22.4	7.9	10.0	3.3	56.4	30.3

（３）家庭内の夫婦・親子関係について

家庭内の夫婦・親子関係についての満足度は、『満足している（計）』（75.1%）は7割台半ば、『不満である（計）』（17.4%）は1割台半ばを超えている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を57.7ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『満足している（計）』はやや増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（83.3%）と変わらない（81.1%）が8割強、苦しくなった（計）（72.0%）では7割強となっている。

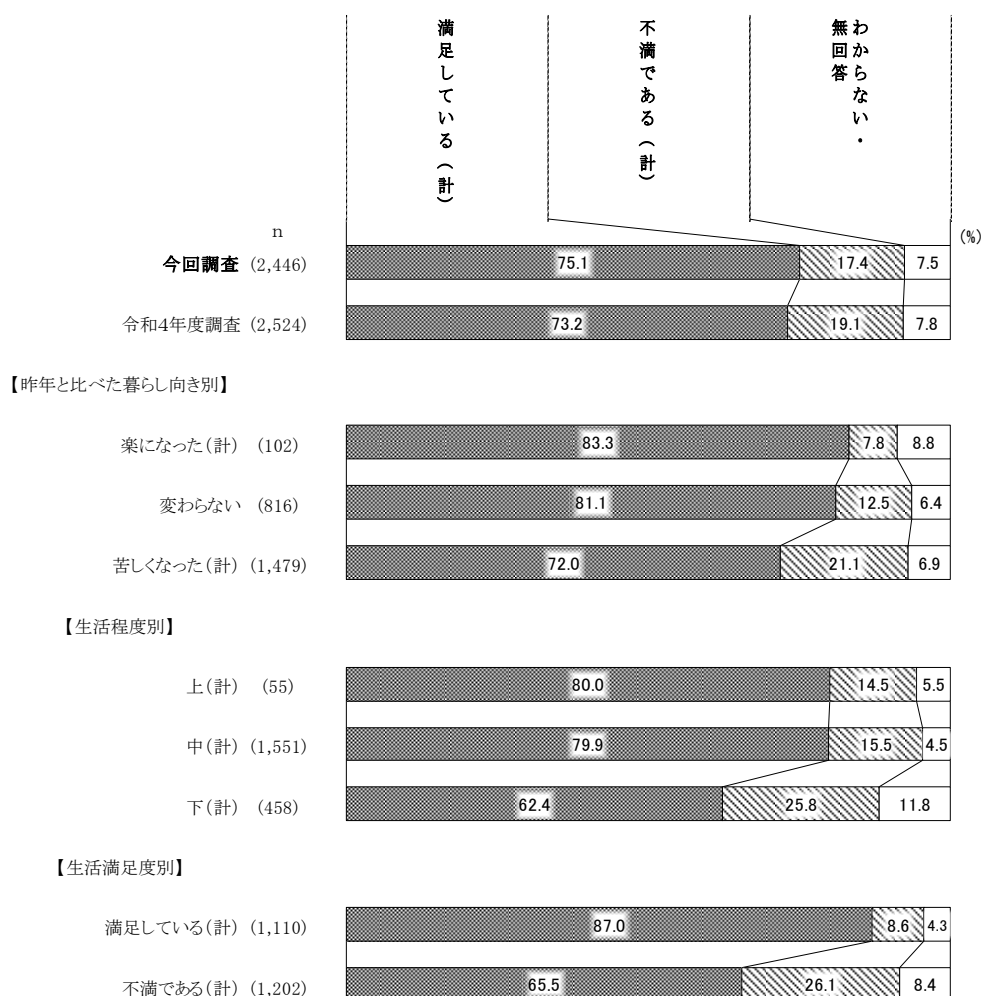
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（80.0%）が8割、中（計）（79.9%）が約8割で、下（計）（62.4%）では6割強と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（87.0%）が不満である（計）（65.5%）を21.5ポイント上回っている。

○「（３）家庭内の夫婦・親子関係について」・令和4年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

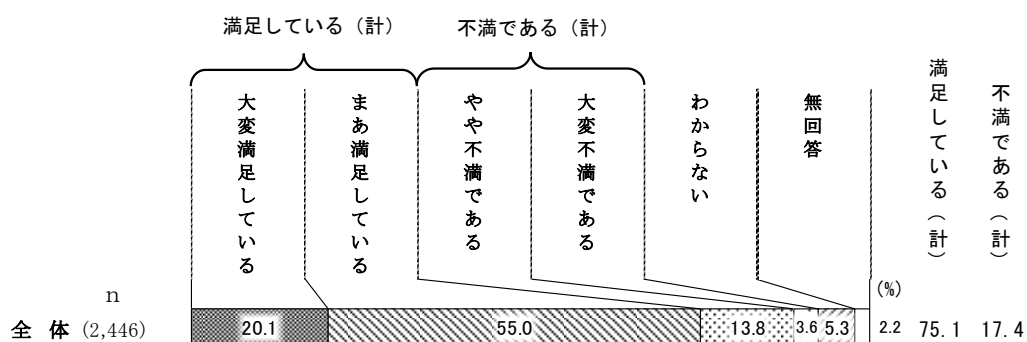
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

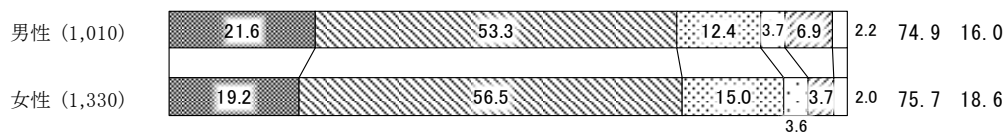
② 年代別

『満足している（計）』は40歳代（78.1%）で8割弱と最も高く、いずれの年代でも7割強以上となっている。

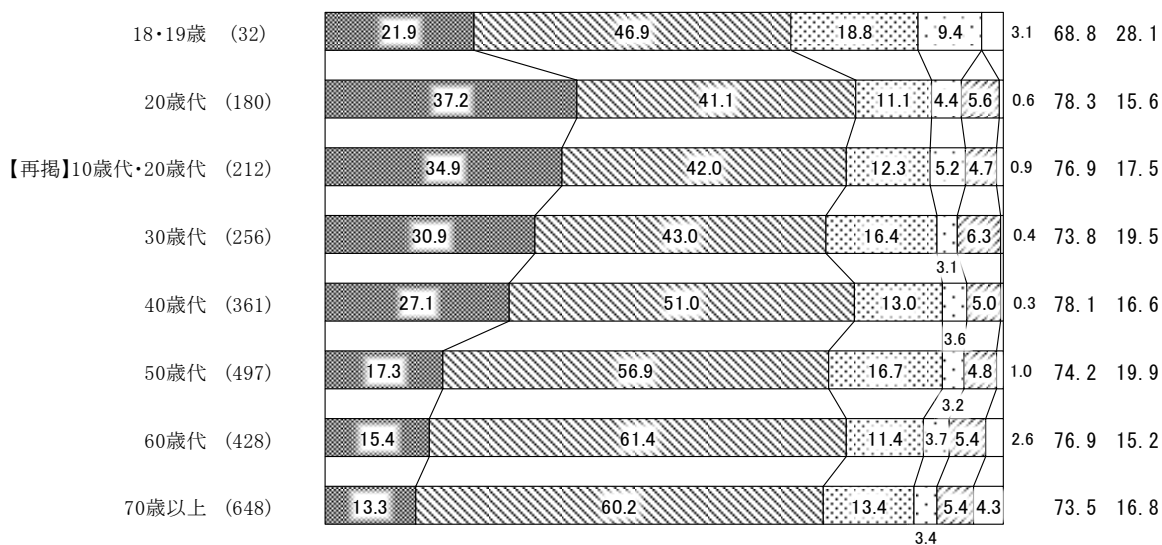
○「（3）家庭内の夫婦・親子関係について」・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『満足している（計）』は秩父地域（84.4%）で8割台半ばと最も高く、いずれの地域でも6割半ば以上となっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（81.6%）で8割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（77.0%）で7割台半ばを超えて最も高く、いずれの職業でも7割台半ば以上となっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（86.1%）で8割台半ばを超えて最も高く、いずれのライフステージでも6割半ば以上となっている。

○「（3）家庭内の夫婦・親子関係について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（％）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	20.1	55.0	13.8	3.6	5.3	2.2	75.1	17.4
地域別									
南部地域	245	24.5	49.4	13.5	3.3	6.9	2.4	73.9	16.7
南西部地域	224	22.8	45.1	16.5	7.6	4.9	3.1	67.9	24.1
東部地域	363	20.1	55.9	12.9	3.0	5.8	2.2	76.0	16.0
さいたま地域	447	21.0	59.5	9.2	3.4	4.9	2.0	80.5	12.5
県央地域	181	22.1	54.7	14.9	4.4	3.9	—	76.8	19.3
川越比企地域	253	17.0	58.1	14.6	3.6	5.5	1.2	75.1	18.2
西部地域	271	21.0	54.2	17.3	1.5	4.8	1.1	75.3	18.8
利根地域	217	12.0	53.9	17.5	6.0	7.4	3.2	65.9	23.5
北部地域	166	21.7	59.0	13.3	0.6	2.4	3.0	80.7	13.9
秩父地域	32	25.0	59.4	12.5	—	3.1	—	84.4	12.5
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	55.6	11.1	—	—	—	88.9	11.1
20歳代	78	33.3	47.4	6.4	5.1	6.4	1.3	80.8	11.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	33.3	48.3	6.9	4.6	5.7	1.1	81.6	11.5
30歳代	109	31.2	41.3	14.7	0.9	11.0	0.9	72.5	15.6
40歳代	140	23.6	50.7	15.0	2.1	8.6	—	74.3	17.1
50歳代	201	17.9	54.2	16.4	3.0	8.0	0.5	72.1	19.4
60歳代	187	19.3	60.4	7.5	4.8	5.3	2.7	79.7	12.3
70歳以上	286	17.5	55.2	12.2	4.9	5.2	4.9	72.7	17.1
女性／18・19歳	23	17.4	43.5	21.7	13.0	—	4.3	60.9	34.8
20歳代	99	40.4	35.4	15.2	4.0	5.1	—	75.8	19.2
【再掲】10歳代・20歳代	122	36.1	36.9	16.4	5.7	4.1	0.8	73.0	22.1
30歳代	135	30.4	44.4	18.5	4.4	2.2	—	74.8	23.0
40歳代	208	29.8	51.0	12.0	4.8	1.9	0.5	80.8	16.8
50歳代	280	16.8	59.3	16.1	3.6	2.9	1.4	76.1	19.6
60歳代	236	12.3	62.7	14.8	3.0	4.7	2.5	75.0	17.8
70歳以上	349	9.2	65.0	14.3	2.3	5.2	4.0	74.2	16.6
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	21.3	55.7	12.6	2.7	6.0	1.6	77.0	15.3
雇用者（計）	1,293	22.8	52.6	14.1	3.7	5.8	1.0	75.4	17.8
無職（計）	909	16.8	58.1	14.0	3.5	4.2	3.4	74.9	17.5
ライフステージ別									
独身期	280	27.9	41.1	15.7	5.7	8.9	0.7	68.9	21.4
家族形成期	151	38.4	47.7	9.9	2.6	0.7	0.7	86.1	12.6
家族成長前期	205	31.7	47.8	15.6	2.9	2.0	—	79.5	18.5
家族成長後期	166	21.1	63.3	12.0	0.6	0.6	2.4	84.3	12.7
家族成熟期	373	16.4	58.4	16.4	4.6	3.2	1.1	74.8	20.9
高齢期	611	15.7	66.4	11.5	2.8	2.1	1.5	82.2	14.2
その他	660	15.0	50.2	14.4	4.2	11.2	5.0	65.2	18.6

（４）収入や預貯金など経済的な面について

収入や預貯金など経済的な面についての満足度は、『満足している（計）』（29.7%）は約3割、『不満である（計）』（66.1%）は6割台半ばを超えている。『不満である（計）』が『満足している（計）』を36.4ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『満足している（計）』はやや減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（56.9%）が5割台半ばを超えて、変わらない（54.3%）が5割台半ば、苦しくなった（計）では『不満である（計）』（82.8%）が8割強となっている。

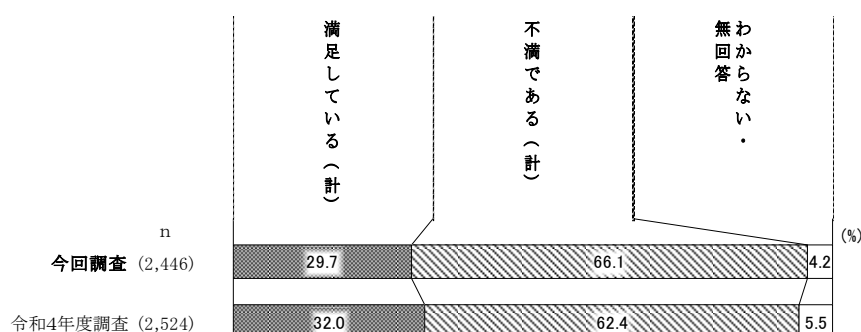
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（74.5%）が7割台半ば、『不満である（計）』は下（計）（88.6%）が9割弱となっている。

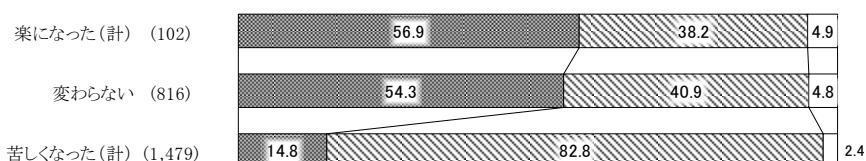
【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（57.3%）が不満である（計）（5.9%）を51.4ポイント上回っている。

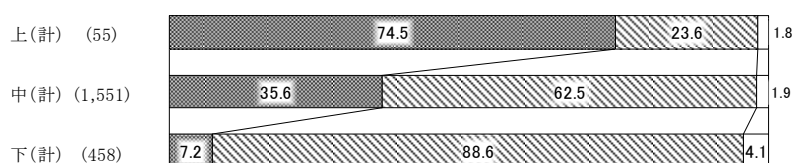
○「（４）収入や預貯金など経済的な面について」・令和4年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



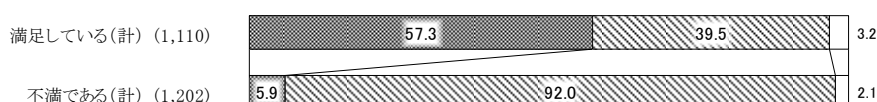
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

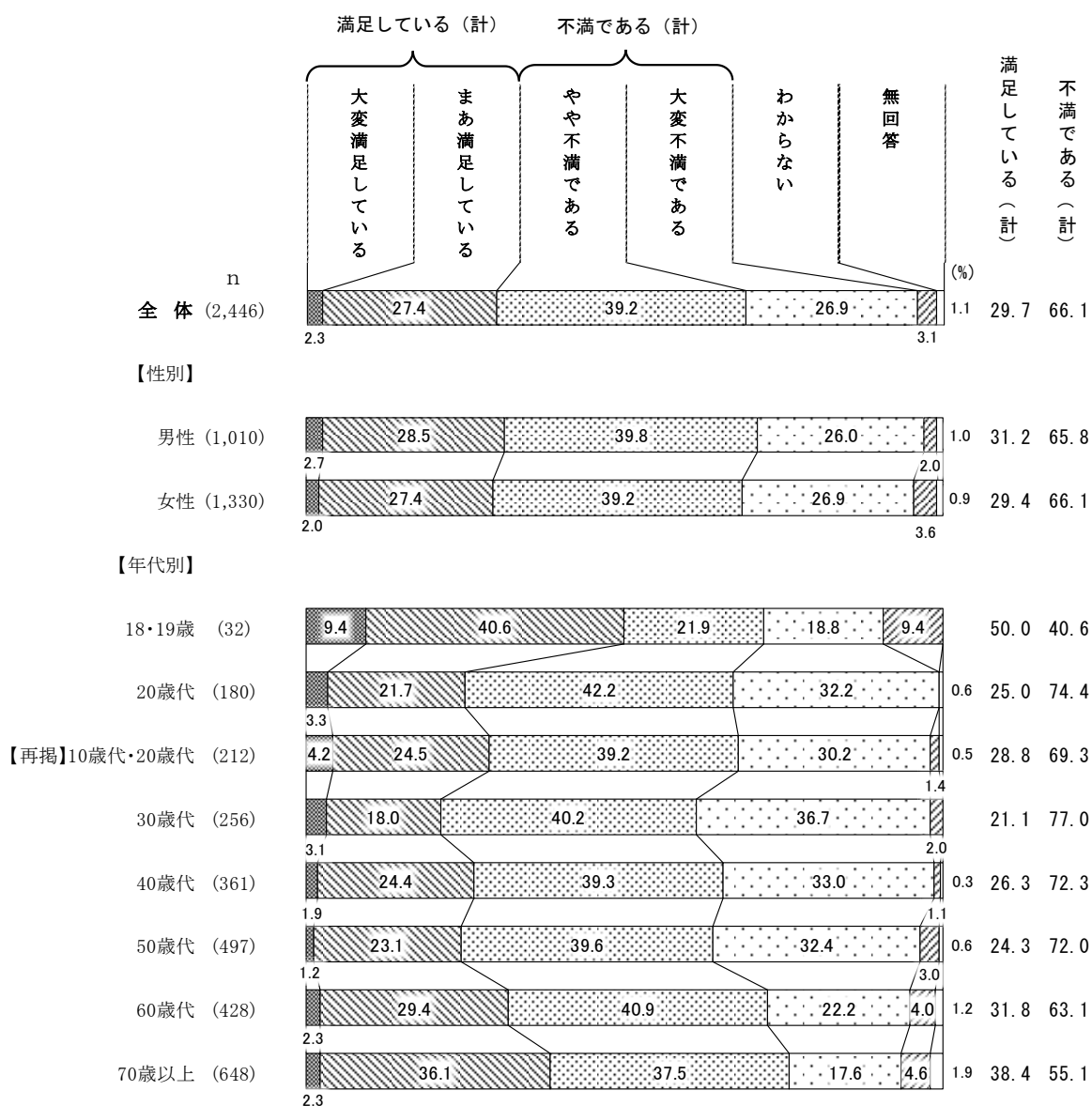
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『満足している（計）』は70歳以上（38.4%）で4割弱と最も高くなっている。

○「（４）収入や預貯金など経済的な面について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』はさいたま地域（32.7%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は女性70歳以上（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は無職（計）（35.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（40.9%）で4割を超えて最も高くなっている。

○「（4）収入や預貯金など経済的な面について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（％）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	2.3	27.4	39.2	26.9	3.1	1.1	29.7	66.1
地域別									
南部地域	245	3.7	27.3	35.1	30.2	2.9	0.8	31.0	65.3
南西部地域	224	1.8	27.7	39.3	27.2	2.7	1.3	29.5	66.5
東部地域	363	1.7	27.3	38.3	28.4	3.0	1.4	28.9	66.7
さいたま地域	447	2.0	30.6	37.6	24.6	4.3	0.9	32.7	62.2
県央地域	181	3.3	23.8	41.4	27.6	3.9	-	27.1	69.1
川越比企地域	253	2.0	30.0	36.4	28.9	2.0	0.8	32.0	65.2
西部地域	271	3.0	25.1	42.1	28.0	1.1	0.7	28.0	70.1
利根地域	217	1.4	25.8	41.0	25.8	5.1	0.9	27.2	66.8
北部地域	166	3.0	26.5	46.4	21.1	1.8	1.2	29.5	67.5
秩父地域	32	-	25.0	43.8	25.0	6.3	-	25.0	68.8
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	66.7	11.1	11.1	11.1	-	66.7	22.2
20歳代	78	3.8	20.5	43.6	30.8	-	1.3	24.4	74.4
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	25.3	40.2	28.7	1.1	1.1	28.7	69.0
30歳代	109	6.4	18.3	42.2	32.1	0.9	-	24.8	74.3
40歳代	140	2.1	26.4	42.1	27.9	1.4	-	28.6	70.0
50歳代	201	0.5	24.4	37.8	34.8	1.5	1.0	24.9	72.6
60歳代	187	2.1	33.2	41.7	19.8	2.1	1.1	35.3	61.5
70歳以上	286	3.1	34.3	37.8	19.9	3.1	1.7	37.4	57.7
女性／18・19歳	23	13.0	30.4	26.1	21.7	8.7	-	43.5	47.8
20歳代	99	3.0	23.2	40.4	33.3	-	-	26.3	73.7
【再掲】10歳代・20歳代	122	4.9	24.6	37.7	31.1	1.6	-	29.5	68.9
30歳代	135	0.7	18.5	39.3	38.5	3.0	-	19.3	77.8
40歳代	208	1.9	24.0	38.9	34.6	-	0.5	26.0	73.6
50歳代	280	1.4	22.9	41.4	30.4	3.6	0.4	24.3	71.8
60歳代	236	2.5	27.1	40.3	23.7	5.1	1.3	29.7	64.0
70歳以上	349	1.4	37.8	37.2	15.8	5.7	2.0	39.3	53.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	4.9	29.0	34.4	28.4	2.7	0.5	33.9	62.8
雇用者（計）	1,293	2.2	23.0	42.5	30.3	1.5	0.5	25.2	72.8
無職（計）	909	2.0	33.4	36.0	21.9	5.2	1.5	35.4	57.9
ライフステージ別									
独身期	280	3.9	22.5	37.1	34.3	1.8	0.4	26.4	71.4
家族形成期	151	2.6	20.5	41.1	33.1	2.0	0.7	23.2	74.2
家族成長前期	205	2.4	28.8	42.9	25.4	0.5	-	31.2	68.3
家族成長後期	166	2.4	24.7	44.0	21.7	5.4	1.8	27.1	65.7
家族成熟期	373	0.8	26.8	37.8	30.8	2.9	0.8	27.6	68.6
高齢期	611	2.6	38.3	41.2	14.2	3.1	0.5	40.9	55.5
その他	660	2.0	21.7	36.1	33.6	4.4	2.3	23.6	69.7

（５）精神的な充実感について

精神的な充実感についての満足度は、『満足している（計）』（53.8%）は5割強、『不満である（計）』（41.0%）は4割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を12.8ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『満足している（計）』はやや増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（70.6%）が7割を超え、変わらない（69.6%）が約7割で、苦しくなった（計）（44.6%）では4割台半ばにとどまっている。

【生活程度別】

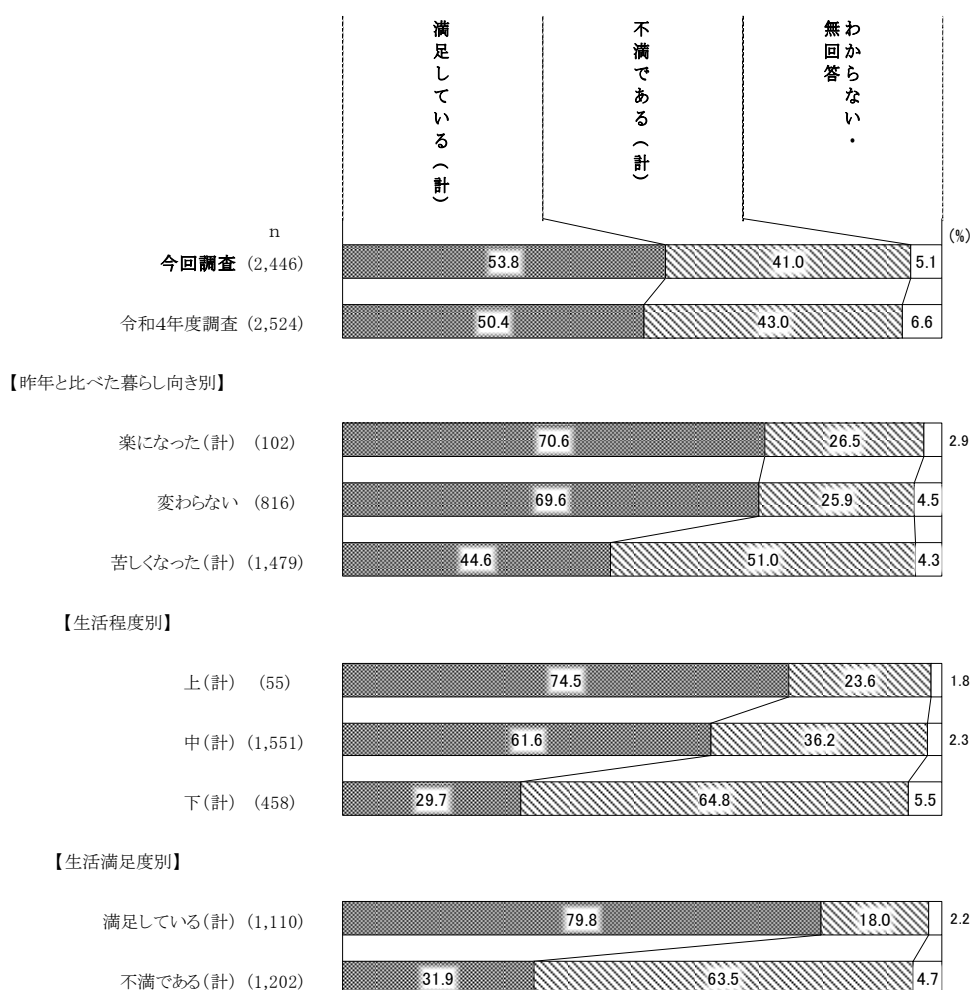
『満足している（計）』は上（計）（74.5%）が7割台半ば、中（計）（61.6%）が6割強で、下（計）（29.7%）では約3割と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（79.8%）が不満である（計）（31.9%）を47.9ポイント上回っている。

○「（５）精神的な充実感について」・令和4年度調査との比較／

昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

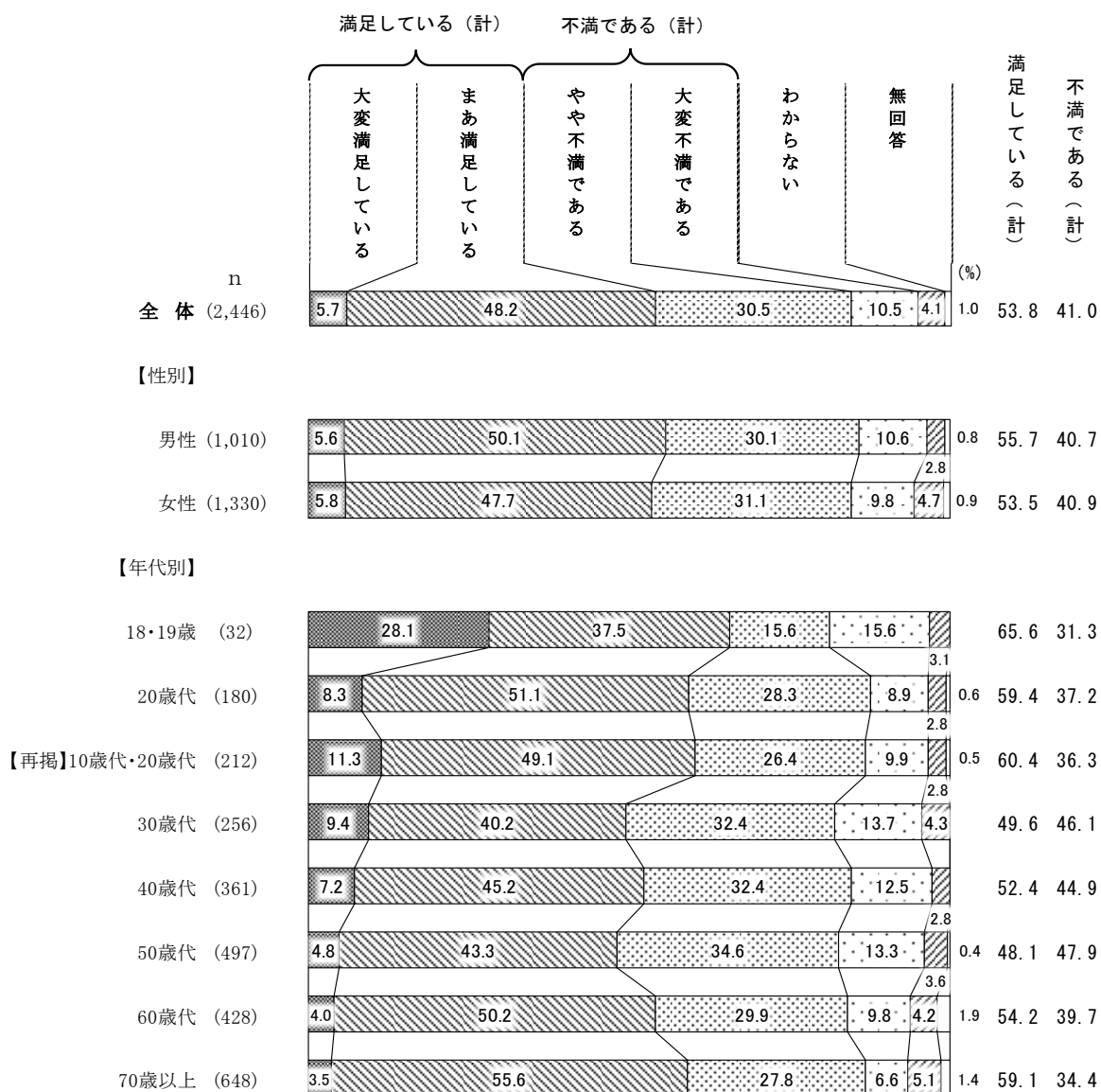
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（60.4%）で6割を超えて最も高くなっている。

○「（５）精神的な充実感について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は北部地域（58.4％）で6割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性60歳代（61.5％）で6割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（57.4％）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（64.9％）で6割台半ばと最も高くなっている。

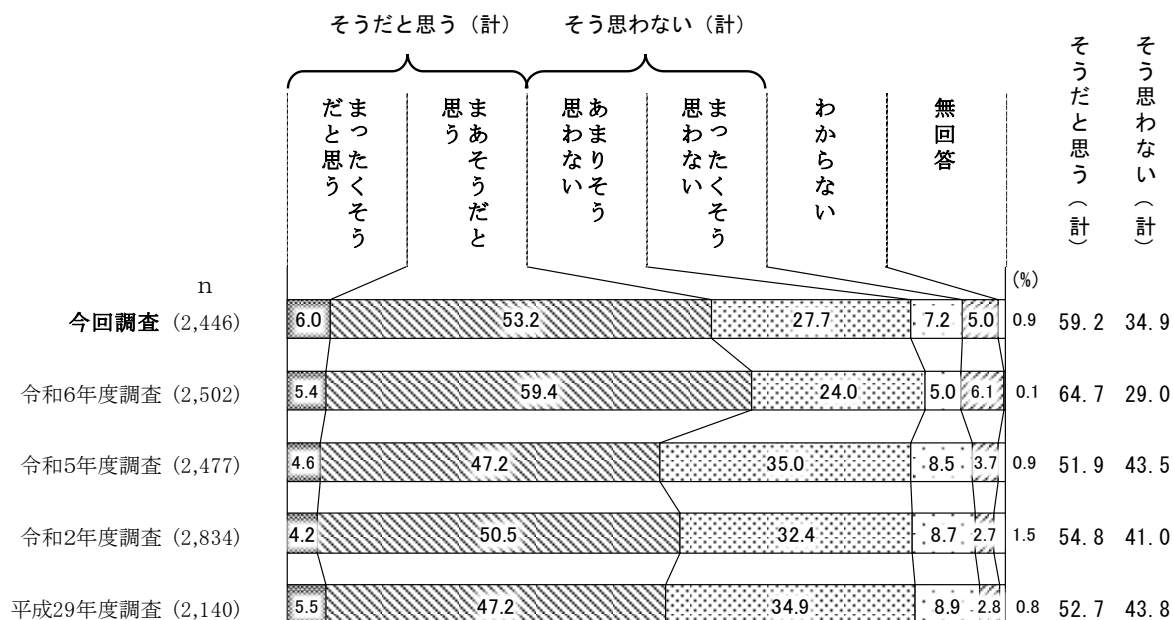
○「（5）精神的な充実感について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（％）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,446	5.7	48.2	30.5	10.5	4.1	1.0	53.8	41.0
地域別									
南部地域	245	6.1	46.9	29.0	12.7	4.5	0.8	53.1	41.6
南西部地域	224	4.5	50.9	29.5	12.1	2.7	0.4	55.4	41.5
東部地域	363	5.8	48.8	29.8	9.9	4.4	1.4	54.5	39.7
さいたま地域	447	6.7	50.8	30.2	9.2	2.2	0.9	57.5	39.4
県央地域	181	2.2	51.9	30.9	9.4	5.5	—	54.1	40.3
川越比企地域	253	5.1	45.8	31.2	12.6	4.3	0.8	51.0	43.9
西部地域	271	7.7	42.4	33.9	11.8	3.3	0.7	50.2	45.8
利根地域	217	2.8	48.4	33.2	10.1	5.5	—	51.2	43.3
北部地域	166	10.2	48.2	27.7	6.6	5.4	1.8	58.4	34.3
秩父地域	32	3.1	50.0	31.3	9.4	6.3	—	53.1	40.6
性・年代別									
男性／18・19歳	9	55.6	22.2	11.1	11.1	—	—	77.8	22.2
20歳代	78	9.0	48.7	32.1	6.4	2.6	1.3	57.7	38.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	13.8	46.0	29.9	6.9	2.3	1.1	59.8	36.8
30歳代	109	10.1	44.0	27.5	16.5	1.8	—	54.1	44.0
40歳代	140	7.1	42.9	35.7	11.4	2.9	—	50.0	47.1
50歳代	201	3.0	43.8	35.8	13.9	3.0	0.5	46.8	49.8
60歳代	187	4.3	57.2	27.3	8.6	1.6	1.1	61.5	35.8
70歳以上	286	3.5	57.0	26.2	8.0	3.8	1.4	60.5	34.3
女性／18・19歳	23	17.4	43.5	17.4	17.4	4.3	—	60.9	34.8
20歳代	99	8.1	52.5	26.3	10.1	3.0	—	60.6	36.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	9.8	50.8	24.6	11.5	3.3	—	60.7	36.1
30歳代	135	9.6	40.0	35.6	8.9	5.9	—	49.6	44.4
40歳代	208	7.7	47.6	30.3	12.0	2.4	—	55.3	42.3
50歳代	280	5.7	44.3	33.6	12.1	3.9	0.4	50.0	45.7
60歳代	236	3.8	45.8	31.4	11.0	5.5	2.5	49.6	42.4
70歳以上	349	3.2	53.9	29.8	5.7	6.0	1.4	57.0	35.5
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	9.3	48.1	28.4	11.5	1.6	1.1	57.4	39.9
雇用者（計）	1,293	5.5	47.2	32.7	10.6	3.6	0.5	52.7	43.3
無職（計）	909	5.5	49.9	28.2	10.2	5.0	1.2	55.4	38.4
ライフステージ別									
独身期	280	10.0	39.6	31.1	15.0	3.9	0.4	49.6	46.1
家族形成期	151	9.3	55.6	22.5	7.9	4.6	—	64.9	30.5
家族成長前期	205	8.8	48.8	35.1	6.8	0.5	—	57.6	42.0
家族成長後期	166	4.8	53.6	30.1	6.6	3.0	1.8	58.4	36.7
家族成熟期	373	4.6	45.8	32.7	11.3	5.1	0.5	50.4	44.0
高齢期	611	2.9	59.6	27.3	7.2	2.1	0.8	62.5	34.5
その他	660	5.5	39.2	32.4	14.1	6.8	2.0	44.7	46.5

（５）地域の安全性

◇『そうだと思う（計）』は 59.2%、『そう思わない（計）』は 34.9%

問５ あなたは、日頃の生活の中で今お住まいの地域について、犯罪におびやかされることなく生活ができると感じますか。（○は１つだけ）



地域の安全性は、「まあそうだと思う」（53.2%）が5割強と最も高く、次いで「あまりそう思わない」（27.7%）となっている。「まったくそうだと思う」（6.0%）と「まあそうだと思う」（53.2%）を合わせた『そうだと思う（計）』（59.2%）は約6割、「まったくそう思わない」（7.2%）と「あまりそう思わない」（27.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（34.9%）は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、『そう思わない（計）』（34.9%）が5.9ポイント増加している。

【属性別比較】

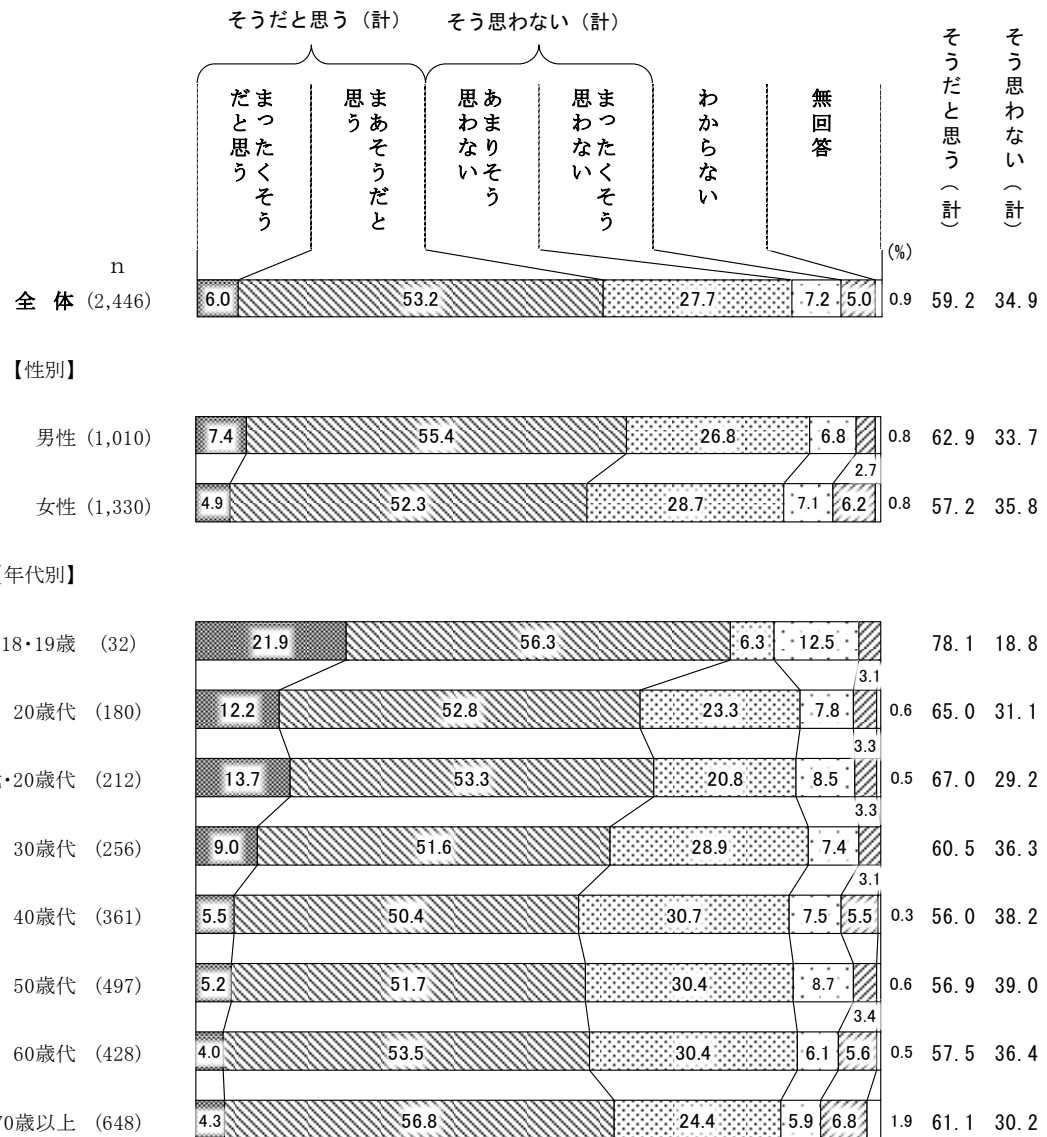
① 性別

『そうだと思う（計）』は男性（62.9%）の方が女性（57.2%）よりも5.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『そうだと思う（計）』は10歳代・20歳代（67.0%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『そう思わない（計）』は50歳代（39.0%）で約4割と最も高くなっている。

○地域の安全性・性別／年代別



③ 地域別

『そうだと思う（計）』は川越比企地域（66.4％）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『そう思わない（計）』は南部地域（51.4％）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『そうだと思う（計）』は男性10歳代・20歳代（74.7％）で7割台半ばと最も高くなっている。一方で、『そう思わない（計）』は女性50歳代（39.3％）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『そうだと思う（計）』は雇用者（計）（60.2％）で6割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『そうだと思う（計）』は独身期（66.4％）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『そう思わない（計）』はその他（39.2％）で約4割と最も高くなっている。

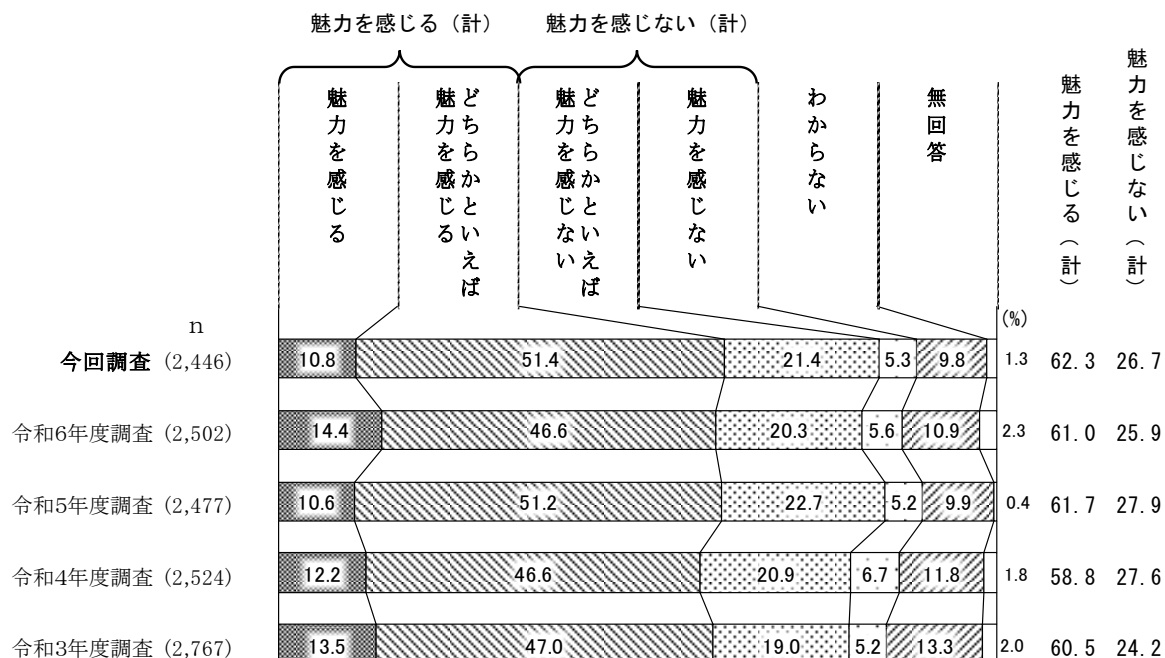
○地域の安全性・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	（％）	
								そうだと思う（計）	そう思わない（計）
全 体	2,446	6.0	53.2	27.7	7.2	5.0	0.9	59.2	34.9
地域別									
南部地域	245	4.1	39.6	35.1	16.3	4.1	0.8	43.7	51.4
南西部地域	224	5.8	56.3	25.0	6.3	6.7	-	62.1	31.3
東部地域	363	3.6	48.2	32.2	9.1	5.5	1.4	51.8	41.3
さいたま地域	447	8.9	55.5	26.0	3.8	5.4	0.4	64.4	29.8
県央地域	181	6.1	57.5	26.0	6.1	4.4	-	63.5	32.0
川越比企地域	253	6.3	60.1	23.7	5.5	3.2	1.2	66.4	29.2
西部地域	271	6.3	58.3	26.6	3.7	4.1	1.1	64.6	30.3
利根地域	217	5.1	51.6	27.2	8.3	6.9	0.9	56.7	35.5
北部地域	166	6.0	56.0	23.5	7.8	5.4	1.2	62.0	31.3
秩父地域	32	6.3	46.9	43.8	3.1	-	-	53.1	46.9
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	-	-	-	-	100.0	-
20歳代	78	15.4	56.4	20.5	5.1	1.3	1.3	71.8	25.6
【再掲】10歳代・20歳代	87	17.2	57.5	18.4	4.6	1.1	1.1	74.7	23.0
30歳代	109	11.9	55.0	25.7	7.3	-	-	67.0	33.0
40歳代	140	6.4	51.4	30.0	7.9	4.3	-	57.9	37.9
50歳代	201	7.5	51.7	27.9	10.4	1.5	1.0	59.2	38.3
60歳代	187	4.3	56.1	31.6	5.9	1.6	0.5	60.4	37.4
70歳以上	286	5.2	59.1	24.5	4.9	4.9	1.4	64.3	29.4
女性／18・19歳	23	17.4	52.2	8.7	17.4	4.3	-	69.6	26.1
20歳代	99	10.1	48.5	26.3	10.1	5.1	-	58.6	36.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	11.5	49.2	23.0	11.5	4.9	-	60.7	34.4
30歳代	135	6.7	51.9	30.4	6.7	4.4	-	58.5	37.0
40歳代	208	5.3	50.0	31.3	6.7	6.3	0.5	55.3	38.0
50歳代	280	3.2	52.5	32.9	6.4	4.6	0.4	55.7	39.3
60歳代	236	3.8	52.1	30.1	6.4	7.2	0.4	55.9	36.4
70歳以上	349	3.7	55.0	24.4	6.9	7.7	2.3	58.7	31.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	6.6	49.2	28.4	9.8	5.5	0.5	55.7	38.3
雇用者（計）	1,293	6.5	53.7	28.5	7.1	3.6	0.6	60.2	35.6
無職（計）	909	5.2	53.8	26.8	6.6	6.6	1.0	59.0	33.4
ライフステージ別									
独身期	280	13.6	52.9	22.1	8.2	2.9	0.4	66.4	30.4
家族形成期	151	8.6	51.7	24.5	11.3	4.0	-	60.3	35.8
家族成長前期	205	4.9	53.7	31.7	6.3	2.9	0.5	58.5	38.0
家族成長後期	166	4.8	56.0	28.3	6.6	3.0	1.2	60.8	34.9
家族成熟期	373	5.1	53.9	29.0	6.2	5.4	0.5	59.0	35.1
高齢期	611	4.6	58.1	26.0	4.9	5.9	0.5	62.7	30.9
その他	660	4.5	48.0	30.3	8.9	6.4	1.8	52.6	39.2

（６）埼玉県に魅力を感じるか

◇『魅力を感じる（計）』は62.3%、『魅力を感じない（計）』は26.7%

問６ あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。（○は１つだけ）



埼玉県に魅力を感じるかについては、「どちらかといえば魅力を感じる」（51.4%）が5割強と最も高く、「魅力を感じる」（10.8%）と合わせた『魅力を感じる（計）』（62.3%）は6割強となっている。一方で、「魅力を感じない」（5.3%）と「どちらかといえば魅力を感じない」（21.4%）を合わせた『魅力を感じない（計）』（26.7%）は2割台半ばを超えており、『魅力を感じる（計）』が『魅力を感じない（計）』よりも35.6ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、楽になった（計）で70.6%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、苦しくなった（計）で29.4%と最も高くなっている。

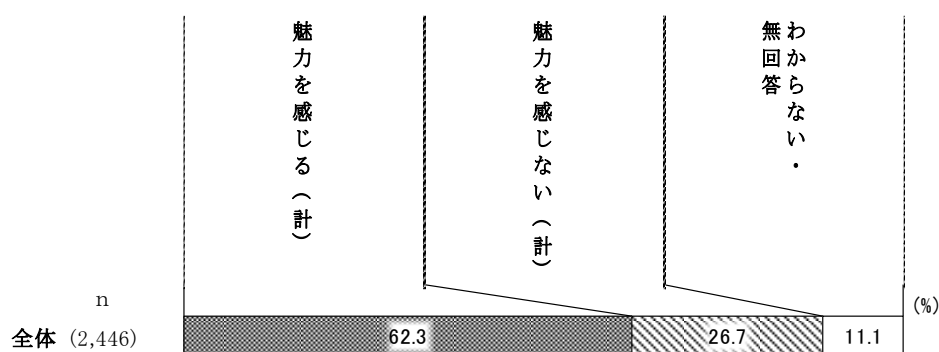
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、上（計）で81.8%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、下（計）で33.4%と最も高くなっている。

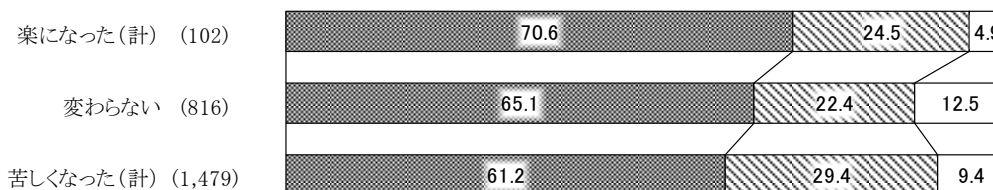
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、満足している（計）（73.8%）が、不満である（計）（54.5%）よりも19.3ポイント高く、一方で『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、不満である（計）（35.4%）が、満足している（計）（17.5%）よりも17.9ポイント高くなっている。

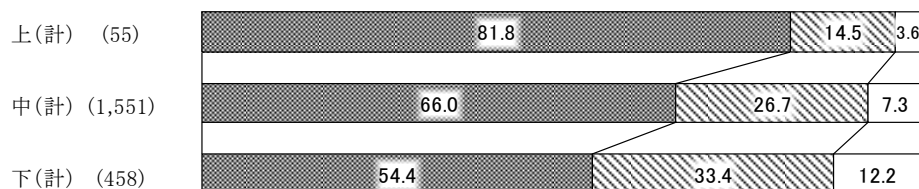
○埼玉県に魅力を感じるか・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



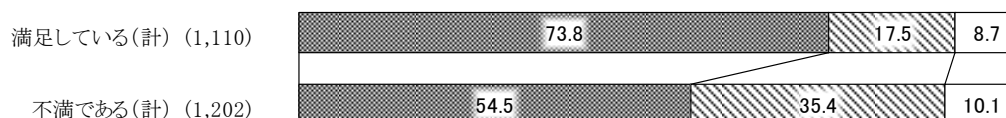
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

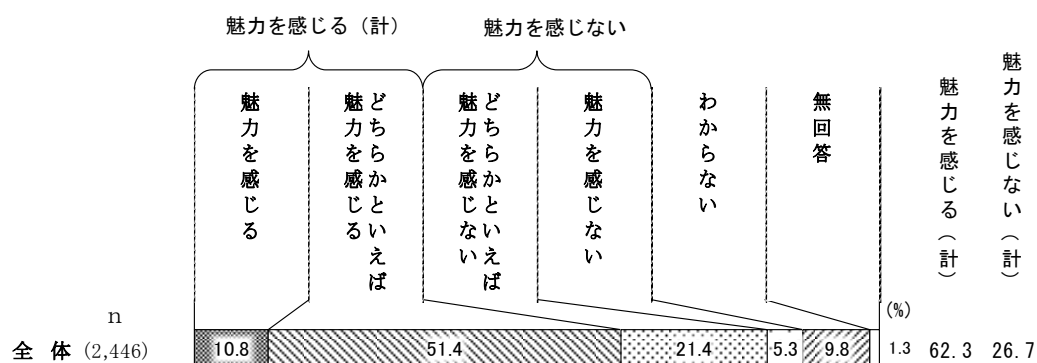
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『魅力を感じる（計）』は10歳代・20歳代（69.3%）で約7割と最も高く、50歳代（60.2%）で最も低くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は40歳代と50歳代（各28.8%）で3割弱と高くなっている。

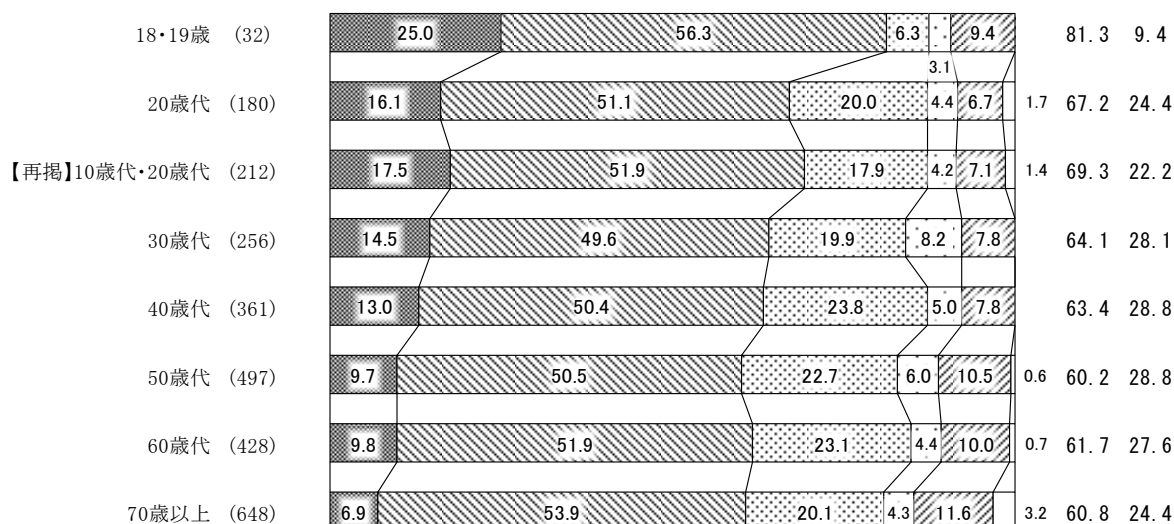
○埼玉県に魅力を感じるか・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『魅力を感じる（計）』は県央地域（71.3%）で7割強と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は東部地域（33.9%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『魅力を感じる（計）』は男性10歳代・20歳代（72.4%）で7割強と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は男性50歳代（34.3%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『魅力を感じる（計）』は自営業・家族従業（計）（66.1%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『魅力を感じる（計）』は独身期（68.2%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』はその他（29.1%）で約3割と最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

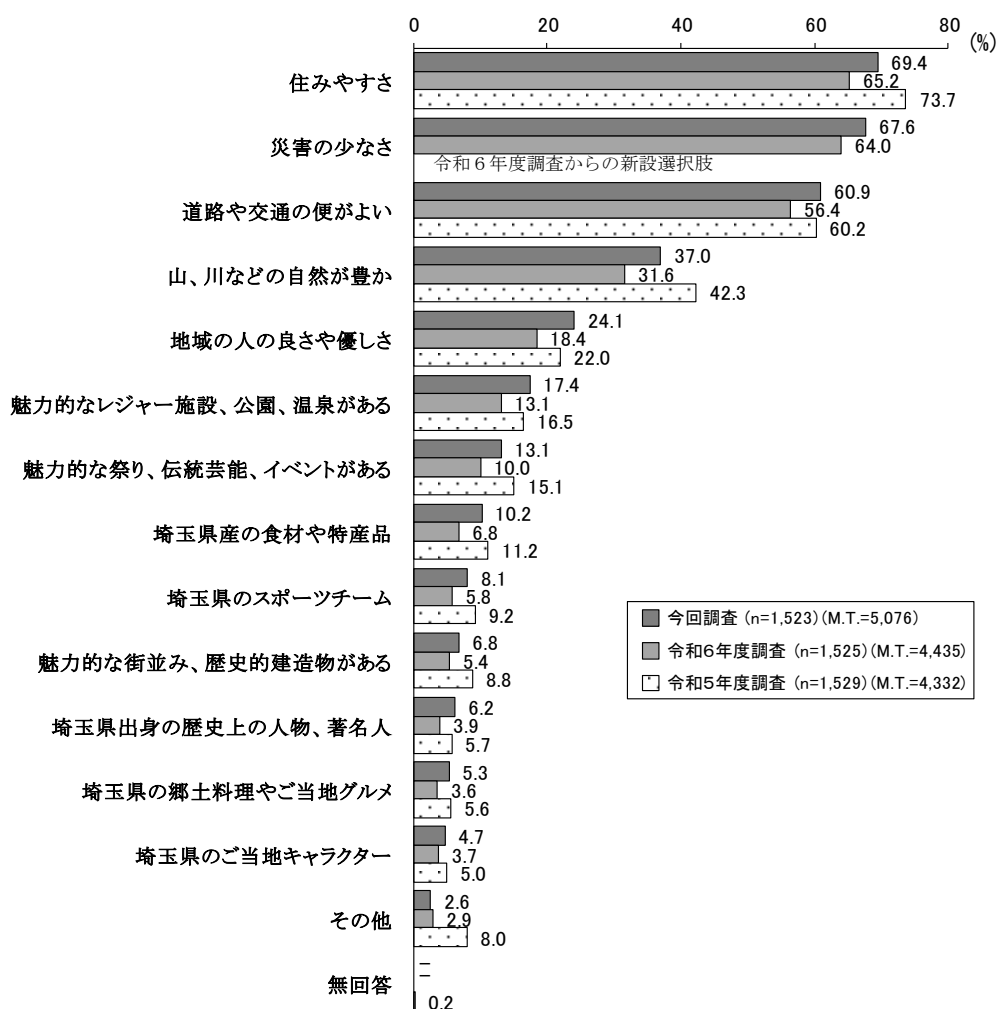
	調査数	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない	わからない	無回答	（%）	
	n							魅力を感じる（計）	魅力を感じない（計）
全 体	2,446	10.8	51.4	21.4	5.3	9.8	1.3	62.3	26.7
地域別									
南部地域	245	10.2	47.3	23.3	6.5	11.0	1.6	57.6	29.8
南西部地域	224	11.2	50.0	19.2	8.9	10.3	0.4	61.2	28.1
東部地域	363	8.0	46.0	25.6	8.3	10.5	1.7	54.0	33.9
さいたま地域	447	12.3	55.5	19.5	2.7	8.3	1.8	67.8	22.1
県央地域	181	7.7	63.5	17.1	3.3	8.3	—	71.3	20.4
川越比企地域	253	10.7	53.0	23.7	2.4	9.1	1.2	63.6	26.1
西部地域	271	12.2	56.1	21.8	3.0	6.3	0.7	68.3	24.7
利根地域	217	7.4	48.8	18.9	6.9	16.1	1.8	56.2	25.8
北部地域	166	18.1	44.0	24.7	5.4	6.6	1.2	62.0	30.1
秩父地域	32	9.4	46.9	15.6	9.4	18.8	—	56.3	25.0
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	55.6	11.1	—	—	—	88.9	11.1
20歳代	78	19.2	51.3	16.7	5.1	6.4	1.3	70.5	21.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	20.7	51.7	16.1	4.6	5.7	1.1	72.4	20.7
30歳代	109	14.7	46.8	24.8	7.3	6.4	—	61.5	32.1
40歳代	140	15.0	52.9	21.4	5.7	5.0	—	67.9	27.1
50歳代	201	12.9	43.3	26.4	8.0	8.5	1.0	56.2	34.3
60歳代	187	12.8	51.9	23.5	3.7	7.5	0.5	64.7	27.3
70歳以上	286	9.4	51.7	21.7	4.2	10.8	2.1	61.2	25.9
女性／18・19歳	23	21.7	56.5	4.3	4.3	13.0	—	78.3	8.7
20歳代	99	14.1	51.5	23.2	4.0	5.1	2.0	65.7	27.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	15.6	52.5	19.7	4.1	6.6	1.6	68.0	23.8
30歳代	135	14.8	53.3	16.3	8.1	7.4	—	68.1	24.4
40歳代	208	12.5	50.5	24.5	3.8	8.7	—	63.0	28.4
50歳代	280	7.5	56.8	20.4	3.9	11.1	0.4	64.3	24.3
60歳代	236	7.6	52.1	22.9	5.1	11.4	0.8	59.7	28.0
70歳以上	349	5.2	54.7	19.5	4.6	12.0	4.0	59.9	24.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	16.4	49.7	20.2	5.5	7.1	1.1	66.1	25.7
雇用者（計）	1,293	11.1	51.8	23.0	5.3	8.2	0.5	63.0	28.3
無職（計）	909	9.0	52.1	20.1	5.0	11.8	2.0	61.2	25.1
ライフステージ別									
独身期	280	17.5	50.7	20.7	4.3	5.7	1.1	68.2	25.0
家族形成期	151	15.2	51.0	14.6	9.3	9.9	—	66.2	23.8
家族成長前期	205	12.7	53.2	22.4	6.3	5.4	—	65.9	28.8
家族成長後期	166	13.9	50.0	20.5	6.0	8.4	1.2	63.9	26.5
家族成熟期	373	12.6	51.2	22.5	4.0	9.1	0.5	63.8	26.5
高齢期	611	6.7	56.8	20.3	4.6	10.5	1.1	63.5	24.9
その他	660	8.5	46.8	23.5	5.6	12.9	2.7	55.3	29.1

(6-1) 埼玉県で魅力を感じるもの

◇「住みやすさ」が69.4%で第1位、次いで「災害の少なさ」が67.6%

(問6で「1. 魅力を感じる」または「2. どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問6-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



埼玉県で魅力を感じるものは、「住みやすさ」(69.4%) が約7割と最も高く、次いで「災害の少なさ」(67.6%)、「道路や交通の便がよい」(60.9%)、「山、川などの自然が豊か」(37.0%)、「地域の人の良さや優しさ」(24.1%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(17.4%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、全体的に増加しており、「地域の人の良さや優しさ」(5.7ポイント増)、「山、川などの自然が豊か」(5.4ポイント増) が5ポイント以上増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「住みやすさ」はさいたま地域（75.9%）で7割台半ばと最も高く、「災害の少なさ」は北部地域（87.4%）で8割台半ばを超えて最も高くなっている。「道路や交通の便がよい」は南部地域（77.3%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。

※秩父地域（n=18）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「山、川などの自然が豊か」は男性（40.5%）の方が女性（34.4%）よりも6.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「住みやすさ」は30歳代（80.5%）が8割を超えて最も高く、「災害の少なさ」は70歳以上（84.5%）で8割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「住みやすさ」は女性30歳代（82.6%）が8割強と最も高く、「災害の少なさ」は女性70歳以上（88.0%）が9割弱と最も高くなっている。「道路や交通の便がよい」は男性70歳以上（69.7%）が約7割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「住みやすさ」は自営業・家族従業（計）（76.0%）が7割台半ばを超えて最も高く、「災害の少なさ」は無職（計）（75.2%）が7割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「住みやすさ」は家族形成期（80.0%）が8割と最も高く、「災害の少なさ」は高齢期（82.7%）で8割強と最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるもの・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	住みやすさ	災害の少なさ	道路や交通の便がよい	山、川などの自然が豊かな	地域の人の良さや優しさ	公園、温泉がある	魅力的なレジャー施設、	魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある	埼玉県産の食材や特産品	埼玉県のスポーツチーム	魅力的な街並み、歴史的建造物がある	埼玉県出身の歴史上の人物、著名人	埼玉県のご当地キャラクター	埼玉県の郷土料理やご当地グルメ	その他	無回答
全 体	1,523	69.4	67.6	60.9	37.0	24.1	17.4	13.1	10.2	8.1	6.8	6.2	5.3	4.7	2.6	-	
地域別																	
南部地域	141	75.2	50.4	77.3	21.3	20.6	17.0	9.2	5.0	6.4	1.4	4.3	4.3	1.4	3.5	-	
南西部地域	137	69.3	54.7	64.2	37.2	20.4	25.5	13.1	13.9	5.1	8.0	7.3	4.4	3.6	4.4	-	
東部地域	196	75.0	52.6	71.9	25.5	24.0	16.8	6.6	7.7	5.6	5.6	4.6	5.1	5.1	3.1	-	
さいたま地域	303	75.9	68.0	71.0	23.8	23.8	15.8	10.9	7.6	15.5	5.6	4.6	4.3	5.9	1.7	-	
県央地域	129	67.4	80.6	58.9	41.1	25.6	15.5	8.5	7.0	6.2	2.3	4.7	1.6	3.9	4.7	-	
川越比企地域	161	68.9	72.0	54.0	52.8	23.6	12.4	23.0	12.4	5.0	22.4	5.6	7.5	5.0	1.2	-	
西部地域	185	67.0	76.2	48.6	53.5	23.2	20.5	13.0	11.4	9.2	4.9	4.9	3.2	2.7	2.2	-	
利根地域	122	59.8	72.1	52.5	37.7	26.2	18.9	6.6	11.5	5.7	3.3	7.4	6.6	4.1	3.3	-	
北部地域	103	56.3	87.4	42.7	47.6	29.1	17.5	25.2	20.4	7.8	4.9	18.4	9.7	11.7	1.0	-	
秩父地域	18	38.9	72.2	16.7	88.9	27.8	5.6	61.1	16.7	-	11.1	5.6	22.2	5.6	-	-	
性別																	
男性	634	69.6	65.8	63.9	40.5	21.8	18.3	15.3	8.8	12.0	6.6	5.8	6.2	4.6	2.8	-	
女性	836	69.4	69.0	59.3	34.4	25.8	16.6	11.1	11.2	5.4	6.9	6.5	4.5	4.8	2.3	-	
年代別																	
18・19歳	26	61.5	42.3	46.2	38.5	3.8	15.4	11.5	7.7	11.5	7.7	7.7	-	7.7	-	-	
20歳代	121	74.4	43.0	61.2	27.3	14.9	14.9	9.9	8.3	7.4	4.1	2.5	4.1	1.7	5.0	-	
【再掲】10歳代・20歳代	147	72.1	42.9	58.5	29.3	12.9	15.0	10.2	8.2	8.2	4.8	3.4	3.4	2.7	4.1	-	
30歳代	164	80.5	58.5	62.8	35.4	20.7	23.8	20.7	10.4	10.4	8.5	2.4	5.5	7.3	2.4	-	
40歳代	229	71.2	55.5	60.3	39.3	16.6	22.3	17.5	8.7	9.2	6.6	3.9	8.3	7.9	1.7	-	
50歳代	299	70.9	66.2	60.9	35.8	20.1	17.1	9.7	7.0	8.7	6.7	2.0	6.7	4.7	3.7	-	
60歳代	264	70.1	72.7	60.6	36.7	27.3	17.4	13.6	12.5	8.3	7.6	9.1	3.8	4.5	2.7	-	
70歳以上	394	60.4	84.5	62.9	39.6	34.3	13.2	10.2	12.4	6.1	6.3	11.4	3.8	2.8	1.8	-	
性・年代別																	
男性／18・19歳	8	62.5	37.5	37.5	12.5	-	12.5	-	-	37.5	-	12.5	-	-	-	-	
20歳代	55	72.7	36.4	63.6	32.7	18.2	9.1	9.1	9.1	12.7	3.6	3.6	1.8	3.6	1.8	-	
【再掲】10歳代・20歳代	63	71.4	36.5	60.3	30.2	15.9	9.5	7.9	7.9	15.9	3.2	4.8	1.6	3.2	1.6	-	
30歳代	67	80.6	64.2	62.7	37.3	20.9	26.9	26.9	13.4	20.9	9.0	4.5	10.4	9.0	1.5	-	
40歳代	95	76.8	57.9	52.6	46.3	13.7	22.1	21.1	9.5	11.6	5.3	3.2	11.6	5.3	3.2	-	
50歳代	113	70.8	67.3	69.0	37.2	17.7	16.8	9.7	7.1	13.3	8.0	2.7	8.0	7.1	5.3	-	
60歳代	121	71.9	65.3	62.0	38.0	24.8	24.0	15.7	9.1	10.7	7.4	7.4	5.0	3.3	1.7	-	
70歳以上	175	58.3	80.6	69.7	46.3	29.1	13.1	13.7	8.0	7.4	6.3	9.1	2.9	2.3	2.9	-	
女性／18・19歳	18	61.1	44.4	50.0	50.0	5.6	16.7	16.7	11.1	-	11.1	5.6	-	11.1	-	-	
20歳代	65	76.9	49.2	60.0	21.5	10.8	18.5	10.8	7.7	3.1	4.6	1.5	6.2	-	7.7	-	
【再掲】10歳代・20歳代	83	73.5	48.2	57.8	27.7	9.6	18.1	12.0	8.4	2.4	6.0	2.4	4.8	2.4	6.0	-	
30歳代	92	82.6	54.3	65.2	34.8	21.7	22.8	16.3	8.7	3.3	8.7	1.1	2.2	6.5	2.2	-	
40歳代	131	67.9	55.0	64.9	34.4	19.1	22.9	15.3	8.4	7.6	7.6	4.6	6.1	9.9	0.8	-	
50歳代	180	71.1	66.1	55.0	35.0	21.7	16.7	8.9	7.2	6.1	5.6	1.7	5.6	2.2	2.8	-	
60歳代	141	69.5	79.4	59.6	35.5	29.8	12.1	12.1	15.6	5.7	7.8	10.6	2.8	5.7	3.5	-	
70歳以上	209	61.2	88.0	57.4	35.9	39.2	12.4	7.2	15.8	5.3	6.7	12.9	4.8	3.3	0.5	-	
職業別																	
自営業・家族従業（計）	121	76.0	72.7	65.3	37.2	33.1	18.2	16.5	9.1	8.3	8.3	5.8	5.0	5.0	0.8	-	
雇用者（計）	814	71.3	61.2	62.4	35.6	19.3	18.6	12.8	9.0	8.8	5.7	3.6	5.7	4.9	3.2	-	
無職（計）	556	65.1	75.2	59.2	38.3	29.0	15.6	12.4	12.1	7.0	8.1	10.3	4.7	4.5	2.0	-	
ライフステージ別																	
独身期	191	73.8	47.6	60.7	30.4	13.1	14.7	13.1	8.4	10.5	6.3	3.1	3.1	4.7	3.1	-	
家族形成期	100	80.0	55.0	63.0	33.0	24.0	28.0	20.0	11.0	7.0	8.0	2.0	7.0	2.0	4.0	-	
家族成長前期	135	79.3	53.3	63.0	36.3	17.8	22.2	14.1	4.4	11.1	3.0	1.5	6.7	6.7	2.2	-	
家族成長後期	106	72.6	60.4	58.5	34.9	19.8	18.9	12.3	10.4	8.5	3.8	2.8	2.8	4.7	0.9	-	
家族成熟期	238	72.3	76.1	63.0	35.3	23.1	15.5	9.2	8.4	8.0	4.6	3.8	3.4	2.9	2.1	-	
高齢期	388	63.4	82.7	61.3	39.9	33.8	14.9	12.1	11.9	5.2	7.2	12.9	3.9	3.4	1.0	-	
その他	365	64.1	67.4	58.4	40.3	23.8	17.5	14.5	12.3	9.0	9.9	6.3	9.0	7.4	4.4	-	

2 日常生活 (問7～問14)

- 問7について
(1)と(2)は平成13年度の「県民意識調査*」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しています。
(1)－1は、平成21年度から実施しており、(4)は、平成22年度から実施しています。(2)－1は令和4年度から実施しています。(3)は令和5年度から実施しています。
* 県民意識調査：「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年度に埼玉県が実施した県民意識調査
- 問8について
(1)は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度に選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。令和2年度から問8を分岐設問にしましたが、結果では(1)－1に組み込む形にしてこれまでの調査と比較できるようにしています。
(1)－2は平成21年度における調査項目を継続実施したものです。(2)は令和5年度から実施しています。(3)は令和6年度から実施しています。
- 問9について
(1)は平成24年度から実施しており、(2)は平成22年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問10について
令和3年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問11について
(3)は平成29年度に実施、今回が4回目となります。(1)(2)(4)(5)は令和5年度から実施しています。
- 問12は、今回が初めての実施となります。
- 問13について
(1)(3)(4)は令和3年度に実施、今回が3回目となります。(2)は今回が初めての実施となります。
- 問14は、平成30年度から実施しています。
- 問15と問16について
問15と問16の(1)1、2は、平成21年度から実施しています。問16の(1)3は平成30年度から、4は令和元年度から実施しており、問16の(3)(4)は令和2年度から実施しています。問16の(2)(5)は今回が初めての実施となります。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和2年度から「郵送法(郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用)」で実施しています。

2. 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇「ある」が40.4%、「ない」が58.7%

問7 あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

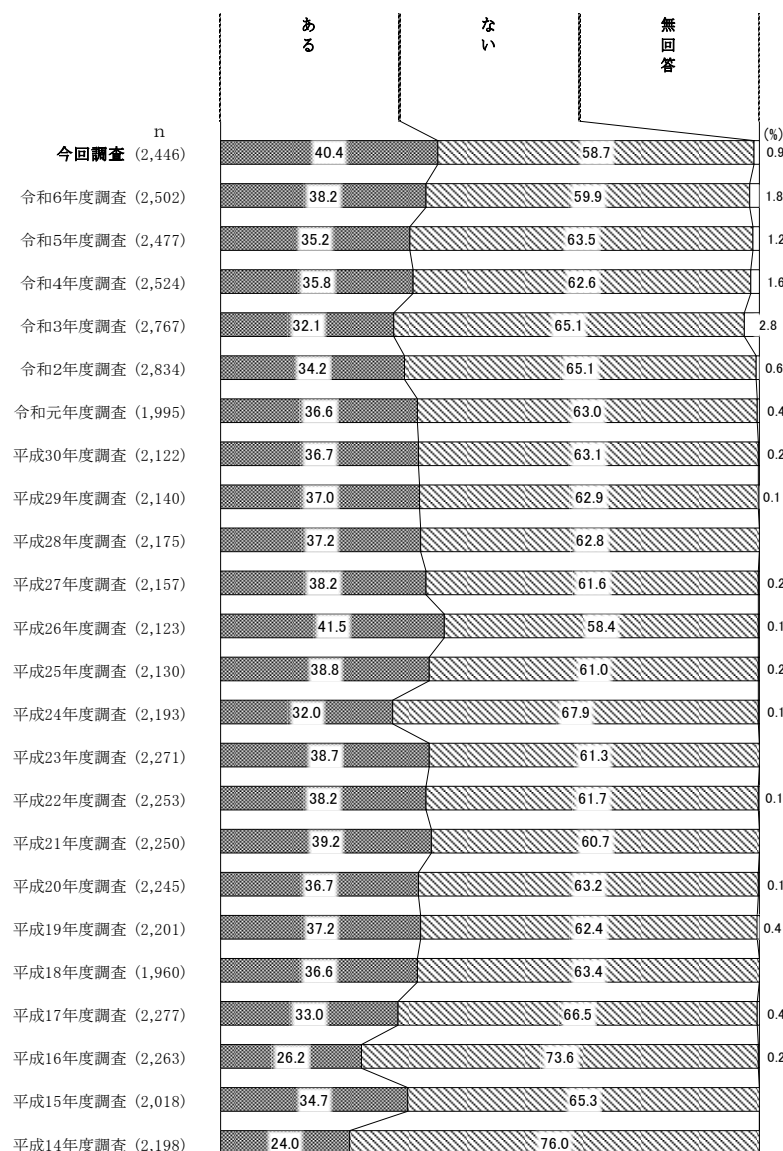
(1) あなたは、この1年間に、地域社会活動*に参加したことがありますか。

(○は1つだけ)

*地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含みます。

- ・清掃活動や防犯パトロール等、町内会や自治会の活動
- ・地域のイベント・祭り等への参加
- ・PTA活動や子ども会の活動
- ・趣味やスポーツなど地域のクラブ・サークル活動への参加
- ・所属する企業や団体等で行った地域への社会貢献活動
- ・障害者や高齢者のための活動
- ・青少年健全育成のための活動

- ・みどりと川の再生活動など環境保全の活動
- ・子ども食堂やフードバンクへの寄付、募金などの活動
- ・SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動
- ・子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加
- ・生涯学習や市（町）民大学への参加
- ・その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に地域社会活動に参加したことが「ある」(40.4%)は4割を超えている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

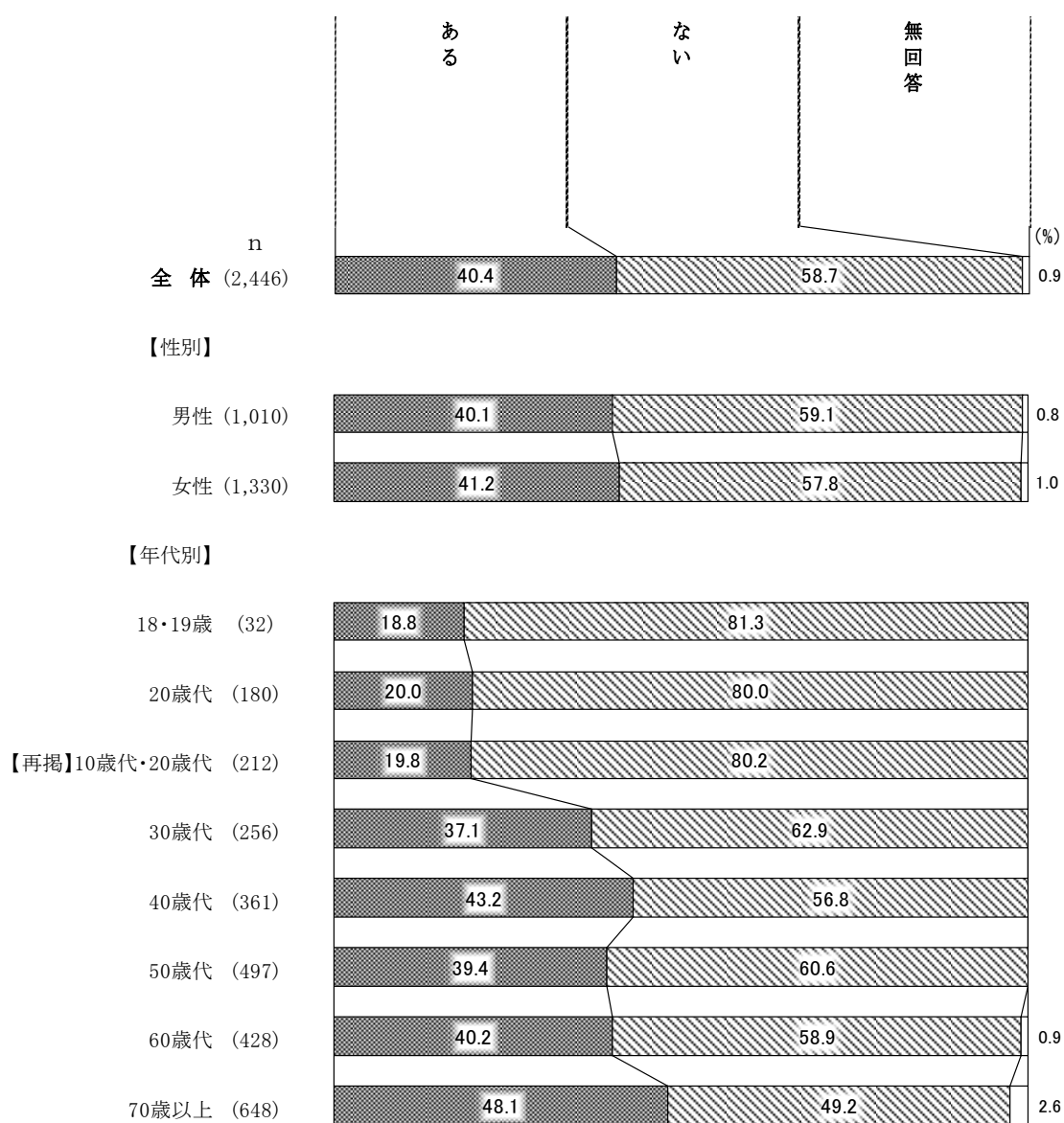
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「ある」は70歳以上(48.1%)で5割弱と最も高くなっている。一方で、10歳代・20歳代(19.8%)で最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は秩父地域（62.5%）で6割強と最も高く、南西部地域（31.3%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は男性70歳以上（49.3%）で約5割と最も高く、女性10歳代・20歳代（18.9%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（44.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は家族成長前期（62.0%）が6割強と最も高く、独身期（18.9%）で最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全 体	2,446	40.4	58.7	0.9
地域別				
南部地域	245	32.2	67.3	0.4
南西部地域	224	31.3	67.9	0.9
東部地域	363	39.4	60.1	0.6
さいたま地域	447	42.5	57.3	0.2
県央地域	181	43.6	54.7	1.7
川越比企地域	253	46.6	51.4	2.0
西部地域	271	37.3	61.6	1.1
利根地域	217	39.2	59.4	1.4
北部地域	166	51.8	48.2	—
秩父地域	32	62.5	37.5	—
性・年代別				
男性／18・19歳	9	11.1	88.9	—
20歳代	78	20.5	79.5	—
【再掲】10歳代・20歳代	87	19.5	80.5	—
30歳代	109	37.6	62.4	—
40歳代	140	42.1	57.9	—
50歳代	201	35.8	64.2	—
60歳代	187	40.1	58.8	1.1
70歳以上	286	49.3	48.6	2.1
女性／18・19歳	23	21.7	78.3	—
20歳代	99	18.2	81.8	—
【再掲】10歳代・20歳代	122	18.9	81.1	—
30歳代	135	37.8	62.2	—
40歳代	208	44.7	55.3	—
50歳代	280	42.5	57.5	—
60歳代	236	40.3	58.9	0.8
70歳以上	349	47.9	49.0	3.2
職業別				
自営業・家族従業（計）	183	44.8	54.6	0.5
雇用者（計）	1,293	38.3	61.6	0.1
無職（計）	909	42.6	55.4	2.0
ライフステージ別				
独身期	280	18.9	81.1	—
家族形成期	151	37.7	62.3	—
家族成長前期	205	62.0	38.0	—
家族成長後期	166	54.8	45.2	—
家族成熟期	373	43.4	56.0	0.5
高齢期	611	49.1	49.9	1.0
その他	660	30.0	67.7	2.3

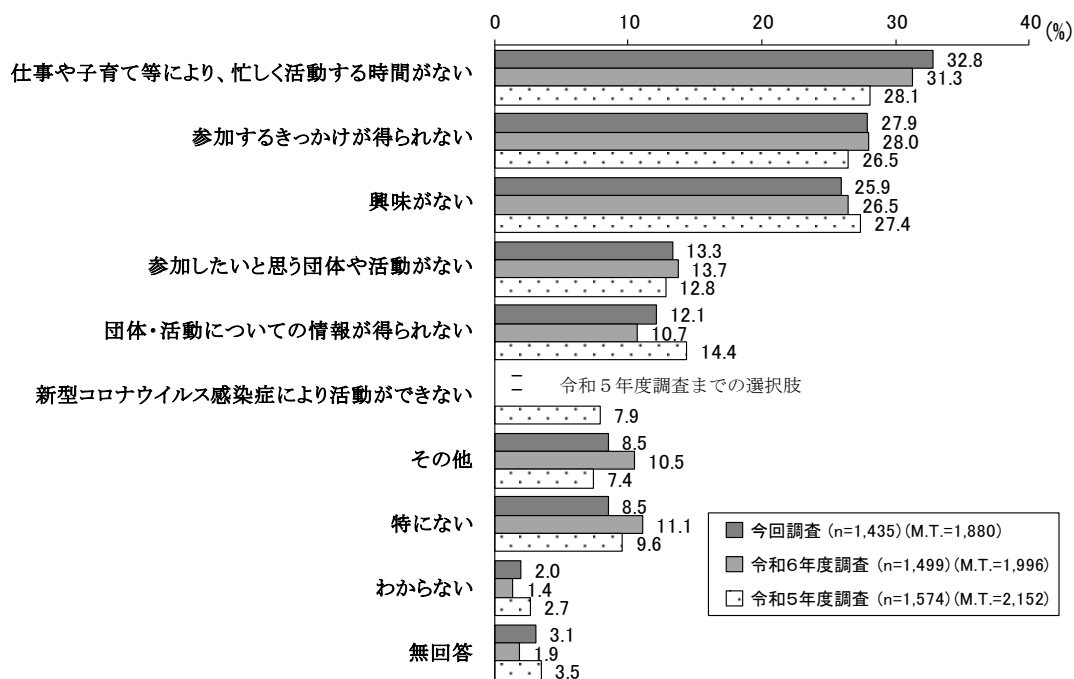
（１－１）地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」が32.8%

（問７（１）で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。）

問７（１）－１ その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

（〇は2つまで）



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」（32.8%）が3割強で最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」（27.9%）、「興味がない」（25.9%）、「参加したいと思う団体や活動がない」（13.3%）、「団体・活動についての情報が得られない」（12.1%）などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」（32.8%）が増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」は西部地域（36.5%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「参加するきっかけが得られない」は川越比企地域（35.4%）、「興味がない」は利根地域（31.0%）で最も高くなっている。

※秩父地域（n=12）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「参加するきっかけが得られない」は女性（31.3%）の方が男性（25.1%）よりも6.2ポイント高くなっている。一方で、「興味がない」は男性（29.6%）の方が女性（22.5%）よりも7.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」は30歳代（52.8%）で5割強と最も高く、70歳以上（7.5%）で最も低くなっている。「参加するきっかけが得られない」は10歳代・20歳代（35.3%）で3割台半ばと最も高く、「興味がない」も10歳代・20歳代（33.5%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」は女性30歳代（60.7%）が6割を超えて最も高く、「参加するきっかけが得られない」も女性30歳代（40.5%）が4割を超えて最も高くなっている。「興味がない」は男性30歳代（36.8%）が3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」は雇用者（計）（46.9%）と自営業・家族従業員（計）（46.0%）で4割台半ばを超えて高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事や子育て等により、忙しく活動する時間がない」は家族成長前期（66.7%）で6割台半ばを超えて最も高く、「参加するきっかけが得られない」は独身期（36.1%）で3割台半ばを超えて最も高く、「興味がない」も独身期（34.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数 n	間、仕事や子育て等に忙しい活動する時間がない	参加するきっかけが得られない	興味がない	参加したいと思う団体や活動がない	団体・活動についての情報が得られない	その他	特にな	わからない	無回答
全 体	1,435	32.8	27.9	25.9	13.3	12.1	8.5	8.5	2.0	3.1
地域別										
南部地域	165	32.1	23.6	27.9	12.7	10.3	7.9	12.1	3.0	2.4
南西部地域	152	34.9	28.9	28.9	12.5	10.5	5.9	7.9	1.3	2.6
東部地域	218	31.2	28.9	25.2	15.1	16.1	8.7	6.0	2.8	5.5
さいたま地域	256	36.3	28.9	28.5	12.9	10.9	7.8	8.6	1.2	1.6
県央地域	99	35.4	22.2	22.2	11.1	8.1	9.1	5.1	2.0	6.1
川越比企地域	130	34.6	35.4	16.9	11.5	8.5	12.3	9.2	3.1	2.3
西部地域	167	36.5	30.5	25.7	16.2	12.6	11.4	6.6	0.6	1.8
利根地域	129	23.3	23.3	31.0	13.2	14.7	6.2	10.9	1.6	3.9
北部地域	80	35.0	31.3	21.3	7.5	16.3	6.3	11.3	1.3	1.3
秩父地域	12	8.3	41.7	16.7	41.7	16.7	-	16.7	-	-
性別										
男性	597	32.0	25.1	29.6	15.7	12.6	6.4	9.2	1.8	2.7
女性	769	33.9	31.3	22.5	11.4	11.8	9.9	7.9	1.8	3.4
年代別										
18・19歳	26	38.5	30.8	34.6	7.7	7.7	-	15.4	-	3.8
20歳代	144	38.9	36.1	33.3	11.8	18.8	2.8	2.8	-	2.8
【再掲】10歳代・20歳代	170	38.8	35.3	33.5	11.2	17.1	2.4	4.7	-	2.9
30歳代	161	52.8	34.2	26.1	11.2	13.0	4.3	2.5	1.2	2.5
40歳代	205	48.3	27.3	30.2	12.2	11.7	2.4	5.9	1.5	1.5
50歳代	301	41.9	25.2	27.6	13.3	11.6	3.3	8.6	1.0	1.0
60歳代	252	26.2	31.3	21.0	15.5	12.3	9.1	9.9	4.4	3.6
70歳以上	319	7.5	22.6	21.0	14.4	9.4	21.9	14.1	2.2	5.6
性・年代別										
男性／18・19歳	8	50.0	25.0	37.5	-	-	-	25.0	-	-
20歳代	62	27.4	38.7	35.5	16.1	17.7	1.6	4.8	-	3.2
【再掲】10歳代・20歳代	70	30.0	37.1	35.7	14.3	15.7	1.4	7.1	-	2.9
30歳代	68	42.6	29.4	36.8	11.8	19.1	2.9	2.9	2.9	1.5
40歳代	81	50.6	28.4	29.6	13.6	8.6	2.5	8.6	1.2	1.2
50歳代	129	43.4	20.9	34.1	17.8	10.1	3.1	3.9	0.8	0.8
60歳代	110	29.1	27.3	23.6	15.5	15.5	5.5	12.7	2.7	2.7
70歳以上	139	8.6	17.3	23.7	18.0	10.1	16.5	15.8	2.9	5.8
女性／18・19歳	18	33.3	33.3	33.3	11.1	11.1	-	11.1	-	5.6
20歳代	81	48.1	33.3	32.1	8.6	18.5	3.7	1.2	-	2.5
【再掲】10歳代・20歳代	99	45.5	33.3	32.3	9.1	17.2	3.0	3.0	-	3.0
30歳代	84	60.7	40.5	15.5	8.3	8.3	3.6	2.4	-	3.6
40歳代	115	47.8	28.7	29.6	11.3	13.9	2.6	3.5	1.7	1.7
50歳代	161	40.4	29.2	21.7	10.6	13.7	3.7	11.8	1.2	1.2
60歳代	139	23.7	35.3	19.4	15.1	10.1	12.2	7.9	5.0	4.3
70歳以上	171	7.0	26.3	18.7	12.3	8.8	25.7	12.9	1.8	5.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	100	46.0	17.0	25.0	16.0	16.0	3.0	8.0	2.0	4.0
雇用者（計）	797	46.9	30.9	26.5	11.5	12.7	3.0	5.6	1.4	2.3
無職（計）	504	9.3	26.6	25.0	15.7	10.5	18.1	12.9	2.2	4.0
ライフステージ別										
独身期	227	37.9	36.1	34.4	9.7	17.6	2.6	5.3	0.4	2.6
家族形成期	94	63.8	28.7	21.3	12.8	11.7	4.3	1.1	1.1	1.1
家族成長前期	78	66.7	28.2	21.8	11.5	7.7	1.3	1.3	1.3	1.3
家族成長後期	75	53.3	22.7	17.3	17.3	9.3	2.7	8.0	-	2.7
家族成熟期	209	31.6	27.8	25.4	12.0	12.9	5.7	11.0	1.0	2.9
高齢期	305	14.1	26.2	19.3	15.4	10.5	19.0	10.5	3.9	4.6
その他	447	27.7	25.5	29.5	14.1	11.4	8.7	10.5	2.5	3.1

(2) 文化や芸術の活動の経験

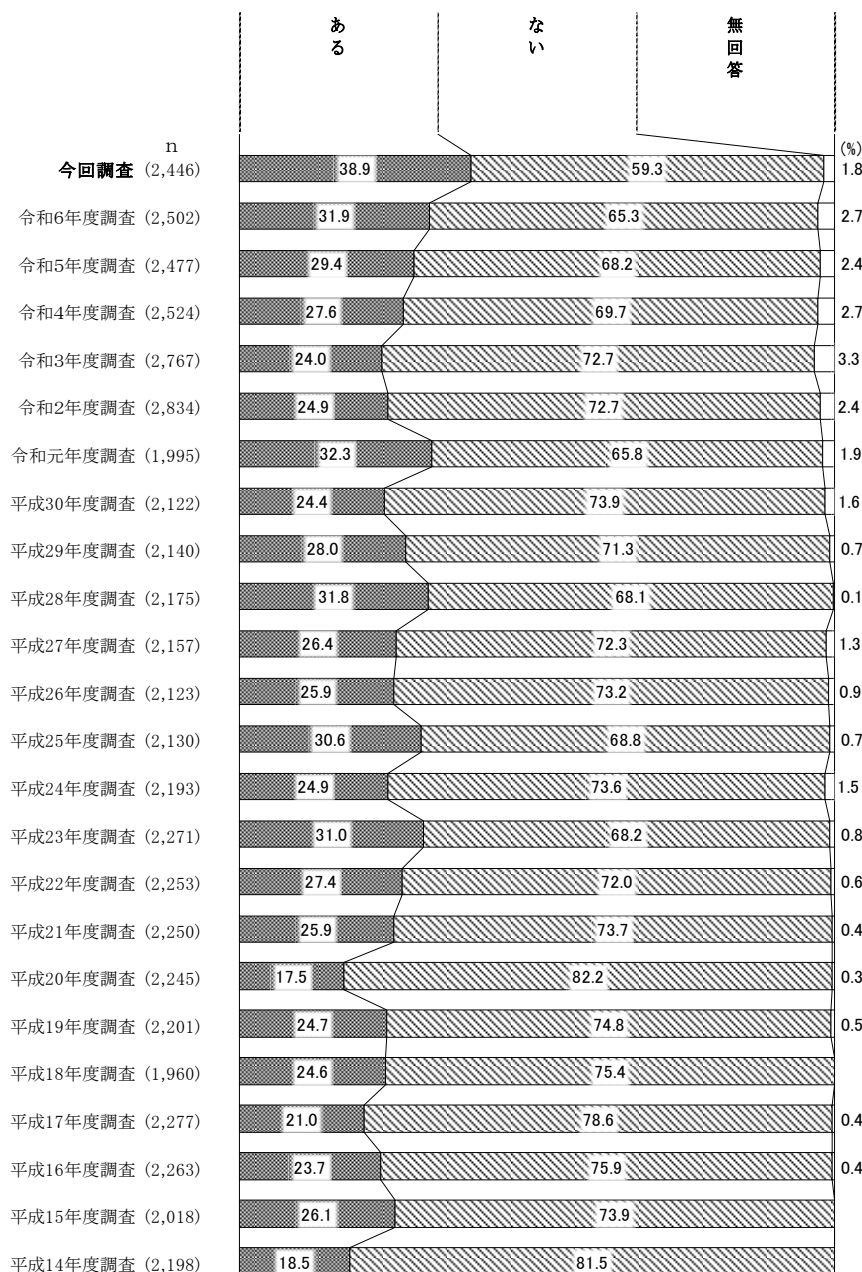
◇「ある」が38.9%、「ない」が59.3%

問7(2) あなたは、この1年間に、趣味や習い事、サークル活動、体験教室などで文化や芸術の活動*を行なったことがありますか。(インターネット上で行う活動も含みます。)

(○は1つだけ)

*例えば以下のような分野での活動です。

- ・音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）
- ・生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）
- ・伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど）
- ・伝統工芸、文化財の継承・保存
- ・写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）
- ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に文化や芸術の活動を行ったことが「ある」(38.9%)は4割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、「ある」は7.0ポイントの増加となっている。

【属性別比較】

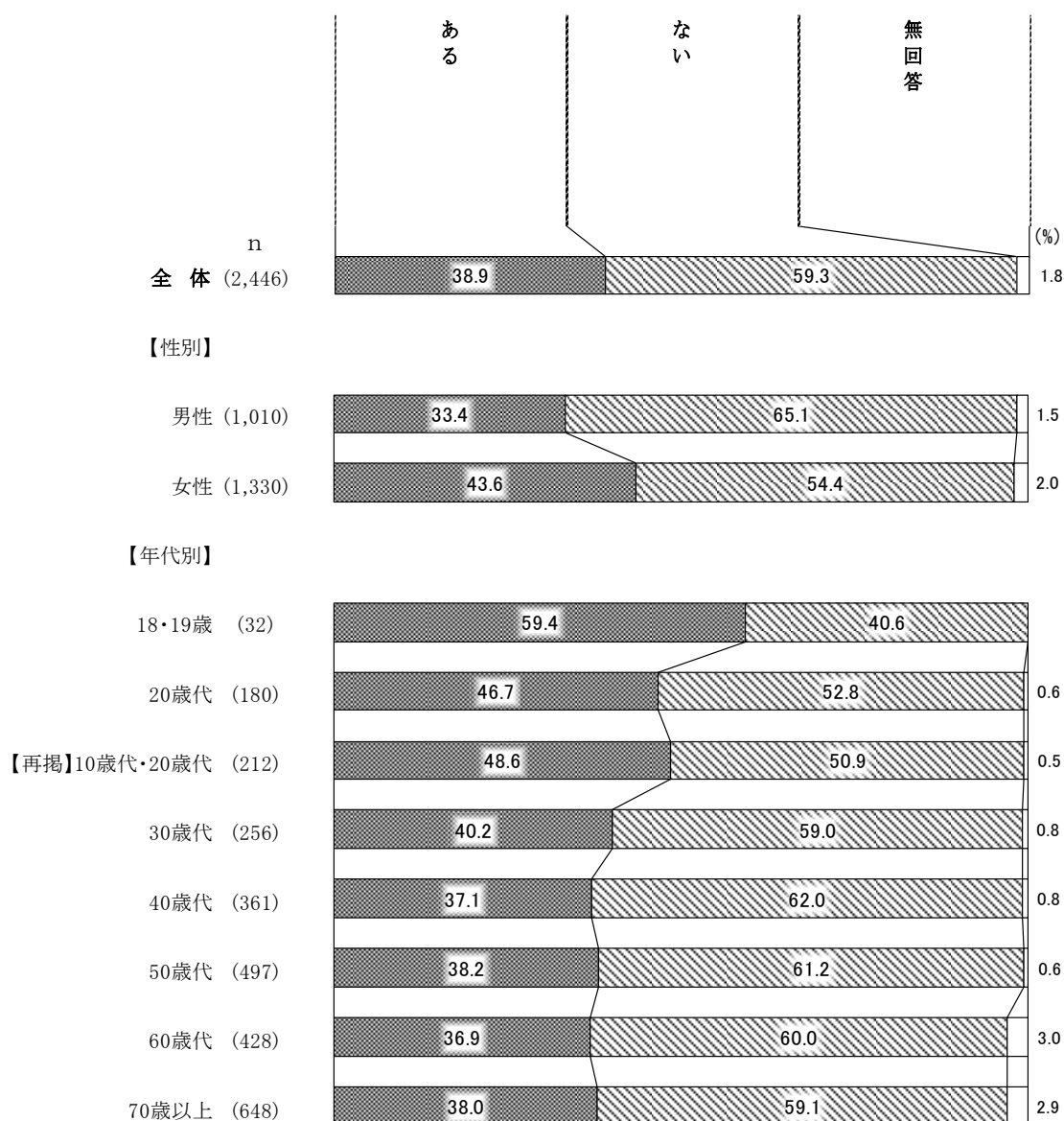
① 性別

「ある」は女性(43.6%)の方が男性(33.4%)よりも10.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代(48.6%)で5割弱と最も高く、60歳代(36.9%)で最も低くなっている。

○文化や芸術の活動の経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は北部地域（46.4％）で4割台半ばを超えて最も高く、利根地域（30.4％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性10歳代・20歳代（56.6％）で5割台半ばを超えて最も高く、男性50歳代（27.4％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

職業別の回答割合では特に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（47.1％）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

○文化や芸術の活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

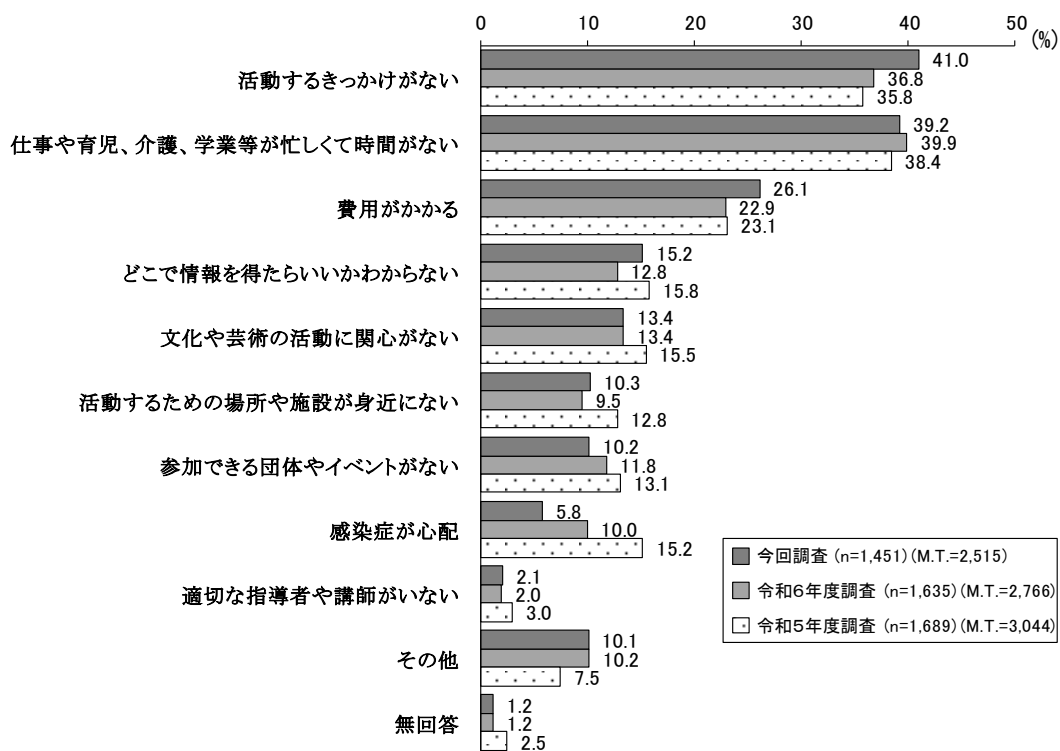
	調査数 n	ある	ない	無回答
全 体	2,446	38.9	59.3	1.8
地域別				
南部地域	245	40.8	57.6	1.6
南西部地域	224	37.9	59.8	2.2
東部地域	363	37.7	61.2	1.1
さいたま地域	447	40.5	57.9	1.6
県央地域	181	34.3	64.1	1.7
川越比企地域	253	42.3	55.7	2.0
西部地域	271	38.4	60.5	1.1
利根地域	217	30.4	66.4	3.2
北部地域	166	46.4	52.4	1.2
秩父地域	32	43.8	53.1	3.1
性・年代別				
男性／18・19歳	9	55.6	44.4	—
20歳代	78	35.9	64.1	—
【再掲】10歳代・20歳代	87	37.9	62.1	—
30歳代	109	34.9	65.1	—
40歳代	140	39.3	60.7	—
50歳代	201	27.4	71.6	1.0
60歳代	187	30.5	66.3	3.2
70歳以上	286	34.6	62.9	2.4
女性／18・19歳	23	60.9	39.1	—
20歳代	99	55.6	43.4	1.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	56.6	42.6	0.8
30歳代	135	44.4	54.1	1.5
40歳代	208	37.5	61.1	1.4
50歳代	280	46.8	52.9	0.4
60歳代	236	41.9	55.1	3.0
70歳以上	349	41.0	55.6	3.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	183	39.9	58.5	1.6
雇用者（計）	1,293	38.6	60.4	1.0
無職（計）	909	39.1	58.2	2.8
ライフステージ別				
独身期	280	47.1	52.9	—
家族形成期	151	37.7	60.3	2.0
家族成長前期	205	38.0	61.0	1.0
家族成長後期	166	45.2	53.6	1.2
家族成熟期	373	37.3	60.9	1.9
高齢期	611	39.6	57.9	2.5
その他	660	34.7	63.2	2.1

（２－１）文化や芸術の活動への不参加の理由

◇「活動するきっかけがない」が41.0%

（問７（２）で「２．ない」とお答えの方にお伺いします。）

問７（２）－１ その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
（○はいくつでも）



文化や芸術の活動への不参加の理由は、「活動するきっかけがない」（41.0％）が4割強で最も高く、次いで「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」（39.2％）、「費用がかかる」（26.1％）、「どこで情報を得たらいいかわからない」（15.2％）、「文化や芸術の活動に関心がない」（13.4％）などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、「活動するきっかけがない」（41.0％）が4.2ポイント増加し、「感染症が心配」（5.8％）が4.2ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「活動するきっかけがない」は北部地域（51.7%）で5割強と最も高くなっている。「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は南西部地域（44.0%）で最も高く、「費用がかかる」も南西部地域（28.4%）で3割弱と最も高くなっている。

※秩父地域（n=17）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「活動するきっかけがない」は男性（45.0%）の方が女性（39.0%）よりも6.0ポイント高くなっている。一方で、「費用がかかる」は女性（28.3%）の方が男性（21.9%）よりも6.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「活動するきっかけがない」は30歳代（46.4%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」と「費用がかかる」も30歳代（66.2%・40.4%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「活動するきっかけがない」は男性30歳代（52.1%）が5割強と最も高くなっている。「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」と「費用がかかる」は女性30歳代（75.3%・39.7%）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

「活動するきっかけがない」、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」、「費用がかかる」は雇用者（計）（43.4%・55.7%・29.8%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「活動するきっかけがない」は独身期（52.7%）で5割強と最も高くなっている。「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」と「費用がかかる」は家族形成期（81.3%・44.0%）で最も高くなっている。

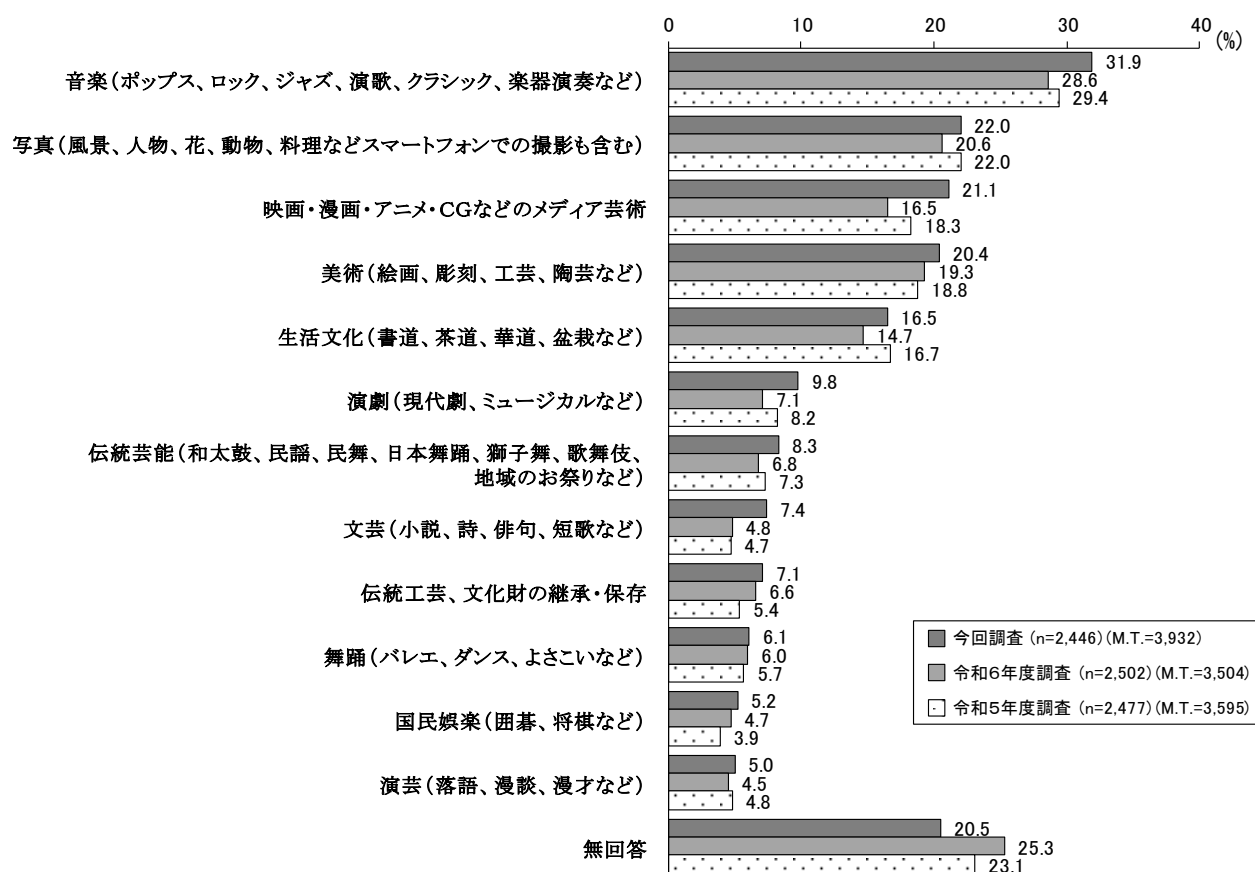
○文化や芸術の活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	活動するきっかけがない	仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間が取れない	費用がかかる	どこで情報を得たらいいかかわからない	文化や芸術の活動に関心がない	施設が身近にない場所や活動するための場所や	参加できる団体やイベントがない	感染症が心配	適切な指導者や講師がいない	その他	無回答
全 体	1,451	41.0	39.2	26.1	15.2	13.4	10.3	10.2	5.8	2.1	10.1	1.2
地域別												
南部地域	141	41.1	39.0	27.0	19.1	12.1	7.8	9.2	6.4	1.4	11.3	1.4
南西部地域	134	47.0	44.0	28.4	12.7	14.9	9.7	10.4	4.5	0.7	5.2	2.2
東部地域	222	39.6	39.2	23.4	16.7	14.9	13.1	13.5	5.9	3.2	12.2	1.8
さいたま地域	259	40.9	42.5	23.2	16.6	12.4	10.0	12.0	5.0	1.9	8.5	0.8
県央地域	116	35.3	37.1	25.0	11.2	16.4	10.3	8.6	1.7	2.6	10.3	-
川越比企地域	141	39.7	39.0	27.0	14.9	11.3	9.2	10.6	7.1	3.5	9.2	1.4
西部地域	164	45.7	43.3	27.4	15.2	13.4	9.1	6.1	6.7	1.2	12.8	0.6
利根地域	144	34.7	30.6	27.8	12.5	13.9	11.8	9.0	8.3	2.1	10.4	1.4
北部地域	87	51.7	34.5	27.6	14.9	14.9	9.2	6.9	6.9	-	9.2	-
秩父地域	17	41.2	52.9	35.3	11.8	11.8	11.8	17.6	5.9	5.9	5.9	-
性別												
男性	658	45.0	37.2	21.9	15.5	17.9	8.8	11.2	5.0	1.8	7.9	1.2
女性	724	39.0	41.7	28.3	14.8	9.8	11.7	9.7	6.2	2.5	11.6	1.0
年代別												
18・19歳	13	69.2	23.1	7.7	30.8	7.7	15.4	15.4	-	-	-	-
20歳代	95	43.2	46.3	33.7	18.9	12.6	10.5	9.5	1.1	-	3.2	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	108	46.3	43.5	30.6	20.4	12.0	11.1	10.2	0.9	-	2.8	0.9
30歳代	151	46.4	66.2	40.4	19.2	9.9	12.6	7.3	5.3	0.7	2.0	-
40歳代	224	42.4	61.2	34.8	13.8	12.9	5.8	7.1	4.0	1.3	4.9	0.4
50歳代	304	41.1	47.4	30.3	12.5	15.8	8.6	8.9	3.6	1.0	7.6	-
60歳代	257	44.7	35.8	23.0	15.6	13.2	8.2	11.7	6.6	2.3	7.0	1.2
70歳以上	383	35.2	11.2	12.8	14.4	14.4	14.1	13.1	9.4	4.4	21.9	2.9
性・年代別												
男性／18・19歳	4	100.0	25.0	-	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-
20歳代	50	46.0	42.0	30.0	14.0	16.0	8.0	4.0	-	-	4.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	54	50.0	40.7	27.8	16.7	14.8	9.3	7.4	-	-	3.7	-
30歳代	71	52.1	57.7	35.2	22.5	19.7	14.1	4.2	5.6	1.4	1.4	-
40歳代	85	48.2	54.1	29.4	16.5	20.0	5.9	8.2	2.4	1.2	4.7	-
50歳代	144	48.6	47.9	24.3	10.4	20.1	4.2	8.3	2.8	1.4	5.6	-
60歳代	124	46.0	35.5	17.7	17.7	15.3	4.0	10.5	5.6	1.6	5.6	0.8
70歳以上	180	35.6	12.8	12.2	14.4	17.2	15.0	19.4	8.9	3.3	16.7	3.9
女性／18・19歳	9	55.6	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	-
20歳代	43	39.5	51.2	34.9	25.6	9.3	14.0	16.3	2.3	-	2.3	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	52	42.3	46.2	30.8	25.0	9.6	13.5	13.5	1.9	-	1.9	1.9
30歳代	73	42.5	75.3	39.7	17.8	1.4	12.3	11.0	5.5	-	2.7	-
40歳代	127	39.4	66.9	37.0	11.0	8.7	6.3	7.1	4.7	1.6	4.7	0.8
50歳代	148	35.8	48.0	33.8	14.9	10.1	12.8	9.5	3.4	0.7	9.5	-
60歳代	130	43.8	36.2	28.5	13.8	11.5	12.3	13.1	7.7	3.1	8.5	0.8
70歳以上	194	35.6	10.3	13.4	13.9	12.4	13.4	7.7	9.8	5.7	25.8	2.1
職業別												
自営業・家族従業（計）	107	35.5	52.3	19.6	9.3	15.0	4.7	10.3	2.8	1.9	7.5	0.9
雇用者（計）	781	43.4	55.7	29.8	15.6	13.8	8.6	8.5	3.7	0.9	4.6	0.5
無職（計）	529	39.3	13.8	22.3	15.5	12.9	13.8	12.9	9.5	3.8	18.3	1.9
ライフステージ別												
独身期	148	52.7	42.6	29.7	25.0	14.2	13.5	10.8	4.7	0.7	2.7	0.7
家族形成期	91	40.7	81.3	44.0	14.3	7.7	9.9	7.7	3.3	-	1.1	-
家族成長前期	125	39.2	69.6	36.8	9.6	12.0	4.8	4.8	1.6	1.6	4.8	-
家族成長後期	89	43.8	59.6	36.0	10.1	7.9	10.1	10.1	2.2	-	4.5	-
家族成熟期	227	41.9	36.6	22.5	12.3	14.1	11.0	11.0	6.2	1.8	6.2	2.2
高齢期	354	37.9	19.5	14.1	13.8	16.1	11.3	13.0	6.8	4.2	20.1	2.0
その他	417	39.1	33.6	27.6	17.5	13.2	9.8	9.4	7.7	1.9	11.0	1.2

(3) 今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動

◇「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」が31.9%

問7 (3) 今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」(31.9%) が3割強と最も高く、次いで「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」(22.0%)、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」（21.1%）、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」(20.4%)、「生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）」(16.5%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」(3.3ポイント増)と「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」(4.6ポイント増)で増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」は秩父地域（37.5%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」は東部地域（25.9%）で2割台半ばと最も高く、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は秩父地域（31.3%）で3割強と最も高くなっている。

② 性別

「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は男性（24.9%）の方が女性（18.6%）よりも6.3ポイント高くなっている。一方で、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」は女性（23.9%）の方が男性（16.9%）よりも7.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」と「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」は10歳代・20歳代（42.5%・28.3%）で最も高くなっている。「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は30歳代（39.5%）で約4割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」と「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」は男性10歳代・20歳代（43.7%・33.3%）で最も高くなっている。「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は男性30歳代（52.3%）が5割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」、「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は雇用者（計）（36.5%・24.7%・25.8%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」、「写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）」、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は独身期（42.9%・28.2%・41.4%）で最も高くなっている。

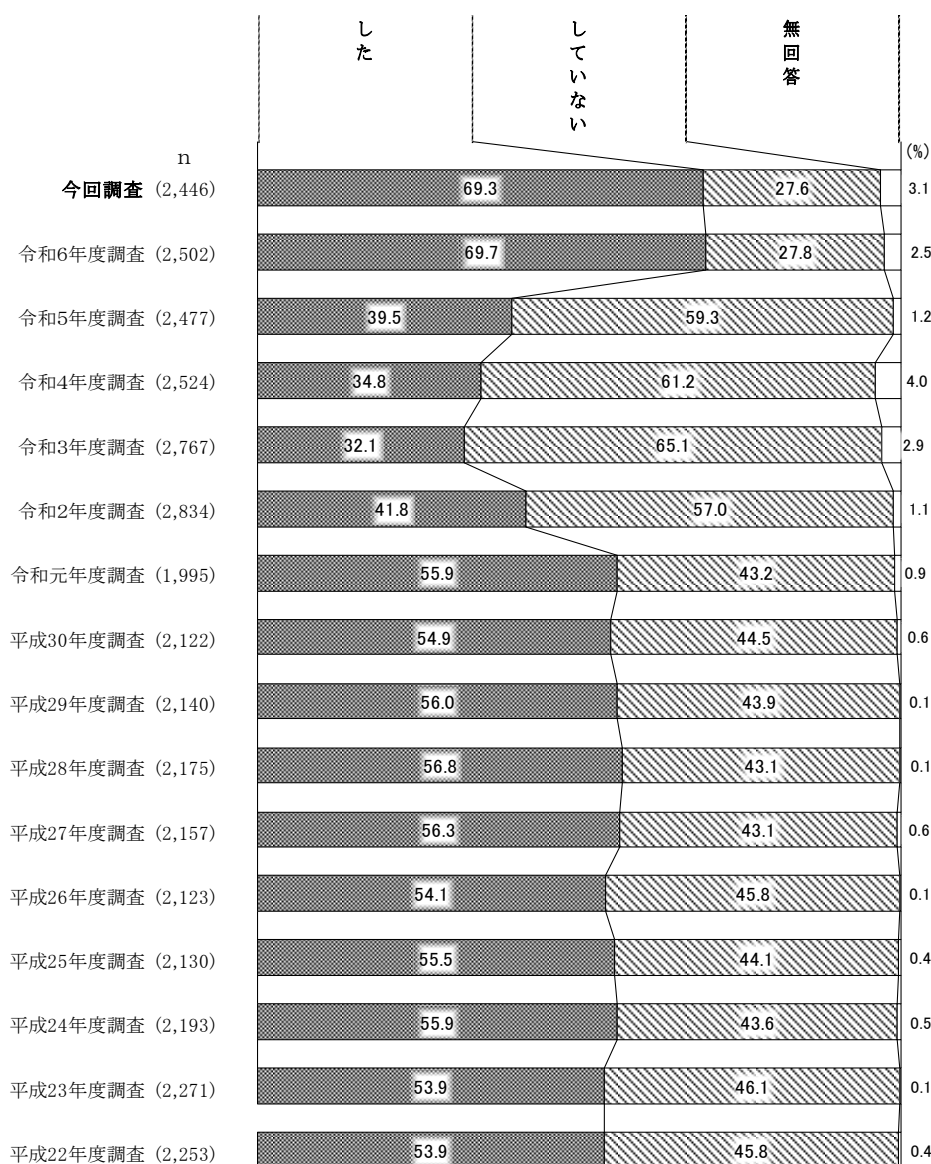
○今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	楽器演奏など	音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシックなど）	写真（風景、人物、花、動物、料理などスマートフォンでの撮影も含む）	映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術	美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）	生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）	演劇（現代劇、ミュージカルなど）	伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど）	文芸（小説、詩、俳句、短歌など）	伝統工芸、文化財の継承・保存	舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）	国民娯楽（囲碁、将棋など）	演芸（落語、漫談、漫才など）	無回答	(%)
全 体	2,446	31.9	22.0	21.1	20.4	16.5	9.8	8.3	7.4	7.1	6.1	5.2	5.0	20.5		
地域別																
南部地域	245	37.1	23.3	22.4	22.4	18.0	10.2	9.4	5.7	6.5	7.3	4.1	3.7	20.4		
南西部地域	224	31.7	20.5	23.7	17.0	16.5	9.8	8.5	5.4	7.6	4.0	4.0	6.7	19.2		
東部地域	363	31.4	25.9	21.5	19.6	18.7	9.9	7.7	7.4	7.2	7.4	5.8	4.7	18.2		
さいたま地域	447	31.8	20.6	22.4	21.9	17.2	11.9	8.1	9.4	7.2	8.1	6.0	6.7	20.1		
県央地域	181	28.2	16.0	12.2	19.3	13.8	6.6	7.2	7.7	5.0	6.1	6.1	4.4	25.4		
川越比企地域	253	32.0	22.5	19.4	20.6	12.6	8.7	9.5	8.3	8.7	4.3	4.0	3.6	19.0		
西部地域	271	29.9	24.4	21.4	21.0	17.3	10.7	9.2	7.7	9.2	7.4	5.2	4.1	19.6		
利根地域	217	32.7	21.2	22.6	20.3	17.1	3.7	6.9	7.8	6.9	4.6	6.0	4.1	22.6		
北部地域	166	32.5	22.9	21.7	22.9	14.5	11.4	3.0	4.2	3.0	4.2	4.8	6.0	21.7		
秩父地域	32	37.5	25.0	31.3	18.8	18.8	18.8	25.0	12.5	15.6	-	9.4	3.1	6.3		
性別																
男性	1,010	30.3	23.4	24.9	16.9	9.0	6.0	7.6	7.6	9.0	2.4	9.4	6.9	19.6		
女性	1,330	33.5	21.6	18.6	23.9	22.2	12.3	8.6	7.5	5.6	9.2	2.2	3.7	20.0		
年代別																
18・19歳	32	50.0	25.0	37.5	12.5	12.5	3.1	3.1	6.3	-	3.1	3.1	3.1	3.1		
20歳代	180	41.1	28.9	32.2	20.0	19.4	16.1	12.2	13.3	7.2	12.2	3.9	5.0	8.9		
【再掲】10歳代・20歳代	212	42.5	28.3	33.0	18.9	18.4	14.2	10.8	12.3	6.1	10.8	3.8	4.7	8.0		
30歳代	256	37.9	25.0	39.5	19.1	20.3	14.1	14.1	8.2	9.8	8.2	2.3	3.9	11.3		
40歳代	361	34.6	25.8	22.7	24.4	17.7	11.4	8.9	6.4	9.1	7.2	4.4	3.9	14.7		
50歳代	497	38.0	22.3	25.2	21.1	18.1	12.9	6.4	4.8	8.0	7.2	4.4	5.2	14.1		
60歳代	428	30.4	23.8	18.0	23.8	14.7	8.9	7.5	6.1	7.2	5.8	7.7	4.2	18.9		
70歳以上	648	21.3	16.0	8.6	17.0	13.7	3.7	6.5	9.1	4.6	2.8	6.5	6.5	36.0		
性・年代別																
男性／18・19歳	9	55.6	22.2	55.6	22.2	33.3	-	-	-	-	-	11.1	-	-		
20歳代	78	42.3	34.6	39.7	19.2	11.5	9.0	10.3	19.2	10.3	3.8	6.4	9.0	9.0		
【再掲】10歳代・20歳代	87	43.7	33.3	41.4	19.5	13.8	8.0	9.2	17.2	9.2	3.4	6.9	8.0	8.0		
30歳代	109	41.3	19.3	52.3	13.8	8.3	8.3	12.8	6.4	9.2	4.6	4.6	6.4	9.2		
40歳代	140	30.7	26.4	27.9	24.3	9.3	10.7	12.1	9.3	10.0	3.6	7.9	5.7	15.0		
50歳代	201	31.8	25.9	30.3	14.4	6.0	8.0	4.0	3.5	10.0	2.0	8.0	6.5	12.9		
60歳代	187	31.6	25.1	18.2	17.6	9.6	3.2	8.0	3.7	11.2	1.1	14.4	4.8	16.6		
70歳以上	286	19.9	17.5	8.4	15.0	9.4	2.8	5.2	9.8	6.3	1.7	10.5	9.1	36.0		
女性／18・19歳	23	47.8	26.1	30.4	8.7	4.3	4.3	4.3	8.7	-	4.3	-	4.3	4.3		
20歳代	99	41.4	24.2	27.3	20.2	25.3	21.2	13.1	8.1	4.0	19.2	2.0	2.0	9.1		
【再掲】10歳代・20歳代	122	42.6	24.6	27.9	18.0	21.3	18.0	11.5	8.2	3.3	16.4	1.6	2.5	8.2		
30歳代	135	35.6	28.9	30.4	24.4	28.9	17.8	14.1	9.6	8.9	10.4	0.7	2.2	11.9		
40歳代	208	38.0	26.4	19.7	25.5	23.1	12.0	7.2	4.8	8.2	10.1	2.4	2.9	14.4		
50歳代	280	42.9	20.4	20.7	26.4	27.1	16.1	8.6	6.1	6.8	11.4	1.4	4.6	13.9		
60歳代	236	29.7	23.3	17.8	29.2	19.1	13.6	7.2	8.1	4.2	9.7	2.5	3.8	19.9		
70歳以上	349	21.8	14.6	9.2	19.2	17.5	4.6	7.4	8.9	3.4	3.7	3.2	4.3	35.5		
職業別																
自営業・家族従業（計）	183	34.4	18.0	18.6	20.8	14.2	10.9	8.7	9.3	9.3	2.7	6.0	4.9	18.0		
雇用者（計）	1,293	36.5	24.7	25.8	21.2	17.2	12.6	9.0	6.5	7.9	7.0	5.2	5.4	14.2		
無職（計）	909	25.9	19.5	15.7	19.8	16.1	5.5	6.8	8.5	5.7	5.7	5.3	4.3	28.2		
ライフステージ別																
独身期	280	42.9	28.2	41.4	18.9	19.3	14.3	11.4	13.9	8.9	9.6	3.6	3.6	7.1		
家族形成期	151	40.4	27.2	29.8	21.2	23.2	16.6	15.2	6.0	7.3	10.6	3.3	6.0	9.9		
家族成長前期	205	32.7	21.0	23.4	22.4	19.0	11.2	8.8	6.8	9.3	10.2	3.4	3.4	14.1		
家族成長後期	166	41.6	18.7	16.9	25.9	21.7	13.3	8.4	4.8	7.2	4.8	3.6	5.4	9.6		
家族成熟期	373	31.4	23.9	21.4	22.3	15.5	9.9	7.8	5.1	7.0	5.4	6.7	6.7	18.8		
高齢期	611	23.1	18.0	11.6	20.3	14.4	6.4	7.0	8.0	4.6	5.2	5.7	5.4	29.8		
その他	660	31.1	21.8	19.5	17.7	14.2	8.2	6.7	6.4	7.9	3.8	6.1	4.5	25.8		

(4) 文化や芸術の鑑賞

◇「した」が69.3%、「していない」が27.6%

問7(4) あなたは、この1年間に、文化や芸術を鑑賞しましたか。(〇は1つだけ)
(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞を含みます。)



※令和4年度調査までは選択肢「ある」「ない」

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に、文化や芸術を鑑賞したかは、「した」(69.3%)は約7割となっており、「していない」(27.6%)を41.7ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

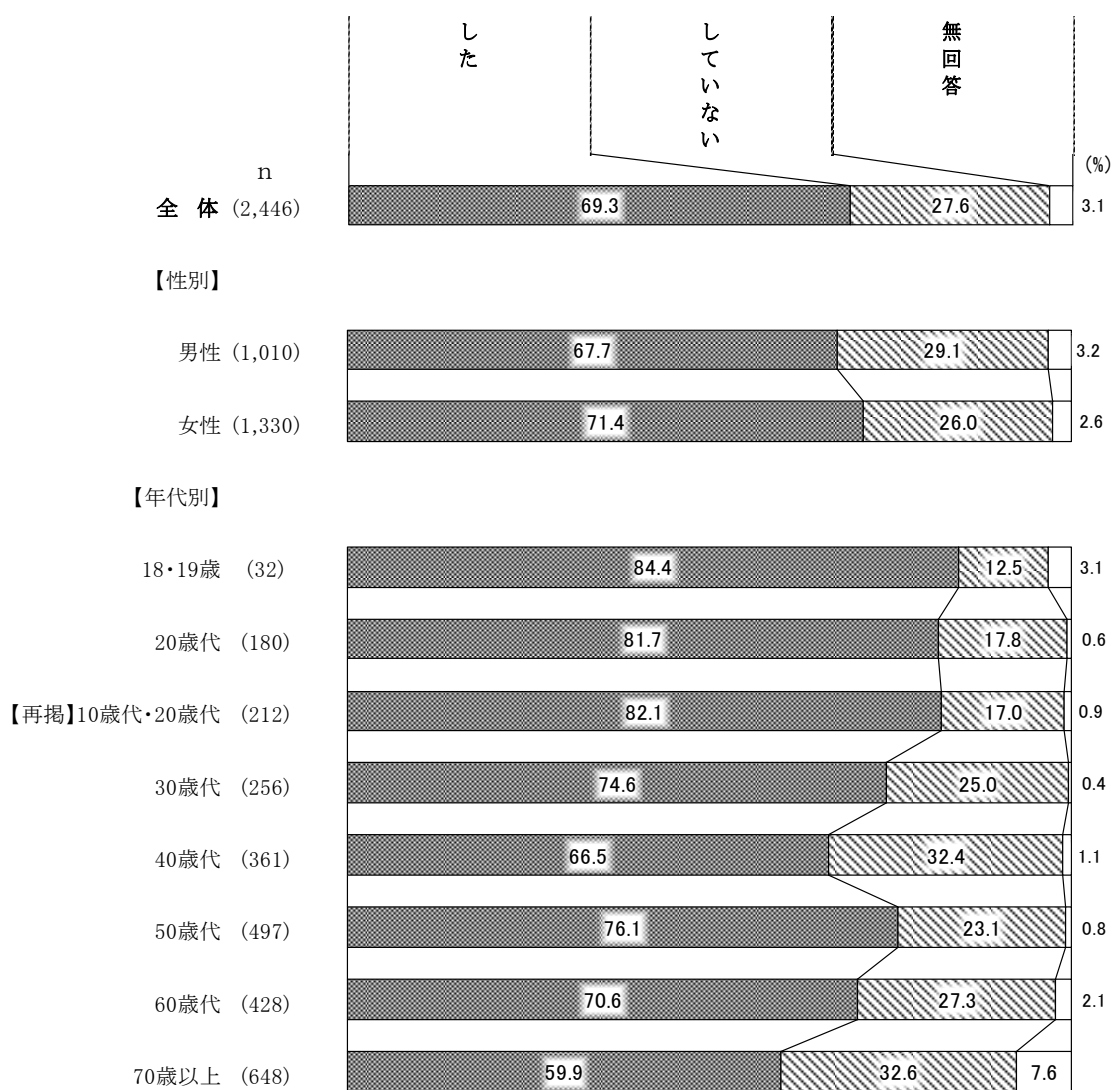
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられないが、「した」は女性（71.4%）の方が男性（67.7%）よりも3.7ポイント高くなっている。

② 年代別

「した」は10歳代・20歳代（82.1%）で8割強と最も高く、70歳以上（59.9%）で最も低くなっている。

○文化や芸術の鑑賞・性別／年代別



③ 地域別

「した」は秩父地域（81.3%）で8割強と最も高く、利根地域（59.4%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「した」は女性10歳代・20歳代（84.4%）で8割台半ばと高く、男性70歳以上（58.4%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「した」は雇用者（計）（73.0%）で7割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「した」は独身期（82.5%）で8割強と最も高く、その他（63.6%）で最も低くなっている。

○文化や芸術の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	した	していない	無回答
全 体	2,446	69.3	27.6	3.1
地域別				
南部地域	245	70.6	26.5	2.9
南西部地域	224	70.5	26.8	2.7
東部地域	363	68.6	29.5	1.9
さいたま地域	447	74.7	22.6	2.7
県央地域	181	68.0	29.8	2.2
川越比企地域	253	67.6	28.1	4.3
西部地域	271	70.1	27.3	2.6
利根地域	217	59.4	35.9	4.6
北部地域	166	69.9	27.1	3.0
秩父地域	32	81.3	18.8	—
性・年代別				
男性／18・19歳	9	88.9	—	11.1
20歳代	78	78.2	21.8	—
【再掲】10歳代・20歳代	87	79.3	19.5	1.1
30歳代	109	76.1	23.9	—
40歳代	140	67.9	31.4	0.7
50歳代	201	70.6	28.4	1.0
60歳代	187	68.4	28.9	2.7
70歳以上	286	58.4	33.6	8.0
女性／18・19歳	23	82.6	17.4	—
20歳代	99	84.8	14.1	1.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	84.4	14.8	0.8
30歳代	135	74.1	25.2	0.7
40歳代	208	66.3	32.2	1.4
50歳代	280	80.4	18.9	0.7
60歳代	236	72.0	26.3	1.7
70歳以上	349	61.0	32.1	6.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	183	67.2	29.5	3.3
雇用者（計）	1,293	73.0	25.8	1.2
無職（計）	909	66.3	29.0	4.6
ライフステージ別				
独身期	280	82.5	17.1	0.4
家族形成期	151	70.9	28.5	0.7
家族成長前期	205	70.7	27.3	2.0
家族成長後期	166	77.1	21.7	1.2
家族成熟期	373	70.0	28.7	1.3
高齢期	611	66.1	29.3	4.6
その他	660	63.6	31.2	5.2

(5) スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度

◇『週に1回程度以上（計）』は全体の60.1%

問8 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

(1) あなたは、この1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動*をしましたか。

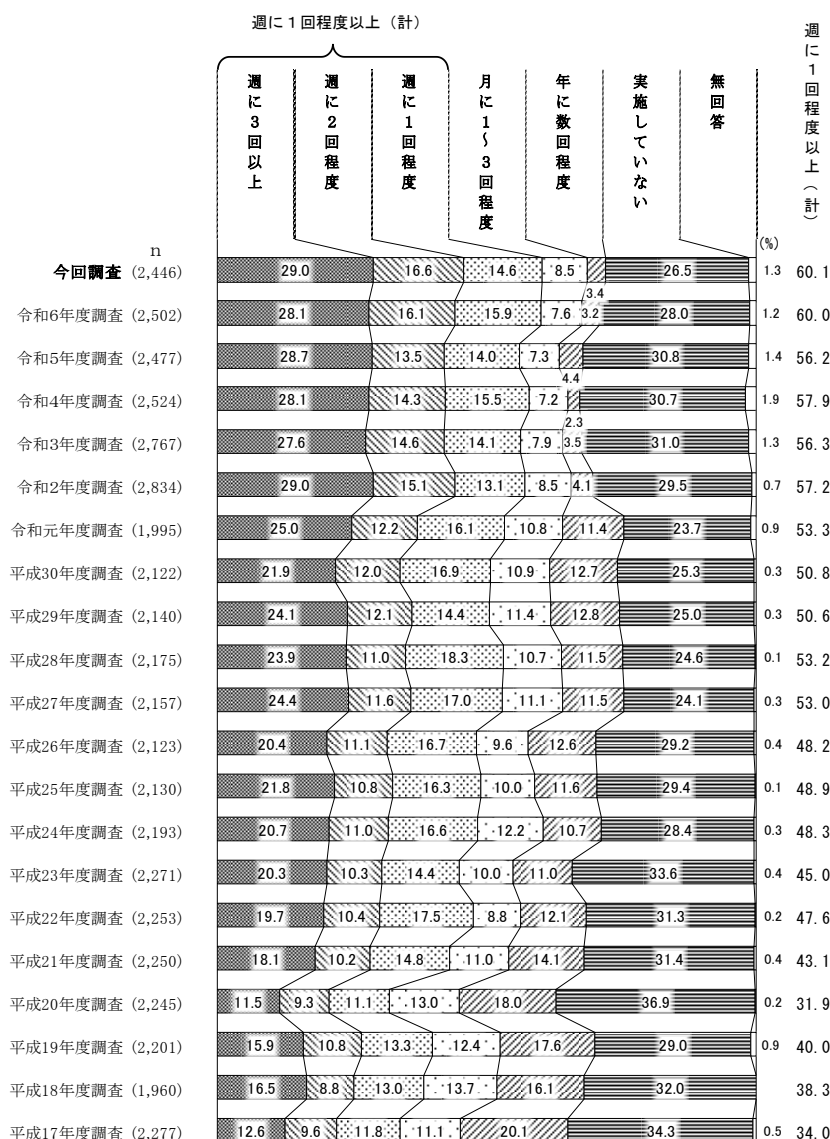
(○は1つだけ)

問8(1)-1 (問8で「1. した」場合に) それはどのくらいの頻度でしましたか。

(○は1つだけ)

*スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング（ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む）、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操（軽い体操・ラジオ体操を含む）、ヨガ・バレエ、登山（トレッキングを含む）、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング（筋力・その他運動器具を使った運動）、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス（フォークダンス、民謡踊りを含む）、バーチャルスポーツ（体の動きを伴うコンピューターゲーム） など



※選択肢「月に1〜3回程度」は、平成22年度から平成26年度調査までは「月に1〜2回程度」としていた。

平成24年度調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。

令和2年度調査からは「実施していない」は問8(1)の「していない」を問8(1)-1に組み込んだものである。

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施機会は、「週に3回以上」（29.0％）が約3割と最も高くなっており、「週に2回程度」（16.6％）、「週に1回程度」（14.6％）を合わせた『週に1回程度以上（計）』（60.1％）は6割を超えている。一方、「実施していない」（26.5％）は2割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

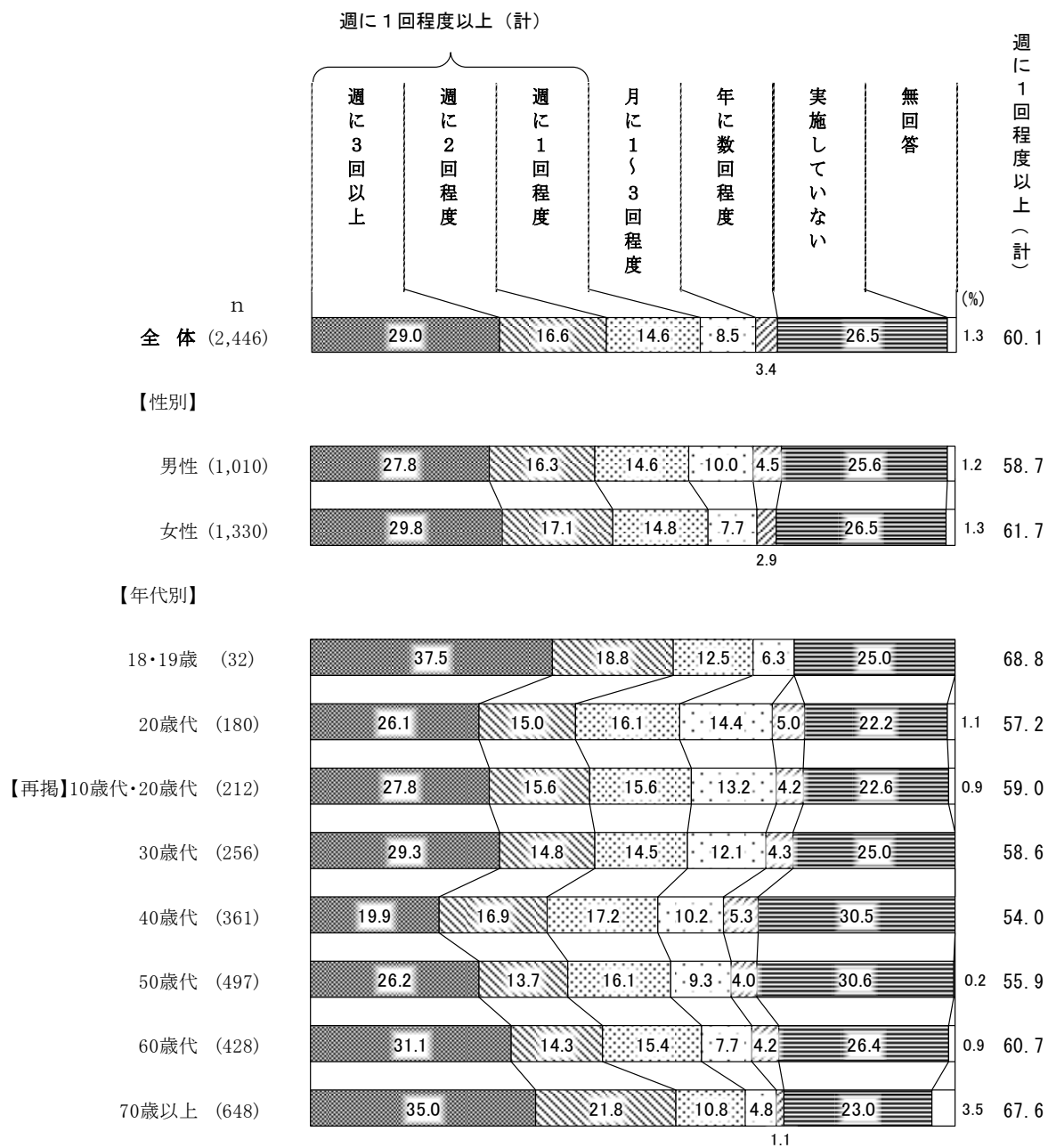
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『週に1回程度以上（計）』は70歳以上（67.6%）が6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「実施していない」は50歳代（30.6%）と40歳代（30.5%）で3割を超えて高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・性別／年代別



③ 地域別

『週に1回程度以上(計)』は秩父地域(71.9%)が7割強と最も高く、利根地域(54.4%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『週に1回程度以上(計)』は女性70歳以上(69.1%)が約7割と最も高く、男性50歳代(50.2%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『週に1回程度以上(計)』は無職(計)(65.8%)で6割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『週に1回程度以上(計)』は高齢期(69.2%)で約7割と最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

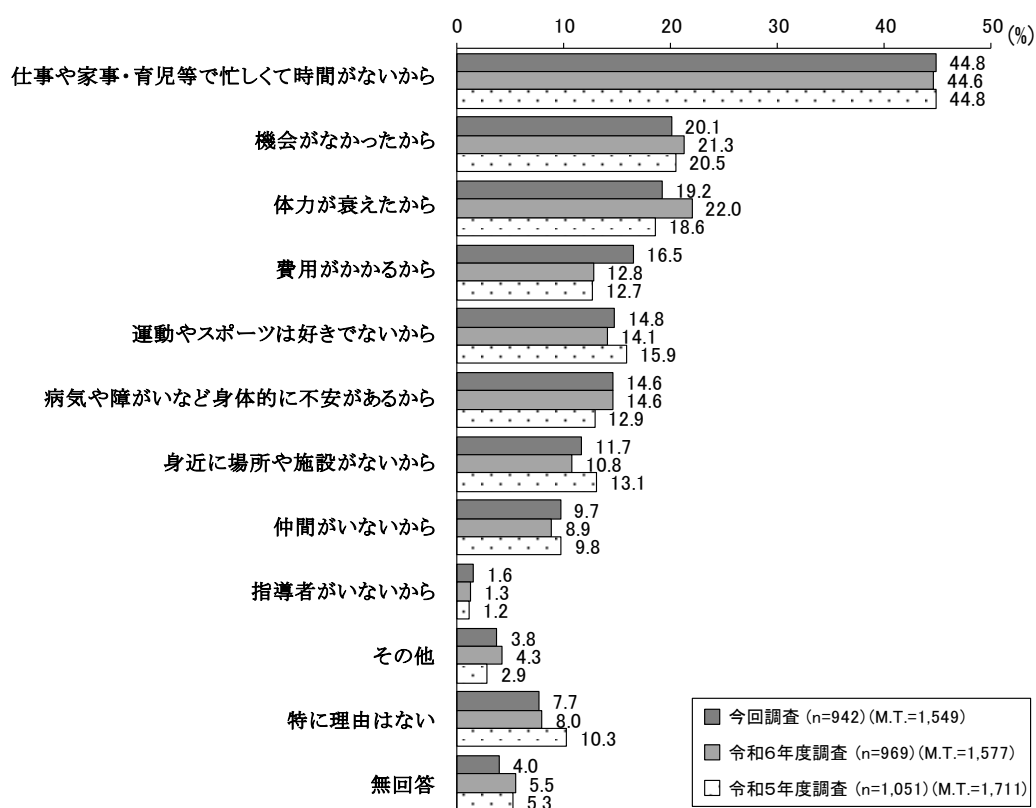
	調査数 n	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	実施していない	無回答	(%) (計) 週に1回程度以上
全 体	2,446	29.0	16.6	14.6	8.5	3.4	26.5	1.3	60.1
地域別									
南部地域	245	27.8	22.0	14.7	6.5	0.8	27.3	0.8	64.5
南西部地域	224	26.3	20.5	16.1	8.5	4.0	23.7	0.9	62.9
東部地域	363	28.9	14.0	13.2	8.8	2.8	31.1	1.1	56.2
さいたま地域	447	32.4	15.4	14.5	10.1	4.0	22.4	1.1	62.4
県央地域	181	28.2	17.1	13.3	8.8	3.9	26.5	2.2	58.6
川越比企地域	253	27.3	14.6	16.6	6.7	4.0	28.5	2.4	58.5
西部地域	271	30.6	14.4	13.7	10.0	4.4	25.8	1.1	58.7
利根地域	217	29.5	14.7	10.1	7.4	6.0	30.4	1.8	54.4
北部地域	166	26.5	21.1	18.7	8.4	1.8	23.5	-	66.3
秩父地域	32	25.0	28.1	18.8	12.5	-	15.6	-	71.9
性・年代別									
男性／18・19歳	9	66.7	-	-	-	-	33.3	-	66.7
20歳代	78	25.6	20.5	7.7	14.1	9.0	21.8	1.3	53.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	29.9	18.4	6.9	12.6	8.0	23.0	1.1	55.2
30歳代	109	32.1	12.8	16.5	15.6	5.5	17.4	-	61.5
40歳代	140	16.4	19.3	21.4	8.6	6.4	27.9	-	57.1
50歳代	201	21.4	10.9	17.9	11.9	5.0	32.3	0.5	50.2
60歳代	187	27.3	16.0	15.0	10.2	4.8	26.2	0.5	58.3
70歳以上	286	36.0	19.6	10.1	6.3	1.4	23.4	3.1	65.7
女性／18・19歳	23	26.1	26.1	17.4	8.7	-	21.7	-	69.6
20歳代	99	26.3	11.1	23.2	15.2	2.0	21.2	1.0	60.6
【再掲】10歳代・20歳代	122	26.2	13.9	22.1	13.9	1.6	21.3	0.8	62.3
30歳代	135	28.1	15.6	13.3	9.6	3.7	29.6	-	57.0
40歳代	208	21.6	15.9	15.4	11.5	4.3	31.3	-	52.9
50歳代	280	29.3	15.4	15.4	7.9	3.6	28.6	-	60.0
60歳代	236	34.7	12.7	15.7	5.9	3.8	25.8	1.3	63.1
70歳以上	349	33.5	24.1	11.5	3.4	0.9	22.9	3.7	69.1
職業別									
自営業・家族従業(計)	183	29.0	11.5	13.7	8.7	5.5	30.6	1.1	54.1
雇用者(計)	1,293	23.8	16.2	17.3	10.2	4.3	27.8	0.5	57.3
無職(計)	909	36.1	18.9	10.8	6.4	2.0	23.7	2.2	65.8
ライフステージ別									
独身期	280	27.5	14.3	14.6	12.5	4.3	26.4	0.4	56.4
家族形成期	151	30.5	17.2	13.9	13.2	4.6	19.9	0.7	61.6
家族成長前期	205	17.1	14.6	21.5	12.2	5.4	29.3	-	53.2
家族成長後期	166	28.9	15.7	18.1	9.0	6.0	22.3	-	62.7
家族成熟期	373	29.5	13.7	14.7	7.8	4.3	29.5	0.5	57.9
高齢期	611	35.0	21.1	13.1	5.7	1.6	21.6	1.8	69.2
その他	660	27.1	15.8	12.9	7.6	2.7	31.2	2.7	55.8

(5-1) スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が44.8%

(問8(1)で「2. していない」とお答えの方、または問8(1)-1で「4. 月に1～3回程度」もしくは「5. 年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問8(1)-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



週に1回以上スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、次いで「機会がなかったから」(20.1%)が2割を超えて続き、以下「体力が衰えたから」(19.2%)、「費用がかかるから」(16.5%)、「運動やスポーツは好きでないから」(14.8%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられないが、「費用がかかるから」(16.5%)が3.7ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は川越比企地域（49.5％）で約5割と最も高くなっている。「機会がなかったから」は南西部地域（28.4％）で3割弱と最も高く、「体力が衰えたから」は利根地域（24.2％）で2割台半ばと最も高くなっている。

※秩父地域（n＝9）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「運動やスポーツは好きでないから」は女性（18.1％）の方が男性（11.1％）よりも7.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は40歳代（69.3％）で約7割と最も高く、70歳以上（10.7％）で最も低くなっている。「機会がなかったから」は30歳代（24.5％）で2割台半ばと最も高くなっている。また、「体力が衰えたから」は70歳以上（36.4％）で3割半ばを超えて最も高く、他の年代を大きく上回っている。

④ 性・年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性30歳代（75.9％）で7割台半ばと最も高くなっている。「機会がなかったから」は女性60歳代（29.8％）で約3割と最も高く、「体力が衰えたから」は男性70歳以上（41.6％）で4割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は雇用者（計）（60.4％）で6割を超えて最も高くなっている。「機会がなかったから」も雇用者（計）（21.8％）で2割強と最も高く、「体力が衰えたから」は無職（計）（27.1％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族形成期（87.7％）で8割台半ばを超えて最も高くなっている。「機会がなかったから」は家族成長後期（24.2％）で2割台半ばと最も高く、「体力が衰えたから」は高齢期（32.2％）で3割強と最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

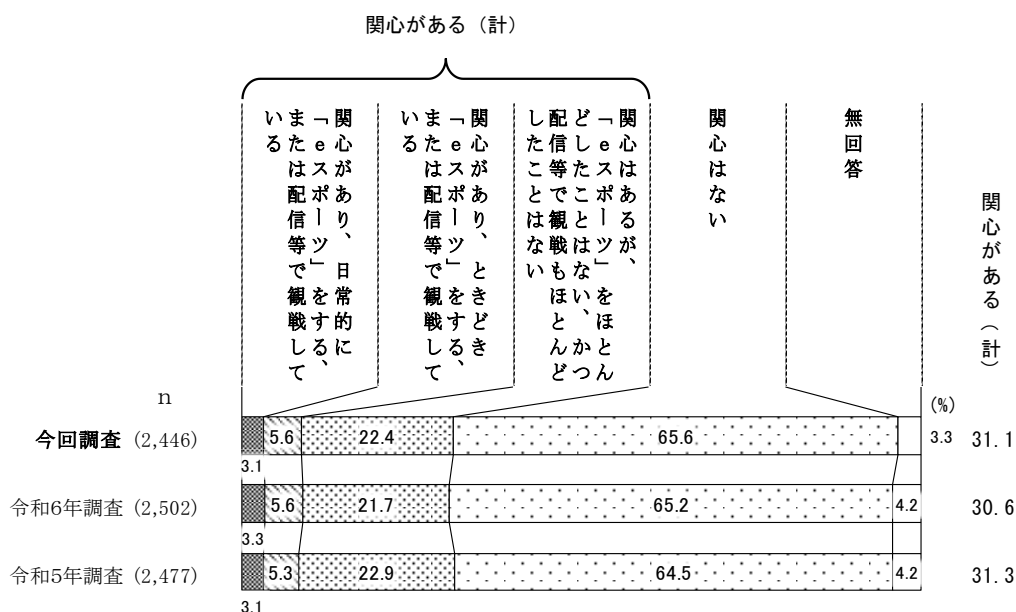
	調査数	で忙しか ら	仕事や家事・育 児等	機会がなかつた から	体力が衰えたか ら	費用がかかるか ら	運動やスポーツは 好きでないから	病的に不安がある など	身近に場所や施設 がないから	仲間がいないから	指導者がいないか ら	その他	特に理由はない	無回答
	n													(%)
全体	942	44.8	20.1	19.2	16.5	14.8	14.6	11.7	9.7	1.6	3.8	7.7	4.0	
地域別														
南部地域	85	44.7	17.6	15.3	18.8	12.9	17.6	12.9	10.6	1.2	3.5	9.4	5.9	
南西部地域	81	44.4	28.4	23.5	19.8	17.3	14.8	12.3	9.9	2.5	2.5	4.9	4.9	
東部地域	155	47.1	20.0	21.3	16.8	14.2	13.5	13.5	7.1	1.9	3.9	7.7	4.5	
さいたま地域	163	46.0	17.8	18.4	14.1	13.5	12.3	12.9	11.0	1.8	3.7	8.6	4.9	
県央地域	71	47.9	11.3	21.1	11.3	9.9	16.9	9.9	11.3	-	1.4	7.0	1.4	
川越比企地域	99	49.5	18.2	16.2	15.2	19.2	15.2	6.1	8.1	1.0	3.0	4.0	4.0	
西部地域	109	45.0	22.0	16.5	19.3	15.6	10.1	10.1	12.8	2.8	7.3	10.1	1.8	
利根地域	95	36.8	23.2	24.2	17.9	13.7	18.9	16.8	9.5	1.1	1.1	6.3	3.2	
北部地域	56	42.9	23.2	16.1	14.3	17.9	14.3	8.9	7.1	1.8	1.8	10.7	5.4	
秩父地域	9	44.4	11.1	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2	-	-	11.1	-	
性別														
男性	405	45.9	18.3	21.2	15.3	11.1	14.8	12.3	10.6	2.2	2.7	8.6	3.5	
女性	492	44.7	21.3	17.5	17.3	18.1	14.2	12.0	9.6	1.2	3.9	6.3	4.7	
年代別														
18・19歳	10	30.0	20.0	-	10.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	30.0	
20歳代	75	54.7	17.3	8.0	9.3	24.0	5.3	10.7	13.3	-	5.3	5.3	2.7	
【再掲】10歳代・20歳代	85	51.8	17.6	7.1	9.4	25.9	4.7	11.8	14.1	-	4.7	4.7	5.9	
30歳代	106	68.9	24.5	8.5	27.4	17.0	6.6	15.1	15.1	1.9	0.9	1.9	0.9	
40歳代	166	69.3	21.1	15.7	19.9	19.3	6.0	13.3	13.3	3.0	2.4	7.2	-	
50歳代	218	52.8	21.1	17.0	17.9	15.6	8.7	8.7	6.4	-	2.8	8.3	0.5	
60歳代	164	31.1	23.2	19.5	17.7	11.6	18.3	13.4	11.6	1.8	4.3	12.8	3.7	
70歳以上	187	10.7	13.9	36.4	8.0	7.0	33.7	10.7	4.3	2.7	4.8	7.5	13.4	
性・年代別														
男性／18・19歳	3	33.3	33.3	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	
20歳代	35	60.0	28.6	8.6	8.6	17.1	8.6	14.3	14.3	-	2.9	2.9	-	
【再掲】10歳代・20歳代	38	57.9	28.9	7.9	7.9	21.1	7.9	13.2	15.8	-	2.6	2.6	-	
30歳代	42	61.9	19.0	11.9	31.0	19.0	9.5	21.4	21.4	4.8	2.4	2.4	2.4	
40歳代	60	71.7	23.3	13.3	16.7	13.3	6.7	11.7	13.3	5.0	1.7	10.0	-	
50歳代	99	55.6	17.2	18.2	15.2	10.1	6.1	9.1	7.1	-	3.0	8.1	1.0	
60歳代	77	35.1	15.6	19.5	16.9	6.5	16.9	11.7	13.0	1.3	3.9	13.0	3.9	
70歳以上	89	14.6	13.5	41.6	9.0	6.7	33.7	12.4	3.4	3.4	2.2	10.1	10.1	
女性／18・19歳	7	28.6	14.3	-	14.3	28.6	-	28.6	14.3	-	-	-	42.9	
20歳代	38	50.0	5.3	7.9	7.9	31.6	2.6	7.9	13.2	-	7.9	5.3	5.3	
【再掲】10歳代・20歳代	45	46.7	6.7	6.7	8.9	31.1	2.2	11.1	13.3	-	6.7	4.4	11.1	
30歳代	58	75.9	27.6	6.9	24.1	15.5	5.2	12.1	12.1	-	-	1.7	-	
40歳代	98	68.4	19.4	17.3	23.5	23.5	6.1	15.3	13.3	2.0	3.1	4.1	-	
50歳代	112	51.8	25.9	15.2	19.6	19.6	10.7	8.9	6.3	-	1.8	8.0	-	
60歳代	84	27.4	29.8	19.0	17.9	16.7	19.0	15.5	10.7	2.4	4.8	11.9	3.6	
70歳以上	95	7.4	13.7	30.5	7.4	7.4	33.7	9.5	5.3	2.1	7.4	5.3	15.8	
職業別														
自営業・家族従業（計）	82	57.3	15.9	20.7	12.2	12.2	11.0	9.8	7.3	1.2	1.2	7.3	3.7	
雇用者（計）	546	60.4	21.8	14.8	20.5	16.3	6.4	13.0	10.6	1.5	2.2	6.2	2.0	
無職（計）	291	14.1	18.2	27.1	10.3	13.1	30.6	10.3	9.3	2.1	6.2	10.0	7.6	
ライフステージ別														
独身期	121	47.9	20.7	8.3	16.5	24.0	9.1	13.2	14.9	1.7	2.5	5.0	5.0	
家族形成期	57	87.7	19.3	12.3	17.5	21.1	1.8	15.8	17.5	-	3.5	-	-	
家族成長前期	96	82.3	15.6	15.6	18.8	14.6	4.2	14.6	9.4	-	1.0	2.1	-	
家族成長後期	62	71.0	24.2	14.5	16.1	6.5	4.8	8.1	6.5	1.6	1.6	3.2	-	
家族成熟期	155	40.0	21.9	20.0	16.8	12.3	15.5	10.3	6.5	2.6	1.3	10.3	3.2	
高齢期	177	15.3	19.8	32.2	11.9	8.5	29.4	10.7	7.9	2.8	4.5	9.6	7.9	
その他	274	37.2	19.7	19.0	18.2	16.8	15.7	11.3	9.5	1.1	6.9	10.9	4.7	

(6) eスポーツへの関心

◇『関心がある（計）』は全体の31.1%

問8（2） あなたは、「eスポーツ*」に関心がありますか。（○は1つだけ）

*「eスポーツ(esports)」とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。



eスポーツへの関心は、「関心はない」（65.6%）が6割台半ばと最も高くなっている。関心がある中では、「関心はあるが、「eスポーツ」をほとんどしたことはない、かつ配信等で観戦もほとんどしたことはない」（22.4%）が2割強と最も高く、「関心があり、日常的に「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している」（3.1%）、「関心があり、ときどき「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している」（5.6%）を合わせた『関心がある（計）』（31.1%）は3割強となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

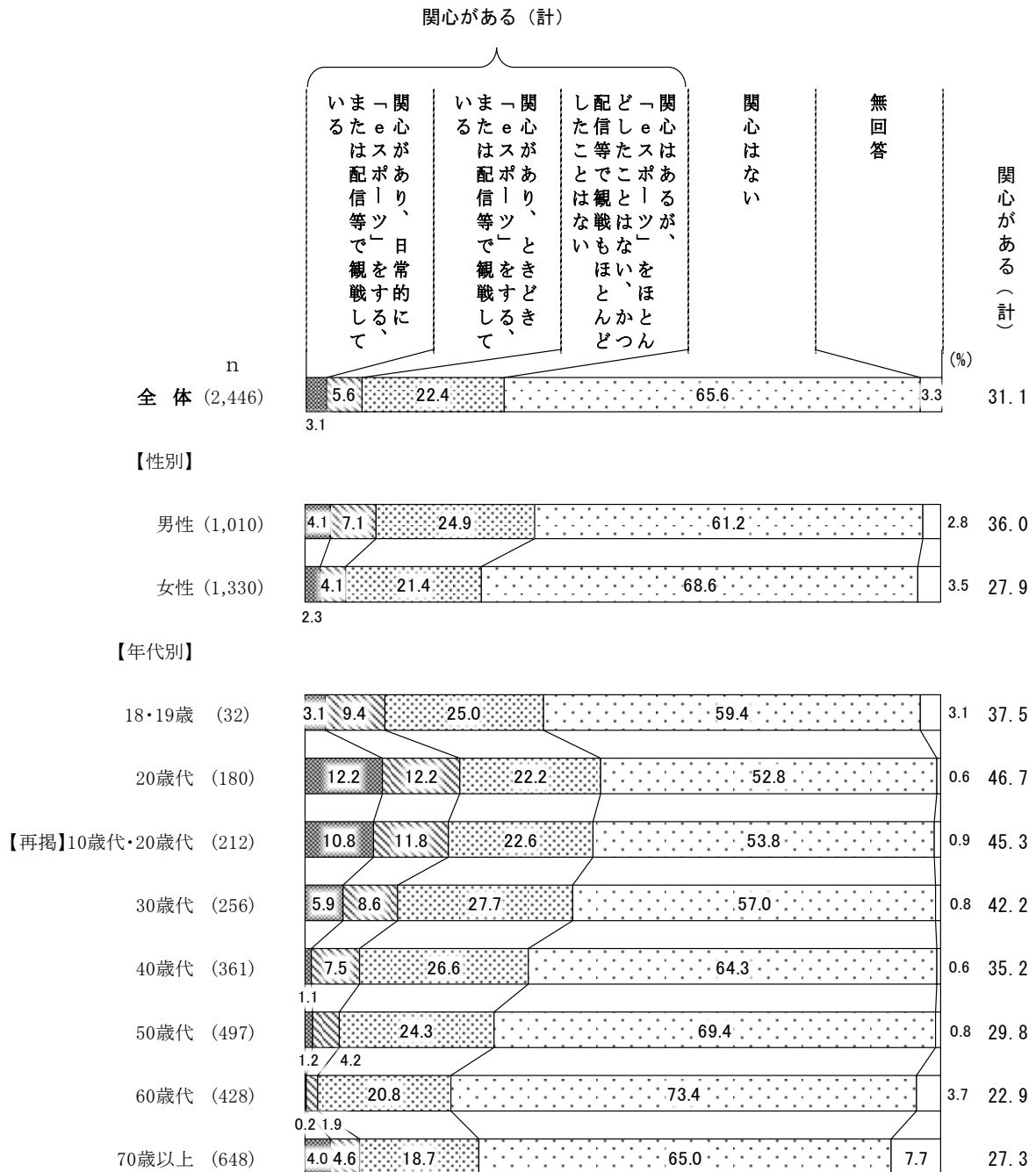
① 性別

『関心がある（計）』は男性（36.0%）の方が女性（27.9%）よりも8.1ポイント高くなっている。

② 年代別

『関心がある（計）』は10歳代・20歳代（45.3%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で、「関心はない」は60歳代（73.4%）で7割強と最も高くなっている。

〇eスポーツへの関心・性別／年代別



③ 地域別

『関心がある(計)』は秩父地域(37.5%)が3割台半ばを超えて最も高く、利根地域(28.1%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『関心がある(計)』は男性10歳代・20歳代(59.8%)が約6割と最も高く、女性60歳代(21.6%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『関心がある(計)』は雇用者(計)(32.9%)で3割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『関心がある(計)』は独身期(50.4%)で5割を超えて最も高くなっている。

〇スポーツへの関心・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

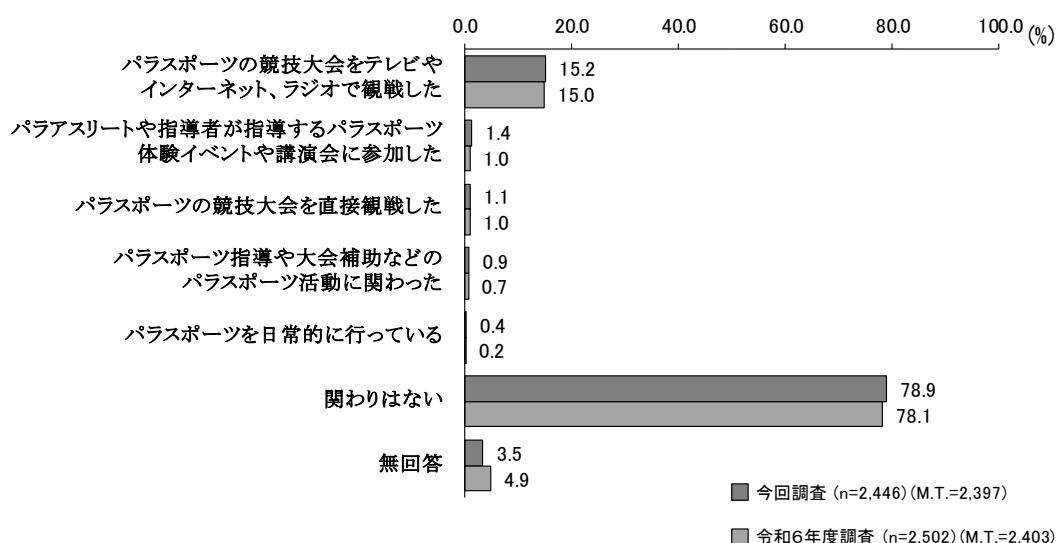
	調査数 n	配信用等 観戦している	配信用等 観戦している	配信用等 観戦している	配信用等 観戦している	配信用等 観戦している	配信用等 観戦している
全 体	2,446	3.1	5.6	22.4	65.6	3.3	31.1
地域別							
南部地域	245	1.2	5.3	21.6	69.8	2.0	28.2
南西部地域	224	4.9	6.3	18.3	65.2	5.4	29.5
東部地域	363	1.4	7.4	22.3	65.3	3.6	31.1
さいたま地域	447	3.4	5.6	26.2	62.2	2.7	35.1
県央地域	181	6.1	3.9	24.3	63.0	2.8	34.3
川越比企地域	253	2.8	4.7	24.9	64.0	3.6	32.4
西部地域	271	4.1	5.9	20.7	67.9	1.5	30.6
利根地域	217	4.1	3.2	20.7	67.7	4.1	28.1
北部地域	166	1.8	6.0	21.1	68.1	3.0	28.9
秩父地域	32	-	6.3	31.3	59.4	3.1	37.5
性・年代別							
男性／18・19歳	9	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7
20歳代	78	17.9	17.9	23.1	41.0	-	59.0
【再掲】10歳代・20歳代	87	16.1	19.5	24.1	40.2	-	59.8
30歳代	109	9.2	12.8	31.2	45.9	0.9	53.2
40歳代	140	2.1	12.1	30.0	55.7	-	44.3
50歳代	201	2.0	7.0	28.9	61.2	1.0	37.8
60歳代	187	0.5	1.6	22.5	72.7	2.7	24.6
70歳以上	286	3.1	2.4	18.9	68.5	7.0	24.5
女性／18・19歳	23	4.3	-	21.7	69.6	4.3	26.1
20歳代	99	8.1	8.1	22.2	60.6	1.0	38.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	7.4	6.6	22.1	62.3	1.6	36.1
30歳代	135	3.0	4.4	25.2	66.7	0.7	32.6
40歳代	208	0.5	2.9	25.5	70.2	1.0	28.8
50歳代	280	0.7	2.5	21.8	74.3	0.7	25.0
60歳代	236	-	2.1	19.5	74.2	4.2	21.6
70歳以上	349	4.3	6.6	18.3	62.5	8.3	29.2
職業別							
自営業・家族従業(計)	183	2.2	5.5	23.0	67.8	1.6	30.6
雇用者(計)	1,293	2.8	6.0	24.2	65.6	1.5	32.9
無職(計)	909	3.7	5.1	20.6	65.1	5.5	29.4
ライフステージ別							
独身期	280	11.4	11.4	27.5	48.6	1.1	50.4
家族形成期	151	4.0	7.3	19.9	68.2	0.7	31.1
家族成長前期	205	1.0	4.4	30.7	63.4	0.5	36.1
家族成長後期	166	0.6	3.6	25.9	69.3	0.6	30.1
家族成熟期	373	1.3	2.9	22.0	70.8	2.9	26.3
高齢期	611	2.1	4.4	18.3	70.9	4.3	24.9
その他	660	2.6	6.2	21.4	64.2	5.6	30.2

(7) パラスポーツへの関わり

◇「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」が15.2%

問8(3) あなたは、「パラスポーツ*」とどのような関わりがありますか。
(〇はいくつでも)

*パラスポーツとは、身体機能や知的発育などに障害をもつ人が行うスポーツです。また、障害のある方の運動機能にあわせて考えられたスポーツです(パラリンピック・デフリンピック競技を含みます)。最近では、障害のある人もない人も共に楽しめるという点も注目されています。



パラスポーツへの関わりは、「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」(15.2%)が1割台半ばで最も高く、次いで「パラアスリートや指導者が指導するパラスポーツ体験イベントや講演会に参加した」(1.4%)、「パラスポーツの競技大会を直接観戦した」(1.1%)、「パラスポーツ指導や大会補助などのパラスポーツ活動に関わった」(0.9%)、「パラスポーツを日常的に行っている」(0.4%)となっている。一方で、「関わりはない」(78.9%)が8割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」は秩父地域（34.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。一方で、「関わりはない」は南西部地域と東部地域（各81.3%）で8割強と高くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられないが、「関わりはない」は男性（81.5%）の方が女性（77.4%）よりも4.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」は70歳以上（20.7%）で2割を超えて最も高くなっている。一方で、「関わりはない」は30歳代・40歳代（各85.9%）で8割台半ばと高くなっている。

④ 性・年代別

「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」は女性70歳以上（24.1%）で2割台半ばと最も高くなっている。一方で、「関わりはない」は女性30歳代（88.1%）で9割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」は無職（計）（17.3%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「関わりはない」は自営業・家族従業（計）（84.2%）で8割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」は高齢期（21.6%）で2割強と最も高くなっている。一方で、「関わりはない」は家族成長前期（87.3%）で8割台半ばを超えて最も高くなっている。

○パラスポーツへの関わり・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／
ライフステージ別

(%)

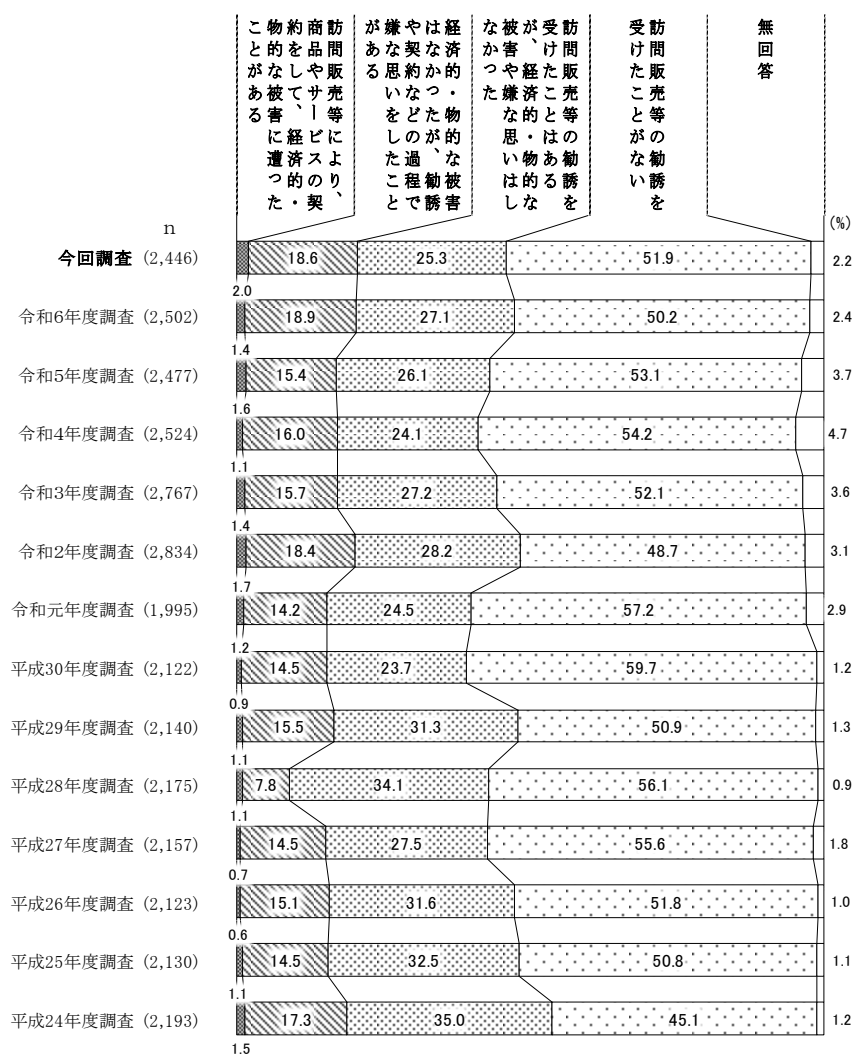
	調査数 n	ネット、 した 会をテレ ラスポ ビット ラジオ イエン タで観 戦大	者が指 導する パトや 指導 講演に 参加し たイベ ントや	会を直 接観戦 したの 競技大	会補 助など の指 導や大 ボツ活 動に関 わった	に行っ てい るポ ーッ スを 日常 的	関わり はない	無 回 答
全 体	2,446	15.2	1.4	1.1	0.9	0.4	78.9	3.5
地域別								
南部地域	245	15.9	0.8	0.8	1.2	-	78.4	4.5
南西部地域	224	12.9	0.4	0.9	0.4	-	81.3	4.5
東部地域	363	12.1	1.1	0.3	0.8	1.1	81.3	3.6
さいたま地域	447	15.9	0.9	0.7	0.7	0.4	79.6	2.7
県央地域	181	21.5	2.2	2.2	0.6	1.1	74.0	2.2
川越比企地域	253	15.0	0.8	1.6	0.8	0.4	79.4	3.6
西部地域	271	15.5	2.6	0.7	1.5	0.4	79.7	1.1
利根地域	217	12.4	0.9	1.4	1.4	0.5	80.6	3.2
北部地域	166	15.7	3.6	3.6	0.6	-	76.5	3.6
秩父地域	32	34.4	6.3	3.1	3.1	-	62.5	3.1
性別								
男性	1,010	13.6	0.8	1.4	0.7	0.2	81.5	3.0
女性	1,330	16.5	1.8	0.9	1.1	0.6	77.4	3.3
年代別								
18・19歳	32	6.3	3.1	-	-	-	90.6	3.1
20歳代	180	11.1	3.9	1.1	1.1	-	84.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	212	10.4	3.8	0.9	0.9	-	85.4	0.5
30歳代	256	11.3	2.0	1.2	1.2	-	85.9	0.4
40歳代	361	11.1	1.7	1.7	1.4	-	85.9	0.6
50歳代	497	14.5	1.0	1.4	0.4	0.6	81.9	1.0
60歳代	428	16.1	0.9	1.4	0.7	0.7	79.2	2.3
70歳以上	648	20.7	0.9	0.6	1.1	0.8	68.4	9.0
性・年代別								
男性／18・19歳	9	11.1	-	-	-	-	88.9	-
20歳代	78	14.1	1.3	2.6	1.3	-	82.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	87	13.8	1.1	2.3	1.1	-	82.8	-
30歳代	109	11.0	-	1.8	0.9	-	87.2	-
40歳代	140	10.7	1.4	1.4	2.1	-	85.7	0.7
50歳代	201	12.4	0.5	1.5	-	0.5	84.6	0.5
60歳代	187	13.4	1.1	1.6	0.5	-	83.4	1.6
70歳以上	286	16.8	0.7	0.7	0.3	0.3	73.4	8.7
女性／18・19歳	23	4.3	4.3	-	-	-	91.3	4.3
20歳代	99	9.1	6.1	-	1.0	-	85.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	8.2	5.7	-	0.8	-	86.9	0.8
30歳代	135	8.9	2.2	-	0.7	-	88.1	0.7
40歳代	208	12.0	1.9	1.9	1.0	-	85.1	0.5
50歳代	280	16.1	1.4	1.1	0.7	0.4	80.0	1.4
60歳代	236	18.6	0.8	1.3	0.8	1.3	75.8	2.5
70歳以上	349	24.1	1.1	0.6	1.7	1.1	64.2	8.9
職業別								
自営業・家族従業（計）	183	12.6	0.5	1.1	1.1	-	84.2	1.6
雇用者（計）	1,293	14.1	1.7	1.2	1.1	0.4	82.2	1.2
無職（計）	909	17.3	1.2	1.1	0.7	0.7	74.4	5.8
ライフステージ別								
独身期	280	10.4	2.5	1.4	1.1	-	86.1	0.4
家族形成期	151	10.6	2.6	0.7	1.3	0.7	84.8	0.7
家族成長前期	205	9.3	2.0	1.0	1.5	-	87.3	-
家族成長後期	166	18.1	1.8	1.2	0.6	-	77.7	2.4
家族成熟期	373	16.1	1.6	1.6	0.5	0.8	78.3	2.7
高齢期	611	21.6	1.1	1.3	1.0	0.7	71.2	5.1
その他	660	13.0	0.5	0.8	0.9	0.5	79.5	5.5

(8 - 1) 訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が 51.9%

問9 消費生活についておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」(51.9%) が5割強と最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」(25.3%) が2割台半ばと最も高くなっており、次いで「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(18.6%)、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」(2.0%) となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

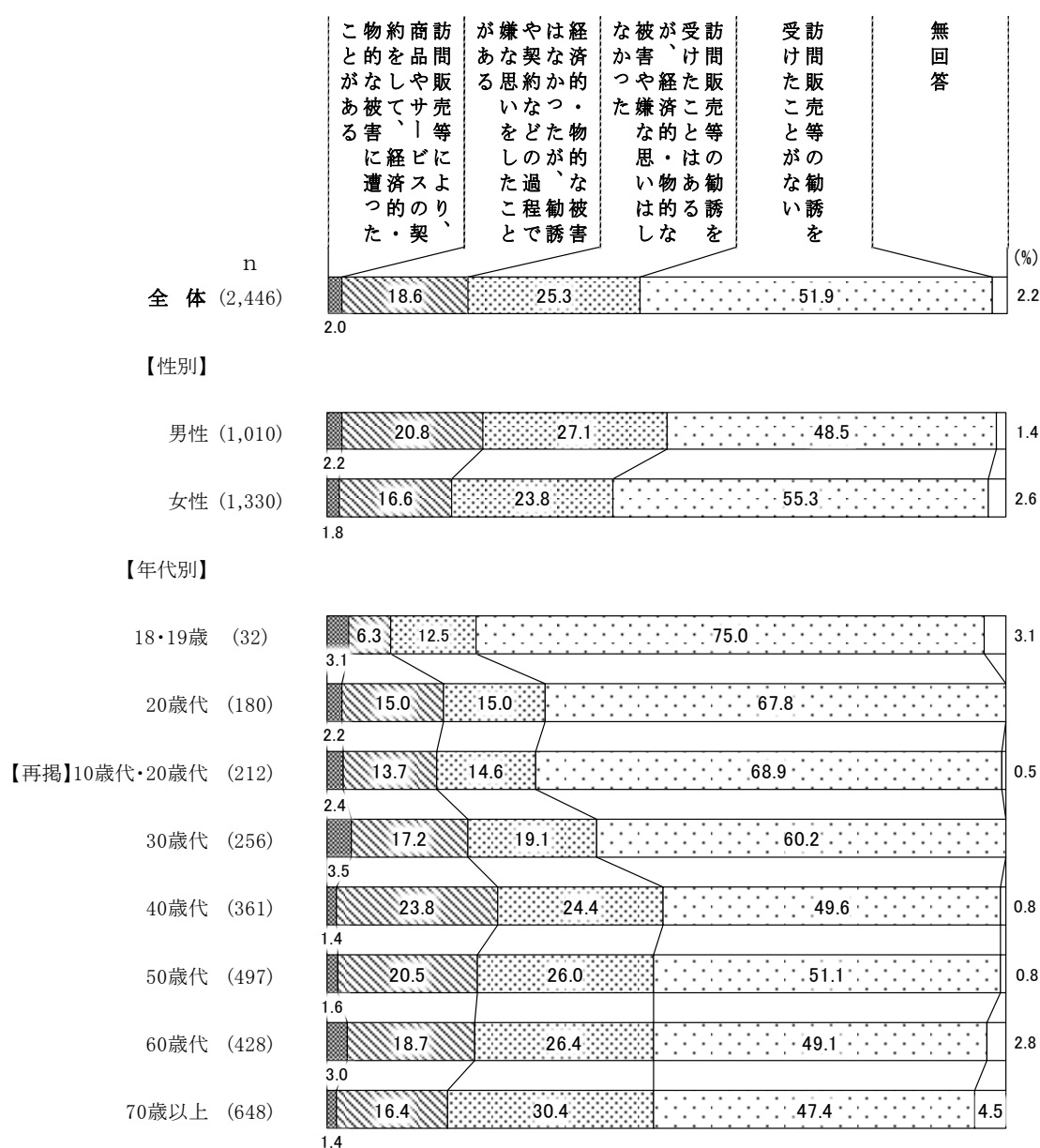
① 性別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は女性（55.3%）の方が男性（48.5%）よりも6.8ポイント高くなっている。

② 年代別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は10歳代・20歳代（68.9%）で7割弱と最も高くなっており、おおむね年代が上がるにつれ割合が低くなっている。一方で、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」は70歳代（30.4%）で3割を超えて最も高くなっている。

○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害・性別／年代別



③ 地域別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は県央地域（22.7%）で2割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は男性40歳代（27.1%）が2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は自営業・家族従業（計）（23.5%）で2割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は家族成長前期（21.5%）で2割強と最も高くなっている。

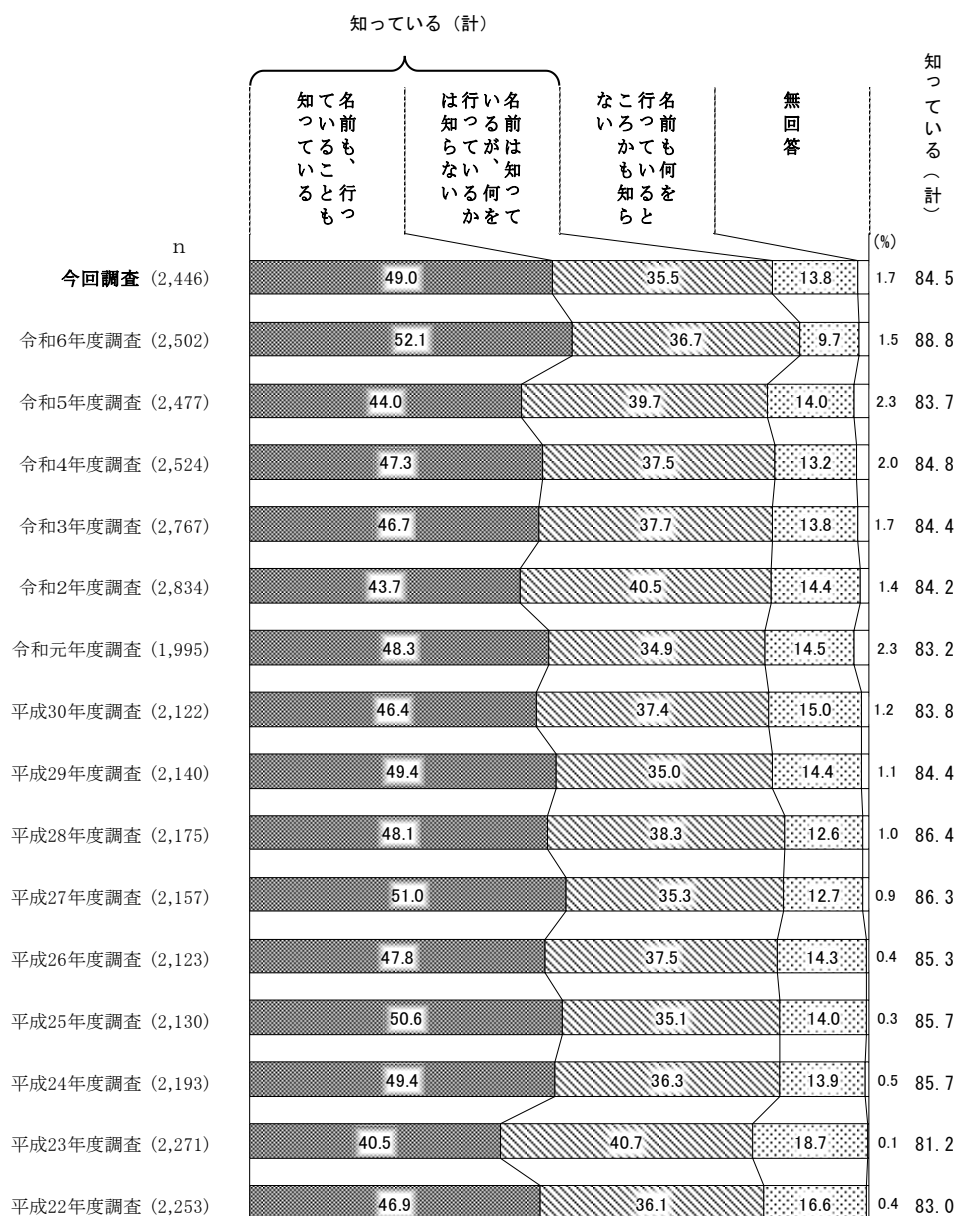
○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	にや訪たどか経済的はいた訪た訪 遭つサ問このつ済は・こ問販 つ経ー販の過たが・物な物と販 た済ビ売たが、物なな物と販 こと・のに、嫌勧的はな が物的により、な誘な被るの あ約、を思や被害が勧 るなをし、害や、誘 被害被し、を嫌な経受 害商品	2.0	18.6	25.3	51.9	2.2
全 体	2,446						
地域別							
南部地域	245	1.2	14.3	28.2	53.9	2.4	
南西部地域	224	2.7	18.8	21.4	54.0	3.1	
東部地域	363	1.7	20.7	22.9	51.8	3.0	
さいたま地域	447	1.8	18.8	20.1	57.3	2.0	
県央地域	181	2.2	22.7	26.0	47.0	2.2	
川越比企地域	253	1.2	16.2	28.9	51.8	2.0	
西部地域	271	2.6	19.9	25.8	50.9	0.7	
利根地域	217	3.2	18.9	27.2	48.8	1.8	
北部地域	166	0.6	15.1	33.7	50.0	0.6	
秩父地域	32	9.4	21.9	31.3	37.5	-	
性・年代別							
男性／18・19歳	9	-	-	11.1	88.9	-	
20歳代	78	3.8	15.4	9.0	71.8	-	
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	13.8	9.2	73.6	-	
30歳代	109	1.8	22.0	22.0	54.1	-	
40歳代	140	1.4	27.1	25.0	45.0	1.4	
50歳代	201	1.5	25.4	28.4	43.8	1.0	
60歳代	187	3.7	17.6	29.4	47.6	1.6	
70歳以上	286	1.7	18.2	33.2	44.4	2.4	
女性／18・19歳	23	4.3	8.7	13.0	69.6	4.3	
20歳代	99	1.0	15.2	20.2	63.6	-	
【再掲】10歳代・20歳代	122	1.6	13.9	18.9	64.8	0.8	
30歳代	135	3.0	11.1	17.0	68.9	-	
40歳代	208	1.4	21.2	23.6	53.4	0.5	
50歳代	280	1.8	16.4	24.3	56.8	0.7	
60歳代	236	2.5	19.1	24.2	50.8	3.4	
70歳以上	349	1.1	15.5	27.5	49.6	6.3	
職業別							
自営業・家族従業（計）	183	1.6	23.5	26.8	48.1	-	
雇用者（計）	1,293	2.2	19.0	23.7	53.8	1.3	
無職（計）	909	1.9	17.2	27.3	50.5	3.2	
ライフステージ別							
独身期	280	3.2	16.1	13.6	66.8	0.4	
家族形成期	151	2.0	19.2	20.5	58.3	-	
家族成長前期	205	1.0	21.5	25.9	51.7	-	
家族成長後期	166	0.6	15.7	39.2	43.4	1.2	
家族成熟期	373	2.7	16.9	27.9	50.9	1.6	
高齢期	611	1.5	17.8	31.1	46.5	3.1	
その他	660	2.4	20.9	20.8	52.0	3.9	

（８－２）消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が84.5%

問9（２） あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。（〇は１つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」（49.0%）が約5割と最も高くなっている。次いで「名前は知っているが、何を行っているかは知らない」（35.5%）となっており、これらを合わせた『知っている（計）』（84.5%）は8割台半ばを占めている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」（13.8%）は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『知っている（計）』（84.5%）は4.3ポイント減少している。

【属性別比較】

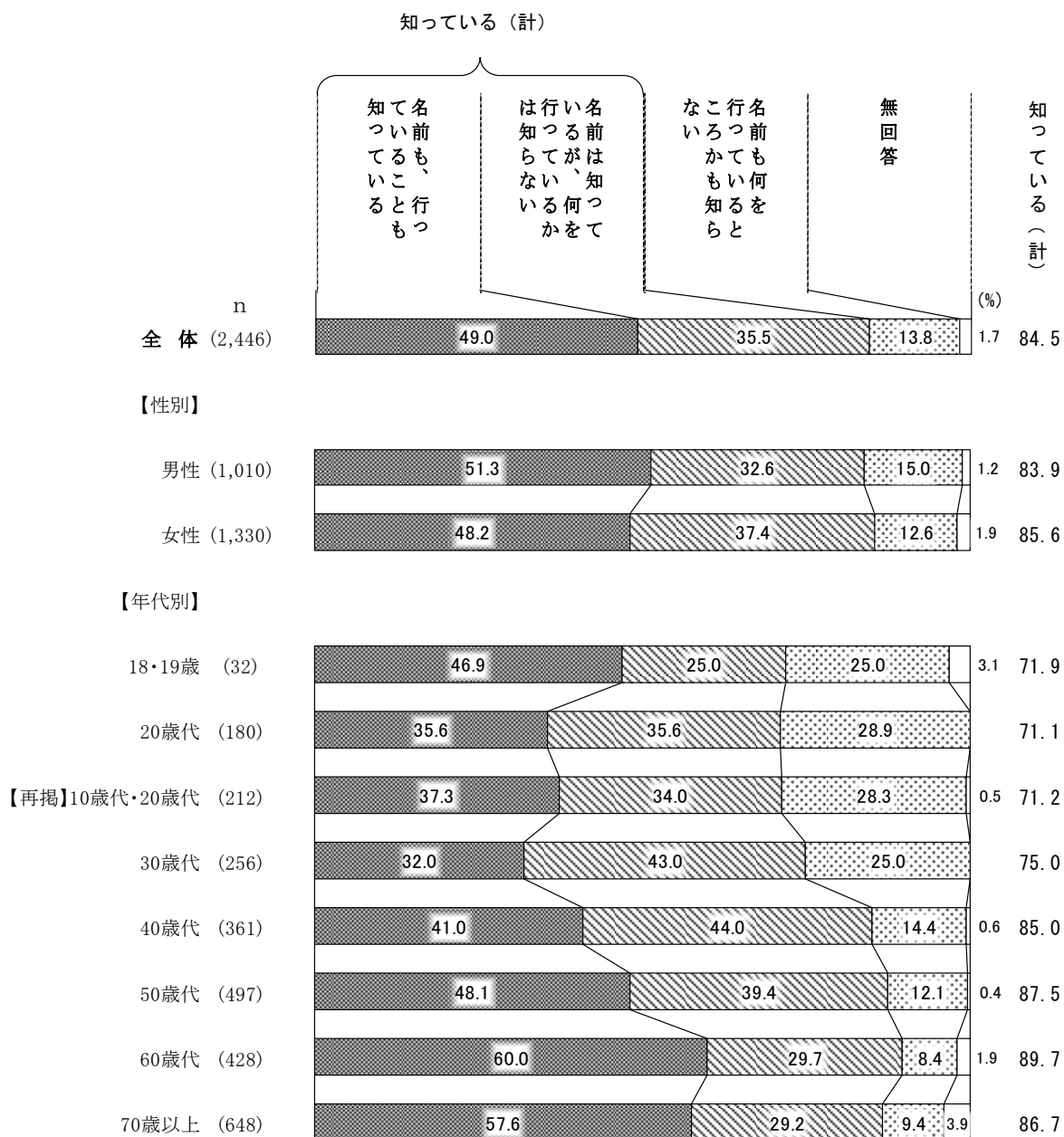
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『知っている（計）』は60歳代（89.7%）で約9割と最も高くなっている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」は10歳代・20歳代（28.3%）で3割弱と最も高くなっている。

○消費生活センターの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は県央地域（89.5%）で約9割と最も高く、南部地域（77.6%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は女性60歳代（91.1%）で9割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（60.9%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』で職業別の回答割合に大きな差はないが、「名前も、行っていることも知っている」は無職（計）（53.9%）で他の職種よりも高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は高齢期（90.8%）で9割を超えて最も高くなっている。

○消費生活センターの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

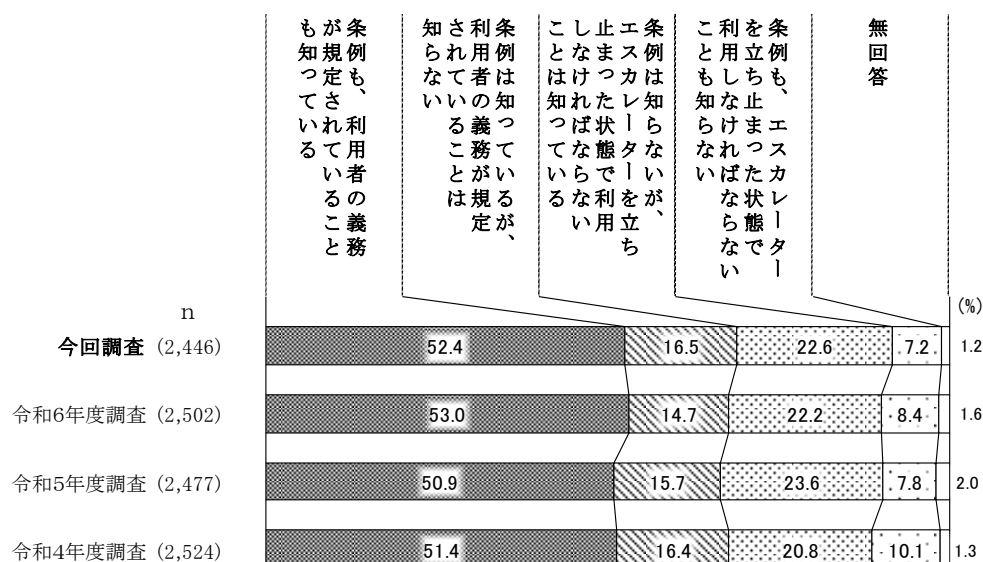
	調査数 n	名前も、 行っている 割合	名前も、 行っている 割合	名前も、 行っている 割合	無回答	知っている (計)
全 体	2,446	49.0	35.5	13.8	1.7	84.5
地域別						
南部地域	245	44.9	32.7	20.4	2.0	77.6
南西部地域	224	53.1	30.8	14.7	1.3	83.9
東部地域	363	50.4	31.7	14.6	3.3	82.1
さいたま地域	447	50.8	35.3	12.8	1.1	86.1
県央地域	181	48.1	41.4	9.9	0.6	89.5
川越比企地域	253	45.8	42.3	10.3	1.6	88.1
西部地域	271	48.0	39.5	11.8	0.7	87.5
利根地域	217	47.0	32.3	19.8	0.9	79.3
北部地域	166	53.0	35.5	9.0	2.4	88.6
秩父地域	32	43.8	43.8	12.5	-	87.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	33.3	22.2	44.4	-	55.6
20歳代	78	29.5	32.1	38.5	-	61.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	29.9	31.0	39.1	-	60.9
30歳代	109	39.4	35.8	24.8	-	75.2
40歳代	140	53.6	32.9	12.9	0.7	86.4
50歳代	201	47.8	40.3	11.4	0.5	88.1
60歳代	187	59.4	28.9	10.7	1.1	88.2
70歳以上	286	58.4	28.7	10.1	2.8	87.1
女性／18・19歳	23	52.2	26.1	17.4	4.3	78.3
20歳代	99	41.4	38.4	20.2	-	79.8
【再掲】10歳代・20歳代	122	43.4	36.1	19.7	0.8	79.5
30歳代	135	25.9	49.6	24.4	-	75.6
40歳代	208	33.2	50.5	15.9	0.5	83.7
50歳代	280	49.3	38.9	11.4	0.4	88.2
60歳代	236	61.4	29.7	6.8	2.1	91.1
70歳以上	349	57.6	29.2	8.3	4.9	86.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	49.2	34.4	15.3	1.1	83.6
雇用者（計）	1,293	45.9	38.8	14.4	0.9	84.7
無職（計）	909	53.9	31.1	12.7	2.3	85.0
ライフステージ別						
独身期	280	35.0	38.6	26.1	0.4	73.6
家族形成期	151	33.8	37.7	28.5	-	71.5
家族成長前期	205	42.0	45.9	12.2	-	87.8
家族成長後期	166	51.8	36.1	10.8	1.2	88.0
家族成熟期	373	51.2	34.0	13.1	1.6	85.3
高齢期	611	62.5	28.3	6.7	2.5	90.8
その他	660	46.1	37.7	13.5	2.7	83.8

(9 - 1) 「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度

◇「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」が 52.4%

問10 エスカレーターの利用についておたずねします。

(1) あなたは、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」で、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定していることを知っていますか。（○は1つだけ）



「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度は、「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」（52.4%）が5割強と最も高く、次いで「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」（22.6%）、「条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」（16.5%）、「条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない」（7.2%）となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

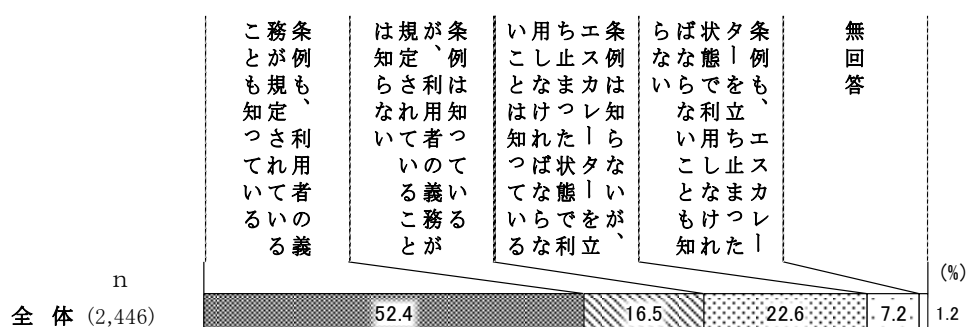
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

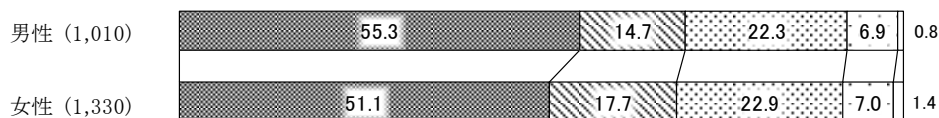
② 年代別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は10歳代・20歳代（59.9%）で約6割と最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は70歳以上（30.7%）で3割を超えて最も高くなっている。

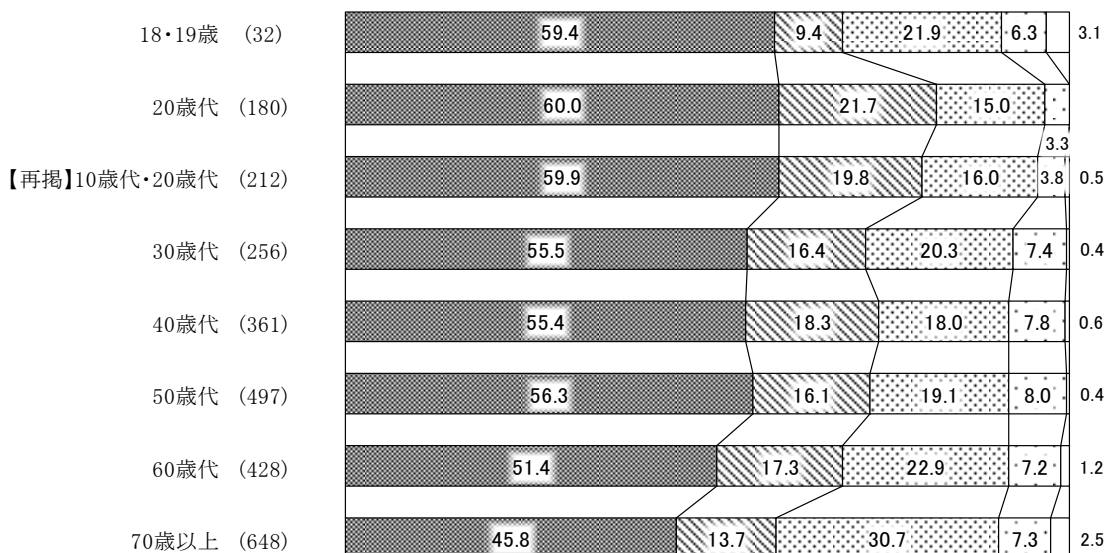
○「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」はさいたま地域（59.5%）で約6割と最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は北部地域（31.3%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は女性10歳代・20歳代（60.7%）で6割を超えて最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は女性70歳以上（32.1%）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は自営業・家族従業（計）（57.4%）と雇用者（計）（56.0%）で5割台半ばを超えて高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は家族形成期（65.6%）で6割台半ばと最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は高齢期（28.5%）で3割弱と最も高くなっている。

○「埼玉県エスカレーターでの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調 査 数	定 さ れ て い る	条 例 も 、 利 用 者 の 義 務 が 規 定 さ れ て い る	条 例 は 知 つ て い る が 、 利 用 者 の 義 務 が 規 定 さ れ て い る	態 で 利 用 し な け れ ば な ら な い こ と は 知 つ て い る	レ ー タ ー を 立 ち 止 ま つ た 状 態 に な ら な い こ と は 知 つ て い る	立 ち 止 ま つ た 状 態 に な ら な い こ と は 知 つ て い る	条 例 も 、 エ ス カ レ ー タ ー を 立 ち 止 ま つ た 状 態 に な ら な い こ と は 知 つ て い る	(%)
	n								無 回 答
全 体	2,446	52.4	16.5	22.6	7.2	1.2			
地域別									
南部地域	245	53.9	15.9	21.2	7.3	1.6			
南西部地域	224	52.7	21.0	20.1	5.8	0.4			
東部地域	363	48.8	13.8	26.2	9.6	1.7			
さいたま地域	447	59.5	17.0	18.6	4.3	0.7			
県央地域	181	57.5	16.6	21.5	3.9	0.6			
川越比企地域	253	53.8	17.0	20.9	6.7	1.6			
西部地域	271	50.2	17.7	22.1	8.9	1.1			
利根地域	217	49.8	12.4	27.2	9.7	0.9			
北部地域	166	45.2	13.3	31.3	8.4	1.8			
秩父地域	32	40.6	28.1	18.8	12.5	—			
性・年代別									
男性／18・19歳	9	77.8	—	11.1	11.1	—			
20歳代	78	56.4	23.1	16.7	3.8	—			
【再掲】10歳代・20歳代	87	58.6	20.7	16.1	4.6	—			
30歳代	109	59.6	12.8	22.0	5.5	—			
40歳代	140	60.0	17.1	15.7	6.4	0.7			
50歳代	201	57.7	13.9	18.9	9.0	0.5			
60歳代	187	56.1	14.4	23.5	5.3	0.5			
70歳以上	286	48.3	12.9	29.0	8.0	1.7			
女性／18・19歳	23	52.2	13.0	26.1	4.3	4.3			
20歳代	99	62.6	21.2	13.1	3.0	—			
【再掲】10歳代・20歳代	122	60.7	19.7	15.6	3.3	0.8			
30歳代	135	54.1	17.8	19.3	8.1	0.7			
40歳代	208	53.4	18.8	19.2	8.2	0.5			
50歳代	280	55.4	18.2	18.9	7.1	0.4			
60歳代	236	47.9	19.5	22.9	8.5	1.3			
70歳以上	349	43.8	14.9	32.1	6.0	3.2			
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	57.4	15.3	18.6	8.7	—			
雇用者（計）	1,293	56.0	17.6	18.5	6.9	1.0			
無職（計）	909	47.6	15.0	28.9	7.2	1.3			
ライフステージ別									
独身期	280	53.9	19.6	20.0	6.1	0.4			
家族形成期	151	65.6	11.3	19.2	4.0	—			
家族成長前期	205	62.9	16.6	13.7	6.3	0.5			
家族成長後期	166	56.0	18.7	18.1	6.0	1.2			
家族成熟期	373	53.4	16.1	20.1	9.7	0.8			
高齢期	611	48.0	15.9	28.5	6.2	1.5			
その他	660	48.2	16.5	24.5	8.6	2.1			

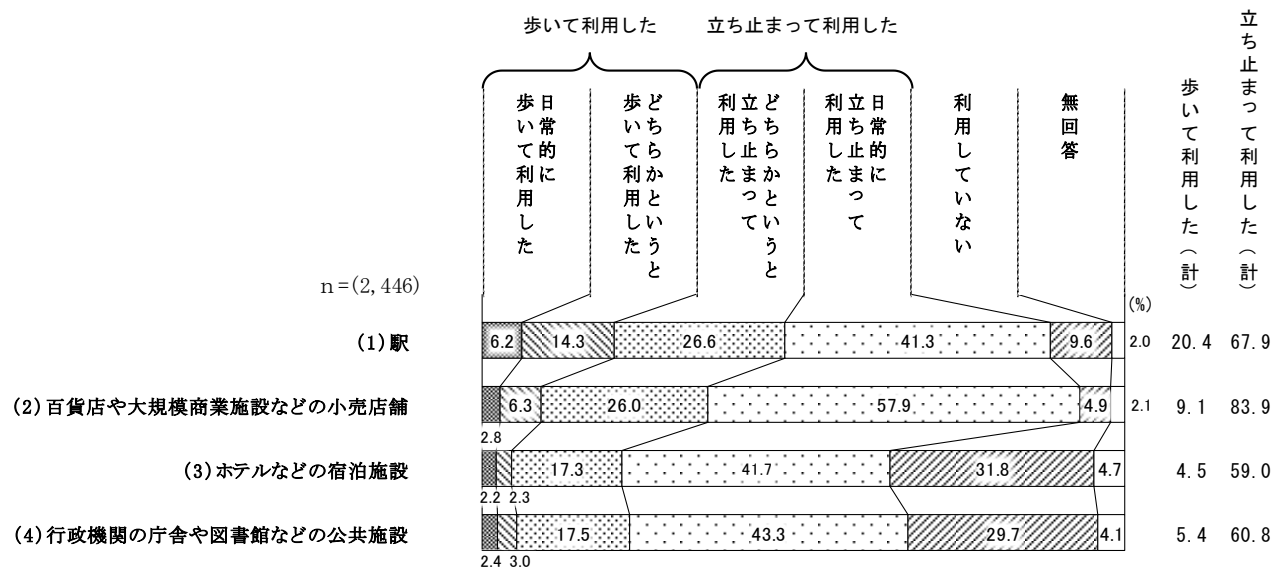
(9-2) エスカレーターの利用実態

◇駅での利用は、『歩いて利用した（計）』が20.4%、『立ち止まって利用した（計）』が67.9%

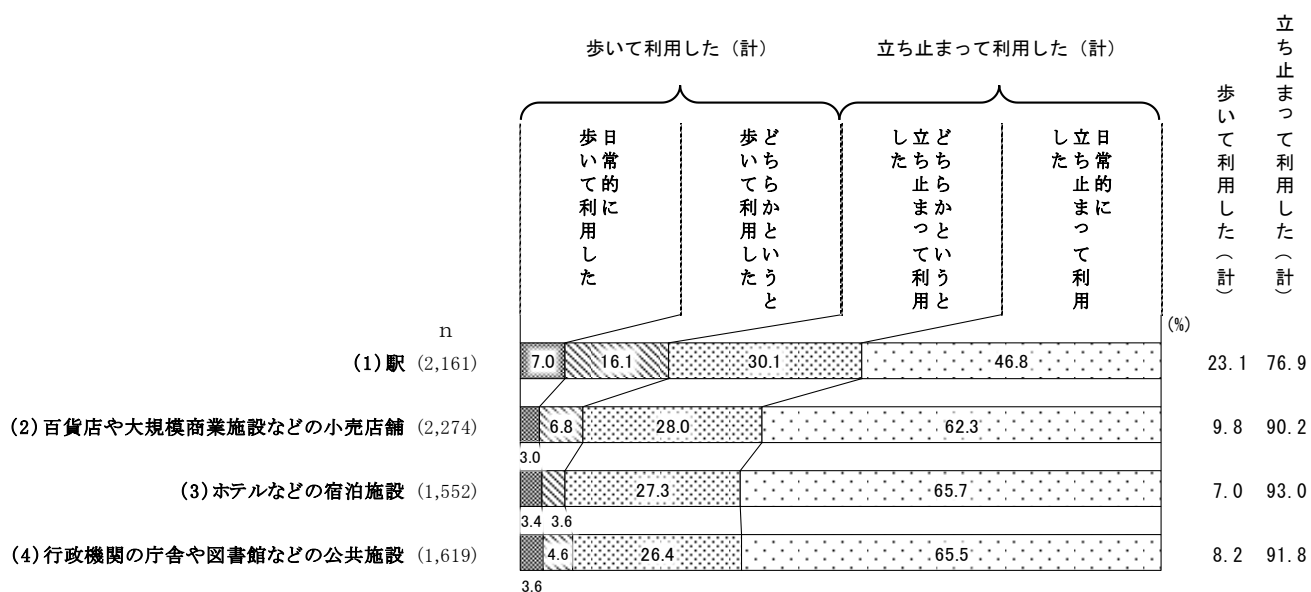
問10(2) あなたは、この1年間に、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。

(各施設それぞれ〇は1つずつ)

※「利用していない」の回答割合を含めた全体グラフ



エスカレーターの施設別の利用状況については、施設そのものの利用実態（割合）で上記のグラフにあるように大きな差異があるため、「利用していない」と「無回答」を除いたものをn数（回答者）として、利用形態を比較した。



(1) 駅

駅での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(46.8%)で4割台半ばを超えて最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(30.1%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(76.9%)は7割台半ばを超えている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(7.0%)と「どちらかという歩いて利用した」(16.1%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(23.1%)は2割強となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

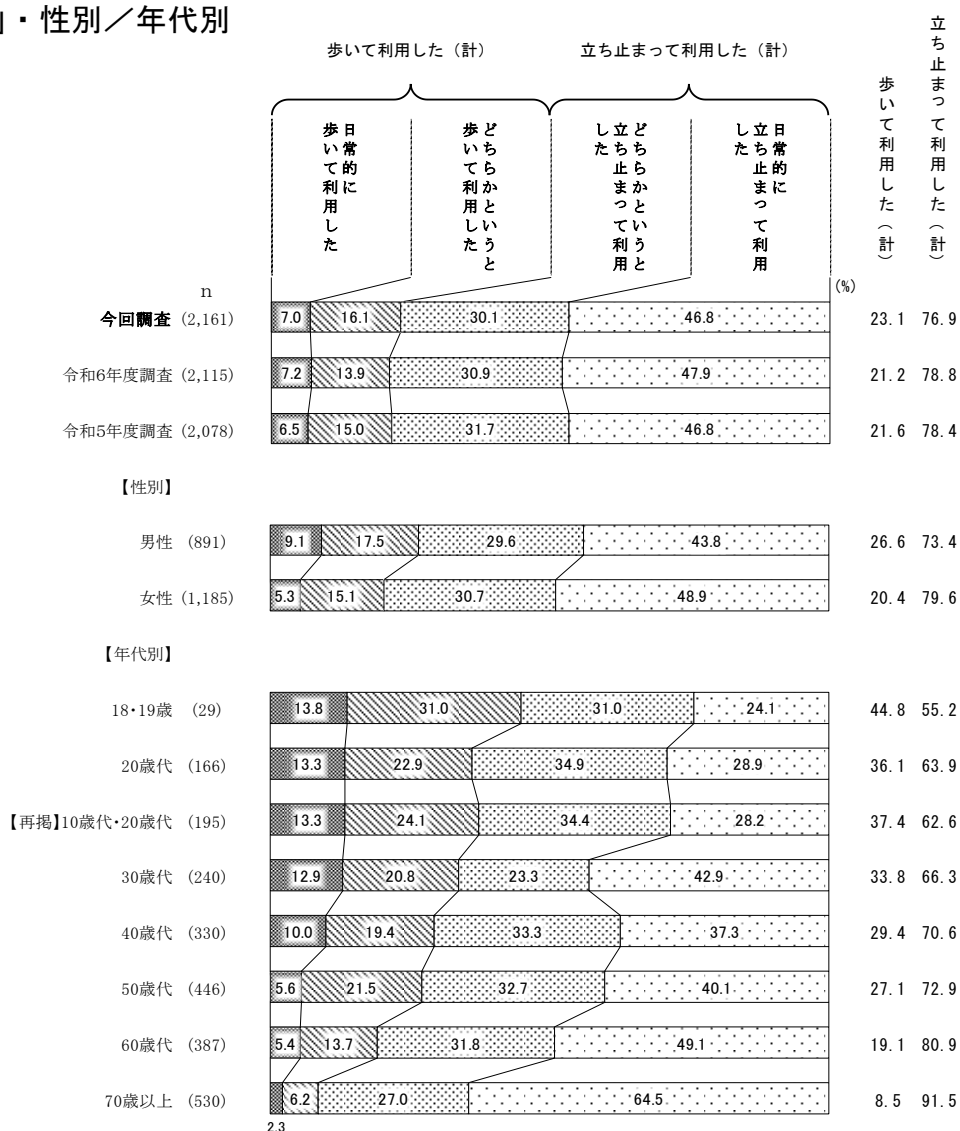
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(79.6%)の方が男性(73.4%)よりも6.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(91.5%)で9割強と最も高く、年代が下がるにつれ割合が低くなり、10歳代・20歳代(62.6%)で最も低くなっている。

○「(1) 駅」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（84.1％）で8割台半ばと最も高く、南部地域（71.9％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝24）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（94.4％）で9割台半ばと最も高く、男性30歳代（59.4％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（87.5％）で8割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（90.3％）で9割を超えて最も高くなっている。

○「(1) 駅」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた	歩いて利用した	立ち止まって利用した	日常的に立ち止まって利用した	(%) 歩いて利用した（計）	(%) 立ち止まって利用した（計）
全 体	2,161	7.0	16.1	30.1	46.8	23.1	76.9
地域別							
南部地域	224	9.4	18.8	29.9	42.0	28.1	71.9
南西部地域	210	7.6	17.1	27.6	47.6	24.8	75.2
東部地域	324	6.2	21.3	29.3	43.2	27.5	72.5
さいたま地域	412	7.8	14.6	30.3	47.3	22.3	77.7
県央地域	154	6.5	19.5	31.2	42.9	26.0	74.0
川越比企地域	219	5.5	15.5	31.5	47.5	21.0	79.0
西部地域	241	8.7	12.9	30.7	47.7	21.6	78.4
利根地域	180	5.6	11.7	31.1	51.7	17.2	82.8
北部地域	138	2.9	13.0	31.9	52.2	15.9	84.1
秩父地域	24	4.2	8.3	33.3	54.2	12.5	87.5
性・年代別							
男性／18・19歳	9	11.1	33.3	33.3	22.2	44.4	55.6
20歳代	71	16.9	16.9	35.2	31.0	33.8	66.2
【再掲】10歳代・20歳代	80	16.3	18.8	35.0	30.0	35.0	65.0
30歳代	106	16.0	24.5	23.6	35.8	40.6	59.4
40歳代	126	15.1	20.6	31.0	33.3	35.7	64.3
50歳代	177	7.3	24.9	26.6	41.2	32.2	67.8
60歳代	170	7.1	14.1	30.6	48.2	21.2	78.8
70歳以上	232	3.0	9.1	31.5	56.5	12.1	87.9
女性／18・19歳	20	15.0	30.0	30.0	25.0	45.0	55.0
20歳代	92	10.9	28.3	35.9	25.0	39.1	60.9
【再掲】10歳代・20歳代	112	11.6	28.6	34.8	25.0	40.2	59.8
30歳代	124	10.5	18.5	23.4	47.6	29.0	71.0
40歳代	192	7.3	18.8	33.3	40.6	26.0	74.0
50歳代	256	3.9	18.4	37.9	39.8	22.3	77.7
60歳代	214	4.2	13.6	32.7	49.5	17.8	82.2
70歳以上	287	1.4	4.2	22.6	71.8	5.6	94.4
職業別							
自営業・家族従業（計）	162	4.3	17.3	33.3	45.1	21.6	78.4
雇用者（計）	1,190	9.7	20.3	30.2	39.7	30.1	69.9
無職（計）	766	3.0	9.5	29.6	57.8	12.5	87.5
ライフステージ別							
独身期	262	13.4	26.7	32.4	27.5	40.1	59.9
家族形成期	140	12.1	14.3	27.1	46.4	26.4	73.6
家族成長前期	190	12.6	20.0	27.9	39.5	32.6	67.4
家族成長後期	154	5.8	24.7	27.9	41.6	30.5	69.5
家族成熟期	336	3.6	12.2	34.5	49.7	15.8	84.2
高齢期	528	1.7	8.0	27.7	62.7	9.7	90.3
その他	551	8.2	18.1	30.7	43.0	26.3	73.7

(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗

百貨店や大規模商業施設などの小売店舗での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(62.3%)で6割強と最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(28.0%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(90.2%)は9割を超えている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.0%)と「どちらかという歩いて利用した」(6.8%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(9.8%)は約1割となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

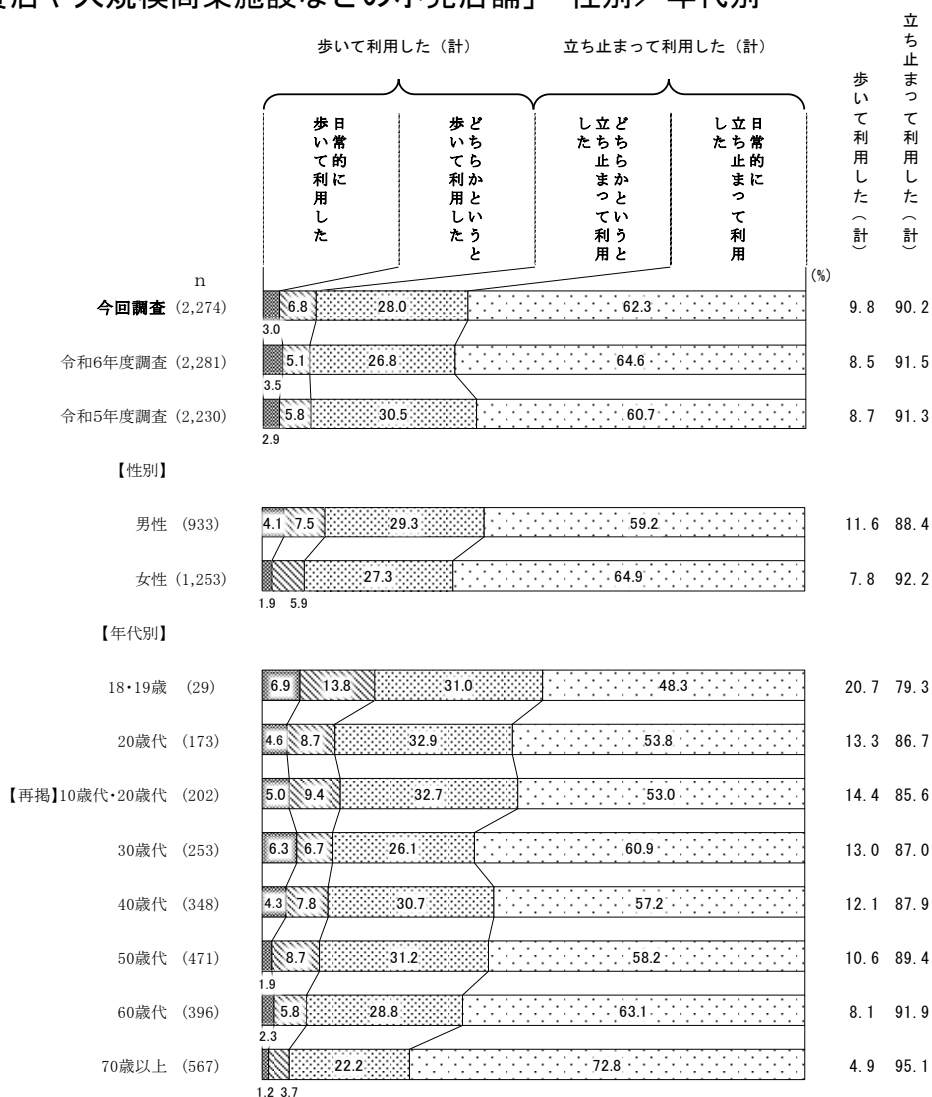
① 性別

「日常的に立ち止まって利用した」は女性(64.9%)の方が男性(59.2%)よりも5.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(95.1%)で9割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代(85.6%)で最も低くなっている。

○「(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（92.8％）で9割強と最も高く、南西部地域（88.0％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（96.4％）で9割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（82.7％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（94.1％）で9割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（95.2％）で9割台半ばと最も高くなっている。

○「(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いている利用した	どちらかというと歩いている利用した	どちらかというと利用した	日常的に立ち止まって利用した	(%) 歩いている利用した（計）	(%) 立ち止まって利用した
全 体	2,274	3.0	6.8	28.0	62.3	9.8	90.2
地域別							
南部地域	235	3.4	7.7	31.5	57.4	11.1	88.9
南西部地域	209	1.9	10.0	26.8	61.2	12.0	88.0
東部地域	330	2.4	7.9	32.1	57.6	10.3	89.7
さいたま地域	428	4.0	4.9	24.3	66.8	8.9	91.1
県央地域	169	3.0	5.9	27.8	63.3	8.9	91.1
川越比企地域	235	3.0	6.4	26.8	63.8	9.4	90.6
西部地域	250	4.4	6.4	26.4	62.8	10.8	89.2
利根地域	199	1.5	6.5	29.6	62.3	8.0	92.0
北部地域	152	1.3	5.9	26.3	66.4	7.2	92.8
秩父地域	28	3.6	-	28.6	67.9	3.6	96.4
性・年代別							
男性／18・19歳	8	12.5	25.0	12.5	50.0	37.5	62.5
20歳代	73	6.8	8.2	31.5	53.4	15.1	84.9
【再掲】10歳代・20歳代	81	7.4	9.9	29.6	53.1	17.3	82.7
30歳代	108	10.2	6.5	27.8	55.6	16.7	83.3
40歳代	132	6.1	9.8	28.8	55.3	15.9	84.1
50歳代	188	2.7	9.6	31.9	55.9	12.2	87.8
60歳代	173	2.9	6.4	30.6	60.1	9.2	90.8
70歳以上	251	1.2	5.2	27.1	66.5	6.4	93.6
女性／18・19歳	21	4.8	9.5	38.1	47.6	14.3	85.7
20歳代	97	3.1	9.3	33.0	54.6	12.4	87.6
【再掲】10歳代・20歳代	118	3.4	9.3	33.9	53.4	12.7	87.3
30歳代	134	3.0	7.5	25.4	64.2	10.4	89.6
40歳代	204	2.9	6.4	31.4	59.3	9.3	90.7
50歳代	268	1.1	7.5	32.1	59.3	8.6	91.4
60歳代	220	1.8	5.5	27.7	65.0	7.3	92.7
70歳以上	309	1.0	2.6	18.4	78.0	3.6	96.4
職業別							
自営業・家族従業（計）	172	2.3	8.1	29.7	59.9	10.5	89.5
雇用者（計）	1,242	3.8	8.0	29.9	58.4	11.8	88.2
無職（計）	811	1.8	4.1	24.4	69.7	5.9	94.1
ライフステージ別							
独身期	268	5.6	9.3	32.5	52.6	14.9	85.1
家族形成期	151	4.6	6.6	22.5	66.2	11.3	88.7
家族成長前期	202	6.4	6.9	29.7	56.9	13.4	86.6
家族成長後期	157	1.3	10.8	31.8	56.1	12.1	87.9
家族成熟期	355	1.7	5.4	27.6	65.4	7.0	93.0
高齢期	563	0.9	3.9	24.0	71.2	4.8	95.2
その他	578	3.5	8.1	29.8	58.7	11.6	88.4

(3) ホテルなどの宿泊施設

ホテルなどの宿泊施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(65.7%)で6割台半ばと最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(27.3%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(93.0%)は9割強となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.4%)と「どちらかという歩いて利用した」(3.6%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(7.0%)は1割未満となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

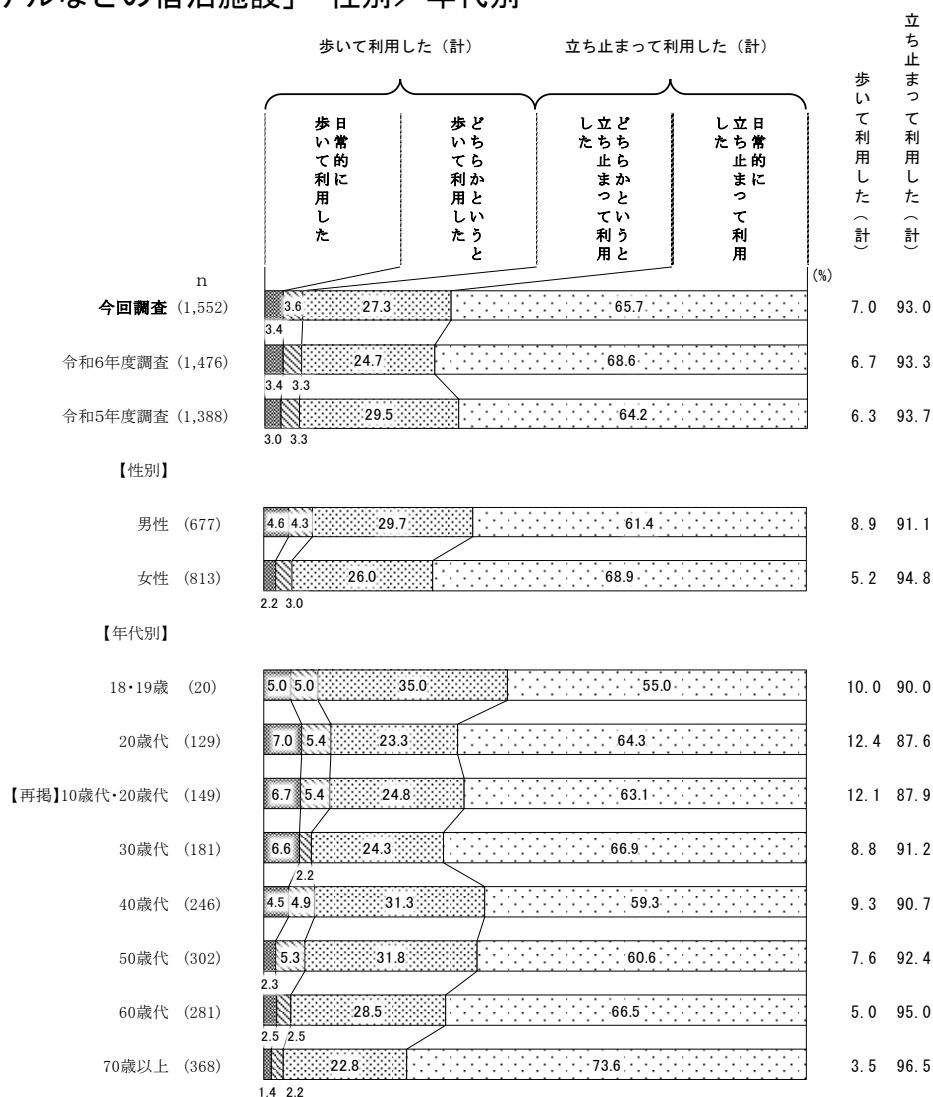
① 性別

「日常的に立ち止まって利用した」は女性(68.9%)の方が男性(61.4%)よりも7.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(96.5%)で9割台半ばを超えて最も高く、10歳代・20歳代(87.9%)で低くなっている。

○「(3) ホテルなどの宿泊施設」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（96.9％）で9割台半ばを超えて最も高く、川越比企地域（91.5％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝20）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（97.9％）で9割台半ばを超えて最も高く、男性30歳代（85.5％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（96.0％）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（97.1％）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「(3) ホテルなどの宿泊施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いて利用した	どちらかという歩いて利用した	どちらかという立ち止まって利用した	日常的に立ち止まって利用した	(%) 歩いて利用した（計）	(%) 立ち止まって利用した（計）
全 体	1,552	3.4	3.6	27.3	65.7	7.0	93.0
地域別							
南部地域	168	2.4	3.6	27.4	66.7	6.0	94.0
南西部地域	148	2.0	5.4	27.7	64.9	7.4	92.6
東部地域	225	3.1	3.6	31.1	62.2	6.7	93.3
さいたま地域	299	4.3	3.3	22.1	70.2	7.7	92.3
県央地域	120	4.2	3.3	30.0	62.5	7.5	92.5
川越比企地域	164	3.7	4.9	26.2	65.2	8.5	91.5
西部地域	170	5.3	2.4	24.7	67.6	7.6	92.4
利根地域	113	3.5	4.4	35.4	56.6	8.0	92.0
北部地域	97	1.0	2.1	28.9	68.0	3.1	96.9
秩父地域	20	-	-	25.0	75.0	-	100.0
性・年代別							
男性／18・19歳	5	-	-	20.0	80.0	-	100.0
20歳代	49	10.2	4.1	30.6	55.1	14.3	85.7
【再掲】10歳代・20歳代	54	9.3	3.7	29.6	57.4	13.0	87.0
30歳代	83	10.8	3.6	26.5	59.0	14.5	85.5
40歳代	100	6.0	6.0	31.0	57.0	12.0	88.0
50歳代	135	2.2	6.7	35.6	55.6	8.9	91.1
60歳代	133	3.8	3.0	29.3	63.9	6.8	93.2
70歳以上	172	1.7	2.9	26.2	69.2	4.7	95.3
女性／18・19歳	15	6.7	6.7	40.0	46.7	13.3	86.7
20歳代	77	5.2	6.5	19.5	68.8	11.7	88.3
【再掲】10歳代・20歳代	92	5.4	6.5	22.8	65.2	12.0	88.0
30歳代	90	2.2	1.1	24.4	72.2	3.3	96.7
40歳代	138	3.6	4.3	29.7	62.3	8.0	92.0
50歳代	155	1.9	3.2	30.3	64.5	5.2	94.8
60歳代	146	1.4	2.1	28.1	68.5	3.4	96.6
70歳以上	192	0.5	1.6	20.3	77.6	2.1	97.9
職業別							
自営業・家族従業（計）	120	2.5	5.0	33.3	59.2	7.5	92.5
雇用者（計）	895	4.1	4.5	27.7	63.7	8.6	91.4
無職（計）	504	2.4	1.6	25.0	71.0	4.0	96.0
ライフステージ別							
独身期	191	6.3	4.7	26.7	62.3	11.0	89.0
家族形成期	113	5.3	2.7	23.0	69.0	8.0	92.0
家族成長前期	155	7.7	3.9	25.8	62.6	11.6	88.4
家族成長後期	113	1.8	5.3	30.1	62.8	7.1	92.9
家族成熟期	240	2.1	3.8	26.3	67.9	5.8	94.2
高齢期	384	1.0	1.8	22.9	74.2	2.9	97.1
その他	356	3.4	4.5	34.0	58.1	7.9	92.1

(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設

行政機関の庁舎や図書館などの公共施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(65.5%)で6割台半ばと最も高く、「どちらかというと立ち止まって利用した」(26.4%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(91.8%)は9割強となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.6%)と「どちらかというと歩いて利用した」(4.6%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(8.2%)は1割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

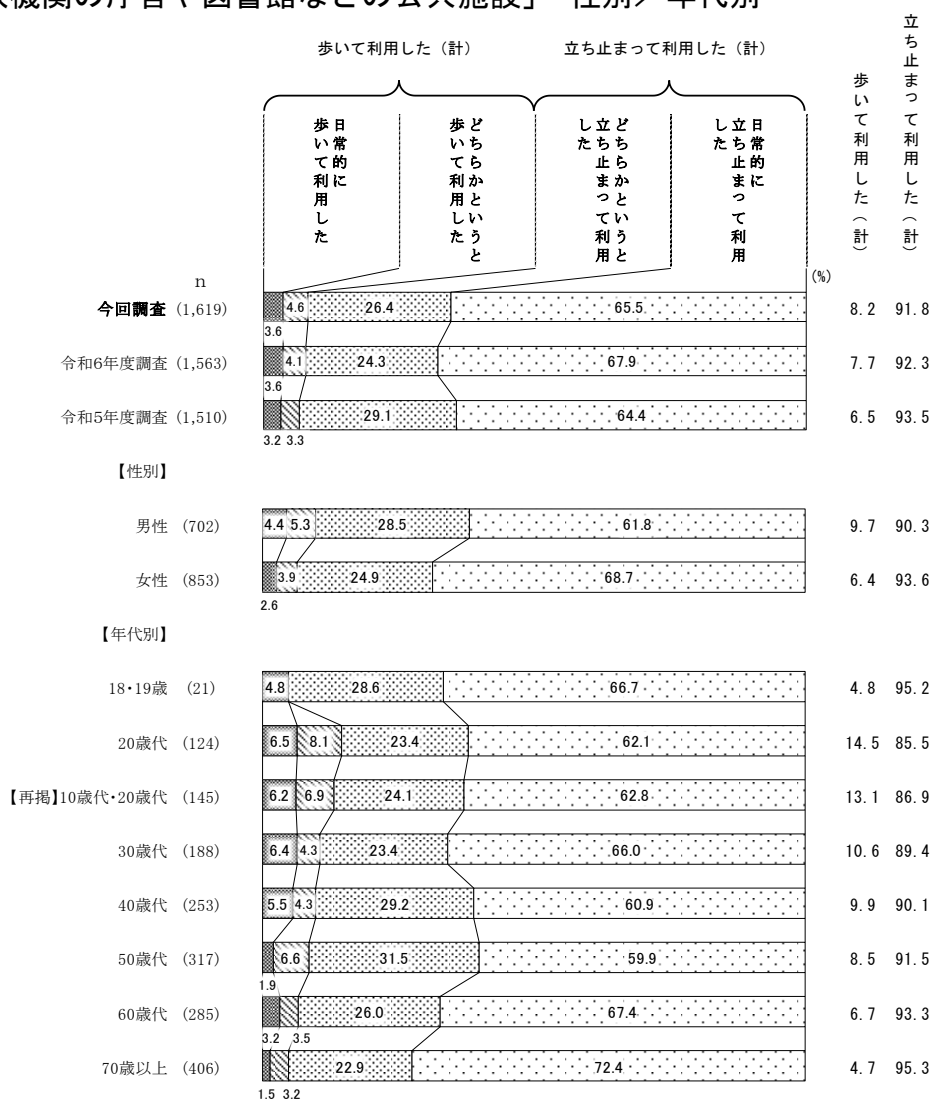
① 性別

「日常的に立ち止まって利用した」は女性(68.7%)の方が男性(61.8%)よりも6.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(95.3%)で9割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代(86.9%)で最も低くなっている。

○「(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（96.8%）で9割台半ばを超えて最も高く、西部地域（89.1%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（96.8%）で9割台半ばを超えて最も高く、男性30歳代（85.4%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（94.8%）が9割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（95.6%）で9割台半ばと最も高くなっている。

○「(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いて利用した	どちらかというと歩いて利用した	どちらかというと利用した	日常的に立ち止まって利用した	(%) 歩いて利用した（計）	(%) 立ち止まって利用した（計）
全 体	1,619	3.6	4.6	26.4	65.5	8.2	91.8
地域別							
南部地域	177	2.8	6.2	25.4	65.5	9.0	91.0
南西部地域	145	2.1	6.2	24.8	66.9	8.3	91.7
東部地域	238	1.3	5.9	30.3	62.6	7.1	92.9
さいたま地域	337	4.2	3.9	22.3	69.7	8.0	92.0
県央地域	126	5.6	3.2	27.0	64.3	8.7	91.3
川越比企地域	160	3.8	3.8	27.5	65.0	7.5	92.5
西部地域	174	6.9	4.0	24.1	64.9	10.9	89.1
利根地域	121	4.1	5.0	32.2	58.7	9.1	90.9
北部地域	95	1.1	2.1	27.4	69.5	3.2	96.8
秩父地域	19	-	5.3	31.6	63.2	5.3	94.7
性・年代別							
男性／18・19歳	6	-	-	-	100.0	-	100.0
20歳代	50	8.0	8.0	30.0	54.0	16.0	84.0
【再掲】10歳代・20歳代	56	7.1	7.1	26.8	58.9	14.3	85.7
30歳代	89	10.1	4.5	25.8	59.6	14.6	85.4
40歳代	102	6.9	2.9	31.4	58.8	9.8	90.2
50歳代	141	1.4	9.9	32.6	56.0	11.3	88.7
60歳代	129	3.9	3.9	27.1	65.1	7.8	92.2
70歳以上	185	2.2	3.8	26.5	67.6	5.9	94.1
女性／18・19歳	15	6.7	-	40.0	53.3	6.7	93.3
20歳代	71	5.6	7.0	19.7	67.6	12.7	87.3
【再掲】10歳代・20歳代	86	5.8	5.8	23.3	65.1	11.6	88.4
30歳代	92	2.2	4.3	21.7	71.7	6.5	93.5
40歳代	141	5.0	5.7	26.2	63.1	10.6	89.4
50歳代	164	1.8	3.0	32.3	62.8	4.9	95.1
60歳代	154	2.6	3.2	25.3	68.8	5.8	94.2
70歳以上	216	0.5	2.8	19.9	76.9	3.2	96.8
職業別							
自営業・家族従業（計）	126	3.2	4.8	32.5	59.5	7.9	92.1
雇用者（計）	905	4.2	5.6	26.9	63.3	9.8	90.2
無職（計）	557	2.3	2.9	23.7	71.1	5.2	94.8
ライフステージ別							
独身期	189	6.3	6.3	24.9	62.4	12.7	87.3
家族形成期	117	4.3	4.3	23.1	68.4	8.5	91.5
家族成長前期	164	8.5	4.3	25.6	61.6	12.8	87.2
家族成長後期	117	1.7	6.0	29.1	63.2	7.7	92.3
家族成熟期	247	2.4	4.0	26.3	67.2	6.5	93.5
高齢期	410	1.2	3.2	23.2	72.4	4.4	95.6
その他	375	3.7	5.3	31.2	59.7	9.1	90.9

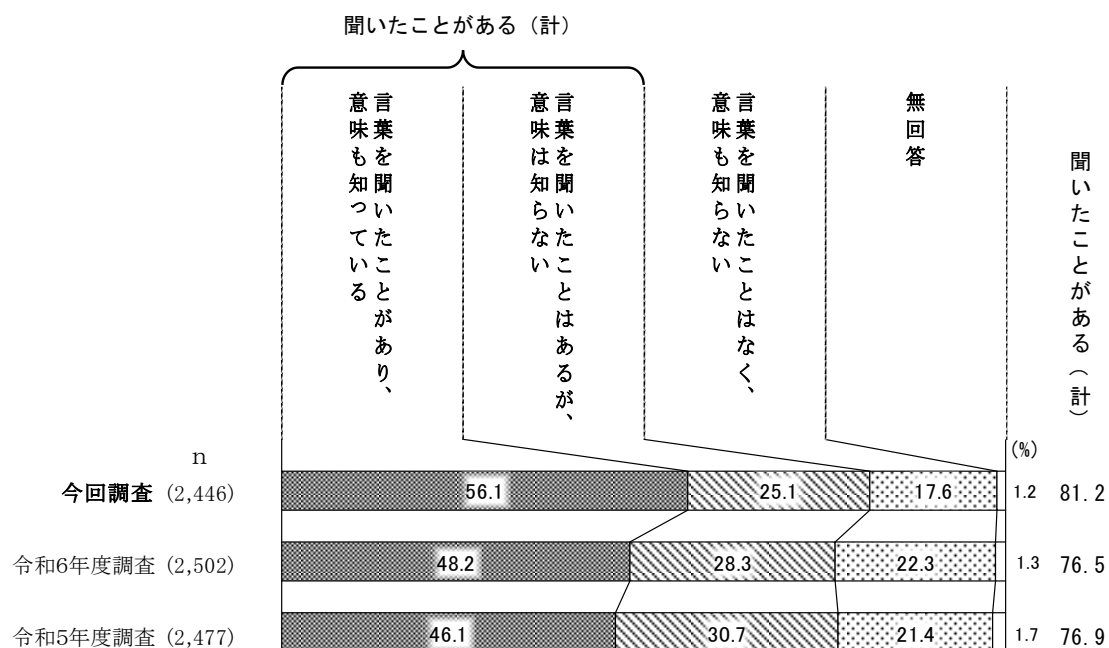
(10-1) 性的指向の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が81.2%

問11 性の多様性についておたずねします。

(1) あなたは、「性的指向*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(〇は1つだけ)

*「性的指向」とは、自己の恋愛又は性的な関心の対象となる性別についての指向のことです。



「性的指向」という言葉の認知度は、「言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」(56.1%)が5割台半ばを超えて最も高く、これに「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(25.1%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(81.2%)は8割強となっている。一方で、「言葉を聞いたことはなく、意味も知らない」(17.6%)は1割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、「言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」(56.1%)が7.9ポイント増加している。

【属性別比較】

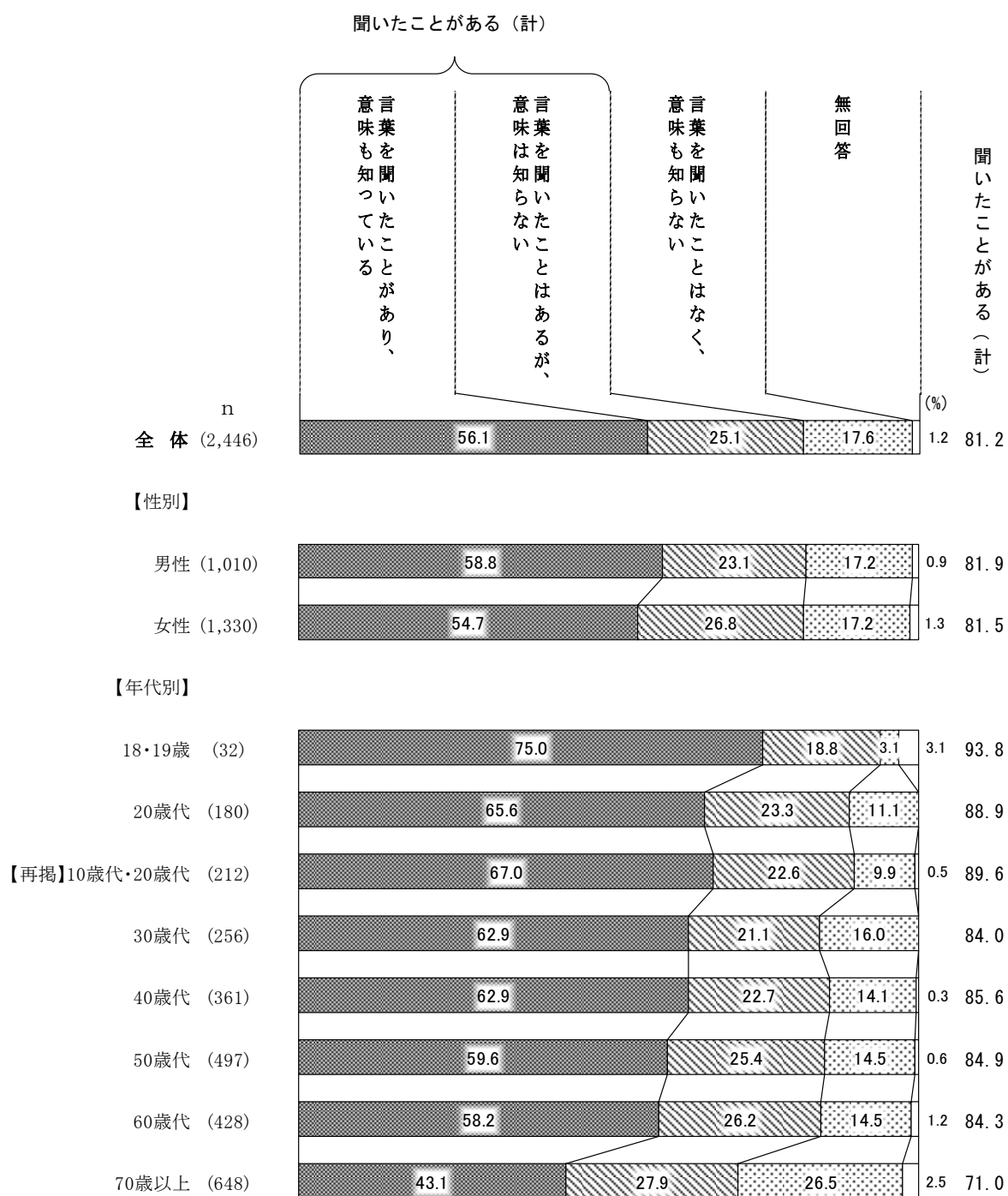
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『聞いたことがある（計）』は10歳代・20歳代（89.6%）で約9割と最も高く、70歳以上（71.0%）で最も低くなっている。

○性的指向の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『聞いたことがある(計)』は西部地域(86.0%)で8割台半ばを超えて最も高く、利根地域(72.4%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聞いたことがある(計)』は男性10歳代・20歳代(93.1%)で9割強と最も高く、女性70歳以上(70.8%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聞いたことがある(計)』は雇用者(計)(84.3%)で8割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聞いたことがある(計)』は独身期(88.9%)で9割弱と最も高く、家族成熟期(76.7%)で最も低くなっている。

○性的指向の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

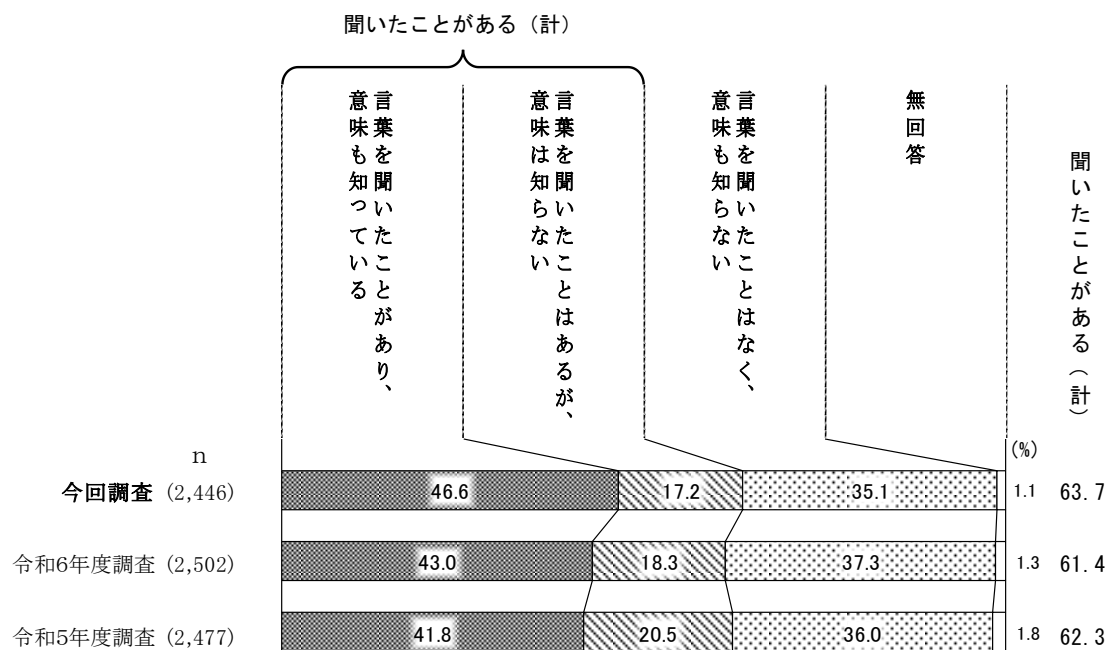
	調査数 n	いある、業を聞いたことが ない、業を聞いたことが	ある、業を聞いたことが ない、業を聞いたことが	なく、業を聞いたことが ない、業を聞いたことが	無回答	(%) 聞いたことがある
全 体	2,446	56.1	25.1	17.6	1.2	81.2
地域別						
南部地域	245	57.6	24.1	16.7	1.6	81.6
南西部地域	224	60.3	21.0	17.4	1.3	81.3
東部地域	363	55.6	25.6	17.1	1.7	81.3
さいたま地域	447	59.7	24.8	14.8	0.7	84.6
県央地域	181	54.1	24.3	21.0	0.6	78.5
川越比企地域	253	56.5	26.1	16.2	1.2	82.6
西部地域	271	58.3	27.7	12.9	1.1	86.0
利根地域	217	45.6	26.7	27.6	-	72.4
北部地域	166	54.2	25.3	18.7	1.8	79.5
秩父地域	32	59.4	21.9	18.8	-	81.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	88.9	-	11.1	-	88.9
20歳代	78	67.9	25.6	6.4	-	93.6
【再掲】10歳代・20歳代	87	70.1	23.0	6.9	-	93.1
30歳代	109	64.2	16.5	19.3	-	80.7
40歳代	140	65.7	15.7	17.9	0.7	81.4
50歳代	201	64.2	24.4	10.9	0.5	88.6
60歳代	187	58.8	27.8	12.3	1.1	86.6
70歳以上	286	46.2	25.2	26.9	1.7	71.3
女性／18・19歳	23	69.6	26.1	-	4.3	95.7
20歳代	99	64.6	22.2	13.1	-	86.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	65.6	23.0	10.7	0.8	88.5
30歳代	135	62.2	24.4	13.3	-	86.7
40歳代	208	61.5	26.4	12.0	-	88.0
50歳代	280	56.8	26.1	16.4	0.7	82.9
60歳代	236	58.1	25.4	15.3	1.3	83.5
70歳以上	349	40.1	30.7	26.1	3.2	70.8
職業別						
自営業・家族従業(計)	183	54.1	29.5	15.8	0.5	83.6
雇用者(計)	1,293	61.0	23.3	15.1	0.6	84.3
無職(計)	909	50.7	26.6	21.1	1.5	77.3
ライフステージ別						
独身期	280	68.6	20.4	10.7	0.4	88.9
家族形成期	151	59.6	25.2	15.2	-	84.8
家族成長前期	205	64.4	22.9	12.7	-	87.3
家族成長後期	166	65.7	18.1	15.1	1.2	83.7
家族成熟期	373	53.1	23.6	22.8	0.5	76.7
高齢期	611	49.4	27.7	21.4	1.5	77.1
その他	660	53.0	27.9	16.8	2.3	80.9

(10-2) 性自認の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が63.7%

問11（2） あなたは、「性自認*」という言葉聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。（○は1つだけ）

*「性自認」とは、自己の性別についての認識のことです。



「性自認」という言葉の認知度は、「言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」（46.6%）が4割台半ばを超えて最も高く、これに「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（17.2%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（63.7%）は6割強となっている。一方で、「言葉を聞いたことはなく、意味も知らない」（35.1%）は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

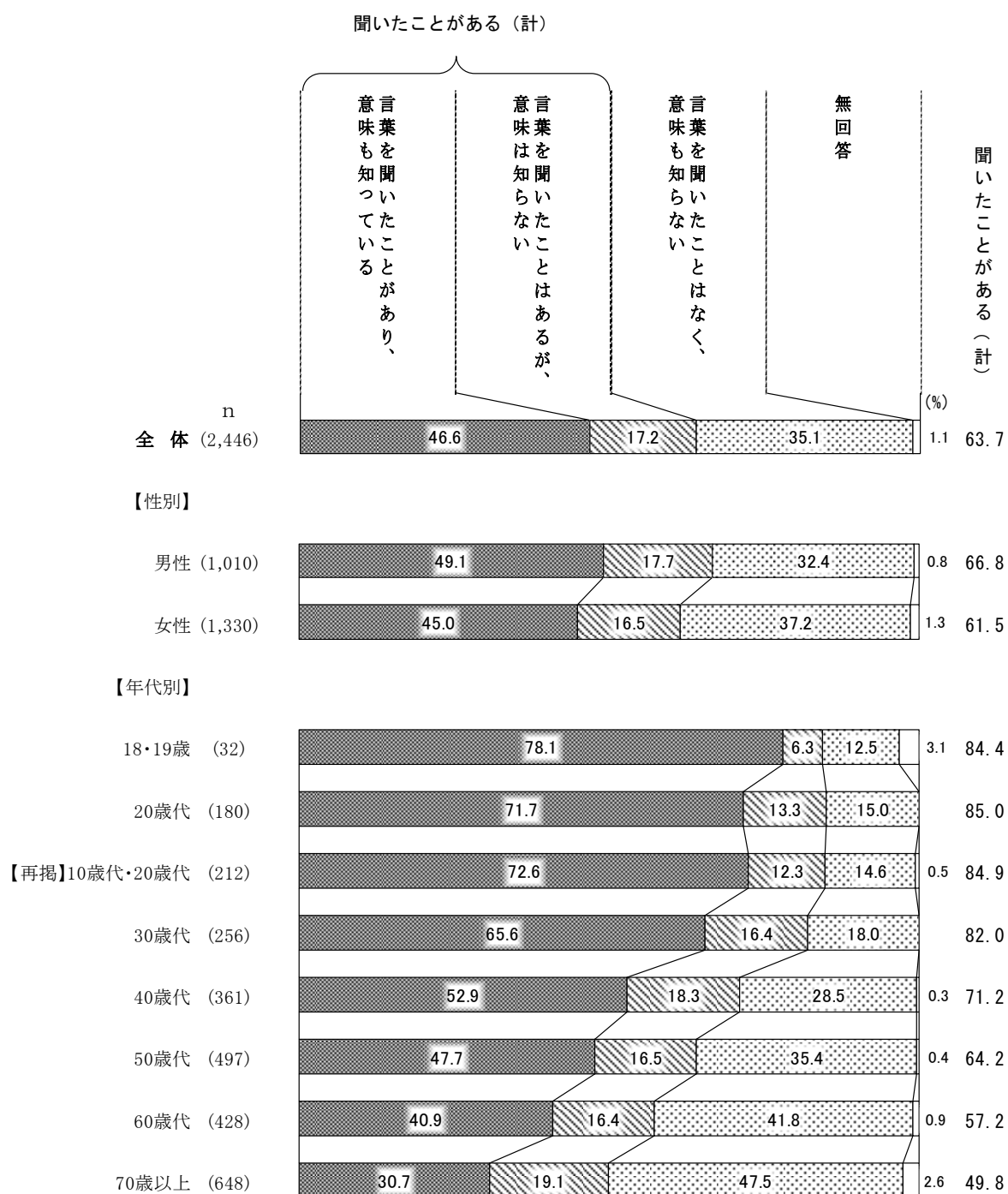
① 性別

『聞いたことがある（計）』は男性（66.8%）の方が女性（61.5%）よりも5.3ポイント高くなっている。

② 年代別

『聞いたことがある（計）』は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（84.9%）で8割台半ばと最も高くなっている。

○性自認の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『聞いたことがある(計)』は秩父地域(71.9%)で7割強と最も高く、利根地域(55.8%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聞いたことがある(計)』は男性10歳代・20歳代(88.5%)で9割弱と最も高く、女性70歳以上(45.8%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聞いたことがある(計)』は雇用者(計)(68.7%)で7割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聞いたことがある(計)』は独身期(85.4%)で8割台半ばと最も高く、高齢期(51.4%)で最も低くなっている。

○性自認の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

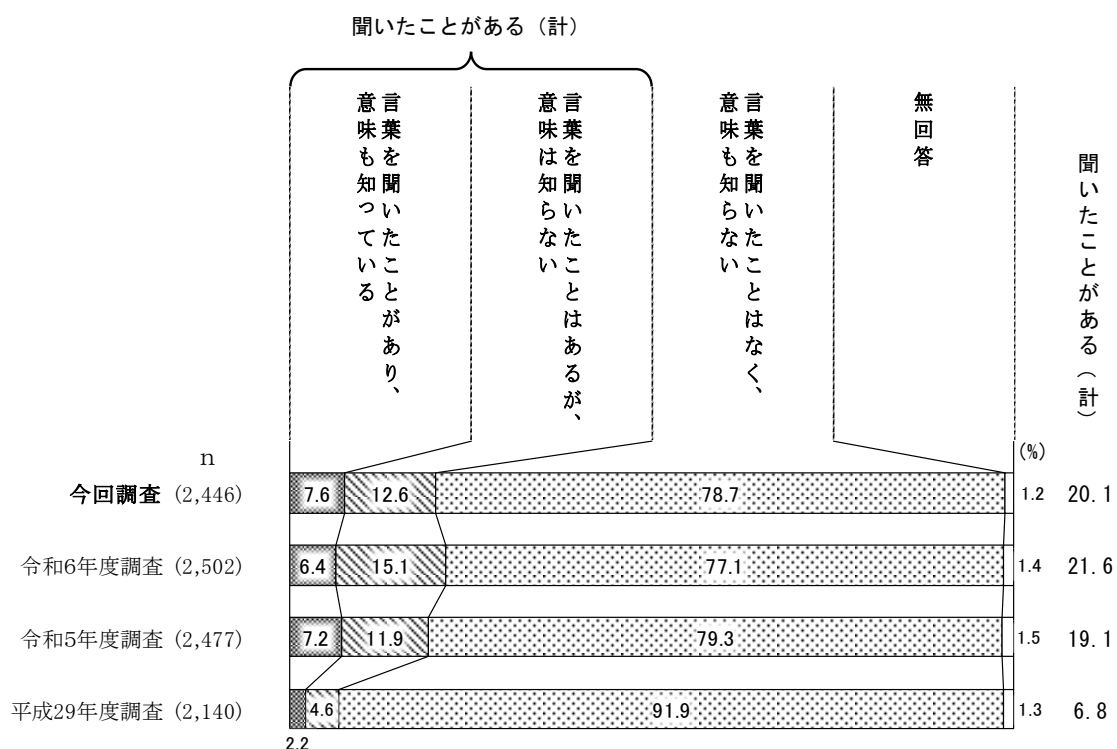
	調査数 n	いる あり、 言葉を 意味 いた も知 つと てが	ない ある が、 意味 いた はこ 知と らは	い なく、 言葉を 意味 いた も知 らな は	無 回 答	(%) (計) 聞 いた こ と が あ る
全 体	2,446	46.6	17.2	35.1	1.1	63.7
地域別						
南部地域	245	47.8	16.3	34.7	1.2	64.1
南西部地域	224	46.9	17.9	33.5	1.8	64.7
東部地域	363	45.7	18.2	34.2	1.9	63.9
さいたま地域	447	52.6	15.9	30.9	0.7	68.5
県央地域	181	47.0	17.7	34.8	0.6	64.6
川越比企地域	253	49.0	15.8	34.4	0.8	64.8
西部地域	271	49.1	14.8	35.4	0.7	63.8
利根地域	217	35.9	19.8	43.8	0.5	55.8
北部地域	166	40.4	16.3	42.2	1.2	56.6
秩父地域	32	43.8	28.1	28.1	-	71.9
性・年代別						
男性／18・19歳	9	100.0	-	-	-	100.0
20歳代	78	70.5	16.7	12.8	-	87.2
【再掲】10歳代・20歳代	87	73.6	14.9	11.5	-	88.5
30歳代	109	67.9	15.6	16.5	-	83.5
40歳代	140	56.4	12.9	30.0	0.7	69.3
50歳代	201	46.3	19.4	33.8	0.5	65.7
60歳代	187	44.4	20.3	34.8	0.5	64.7
70歳以上	286	36.0	18.9	43.4	1.7	54.9
女性／18・19歳	23	69.6	8.7	17.4	4.3	78.3
20歳代	99	73.7	11.1	15.2	-	84.8
【再掲】10歳代・20歳代	122	73.0	10.7	15.6	0.8	83.6
30歳代	135	63.7	16.3	20.0	-	80.0
40歳代	208	50.0	21.6	28.4	-	71.6
50歳代	280	48.6	14.6	36.4	0.4	63.2
60歳代	236	38.1	13.6	47.0	1.3	51.7
70歳以上	349	26.6	19.2	50.7	3.4	45.8
職業別						
自営業・家族従業(計)	183	47.5	16.9	35.5	-	64.5
雇用者(計)	1,293	52.0	16.6	30.7	0.6	68.7
無職(計)	909	39.5	17.6	41.4	1.5	57.1
ライフステージ別						
独身期	280	71.8	13.6	14.3	0.4	85.4
家族形成期	151	61.6	15.9	22.5	-	77.5
家族成長前期	205	57.6	20.5	22.0	-	78.0
家族成長後期	166	53.0	12.0	33.7	1.2	65.1
家族成熟期	373	38.3	18.0	43.2	0.5	56.3
高齢期	611	33.9	17.5	47.0	1.6	51.4
その他	660	43.8	18.5	35.8	2.0	62.3

(10-3) アライ (ALL Y) の認知度

◇『聞いたことがある (計)』が 20.1%

問11 (3) あなたは、「アライ (ALL Y) *」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「アライ (ALL Y)」とは、性的マイノリティを理解し、支援している人、または支援したいと思う人のことです。



※平成29年度調査は「言葉は知っているし、意味も知っている」
「言葉は知っているが、意味は知らなかった」
「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」

「アライ (ALL Y)」という言葉の認知度は、「言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」が7.6%となっており、これに「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(12.6%)を合わせた『聞いたことがある (計)』(20.1%)は2割を超えている。一方で、「言葉を聞いたことはなく、意味も知らない」(78.7%)は8割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

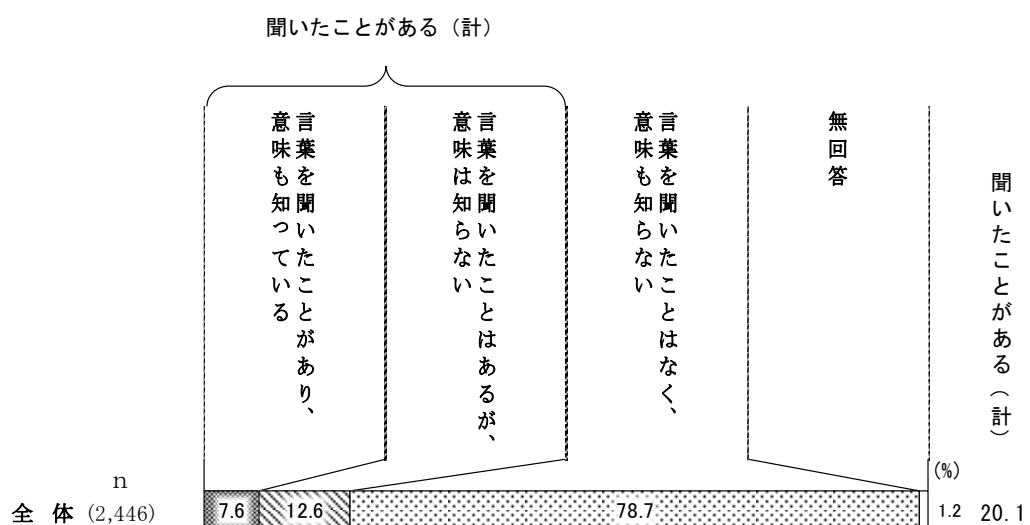
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

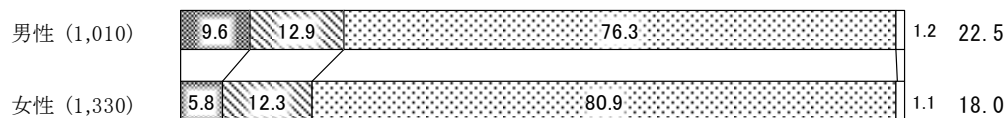
② 年代別

『聞いたことがある（計）』は70歳以上（21.8%）で2割強と最も高く、30歳代（16.0%）で最も低くなっている。

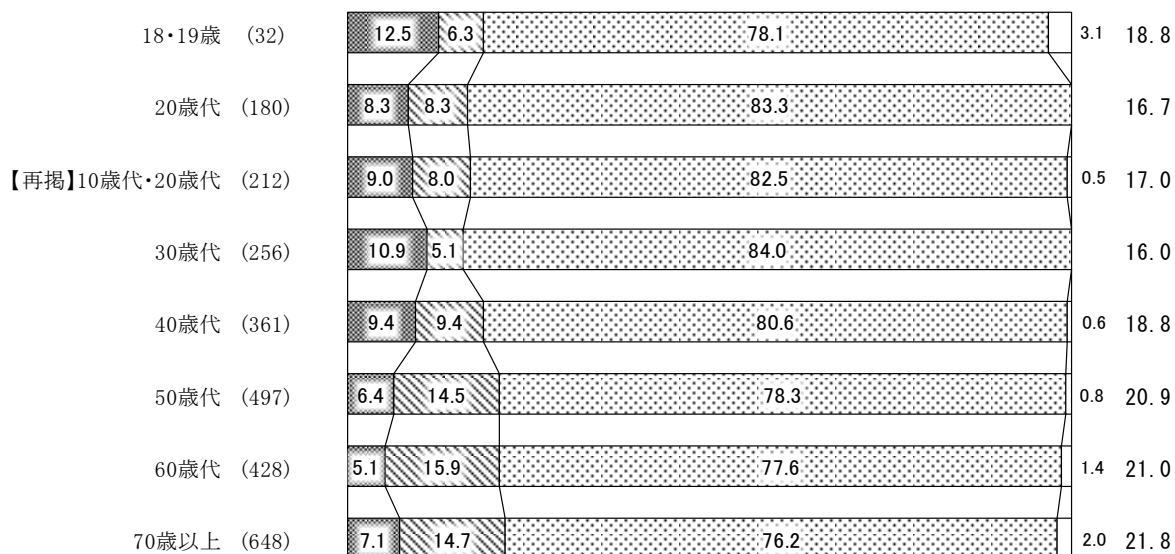
○アライ（ALLY）の認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『聞いたことがある(計)』は秩父地域(25.0%)で2割台半ばと最も高く、南西部地域とさいたま地域(各18.3%)で低くなっている。

④ 性・年代別

『聞いたことがある(計)』は男性40歳代(25.7%)で2割台半ばと最も高く、女性30歳代(11.9%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聞いたことがある(計)』は雇用者(計)(20.3%)で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聞いたことがある(計)』はその他(23.2%)で2割強と最も高く、家族成長前期(12.7%)で最も低くなっている。

○アライ (A L L Y) の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

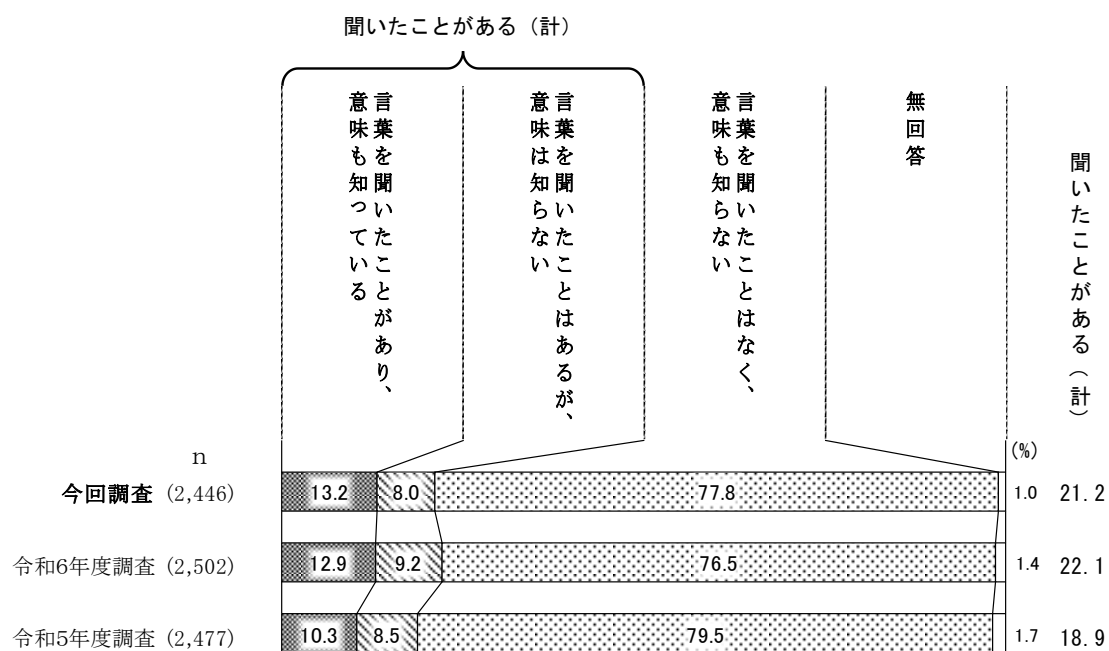
	調 査 数 n	い あ る 言 葉 を 聞 い た こ と が あ る 、 意 味 も 知 つ て あ る	な い 言 葉 を 聞 い た こ と は 知 ら な い	い な く 言 葉 を 聞 い た こ と は 知 ら な い	無 回 答	(%) (計) 聞いた こと が あ る
全 体	2,446	7.6	12.6	78.7	1.2	20.1
地域別						
南部地域	245	6.1	14.7	77.1	2.0	20.8
南西部地域	224	7.1	11.2	79.9	1.8	18.3
東部地域	363	9.6	10.5	78.2	1.7	20.1
さいたま地域	447	8.5	9.8	80.8	0.9	18.3
県央地域	181	5.5	14.9	79.0	0.6	20.4
川越比企地域	253	7.5	12.6	79.1	0.8	20.2
西部地域	271	7.4	14.4	77.5	0.7	21.8
利根地域	217	3.7	16.1	80.2	-	19.8
北部地域	166	8.4	10.8	79.5	1.2	19.3
秩父地域	32	15.6	9.4	75.0	-	25.0
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	-	77.8	-	22.2
20歳代	78	11.5	11.5	76.9	-	23.1
【再掲】10歳代・20歳代	87	12.6	10.3	77.0	-	23.0
30歳代	109	14.7	4.6	80.7	-	19.3
40歳代	140	15.0	10.7	72.9	1.4	25.7
50歳代	201	7.5	13.9	77.6	1.0	21.4
60歳代	187	4.8	14.4	79.1	1.6	19.3
70歳以上	286	8.7	16.1	73.4	1.7	24.8
女性／18・19歳	23	8.7	8.7	78.3	4.3	17.4
20歳代	99	6.1	5.1	88.9	-	11.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	6.6	5.7	86.9	0.8	12.3
30歳代	135	5.9	5.9	88.1	-	11.9
40歳代	208	5.3	8.7	86.1	-	13.9
50歳代	280	5.7	15.0	78.6	0.7	20.7
60歳代	236	5.5	17.4	75.8	1.3	22.9
70歳以上	349	6.0	13.5	78.2	2.3	19.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	7.7	9.3	83.1	-	16.9
雇用者（計）	1,293	8.4	12.0	78.9	0.8	20.3
無職（計）	909	6.4	13.4	78.8	1.4	19.8
ライフステージ別						
独身期	280	10.7	8.6	80.4	0.4	19.3
家族形成期	151	9.3	6.6	84.1	-	15.9
家族成長前期	205	6.3	6.3	87.3	-	12.7
家族成長後期	166	7.8	12.7	78.3	1.2	20.5
家族成熟期	373	5.6	13.9	79.6	0.8	19.6
高齢期	611	6.7	14.2	77.6	1.5	20.9
その他	660	8.0	15.2	74.7	2.1	23.2

(10-4) アウティングの認知度

◇『聞いたことがある（計）』が21.2%

問11（4） あなたは、「アウティング*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。（○は1つだけ）

*「アウティング」とは、性的指向又は性自認に関して、本人の意に反して本人が秘密にしていることを明かすことです。



「アウティング」という言葉の認知度は、「言葉を知っている（計）」（13.2%）が1割強となっており、これに「言葉は聞いたことはあるが、意味は知らない」（8.0%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（21.2%）は2割強となっている。一方で、「言葉も聞いたことがなく、意味も知らない」（77.8%）は7割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

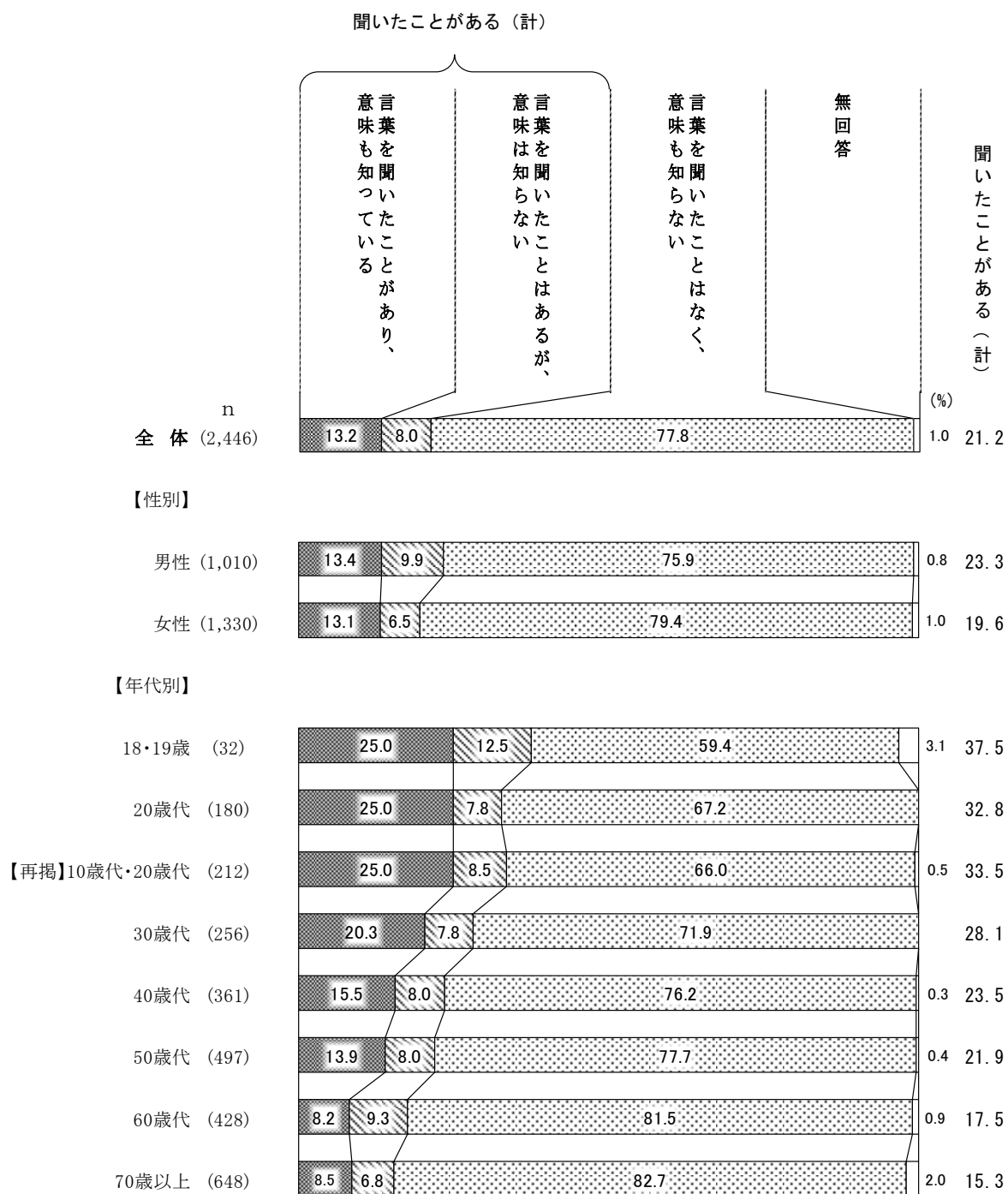
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『聞いたことがある（計）』は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（33.5%）で3割強と最も高くなっている。

○アウトティングの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『聞いたことがある(計)』は秩父地域(37.5%)で3割台半ばを超えて最も高く、北部地域(10.2%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聞いたことがある(計)』は女性10歳代・20歳代(36.1%)で3割台半ばを超えて最も高く、女性70歳以上(13.2%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聞いたことがある(計)』は雇用者(計)(24.1%)で2割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聞いたことがある(計)』は独身期(32.9%)で3割強と最も高く、高齢期(15.7%)で最も低くなっている。

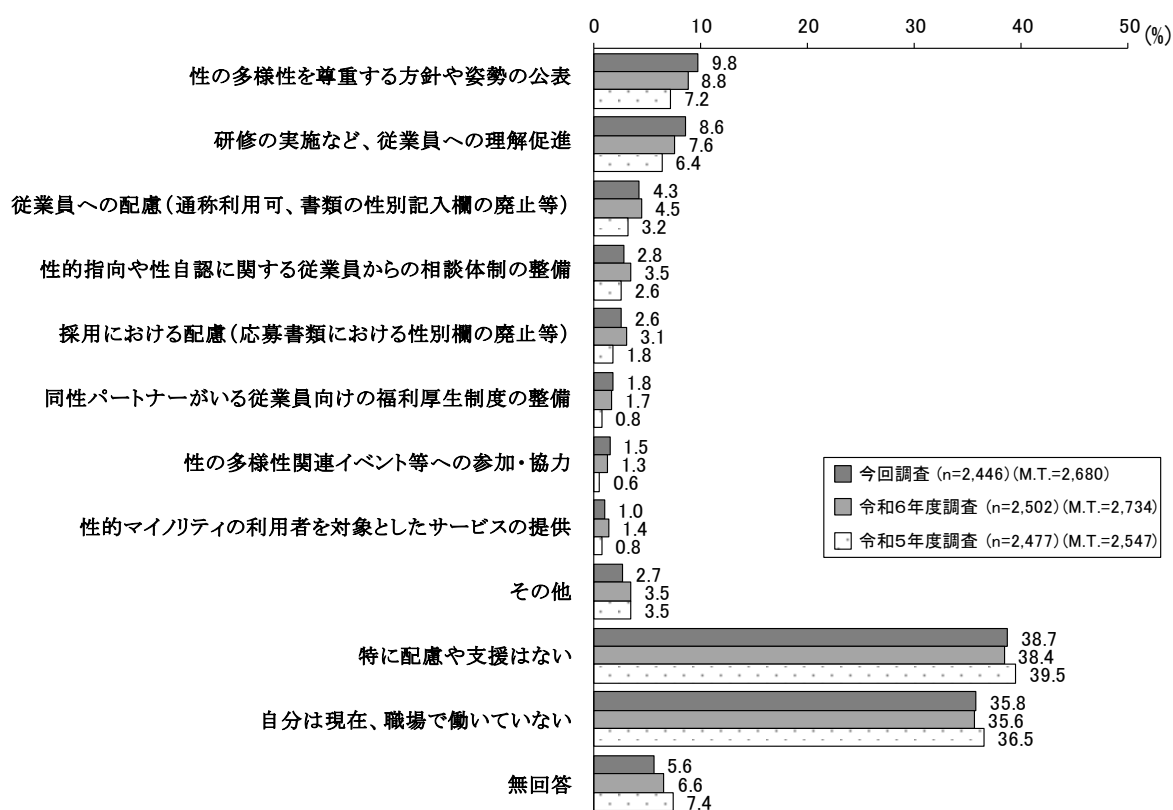
○アウトティングの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	いる あり、 言葉を 意味も 知つて が	ない あるが、 意味は 知らは	いなく、 言葉を 意味も 知らな	無回答	(%) (計) 聞いた ことが ある
全 体	2,446	13.2	8.0	77.8	1.0	21.2
地域別						
南部地域	245	11.8	6.9	79.6	1.6	18.8
南西部地域	224	12.5	9.8	76.3	1.3	22.3
東部地域	363	11.8	9.4	77.7	1.1	21.2
さいたま地域	447	15.0	7.2	77.2	0.7	22.1
県央地域	181	15.5	6.1	77.9	0.6	21.5
川越比企地域	253	17.0	9.1	73.1	0.8	26.1
西部地域	271	15.9	9.2	74.2	0.7	25.1
利根地域	217	8.8	7.8	83.4	-	16.6
北部地域	166	6.6	3.6	88.6	1.2	10.2
秩父地域	32	28.1	9.4	62.5	-	37.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	22.2	55.6	-	44.4
20歳代	78	20.5	6.4	73.1	-	26.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	20.7	8.0	71.3	-	28.7
30歳代	109	22.9	11.0	66.1	-	33.9
40歳代	140	18.6	12.9	67.9	0.7	31.4
50歳代	201	13.4	10.0	76.1	0.5	23.4
60歳代	187	5.9	9.6	84.0	0.5	15.5
70歳以上	286	9.8	8.7	79.7	1.7	18.5
女性／18・19歳	23	26.1	8.7	60.9	4.3	34.8
20歳代	99	28.3	8.1	63.6	-	36.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	27.9	8.2	63.1	0.8	36.1
30歳代	135	16.3	5.2	78.5	-	21.5
40歳代	208	13.5	5.3	81.3	-	18.8
50歳代	280	13.9	6.4	79.3	0.4	20.4
60歳代	236	10.2	9.3	79.2	1.3	19.5
70歳以上	349	7.7	5.4	84.5	2.3	13.2
職業別						
自営業・家族従業(計)	183	12.6	7.1	80.3	-	19.7
雇用者(計)	1,293	15.5	8.6	75.4	0.5	24.1
無職(計)	909	10.6	6.9	81.3	1.2	17.5
ライフステージ別						
独身期	280	23.2	9.6	66.8	0.4	32.9
家族形成期	151	22.5	6.6	70.9	-	29.1
家族成長前期	205	16.1	6.8	77.1	-	22.9
家族成長後期	166	17.5	6.6	74.7	1.2	24.1
家族成熟期	373	9.1	8.3	82.0	0.5	17.4
高齢期	611	8.8	6.9	82.8	1.5	15.7
その他	660	11.2	9.1	78.2	1.5	20.3

(10-5) 職場での性の多様性に対する配慮や支援

◇「特に配慮や支援はない」が38.7%

問11(5) あなたの職場では、性の多様性に対する配慮や支援はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※令和5年度は「LGBTQの利用者を対象としたサービスの提供」「LGBTQ関連イベント等への参加・協力」

職場での性の多様性に対する配慮や支援は、「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」が9.8%と最も高く、次いで「研修の実施など、従業員への理解促進」(8.6%)、「従業員への配慮(通称利用可、書類の性別記入欄の廃止等)」(4.3%) などとなっている。一方で、「特に配慮や支援はない」(38.7%) が4割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」は秩父地域（18.8％）で2割弱と最も高く、「研修の実施など、従業員への理解促進」はさいたま地域（11.9％）で1割強と最も高くなっている。

② 性別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」は男性（13.5％）の方が女性（7.4％）よりも6.1ポイント高くなっている。一方で、「自分は現在、職場で働いていない」は女性（41.3％）の方が男性（29.0％）よりも12.3ポイント高くなっている。

③ 年代別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」は10歳代・20歳代（19.3％）で約2割と最も高く、70歳以上（2.0％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」は男性30歳代（26.6％）で2割台半ばを超えて最も高く、女性70歳以上（1.4％）で最も低くなっている。「研修の実施など、従業員への理解促進」も男性30歳代（23.9％）で2割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」と「研修の実施など、従業員への理解促進」は雇用者（計）（15.7％・15.1％）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」は独身期（18.6％）で2割弱と最も高くなっている。

○職場での性の多様性に対する配慮や支援・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表	研修の実施など、従業員への理解促進	従業員への配慮（通称利用可、書類の性別記入欄の廃止等）	性的指向や性自認に関する従業員からの相談体制の整備	採用における配慮（応募書類の廃止等）	同性パートナーがいる従業員向けの福利厚生制度の整備	性の多様性に関する参加・連携等への参加・連携	性的マイノリティの利用者を対象としたサービスの提供	その他	特に配慮や支援はない	自分自身は現在、職場で働いていない	無回答
全体	2,446	9.8	8.6	4.3	2.8	2.6	1.8	1.5	1.0	2.7	38.7	35.8	5.6
地域別													
南部地域	245	12.7	10.2	3.7	1.6	2.0	2.0	0.4	-	3.7	40.4	30.6	5.3
南西部地域	224	11.2	8.9	4.0	1.8	2.7	0.9	0.9	0.9	3.1	39.3	34.4	5.4
東部地域	363	6.1	6.3	3.9	2.5	1.7	1.1	0.6	0.6	3.9	42.1	35.5	5.0
さいたま地域	447	13.4	11.9	6.3	5.1	4.9	2.5	2.9	1.6	1.8	36.2	33.8	6.0
県央地域	181	8.8	7.2	5.0	2.2	-	0.6	1.1	-	3.3	38.1	37.0	5.0
川越比企地域	253	9.5	7.9	2.4	1.6	1.2	2.4	1.6	1.2	1.2	40.3	36.4	4.0
西部地域	271	10.3	8.1	5.9	3.3	4.1	2.2	2.2	1.1	1.5	41.0	36.2	4.4
利根地域	217	4.1	6.5	2.8	1.8	1.8	1.4	0.9	1.8	1.4	28.6	49.3	7.4
北部地域	166	9.0	8.4	3.0	3.0	2.4	1.8	1.2	1.2	3.6	45.2	32.5	4.8
秩父地域	32	18.8	9.4	9.4	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	3.1	53.1	25.0	-
性別													
男性	1,010	13.5	11.7	6.4	4.8	3.7	2.4	1.9	1.3	2.2	40.6	29.0	5.4
女性	1,330	7.4	6.5	2.9	1.5	1.8	1.2	1.2	0.8	2.9	37.4	41.3	4.9
年代別													
18・19歳	32	12.5	6.3	6.3	9.4	3.1	3.1	-	-	3.1	18.8	56.3	3.1
20歳代	180	20.6	14.4	10.6	7.8	6.1	6.7	6.1	2.8	3.3	47.8	15.0	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	212	19.3	13.2	9.9	8.0	5.7	6.1	5.2	2.4	3.3	43.4	21.2	1.4
30歳代	256	17.2	16.8	5.5	3.1	3.1	2.7	3.1	1.2	2.3	50.4	16.4	1.6
40歳代	361	12.5	10.8	5.5	3.6	3.3	2.5	1.9	1.1	3.9	59.6	11.4	2.2
50歳代	497	12.3	10.7	5.0	3.4	2.4	1.4	1.2	1.6	3.4	56.9	15.3	2.6
60歳代	428	7.9	8.2	3.3	2.1	2.8	0.9	0.5	0.2	3.5	36.0	42.8	3.7
70歳以上	648	2.0	1.5	1.7	0.6	1.1	0.3	0.3	0.5	0.5	9.7	72.8	12.7
性・年代別													
男性／18・19歳	9	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1	11.1	33.3	-
20歳代	78	23.1	11.5	12.8	14.1	7.7	10.3	7.7	5.1	1.3	50.0	16.7	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	24.1	12.6	13.8	14.9	8.0	10.3	6.9	4.6	2.3	46.0	18.4	1.1
30歳代	109	26.6	23.9	9.2	5.5	3.7	3.7	3.7	0.9	0.9	47.7	8.3	1.8
40歳代	140	15.0	16.4	8.6	7.1	5.7	3.6	2.1	2.1	5.7	57.1	2.9	3.6
50歳代	201	17.4	12.9	7.5	5.5	3.5	2.0	2.0	2.5	1.5	56.2	10.0	2.0
60歳代	187	11.8	13.4	4.8	3.2	4.3	1.1	0.5	-	3.2	43.9	29.9	3.7
70歳以上	286	2.8	2.4	2.4	0.7	1.0	-	0.3	-	0.7	15.0	65.7	12.6
女性／18・19歳	23	4.3	-	-	4.3	-	-	-	-	-	21.7	65.2	4.3
20歳代	99	19.2	17.2	9.1	3.0	5.1	4.0	4.0	1.0	5.1	46.5	14.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	16.4	13.9	7.4	3.3	4.1	3.3	3.3	0.8	4.1	41.8	23.8	0.8
30歳代	135	11.1	12.6	2.2	1.5	2.2	2.2	3.0	1.5	3.0	52.6	22.2	1.5
40歳代	208	11.5	7.7	3.8	1.4	1.9	1.9	1.9	0.5	2.9	59.6	17.3	1.0
50歳代	280	7.9	8.6	3.6	2.1	1.4	0.7	0.7	1.1	5.0	57.1	19.6	3.2
60歳代	236	5.1	4.2	2.1	1.3	1.7	0.8	0.4	0.4	3.8	30.1	52.5	3.4
70歳以上	349	1.4	0.9	1.1	0.6	1.1	0.3	0.3	0.6	0.3	5.7	78.8	12.3
職業別													
自営業・家族従業（計）	183	6.0	1.6	4.4	2.7	2.2	1.6	1.6	1.1	3.8	46.4	33.9	5.5
雇用者（計）	1,293	15.7	15.1	6.4	4.2	3.9	2.8	2.1	1.5	3.7	62.7	2.7	2.7
無職（計）	909	2.6	1.1	1.3	0.9	1.0	0.3	0.7	0.2	0.6	4.3	83.3	8.1
ライフステージ別													
独身期	280	18.6	15.0	10.0	7.1	5.4	5.7	5.4	2.9	2.1	45.0	20.4	1.1
家族形成期	151	17.9	15.2	4.6	2.0	2.0	2.6	2.6	-	3.3	52.3	15.9	1.3
家族成長前期	205	15.6	10.7	4.9	2.9	3.9	2.0	3.9	1.0	2.0	55.6	15.1	1.0
家族成長後期	166	13.9	12.0	8.4	3.6	2.4	3.0	-	-	3.0	60.2	11.4	2.4
家族成熟期	373	9.4	9.1	3.2	2.7	2.7	0.8	0.8	1.6	3.2	46.4	30.6	3.2
高齢期	611	3.8	3.8	2.1	1.1	1.8	0.2	0.3	0.3	1.5	15.7	67.6	7.9
その他	660	7.1	7.1	3.3	2.6	2.0	1.5	0.6	1.1	3.6	39.1	33.0	10.0

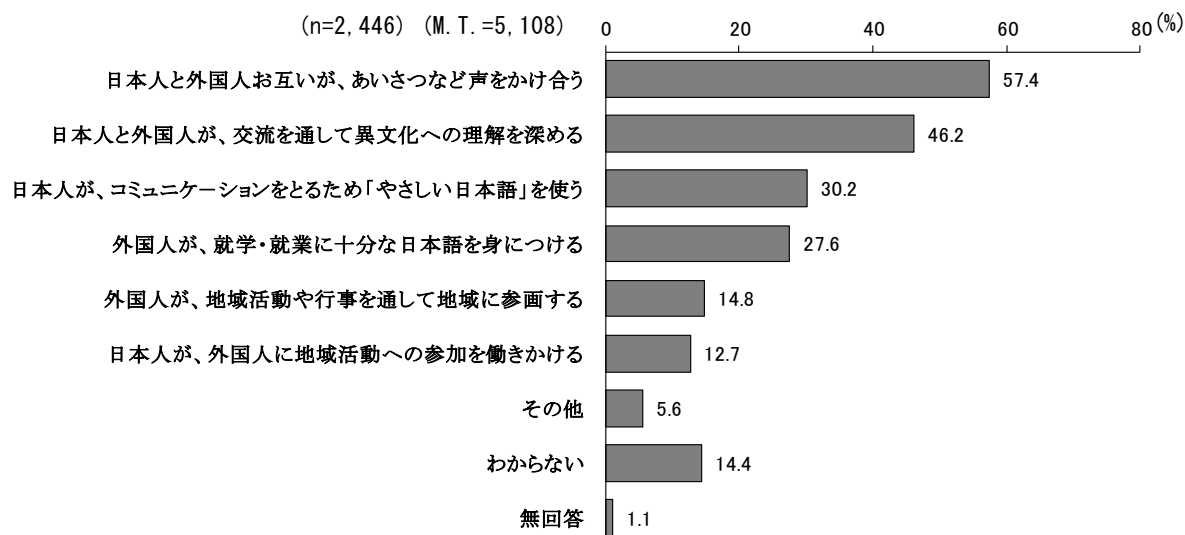
(11-1) 多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできること

◇「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」が57.4%

問12 多文化共生*についておたずねします。

*「多文化共生」とは、国籍等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

(1) あなたは、多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできることは何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



※「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできることは、「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」(57.4%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「日本人と外国人が、交流を通して異文化への理解を深める」(46.2%)、「日本人が、コミュニケーションをとるため『やさしい日本語』を使う」(30.2%)、「外国人が、就学・就業に十分な日本語を身につける」(27.6%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」は利根地域（65.9%）で6割台半ばと最も高く、「日本人と外国人が、交流を通して異文化への理解を深める」は西部地域（51.3%）で5割強と最も高くなっている。

② 性別

「日本人が、コミュニケーションをとるため『やさしい日本語』を使う」は女性（34.0%）が男性（26.0%）よりも8.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」は60歳代（65.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」は女性60歳代（65.7%）で6割台半ばと最も高くなっている。「日本人と外国人が、交流を通して異文化への理解を深める」は女性30歳代（54.1%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「日本人と外国人が、交流を通して異文化への理解を深める」は雇用者（計）（49.7%）で約5割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う」は高齢期（65.5%）で6割台半ばと最も高くなっている。

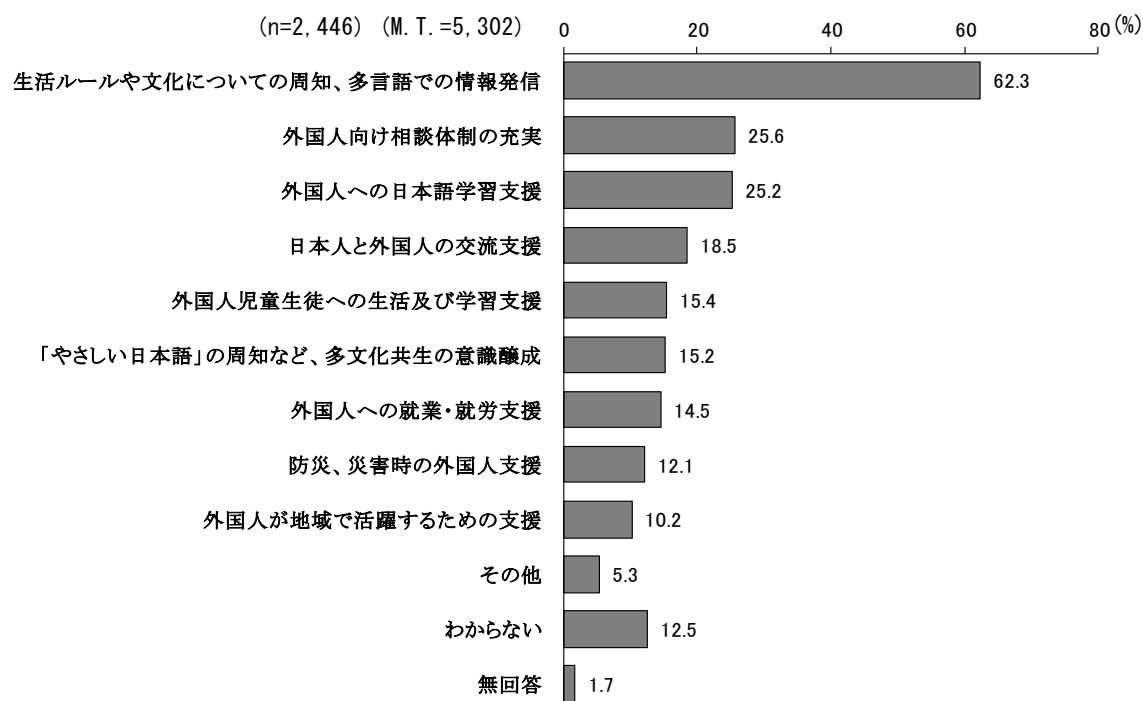
○多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできること・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %	割合 %
全体	2,446	57.4	46.2	30.2	27.6	14.8	12.7	5.6	14.4	1.1
地域別										
南部地域	245	46.9	48.2	27.8	32.7	15.1	11.0	7.3	15.5	0.8
南西部地域	224	55.4	41.5	27.2	26.3	12.9	8.5	5.8	18.3	1.8
東部地域	363	54.8	44.1	31.4	26.4	14.0	11.0	6.9	16.5	1.1
さいたま地域	447	60.4	49.4	29.5	32.9	16.6	12.3	5.1	12.1	0.2
県央地域	181	60.8	47.0	32.6	24.3	13.3	16.0	4.4	12.2	1.1
川越比企地域	253	55.3	47.8	28.9	25.3	13.4	12.6	4.3	14.6	2.0
西部地域	271	59.8	51.3	32.5	29.2	18.1	11.1	4.8	10.7	0.7
利根地域	217	65.9	40.1	34.1	20.7	12.4	20.7	5.1	15.2	0.9
北部地域	166	60.2	44.0	29.5	27.7	16.9	12.7	4.2	14.5	1.2
秩父地域	32	62.5	46.9	25.0	21.9	18.8	21.9	12.5	6.3	-
性別										
男性	1,010	57.5	45.0	26.0	32.4	17.4	12.7	6.6	14.5	0.6
女性	1,330	58.6	48.1	34.0	25.1	13.4	13.0	4.2	13.2	1.4
年代別										
18・19歳	32	50.0	59.4	9.4	28.1	28.1	3.1	-	9.4	-
20歳代	180	41.7	47.8	35.6	36.7	18.3	7.2	8.9	9.4	0.6
【再掲】10歳代・20歳代	212	42.9	49.5	31.6	35.4	19.8	6.6	7.5	9.4	0.5
30歳代	256	50.8	50.4	31.6	39.1	16.0	7.4	8.2	13.3	-
40歳代	361	55.7	50.1	26.0	33.2	14.1	9.4	8.9	14.7	-
50歳代	497	55.3	48.9	32.6	31.0	13.9	10.3	5.2	12.7	-
60歳代	428	65.0	47.4	33.6	22.9	15.0	12.6	5.4	11.7	0.9
70歳以上	648	63.4	39.2	27.8	18.7	14.5	20.8	2.3	18.4	2.9
性・年代別										
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	11.1	33.3	22.2	-	-	11.1	-
20歳代	78	37.2	44.9	28.2	39.7	20.5	6.4	10.3	12.8	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	36.8	47.1	26.4	39.1	20.7	5.7	9.2	12.6	1.1
30歳代	109	55.0	46.8	23.9	47.7	19.3	9.2	8.3	11.9	-
40歳代	140	56.4	50.0	19.3	39.3	16.4	6.4	12.9	14.3	-
50歳代	201	55.2	44.3	28.4	33.3	14.9	10.0	7.5	13.4	-
60歳代	187	64.7	44.4	28.3	31.6	18.7	12.8	5.3	11.8	1.1
70歳以上	286	62.2	42.0	26.9	21.0	17.1	21.0	2.4	18.5	1.0
女性／18・19歳	23	56.5	56.5	8.7	26.1	30.4	4.3	-	8.7	-
20歳代	99	46.5	50.5	41.4	35.4	16.2	7.1	8.1	6.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	48.4	51.6	35.2	33.6	18.9	6.6	6.6	6.6	-
30歳代	135	51.1	54.1	37.8	34.1	14.8	5.2	5.2	14.1	-
40歳代	208	57.2	51.9	31.7	30.3	12.5	11.5	5.8	13.5	-
50歳代	280	54.6	52.9	35.7	30.4	13.2	10.7	3.2	12.1	-
60歳代	236	65.7	50.4	38.6	16.5	12.3	12.7	5.5	10.6	0.8
70歳以上	349	64.5	37.0	28.9	17.2	12.3	21.2	2.0	17.8	4.6
職業別										
自営業・家族従業（計）	183	54.6	44.3	27.3	29.0	12.6	14.8	4.4	20.2	1.1
雇用者（計）	1,293	57.2	49.7	30.8	32.3	15.2	10.1	6.8	11.6	0.2
無職（計）	909	59.4	42.5	30.6	21.6	15.4	15.7	4.0	16.2	2.0
ライフステージ別										
独身期	280	43.2	51.4	31.1	38.9	21.1	5.7	7.1	10.0	0.4
家族形成期	151	52.3	43.7	28.5	36.4	12.6	8.6	11.3	15.2	-
家族成長前期	205	57.6	57.1	32.2	31.2	15.6	10.7	4.4	8.8	-
家族成長後期	166	51.8	53.6	30.1	30.7	16.9	9.0	9.6	10.8	-
家族成熟期	373	59.5	43.2	28.7	25.5	15.0	13.4	3.2	15.8	-
高齢期	611	65.5	43.7	31.3	20.0	15.4	20.6	2.6	14.6	2.0
その他	660	57.4	43.2	29.4	27.3	11.1	10.5	7.0	17.7	2.0

(11-2) 多文化共生社会を目指すうえで、県が力を入れるべき取組

◇「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」が62.3%

問12(2) あなたは、多文化共生社会を目指すうえで、県がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



多文化共生社会を目指すうえで、県が力を入れるべき取組は、「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」(62.3%)が6割強と最も高く、次いで「外国人向け相談体制の充実」(25.6%)、「外国人への日本語学習支援」(25.2%)、「日本人と外国人の交流支援」(18.5%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」は西部地域（66.1％）で6割台半ばを超えて最も高く、「外国人向け相談体制の充実」も西部地域（30.6％）で3割を超えて最も高くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

③ 年代別

「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」と「外国人向け相談体制の充実」は50歳代（66.4％・31.0％）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」と「外国人向け相談体制の充実」は女性50歳代（71.1％・35.4％）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

「外国人への日本語学習支援」は雇用者（計）（27.9％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「生活ルールや文化についての周知、多言語での情報発信」は家族成長前期（66.3％）で6割台半ばを超えて最も高く、「外国人向け相談体制の充実」は家族成長後期（30.1％）で3割を超えて最も高くなっている。

○多文化共生社会を目指すうえで、県が力を入れるべき取組・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	生活 ル ー の 周 知 、 多 言 語 で の 情 報 発 信	外 国 人 向 け 相 談 体 制 の 充 実	外 国 人 へ の 日 本 語 学 習 支 援	日 本 人 と 外 国 人 の 交 流 支 援	外 国 人 児 童 生 徒 へ の 生 活 及 び 学 習 支 援	「 一 や さ し い 日 本 語 」 の 周 知 な ど 、 多 文 化 共 生 の 意 識 醸 成	外 国 人 へ の 就 業 ・ 就 業 支 援	防 災 、 災 害 時 の 外 国 人 支 援	外 国 人 が 地 域 で 活 躍 す る た め の 支 援	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	(%)
全体	2,446	62.3	25.6	25.2	18.5	15.4	15.2	14.5	12.1	10.2	5.3	12.5	1.7	
地域別														
南部地域	245	64.9	23.7	23.3	17.6	16.7	17.1	7.8	9.8	11.0	7.3	11.4	1.2	
南西部地域	224	62.9	23.2	22.8	16.1	14.7	15.6	11.2	8.5	9.8	6.7	14.7	2.2	
東部地域	363	62.0	26.2	24.5	20.1	14.0	15.7	15.7	12.1	12.4	3.9	13.5	1.4	
さいたま地域	447	64.7	28.0	25.1	16.8	19.0	15.9	16.6	12.1	8.3	5.8	12.3	1.6	
県央地域	181	59.1	22.1	24.3	18.8	15.5	14.4	11.6	14.9	9.9	4.4	12.2	1.7	
川越比企地域	253	57.7	24.9	26.1	19.0	13.0	13.8	16.6	13.0	9.5	4.7	11.9	3.2	
西部地域	271	66.1	30.6	29.5	21.0	13.7	13.3	14.0	13.7	9.2	4.1	9.6	1.5	
利根地域	217	63.1	20.3	22.1	19.4	16.6	18.4	19.4	13.8	13.4	5.1	11.1	0.5	
北部地域	166	62.0	27.1	30.1	19.3	15.1	10.8	16.9	14.5	8.4	3.0	13.3	1.2	
秩父地域	32	46.9	25.0	40.6	25.0	15.6	15.6	9.4	9.4	9.4	15.6	12.5	-	
性別														
男性	1,010	63.1	25.5	27.6	19.2	15.3	13.7	15.7	9.7	12.0	6.3	12.2	0.7	
女性	1,330	63.4	25.9	24.1	18.4	16.2	16.3	13.8	14.4	8.9	4.0	11.5	2.3	
年代別														
18・19歳	32	53.1	15.6	28.1	28.1	3.1	6.3	12.5	9.4	6.3	-	25.0	-	
20歳代	180	62.2	16.1	26.7	19.4	13.9	12.2	18.9	9.4	7.2	9.4	8.3	-	
【再掲】10歳代・20歳代	212	60.8	16.0	26.9	20.8	12.3	11.3	17.9	9.4	7.1	8.0	10.8	-	
30歳代	256	62.9	22.3	27.7	21.1	15.2	13.7	13.3	9.4	7.0	9.8	12.5	0.4	
40歳代	361	63.4	21.9	27.4	18.8	18.6	12.2	14.1	9.7	8.3	7.5	11.9	0.6	
50歳代	497	66.4	31.0	25.4	16.5	16.3	12.3	13.9	13.7	9.7	5.6	8.9	1.2	
60歳代	428	64.0	28.7	28.5	21.0	15.2	17.3	16.4	13.6	9.1	3.7	10.0	1.2	
70歳以上	648	58.8	25.6	21.0	17.1	15.0	19.6	13.3	13.9	14.5	2.0	16.5	3.9	
性・年代別														
男性／18・19歳	9	55.6	22.2	22.2	44.4	-	-	11.1	22.2	-	-	11.1	-	
20歳代	78	62.8	9.0	32.1	16.7	17.9	10.3	14.1	6.4	9.0	11.5	10.3	-	
【再掲】10歳代・20歳代	87	62.1	10.3	31.0	19.5	16.1	9.2	13.8	8.0	8.0	10.3	10.3	-	
30歳代	109	66.1	21.1	28.4	24.8	15.6	12.8	13.8	7.3	8.3	11.0	9.2	-	
40歳代	140	62.1	20.0	31.4	17.1	15.7	12.1	12.9	8.6	9.3	10.0	13.6	0.7	
50歳代	201	60.7	25.9	28.9	17.9	13.9	10.9	16.4	11.9	14.4	7.0	10.4	0.5	
60歳代	187	65.2	29.9	31.0	21.9	15.5	13.4	18.2	10.2	11.2	4.3	10.2	0.5	
70歳以上	286	62.9	31.5	21.3	17.1	15.7	18.2	16.4	9.8	14.7	2.4	15.7	1.4	
女性／18・19歳	23	52.2	13.0	30.4	21.7	4.3	8.7	13.0	4.3	8.7	-	30.4	-	
20歳代	99	63.6	21.2	23.2	20.2	11.1	14.1	22.2	12.1	6.1	7.1	7.1	-	
【再掲】10歳代・20歳代	122	61.5	19.7	24.6	20.5	9.8	13.1	20.5	10.7	6.6	5.7	11.5	-	
30歳代	135	63.7	23.0	26.7	18.5	15.6	14.8	13.3	11.1	6.7	6.7	14.8	-	
40歳代	208	66.8	24.5	26.0	21.2	21.2	12.5	15.4	10.6	7.2	5.3	8.7	0.5	
50歳代	280	71.1	35.4	23.2	15.4	18.6	12.9	12.9	15.7	6.4	4.3	7.1	1.4	
60歳代	236	63.1	28.4	26.7	20.8	15.3	20.3	14.8	16.1	7.2	3.4	9.3	1.7	
70歳以上	349	55.9	20.6	20.9	16.9	14.3	20.3	10.9	16.9	14.6	1.7	16.9	6.0	
職業別														
自営業・家族従業（計）	183	60.1	27.9	18.6	19.1	18.0	9.3	10.9	13.7	9.8	5.5	15.3	1.1	
雇用者（計）	1,293	63.7	25.5	27.9	18.9	16.8	14.5	16.5	11.9	8.8	6.7	9.9	0.5	
無職（計）	909	62.2	25.2	23.8	18.5	13.6	17.4	12.5	12.7	12.1	3.2	14.3	2.9	
ライフステージ別														
独身期	280	63.9	20.7	30.4	22.5	11.4	13.2	15.4	9.3	7.9	6.1	10.7	-	
家族形成期	151	57.6	19.9	21.9	19.2	13.9	7.3	15.9	9.3	7.9	12.6	14.6	-	
家族成長前期	205	66.3	23.9	24.4	20.0	27.8	13.7	16.6	9.3	7.3	6.3	7.3	0.5	
家族成長後期	166	63.9	30.1	28.3	18.7	18.1	12.7	18.1	10.2	12.0	8.4	6.0	-	
家族成熟期	373	64.3	29.0	23.6	15.8	14.7	13.7	15.0	13.1	7.2	2.9	14.5	1.1	
高齢期	611	62.4	25.9	25.2	20.0	16.5	18.8	13.6	13.9	14.9	2.3	13.1	2.5	
その他	660	59.7	26.1	24.2	16.2	12.3	16.5	12.9	13.2	9.5	6.2	14.2	3.2	

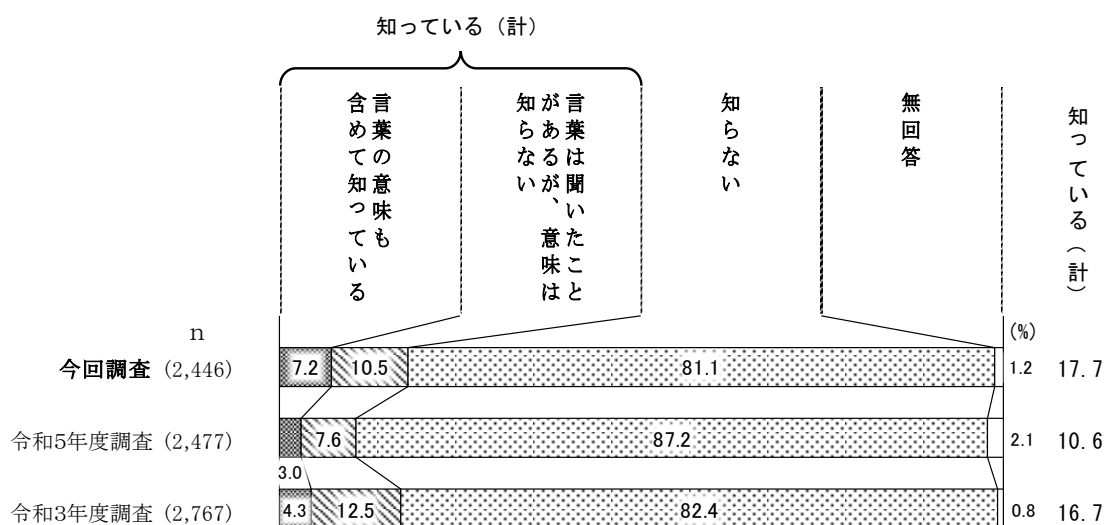
(12) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

◇『知っている（計）』が17.7%

問13 「アドバンス・ケア・プランニング」（ACP、愛称：人生会議）についておたずねします。

＊アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）とは、もしものために、人生の最終段階においてあなたが望む医療やケア（受けたくないものも含む）について前もって考え、家族や医療・介護関係者と話し合い、共有する取組です。

（1）あなたは、これらの言葉を知っていますか。（○は1つだけ）



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」が7.2%で、これに「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（10.5%）を合わせた『知っている（計）』（17.7%）は1割台半ばを超えている。一方で、「知らない」（81.1%）は8割強となっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、『知っている（計）』（17.7%）は7.1ポイント増加している。

【属性別比較】

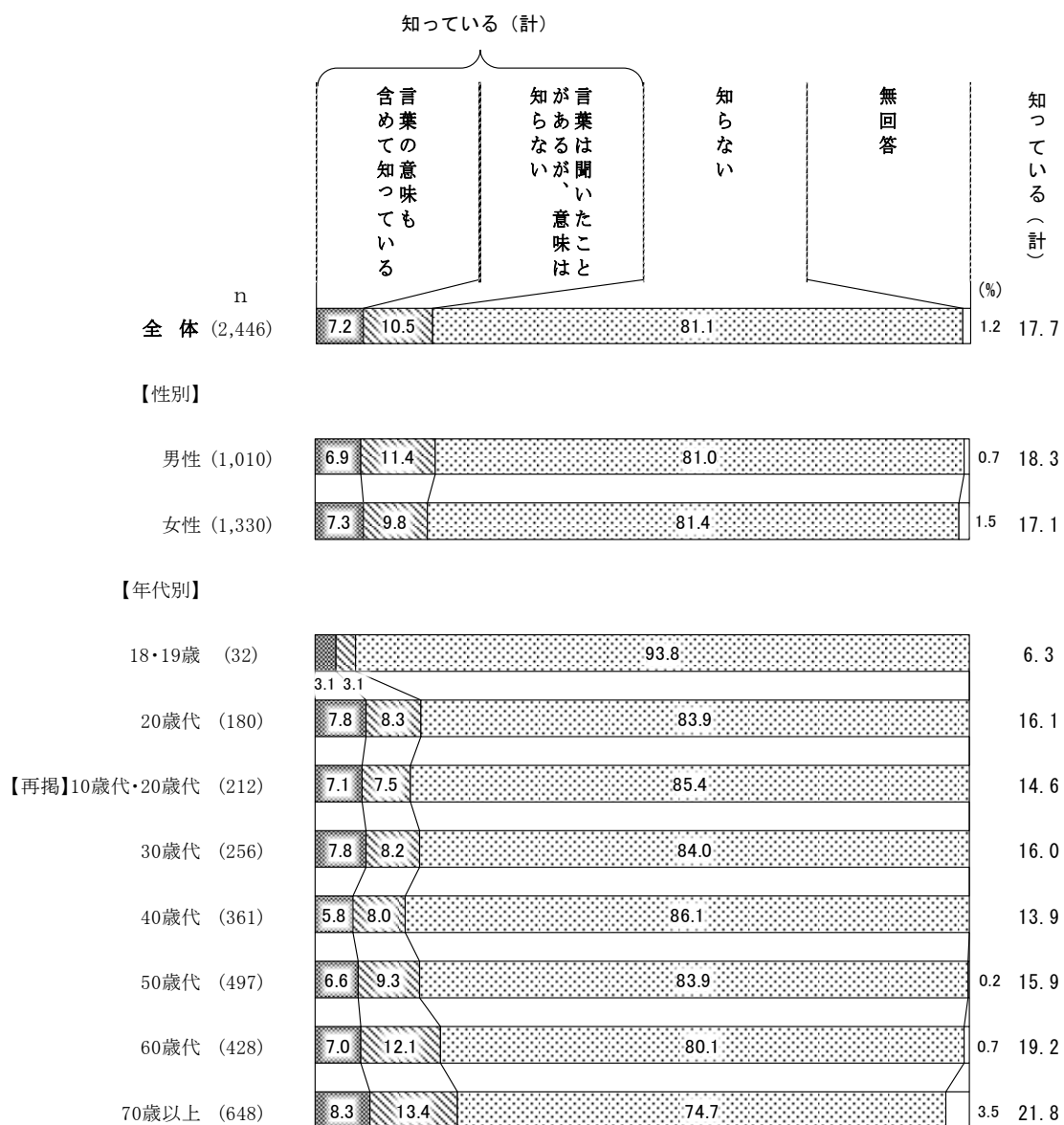
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『知っている（計）』は70歳以上（21.8%）で2割強と最も高く、40歳代（13.9%）で最も低くなっている。

○アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は秩父地域（25.0％）で2割台半ばと最も高く、利根地域（14.3％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性70歳以上（22.4％）で2割強と最も高く、女性40歳代（11.5％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は無職（計）（18.2％）で2割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は高齢期（22.9％）で2割強と最も高く、独身期（14.3％）で最も低くなっている。

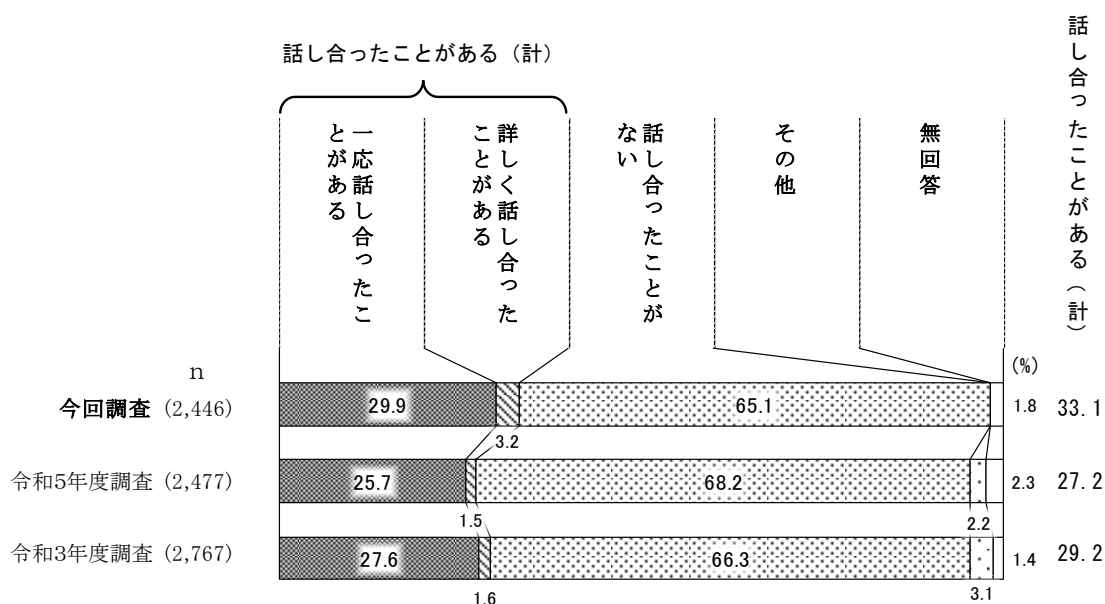
○アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知っている 言葉の意味も含めて	知っているが、意味は知らない	知らない	無回答	(%) 知っている（計）
全 体	2,446	7.2	10.5	81.1	1.2	17.7
地域別						
南部地域	245	6.9	9.8	82.0	1.2	16.7
南西部地域	224	7.1	10.3	81.3	1.3	17.4
東部地域	363	8.0	11.6	79.3	1.1	19.6
さいたま地域	447	7.4	10.7	81.7	0.2	18.1
県央地域	181	9.4	8.8	79.6	2.2	18.2
川越比企地域	253	9.1	11.5	77.1	2.4	20.6
西部地域	271	4.8	10.7	83.4	1.1	15.5
利根地域	217	5.5	8.8	84.8	0.9	14.3
北部地域	166	4.8	9.6	84.9	0.6	14.5
秩父地域	32	15.6	9.4	75.0	-	25.0
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	11.1	88.9	-	11.1
20歳代	78	10.3	7.7	82.1	-	17.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	9.2	8.0	82.8	-	17.2
30歳代	109	7.3	11.0	81.7	-	18.3
40歳代	140	7.9	9.3	82.9	-	17.1
50歳代	201	5.0	10.0	85.1	-	14.9
60歳代	187	5.3	11.8	81.8	1.1	17.1
70歳以上	286	8.0	14.3	75.9	1.7	22.4
女性／18・19歳	23	4.3	-	95.7	-	4.3
20歳代	99	6.1	9.1	84.8	-	15.2
【再掲】10歳代・20歳代	122	5.7	7.4	86.9	-	13.1
30歳代	135	7.4	5.9	86.7	-	13.3
40歳代	208	4.3	7.2	88.5	-	11.5
50歳代	280	7.5	8.6	83.6	0.4	16.1
60歳代	236	8.5	12.7	78.4	0.4	21.2
70歳以上	349	8.6	12.9	73.4	5.2	21.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	6.6	9.8	83.1	0.5	16.4
雇用者（計）	1,293	7.3	10.1	82.3	0.3	17.4
無職（計）	909	7.2	11.0	79.8	2.1	18.2
ライフステージ別						
独身期	280	6.8	7.5	85.7	-	14.3
家族形成期	151	6.6	11.3	82.1	-	17.9
家族成長前期	205	5.9	9.3	84.9	-	15.1
家族成長後期	166	6.6	7.8	84.9	0.6	14.5
家族成熟期	373	5.9	11.0	82.8	0.3	16.9
高齢期	611	10.1	12.8	75.1	2.0	22.9
その他	660	6.1	10.3	81.4	2.3	16.4

(13-1) 人生の最終段階において望む医療やケアについて家族等や医療・介護関係者と話し合った経験

◇『話し合ったことがある(計)』が33.1%

問13(2)-1 あなたは、あなた自身又は家族に関し、人生の最終段階において望む医療やケア(受けたくないものも含む)について、前もって家族等や医療・介護従事者と話し合ったことはありますか。(〇は1つだけ)



※令和5年度までは「一応話し合っている」「詳しく話し合っている」

※令和5年度までの「話し合ったことがない」は「家族との話し合いに抵抗を感じるから話し合ったことはない」

「話し合う必要性を感じていないから話し合ったことはない」

「話し合うきっかけがないから話し合ったことはない」

「何を話し合っていかわからないから話し合ったことはない」を合算したもの

※「その他」は令和5年度までの選択肢

人生の最終段階において、受きたい医療・ケアや受けたくない医療・ケアについて、御家族や医療介護関係者と話し合った経験は、「一応話し合ったことがある」(29.9%)が約3割となっており、「詳しく話し合ったことがある」(3.2%)を合わせた『話し合ったことがある(計)』(33.1%)は3割強となっている。一方で、「話し合ったことがない」(65.1%)は6割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、『話し合ったことがある(計)』(33.1%)は5.9ポイント増加している。

【屬性別比較】

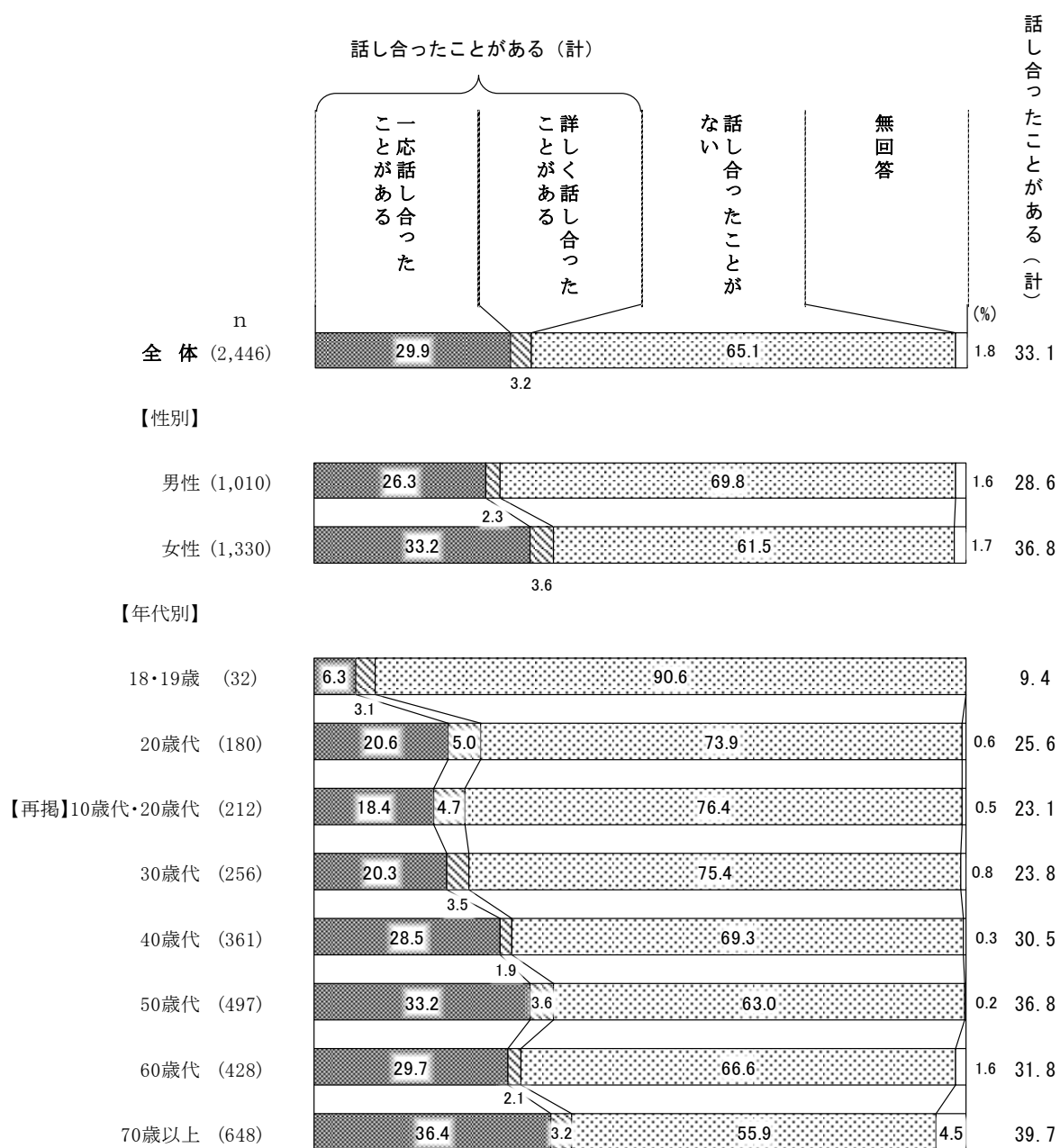
① 性別

『話し合ったことがある（計）』は女性（36.8%）の方が男性（28.6%）よりも8.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『話し合ったことがある(計)』は70歳以上(39.7%)で約4割と最も高く、10歳代・20歳代(23.1%)で最も低くなっている。

○人生の最終段階において受きたい医療・ケアについて家族や医療介護関係者と話し合った経験・性別／年代別



③ 地域別

『話し合ったことがある（計）』は川越比企地域（38.7％）で4割弱と最も高く、北部地域（24.7％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『話し合ったことがある（計）』は女性70歳以上（46.7％）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『話し合ったことがある（計）』は無職（計）（37.5％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『話し合ったことがある（計）』は高齢期（41.4％）で4割強と最も高くなっている。

○人生の最終段階において受たい医療・ケアについて家族や医療介護関係者と話し合った経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

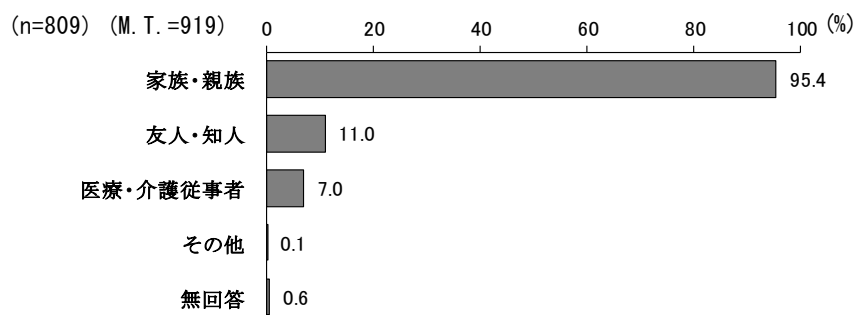
	調査数 n	ある 一応話し合ったことが	詳しく話し合ったこと がある	話し合ったことがない	無回答	(%) (計) 話し合ったことがある
全 体	2,446	29.9	3.2	65.1	1.8	33.1
地域別						
南部地域	245	25.3	3.7	70.2	0.8	29.0
南西部地域	224	29.9	2.2	64.7	3.1	32.1
東部地域	363	31.7	2.8	63.6	1.9	34.4
さいたま地域	447	30.4	4.3	63.8	1.6	34.7
県央地域	181	33.1	3.3	61.9	1.7	36.5
川越比企地域	253	36.0	2.8	58.9	2.4	38.7
西部地域	271	30.6	3.3	64.9	1.1	33.9
利根地域	217	27.2	2.8	68.2	1.8	30.0
北部地域	166	22.9	1.8	74.1	1.2	24.7
秩父地域	32	31.3	3.1	65.6	-	34.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	-	88.9	-	11.1
20歳代	78	16.7	3.8	78.2	1.3	20.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	16.1	3.4	79.3	1.1	19.5
30歳代	109	17.4	1.8	78.9	1.8	19.3
40歳代	140	26.4	1.4	72.1	-	27.9
50歳代	201	28.4	3.0	68.7	-	31.3
60歳代	187	29.4	1.6	67.4	1.6	31.0
70歳以上	286	29.4	2.4	64.7	3.5	31.8
女性／18・19歳	23	4.3	4.3	91.3	-	8.7
20歳代	99	24.2	5.1	70.7	-	29.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	20.5	4.9	74.6	-	25.4
30歳代	135	22.2	4.4	73.3	-	26.7
40歳代	208	30.3	2.4	66.8	0.5	32.7
50歳代	280	36.1	4.3	59.3	0.4	40.4
60歳代	236	30.5	2.5	65.7	1.3	33.1
70歳以上	349	43.0	3.7	48.1	5.2	46.7
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	33.3	2.7	62.3	1.6	36.1
雇用者（計）	1,293	26.6	3.3	69.5	0.6	29.9
無職（計）	909	34.5	3.0	59.7	2.8	37.5
ライフステージ別						
独身期	280	19.6	4.3	75.7	0.4	23.9
家族形成期	151	21.9	3.3	73.5	1.3	25.2
家族成長前期	205	20.5	2.9	76.6	-	23.4
家族成長後期	166	28.3	3.6	68.1	-	31.9
家族成熟期	373	31.1	3.5	64.1	1.3	34.6
高齢期	611	38.8	2.6	56.5	2.1	41.4
その他	660	30.5	3.0	63.0	3.5	33.5

(13-2) 話し合った相手

◇「家族・親族」が95.4%

(問13(2)-1で「1. 一応話し合ったことがある」または「2. 詳しく話し合ったことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問13(2)-2 どなたと話し合ったことがありますか。(〇はいくつでも)



話し合った相手は、「家族・親族」(95.4%)が9割台半ばと最も高く、次いで「友人・知人」(11.0%)、「医療・介護従事者」(7.0%)などとなっている。

【属性別比較】

※下記の話し合った相手の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「家族・親族」は西部地域(98.9%)で9割台後半と最も高く、「友人・知人」は南西部地域(16.7%)で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

③ 年代別

「家族・親族」は30歳代(98.4%)で9割台後半と最も高く、10歳代・20歳代(91.8%)で最も低くなっている。「友人・知人」は10歳代・20歳代(18.4%)で2割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「家族・親族」は男性70歳以上(98.9%)で9割台後半と最も高く、「友人・知人」は女性40歳代(14.7%)で1割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「家族・親族」は自営業・家族従業(計)(98.5%)で9割台後半と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「家族・親族」は高齢期(98.0%)で9割台後半と最も高くなっている。

○話し合った相手・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

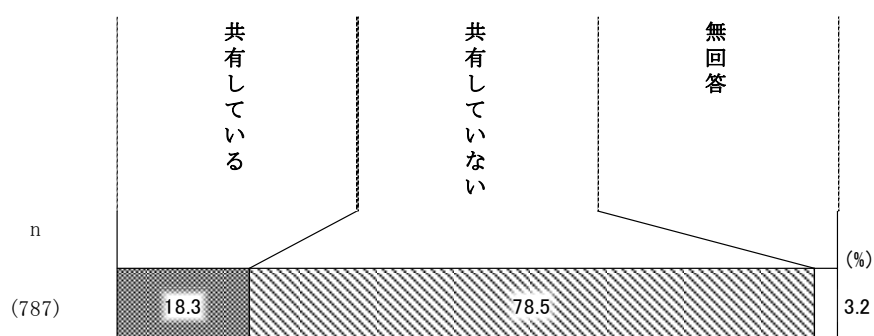
	調査数	家族・親族	友人・知人	医療・介護従事者	その他	無回答
	n					
全 体	809	95.4	11.0	7.0	0.1	0.6
地域別						
南部地域	71	90.1	15.5	5.6	-	1.4
南西部地域	72	95.8	16.7	8.3	-	-
東部地域	125	96.0	7.2	8.8	-	1.6
さいたま地域	155	95.5	6.5	7.1	-	0.6
県央地域	66	93.9	12.1	1.5	-	1.5
川越比企地域	98	98.0	13.3	6.1	1.0	-
西部地域	92	98.9	6.5	9.8	-	-
利根地域	65	93.8	15.4	6.2	-	-
北部地域	41	95.1	9.8	7.3	-	-
秩父地域	11	100.0	36.4	9.1	-	-
性別						
男性	289	97.2	10.0	8.0	0.3	0.3
女性	489	95.5	11.2	5.5	-	0.8
年代別						
18・19歳	3	100.0	33.3	-	-	-
20歳代	46	91.3	17.4	4.3	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	49	91.8	18.4	4.1	-	-
30歳代	61	98.4	13.1	6.6	-	-
40歳代	110	95.5	10.0	6.4	-	-
50歳代	183	94.5	9.3	9.8	0.5	0.5
60歳代	136	97.8	8.8	8.8	-	0.7
70歳以上	257	95.3	11.7	5.1	-	1.2
性・年代別						
男性／18・19歳	1	100.0	-	-	-	-
20歳代	16	93.8	31.3	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	17	94.1	29.4	-	-	-
30歳代	21	100.0	9.5	4.8	-	-
40歳代	39	97.4	2.6	10.3	-	-
50歳代	63	95.2	14.3	9.5	1.6	-
60歳代	58	96.6	6.9	10.3	-	1.7
70歳以上	91	98.9	8.8	6.6	-	-
女性／18・19歳	2	100.0	50.0	-	-	-
20歳代	29	93.1	10.3	3.4	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	31	93.5	12.9	3.2	-	-
30歳代	36	97.2	11.1	8.3	-	-
40歳代	68	95.6	14.7	2.9	-	-
50歳代	113	95.6	7.1	8.0	-	0.9
60歳代	78	98.7	10.3	7.7	-	-
70歳以上	163	93.9	12.9	3.7	-	1.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	66	98.5	15.2	10.6	-	-
雇用者（計）	387	95.1	10.3	7.2	0.3	0.3
無職（計）	341	95.6	10.9	6.2	-	1.2
ライフステージ別						
独身期	67	95.5	14.9	4.5	-	-
家族形成期	38	94.7	13.2	7.9	-	-
家族成長前期	48	95.8	8.3	8.3	-	-
家族成長後期	53	96.2	9.4	5.7	-	-
家族成熟期	129	96.9	9.3	5.4	0.8	0.8
高齢期	253	98.0	8.3	4.3	-	0.8
その他	221	91.4	14.5	11.8	-	0.9

(13-3) 話し合った内容の医療・介護従事者との共有状況

◇「共有している」が18.3%、「共有していない」が78.5%

(問13(2)－2で「1. 家族・親族」または「2. 友人・知人」とお答えの方にお伺いします。)

問13(2)－3 話し合った内容を、医療・介護従事者と共有していますか。(○は1つだけ)



話し合った内容の医療・介護従事者との共有状況は、「共有している」(18.3%)が2割弱となっており、「共有していない」(78.5%)を60.2ポイント下回っている。

【属性別比較】

※下記の話し合った相手の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

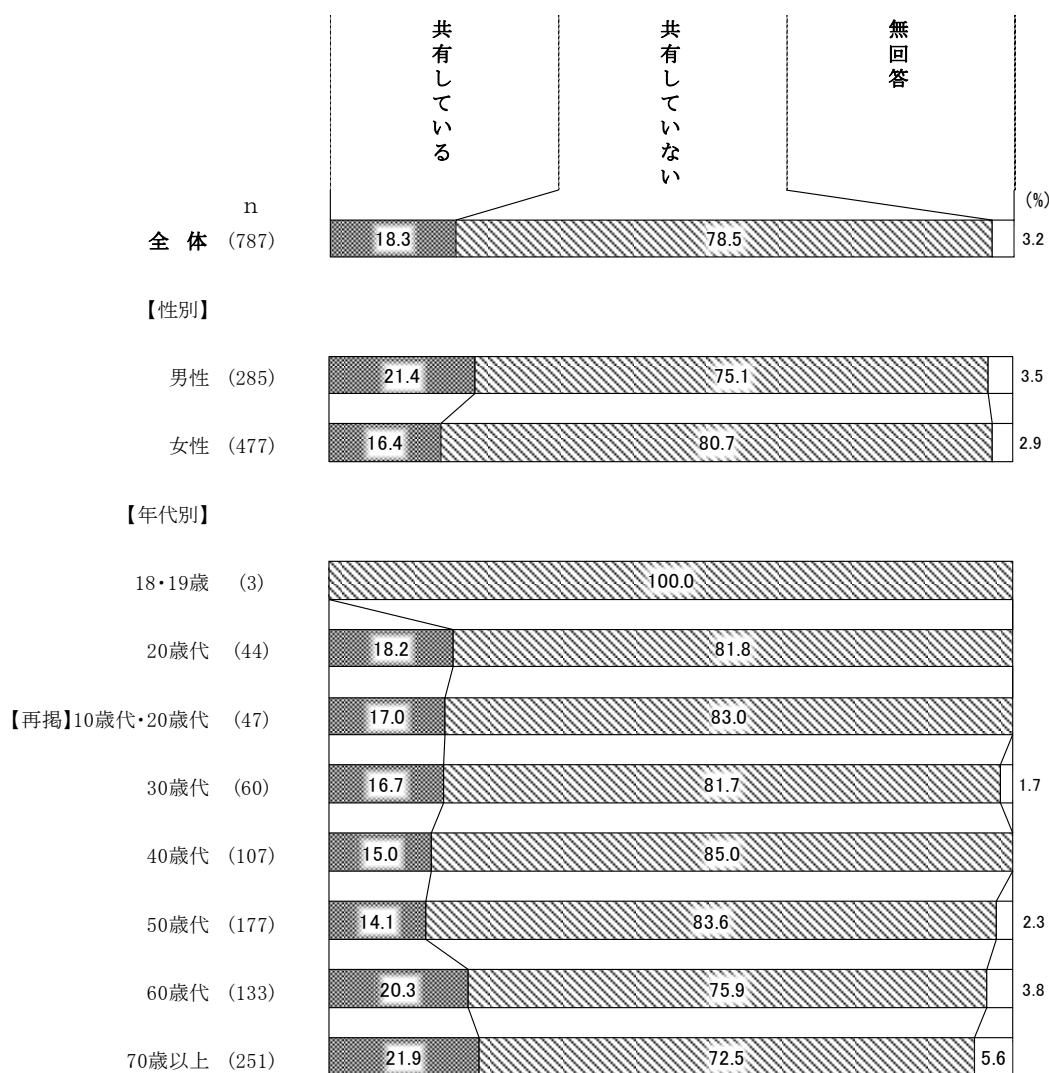
① 性別

「共有している」は男性（21.4%）の方が女性（16.4%）よりも5.0ポイント高くなっている。

② 年代別

「共有している」は70歳以上（21.9%）で2割強と最も高く、50歳代（14.1%）で最も低くなっている。

○話し合った内容の医療・介護従事者との共有状況・性別／年代別



③ 地域別

「共有している」は東部地域（25.0％）で2割台半ばと最も高く、北部地域（2.6％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「共有している」は男性70歳以上（26.7％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「共有している」は無職（計）（21.8％）と自営業・家族従業（計）（21.2％）で雇用者（計）（14.4％）と比べて高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「共有している」はその他（21.7％）と高齢期（21.3％）で2割強と高くなっている。

○話し合った内容の医療・介護従事者との共有状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

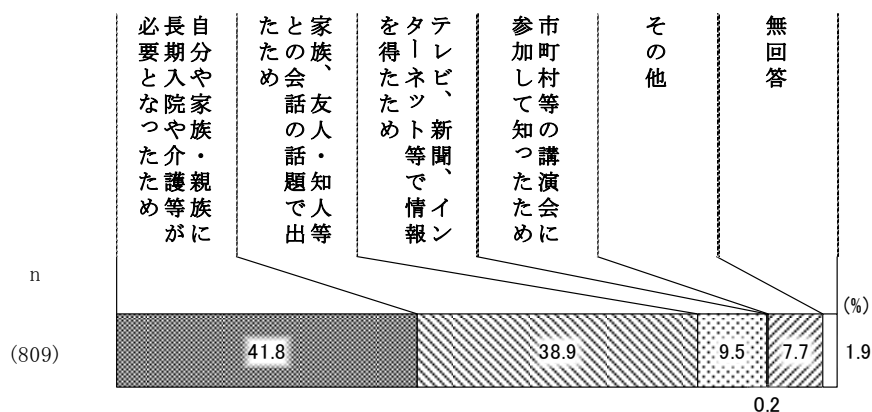
	調査数 n	共有している	共有していない	(%) 無回答
全 体	787	18.3	78.5	3.2
地域別				
南部地域	68	8.8	88.2	2.9
南西部地域	71	22.5	74.6	2.8
東部地域	120	25.0	70.0	5.0
さいたま地域	151	19.2	78.8	2.0
県央地域	64	18.8	78.1	3.1
川越比企地域	97	19.6	76.3	4.1
西部地域	91	16.5	82.4	1.1
利根地域	63	19.0	77.8	3.2
北部地域	39	2.6	92.3	5.1
秩父地域	11	9.1	90.9	-
性・年代別				
男性／18・19歳	1	-	100.0	-
20歳代	16	25.0	75.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	17	23.5	76.5	-
30歳代	21	19.0	81.0	-
40歳代	38	15.8	84.2	-
50歳代	63	17.5	81.0	1.6
60歳代	56	21.4	71.4	7.1
70歳以上	90	26.7	67.8	5.6
女性／18・19歳	2	-	100.0	-
20歳代	28	14.3	85.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	30	13.3	86.7	-
30歳代	35	17.1	80.0	2.9
40歳代	67	14.9	85.1	-
50歳代	109	11.9	85.3	2.8
60歳代	77	19.5	79.2	1.3
70歳以上	159	18.9	75.5	5.7
職業別				
自営業・家族従業（計）	66	21.2	75.8	3.0
雇用者（計）	376	14.4	84.0	1.6
無職（計）	331	21.8	73.4	4.8
ライフステージ別				
独身期	66	19.7	80.3	-
家族形成期	37	16.2	83.8	-
家族成長前期	46	10.9	89.1	-
家族成長後期	51	9.8	88.2	2.0
家族成熟期	126	12.7	84.1	3.2
高齢期	249	21.3	75.1	3.6
その他	212	21.7	73.1	5.2

(13-4) 話し合ったきっかけ

◇「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」が41.8%

(問13(2)-1で「1. 一応話し合ったことがある」または「2. 詳しく話し合ったことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問13(2)-4 話し合ったきっかけは何ですか。(○は1つだけ)



話し合ったきっかけは、「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」(41.8%) が4割強と最も高く、次いで「家族、友人・知人等との会話の話題で出たため」(38.9%)、「テレビ、新聞、インターネット等で情報を得たため」(9.5%) などとなっている。

【属性別比較】

※下記の話し合った相手の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

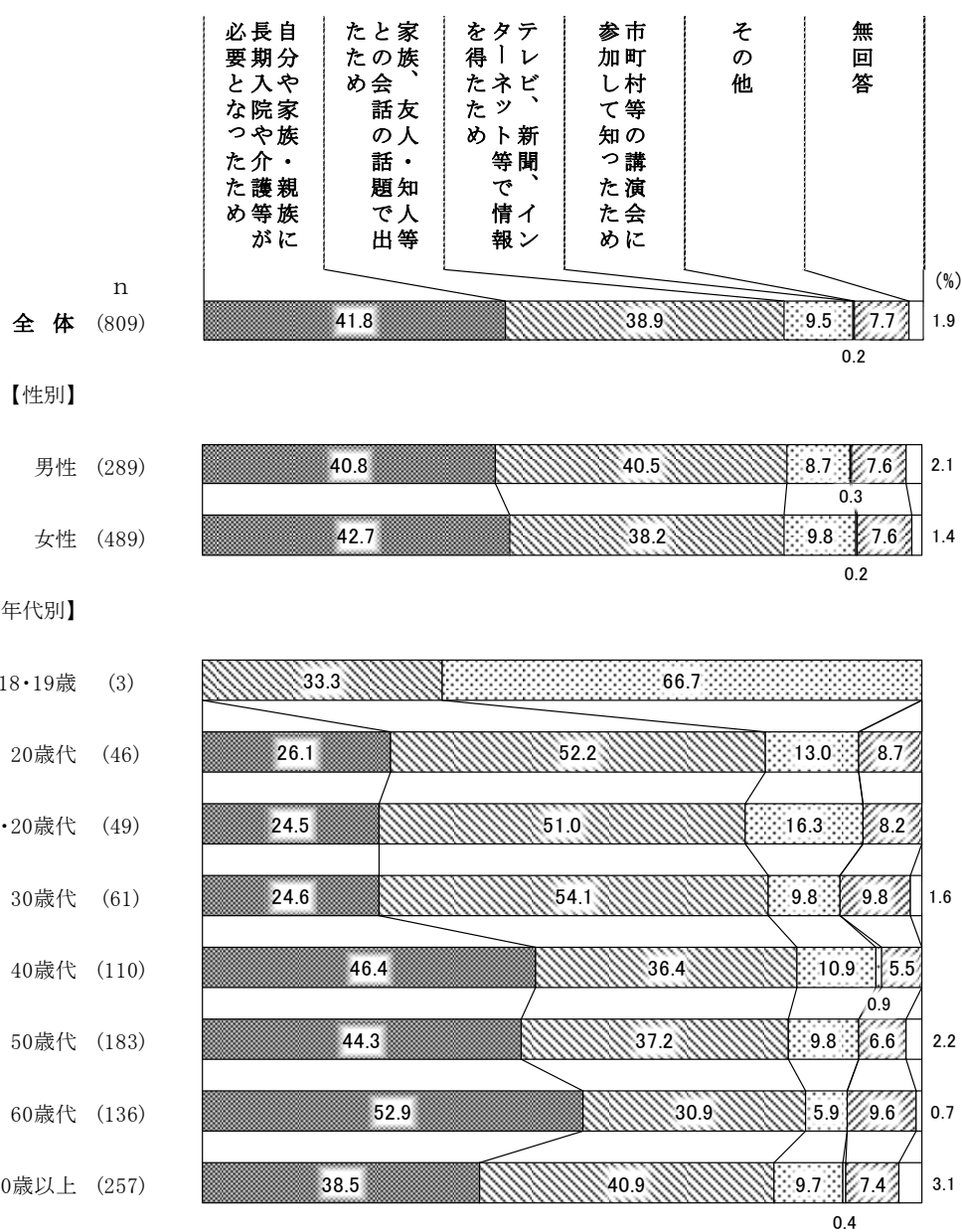
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」は60歳代（52.9%）で5割強と最も高く、10歳代・20歳代（24.5%）で最も低くなっている。

○話し合ったきっかけ・性別／年代別



③ 地域別

「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」は西部地域（47.8％）で4割台半ばを超えて最も高く、川越比企地域（30.6％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」は女性60歳代（57.7％）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」は自営業・家族従業（計）（43.9％）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため」はその他（48.9％）で5割弱と最も高くなっている。

○話し合ったきっかけ・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

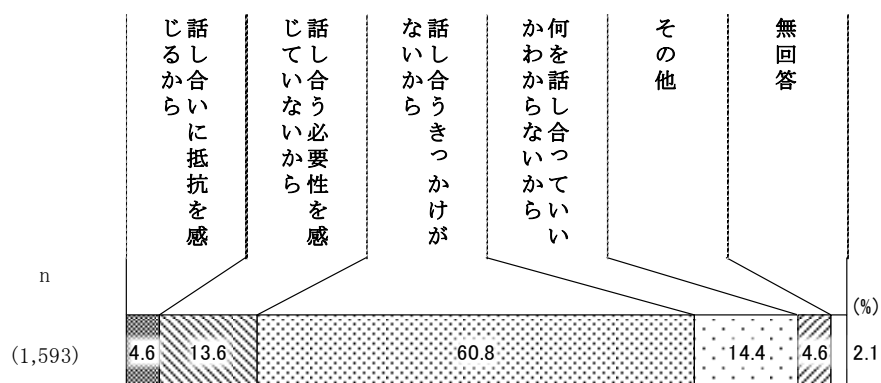
	調査数 n	自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため	家族・友人・知人などの話し合いのため	テレビ・ネット等での情報を得たため	市町村等の講演会に参加したため	その他	無回答
全 体	809	41.8	38.9	9.5	0.2	7.7	1.9
地域別							
南部地域	71	42.3	33.8	9.9	-	11.3	2.8
南西部地域	72	44.4	37.5	11.1	-	6.9	-
東部地域	125	40.8	43.2	8.8	-	6.4	0.8
さいたま地域	155	44.5	36.8	7.7	-	7.7	3.2
県央地域	66	45.5	36.4	9.1	-	9.1	-
川越比企地域	98	30.6	43.9	13.3	1.0	9.2	2.0
西部地域	92	47.8	33.7	5.4	-	10.9	2.2
利根地域	65	41.5	41.5	13.8	-	1.5	1.5
北部地域	41	36.6	46.3	12.2	-	2.4	2.4
秩父地域	11	18.2	54.5	9.1	9.1	9.1	-
性・年代別							
男性／18・19歳	1	-	-	100.0	-	-	-
20歳代	16	43.8	50.0	6.3	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	17	41.2	47.1	11.8	-	-	-
30歳代	21	14.3	57.1	14.3	-	14.3	-
40歳代	39	46.2	35.9	5.1	2.6	10.3	-
50歳代	63	41.3	39.7	12.7	-	4.8	1.6
60歳代	58	46.6	37.9	6.9	-	6.9	1.7
70歳以上	91	40.7	39.6	6.6	-	8.8	4.4
女性／18・19歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-
20歳代	29	17.2	55.2	13.8	-	13.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	31	16.1	54.8	16.1	-	12.9	-
30歳代	36	33.3	50.0	5.6	-	8.3	2.8
40歳代	68	48.5	35.3	13.2	-	2.9	-
50歳代	113	46.9	35.4	8.0	-	8.0	1.8
60歳代	78	57.7	25.6	5.1	-	11.5	-
70歳以上	163	37.4	41.7	11.7	0.6	6.1	2.5
職業別							
自営業・家族従業（計）	66	43.9	37.9	7.6	1.5	7.6	1.5
雇用者（計）	387	41.3	41.1	9.6	-	7.0	1.0
無職（計）	341	40.8	37.8	10.0	0.3	8.5	2.6
ライフステージ別							
独身期	67	25.4	44.8	14.9	-	13.4	1.5
家族形成期	38	28.9	57.9	10.5	-	2.6	-
家族成長前期	48	43.8	41.7	10.4	2.1	2.1	-
家族成長後期	53	37.7	34.0	13.2	-	15.1	-
家族成熟期	129	41.1	41.1	9.3	-	6.2	2.3
高齢期	253	42.7	39.1	7.5	0.4	9.1	1.2
その他	221	48.9	33.0	9.0	-	5.4	3.6

(13-5) 話し合ったことがない理由

◇「話し合うきっかけがないから」が60.8%

(問13(2)-1で「3. 話し合ったことがない」とお答えの方にお伺いします。)

問13(2)-5 話し合ったことがない理由は何ですか。(〇は1つだけ)



話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがないから」(60.8) が6割を超えて最も高く、次いで「何を話し合ってもいいかわからないから」(14.4%)、「話し合う必要性を感じていないから」(13.6%) などとなっている。

【属性別比較】

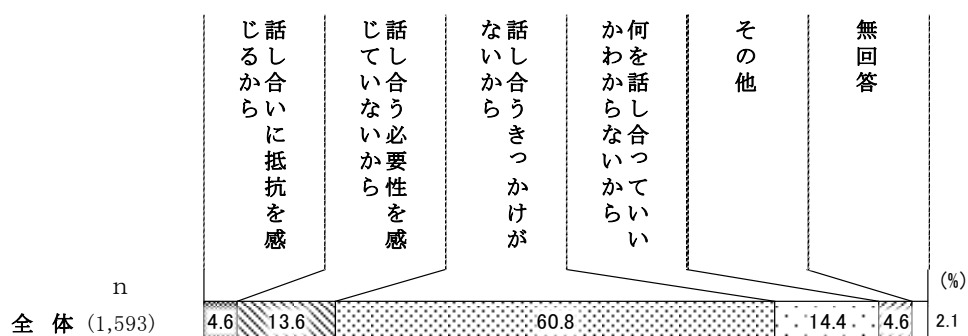
① 性別

「話し合うきっかけがないから」は女性（67.4%）の方が男性（54.2%）よりも13.2ポイント高くなっている。

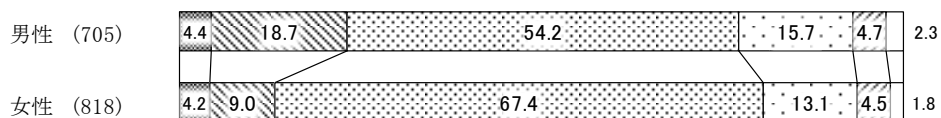
② 年代別

「話し合うきっかけがないから」は10歳代・20歳代（66.0%）で6割台半ばを超えて最も高く、70歳以上（51.9%）で最も低くなっている。

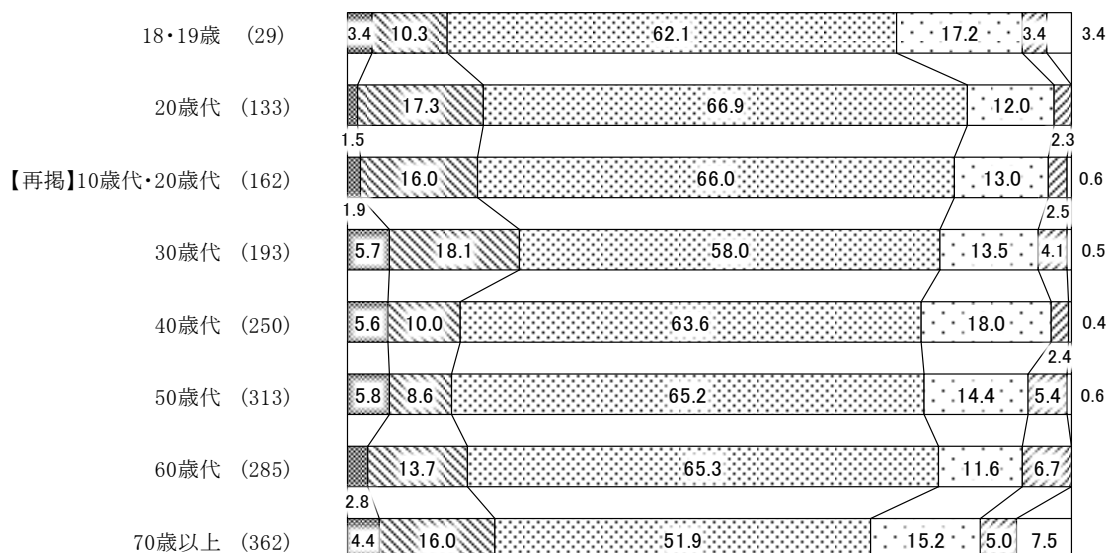
○話し合ったことがない理由・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

「話し合うきっかけがないから」は西部地域（67.6%）で6割台半ばを超えて最も高く、利根地域（54.7%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「話し合うきっかけがないから」は女性60歳代（71.6%）で7割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「話し合うきっかけがないから」は自営業・家族従業（計）（65.8%）で6割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「話し合うきっかけがないから」は家族成長後期（69.0%）で約7割と最も高くなっている。

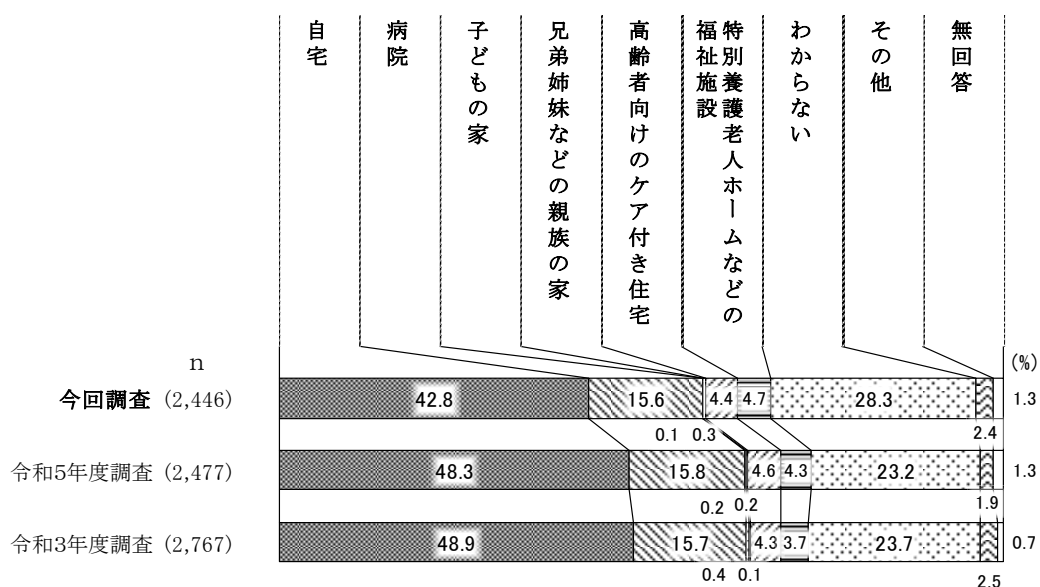
○話し合ったことがない理由・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	話し合いに抵抗を感じ るから	話し合いから必要性を感じ ないから	話し合うきっかけがな いから	何を話し合っていないか から	その他	無回答
全 体	1,593	4.6	13.6	60.8	14.4	4.6	2.1
地域別							
南部地域	172	5.2	14.5	55.2	15.1	7.6	2.3
南西部地域	145	4.1	15.9	60.7	15.9	2.8	0.7
東部地域	231	5.6	9.1	64.5	13.9	4.3	2.6
さいたま地域	285	4.9	14.7	57.5	15.8	6.0	1.1
県央地域	112	3.6	14.3	65.2	8.9	4.5	3.6
川越比企地域	149	4.7	10.7	63.1	14.8	4.0	2.7
西部地域	176	4.5	11.9	67.6	10.2	4.0	1.7
利根地域	148	4.1	15.5	54.7	18.9	4.1	2.7
北部地域	123	2.4	17.9	63.4	11.4	2.4	2.4
秩父地域	21	—	4.8	52.4	33.3	4.8	4.8
性・年代別							
男性／18・19歳	8	—	25.0	50.0	25.0	—	—
20歳代	61	3.3	21.3	63.9	9.8	1.6	—
【再掲】10歳代・20歳代	69	2.9	21.7	62.3	11.6	1.4	—
30歳代	86	8.1	19.8	54.7	12.8	4.7	—
40歳代	101	5.0	13.9	55.4	23.8	2.0	—
50歳代	138	3.6	15.2	58.0	17.4	5.1	0.7
60歳代	126	2.4	20.6	57.9	12.7	6.3	—
70歳以上	185	4.9	21.1	44.9	15.1	5.9	8.1
女性／18・19歳	21	4.8	4.8	66.7	14.3	4.8	4.8
20歳代	70	—	14.3	68.6	14.3	2.9	—
【再掲】10歳代・20歳代	91	1.1	12.1	68.1	14.3	3.3	1.1
30歳代	99	4.0	16.2	62.6	13.1	3.0	1.0
40歳代	139	5.8	6.5	69.8	14.4	2.9	0.7
50歳代	166	6.6	3.6	71.1	12.0	6.0	0.6
60歳代	155	3.2	8.4	71.6	10.3	6.5	—
70歳以上	168	3.0	11.3	60.1	14.9	4.2	6.5
職業別							
自営業・家族従業（計）	114	0.9	17.5	65.8	11.4	1.8	2.6
雇用者（計）	898	4.8	13.8	61.2	14.6	5.0	0.6
無職（計）	543	4.8	12.2	59.7	14.5	4.6	4.2
ライフステージ別							
独身期	212	5.7	17.0	62.3	12.3	2.4	0.5
家族形成期	111	0.9	16.2	61.3	16.2	5.4	—
家族成長前期	157	2.5	11.5	68.2	14.0	2.5	1.3
家族成長後期	113	4.4	11.5	69.0	12.4	2.7	—
家族成熟期	239	3.8	14.6	63.2	13.8	3.8	0.8
高齢期	345	3.8	15.1	60.6	12.5	4.1	4.1
その他	416	7.0	10.6	53.6	17.5	7.7	3.6

（１４）人生の最期を迎えたい場所

◇「自宅」が42.8%

問13（３） あなたが人生の最期を迎えたい場所はどこですか。（○は1つだけ）



人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」（42.8％）が4割強と最も高く、次いで「病院」（15.6％）が1割台半ば、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（4.7％）などとなっている。一方で、「わからない」（28.3％）が3割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「自宅」（42.8％）が5.5ポイント減少している。

【属性別比較】

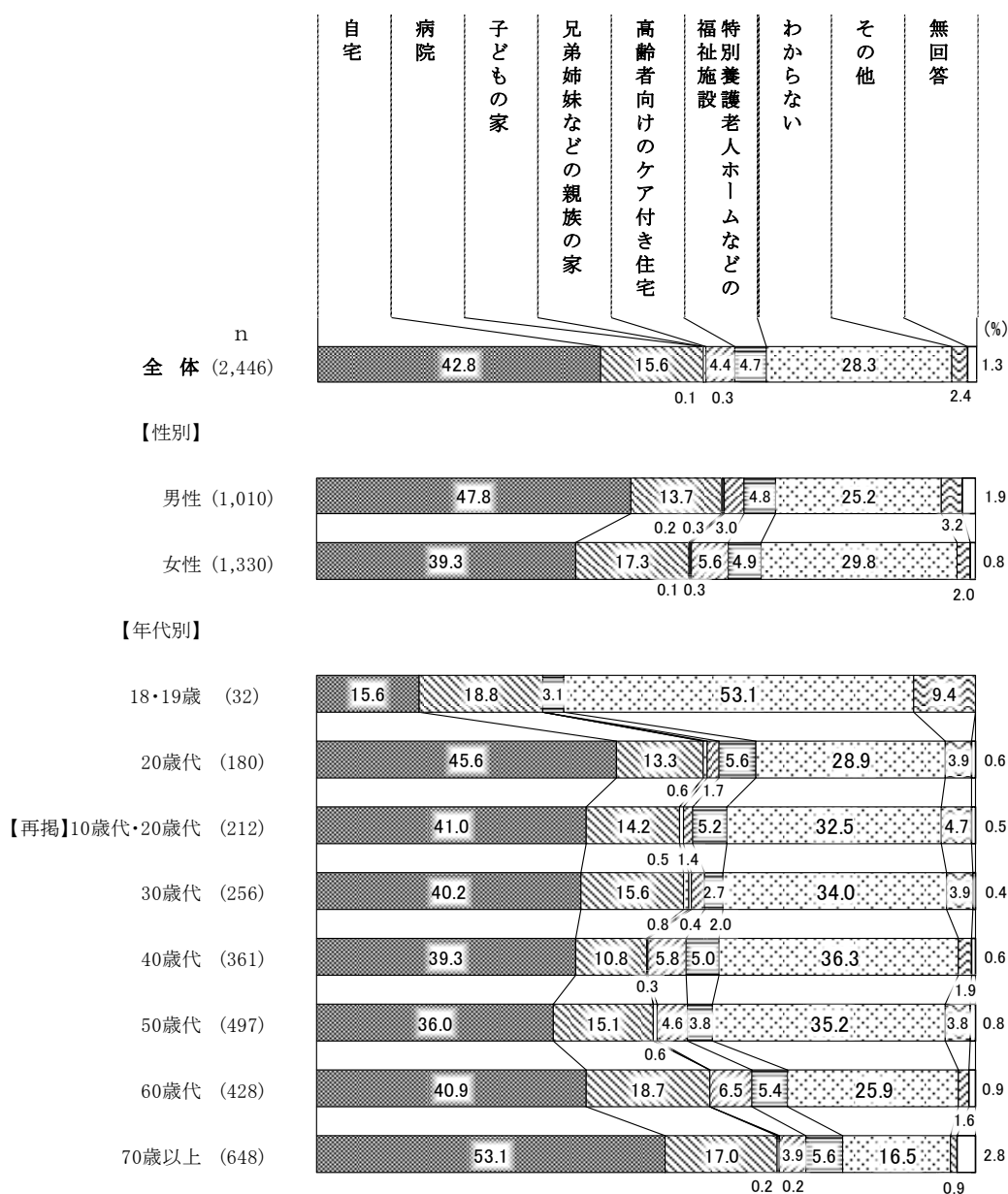
① 性別

「自宅」は男性（47.8%）の方が女性（39.3%）よりも8.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「自宅」は70歳以上（53.1%）で5割強と最も高く、50歳代（36.0%）で最も低くなっている。

○人生の最期を迎えたい場所・性別／年代別



③ 地域別

「自宅」は県央地域（51.9％）で5割強と最も高く、南西部地域（36.2％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「自宅」は男性70歳以上（53.1％）で5割強と最も高く、女性50歳代（31.1％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「自宅」は無職（計）（44.9％）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「自宅」は高齢期（48.6％）で5割弱と最も高くなっている。

○人生の最期を迎えたい場所・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

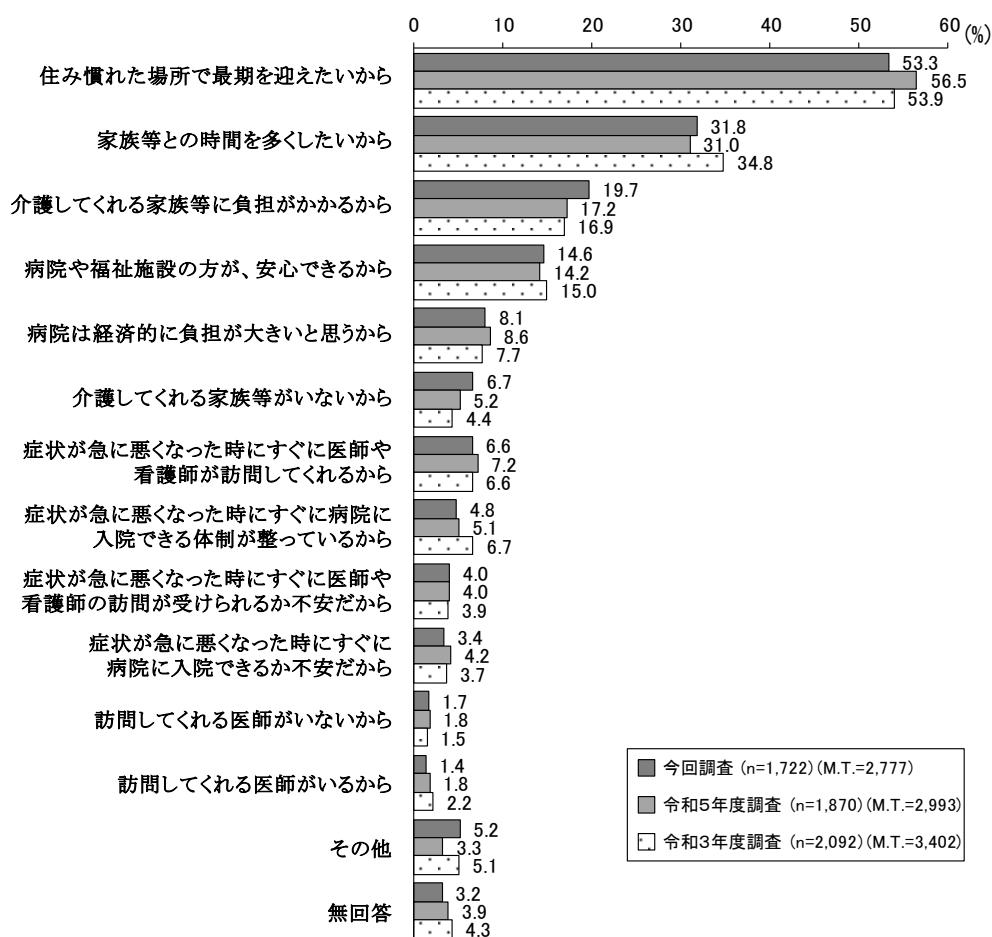
	調査数 n	自宅	病院	子どもの家	の兄弟姉妹などの親族	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホームなどの福祉施設	わからない	その他	無回答
全体	2,446	42.8	15.6	0.1	0.3	4.4	4.7	28.3	2.4	1.3
地域別										
南部地域	245	38.4	12.7	0.4	－	5.3	4.5	33.9	4.1	0.8
南西部地域	224	36.2	18.8	－	0.4	7.1	2.7	29.9	3.6	1.3
東部地域	363	38.3	17.6	－	0.3	5.2	5.0	28.7	2.8	2.2
さいたま地域	447	43.2	17.4	0.2	0.4	3.8	5.6	26.8	1.8	0.7
県央地域	181	51.9	14.9	－	－	1.7	3.9	26.0	0.6	1.1
川越比企地域	253	41.1	17.8	－	－	3.6	5.9	26.9	2.8	2.0
西部地域	271	49.1	12.9	0.4	0.4	3.7	3.7	25.8	3.0	1.1
利根地域	217	47.9	12.0	－	0.9	4.6	4.1	26.7	1.8	1.8
北部地域	166	43.4	13.3	－	－	4.2	6.6	30.1	1.8	0.6
秩父地域	32	43.8	12.5	－	－	3.1	6.3	34.4	－	－
性・年代別										
男性／18・19歳	9	22.2	22.2	－	－	－	－	44.4	11.1	－
20歳代	78	42.3	11.5	－	－	1.3	5.1	32.1	6.4	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	40.2	12.6	－	－	1.1	4.6	33.3	6.9	1.1
30歳代	109	44.0	11.0	0.9	0.9	1.8	1.8	33.9	4.6	0.9
40歳代	140	47.9	7.1	－	－	2.1	6.4	32.1	2.9	1.4
50歳代	201	43.3	14.9	－	0.5	2.5	4.5	27.9	5.0	1.5
60歳代	187	50.3	15.0	－	－	5.3	4.3	21.4	2.1	1.6
70歳以上	286	53.1	16.4	0.3	0.3	3.1	5.6	16.8	1.0	3.1
女性／18・19歳	23	13.0	17.4	－	－	－	4.3	56.5	8.7	－
20歳代	99	47.5	15.2	－	1.0	2.0	6.1	26.3	2.0	－
【再掲】10歳代・20歳代	122	41.0	15.6	－	0.8	1.6	5.7	32.0	3.3	－
30歳代	135	38.5	18.5	0.7	－	2.2	3.7	32.6	3.7	－
40歳代	208	35.6	13.5	－	0.5	8.7	4.3	36.5	1.0	－
50歳代	280	31.1	15.7	－	0.7	6.4	3.6	38.9	3.2	0.4
60歳代	236	33.9	21.6	－	－	7.6	6.4	29.2	1.3	－
70歳以上	349	51.6	18.1	－	－	4.6	5.4	16.9	0.9	2.6
職業別										
自営業・家族従業（計）	183	42.6	12.0	－	－	6.0	6.6	29.0	3.3	0.5
雇用者（計）	1,293	41.5	14.0	0.2	0.5	5.0	4.8	30.5	2.9	0.7
無職（計）	909	44.9	18.6	0.1	0.1	3.2	4.4	25.0	1.7	2.1
ライフステージ別										
独身期	280	37.5	15.0	0.4	－	2.5	5.4	34.3	5.0	－
家族形成期	151	44.4	13.9	－	1.3	2.0	2.6	30.5	4.6	0.7
家族成長前期	205	42.0	13.2	0.5	0.5	3.9	3.4	35.1	1.0	0.5
家族成長後期	166	41.6	15.7	－	－	3.0	1.8	35.5	2.4	－
家族成熟期	373	42.4	18.0	0.3	－	2.7	5.4	28.7	1.9	0.8
高齢期	611	48.6	19.8	－	－	4.6	5.7	18.3	1.0	2.0
その他	660	40.3	11.7	－	0.6	7.1	4.8	30.2	2.9	2.4

(15) 人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由

◇「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が53.3%

問13(4) (3)について、その場所を選んだ理由は何ですか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

<全体>



人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」(53.3%)が5割強と最も高く、次いで「家族等との時間を多くしたいから」(31.8%)、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」(19.7%)、「病院や福祉施設の方が、安心できるから」(14.6%)などとなっている。

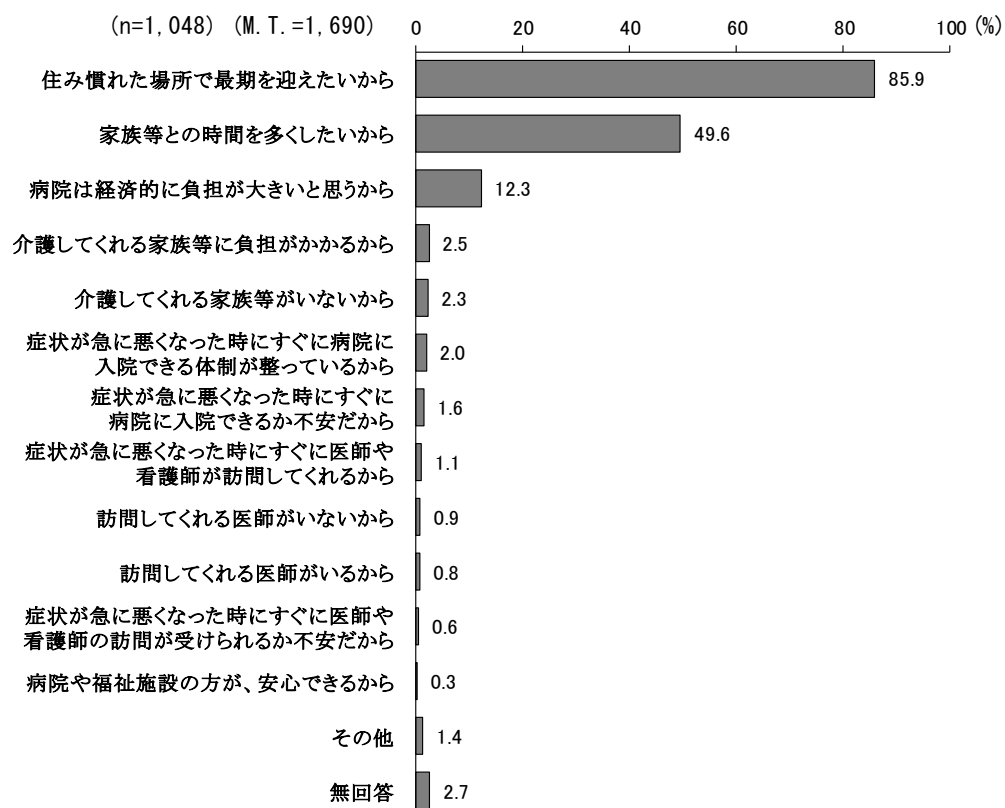
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答割合では特に大きな差はみられない。

※本設問は、実際には、問13(3)で回答いただいた場所について、その場所を選ばれた理由を伺っている。したがって、回答割合の多かった「自宅」、「病院」、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」の3つのそれぞれの場所ごとに選ばれた理由を次ページ以降にまとめた。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

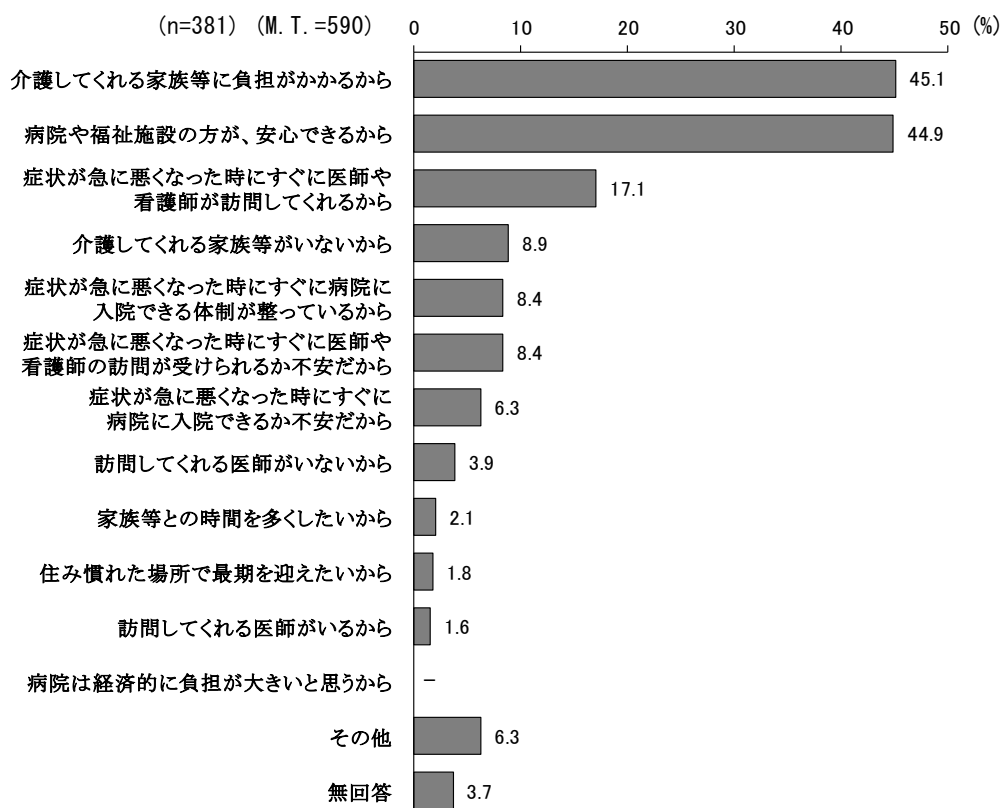
① 自宅



人生の最期を迎えたい場所として「自宅」を選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」(85.9%) が8割台半ばと最も高く、次いで「家族等との時間を多くしたいから」(49.6%)、「病院は経済的に負担が大きいと思うから」(12.3%) などとなっている。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

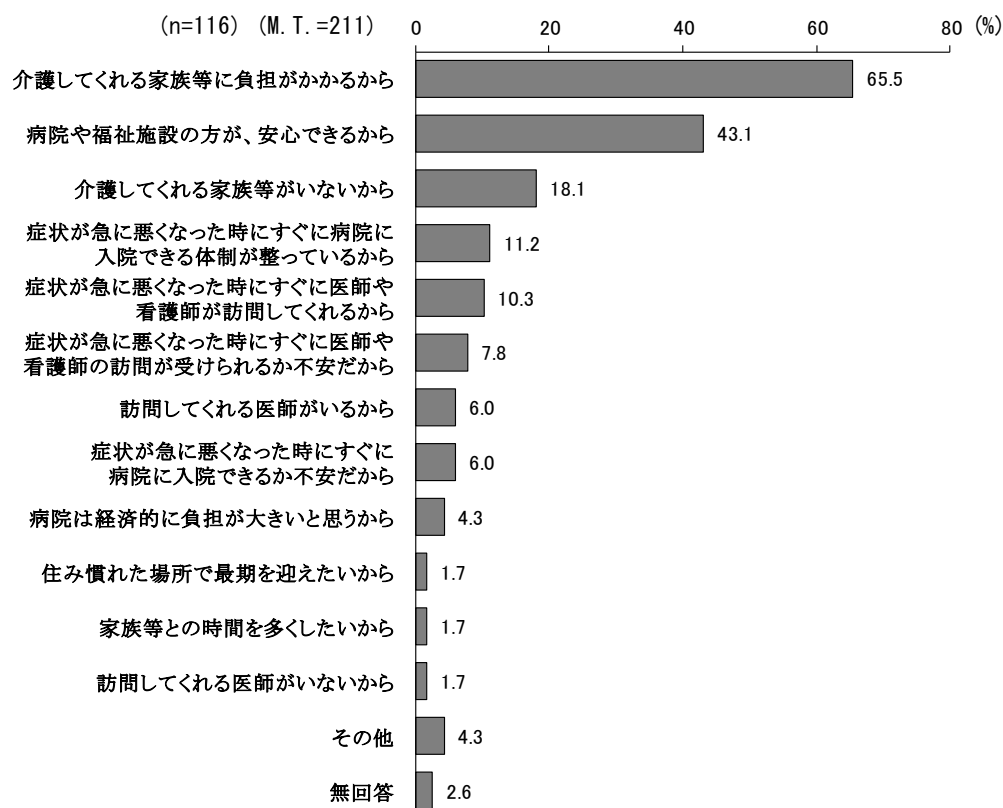
② 病院



人生の最期を迎えたい場所として「病院」を選んだ理由は、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」(45.1%) が4割台半ばと最も高く、次いで「病院や福祉施設の方が、安心できるから」(44.9%)、「症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから」(17.1%) などとなっている。

○人生の最期を迎えたい場所として選んだ理由・人生の最期を迎えたい場所別

③ 特別養護老人ホームなどの福祉施設



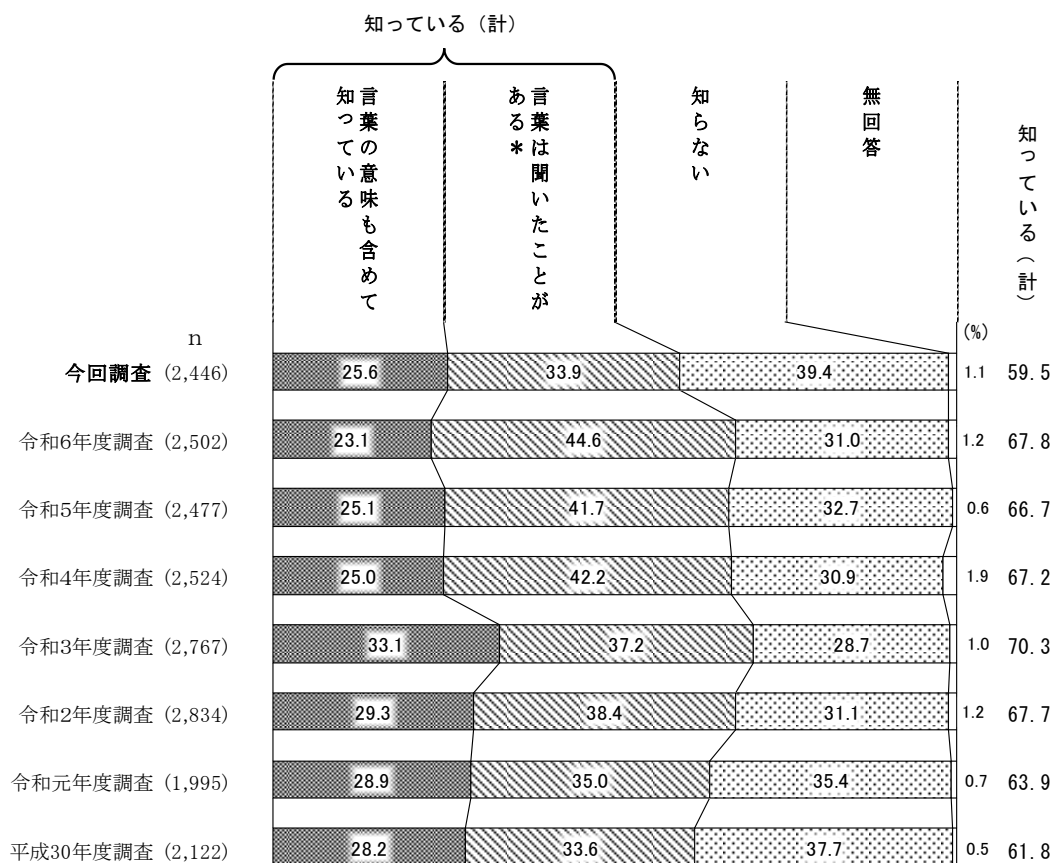
人生の最期を迎えたい場所として「特別養護老人ホームなどの福祉施設」を選んだ理由は、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」（65.5%）が6割台半ばと最も高く、次いで「病院や福祉施設の方が、安心できるから」（43.1%）、「介護してくれる家族等がないから」（18.1%）、「症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから」（11.2%）などとなっている。

(16) 生物多様性の認知度

◇『知っている（計）』が59.5%

問14 現在、「生物多様性」の保全という、地球上の様々な生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の外来生物により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意
*令和3年度調査までは「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」

「生物多様性」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがある」（33.9%）と「言葉の意味も含めて知っている」（25.6%）を合わせた『知っている（計）』（59.5%）は約6割となっている。一方で、「知らない」（39.4%）は約4割となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、『知っている（計）』（59.5%）が8.3ポイント減少している。

【属性別比較】

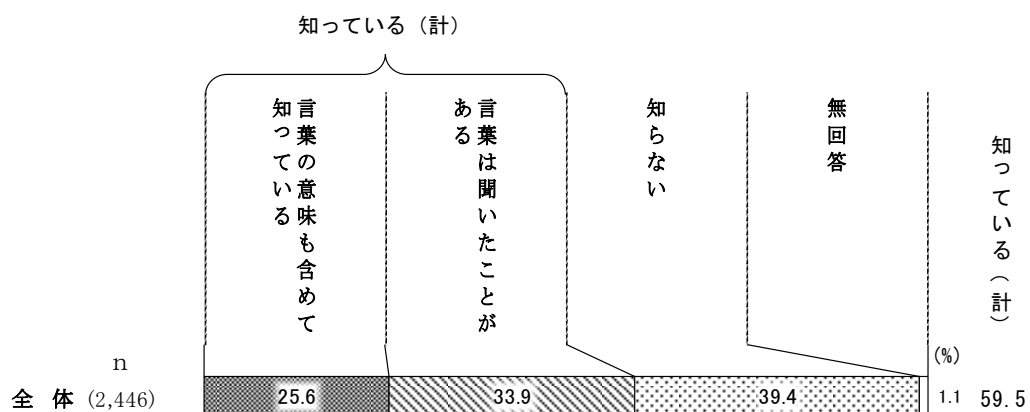
① 性別

『知っている（計）』は男性（65.0％）の方が女性（56.2％）よりも8.8ポイント高くなっている。

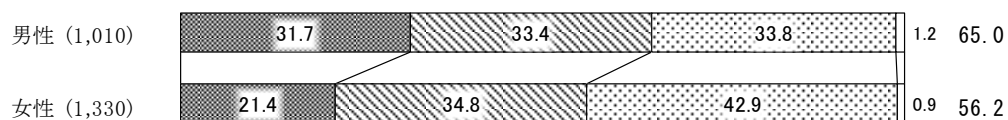
② 年代別

『知っている（計）』は10歳代・20歳代（69.3％）で約7割と最も高くなっている。「知らない」は50歳代（46.9％）で最も高くなっている。

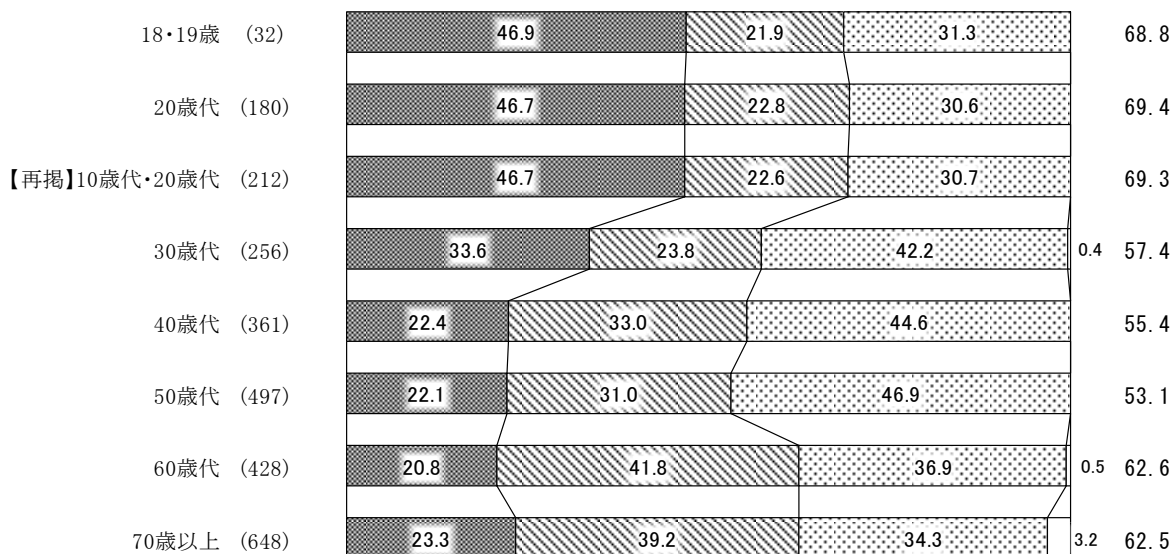
○生物多様性の認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『知っている（計）』は、県央地域（65.2％）で6割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は、男性10歳代・20歳代（72.4％）で7割強と最も高く、女性50歳代（48.2％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

職業別では特に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は独身期（66.1％）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

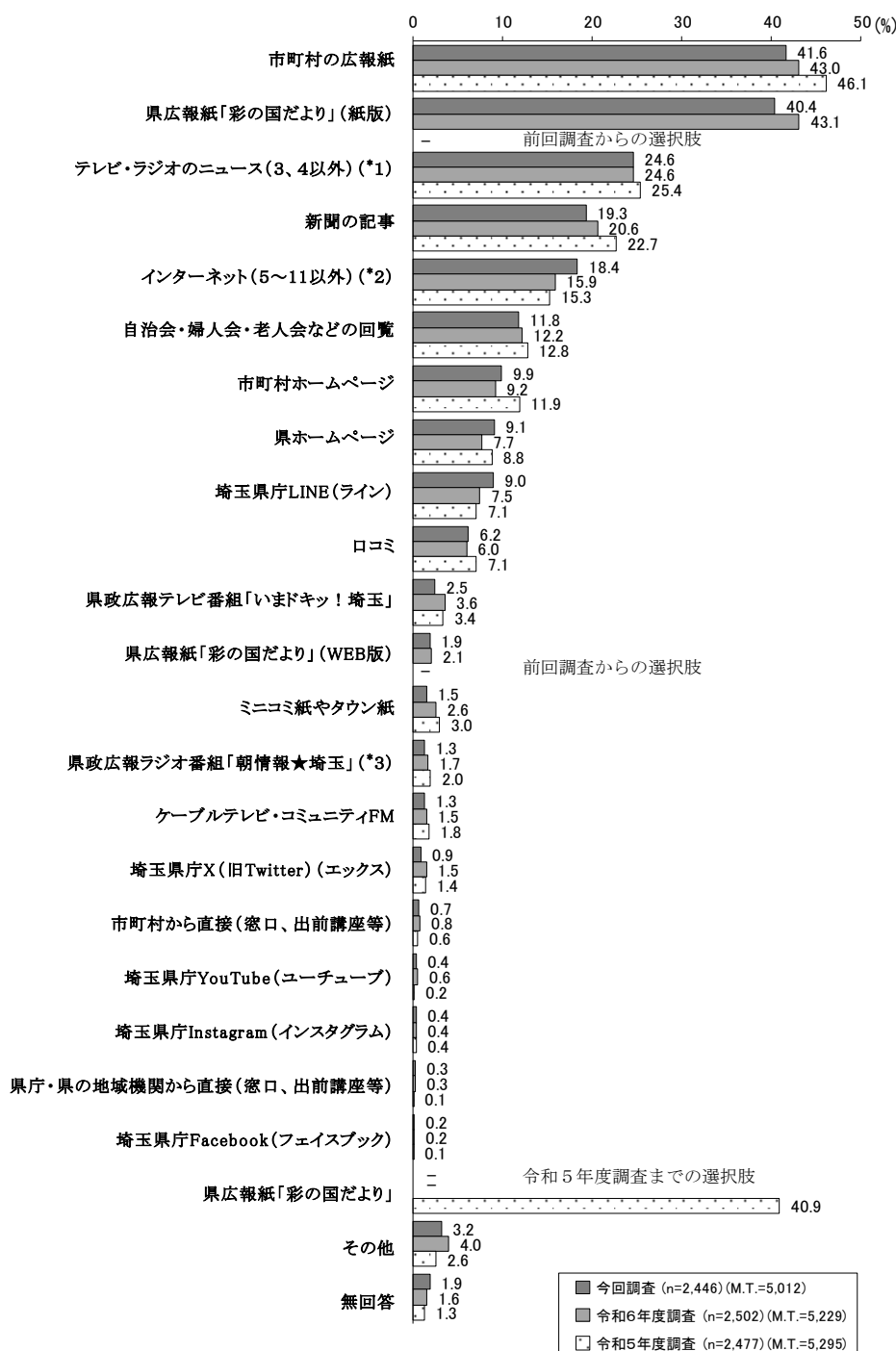
○生物多様性の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知っている 言葉の意味も 含めて	言葉は聞いた ことがある	知らない	無回答	(%) 知っている (計)
全 体	2,446	25.6	33.9	39.4	1.1	59.5
地域別						
南部地域	245	24.5	31.4	42.9	1.2	55.9
南西部地域	224	26.8	32.1	39.7	1.3	58.9
東部地域	363	23.4	35.0	39.9	1.7	58.4
さいたま地域	447	27.5	34.2	37.6	0.7	61.7
県央地域	181	29.8	35.4	34.3	0.6	65.2
川越比企地域	253	23.7	36.8	37.9	1.6	60.5
西部地域	271	27.7	35.1	36.5	0.7	62.7
利根地域	217	22.6	35.9	40.1	1.4	58.5
北部地域	166	21.7	28.3	50.0	-	50.0
秩父地域	32	34.4	25.0	40.6	-	59.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	33.3	22.2	-	77.8
20歳代	78	55.1	16.7	28.2	-	71.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	54.0	18.4	27.6	-	72.4
30歳代	109	42.2	24.8	32.1	0.9	67.0
40歳代	140	34.3	31.4	34.3	-	65.7
50歳代	201	28.4	32.8	38.8	-	61.2
60歳代	187	24.1	40.1	35.3	0.5	64.2
70歳以上	286	26.9	38.1	31.5	3.5	65.0
女性／18・19歳	23	47.8	17.4	34.8	-	65.2
20歳代	99	39.4	28.3	32.3	-	67.7
【再掲】10歳代・20歳代	122	41.0	26.2	32.8	-	67.2
30歳代	135	25.9	23.7	50.4	-	49.6
40歳代	208	15.9	34.6	49.5	-	50.5
50歳代	280	18.2	30.0	51.8	-	48.2
60歳代	236	18.6	43.2	37.7	0.4	61.9
70歳以上	349	20.3	40.4	36.1	3.2	60.7
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	27.9	32.2	39.9	-	60.1
雇用者（計）	1,293	27.1	31.7	40.9	0.3	58.8
無職（計）	909	23.3	37.4	37.3	2.0	60.7
ライフステージ別						
独身期	280	42.5	23.6	33.9	-	66.1
家族形成期	151	35.1	23.8	40.4	0.7	58.9
家族成長前期	205	23.9	33.2	42.9	-	57.1
家族成長後期	166	21.7	28.3	50.0	-	50.0
家族成熟期	373	17.2	34.0	47.7	1.1	51.2
高齢期	611	23.4	41.7	33.4	1.5	65.1
その他	660	24.4	35.0	38.5	2.1	59.4

(17) 埼玉県に関する情報の入手先

◇「市町村の広報紙」が41.6%

問15 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



- *1 テレビ・ラジオのニュース(3、4以外)は、「3. 県政広報テレビ番組『いまドキッ! 埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝 8:30～9:00)」、「4. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月～金曜朝 8:15～8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。
- *2 インターネット(5～11以外)は、「5. 県ホームページ」、「6. 埼玉県庁LINE(ライン)」、「7. 埼玉県庁X(旧Twitter)(エックス)」、「8. 埼玉県庁Facebook(フェイスブック)」、「9. 埼玉県庁YouTube(ユーチューブ)」、「10. 埼玉県庁Instagram(インスタグラム)」、「11. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。
- *3 番組変更に伴い、令和2年度から「県政広報ラジオ番組『FM NACK5 モーニングスクエア』」を「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」へ変更した

埼玉県に関する情報の入手先は、「市町村の広報紙」（41.6％）が4割強と最も高く、次いで「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」（40.4％）、「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」（24.6％）、「新聞の記事」（19.3％）、「インターネット（5～11以外）」（18.4％）、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」（11.8％）、「市町村ホームページ」（9.9％）などとなっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「市町村の広報紙」は秩父地域（50.0％）で5割と最も高くなっている。「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」はさいたま地域（54.8％）で5割台半ばと最も高く、「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」は利根地域（28.1％）で3割弱と最も高くなっている。

② 性別

「市町村の広報紙」は女性（45.3％）の方が男性（36.9％）よりも8.4ポイント高くなっている。一方で、「インターネット（5～11以外）」は男性（23.0％）の方が女性（15.3％）よりも7.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」は年代が上がるにつれ割合が高くなっており、70歳以上（57.6％・58.3％）で最も高くなっている。「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」は60歳代（29.2％）で約3割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」は女性70歳以上（58.7％・59.3％）で最も高くなっている。「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」は男性50歳代（30.3％）で3割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」は無職（計）（48.4％・50.4％）が最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」は高齢期（56.8％・60.9％）で最も高くなっている。「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」は家族成熟期（29.0％）で約3割と最も高くなっている。

【属性内比較】

独身期は「インターネット（5～11以外）」（37.9％）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」（25.4％）が2割台半ばとなっている。家族形成期は「埼玉県庁 LINE（ライン）」（33.1％）が最も高く、次いで「市町村の広報紙」（30.5％）となっている。家族成長前期は「市町村の広報紙」（38.0％）が最も高く、次いで「埼玉県庁 LINE（ライン）」（37.1％）となっている。家族成長後期、家族成熟期と高齢期は「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」（35.5％・45.3％・60.9％）が最も高く、次いで「市町村の広報紙」（34.9％・43.4％・56.8％）となっている。

○埼玉県に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別 ／ライフステージ別

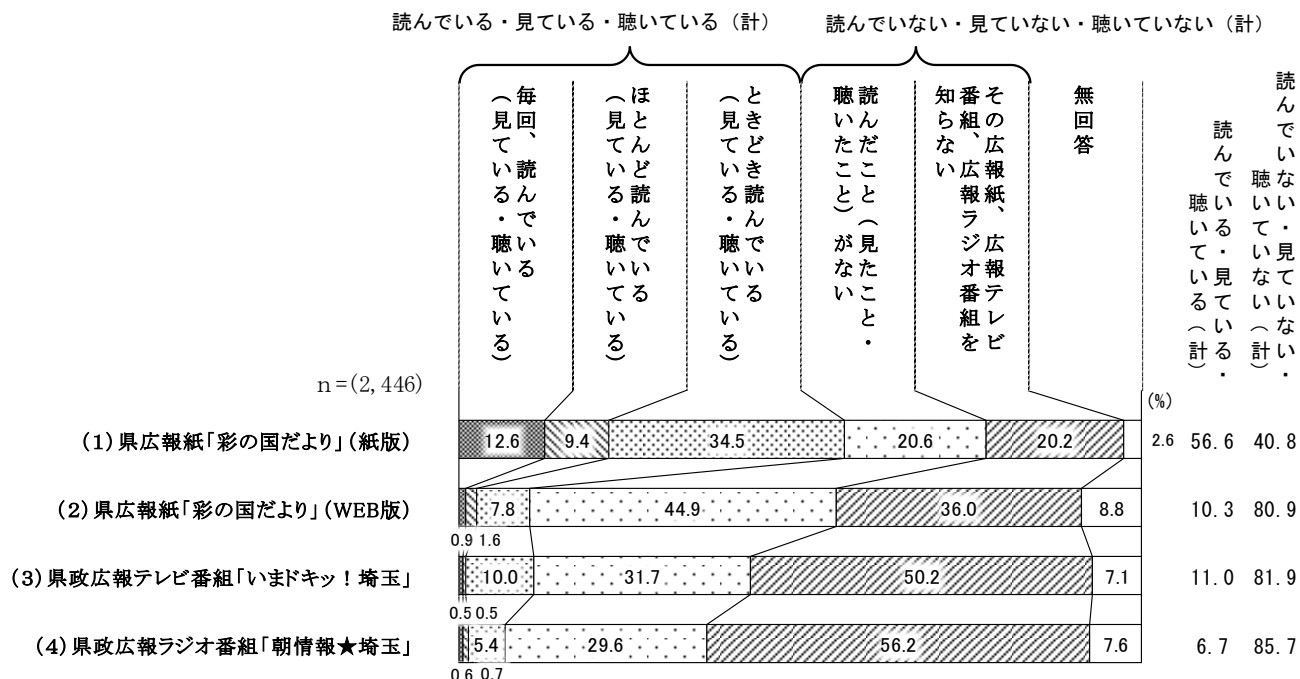
	調査数 n	市町村の広報紙	県広報紙「彩の国だより」 （紙版）	テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）	新聞の記事	インターネット（5〜11以外）	自治会・婦人会・老人会などの回覧	市町村ホームページ	県ホームページ	埼玉県庁LINE（ライン）	ロコミ	県政広報テレビ番組「いまだキッ！埼玉」（テレビ埼玉／土曜朝8：30〜9：00）	県広報紙「彩の国だより」（WEB版）	ミニコミ紙やタウン紙	県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」（FM NACK5／月〜金曜朝8：15〜8：25）	ケーブルテレビ・コミュニティFM	埼玉県庁X（旧Twitter）（エックス）	市町村から直接（窓口、出前講座等）	埼玉県庁YouTube（ユーチューブ）	埼玉県庁Instagram（インスタグラム）	県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）	埼玉県庁Facebook（フェイスブック）	その他	無回答
全体	2,446	41.6	40.4	24.6	19.3	18.4	11.8	9.9	9.1	9.0	6.2	2.5	1.9	1.5	1.3	1.3	0.9	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2	3.2	1.9
地域別																								
南部地域	245	35.1	39.6	24.1	16.3	24.1	9.8	12.7	9.4	7.3	5.3	2.0	1.2	2.0	-	1.6	0.4	0.4	-	-	-	0.4	2.4	1.2
南西部地域	224	43.3	33.5	22.8	19.6	20.1	6.3	8.0	7.6	7.1	6.7	4.0	1.8	1.8	1.3	1.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.9	-	4.5	1.8
東部地域	363	40.2	42.4	25.9	17.6	15.2	9.1	11.8	9.4	7.2	9.9	0.6	1.7	1.9	0.6	0.8	0.6	1.1	1.1	0.6	-	0.6	5.2	1.9
さいたま地域	447	39.1	54.8	20.4	17.9	19.5	17.0	7.8	10.1	12.8	5.1	2.5	1.6	2.0	0.4	0.7	1.8	0.2	0.4	-	0.7	-	2.2	1.6
県央地域	181	40.9	40.3	21.5	21.0	16.0	9.9	6.6	12.2	9.4	4.4	3.3	0.6	1.1	2.2	1.1	-	1.7	-	1.1	-	-	3.9	4.4
川越比企地域	253	49.0	31.2	26.5	17.0	19.4	10.3	11.9	9.1	9.5	4.7	2.4	4.0	1.6	1.2	0.8	1.6	1.2	0.4	-	0.8	-	2.8	0.4
西部地域	271	34.3	40.6	28.0	18.1	22.9	11.1	11.8	9.2	8.9	6.6	1.8	1.1	-	3.0	3.0	0.4	-	-	1.1	-	-	3.0	3.0
利根地域	217	48.8	34.1	28.1	26.3	13.8	15.2	10.6	6.9	7.4	6.0	4.6	2.8	0.9	0.9	0.9	0.5	0.5	1.4	-	-	0.5	2.8	1.8
北部地域	166	48.8	32.5	27.1	24.1	14.5	16.9	9.6	7.8	9.6	3.6	2.4	2.4	0.6	3.6	1.8	2.4	0.6	-	0.6	-	-	1.8	0.6
秩父地域	32	50.0	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	9.4	12.5	9.4	9.4	3.1	9.4	-	3.1	-	3.1	-	-	-	3.1	-	6.3	-
性別																								
男性	1,010	36.9	38.5	26.7	21.1	23.0	10.2	9.5	11.4	5.8	6.4	2.4	1.9	1.6	2.4	1.4	1.1	1.0	0.6	0.3	0.5	-	3.9	2.0
女性	1,330	45.3	42.0	23.2	17.9	15.3	12.9	10.8	7.5	11.6	6.0	2.5	2.0	1.3	0.5	1.2	0.7	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	2.6	1.7
年代別																								
18・19歳	32	9.4	9.4	40.6	15.6	37.5	6.3	15.6	12.5	3.1	6.3	-	3.1	-	-	-	3.1	-	3.1	-	3.1	-	-	6.3
20歳代	180	16.1	15.6	24.4	5.6	35.6	6.1	12.2	15.0	7.2	10.6	1.1	2.2	-	1.1	1.7	3.3	-	-	1.1	-	0.6	5.0	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	212	15.1	14.6	26.9	7.1	35.8	6.1	12.7	14.6	6.6	9.9	0.9	2.4	-	0.9	1.4	3.3	-	0.5	0.9	0.5	0.5	4.2	1.9
30歳代	256	31.6	20.7	15.6	3.9	32.8	5.1	10.2	9.8	19.9	10.2	1.6	3.1	2.7	0.8	0.4	2.3	0.4	0.4	0.8	0.4	-	6.3	1.2
40歳代	361	32.4	26.6	15.8	9.1	25.2	7.8	13.6	12.7	23.5	4.4	1.4	2.5	1.4	1.1	0.8	1.1	-	-	0.8	0.6	-	4.2	1.1
50歳代	497	37.4	37.2	26.6	14.1	21.1	10.9	12.5	11.5	9.1	7.2	1.8	1.2	1.2	2.2	1.4	0.8	0.8	0.6	0.4	0.2	0.6	2.6	1.2
60歳代	428	49.1	53.0	29.2	21.3	13.8	14.3	10.5	9.1	3.0	4.4	3.0	1.2	1.4	0.9	0.9	0.2	0.9	0.7	-	0.2	-	2.1	1.6
70歳以上	648	57.6	58.3	27.6	37.2	4.6	18.1	5.2	3.4	1.5	4.5	4.2	2.2	1.5	1.2	1.9	0.2	1.1	0.5	-	0.3	-	2.2	2.9
性・年代別																								
男性・18・19歳	9	11.1	11.1	55.6	-	44.4	11.1	22.2	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	11.1
20歳代	78	10.3	11.5	23.1	7.7	50.0	3.8	10.3	16.7	2.6	9.0	1.3	2.6	-	1.3	3.8	2.6	-	-	-	-	-	5.1	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	10.3	11.5	26.4	6.9	49.4	4.6	11.5	16.1	2.3	9.2	1.1	2.3	-	1.1	3.4	2.3	-	-	-	1.1	-	4.6	2.3
30歳代	109	35.8	20.2	19.3	5.5	33.9	6.4	8.3	12.8	14.7	10.1	0.9	1.8	3.7	1.8	0.9	4.6	0.9	0.9	0.9	-	-	5.5	1.8
40歳代	140	22.1	27.1	21.4	10.7	33.6	7.1	10.0	17.1	14.3	5.0	1.4	2.9	2.9	2.9	-	0.7	-	-	1.4	1.4	-	6.4	1.4
50歳代	201	27.4	31.8	30.3	14.9	29.4	10.0	12.4	12.4	6.0	9.5	3.0	1.5	-	5.0	3.0	1.0	1.0	0.5	-	-	-	3.0	1.5
60歳代	187	42.8	49.2	28.9	22.5	16.0	15.0	9.6	12.3	2.1	2.7	2.1	1.1	1.1	1.6	0.5	-	2.1	1.6	-	0.5	-	3.7	1.6
70歳以上	286	55.6	57.0	28.3	39.9	5.6	11.9	7.0	5.2	1.7	5.2	3.5	2.1	2.1	1.4	1.0	0.3	1.0	0.3	-	0.3	-	2.4	2.8
女性・18・19歳	23	8.7	8.7	34.8	21.7	34.8	4.3	13.0	13.0	4.3	4.3	-	4.3	-	-	-	4.3	-	4.3	-	-	-	-	4.3
20歳代	99	21.2	18.2	26.3	4.0	25.3	7.1	14.1	13.1	10.1	12.1	1.0	2.0	-	1.0	-	4.0	-	-	2.0	-	1.0	5.1	1.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	18.9	16.4	27.9	7.4	27.0	6.6	13.9	13.1	9.0	10.7	0.8	2.5	-	0.8	-	4.1	-	0.8	1.6	-	0.8	4.1	1.6
30歳代	135	29.6	20.0	13.3	3.0	31.1	4.4	12.6	7.4	25.9	10.4	0.7	3.7	2.2	-	-	-	-	-	0.7	-	-	6.7	0.7
40歳代	208	39.4	27.4	12.0	8.2	19.2	7.7	16.8	10.1	30.3	4.3	1.4	2.4	0.5	-	1.4	1.0	-	-	-	-	-	2.4	1.0
50歳代	280	45.0	40.7	23.9	13.9	16.1	11.1	12.1	11.1	11.4	6.1	1.1	0.7	2.1	0.4	0.4	0.4	0.7	0.7	0.7	0.4	0.7	2.5	1.1
60歳代	236	53.8	56.4	29.7	20.8	12.3	13.6	11.4	6.4	3.4	5.9	3.4	1.3	1.7	0.4	1.3	0.4	-	-	-	-	-	0.8	1.3
70歳以上	349	58.7	59.3	27.2	34.4	4.0	22.6	4.0	2.0	1.4	3.7	4.9	2.3	0.9	1.1	2.6	-	1.1	0.6	-	0.3	-	2.0	3.2
職業別																								
自営業・家族従業（計）	183	39.3	35.5	25.7	21.9	24.6	8.7	10.4	8.7	8.2	10.4	2.2	0.5	1.1	2.2	1.1	0.5	1.1	-	0.5	0.5	-	3.3	0.5
雇用者（計）	1,293	37.1	33.8	22.3	11.1	23.1	9.7	12.5	11.8	12.9	5.9	1.9	2.0	1.4	1.5	1.2	1.4	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2	3.8	1.1
無職（計）	909	48.4	50.4	27.7	30.1	11.0	15.4	6.8	5.7	4.0	5.7	3.4	2.1	1.5	0.8	1.4	0.4	0.9	0.4	0.2	0.3	0.1	2.4	2.8
ライフステージ別																								
独身期	280	19.3	17.1	25.4	7.5	37.9	5.4	10.7	14.3	3.2	11.4	0.7	2.1	-	0.7	1.4	3.6	0.4	0.4	0.7	0.7	-	4.6	1.8
家族形成期	151	30.5	16.6	11.9	2.0	29.1	4.6	10.6	8.6	33.1	7.3	2.6	2.0	4.0	2.0	-	2.0	-	0.7	1.3	-	0.7	6.0	2.0
家族成長前期	205	38.0	25.9	14.1	7.3	22.0	8.3	15.6	9.3	37.1	4.9	1.0	4.4	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-	0.5	-	2.0	1.0
家族成長後期	166	34.9	35.5	24.1	12.0	24.1	9.6	14.5	12.0	18.7	5.4	1.2	1.8	0.6	1.8	1.8	1.2	1.2	-	1.2	1.2	-	4.8	-
家族成熟期	373	43.4	45.3	29.0	20.4	16.4	13.1	8.8	10.7	5.4	7.2	1.6	1.1	1.6	1.6	0.8	0.3	0.8	0.3	-	0.3	-	2.7	1.6
高齢期	611	56.8	60.9	28.2	31.4	6.1	18.3	8.2	5.2	2.5	4.6	3.8	2.3	1.0	0.8	1.8	0.2	0.7	0.3	-	0.2	-	1.6	2.1
その他	660	41.4	39.7	24.8	21.8	17.7	10.9	8.8	8.9	3.0	5.3	3.5	1.2	2.3	1.7	1.4	0.8	0.8	0.9	0.5	0.2	0.5	3.6	2.6

(1 8 - 1) 県の広報媒体の視聴状況

◇県広報紙「彩の国だより」(紙版)を『読んでいる(計)』人は56.6%

問16 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。

(1) あなたは、県広報紙、広報テレビ番組や広報ラジオ番組を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。(〇は1つだけ)



県の広報媒体の視聴状況は、「毎回読んでいる(見ている・聴いている)」と「ほとんど読んでいる(見ている・聴いている)」と「ときどき読んでいる(見ている・聴いている)」を合わせた『読んでいる・見ている・聴いている(計)』は(1)県広報紙「彩の国だより」(紙版)(56.6%)が5割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「読んだこと(見たこと・聴いたこと)がない」と「その広報紙、広報テレビ番組、広報ラジオ番組を知らない」を合わせた『読んでいない・見ていない・聴いていない(計)』は(4)県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(85.7%)が8割台半ばと最も高く、次いで(3)県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(81.9%)、(2)県広報紙「彩の国だより」(WEB版)(80.9%)といずれも『読んでいる・見ている・聴いている(計)』を上回っている。

（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）

県広報紙「彩の国だより」（紙版）の閲読状況は、『読んでいる（計）』（56.6%）は5割台半ばを超え、『読んでいない（計）』（40.8%）は4割を超えている。『読んでいる（計）』が『読んでいない（計）』を15.8ポイント上回っている。

【属性別比較】

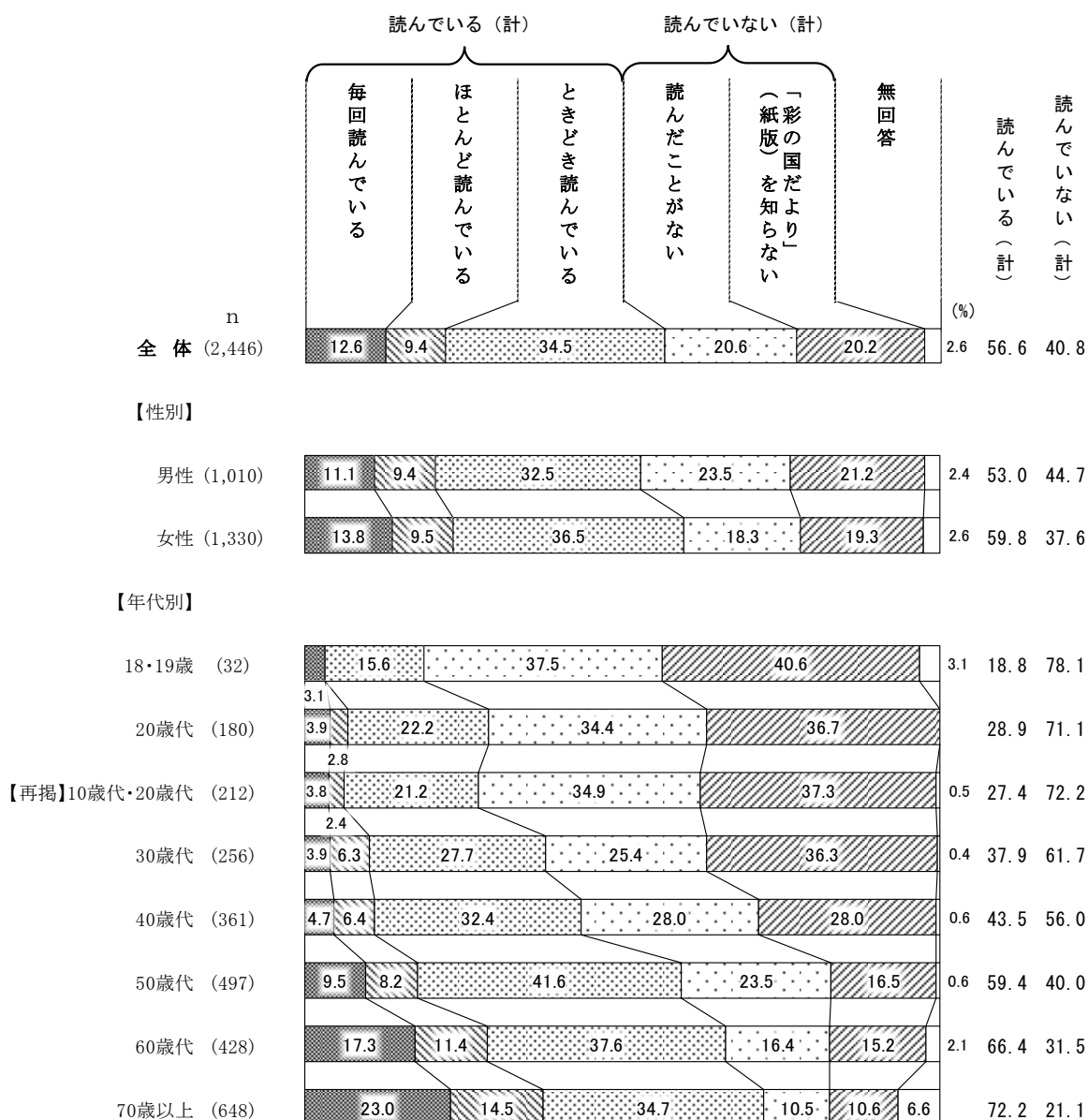
① 性別

「読んだことがない」は男性（23.5%）の方が女性（18.3%）よりも5.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『読んでいる（計）』は年代が上がるにつれ割合が高くなり、70歳以上（72.2%）で7割強と最も高くなっている。

○「（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・性別／年代別



③ 地域別

『読んでいる（計）』はさいたま地域（67.8%）で6割台半ばを超えて最も高く、秩父地域（40.6%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『読んでいる（計）』は女性 70 歳以上（75.1%）で7割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（64.5%）が6割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『読んでいる（計）』は高齢期（72.8%）で7割強と最も高く、独身期（30.7%）で最も低くなっている。

○「（1）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎 回 読 み 聞 き て い る （ 見 る ）	ほ と と ん ど 読 み 聞 き て い る （ 見 る ）	と き ど き 読 み 聞 き て い る （ 見 る ）	い と 読 んだ こ と （ 見 た こ と ）	組 を 知 ら な い （ 見 た こ と ）	そ の 広 報 紙 、 広 報 ラ ジ オ テ レ ビ ジ ョ ン の 報 道 を 知 ら な い （ 見 た こ と ）	無 回 答	(%) 読 ん で い る （ 計 ）	(%) 読 ん で い な い （ 計 ）
全 体	2,446	12.6	9.4	34.5	20.6	20.2	2.6		56.6	40.8
地域別										
南部地域	245	11.4	10.6	29.0	22.9	24.5	1.6		51.0	47.3
南西部地域	224	9.8	6.7	31.3	28.1	20.5	3.6		47.8	48.7
東部地域	363	10.7	11.8	36.6	16.3	22.3	2.2		59.2	38.6
さいたま地域	447	16.3	12.1	39.4	15.4	15.0	1.8		67.8	30.4
県央地域	181	19.3	6.1	30.4	17.7	22.7	3.9		55.8	40.3
川越比企地域	253	9.9	7.9	31.6	24.5	22.9	3.2		49.4	47.4
西部地域	271	11.8	8.1	37.3	20.7	19.9	2.2		57.2	40.6
利根地域	217	12.9	9.7	34.6	19.8	19.4	3.7		57.1	39.2
北部地域	166	10.2	7.2	35.5	27.1	18.7	1.2		53.0	45.8
秩父地域	32	15.6	6.3	18.8	28.1	31.3	-		40.6	59.4
性・年代別										
男性／18・19歳	9	-	-	11.1	55.6	33.3	-		11.1	88.9
20歳代	78	3.8	3.8	17.9	34.6	39.7	-		25.6	74.4
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	3.4	17.2	36.8	39.1	-		24.1	75.9
30歳代	109	2.8	5.5	26.6	25.7	38.5	0.9		34.9	64.2
40歳代	140	3.6	6.4	30.7	30.7	28.6	-		40.7	59.3
50歳代	201	7.0	8.5	39.3	28.9	15.4	1.0		54.7	44.3
60歳代	187	14.4	9.6	36.4	18.2	18.2	3.2		60.4	36.4
70歳以上	286	21.0	14.7	32.9	14.7	11.5	5.2		68.5	26.2
女性／18・19歳	23	4.3	-	17.4	30.4	43.5	4.3		21.7	73.9
20歳代	99	4.0	2.0	25.3	33.3	35.4	-		31.3	68.7
【再掲】10歳代・20歳代	122	4.1	1.6	23.8	32.8	36.9	0.8		29.5	69.7
30歳代	135	3.7	6.7	30.4	25.2	34.1	-		40.7	59.3
40歳代	208	5.8	6.3	35.6	24.0	27.4	1.0		47.6	51.4
50歳代	280	10.4	8.6	43.6	20.7	16.4	0.4		62.5	37.1
60歳代	236	19.9	12.7	38.6	15.3	12.3	1.3		71.2	27.5
70歳以上	349	24.4	13.8	37.0	7.2	9.7	8.0		75.1	16.9
職業別										
自営業・家族従業（計）	183	10.4	8.7	39.9	18.0	20.8	2.2		59.0	38.8
雇用者（計）	1,293	8.7	7.8	34.0	25.0	23.8	0.7		50.5	48.8
無職（計）	909	18.5	12.2	33.8	15.3	15.5	4.7		64.5	30.8
ライフステージ別										
独身期	280	3.2	3.6	23.9	34.6	34.3	0.4		30.7	68.9
家族形成期	151	4.0	6.0	23.8	24.5	40.4	1.3		33.8	64.9
家族成長前期	205	5.4	10.7	27.8	26.3	29.3	0.5		43.9	55.6
家族成長後期	166	10.8	4.2	42.2	24.1	18.7	-		57.2	42.8
家族成熟期	373	11.3	10.7	42.4	18.0	15.0	2.7		64.3	33.0
高齢期	611	23.1	14.4	35.4	13.3	9.8	4.1		72.8	23.1
その他	660	12.4	8.3	36.5	19.2	19.8	3.6		57.3	39.1

（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）

県広報紙「彩の国だより」（WEB版）の閲読状況は、『読んでいる（計）』（10.3%）は1割を超え、『読んでいない（計）』（80.9%）は8割を超えている。『読んでいない（計）』が『読んでいる（計）』を70.6ポイント上回っている。

【属性別比較】

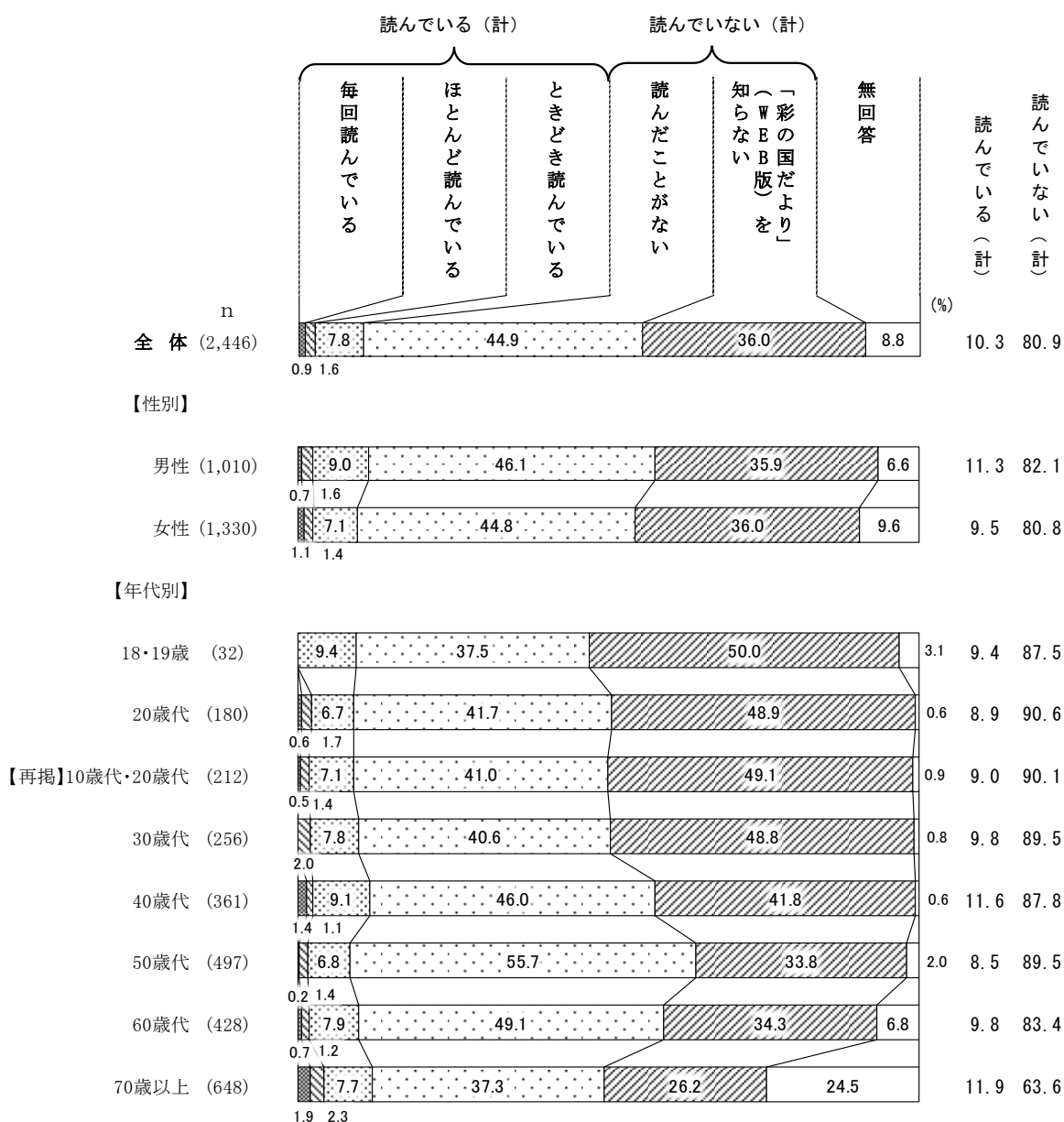
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『「彩の国だより」（WEB版）を知らない』は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（49.1%）で約5割と最も高くなっている。

○「（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・性別／年代別



③ 地域別

『読んでいない（計）』は西部地域（87.1％）で8割台半ばを超えて最も高く、利根地域（76.0％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『読んでいない（計）』は女性 50 歳代（91.8％）で9割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『読んでいない（計）』は雇用者（計）（87.2％）が8割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『読んでいない（計）』は独身期（91.4％）で9割強と最も高くなっている。

○「（2）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回、読んで いる（見 る）	ほとんど 読んで いる（見 る）	ときどき 読んで いる（見 る）	ほとんど 読んで いない（見 ない）	組を知ら ない（見 ない）	その広報 紙、広報 ラジ報 オテレ レ	無回 答	（％）	
									読 ん で い る （ 計 ）	読 ん で い な い （ 計 ）
全 体	2,446	0.9	1.6	7.8	44.9	36.0	8.8		10.3	80.9
地域別										
南部地域	245	0.4	1.2	7.3	41.2	39.6	10.2		9.0	80.8
南西部地域	224	1.3	0.9	7.1	47.3	31.3	12.1		9.4	78.6
東部地域	363	1.1	1.7	5.8	45.5	37.2	8.8		8.5	82.6
さいたま地域	447	1.1	0.9	8.7	46.5	35.3	7.4		10.7	81.9
県央地域	181	-	0.6	6.1	43.6	37.0	12.7		6.6	80.7
川越比企地域	253	1.2	2.8	12.6	42.3	34.0	7.1		16.6	76.3
西部地域	271	0.4	0.7	6.3	48.0	39.1	5.5		7.4	87.1
利根地域	217	1.4	3.7	8.8	41.5	34.6	10.1		13.8	76.0
北部地域	166	1.2	1.2	6.6	51.2	35.5	4.2		9.0	86.7
秩父地域	32	-	9.4	6.3	43.8	40.6	-		15.6	84.4
性・年代別										
男性／18・19歳	9	-	-	11.1	55.6	33.3	-		11.1	88.9
20歳代	78	1.3	1.3	6.4	42.3	48.7	-		9.0	91.0
【再掲】10歳代・20歳代	87	1.1	1.1	6.9	43.7	47.1	-		9.2	90.8
30歳代	109	-	0.9	8.3	38.5	50.5	1.8		9.2	89.0
40歳代	140	0.7	0.7	11.4	47.9	39.3	-		12.9	87.1
50歳代	201	-	1.5	9.5	56.2	30.8	2.0		10.9	87.1
60歳代	187	-	2.1	8.6	46.0	39.0	4.3		10.7	85.0
70歳以上	286	1.7	2.1	8.7	42.0	26.9	18.5		12.6	68.9
女性／18・19歳	23	-	-	8.7	30.4	56.5	4.3		8.7	87.0
20歳代	99	-	1.0	7.1	42.4	48.5	1.0		8.1	90.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	-	0.8	7.4	40.2	50.0	1.6		8.2	90.2
30歳代	135	-	1.5	8.1	43.0	47.4	-		9.6	90.4
40歳代	208	1.9	1.4	7.7	44.7	43.3	1.0		11.1	88.0
50歳代	280	0.4	1.1	5.4	55.7	36.1	1.4		6.8	91.8
60歳代	236	1.3	0.4	7.6	51.7	30.1	8.9		9.3	81.8
70歳以上	349	2.0	2.3	7.2	33.8	26.4	28.4		11.5	60.2
職業別										
自営業・家族従業（計）	183	1.1	1.1	9.3	47.5	35.5	5.5		11.5	83.1
雇用者（計）	1,293	0.5	1.4	8.4	48.3	38.8	2.5		10.4	87.2
無職（計）	909	1.1	2.1	6.3	40.9	32.6	17.1		9.5	73.5
ライフステージ別										
独身期	280	0.4	0.7	6.4	42.1	49.3	1.1		7.5	91.4
家族形成期	151	0.7	1.3	7.3	39.7	49.0	2.0		9.3	88.7
家族成長前期	205	-	2.0	12.2	42.9	42.4	0.5		14.1	85.4
家族成長後期	166	2.4	0.6	4.8	57.2	33.7	1.2		7.8	91.0
家族成熟期	373	0.3	2.1	8.3	48.0	34.0	7.2		10.7	82.0
高齢期	611	1.6	2.0	7.7	47.1	24.5	17.0		11.3	71.7
その他	660	0.8	1.5	7.7	40.9	37.6	11.5		10.0	78.5

（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況は、『見ている（計）』（11.0%）は1割強、『見ていない（計）』（81.9%）は8割強となっている。『見ていない（計）』が『見ている（計）』を70.9ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、「見たことがない」（31.7%）は18.3ポイント減少している。

【属性別比較】

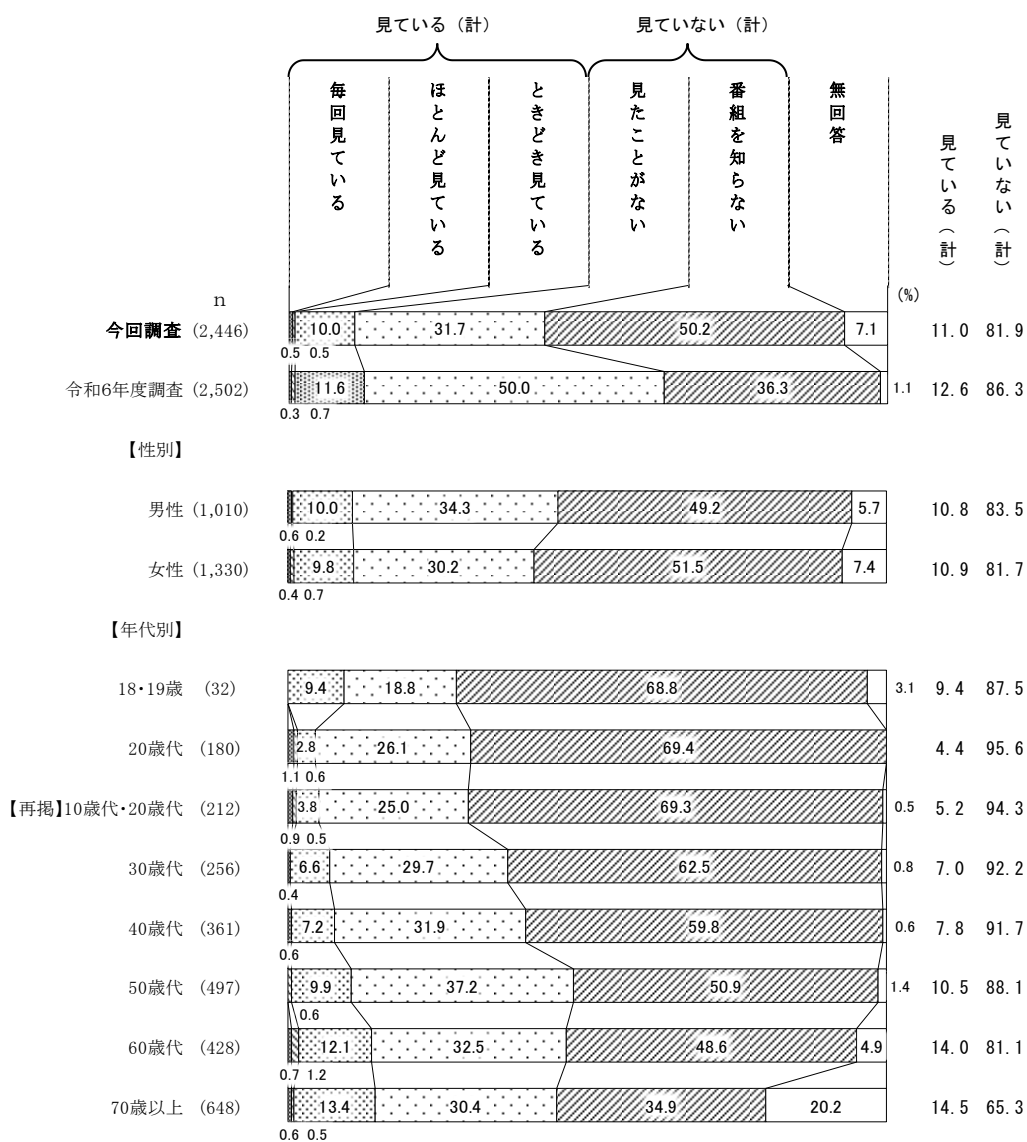
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『見ていない（計）』は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（94.3%）で9割台半ばと最も高くなっている。

○「（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

『見ていない（計）』は西部地域（88.6%）で9割弱と最も高く、利根地域（73.3%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『見ていない（計）』は女性 10 歳代・20 歳代（95.9%）で9割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『見ていない（計）』は雇用者（計）（88.4%）で9割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『見ていない（計）』は独身期（93.9%）で9割強と最も高くなっている。

○「(3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回、読んでいます（見 る）	ほとんど読んでいます（見 る）	ときどき読んでいます（見 る）	ほとんど読んでいない（見 ない）	読んでいない（見 ない）	無回答	（%）	
								見ている（計）	見ていない（計）
全 体	2,446	0.5	0.5	10.0	31.7	50.2	7.1	11.0	81.9
地域別									
南部地域	245	0.4	0.8	7.3	24.9	59.2	7.3	8.6	84.1
南西部地域	224	0.4	1.8	9.4	32.6	46.4	9.4	11.6	79.0
東部地域	363	0.6	-	7.2	28.1	56.2	8.0	7.7	84.3
さいたま地域	447	0.2	0.4	10.5	34.0	49.4	5.4	11.2	83.4
県央地域	181	0.6	0.6	11.0	34.3	43.6	9.9	12.2	77.9
川越比企地域	253	1.2	0.8	10.7	34.0	45.8	7.5	12.6	79.8
西部地域	271	-	0.4	7.4	35.8	52.8	3.7	7.7	88.6
利根地域	217	0.5	-	17.5	30.0	43.3	8.8	18.0	73.3
北部地域	166	1.2	-	9.0	36.1	51.2	2.4	10.2	87.3
秩父地域	32	-	-	18.8	21.9	59.4	-	18.8	81.3
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	-	22.2	22.2	55.6	-	22.2	77.8
20歳代	78	1.3	1.3	3.8	24.4	69.2	-	6.4	93.6
【再掲】10歳代・20歳代	87	1.1	1.1	5.7	24.1	67.8	-	8.0	92.0
30歳代	109	-	-	7.3	24.8	66.1	1.8	7.3	90.8
40歳代	140	0.7	-	7.1	35.0	57.1	-	7.9	92.1
50歳代	201	-	-	11.4	43.3	43.3	2.0	11.4	86.6
60歳代	187	1.1	0.5	11.2	34.8	48.7	3.7	12.8	83.4
70歳以上	286	0.7	-	11.9	33.9	37.8	15.7	12.6	71.7
女性／18・19歳	23	-	-	4.3	17.4	73.9	4.3	4.3	91.3
20歳代	99	1.0	-	2.0	27.3	69.7	-	3.0	97.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	0.8	-	2.5	25.4	70.5	0.8	3.3	95.9
30歳代	135	-	-	4.4	34.1	61.5	-	4.4	95.6
40歳代	208	0.5	-	7.7	28.8	62.0	1.0	8.2	90.9
50歳代	280	-	1.1	8.6	33.2	56.4	0.7	9.6	89.6
60歳代	236	0.4	1.7	12.7	30.5	48.7	5.9	14.8	79.2
70歳以上	349	0.6	0.6	14.9	28.4	32.7	22.9	16.0	61.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	0.5	0.5	8.7	35.0	49.7	5.5	9.8	84.7
雇用者（計）	1,293	0.5	0.5	8.6	33.0	55.4	2.1	9.5	88.4
無職（計）	909	0.4	0.6	11.9	29.9	44.0	13.2	12.9	73.9
ライフステージ別									
独身期	280	0.7	0.4	4.3	26.4	67.5	0.7	5.4	93.9
家族形成期	151	0.7	-	5.3	30.5	61.6	2.0	6.0	92.1
家族成長前期	205	-	-	9.8	28.8	61.0	0.5	9.8	89.8
家族成長後期	166	0.6	1.2	9.0	36.7	51.2	1.2	10.8	88.0
家族成熟期	373	-	0.8	9.4	35.4	48.5	5.9	10.2	83.9
高齢期	611	0.7	0.8	13.9	33.9	37.8	12.9	15.4	71.7
その他	660	0.6	0.2	10.6	29.7	49.2	9.7	11.4	78.9

（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の視聴状況は、『聴いている（計）』は 6.7%、『聴いていない（計）』（85.7%）は8割台半ばとなっている。『聴いていない（計）』は『聴いている（計）』を 79.0 ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、「聞いたことがない」（29.6%）は 20.8 ポイント減少している。

【属性別比較】

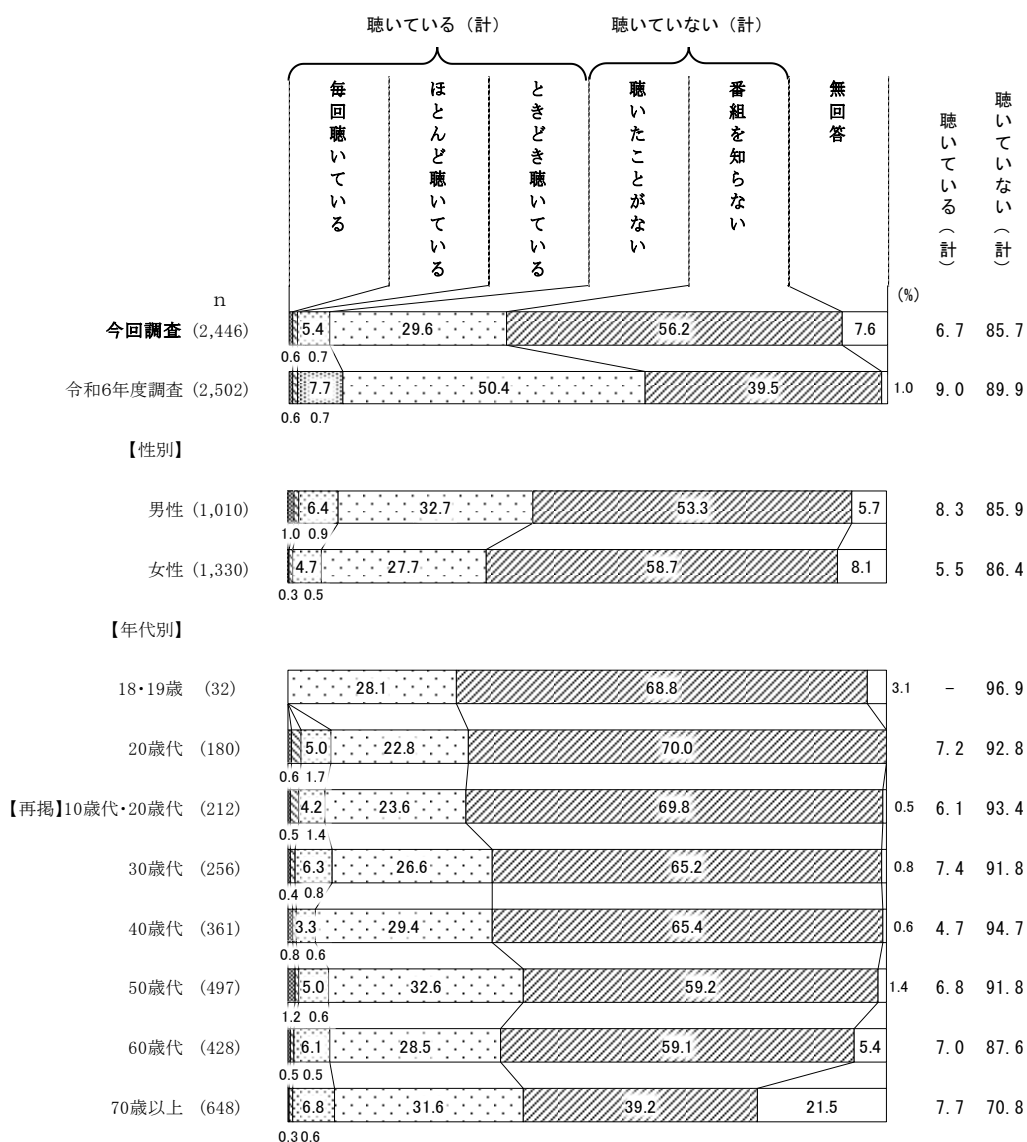
① 性別

「番組を知らない」は女性（58.7%）の方が男性（53.3%）よりも 5.4 ポイント高くなっている。

② 年代別

『聴いていない（計）』は 40 歳代（94.7%）で9割台半ばと最も高く、70 歳以上（70.8%）で最も低くなっている。

○「（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

『聴いていない（計）』は西部地域（90.8%）で9割を超えて最も高く、利根地域（78.8%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聴いていない（計）』は女性 40 歳代（96.6%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『聴いていない（計）』は雇用者（計）（91.0%）で9割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聴いていない（計）』は家族成長前期（94.6%）で9割台半ばと最も高くなっている。

○「（4）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

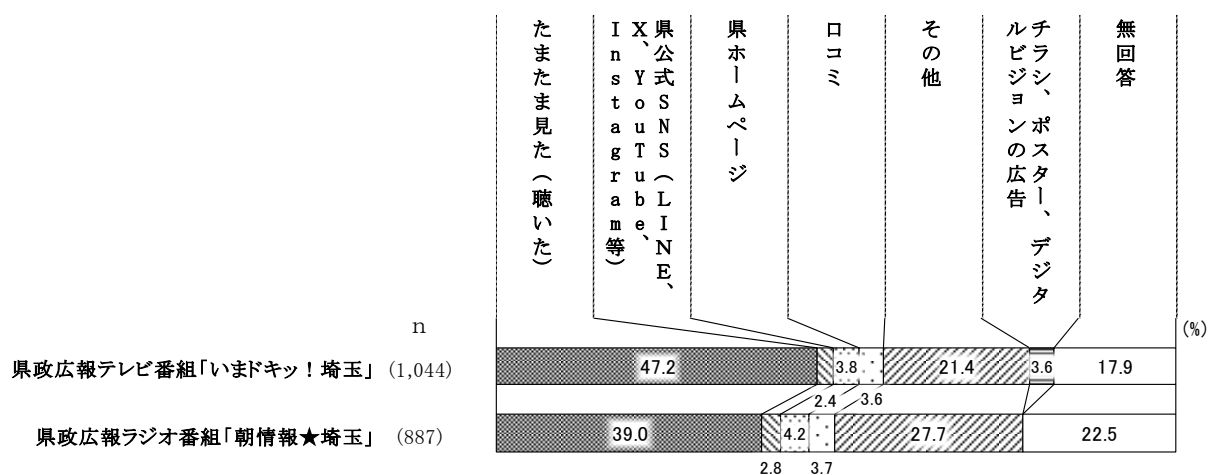
	調査数 n	毎回、 読んでいる (見 る)	ほとんど 読んでいる (見 る)	ときどき 読んでいる (見 る)	い と 読 んだ こと (見た こと がな い)	組 を 知 ら な い ビ ジ ネ ス の 広 報 紙 、 広 報 ラ ジ オ 番 レ 	無 回 答	(%)	
								聴 い て い る (計)	聴 い て い な い (計)
全 体	2,446	0.6	0.7	5.4	29.6	56.2	7.6	6.7	85.7
地域別									
南部地域	245	0.4	-	2.4	22.9	66.5	7.8	2.9	89.4
南西部地域	224	0.4	1.3	7.6	28.6	52.7	9.4	9.4	81.3
東部地域	363	0.3	0.3	4.7	24.0	62.3	8.5	5.2	86.2
さいたま地域	447	0.7	-	4.0	32.4	56.8	6.0	4.7	89.3
県央地域	181	-	0.6	5.5	35.4	47.5	11.0	6.1	82.9
川越比企地域	253	1.6	1.2	7.1	30.8	52.2	7.1	9.9	83.0
西部地域	271	0.4	1.1	4.4	35.4	55.4	3.3	5.9	90.8
利根地域	217	0.5	0.9	9.7	30.0	48.8	10.1	11.1	78.8
北部地域	166	1.8	1.8	4.8	28.9	59.6	3.0	8.4	88.6
秩父地域	32	-	-	15.6	31.3	53.1	-	15.6	84.4
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	-	-	44.4	55.6	-	-	100.0
20歳代	78	1.3	1.3	6.4	21.8	69.2	-	9.0	91.0
【再掲】10歳代・20歳代	87	1.1	1.1	5.7	24.1	67.8	-	8.0	92.0
30歳代	109	0.9	0.9	5.5	22.9	67.9	1.8	7.3	90.8
40歳代	140	1.4	1.4	5.7	30.7	60.7	-	8.6	91.4
50歳代	201	2.5	1.0	7.5	37.8	49.3	2.0	10.9	87.1
60歳代	187	-	1.1	6.4	33.7	55.1	3.7	7.5	88.8
70歳以上	286	0.3	0.3	6.6	35.7	41.3	15.7	7.3	76.9
女性／18・19歳	23	-	-	-	21.7	73.9	4.3	-	95.7
20歳代	99	-	2.0	3.0	24.2	70.7	-	5.1	94.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	-	1.6	2.5	23.8	71.3	0.8	4.1	95.1
30歳代	135	-	0.7	5.9	29.6	63.7	-	6.7	93.3
40歳代	208	0.5	-	1.9	27.9	68.8	1.0	2.4	96.6
50歳代	280	-	0.4	3.6	29.3	66.1	0.7	3.9	95.4
60歳代	236	0.8	-	5.9	24.2	62.3	6.8	6.8	86.4
70歳以上	349	0.3	0.6	6.9	29.2	38.1	24.9	7.7	67.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	1.1	0.5	7.1	30.6	56.3	4.4	8.7	86.9
雇用者（計）	1,293	0.7	0.9	5.4	30.0	60.9	2.1	7.0	91.0
無職（計）	909	0.3	0.4	5.1	29.4	50.3	14.5	5.8	79.6
ライフステージ別									
独身期	280	0.7	1.1	3.6	25.7	68.2	0.7	5.4	93.9
家族形成期	151	-	1.3	7.3	24.5	64.9	2.0	8.6	89.4
家族成長前期	205	-	0.5	4.4	28.3	66.3	0.5	4.9	94.6
家族成長後期	166	1.2	0.6	4.8	31.9	60.2	1.2	6.6	92.2
家族成熟期	373	0.5	1.3	4.0	31.1	57.1	5.9	5.9	88.2
高齢期	611	0.7	0.5	6.4	33.7	44.8	13.9	7.5	78.6
その他	660	0.8	0.2	6.2	27.4	54.8	10.6	7.1	82.3

(18-2) 県の広報媒体を知ったきっかけ

◇県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」を知ったきっかけは「たまたま見た（聴いた）」が47.2%

（問16（1）で「1. 毎回読んでいる（見ている・聴いている）」から「4. 読んだこと（見たこと・聴いたこと）がない」とお答えの方にお伺いします。）

問16（2） あなたは、県の広報媒体（広報テレビ番組、広報ラジオ番組）を何をきっかけに知りましたか。



※「チラシ、ポスター、デジタルビジョンの広告」は県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のみの選択肢

県の広報媒体を知ったきっかけは、「たまたま見た（聴いた）」は県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」（47.2%）が4割台半ばを超え、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」（39.0%）が約4割となっている。

（１）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」を知ったきっかけは、「たまたま見た（聴いた）」（47.2%）が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「県ホームページ」（3.8%）、「ロコミ」と「チラシ、ポスター、デジタルビジョンの広告」（各 3.6%）などとなっている。

【属性別比較】

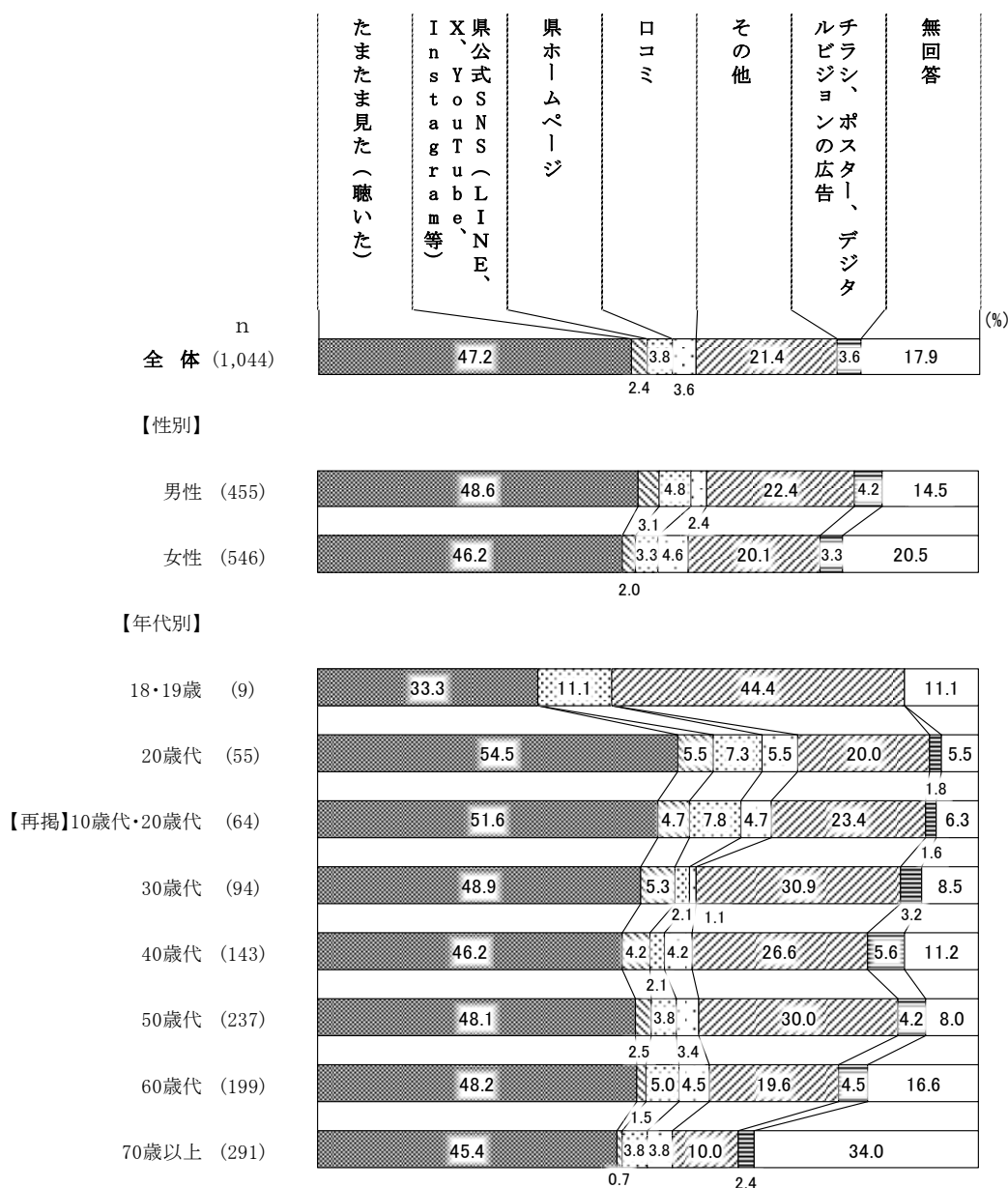
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「たまたま見た（聴いた）」は10歳代・20歳代（51.6%）で5割強と最も高く、70歳以上（45.4%）で最も低くなっている。

○「（１）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「たまたま見た（聴いた）」は西部地域（54.2％）で5割台半ばと最も高く、南西部地域（40.4％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝13）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「たまたま見た（聴いた）」は男性 30 歳代（54.3％）で5割台半ばと最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n＝28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「たまたま見た（聴いた）」は雇用者（計）（48.4％）で5割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「たまたま見た（聴いた）」は家族成長前期（54.4％）で5割台半ばと最も高くなっている。

○「(1) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	たまたま見た （聴いた）	I Y（県公式） n s u t a u g r e a m 等	県ホームページ	ロコミ	その他	タチラシ、 ジョンの 広告、 デジ	無回答
全体	1,044	47.2	2.4	3.8	3.6	21.4	3.6	17.9
地域別								
南部地域	82	42.7	3.7	2.4	4.9	19.5	3.7	23.2
南西部地域	99	40.4	5.1	4.0	2.0	24.2	3.0	21.2
東部地域	130	42.3	1.5	4.6	2.3	25.4	6.2	17.7
さいたま地域	202	47.5	2.0	4.5	5.4	20.8	4.5	15.3
県央地域	84	41.7	-	7.1	-	21.4	3.6	26.2
川越比企地域	118	50.8	4.2	5.9	5.1	19.5	2.5	11.9
西部地域	118	54.2	1.7	1.7	3.4	18.6	3.4	16.9
利根地域	104	52.9	1.9	2.9	4.8	20.2	1.0	16.3
北部地域	77	50.6	2.6	1.3	3.9	22.1	5.2	14.3
秩父地域	13	53.8	-	-	-	30.8	-	15.4
性・年代別								
男性／18・19歳	4	50.0	-	-	-	50.0	-	-
20歳代	24	66.7	12.5	4.2	-	8.3	4.2	4.2
【再掲】10歳代・20歳代	28	64.3	10.7	3.6	-	14.3	3.6	3.6
30歳代	35	54.3	2.9	2.9	-	31.4	5.7	2.9
40歳代	60	40.0	3.3	1.7	5.0	30.0	6.7	13.3
50歳代	110	48.2	3.6	4.5	0.9	32.7	3.6	6.4
60歳代	89	48.3	3.4	9.0	3.4	20.2	4.5	11.2
70歳以上	133	48.1	0.8	4.5	3.0	11.3	3.0	29.3
女性／18・19歳	5	20.0	-	20.0	-	40.0	-	20.0
20歳代	30	46.7	-	10.0	10.0	26.7	-	6.7
【再掲】10歳代・20歳代	35	42.9	-	11.4	8.6	28.6	-	8.6
30歳代	52	42.3	7.7	1.9	-	32.7	1.9	13.5
40歳代	77	49.4	5.2	2.6	3.9	24.7	3.9	10.4
50歳代	120	48.3	1.7	3.3	5.0	26.7	5.0	10.0
60歳代	107	47.7	-	1.9	5.6	18.7	4.7	21.5
70歳以上	155	43.9	0.6	3.2	4.5	7.7	1.9	38.1
職業別								
自営業・家族従業（計）	82	47.6	1.2	3.7	11.0	18.3	2.4	15.9
雇用者（計）	550	48.4	3.3	4.5	3.1	25.5	4.2	11.1
無職（計）	389	46.3	1.3	2.8	3.1	16.7	3.1	26.7
ライフステージ別								
独身期	89	47.2	3.4	6.7	3.4	25.8	4.5	9.0
家族形成期	55	49.1	3.6	-	1.8	40.0	1.8	3.6
家族成長前期	79	54.4	7.6	2.5	2.5	20.3	5.1	7.6
家族成長後期	79	51.9	1.3	2.5	3.8	32.9	3.8	3.8
家族成熟期	170	45.3	3.5	4.7	5.3	22.9	5.3	12.9
高齢期	301	45.8	0.7	4.3	3.7	12.6	3.7	29.2
その他	271	46.1	1.8	3.3	3.3	21.8	2.2	21.4

（２）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」を知ったきっかけは、「たまたま見た（聴いた）」（39.0％）が約４割と最も高く、次いで「県ホームページ」（4.2％）、「ロコミ」（3.7％）などとなっている。

【属性別比較】

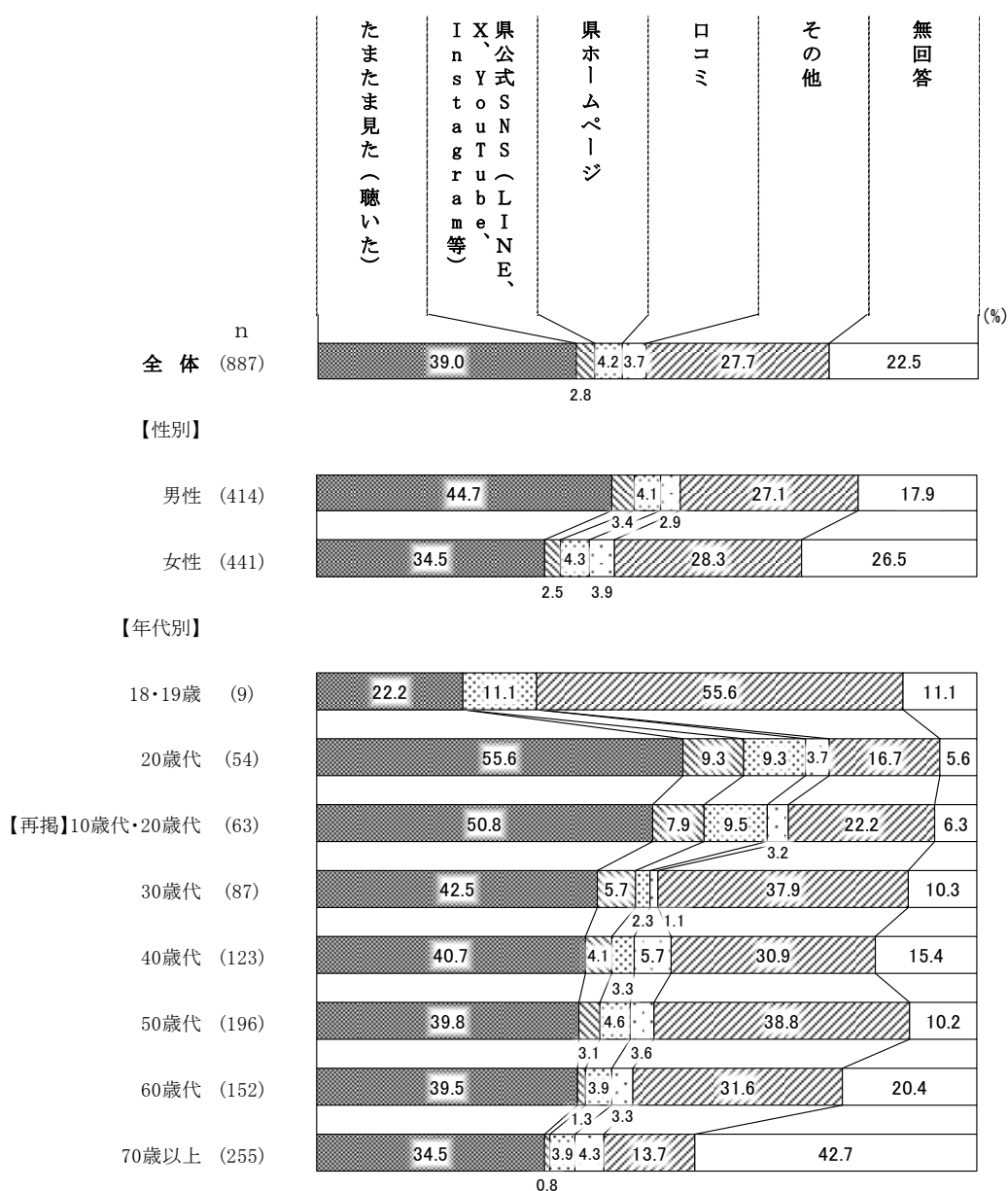
① 性別

「たまたま見た（聴いた）」は男性（44.7％）の方が女性（34.5％）よりも10.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「たまたま見た（聴いた）」は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（50.8％）で5割を超えて最も高くなっている。

○「（２）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「たまたま見た（聴いた）」は西部地域と利根地域（各 43.8%）で4割強と高く、南部地域（28.6%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=15）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「たまたま見た（聴いた）」は男性 30 歳代（54.5%）で5割台半ばと最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n=28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「たまたま見た（聴いた）」は雇用者（計）（44.4%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「たまたま見た（聴いた）」は独身期（46.0%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

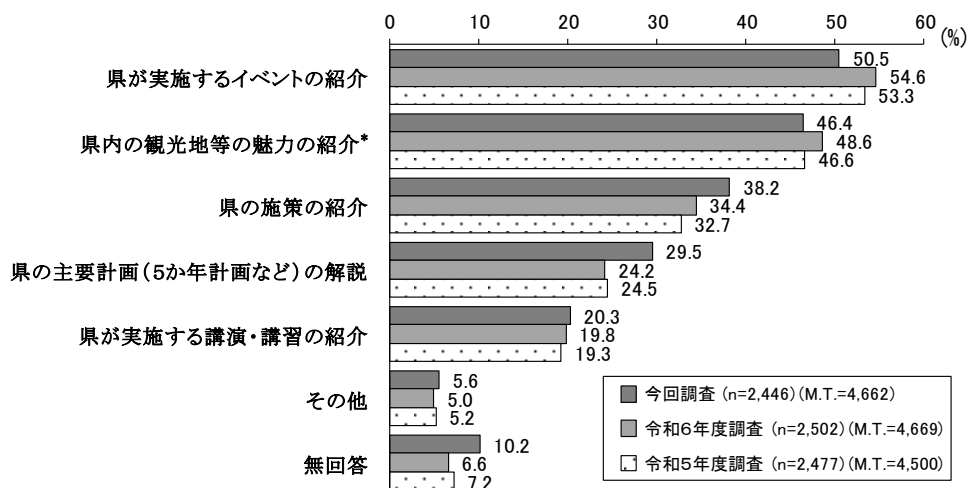
○「（2）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	たまたま見た（聴いた）	Y（県公式 SNS、X、Instagram 等）	県ホームページ	ロコミ	その他	無回答
全 体	887	39.0	2.8	4.2	3.7	27.7	22.5
地域別							
南部地域	63	28.6	4.8	3.2	4.8	30.2	28.6
南西部地域	85	37.6	4.7	3.5	1.2	27.1	25.9
東部地域	106	37.7	2.8	5.7	1.9	28.3	23.6
さいたま地域	166	36.1	1.8	5.4	6.6	28.9	21.1
県央地域	75	38.7	-	5.3	1.3	26.7	28.0
川越比企地域	103	40.8	5.8	6.8	2.9	29.1	14.6
西部地域	112	43.8	2.7	1.8	3.6	27.7	20.5
利根地域	89	43.8	2.2	4.5	4.5	21.3	23.6
北部地域	62	43.5	1.6	-	6.5	29.0	19.4
秩父地域	15	60.0	-	-	-	33.3	6.7
性・年代別							
男性／18・19歳	4	25.0	-	-	-	75.0	-
20歳代	24	66.7	16.7	4.2	-	8.3	4.2
【再掲】10歳代・20歳代	28	60.7	14.3	3.6	-	17.9	3.6
30歳代	33	54.5	3.0	3.0	-	33.3	6.1
40歳代	55	38.2	3.6	1.8	7.3	30.9	18.2
50歳代	98	44.9	4.1	4.1	2.0	37.8	7.1
60歳代	77	44.2	2.6	5.2	2.6	33.8	11.7
70歳以上	123	41.5	0.8	4.9	3.3	13.0	36.6
女性／18・19歳	5	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0
20歳代	29	48.3	3.4	10.3	6.9	24.1	6.9
【再掲】10歳代・20歳代	34	44.1	2.9	11.8	5.9	26.5	8.8
30歳代	49	32.7	8.2	2.0	-	42.9	14.3
40歳代	63	41.3	4.8	4.8	3.2	31.7	14.3
50歳代	93	35.5	2.2	5.4	4.3	38.7	14.0
60歳代	73	34.2	-	2.7	4.1	28.8	30.1
70歳以上	129	28.7	0.8	3.1	4.7	14.0	48.8
職業別							
自営業・家族従業（計）	72	40.3	2.8	2.8	9.7	26.4	18.1
雇用者（計）	478	44.4	4.0	5.0	3.6	30.3	12.8
無職（計）	320	32.2	0.9	3.1	2.8	24.7	36.3
ライフステージ別							
独身期	87	46.0	5.7	8.0	2.3	27.6	10.3
家族形成期	50	42.0	6.0	-	2.0	46.0	4.0
家族成長前期	68	45.6	7.4	2.9	4.4	29.4	10.3
家族成長後期	64	45.3	-	3.1	4.7	40.6	6.3
家族成熟期	138	37.7	2.9	5.8	3.6	34.1	15.9
高齢期	252	34.1	0.8	4.0	3.6	19.4	38.1
その他	228	38.2	2.6	3.5	4.4	25.0	26.3

(18-3) 県広報紙「彩の国だより」に期待する記事

◇「県が実施するイベントの紹介」が50.5%と最も高い

問16(3) あなたは、県広報紙「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。
(〇はいくつでも)



*令和5年度までは「県内の観光地等の紹介」

県広報紙「彩の国だより」に期待する記事は、「県が実施するイベントの紹介」(50.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「県内の観光地等の魅力の紹介」(46.4%)が4割台半ばを超えて続き、以下「県の施策の紹介」(38.2%)、「県の主要計画(5か年計画など)の解説」(29.5%)、「県が実施する講演・講習の紹介」(20.3%)の順となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、「県の主要計画(5か年計画など)の解説」(29.5%)が5.3ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「県が実施するイベントの紹介」は秩父地域(65.6%)で6割台半ばと最も高く、「県内の観光地等の魅力の紹介」は北部地域(53.6%)で5割強と最も高くなっている。

② 性別

「県の施策の紹介」は男性(43.2%)の方が女性(34.9%)よりも8.3ポイント高くなっている。

③ 年代別

「県が実施するイベントの紹介」は30歳代(61.3%)で6割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「県が実施するイベントの紹介」は女性30歳代(64.4%)で6割台半ばと最も高く、「県内の観光地等の魅力の紹介」は女性60歳代(57.2%)で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「県が実施するイベントの紹介」は雇用者（計）（55.9%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「県が実施するイベントの紹介」と「県内の観光地等の魅力の紹介」は家族成長後期（65.1%・54.8%）で最も高くなっている。

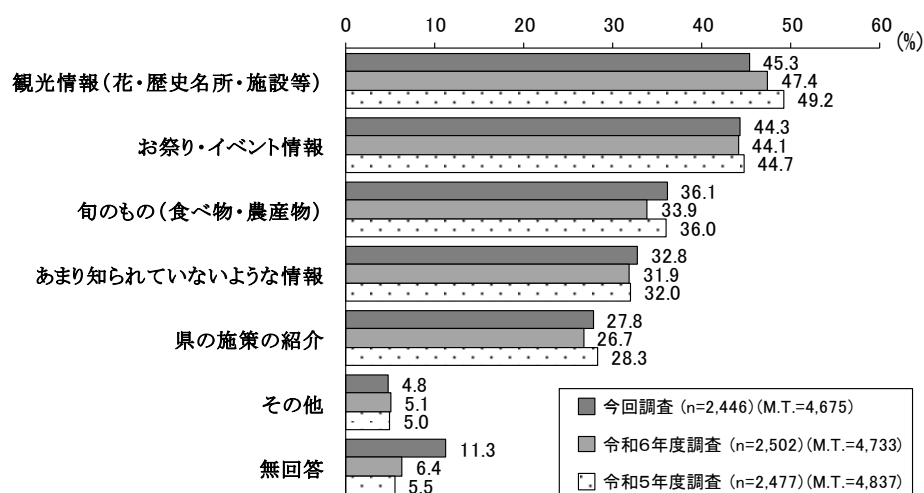
○県広報紙「彩の国だより」に期待する記事・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ト県 が実 施す るイ ベン ト	力県 内の 紹介 する 観光 地等 の魅 力	県 の施 策の 紹介	年県 計の 主要 計画 （5 画） の解 説か	講県 習が 実施 する 講演 ・	そ 他	無 回 答
全体	2,446	50.5	46.4	38.2	29.5	20.3	5.6	10.2
地域別								
南部地域	245	44.5	40.8	37.6	31.4	18.4	6.9	11.0
南西部地域	224	47.3	42.4	33.0	27.7	11.2	6.7	14.3
東部地域	363	51.5	49.3	39.7	26.4	20.7	6.1	8.3
さいたま地域	447	62.4	46.1	43.2	35.6	28.0	5.4	6.3
県央地域	181	47.5	44.8	35.9	26.0	21.0	5.0	14.4
川越比企地域	253	47.8	47.8	37.5	28.1	21.7	4.3	8.3
西部地域	271	47.2	42.1	41.0	31.0	16.2	8.1	8.1
利根地域	217	42.9	53.0	36.4	26.7	15.7	3.2	16.1
北部地域	166	51.8	53.6	34.3	27.7	23.5	3.0	7.2
秩父地域	32	65.6	46.9	37.5	28.1	31.3	15.6	6.3
性別								
男性	1,010	48.9	44.1	43.2	34.1	17.9	6.3	9.6
女性	1,330	52.3	48.9	34.9	26.5	22.6	4.8	10.0
年代別								
18・19歳	32	34.4	40.6	28.1	31.3	3.1	-	6.3
20歳代	180	48.9	35.0	39.4	23.3	13.3	7.2	6.1
【再掲】10歳代・20歳代	212	46.7	35.8	37.7	24.5	11.8	6.1	6.1
30歳代	256	61.3	42.6	37.9	30.1	18.8	10.5	7.8
40歳代	361	51.8	46.0	40.4	28.8	17.7	6.9	6.6
50歳代	497	53.7	46.9	42.9	29.0	21.1	5.6	5.4
60歳代	428	54.4	53.3	36.2	28.5	27.3	4.7	7.9
70歳以上	648	42.6	47.2	36.0	32.6	20.4	3.7	18.1
性・年代別								
男性／18・19歳	9	11.1	33.3	33.3	44.4	-	-	-
20歳代	78	47.4	32.1	34.6	30.8	11.5	11.5	5.1
【再掲】10歳代・20歳代	87	43.7	32.2	34.5	32.2	10.3	10.3	4.6
30歳代	109	59.6	48.6	44.0	33.9	22.9	12.8	6.4
40歳代	140	47.9	43.6	41.4	35.0	19.3	7.1	6.4
50歳代	201	48.8	40.3	46.8	29.4	12.9	4.5	6.5
60歳代	187	49.7	48.1	38.5	31.0	23.0	6.4	9.6
70歳以上	286	46.5	46.2	46.9	39.5	17.8	3.5	16.1
女性／18・19歳	23	43.5	43.5	26.1	26.1	4.3	-	8.7
20歳代	99	50.5	36.4	42.4	18.2	15.2	4.0	7.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	49.2	37.7	39.3	19.7	13.1	3.3	7.4
30歳代	135	64.4	39.3	34.1	27.4	16.3	5.9	8.9
40歳代	208	54.3	49.0	39.4	25.0	16.8	6.7	7.2
50歳代	280	57.1	51.4	40.4	29.3	26.8	6.4	5.0
60歳代	236	58.1	57.2	34.3	27.1	30.9	3.4	5.9
70歳以上	349	39.8	49.0	26.9	26.6	22.9	3.4	19.8
職業別								
自営業・家族従業（計）	183	46.4	45.9	38.8	37.7	21.9	9.3	9.8
雇用者（計）	1,293	55.9	46.2	40.3	27.4	20.5	6.3	6.6
無職（計）	909	44.8	47.3	36.1	31.1	20.5	4.2	13.8
ライフステージ別								
独身期	280	50.7	40.0	36.1	29.6	16.4	7.5	4.6
家族形成期	151	62.3	35.8	41.1	22.5	16.6	9.9	9.9
家族成長前期	205	57.6	47.3	38.0	31.7	17.6	4.9	6.8
家族成長後期	166	65.1	54.8	38.6	27.1	22.9	4.8	3.0
家族成熟期	373	51.2	42.6	38.1	29.2	20.4	5.9	11.0
高齢期	611	49.1	52.5	37.6	32.9	24.5	3.6	11.3
その他	660	42.9	45.8	38.9	28.0	18.9	6.1	14.1

(18-4) 県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望

◇「観光情報」が45.3%で第1位、次いで「お祭り・イベント情報」が44.3%

問16(4) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(〇はいくつでも)



※令和6年度までは「県が行っている施策の紹介」

県の広報テレビ・ラジオ番組に求める内容では、「観光情報（花・歴史名所・施設等）」（45.3%）が4割台半ばと最も高く、次いで「お祭り・イベント情報」（44.3%）、「旬のもの（食べ物・農産物）」（36.1%）、「あまり知られていないような情報」（32.8%）、「県の施策の紹介」（27.8%）の順となっている。

【過去調査との比較】

令和6年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は秩父地域（59.4%）で約6割と最も高く、南西部地域（34.8%）で最も低くなっている。「お祭り・イベント情報」と「旬のもの（食べ物・農産物）」も秩父地域（50.0%・43.8%）で最も高くなっている。

② 性別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は女性（49.2%）の方が男性（41.8%）よりも7.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は60歳代（54.9%）で5割台半ばと最も高く、「お祭り・イベント情報」は30歳代（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は女性60歳代（61.0%）で6割強と最も高く、「お祭り・イベント情報」は女性30歳代（62.2%）で6割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は無職（計）（48.4％）で5割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は高齢期（52.2％）で5割強と最も高くなっている。

○県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	観光情報（花・歴史名所・施設等）	お祭り・イベント情報	旬のもの（食べ物・農産物）	あまり知られていない情報	県の施策の紹介	その他	無回答
全体	2,446	45.3	44.3	36.1	32.8	27.8	4.8	11.3
地域別								
南部地域	245	41.6	43.3	35.9	32.7	24.5	6.1	11.4
南西部地域	224	34.8	43.8	35.7	32.1	25.0	4.5	13.8
東部地域	363	46.6	44.4	37.5	34.2	27.5	6.1	9.9
さいたま地域	447	49.2	48.8	38.9	33.3	32.9	4.7	8.7
県央地域	181	42.5	37.6	37.0	29.3	26.5	7.2	18.2
川越比企地域	253	47.4	45.1	31.6	34.4	28.9	5.1	8.3
西部地域	271	47.6	49.8	35.1	32.5	26.2	4.1	8.5
利根地域	217	44.2	35.5	30.9	33.6	26.3	1.8	16.1
北部地域	166	48.2	46.4	40.4	31.9	28.9	1.8	9.6
秩父地域	32	59.4	50.0	43.8	34.4	31.3	12.5	3.1
性別								
男性	1,010	41.8	45.4	32.4	33.8	35.6	5.8	10.8
女性	1,330	49.2	44.2	38.9	32.5	22.6	4.0	10.8
年代別								
18・19歳	32	34.4	59.4	21.9	25.0	18.8	-	6.3
20歳代	180	35.0	55.6	32.2	30.6	26.1	2.8	6.1
【再掲】10歳代・20歳代	212	34.9	56.1	30.7	29.7	25.0	2.4	6.1
30歳代	256	37.1	60.2	39.8	34.0	27.7	6.6	8.2
40歳代	361	41.6	57.3	43.2	34.9	24.4	6.4	7.5
50歳代	497	46.1	45.1	39.8	38.2	27.4	5.2	5.2
60歳代	428	54.9	41.6	33.6	32.2	28.7	5.6	8.9
70歳以上	648	47.8	29.2	31.3	29.2	31.0	3.2	21.3
性・年代別								
男性／18・19歳	9	22.2	33.3	22.2	33.3	44.4	-	-
20歳代	78	30.8	56.4	28.2	25.6	35.9	2.6	7.7
【再掲】10歳代・20歳代	87	29.9	54.0	27.6	26.4	36.8	2.3	6.9
30歳代	109	39.4	60.6	39.4	45.0	33.9	8.3	6.4
40歳代	140	42.9	60.7	44.3	32.1	28.6	7.1	5.7
50歳代	201	36.3	46.8	36.8	34.8	34.8	6.0	6.0
60歳代	187	47.6	40.1	26.2	33.2	34.8	6.4	10.7
70歳以上	286	45.8	32.2	26.2	32.2	40.6	4.9	19.6
女性／18・19歳	23	39.1	69.6	21.7	21.7	8.7	-	8.7
20歳代	99	39.4	54.5	34.3	34.3	19.2	3.0	5.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	39.3	57.4	32.0	32.0	17.2	2.5	5.7
30歳代	135	36.3	62.2	40.0	25.9	23.0	4.4	9.6
40歳代	208	42.3	56.3	43.8	36.5	22.6	5.3	8.7
50歳代	280	53.9	43.6	41.4	41.1	22.5	5.0	4.6
60歳代	236	61.0	43.2	39.8	30.9	24.2	5.1	6.8
70歳以上	349	49.9	26.6	35.2	26.9	23.2	2.0	22.1
職業別								
自営業・家族従業（計）	183	40.4	37.2	32.2	37.7	31.1	7.1	8.7
雇用者（計）	1,293	44.4	51.9	39.9	34.6	27.1	5.2	6.7
無職（計）	909	48.4	36.2	31.9	29.9	28.7	4.0	16.8
ライフステージ別								
独身期	280	35.7	57.1	36.8	32.1	25.7	4.3	5.0
家族形成期	151	35.8	60.3	34.4	38.4	27.2	4.0	9.3
家族成長前期	205	44.9	62.4	41.0	30.7	23.9	4.4	6.8
家族成長後期	166	48.8	61.4	41.6	33.7	24.7	4.2	4.2
家族成熟期	373	46.9	38.9	36.2	31.9	28.4	5.1	11.5
高齢期	611	52.2	34.4	31.8	31.8	30.4	4.1	14.9
その他	660	43.6	37.4	37.1	33.6	28.2	6.1	14.2

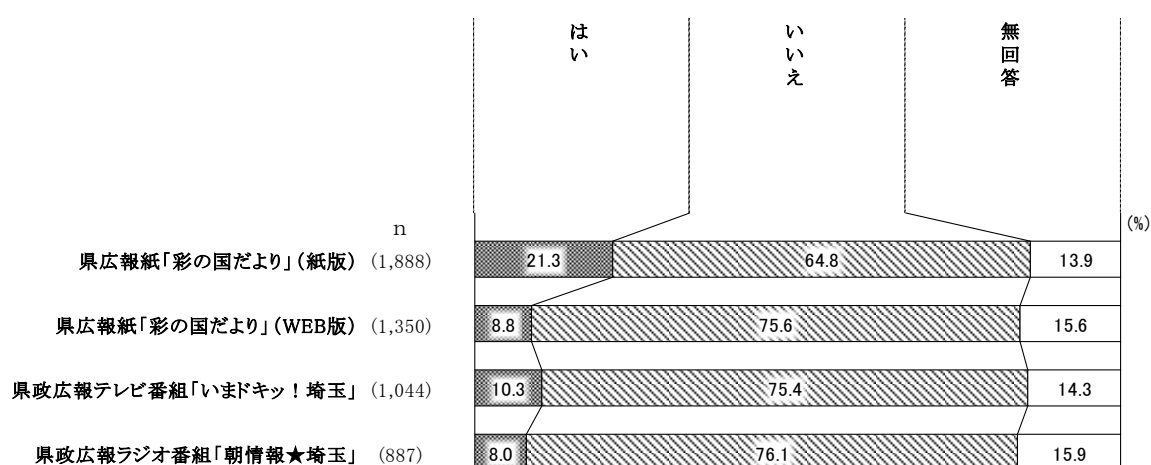
(18-5) 広報媒体がきっかけとなったか

◇県広報紙「彩の国だより」(紙版)がインターネット等で詳しく調べるきっかけとなった人は21.3%

(問16(1)で「1. 毎回読んでいる(見ている・聴いている)」から「4. 読んだこと(見たこと・聴いたこと)がない」とお答えの方にお伺いします。)

問16(5) あなたは、県の広報媒体(県広報紙、広報テレビ番組、広報ラジオ番組)で見たり聴いたりした情報を、インターネット等で詳しく調べたことはありますか。また、イベント等に申し込んだり、出かけたりしたことがありますか。そのきっかけとなったかどうかおたずねします。

■インターネット等で詳しく調べるきっかけ



インターネット等で詳しく調べるきっかけとなったかは、「はい」は県広報紙「彩の国だより」(紙版)(21.3%)が2割強と最も高く、次いで県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(10.3%)、県広報紙「彩の国だより」(WEB版)(8.8%)、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(8.0%)となっている。

（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）

県広報紙「彩の国だより」（紙版）がインターネット等で詳しく調べるきっかけとなったかは、「はい」（21.3%）が2割強、「いいえ」（64.8%）が6割台半ばとなっている。

【属性別比較】

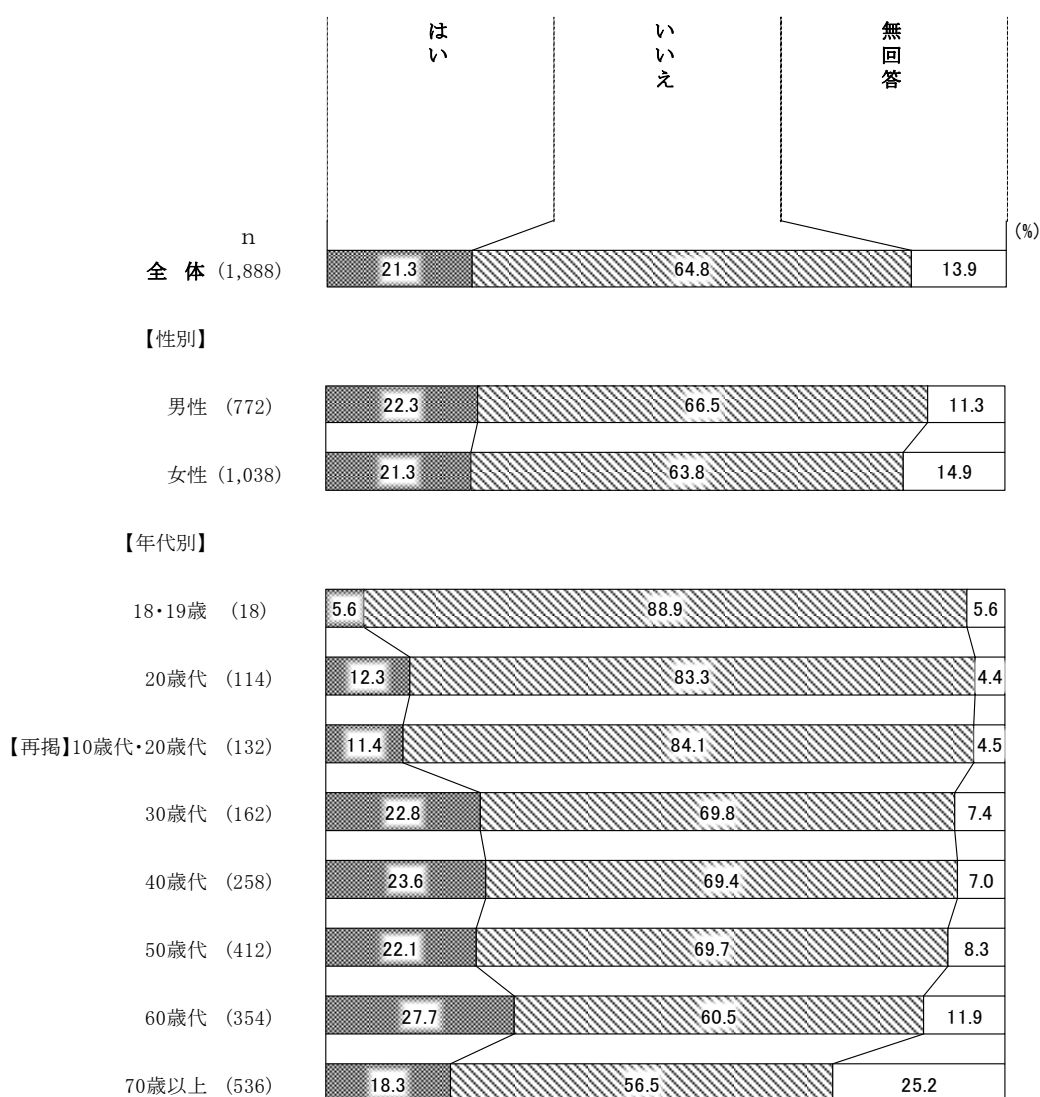
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は60歳代（27.7%）で2割台半ばを超えて最も高く、10歳代・20歳代（11.4%）で最も低くなっている。

○「（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」はさいたま地域（26.3％）で2割台半ばを超えて最も高く、南西部地域（15.3％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は女性 60 歳代（28.4％）で3割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）（23.5％）で2割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は家族成長前期（27.1％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「（1）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査 数 n	はい	いいえ	(%) 無 回 答
全 体	1,888	21.3	64.8	13.9
地域別				
南部地域	181	23.2	66.3	10.5
南西部地域	170	15.3	65.9	18.8
東部地域	274	18.6	67.2	14.2
さいたま地域	372	26.3	62.6	11.0
県央地域	133	21.1	65.4	13.5
川越比企地域	187	20.9	67.4	11.8
西部地域	211	19.9	70.1	10.0
利根地域	167	22.8	58.1	19.2
北部地域	133	19.5	65.4	15.0
秩父地域	22	36.4	54.5	9.1
性・年代別				
男性／18・19歳	6	16.7	83.3	－
20歳代	47	12.8	83.0	4.3
【再掲】10歳代・20歳代	53	13.2	83.0	3.8
30歳代	66	22.7	68.2	9.1
40歳代	100	27.0	65.0	8.0
50歳代	168	20.8	70.8	8.3
60歳代	147	26.5	66.0	7.5
70歳以上	238	20.6	60.1	19.3
女性／18・19歳	12	－	91.7	8.3
20歳代	64	12.5	84.4	3.1
【再掲】10歳代・20歳代	76	10.5	85.5	3.9
30歳代	89	21.3	71.9	6.7
40歳代	149	22.1	71.8	6.0
50歳代	233	23.6	67.8	8.6
60歳代	204	28.4	56.4	15.2
70歳以上	287	16.7	53.3	30.0
職業別				
自営業・家族従業（計）	141	19.9	68.8	11.3
雇用者（計）	976	23.5	67.5	9.0
無職（計）	725	19.2	61.5	19.3
ライフステージ別				
独身期	183	12.0	80.3	7.7
家族形成期	88	22.7	72.7	4.5
家族成長前期	144	27.1	68.8	4.2
家族成長後期	135	23.0	71.9	5.2
家族成熟期	307	23.8	63.2	13.0
高齢期	526	24.0	57.8	18.3
その他	505	18.2	63.0	18.8

（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）

県広報紙「彩の国だより」（WEB版）がインターネット等で詳しく調べるきっかけとなったかは、「はい」（8.8％）が1割弱、「いいえ」（75.6％）が7割台半ばとなっている。

【属性別比較】

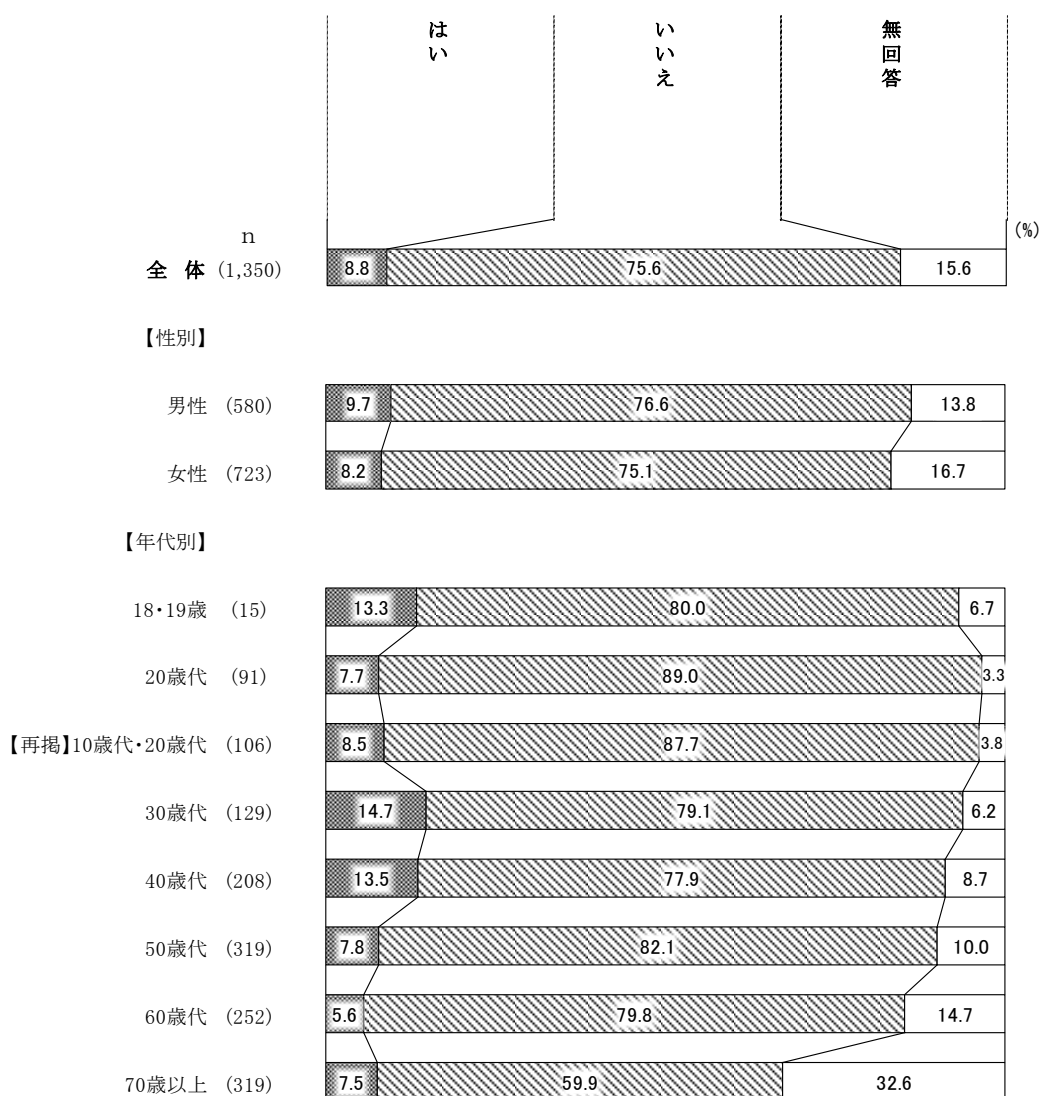
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は30歳代（14.7％）で1割台半ばと最も高く、60歳代（5.6％）で最も低くなっている。

○「（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は川越比企地域（14.1％）で1割台半ばを超えて最も高く、県央地域（3.3％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は男性40歳代（17.6％）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）（10.8％）で1割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は家族成長前期（15.4％）で1割台半ばと最も高くなっている。

○「（2）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	(%) 無回答
全 体	1,350	8.8	75.6	15.6
地域別				
南部地域	123	13.0	70.7	16.3
南西部地域	127	7.9	73.2	18.9
東部地域	196	5.6	77.6	16.8
さいたま地域	256	9.0	76.2	14.8
県央地域	91	3.3	76.9	19.8
川越比企地域	149	14.1	72.5	13.4
西部地域	150	6.7	82.7	10.7
利根地域	120	10.0	72.5	17.5
北部地域	100	8.0	80.0	12.0
秩父地域	19	21.1	73.7	5.3
性・年代別				
男性／18・19歳	6	16.7	83.3	－
20歳代	40	7.5	87.5	5.0
【再掲】10歳代・20歳代	46	8.7	87.0	4.3
30歳代	52	9.6	82.7	7.7
40歳代	85	17.6	70.6	11.8
50歳代	135	8.9	84.4	6.7
60歳代	106	6.6	84.9	8.5
70歳以上	156	8.3	62.2	29.5
女性／18・19歳	9	11.1	77.8	11.1
20歳代	50	8.0	90.0	2.0
【再掲】10歳代・20歳代	59	8.5	88.1	3.4
30歳代	71	16.9	77.5	5.6
40歳代	116	10.3	82.8	6.9
50歳代	175	6.9	80.0	13.1
60歳代	144	4.9	75.7	19.4
70歳以上	158	7.0	57.6	35.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	108	5.6	81.5	13.0
雇用者（計）	759	10.8	79.4	9.7
無職（計）	458	6.6	68.8	24.7
ライフステージ別				
独身期	139	8.6	84.2	7.2
家族形成期	74	13.5	83.8	2.7
家族成長前期	117	15.4	80.3	4.3
家族成長後期	108	9.3	83.3	7.4
家族成熟期	219	7.8	78.1	14.2
高齢期	357	7.8	67.8	24.4
その他	336	7.1	72.6	20.2

（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」がインターネット等で詳しく調べるきっかけとなったかは、「はい」（10.3％）が1割を超え、「いいえ」（75.4％）が7割台半ばとなっている。

【属性別比較】

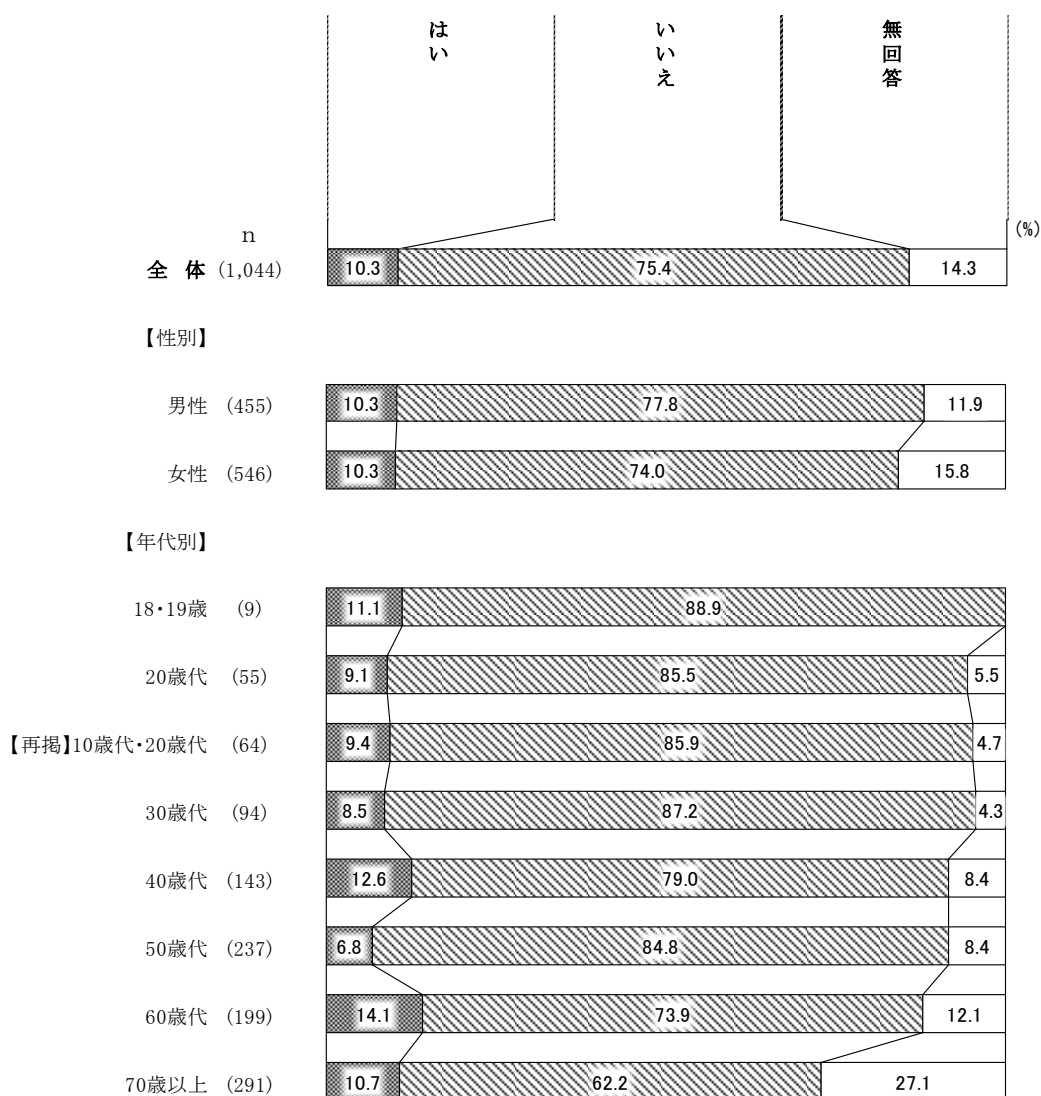
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は60歳代（14.1％）で1割台半ばと最も高く、50歳代（6.8％）で最も低くなっている。

○「（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は利根地域（16.3％）で1割台半ばを超えて最も高く、東部地域（4.6％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝13）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は女性 60 歳代（15.9％）で1割台半ばと最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n＝28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「はい」は無職（計）（12.3％）で1割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は高齢期（12.6％）で1割強と最も高くなっている。

○「(3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	無回答
全 体	1,044	10.3	75.4	14.3
地域別				
南部地域	82	15.9	62.2	22.0
南西部地域	99	11.1	68.7	20.2
東部地域	130	4.6	81.5	13.8
さいたま地域	202	8.9	76.7	14.4
県央地域	84	9.5	72.6	17.9
川越比企地域	118	11.9	81.4	6.8
西部地域	118	7.6	86.4	5.9
利根地域	104	16.3	69.2	14.4
北部地域	77	13.0	71.4	15.6
秩父地域	13	7.7	84.6	7.7
性・年代別				
男性／18・19歳	4	25.0	75.0	—
20歳代	24	8.3	83.3	8.3
【再掲】10歳代・20歳代	28	10.7	82.1	7.1
30歳代	35	8.6	88.6	2.9
40歳代	60	8.3	80.0	11.7
50歳代	110	7.3	84.5	8.2
60歳代	89	12.4	79.8	7.9
70歳以上	133	12.8	66.2	21.1
女性／18・19歳	5	—	100.0	—
20歳代	30	6.7	90.0	3.3
【再掲】10歳代・20歳代	35	5.7	91.4	2.9
30歳代	52	7.7	86.5	5.8
40歳代	77	15.6	77.9	6.5
50歳代	120	5.8	85.0	9.2
60歳代	107	15.9	69.2	15.0
70歳以上	155	9.0	58.7	32.3
職業別				
自営業・家族従業（計）	82	4.9	85.4	9.8
雇用者（計）	550	9.6	82.0	8.4
無職（計）	389	12.3	65.3	22.4
ライフステージ別				
独身期	89	9.0	84.3	6.7
家族形成期	55	10.9	85.5	3.6
家族成長前期	79	10.1	84.8	5.1
家族成長後期	79	7.6	88.6	3.8
家族成熟期	170	10.0	78.2	11.8
高齢期	301	12.6	66.1	21.3
その他	271	9.2	72.3	18.5

（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」がインターネット等で詳しく調べるきっかけとなったかは、「はい」（8.0％）が1割弱、「いいえ」（76.1％）が7割台半ばを超えている。

【属性別比較】

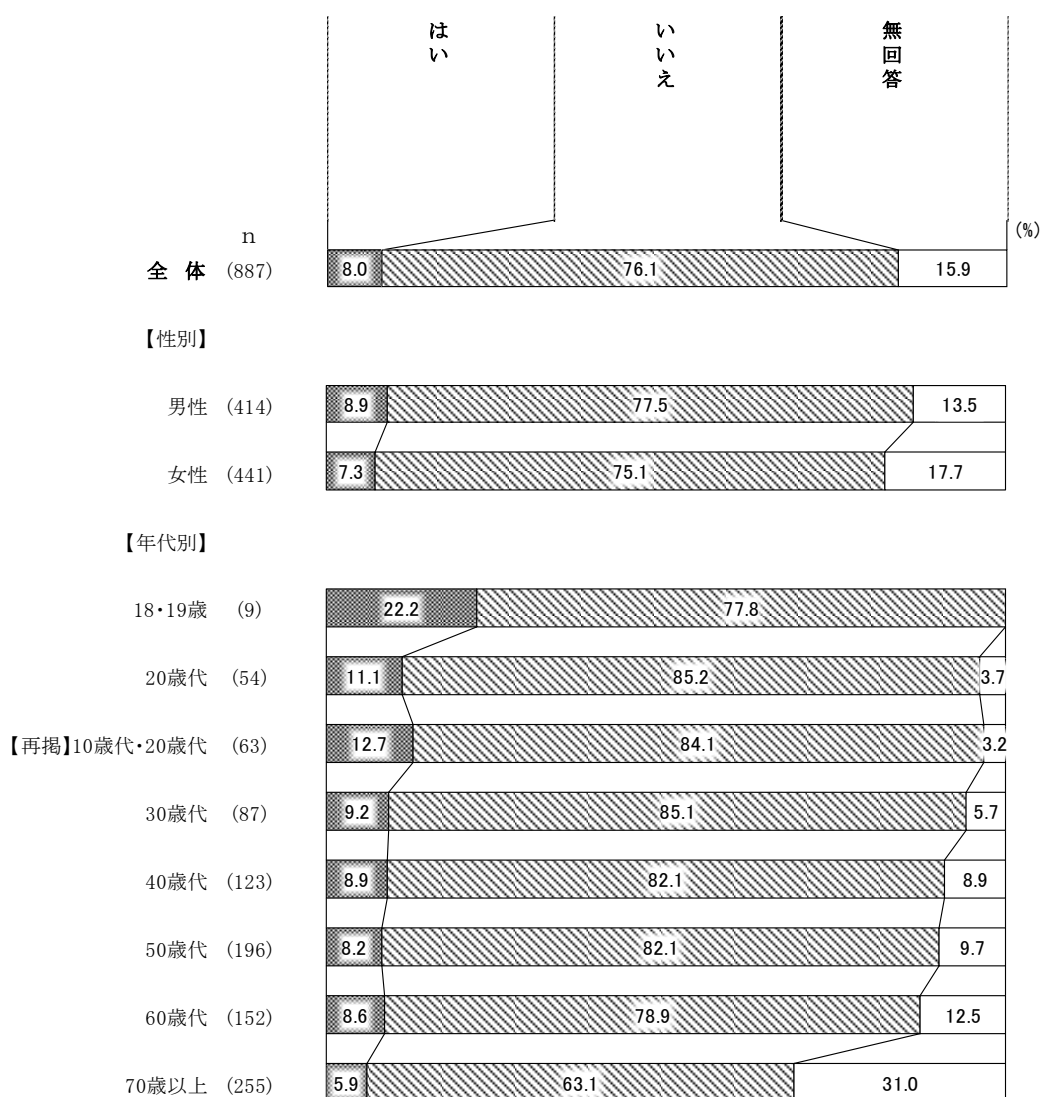
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」はおおむね年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代（12.7％）で1割強と最も高くなっている。

○「（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は川越比企地域（15.5％）で1割台半ばと最も高く、西部地域（4.5％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝15）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は男性 30 歳代（15.2％）で1割台半ばと最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n＝28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）（9.2％）で約1割と最も高くなっている。

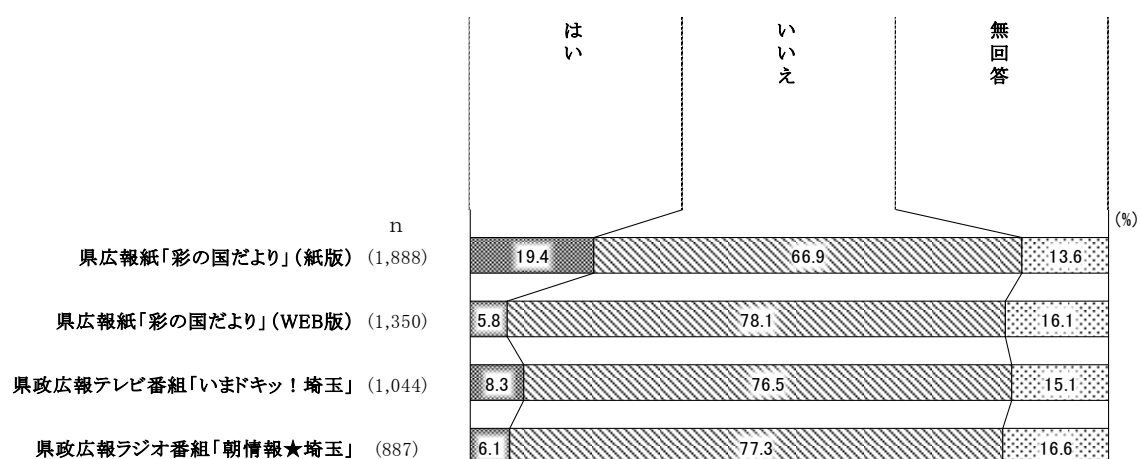
⑥ ライフステージ別

「はい」は家族形成期（14.0％）で1割台半ばと最も高くなっている。

○「（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	無回答
全 体	887	8.0	76.1	15.9
地域別				
南部地域	63	4.8	73.0	22.2
南西部地域	85	5.9	70.6	23.5
東部地域	106	5.7	80.2	14.2
さいたま地域	166	7.2	78.3	14.5
県央地域	75	5.3	78.7	16.0
川越比企地域	103	15.5	74.8	9.7
西部地域	112	4.5	86.6	8.9
利根地域	89	10.1	67.4	22.5
北部地域	62	14.5	69.4	16.1
秩父地域	15	13.3	80.0	6.7
性・年代別				
男性／18・19歳	4	25.0	75.0	—
20歳代	24	8.3	83.3	8.3
【再掲】10歳代・20歳代	28	10.7	82.1	7.1
30歳代	33	15.2	81.8	3.0
40歳代	55	5.5	81.8	12.7
50歳代	98	10.2	81.6	8.2
60歳代	77	9.1	83.1	7.8
70歳以上	123	7.3	66.7	26.0
女性／18・19歳	5	20.0	80.0	—
20歳代	29	13.8	86.2	—
【再掲】10歳代・20歳代	34	14.7	85.3	—
30歳代	49	6.1	85.7	8.2
40歳代	63	11.1	82.5	6.3
50歳代	93	5.4	82.8	11.8
60歳代	73	8.2	74.0	17.8
70歳以上	129	4.7	59.7	35.7
職業別				
自営業・家族従業（計）	72	6.9	80.6	12.5
雇用者（計）	478	9.2	81.8	9.0
無職（計）	320	6.9	67.5	25.6
ライフステージ別				
独身期	87	12.6	81.6	5.7
家族形成期	50	14.0	82.0	4.0
家族成長前期	68	5.9	88.2	5.9
家族成長後期	64	4.7	90.6	4.7
家族成熟期	138	10.9	76.1	13.0
高齢期	252	6.0	69.0	25.0
その他	228	7.0	72.8	20.2

■イベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけ



イベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなったかは、「はい」は県広報紙「彩の国だより」(紙版)(19.4%)が約2割と最も高く、次いで県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(8.3%)、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(6.1%)、県広報紙「彩の国だより」(WEB版)(5.8%)となっている。

（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）

県広報紙「彩の国だより」（紙版）がイベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなったかは、「はい」（19.4％）が約２割、「いいえ」（66.9％）が６割台半ばを超えている。

【属性別比較】

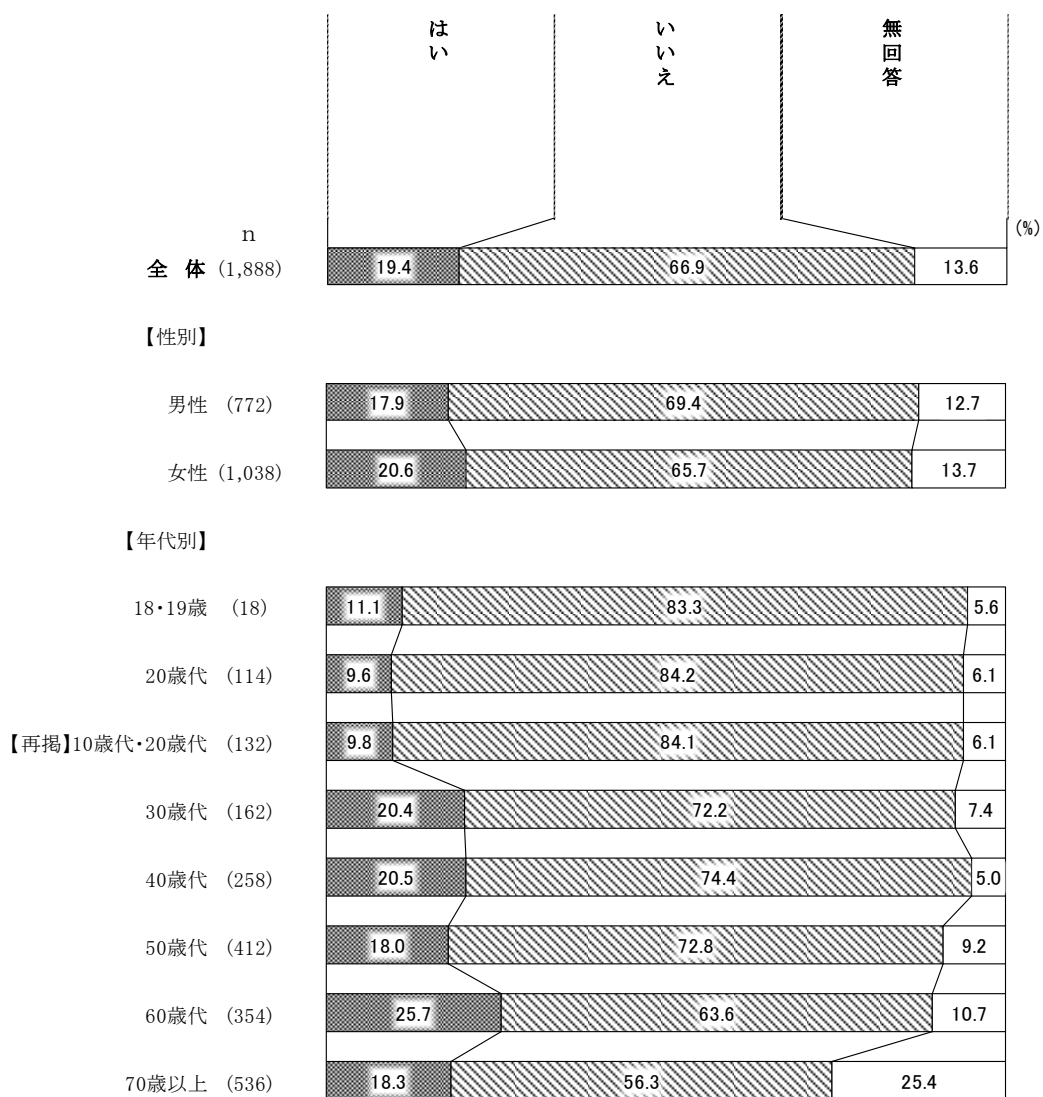
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は60歳代（25.7％）で２割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代（9.8％）で最も低くなっている。

○「（１）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」はさいたま地域（28.5％）で2割弱と最も高く、南西部地域（13.5％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は女性 60 歳代（26.0％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）（20.2％）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は家族成長前期（24.3％）で2割台半ばと最も高くなっている。

○「（1）県広報紙「彩の国だより」（紙版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査 数 n	はい	いいえ	(%) 無 回 答
全 体	1,888	19.4	66.9	13.6
地域別				
南部地域	181	21.5	65.2	13.3
南西部地域	170	13.5	68.8	17.6
東部地域	274	17.5	70.1	12.4
さいたま地域	372	28.5	60.5	11.0
県央地域	133	18.8	65.4	15.8
川越比企地域	187	15.0	73.8	11.2
西部地域	211	14.7	73.5	11.8
利根地域	167	19.2	64.1	16.8
北部地域	133	18.0	68.4	13.5
秩父地域	22	22.7	68.2	9.1
性・年代別				
男性／18・19歳	6	16.7	83.3	－
20歳代	47	10.6	85.1	4.3
【再掲】10歳代・20歳代	53	11.3	84.9	3.8
30歳代	66	22.7	68.2	9.1
40歳代	100	23.0	70.0	7.0
50歳代	168	12.5	78.6	8.9
60歳代	147	24.5	66.7	8.8
70歳以上	238	15.5	61.3	23.1
女性／18・19歳	12	8.3	83.3	8.3
20歳代	64	7.8	85.9	6.3
【再掲】10歳代・20歳代	76	7.9	85.5	6.6
30歳代	89	18.0	75.3	6.7
40歳代	149	19.5	76.5	4.0
50歳代	233	21.5	68.7	9.9
60歳代	204	26.0	61.8	12.3
70歳以上	287	20.9	52.3	26.8
職業別				
自営業・家族従業（計）	141	17.7	68.1	14.2
雇用者（計）	976	20.2	71.1	8.7
無職（計）	725	19.0	62.2	18.8
ライフステージ別				
独身期	183	12.0	80.3	7.7
家族形成期	88	19.3	72.7	8.0
家族成長前期	144	24.3	70.8	4.9
家族成長後期	135	19.3	74.8	5.9
家族成熟期	307	21.2	65.8	13.0
高齢期	526	22.4	59.9	17.7
その他	505	16.6	65.9	17.4

（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）

県広報紙「彩の国だより」（WEB版）がイベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなったかは、「はい」が5.8%、「いいえ」（78.1%）が8割弱となっている。

【属性別比較】

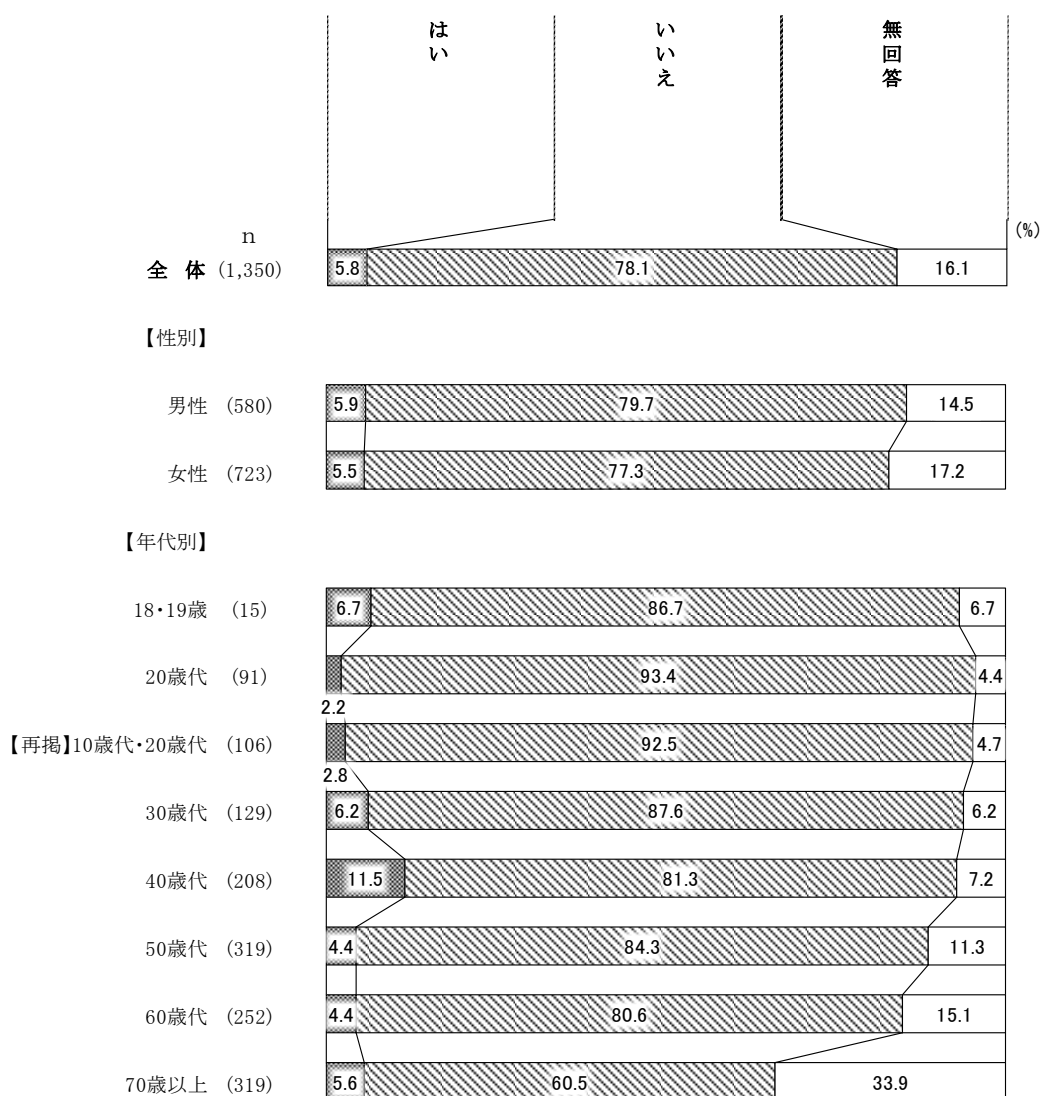
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は40歳代（11.5%）で1割強と最も高く、それ以外の年代では1割未満となっている。

○「（２）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は川越比企地域（9.4％）で1割弱と最も高く、県央地域（1.1％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は男性 40 歳代（14.1％）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）（6.6％）と無職（計）（5.2％）が自営業・家族従業（計）（2.8％）と比べ高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は家族成長前期（9.4％）で約1割と最も高くなっている。

○「（2）県広報紙「彩の国だより」（WEB版）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	(%) 無回答
全 体	1,350	5.8	78.1	16.1
地域別				
南部地域	123	7.3	73.2	19.5
南西部地域	127	4.7	78.0	17.3
東部地域	196	4.1	78.6	17.3
さいたま地域	256	7.0	78.1	14.8
県央地域	91	1.1	74.7	24.2
川越比企地域	149	9.4	77.2	13.4
西部地域	150	6.7	80.7	12.7
利根地域	120	5.0	79.2	15.8
北部地域	100	4.0	85.0	11.0
秩父地域	19	10.5	84.2	5.3
性・年代別				
男性／18・19歳	6	16.7	83.3	－
20歳代	40	2.5	92.5	5.0
【再掲】10歳代・20歳代	46	4.3	91.3	4.3
30歳代	52	5.8	86.5	7.7
40歳代	85	14.1	75.3	10.6
50歳代	135	3.0	90.4	6.7
60歳代	106	5.7	84.9	9.4
70歳以上	156	4.5	63.5	32.1
女性／18・19歳	9	－	88.9	11.1
20歳代	50	2.0	94.0	4.0
【再掲】10歳代・20歳代	59	1.7	93.2	5.1
30歳代	71	5.6	88.7	5.6
40歳代	116	9.5	85.3	5.2
50歳代	175	4.6	80.0	15.4
60歳代	144	3.5	77.1	19.4
70歳以上	158	7.0	57.6	35.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	108	2.8	81.5	15.7
雇用者（計）	759	6.6	83.3	10.1
無職（計）	458	5.2	69.9	24.9
ライフステージ別				
独身期	139	2.9	89.9	7.2
家族形成期	74	6.8	89.2	4.1
家族成長前期	117	9.4	85.5	5.1
家族成長後期	108	5.6	86.1	8.3
家族成熟期	219	5.5	80.4	14.2
高齢期	357	5.6	68.3	26.1
その他	336	6.0	74.7	19.3

（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」がイベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなったかは、「はい」（８.３％）が１割弱、「いいえ」（７６.５％）が７割台半ばを超えている。

【属性別比較】

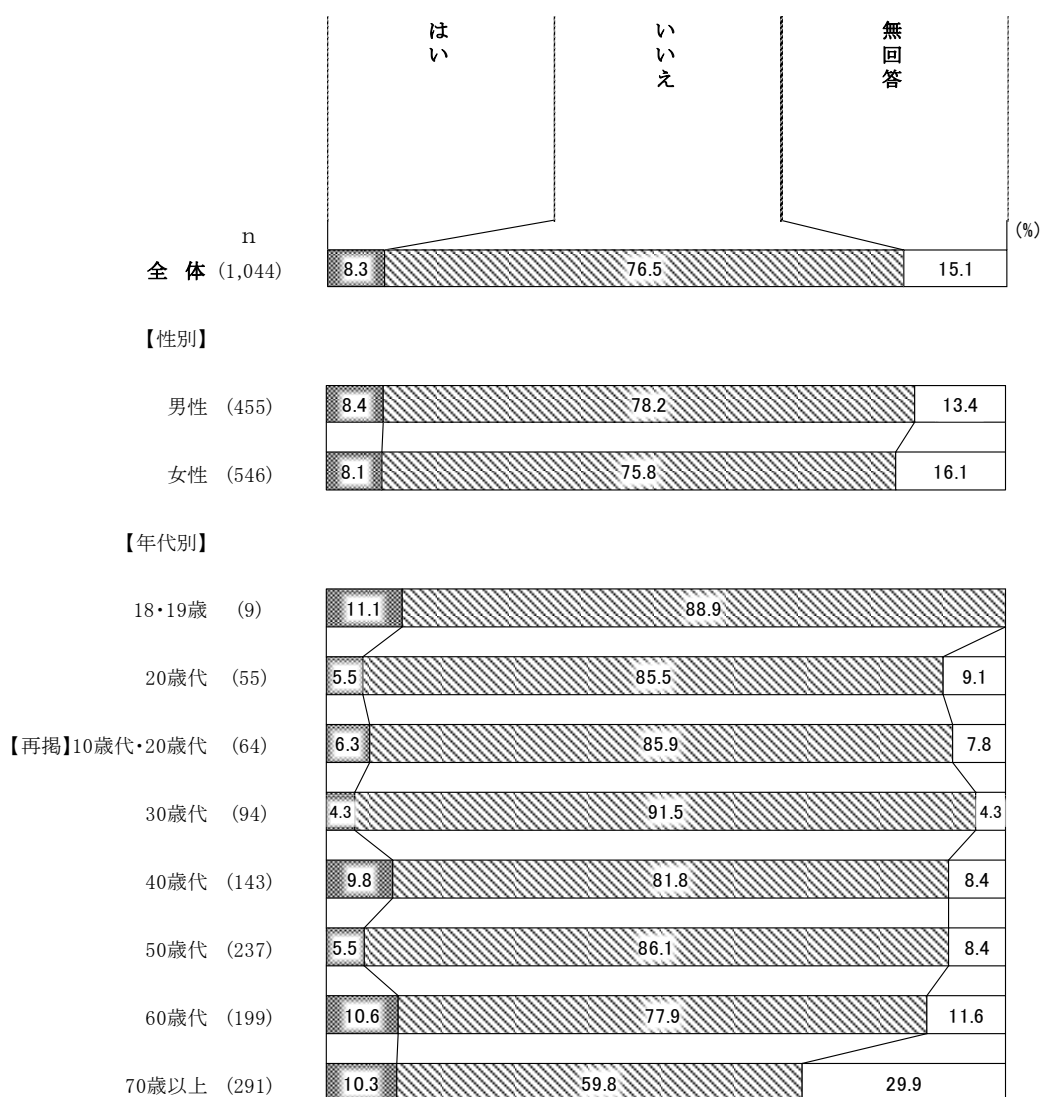
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は６０歳代（１０.６％）と７０歳以上（１０.３％）で１割を超えて高く、それ以外の年代では１割未満となっている。

○「（３）県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は利根地域（16.3％）で1割台半ばを超えて最も高く、東部地域（3.8％）で最も低くなっている。

※秩父地域（n＝13）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は女性 70 歳以上（11.6％）で1割強と最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n＝28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「はい」は無職（計）（9.5％）で約1割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は高齢期（11.6％）で1割強と最も高く、それ以外のライフステージでは1割未満となっている。

○「(3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	無回答
全 体	1,044	8.3	76.5	15.1
地域別				
南部地域	82	12.2	64.6	23.2
南西部地域	99	8.1	71.7	20.2
東部地域	130	3.8	81.5	14.6
さいたま地域	202	7.9	77.7	14.4
県央地域	84	9.5	69.0	21.4
川越比企地域	118	9.3	80.5	10.2
西部地域	118	4.2	86.4	9.3
利根地域	104	16.3	72.1	11.5
北部地域	77	7.8	77.9	14.3
秩父地域	13	—	92.3	7.7
性・年代別				
男性／18・19歳	4	25.0	75.0	—
20歳代	24	8.3	83.3	8.3
【再掲】10歳代・20歳代	28	10.7	82.1	7.1
30歳代	35	2.9	94.3	2.9
40歳代	60	10.0	78.3	11.7
50歳代	110	5.5	87.3	7.3
60歳代	89	11.2	80.9	7.9
70歳以上	133	9.0	63.9	27.1
女性／18・19歳	5	—	100.0	—
20歳代	30	3.3	86.7	10.0
【再掲】10歳代・20歳代	35	2.9	88.6	8.6
30歳代	52	5.8	88.5	5.8
40歳代	77	9.1	84.4	6.5
50歳代	120	4.2	85.8	10.0
60歳代	107	9.3	76.6	14.0
70歳以上	155	11.6	56.1	32.3
職業別				
自営業・家族従業（計）	82	6.1	79.3	14.6
雇用者（計）	550	7.8	83.8	8.4
無職（計）	389	9.5	67.1	23.4
ライフステージ別				
独身期	89	5.6	86.5	7.9
家族形成期	55	5.5	89.1	5.5
家族成長前期	79	6.3	88.6	5.1
家族成長後期	79	8.9	87.3	3.8
家族成熟期	170	7.1	81.8	11.2
高齢期	301	11.6	66.1	22.3
その他	271	7.4	72.3	20.3

（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」がイベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなったかは、「はい」が6.1%、「いいえ」（77.3%）が7割台半ばを超えている。

【属性別比較】

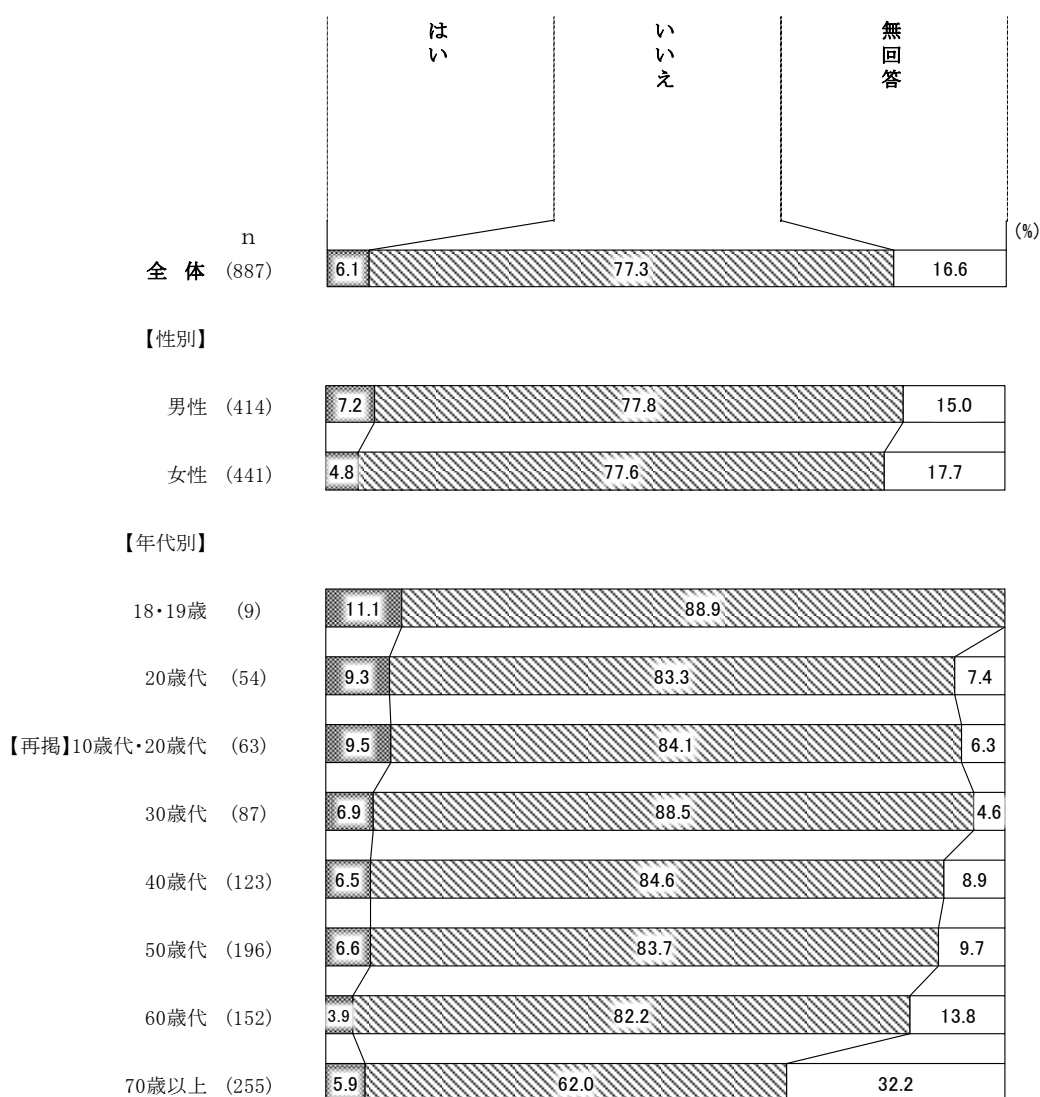
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「はい」は10歳代・20歳代（9.5%）で約1割と最も高く、60歳代（3.9%）で最も低くなっている。

○「（４）県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・性別／年代別



③ 地域別

「はい」は川越比企地域（11.7%）で1割強と最も高く、県央地域（1.3%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=15）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「はい」は男性50歳代（9.2%）と男性30歳代（9.1%）で約1割と高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n=28）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「はい」は雇用者（計）で6.7%と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「はい」は家族形成期（12.0%）で1割強と最も高く、それ以外のライフステージでは1割未満となっている。

○「(4) 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	はい	いいえ	無回答
全 体	887	6.1	77.3	16.6
地域別				
南部地域	63	6.3	69.8	23.8
南西部地域	85	4.7	72.9	22.4
東部地域	106	2.8	82.1	15.1
さいたま地域	166	7.2	78.3	14.5
県央地域	75	1.3	76.0	22.7
川越比企地域	103	11.7	76.7	11.7
西部地域	112	3.6	85.7	10.7
利根地域	89	10.1	70.8	19.1
北部地域	62	8.1	77.4	14.5
秩父地域	15	—	93.3	6.7
性・年代別				
男性／18・19歳	4	25.0	75.0	—
20歳代	24	8.3	83.3	8.3
【再掲】10歳代・20歳代	28	10.7	82.1	7.1
30歳代	33	9.1	87.9	3.0
40歳代	55	7.3	80.0	12.7
50歳代	98	9.2	83.7	7.1
60歳代	77	6.5	84.4	9.1
70歳以上	123	4.9	64.2	30.9
女性／18・19歳	5	—	100.0	—
20歳代	29	6.9	86.2	6.9
【再掲】10歳代・20歳代	34	5.9	88.2	5.9
30歳代	49	6.1	87.8	6.1
40歳代	63	4.8	88.9	6.3
50歳代	93	3.2	83.9	12.9
60歳代	73	1.4	79.5	19.2
70歳以上	129	7.0	59.7	33.3
職業別				
自営業・家族従業（計）	72	5.6	79.2	15.3
雇用者（計）	478	6.7	83.7	9.6
無職（計）	320	5.6	68.8	25.6
ライフステージ別				
独身期	87	8.0	85.1	6.9
家族形成期	50	12.0	84.0	4.0
家族成長前期	68	1.5	92.6	5.9
家族成長後期	64	9.4	85.9	4.7
家族成熟期	138	7.2	79.0	13.8
高齢期	252	6.0	69.0	25.0
その他	228	3.9	74.1	21.9

3 県政への要望 (問 17)

- 「県政への要望」は、昭和 43 年度の第 1 回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきています。

平成 16 年度において社会状況等の変化を踏まえ、平成 7 年度から平成 15 年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成 15 年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

- 令和 2 年度において社会状況等の変化を踏まえ、選択肢を一部追加しましたが、前回より削除しました。
- 平成 27 年度までは、満 20 歳以上の方を調査対象として実施しており、平成 28 年度以降は満 18 歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和 2 年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

3. 県政への要望について

◇「災害から県民をまもる」が27.4%

問17 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)

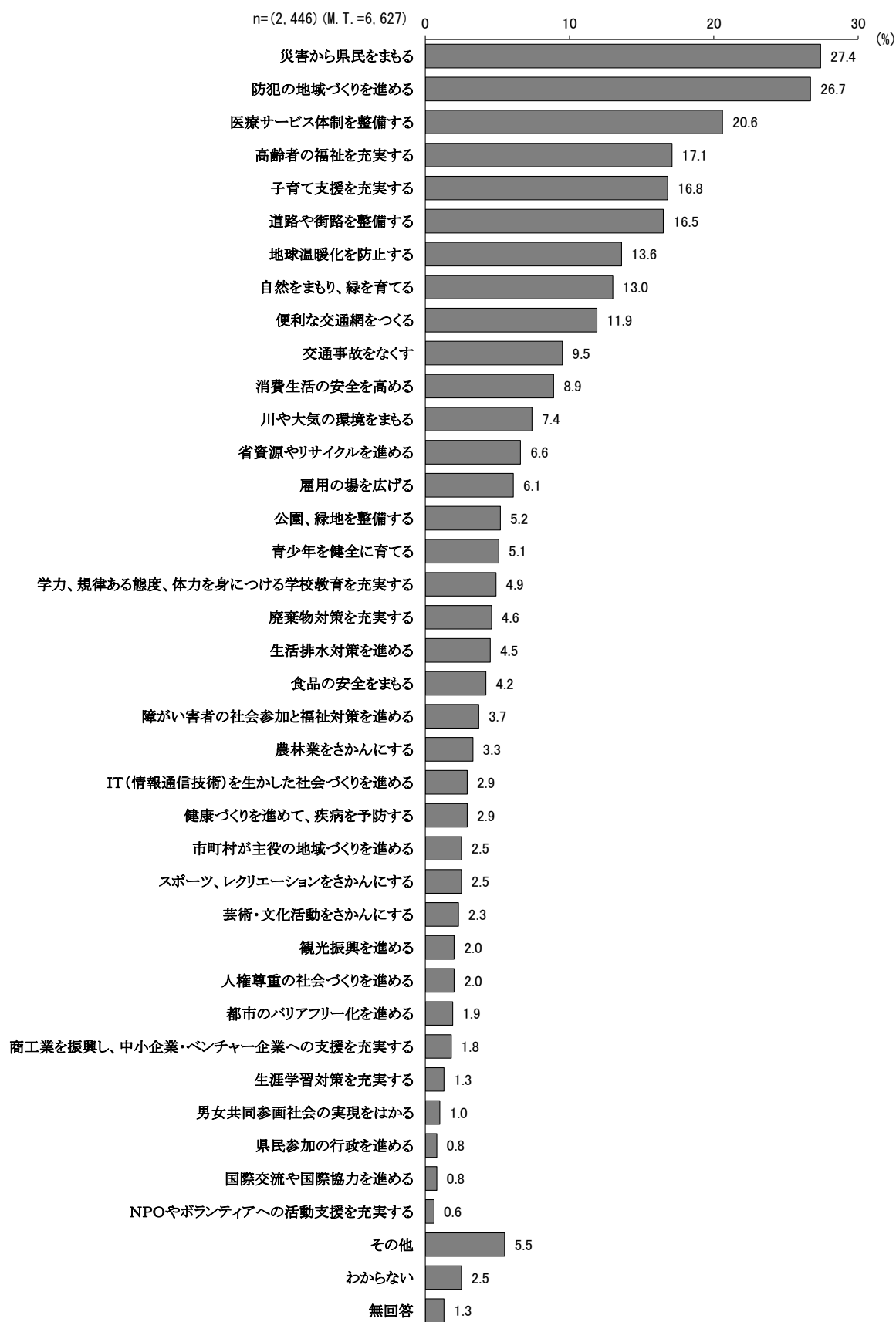
		今 回	前回（令和6年度調査）		増減差
1位	災害から県民をまもる	27.4%	24.6%	(1位)	2.8
2位	防犯の地域づくりを進める	26.7	15.9	(7位)	10.8
3位	医療サービス体制を整備する	20.6	19.9	(2位)	0.7
4位	高齢者の福祉を充実する	17.1	18.5	(4位)	△ 1.4
5位	子育て支援を充実する	16.8	18.8	(3位)	△ 2.0
6位	道路や街路を整備する	16.5	11.1	(9位)	5.4
7位	地球温暖化を防止する	13.6	17.1	(5位)	△ 3.5
8位	自然をまもり、緑を育てる	13.0	16.4	(6位)	△ 3.4
9位	便利な交通網をつくる	11.9	13.6	(8位)	△ 1.7
10位	交通事故をなくす	9.5	10.8	(10位)	△ 1.3

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の令和6年度調査を比べると、1位の「災害から県民をまもる」、4位の「高齢者の福祉を充実する」、10位の「交通事故をなくす」は順位の変化がない。2位の「防犯の地域づくりを進める」は順位を5つ上げ、3位の「医療サービス体制を整備する」と9位の「便利な交通網をつくる」は順位を1つ下げている。また、5位の「子育て支援を充実する」、7位の「地球温暖化を防止する」、8位の「自然をまもり、緑を育てる」は順位2つ下げ、6位の「道路や街路を整備する」は順位を3つ上げている。

前回調査との増減をみると、「防犯の地域づくりを進める」(10.8ポイント増)、「道路や街路を整備する」(5.4ポイント増)、「災害から県民をまもる」(2.8ポイント増)、「医療サービス体制を整備する」(0.7ポイント増)が増加し、他の項目は減少している。

○「県政」への要望について



【上位10位の属性別比較】

□第1位／災害から県民をまもる

地域別では東部地域（33.3％）で3割強と最も高く、秩父地域（18.8％）で最も低くなっている。
年代別では50歳代（32.0％）で3割強と最も高く、10歳代・20歳代（14.6％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性60歳代（33.7％）で3割強と最も高く、女性10歳代・20歳代（12.3％）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（28.4％）で3割弱と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族成長後期（34.9％）で3割台半ばと最も高く、家族形成期（16.6％）で最も低くなっている。

□第2位／防犯の地域づくりを進める

地域別では南部地域（34.7％）で3割台半ばと最も高く、秩父地域（18.8％）で最も低くなっている。

年代別では40歳代（34.1％）で3割半ばと最も高く、70歳以上（17.4％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性40歳代（37.9％）で3割台半ばを超えて最も高く、女性70歳以上（14.9％）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（32.2％）で3割強と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族成長後期（38.6％）で4割弱と最も高く、高齢期（21.6％）で最も低くなっている。

□第3位／医療サービス体制を整備する

地域別では秩父地域（53.1％）で5割強と最も高く、西部地域（14.8％）で最も低くなっている。

年代別では50歳代（24.5％）で2割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代（12.3％）で最も低くなっている。

性・年代別では女性50歳代（27.9％）で2割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（8.0％）で最も低くなっている。

職業別では無職（計）（22.0％）で2割強と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族成熟期（27.1％）で2割台半ばを超えて最も高く、独身期（11.8％）で最も低くなっている。

□第4位／高齢者の福祉を充実する

地域別では利根地域（24.4％）で2割台半ばと最も高く、北部地域（11.4％）で最も低くなっている。

年代別では70歳以上（30.7％）で3割を超えて最も高く、30歳代（2.0％）で最も低くなっている。

性・年代別では女性70歳以上（32.7％）で3割強と最も高く、男性30歳代（1.8％）で最も低くなっている。

職業別では無職（計）（24.2％）で2割台半ばと最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（25.4％）で2割台半ばと最も高く、独身期（2.9％）で最も低くなっている。

□第5位／子育て支援を充実する

地域別では秩父地域（21.9％）で2割強と最も高く、利根地域（9.7％）で最も低くなっている。
年代別では30歳代（44.5％）で4割台半ばと最も高く、70歳以上（5.7％）で最も低くなっている。
性・年代別では女性30歳代（51.1％）で5割強と最も高く、女性70歳以上（4.0％）で最も低くなっている。

職業別では雇用者（計）（22.4％）で2割強と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（66.2％）で6割台半ばを超えて最も高く、その他（3.3％）で最も低くなっている。

□第6位／道路や街路を整備する

地域別では南西部地域（19.6％）で約2割と最も高く、秩父地域（3.1％）で最も低くなっている。
年代別では10歳代・20歳代（24.1％）で2割台半ばと最も高く、70歳以上（11.9％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性10歳代・20歳代（25.3％）で2割台半ばと最も高く、女性70歳以上（10.9％）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（19.1％）で約2割と最も高くなっている。

ライフステージ別では独身期（22.9％）で2割強と最も高く、高齢期（13.4％）で最も低くなっている。

□第7位／地球温暖化を防止する

地域別では北部地域（19.9％）で約2割と最も高く、秩父地域（3.1％）で最も低くなっている。
性別では女性（16.0％）の方が男性（10.6％）よりも5.4ポイント高くなっている。
年代別では70歳以上（21.6％）で2割強と最も高く、10歳代・20歳代と30歳代（各6.6％）で低くなっている。

性・年代別では女性70歳以上（23.8％）で2割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（3.4％）で最も低くなっている。

職業別では無職（計）（16.8％）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（20.0％）で2割と最も高く、家族形成期（2.6％）で最も低くなっている。

□第8位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では西部地域（18.8％）で2割弱と最も高く、秩父地域（3.1％）で最も低くなっている。
年代別では60歳代（15.9％）で1割台半ばと最も高く、30歳代（10.2％）で最も低くなっている。
性・年代別では女性60歳代（16.9％）で1割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（8.0％）で最も低くなっている。

職業別では無職（計）（14.2％）で1割台半ばと最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（15.7％）で1割台半ばと最も高く、家族成長前期（9.3％）で最も低くなっている。

□第9位／便利な交通網をつくる

地域別では秩父地域（21.9％）で2割強と最も高く、北部地域（8.4％）で最も低くなっている。

年代別では10歳代・20歳代（17.5％）で1割台半ばを超えて最も高く、60歳代（9.1％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性30歳代（21.1％）で2割強と最も高く、女性30歳代（6.7％）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（13.7％）で1割強と最も高くなっている。

ライフステージ別では独身期（17.5％）で1割台半ばを超えて最も高く、高齢期（7.7％）で最も低くなっている。

□第10位／交通事故をなくす

地域別では北部地域（13.3％）で1割強と最も高く、さいたま地域と秩父地域（各6.3％）で低くなっている。

年代別では30歳代（14.8％）で1割台半ばと最も高く、60歳代（6.3％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性30歳代（17.4％）で1割台半ばを超えて最も高く、女性60歳代（5.9％）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（10.4％）と雇用者（計）（10.3％）で1割を超えて高くなっている。

ライフステージ別では独身期（18.6％）で2割弱と最も高く、家族形成期（6.0％）で最も低くなっている。

○県政への要望・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	調査数 n	災害から県民をまもる	防犯の地域づくりを進める	医療サービス体制を整備する	高齢者の福祉を充実する	子育て支援を充実する	道路や街路を整備する	地球温暖化を防止する	自然をまもり、緑を育てる	便利な交通網をつくる	交通事故をなくす	消費生活の安全を高める	川や大気的环境をまもる	資源やリサイクルを進める	雇用の場を広げる	公園、緑地を整備する	青少年を健全に育てる	学力、規律ある態度、体力を身に つける学校教育を充実する	廃棄物対策を充実する	生活排水対策を進める	食品の安全をまもる	
全 体		2,446	27.4	26.7	20.6	17.1	16.8	16.5	13.6	13.0	11.9	9.5	8.9	7.4	6.6	6.1	5.2	5.1	4.9	4.6	4.5	4.2
地域別																						
南部地域		245	29.8	34.7	16.7	15.5	13.9	15.1	17.6	8.6	10.6	9.4	8.6	5.7	8.2	3.7	3.3	3.3	3.7	7.3	4.1	3.7
南西部地域		224	23.2	27.7	19.2	17.4	18.8	19.6	13.4	13.8	13.8	10.7	8.5	8.9	5.8	5.8	1.8	4.5	4.5	4.0	4.0	4.0
東部地域		363	33.3	31.1	21.5	18.7	16.0	19.0	12.4	11.3	11.0	8.3	8.8	8.5	7.2	5.2	6.1	4.4	4.7	4.1	6.6	3.0
さいたま地域		447	26.6	28.0	23.3	15.2	21.5	15.2	12.1	11.0	11.4	6.3	8.1	5.6	6.5	6.3	5.8	6.0	6.5	3.4	5.1	3.6
県央地域		181	21.0	20.4	23.2	16.0	13.3	16.6	17.7	17.1	13.3	11.0	7.7	5.5	6.1	5.5	7.2	6.6	6.6	7.2	3.3	7.2
川越比企地域		253	26.9	25.7	20.6	17.8	20.9	19.4	7.9	13.4	12.6	9.5	13.0	6.3	5.9	4.3	5.1	5.9	4.3	4.3	2.8	4.0
西部地域		271	25.5	24.4	14.8	14.8	20.7	16.2	12.9	18.8	15.1	12.9	8.1	6.6	7.0	6.3	6.6	7.4	4.4	4.1	1.8	4.8
利根地域		217	32.7	20.3	23.5	24.4	9.7	14.7	15.7	12.9	9.2	9.2	8.3	5.5	10.6	2.8	2.3	5.5	6.5	5.5	5.1	
北部地域		166	25.3	22.9	18.1	11.4	11.4	16.9	19.9	15.7	8.4	13.3	7.8	13.9	7.8	6.0	8.4	3.6	3.6	1.8	6.6	4.8
秩父地域		32	18.8	18.8	53.1	12.5	21.9	3.1	3.1	3.1	21.9	6.3	15.6	6.3	-	18.8	-	6.3	6.3	3.1	-	-
性別																						
男性		1,010	28.5	28.4	18.7	14.1	15.8	18.9	10.6	12.9	13.6	10.8	8.2	7.0	7.3	6.3	4.2	4.0	5.6	5.8	4.7	3.3
女性		1,330	26.6	26.1	22.0	18.8	18.2	15.3	16.0	13.2	10.8	8.6	9.6	7.5	6.1	5.9	6.0	6.1	4.7	3.8	4.3	5.0
年代別																						
18・19歳		32	15.6	31.3	3.1	-	15.6	21.9	15.6	9.4	18.8	18.8	9.4	6.3	6.3	3.1	-	6.3	6.3	3.1	3.1	-
20歳代		180	14.4	26.1	13.9	2.8	32.2	24.4	5.0	11.1	17.2	13.9	14.4	3.3	5.0	5.6	5.6	3.9	7.8	2.2	1.1	3.3
【再掲】10歳代・20歳代		212	14.6	26.9	12.3	2.4	29.7	24.1	6.6	10.8	17.5	14.6	13.7	3.8	5.2	5.2	4.7	4.2	7.5	2.4	1.4	2.8
30歳代		256	19.5	32.4	13.7	2.0	44.5	18.8	6.6	10.2	13.7	14.8	10.9	4.7	2.3	6.6	8.6	7.0	10.2	0.8	2.0	3.5
40歳代		361	27.1	34.1	18.6	6.9	29.9	19.1	7.5	11.6	12.7	10.0	11.1	6.4	5.3	5.5	7.8	5.5	6.1	3.3	4.4	4.2
50歳代		497	32.0	32.4	24.5	14.7	8.2	18.5	13.1	11.7	13.9	9.3	8.7	6.8	8.2	6.4	3.6	2.0	2.8	4.4	6.2	3.8
60歳代		428	30.8	25.5	22.9	22.4	11.2	15.4	14.3	15.9	9.1	6.3	8.9	9.3	7.2	7.7	5.4	4.7	3.5	5.4	5.6	4.9
70歳以上		648	29.2	17.4	23.3	30.7	5.7	11.9	21.6	14.8	9.4	7.9	5.6	9.3	7.7	5.1	3.5	6.9	4.3	7.1	4.3	4.8
性・年代別																						
男性／18・19歳		9	-	33.3	-	-	22.2	22.2	11.1	-	22.2	33.3	-	-	-	-	-	22.2	11.1	-	11.1	-
20歳代		78	20.5	23.1	9.0	2.6	21.8	25.6	2.6	9.0	16.7	15.4	17.9	3.8	6.4	10.3	1.3	3.8	10.3	3.8	-	2.6
【再掲】10歳代・20歳代		87	18.4	24.1	8.0	2.3	21.8	25.3	3.4	8.0	17.2	17.2	16.1	3.4	5.7	9.2	1.1	5.7	10.3	3.4	1.1	2.3
30歳代		109	16.5	32.1	11.9	1.8	38.5	22.9	5.5	8.3	21.1	17.4	9.2	6.4	3.7	9.2	2.8	4.6	11.0	0.9	1.8	4.6
40歳代		140	31.4	37.9	13.6	2.1	22.9	25.0	5.0	14.3	17.9	10.0	10.0	5.7	5.0	6.4	5.0	2.1	7.1	2.1	3.6	3.6
50歳代		201	30.8	34.8	20.4	8.0	9.5	19.4	7.5	12.4	17.9	10.4	8.0	6.5	9.0	4.5	5.0	0.5	3.0	7.5	6.5	4.0
60歳代		187	33.7	25.1	21.9	21.4	13.4	16.6	12.3	15.0	8.6	7.0	8.0	10.2	8.0	6.4	2.7	3.7	7.0	5.9	3.2	
70歳以上		286	29.7	21.3	23.8	27.6	8.0	13.6	18.5	14.3	7.7	9.4	5.6	8.7	7.3	4.5	3.1	7.3	4.5	8.4	5.2	2.4
女性／18・19歳		23	21.7	30.4	4.3	-	13.0	21.7	17.4	13.0	17.4	13.0	13.0	8.7	8.7	4.3	-	-	4.3	4.3	-	-
20歳代		99	10.1	28.3	18.2	3.0	39.4	23.2	7.1	11.1	18.2	13.1	12.1	3.0	4.0	2.0	9.1	4.0	6.1	1.0	2.0	4.0
【再掲】10歳代・20歳代		122	12.3	28.7	15.6	2.5	34.4	23.0	9.0	11.5	18.0	13.1	12.3	4.1	4.9	2.5	7.4	3.3	5.7	1.6	1.6	3.3
30歳代		135	22.2	34.1	14.1	2.2	51.1	16.3	8.1	12.6	6.7	11.9	12.6	3.7	1.5	3.7	14.1	9.6	9.6	0.7	2.2	3.0
40歳代		208	23.6	31.3	21.6	9.6	35.1	14.9	9.6	10.1	9.6	9.6	12.0	6.7	5.8	5.3	9.6	8.2	5.8	4.3	4.8	4.3
50歳代		280	32.9	31.4	27.9	20.0	7.5	17.5	17.9	10.7	11.8	8.9	9.3	6.4	7.5	8.2	2.5	3.2	2.5	2.5	6.1	3.9
60歳代		236	28.4	25.8	23.3	22.9	9.7	14.8	16.1	16.9	9.3	5.9	10.6	10.6	5.1	7.2	4.7	5.9	3.4	4.2	5.1	6.4
70歳以上		349	28.9	14.9	22.1	32.7	4.0	10.9	23.8	15.2	10.6	6.6	5.7	9.5	8.0	5.7	4.0	6.9	4.3	6.0	3.7	6.6
職業別																						
自営業・家族従業（計）		183	28.4	32.2	18.0	9.3	15.8	19.1	15.8	13.1	13.7	10.4	8.7	4.9	9.3	2.2	6.6	3.8	2.7	6.0	4.9	3.8
雇用者（計）		1,293	27.1	29.6	20.4	12.5	22.4	17.9	10.8	12.1	13.0	10.3	10.5	7.0	5.7	7.7	5.3	4.2	5.3	4.4	4.3	3.8
無職（計）		909	27.9	22.1	22.0	24.2	10.3	14.7	16.8	14.2	10.1	8.1	6.7	8.5	7.0	4.7	4.7	6.7	5.2	4.6	4.4	5.0
ライフステージ 別																						
独身期		280	18.6	29.3	11.8	2.9	21.8	22.9	8.2	10.4	17.5	18.6	12.5	5.4	3.9	6.8	3.6	5.4	7.5	2.1	1.8	3.9
家族形成期		151	16.6	27.8	13.9	4.0	66.2	19.9	2.6	9.9	13.2	6.0	9.3	4.0	2.6	2.6	9.9	6.6	9.3	0.7	1.3	2.0
家族成長前期		205	23.4	34.6	16.1	4.9	47.8	14.1	7.3	9.3	9.8	13.2	12.2	4.4	4.9	3.4	12.2	7.3	13.2	3.9	2.9	2.0
家族成長後期		166	34.9	38.6	23.5	11.4	21.1	15.7	7.2	12.7	13.3	7.8	5.4	5.4	6.6	4.8	4.8	4.2	4.2	4.2	6.6	3.0
家族成熟期		373	30.3	25.7	27.1	18.8	9.9	17.2	17.2	9.9	13.9	8.0	9.7	5.9	6.7	8.6	4.8	3.2	3.5	5.6	4.6	4.0
高齢期		611	29.1	21.6	22.1	25.4	9.7	13.4	20.0	15.7	7.7	7.9	7.2	9.5	8.2	4.7	4.4	8.2	4.6	5.9	4.9	5.4
その他		660	29.5	25.3	21.7	22.9	3.3	16.5	14.1	15.5	12.1	8.2	8.3	9.2	7.6	7.6	3.5	2.4	1.7	5.2	5.9	4.8

順位		21	22	23	25		27	28	30	31	32	33	34	36				(%)		
	調査数 n	障がい者の社会参加と福祉対策を進める	農林業をさかんにする	ICT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める	健康づくりを進めて、疾病を予防する	市町村が主役の地域づくりを進める	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	芸術・文化活動をさかんにする	観光振興を進める	人権尊重の社会づくりを進める	都市のバリアフリー化を進める	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	生涯学習対策を充実する	男女共同参画社会の実現をはかる	県民参加の行政を進める	国際交流や国際協力を進める	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	その他	わからない	無回答
全体	2,446	3.7	3.3	2.9	2.9	2.5	2.5	2.3	2.0	2.0	1.9	1.8	1.3	1.0	0.8	0.8	0.6	5.5	2.5	1.3
地域別																				
南部地域	245	3.3	2.4	3.3	1.2	0.8	2.9	2.0	2.0	2.9	1.2	1.2	0.8	0.8	1.2	2.9	1.2	6.5	3.7	2.0
南西部地域	224	3.1	2.7	2.7	2.7	2.7	3.6	3.1	1.3	3.1	4.0	1.8	2.2	0.4	0.4	0.4	-	6.3	1.8	0.9
東部地域	363	4.4	2.8	1.9	2.2	2.2	2.2	2.2	1.4	1.1	1.7	1.1	0.6	0.6	1.1	0.6	0.3	3.0	2.8	0.8
さいたま地域	447	2.9	3.1	2.9	2.5	1.8	2.7	2.9	2.2	2.5	2.5	2.0	1.6	1.6	0.9	0.7	0.7	6.9	3.6	0.7
県央地域	181	5.0	5.0	1.7	0.6	3.3	2.8	1.7	1.1	3.3	-	-	1.7	0.6	-	0.6	-	6.6	0.6	3.3
川越比企地域	253	4.0	2.4	2.4	4.0	4.3	2.0	3.2	3.2	0.8	2.8	3.2	1.6	1.2	-	0.4	0.8	3.2	0.8	1.2
西部地域	271	4.1	3.3	6.3	4.4	2.2	1.8	1.8	3.0	1.1	1.5	2.2	0.7	1.5	0.7	-	0.4	5.5	1.8	0.4
利根地域	217	4.1	3.7	1.4	2.8	2.3	1.4	1.8	0.5	2.3	1.8	1.8	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	6.0	4.1	1.4
北部地域	166	2.4	6.6	3.6	3.6	3.0	3.0	0.6	4.2	2.4	0.6	2.4	1.2	-	1.2	0.6	1.2	4.8	3.0	0.6
秩父地域	32	3.1	-	3.1	6.3	12.5	-	3.1	3.1	-	3.1	-	-	-	-	-	-	15.6	-	-
性別																				
男性	1,010	3.4	3.6	4.4	1.7	3.1	4.5	1.6	2.3	2.4	0.9	2.2	1.2	0.9	1.6	0.8	0.6	6.3	2.4	1.2
女性	1,330	4.0	3.1	1.7	3.4	2.3	1.0	2.8	1.9	1.9	2.4	1.5	1.4	1.0	0.2	0.8	0.7	4.8	2.5	1.1
年代別																				
18・19歳	32	-	3.1	6.3	3.1	-	3.1	6.3	9.4	3.1	3.1	-	-	-	3.1	3.1	-	6.3	6.3	-
20歳代	180	6.7	1.7	8.9	-	0.6	3.3	3.3	3.9	2.2	3.3	4.4	0.6	2.2	1.1	2.2	1.1	11.7	1.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	212	5.7	1.9	8.5	0.5	0.5	3.3	3.8	4.7	2.4	3.3	3.8	0.5	1.9	1.4	2.4	0.9	10.8	2.4	-
30歳代	256	2.7	5.1	5.1	1.2	1.2	3.5	4.3	1.6	1.2	1.2	1.2	2.0	2.0	0.4	0.4	0.8	6.3	1.6	-
40歳代	361	3.0	1.9	3.3	1.9	1.4	2.5	1.9	2.5	0.6	1.4	1.4	0.6	1.4	0.8	0.8	1.1	7.8	1.1	-
50歳代	497	4.0	4.0	3.4	2.8	2.0	2.8	0.8	1.4	2.0	1.8	1.4	1.4	0.6	0.6	1.0	0.8	6.2	2.4	1.2
60歳代	428	4.7	3.7	1.9	2.8	2.6	2.1	3.3	2.3	1.9	2.8	0.9	1.2	-	-	0.2	0.2	3.5	2.8	0.7
70歳以上	648	2.8	2.9	0.3	4.3	4.8	1.7	1.7	1.5	3.2	1.5	2.5	1.5	0.9	1.4	0.6	0.3	2.9	3.7	2.8
性・年代別																				
男性／18・19歳	9	-	-	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-
20歳代	78	6.4	1.3	17.9	-	1.3	6.4	-	5.1	2.6	1.3	5.1	-	-	2.6	1.3	1.3	14.1	1.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	87	5.7	1.1	17.2	1.1	1.1	6.9	-	5.7	3.4	1.1	4.6	-	-	3.4	2.3	1.1	12.6	1.1	-
30歳代	109	3.7	4.6	6.4	-	-	6.4	5.5	2.8	0.9	-	1.8	0.9	1.8	0.9	0.9	0.9	5.5	2.8	-
40歳代	140	2.9	2.9	5.7	0.7	2.9	5.0	0.7	2.9	-	-	2.1	1.4	0.7	1.4	0.7	0.7	10.0	2.1	-
50歳代	201	4.5	3.5	4.0	1.5	1.5	5.0	1.0	2.0	2.0	0.5	1.5	1.0	0.5	1.5	0.5	1.0	7.0	3.5	1.5
60歳代	187	4.8	6.4	2.7	1.6	2.1	4.3	2.1	2.7	1.6	2.7	1.1	0.5	-	-	0.5	-	4.8	1.6	0.5
70歳以上	286	1.0	2.4	0.3	3.1	6.6	2.4	1.0	0.7	4.5	0.7	2.8	2.1	1.7	2.4	0.7	0.3	3.5	2.4	2.8
女性／18・19歳	23	-	4.3	4.3	-	-	-	8.7	8.7	-	4.3	-	-	-	-	-	-	8.7	8.7	-
20歳代	99	7.1	2.0	2.0	-	-	1.0	6.1	3.0	2.0	5.1	4.0	1.0	3.0	-	3.0	1.0	10.1	2.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	5.7	2.5	2.5	-	-	0.8	6.6	4.1	1.6	4.9	3.3	0.8	2.5	-	2.5	0.8	9.8	3.3	-
30歳代	135	1.5	5.9	3.0	2.2	2.2	1.5	3.0	0.7	1.5	1.5	0.7	3.0	2.2	-	-	0.7	5.9	-	-
40歳代	208	3.4	1.4	1.4	2.9	0.5	1.0	2.4	2.4	1.0	1.9	1.0	-	1.9	0.5	1.0	1.4	6.7	0.5	-
50歳代	280	3.9	4.6	3.2	3.6	2.5	1.4	0.7	1.1	2.1	2.1	1.4	1.8	0.7	-	1.4	0.7	5.4	1.1	0.7
60歳代	236	4.7	1.7	1.3	3.8	3.0	0.4	4.2	1.7	2.1	3.0	0.8	1.7	-	-	-	0.4	2.5	3.4	0.8
70歳以上	349	4.3	2.9	-	4.9	3.4	0.9	2.3	2.0	2.3	2.0	2.0	1.1	0.3	0.6	0.6	0.3	2.6	4.9	2.9
職業別																				
自営業・家族従業（計）	183	0.5	2.7	2.2	2.2	2.2	3.8	3.8	3.3	1.6	1.6	4.4	0.5	1.1	0.5	0.5	1.6	4.9	1.6	1.1
雇用者（計）	1,293	3.3	3.0	4.0	2.3	1.5	2.9	1.8	2.2	1.5	1.5	1.0	1.3	1.1	0.6	0.6	0.5	6.6	2.1	0.5
無職（計）	909	4.7	3.9	1.5	3.2	4.2	1.7	2.8	1.8	2.9	2.5	2.4	1.3	0.8	1.1	1.1	0.7	4.2	3.1	2.1
ライフステージ 別																				
独身期	280	5.7	2.9	9.3	1.1	1.1	3.9	4.6	4.6	2.5	2.5	2.5	1.1	2.1	1.4	2.1	1.1	8.6	1.8	-
家族形成期	151	2.0	3.3	3.3	-	1.3	1.3	3.3	-	1.3	2.6	2.0	1.3	2.6	0.7	-	0.7	9.3	2.6	0.7
家族成長前期	205	2.0	2.9	2.9	1.5	1.0	2.9	2.0	2.0	-	1.0	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	-	5.9	0.5	-
家族成長後期	166	5.4	3.0	3.0	1.8	1.2	4.8	1.2	2.4	1.2	0.6	0.6	1.8	1.2	2.4	2.4	0.6	5.4	1.2	-
家族成熟期	373	4.8	3.8	1.9	2.7	2.1	2.7	1.3	1.1	1.6	1.9	1.1	1.6	0.5	0.5	0.8	0.3	4.0	2.1	1.1
高齢期	611	3.4	3.4	0.7	4.9	4.9	1.3	2.3	1.8	3.4	2.0	2.3	1.3	0.7	0.8	0.3	0.5	2.5	2.5	2.3
その他	660	2.9	3.3	2.6	3.2	2.3	2.3	2.0	2.1	1.7	2.0	1.8	1.1	0.9	0.3	0.5	0.9	6.8	3.9	1.8

【令和3年度以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、1位の「災害から県民をまもる」(2位→1位→1位→1位→1位)、4位の「高齢者の福祉を充実する」(4位→3位→5位→4位→4位)、10位の「交通事故をなくす」(10位→11位→9位→10位→10位)は前回順位を維持している。2位の「防犯の地域づくりを進める」(8位→8位→6位→7位→2位)は前回から順位を5つ上げた。3位の「医療サービス体制を整備する」(3位→2位→3位→2位→3位)、9位の「便利な交通網をつくる」(11位→9位→8位→8位→9位)は前回から順位を1つ下げた。5位の「子育て支援を充実する」(6位→5位→4位→3位→5位)、7位の「地球温暖化を防止する」(5位→4位→2位→5位→7位)、8位の「自然をまもり、緑を育てる」(7位→6位→7位→6位→8位)は前回から順位を2つ下げた。6位の「道路や街路を整備する」(9位→10位→10位→9位→6位)は前回から順位を3つ上げた。

順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%	災害から県民をまもる 25.6%	災害から県民をまもる 23.2%	災害から県民をまもる 24.6%	災害から県民をまもる 27.4%
2	災害から県民をまもる 25.0%	医療サービス体制を整備する 19.7%	地球温暖化を防止する 19.4%	医療サービス体制を整備する 19.9%	防犯の地域づくりを進める 26.7%
3	医療サービス体制を整備する 19.8%	高齢者の福祉を充実する 17.8%	医療サービス体制を整備する 18.0%	子育て支援を充実する 18.8%	医療サービス体制を整備する 20.6%
4	高齢者の福祉を充実する 15.6%	地球温暖化を防止する 17.6%	子育て支援を充実する 17.9%	高齢者の福祉を充実する 18.5%	高齢者の福祉を充実する 17.1%
5	地球温暖化を防止する 14.9%	子育て支援を充実する 17.2%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 17.1%	子育て支援を充実する 16.8%
6	子育て支援を充実する 14.3%	自然をまもり、緑を育てる 15.8%	防犯の地域づくりを進める 16.8%	自然をまもり、緑を育てる 16.4%	道路や街路を整備する 16.5%
7	自然をまもり、緑を育てる 13.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.9%	防犯の地域づくりを進める 15.9%	地球温暖化を防止する 13.6%
8	防犯の地域づくりを進める 13.0%	防犯の地域づくりを進める 12.9%	便利な交通網をつくる 13.2%	便利な交通網をつくる 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%
9	道路や街路を整備する 11.8%	便利な交通網をつくる 12.2%	交通事故をなくす 11.0%	道路や街路を整備する 11.1%	便利な交通網をつくる 11.9%
10	交通事故をなくす 11.7%	道路や街路を整備する 10.4%	道路や街路を整備する 10.8%	交通事故をなくす 10.8%	交通事故をなくす 9.5%

【上位4位の10年間の推移】

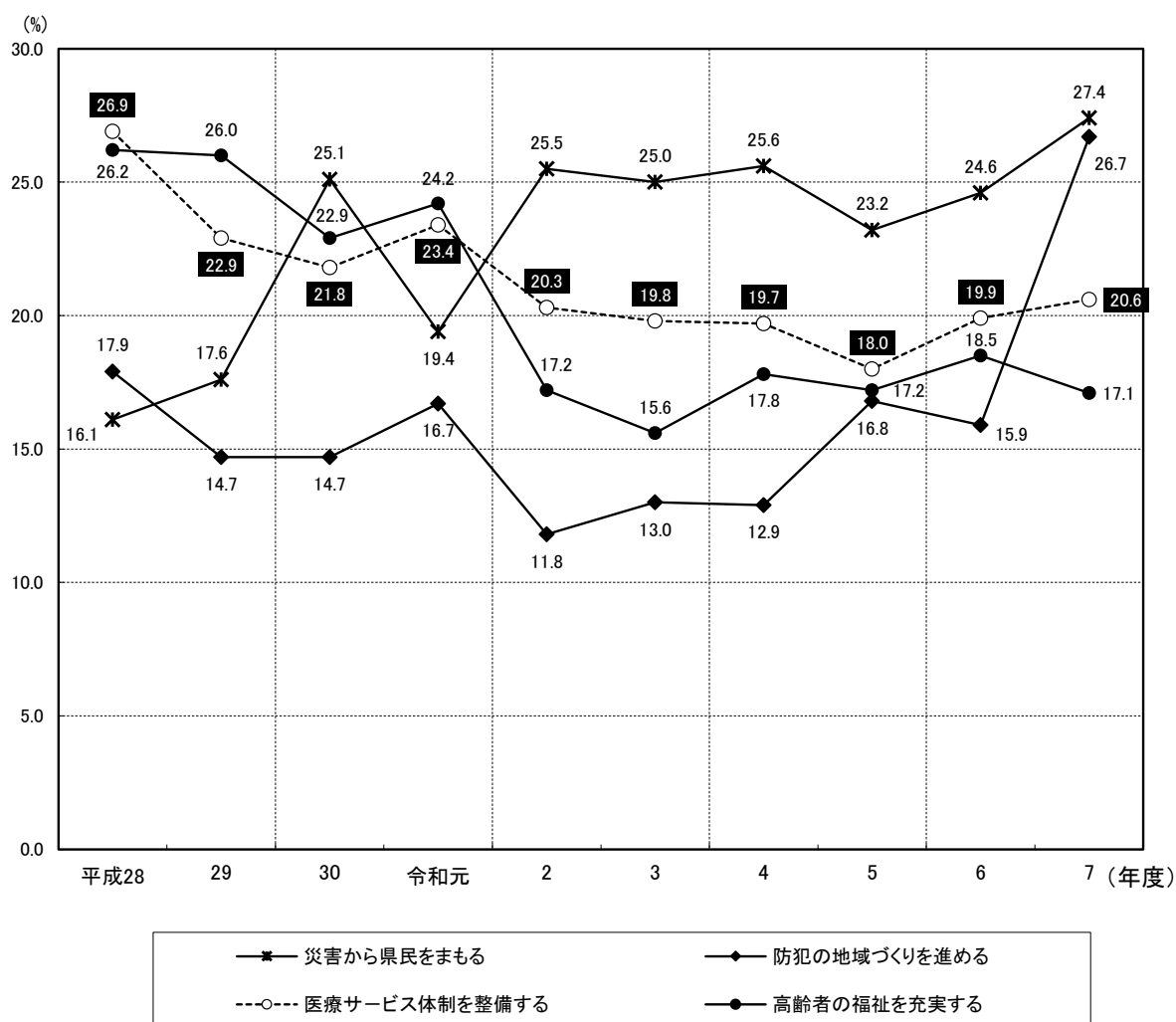
今回調査で上位となった「災害から県民をまもる」、「防犯の地域づくりを進める」、「医療サービス体制を整備する」、「高齢者の福祉を充実する」の4項目について、平成28年度以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「災害から県民をまもる」は平成30年度（25.1%）に2割台半ばまで増加し、令和元年度（19.4%）に約2割に減少した。令和2年度（25.5%）からおおむね2割台半ばで推移し、今回（27.4%）で2割台後半まで増加している。

2位の「防犯の地域づくりを進める」は、令和6年度まで1割台で推移していたが、今回（26.7%）で2割台後半まで増加している。

3位の「医療サービス体制を整備する」は平成28年度（26.9%）に2割台半ばを超えていたが、平成29年度以降は2割台前半で推移し、令和2年度（20.3%）からおおむね2割前後で推移している。

4位の「高齢者の福祉を充実する」は、平成28年度（26.2%）の2割台後半から令和3年度（15.6%）で1割台半ばまで減少していたが、令和4年度（17.8%）から1割台後半まで増加して推移している。



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別の上位５位】

■地域別

	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
南部地域 (n=245)	防犯の地域づくりを進める 34.7%	災害から県民をまもる 29.8%	地球温暖化を防止する 17.6%	医療サービス体制を整備する 16.7%	高齢者の福祉を充実する 15.5%
南西部地域 (n=224)	防犯の地域づくりを進める 27.7%	災害から県民をまもる 23.2%	道路や街路を整備する 19.6%	医療サービス体制を整備する 19.2%	子育て支援を充実する 18.8%
東部地域 (n=363)	災害から県民をまもる 33.3%	防犯の地域づくりを進める 31.1%	医療サービス体制を整備する 21.5%	道路や街路を整備する 19.0%	高齢者の福祉を充実する 18.7%
さいたま地域 (n=447)	防犯の地域づくりを進める 28.0%	災害から県民をまもる 26.6%	医療サービス体制を整備する 23.3%	子育て支援を充実する 21.5%	道路や街路を整備する／高齢者の福祉を充実する 15.2%
県央地域 (n=181)	医療サービス体制を整備する 23.2%	災害から県民をまもる 21.0%	防犯の地域づくりを進める 20.4%	地球温暖化を防止する 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 17.1%
川越比企地域 (n=253)	災害から県民をまもる 26.9%	防犯の地域づくりを進める 25.7%	子育て支援を充実する 20.9%	医療サービス体制を整備する 20.6%	道路や街路を整備する 19.4%
西部地域 (n=271)	災害から県民をまもる 25.5%	防犯の地域づくりを進める 24.4%	子育て支援を充実する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.8%	道路や街路を整備する 16.2%
利根地域 (n=217)	災害から県民をまもる 32.7%	高齢者の福祉を充実する 24.4%	医療サービス体制を整備する 23.5%	防犯の地域づくりを進める 20.3%	地球温暖化を防止する 15.7%
北部地域 (n=166)	災害から県民をまもる 25.3%	防犯の地域づくりを進める 22.9%	地球温暖化を防止する 19.9%	医療サービス体制を整備する 18.1%	道路や街路を整備する 16.9%
秩父地域 (n=32)	医療サービス体制を整備する 53.1%	便利な交通網をつくる／子育て支援を充実する 21.9%		災害から県民をまもる／防犯の地域づくりを進める／雇用の場を広げる 18.8%	

■性別

	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
男性 (n=1,010)	災害から県民をまもる 28.5%	防犯の地域づくりを進める 28.4%	道路や街路を整備する 18.9%	医療サービス体制を整備する 18.7%	子育て支援を充実する 15.8%
女性 (n=1,330)	災害から県民をまもる 26.6%	防犯の地域づくりを進める 26.1%	医療サービス体制を整備する 22.0%	高齢者の福祉を充実する 18.8%	子育て支援を充実する 18.2%

■ライフステージ別

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
独身期 (n=280)	防犯の地域づくりを進める 29.3%	道路や街路を整備する 22.9%	子育て支援を充実する 21.8%	交通事故をなくす／災害から県民をまもる 18.6%	
家族形成期 (n=151)	子育て支援を充実する 66.2%	防犯の地域づくりを進める 27.8%	道路や街路を整備する 19.9%	災害から県民をまもる 16.6%	医療サービス体制を整備する 13.9%
家族成長前期 (n=205)	子育て支援を充実する 47.8%	防犯の地域づくりを進める 34.6%	災害から県民をまもる 23.4%	医療サービス体制を整備する 16.1%	道路や街路を整備する 14.1%
家族成長後期 (n=166)	防犯の地域づくりを進める 38.6%	災害から県民をまもる 34.9%	医療サービス体制を整備する 23.5%	子育て支援を充実する 21.1%	道路や街路を整備する 15.7%
家族成熟期 (n=373)	災害から県民をまもる 30.3%	医療サービス体制を整備する 27.1%	防犯の地域づくりを進める 25.7%	高齢者の福祉を充実する 18.8%	地球温暖化を防止する／道路や街路を整備する 17.2%
高齢期 (n=611)	災害から県民をまもる 29.1%	高齢者の福祉を充実する 25.4%	医療サービス体制を整備する 22.1%	防犯の地域づくりを進める 21.6%	地球温暖化を防止する 20.0%
その他 (n=660)	災害から県民をまもる 29.5%	防犯の地域づくりを進める 25.3%	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 21.7%	道路や街路を整備する 16.5%

■年代別

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
18・19歳 (n=32)	防犯の地域づくりを進める 31.3%	道路や街路を整備する 21.9%	交通事故をなくす／便利な交通網をつくる 18.8%		地球温暖化を防止する／災害から県民をまもる／子育て支援を充実する 15.6%
20歳代 (n=180)	子育て支援を充実する 32.2%	防犯の地域づくりを進める 26.1%	道路や街路を整備する 24.4%	便利な交通網をつくる 17.2%	災害から県民をまもる／消費生活の安全を高める 14.4%
【再掲】 10・20歳代 (n=212)	子育て支援を充実する 29.7%	防犯の地域づくりを進める 26.9%	道路や街路を整備する 24.1%	便利な交通網をつくる 17.5%	交通事故をなくす／災害から県民をまもる 14.6%
30歳代 (n=256)	子育て支援を充実する 44.5%	防犯の地域づくりを進める 32.4%	災害から県民をまもる 19.5%	道路や街路を整備する 18.8%	交通事故をなくす 14.8%
40歳代 (n=361)	防犯の地域づくりを進める 34.1%	子育て支援を充実する 29.9%	災害から県民をまもる 27.1%	道路や街路を整備する 19.1%	医療サービス体制を整備する 18.6%
50歳代 (n=497)	防犯の地域づくりを進める 32.4%	災害から県民をまもる 32.0%	医療サービス体制を整備する 24.5%	道路や街路を整備する 18.5%	高齢者の福祉を充実する 14.7%
60歳代 (n=428)	災害から県民をまもる 30.8%	防犯の地域づくりを進める 25.5%	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.4%	自然をまもり、緑を育てる 15.9%
70歳以上 (n=648)	高齢者の福祉を充実する 30.7%	災害から県民をまもる 29.2%	医療サービス体制を整備する 23.3%	地球温暖化を防止する 21.6%	防犯の地域づくりを進める 17.4%

■性・年代別

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
【男性】 18・19歳 (n=9)	交通事故をなくす／防犯の地域づくりを進める	防犯の地域づくりを進める	道路や街路を整備する／便利な交通網をつくる／子育て支援を充実する／青少年を健全に育てる		
	33.3%				22.2%
20歳代 (n=78)	道路や街路を整備する	防犯の地域づくりを進める	子育て支援を充実する	災害から県民をまもる	消費生活の安全を高める／IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める
	25.6%	23.1%	21.8%	20.5%	17.9%
【再掲】 10・20歳代 (n=87)	道路や街路を整備する	防犯の地域づくりを進める	子育て支援を充実する	災害から県民をまもる	交通事故をなくす／便利な交通網をつくる／IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める
	25.3%	24.1%	21.8%	18.4%	17.2%
30歳代 (n=109)	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりを進める	道路や街路を整備する	便利な交通網をつくる	交通事故をなくす
	38.5%	32.1%	22.9%	21.1%	17.4%
40歳代 (n=140)	防犯の地域づくりを進める	災害から県民をまもる	道路や街路を整備する	子育て支援を充実する	便利な交通網をつくる
	37.9%	31.4%	25.0%	22.9%	17.9%
50歳代 (n=201)	防犯の地域づくりを進める	災害から県民をまもる	医療サービス体制を整備する	道路や街路を整備する	便利な交通網をつくる
	34.8%	30.8%	20.4%	19.4%	17.9%
60歳代 (n=187)	災害から県民をまもる	防犯の地域づくりを進める	医療サービス体制を整備する	高齢者の福祉を充実する	道路や街路を整備する
	33.7%	25.1%	21.9%	21.4%	16.6%
70歳以上 (n=286)	災害から県民をまもる	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	防犯の地域づくりを進める	地球温暖化を防止する
	29.7%	27.6%	23.8%	21.3%	18.5%
【女性】 18・19歳 (n=23)	防犯の地域づくりを進める	災害から県民をまもる／道路や街路を整備する		地球温暖化を防止する／便利な交通網をつくる	
	30.4%	21.7%			17.4%
20歳代 (n=99)	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりを進める	道路や街路を整備する	便利な交通網をつくる／医療サービス体制を整備する	
	39.4%	28.3%	23.2%		18.2%
【再掲】 10・20歳代 (n=122)	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりを進める	道路や街路を整備する	便利な交通網をつくる	医療サービス体制を整備する
	34.4%	28.7%	23.0%	18.0%	15.6%
30歳代 (n=135)	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりを進める	災害から県民をまもる	道路や街路を整備する	公園、緑地を整備する／医療サービス体制を整備する
	51.1%	34.1%	22.2%	16.3%	14.1%
40歳代 (n=208)	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりを進める	災害から県民をまもる	医療サービス体制を整備する	道路や街路を整備する
	35.1%	31.3%	23.6%	21.6%	14.9%
50歳代 (n=280)	災害から県民をまもる	防犯の地域づくりを進める	医療サービス体制を整備する	高齢者の福祉を充実する	地球温暖化を防止する
	32.9%	31.4%	27.9%	20.0%	17.9%
60歳代 (n=236)	災害から県民をまもる	防犯の地域づくりを進める	医療サービス体制を整備する	高齢者の福祉を充実する	自然をまもり、緑を育てる
	28.4%	25.8%	23.3%	22.9%	16.9%
70歳以上 (n=349)	高齢者の福祉を充実する	災害から県民をまもる	地球温暖化を防止する	医療サービス体制を整備する	自然をまもり、緑を育てる
	32.7%	28.9%	23.8%	22.1%	15.2%

県政への要望 10年間の推移（平成28年度～令和7年度）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	医療サービス体制を整備する 26.9%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	災害から県民をまもる 25.1%	高齢者の福祉を充実する 24.2%	新型コロナウイルス感染症対策を 37.3%
2	高齢者の福祉を充実する 26.2%	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	災害から県民をまもる 25.5%
3	子育て支援を充実する 23.0%	子育て支援を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 21.8%	災害から県民をまもる 19.4%	医療サービス体制を整備する 20.3%
4	防犯の地域づくりを進める 17.9%	災害から県民をまもる 17.6%	子育て支援を充実する 21.1%	子育て支援を充実する 18.5%	地球温暖化を防止する 17.3%
5	災害から県民をまもる 16.1%	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	高齢者の福祉を充実する 17.2%
6	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 16.6%	自然をまもり、緑を育てる／ 子育て支援を充実する
7	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.8%	道路や街路を整備する 12.7%	道路や街路を整備する 13.4%	12.9%
8	道路や街路を整備する 12.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.9%	防犯の地域づくりを進める 11.8%
9	食品の安全をまもる 11.9%	便利な交通網をつくる 12.0%	交通事故をなくす 12.5%	地球温暖化を防止する 12.7%	道路や街路を整備する／ 便利な交通網をつくる
10	便利な交通網をつくる 11.7%	食品の安全をまもる 11.4%	地球温暖化を防止する 12.3%	自然をまもり、緑を育てる 12.3%	10.0%
11	交通事故をなくす 9.9%	雇用の場を広げる 10.8%	食品の安全をまもる 11.9%	雇用の場を広げる 9.6%	川や大気環境をまもる 9.1%
12	学力、規律ある態度、体力を身に つける学校教育を充実する 8.8%	地球温暖化を防止する 10.7%	雇用の場を広げる 8.6%	食品の安全をまもる 9.3%	交通事故をなくす 8.8%
13	地球温暖化を防止する 8.6%	学力、規律ある態度、体力を身に つける学校教育を充実する 9.2%	川や大気環境をまもる 8.4%	省資源やリサイクルを進める 8.4%	省資源やリサイクルを進める 7.7%
14	川や大気環境をまもる 8.0%	川や大気環境をまもる 8.0%	学力、規律ある態度、体力を身に つける学校教育を充実する 7.4%	学力、規律ある態度、体力を身に つける学校教育を充実する 8.1%	雇用の場を広げる 7.2%
15	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 6.8%	青少年を健全に育てる 6.7%	川や大気環境をまもる 7.9%	公園、緑地を整備する 6.0%
16	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.8%	省資源やリサイクルを進める／ 消費生活の安全を高める	青少年を健全に育てる 7.2%	学力、規律ある態度、体力を身に 5.1%
17	省資源やリサイクルを進める／ 消費生活の安全を高める	障害者の社会参加と 福祉対策を進める 5.5%	消費生活の安全を高める 5.6%	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 4.8%
18	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%	消費生活の安全を高める 5.2%	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.5%	青少年を健全に育てる 4.6%
19	障害者の社会参加と 福祉対策を進める 4.7%	省資源やリサイクルを進める／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.6%	障害者の社会参加と 福祉対策を進める 4.7%	障害者の社会参加と 福祉対策を進める 4.9%	食品の安全をまもる 4.2%
20	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.1%	廃棄物対策を充実する 4.7%	廃棄物対策を充実する 4.1%
21	廃棄物対策を充実する／ 商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.4%	都市のバリアフリー化を進める 4.3%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.1%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.8%	障害者の社会参加と 福祉対策を進める 3.5%
22	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.4%	廃棄物対策を充実する 3.5%	都市のバリアフリー化を進める 3.5%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 3.4%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした 社会づくりを進める 2.9%
23	都市のバリアフリー化を進める 3.3%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.3%	観光振興を進める／ 商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.0%	都市のバリアフリー化を進める 3.1%	農林業をさかんにする／ 芸術・文化活動をさかんにする 2.8%
24	生活排水対策を進める／ スポーツ、レクリエーションを さかんにする 3.1%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.9%	生活排水対策を進める 2.5%	生活排水対策を進める 3.0%	生活排水対策を進める／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%
25	生活排水対策を進める 2.2%	生活排水対策を進める 2.8%	生活排水対策を進める 2.5%	観光振興を進める 2.7%	人権尊重の社会づくりを進める 2.6%
26	生涯学習対策を充実する／ 芸術・文化活動をさかんにする 2.3%	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.6%	生活排水対策を進める 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする 2.6%	生活排水対策を進める／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%
27	人権尊重の社会づくりを進める 2.2%	人権尊重の社会づくりを進める 2.5%	農林業をさかんにする 2.3%	人権尊重の社会づくりを進める 2.5%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%
28	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.1%	芸術・文化活動をさかんにする 2.2%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした 社会づくりを進める 2.2%	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.1%	都市のバリアフリー化を進める／ 商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 2.3%
29	市町村が主役の地域づくりを 進める 2.1%	観光振興を進める 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める／ 芸術・文化活動をさかんにする 2.0%	農林業をさかんにする 2.0%	市町村が主役の地域づくりを 進める 1.9%
30	農林業をさかんにする／ 観光振興を進める 1.8%	農林業をさかんにする 1.9%	市町村が主役の地域づくりを 進める 1.9%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした 社会づくりを進める 1.8%	市町村が主役の地域づくりを 進める 1.8%
31	観光振興を進める 1.8%	生涯学習対策を充実する 1.8%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.8%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 1.9%
32	ＩＴ（情報通信技術）を生かした 社会づくりを進める 1.1%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした 社会づくりを進める 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 1.8%	観光振興を進める 1.8%
33	県民参加の行政を進める 0.9%	国際交流や国際協力を進める 1.2%	国際交流や国際協力を進める 1.4%	男女共同参画社会の 実現をはかる 1.1%	男女共同参画社会の 実現をはかる 1.0%
34	国際交流や国際協力を進める 0.9%	県民参加の行政を進める 1.1%	男女共同参画社会の 実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力を進める 1.0%	県民参加の行政を進める 1.0%
35	男女共同参画社会の 実現をはかる 0.8%	男女共同参画社会の 実現をはかる 0.7%	県民参加の行政を進める 0.8%	ＮＰＯやボランティアへの 活動支援を充実する 0.8%	生涯学習対策を充実する 0.9%
36	ＮＰＯやボランティアへの 活動支援を充実する 0.7%	ＮＰＯやボランティアへの 活動支援を充実する 0.6%	ＮＰＯやボランティアへの 活動支援を充実する 0.5%	県民参加の行政を進める 0.6%	国際交流や国際協力を進める 0.8%
37	-	-	-	-	ＮＰＯやボランティアへの 活動支援を充実する 0.7%

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%	災害から県民をまもる 25.6%	災害から県民をまもる 23.2%	災害から県民をまもる 24.6%	災害から県民をまもる 27.4%
2	災害から県民をまもる 25.0%	医療サービス体制を整備する 19.7%	地球温暖化を防止する 19.4%	医療サービス体制を整備する 19.9%	防犯の地域づくりを進める 26.7%
3	医療サービス体制を整備する 19.8%	高齢者の福祉を充実する 17.8%	医療サービス体制を整備する 18.0%	子育て支援を充実する 18.8%	医療サービス体制を整備する 20.6%
4	高齢者の福祉を充実する 15.6%	地球温暖化を防止する 17.6%	子育て支援を充実する 17.9%	高齢者の福祉を充実する 18.5%	高齢者の福祉を充実する 17.1%
5	地球温暖化を防止する 14.9%	子育て支援を充実する 17.2%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 17.1%	子育て支援を充実する 16.8%
6	子育て支援を充実する 14.3%	自然をまもり、緑を育てる 15.8%	防犯の地域づくりを進める 16.8%	自然をまもり、緑を育てる 16.4%	道路や街路を整備する 16.5%
7	自然をまもり、緑を育てる 13.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.9%	防犯の地域づくりを進める 15.9%	地球温暖化を防止する 13.6%
8	防犯の地域づくりを進める 13.0%	防犯の地域づくりを進める 12.9%	便利な交通網をつくる 13.2%	便利な交通網をつくる 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%
9	道路や街路を整備する 11.8%	便利な交通網をつくる 12.2%	交通事故をなくす 11.0%	道路や街路を整備する 11.1%	便利な交通網をつくる 11.9%
10	交通事故をなくす 11.7%	道路や街路を整備する 10.4%	道路や街路を整備する 10.8%	交通事故をなくす 10.8%	交通事故をなくす 9.5%
11	便利な交通網をつくる 11.2%	交通事故をなくす 10.3%	消費生活の安全を高める 9.8%	消費生活の安全を高める 8.4%	消費生活の安全を高める 8.9%
12	省資源やリサイクルを進める 7.8%	省資源やリサイクルを進める 8.7%	川や大気環境をまもる 8.2%	雇用の場を広げる 8.0%	川や大気環境をまもる 7.4%
13	雇用の場を広げる 7.0%	雇用の場を広げる 8.3%	省資源やリサイクルを進める 7.9%	川や大気環境をまもる 7.2%	資源やリサイクルを進める 6.6%
14	川や大気環境をまもる 6.9%	川や大気環境をまもる 7.3%	雇用の場を広げる 7.0%	省資源やリサイクルを進める 6.9%	雇用の場を広げる 6.1%
15	公園、緑地を整備する 5.7%	消費生活の安全を高める 6.9%	食品の安全をまもる 6.3%	青少年を健全に育てる 5.7%	公園、緑地を整備する 5.2%
16	消費生活の安全を高める 5.1%	公園、緑地を整備する 6.0%	公園、緑地を整備する 6.1%	公園、緑地を整備する 5.4%	青少年を健全に育てる 5.1%
17	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 4.9%	食品の安全をまもる 5.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 4.9%
18	ＩＴ（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 4.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する／ 4.9%	青少年を健全に育てる 5.6%	食品の安全をまもる 4.1%	廃棄物対策を充実する 4.6%
19	青少年を健全に育てる／ 4.3%	青少年を健全に育てる 5.1%	廃棄物対策を充実する 4.7%	廃棄物対策を充実する／ 3.8%	生活排水対策を進める 4.5%
20	食品の安全をまもる 4.1%	廃棄物対策を充実する 4.9%	障害者の社会参加と福祉対策を進める 4.4%	障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.8%	食品の安全をまもる 4.2%
21	廃棄物対策を充実する 3.7%	障害者の社会参加と福祉対策を進める／ 3.9%	新型コロナウイルス感染症対策を進める／ 3.8%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 3.5%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.7%
22	障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.4%	農林業をさかんにする 3.9%	農林業をさかんにする 3.8%	農林業をさかんにする 3.0%	農林業をさかんにする 3.3%
23	健康づくりを進めて、疾病を予防する／ 3.2%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 3.8%	生活排水対策を進める／ 3.4%	健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.9%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める／ 2.9%
24	都市のバリアフリー化を進める 3.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.9%	都市のバリアフリー化を進める 3.4%	都市のバリアフリー化を進める 2.8%	健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.9%
25	芸術・文化活動をさかんにする 2.9%	健康づくりを進めて、疾病を予防する／ 2.9%	人権尊重の社会づくりを進める 3.1%	観光振興を進める 2.6%	市町村が主役の地域づくりを進める／ 2.5%
26	人権尊重の社会づくりを進める 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする／ 2.8%	健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.9%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.4%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.3%
27	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.5%	観光振興を進める／ 2.8%	市町村が主役の地域づくりを進める／ 2.5%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する／ 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.0%
28	生活排水対策を進める 2.5%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	ＩＴ（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.4%	生活排水対策を進める／ 2.2%	観光振興を進める／ 2.0%
29	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする／ 2.5%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.1%	人権尊重の社会づくりを進める 1.9%
30	市町村が主役の地域づくりを進める 2.3%	都市のバリアフリー化を進める 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする／ 2.3%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.1%	都市のバリアフリー化を進める 1.8%
31	農林業をさかんにする／ 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.4%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.3%	芸術・文化活動をさかんにする 2.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 1.3%
32	観光振興を進める 2.1%	生活排水対策を進める 2.3%	観光振興を進める 2.2%	生涯学習対策を充実する 1.7%	生涯学習対策を充実する 1.3%
33	生涯学習対策を充実する 1.4%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.0%
34	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.7%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.7%	ＮＰＯやボランティアへの活動支援を充実する／ 0.9%	県民参加の行政を進める／ 0.8%
35	県民参加の行政を進める／ 0.9%	ＮＰＯやボランティアへの活動支援を充実する 1.0%	県民参加の行政を進める 1.1%	国際交流や国際協力を進める 0.7%	国際交流や国際協力を進める 0.6%
36	国際交流や国際協力を進める／ 0.9%	国際交流や国際協力を進める 0.8%	ＮＰＯやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	県民参加の行政を進める 0.7%	ＮＰＯやボランティアへの活動支援を充実する 0.6%
37	ＮＰＯやボランティアへの活動支援を充実する 0.9%	県民参加の行政を進める 0.6%	国際交流や国際協力を進める 0.6%	－ －	－ －

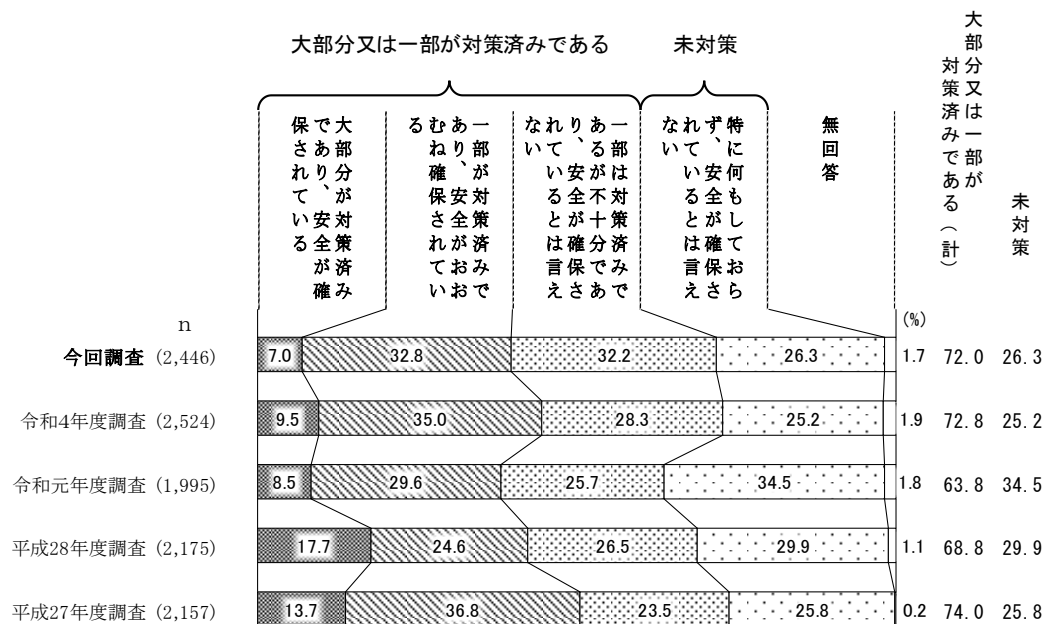
4 大地震に備えた
取組について
(問 18～問 23)

4. 大地震に備えた取組について

(1) 家具転倒防止対策の実施状況

◇『大部分又は一部が対策済みである（計）』は72.0%

問18 あなたの家では、地震に備えて家具転倒防止対策を実施していますか。（家具類（タンスや食器棚、本棚、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ等）が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫、家具類がない部屋で就寝するなどを実施している場合、対策しているといえます。）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

自宅での家具転倒防止対策の実施状況は、「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」（26.3%）が2割台半ばを超えている。「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」（7.0%）、「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」（32.8%）、「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」（32.2%）を合わせた『大部分又は一部が対策済みである（計）』（72.0%）が7割強となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は60歳代（37.1%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○家具転倒防止対策の実施状況・性別／年代別

		大部分又は一部が対策済みである				未対策				大部分又は一部が 対策済みである（計）		未対策
		れあ大部 てり、分 いる安が 全が対 策確 済み さで	確り一 保、部 され安 が全 対 策 済 み で ねあ	る安一 と全が は不 言確 え保 さ な い れ あ	る安一 と全が は不 言確 え保 さ な い れ あ	てず特 い、に る安何 とは全 は言 え保 な い れ	無回答					
n												
全 体 (2,446)		7.0	32.8	32.2	26.3	1.7	72.0	26.3				
【性別】												
男性 (1,010)		7.0	33.8	31.4	26.6	1.2	72.2	26.6				
女性 (1,330)		7.0	32.4	33.4	25.6	1.7	72.8	25.6				
【年代別】												
18・19歳 (32)		12.5	28.1	43.8	15.6	84.4	15.6					
20歳代 (180)		8.3	32.2	33.9	25.6	74.4	25.6					
【再掲】10歳代・20歳代 (212)		9.0	31.6	35.4	24.1	75.9	24.1					
30歳代 (256)		6.6	35.2	31.6	26.2	0.4	73.4	26.2				
40歳代 (361)		6.9	34.1	32.1	26.6	0.3	73.1	26.6				
50歳代 (497)		6.8	31.4	34.8	26.2	0.8	73.0	26.2				
60歳代 (428)		6.8	37.1	30.4	25.0	0.7	74.3	25.0				
70歳以上 (648)		7.1	30.4	31.3	27.0	4.2	68.8	27.0				

③ 地域別

「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」は南部地域（11.4%）で1割強と最も高くなっている。「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は秩父地域（43.8%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」は男性10歳代・20歳代（11.5%）で1割強と最も高くなっている。「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は男性40歳代（40.7%）で4割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」は自営業・家族従業（計）（14.2％）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は家族形成期（41.7％）で4割強と最も高く、「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」はその他（32.3％）で3割強と最も高くなっている。

○家具転倒防止対策の実施状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

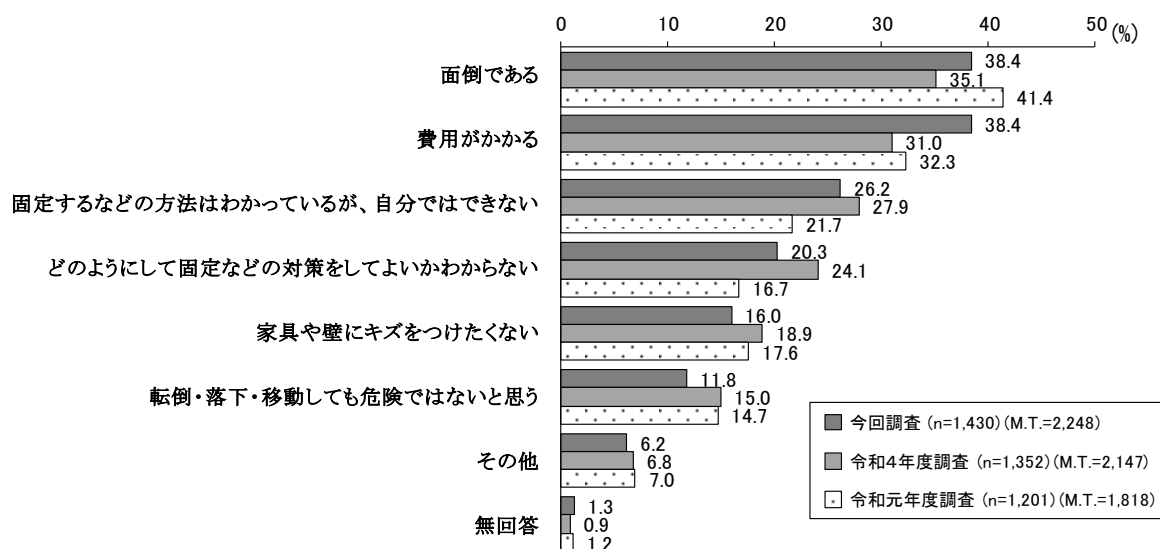
	調査数 n	いり、大 る、部分 安全が 対策済 みであ る	保り、一 部が安 全が対 策済み である 確	言がが一 え確不部 ない保十は いさ分対 とれて策 安済済 はるみ と安み は全あ 全ある	と安特 は全に は言が え何 ないも し 保 さ て お ら ず、 確	無 回 答	(%) 済大未 み部 分 又 は 一 部 が 対 策	(%) 未 対 策
全 体	2,446	7.0	32.8	32.2	26.3	1.7	72.0	26.3
地域別								
南部地域	245	11.4	33.1	33.5	20.4	1.6	78.0	20.4
南西部地域	224	8.9	33.0	26.8	29.5	1.8	68.8	29.5
東部地域	363	8.0	30.9	31.4	28.4	1.4	70.2	28.4
さいたま地域	447	6.3	35.6	33.6	23.5	1.1	75.4	23.5
県央地域	181	6.6	37.6	33.1	20.4	2.2	77.3	20.4
川越比企地域	253	6.3	31.6	34.8	25.3	2.0	72.7	25.3
西部地域	271	6.3	31.0	36.5	25.8	0.4	73.8	25.8
利根地域	217	4.6	30.4	30.0	32.3	2.8	65.0	32.3
北部地域	166	4.2	30.7	31.3	32.5	1.2	66.3	32.5
秩父地域	32	9.4	43.8	18.8	28.1	-	71.9	28.1
性・年代別								
男性／18・19歳	9	22.2	22.2	55.6	-	-	100.0	-
20歳代	78	10.3	34.6	34.6	20.5	-	79.5	20.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	11.5	33.3	36.8	18.4	-	81.6	18.4
30歳代	109	7.3	31.2	26.6	33.9	0.9	65.1	33.9
40歳代	140	5.0	40.7	31.4	22.1	0.7	77.1	22.1
50歳代	201	7.5	26.9	37.3	27.4	1.0	71.6	27.4
60歳代	187	7.0	37.4	29.9	25.1	0.5	74.3	25.1
70歳以上	286	6.3	33.9	28.3	29.0	2.4	68.5	29.0
女性／18・19歳	23	8.7	30.4	39.1	21.7	-	78.3	21.7
20歳代	99	7.1	29.3	34.3	29.3	-	70.7	29.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	7.4	29.5	35.2	27.9	-	72.1	27.9
30歳代	135	6.7	35.6	37.0	20.7	-	79.3	20.7
40歳代	208	8.2	31.3	32.7	27.9	-	72.1	27.9
50歳代	280	5.4	35.4	33.2	25.7	0.4	73.9	25.7
60歳代	236	6.8	36.9	30.5	25.4	0.4	74.2	25.4
70歳以上	349	7.7	27.5	33.8	25.2	5.7	69.1	25.2
職業別								
自営業・家族従業（計）	183	14.2	32.8	26.8	25.1	1.1	73.8	25.1
雇用者（計）	1,293	6.0	32.8	34.3	26.5	0.5	73.1	26.5
無職（計）	909	7.2	33.1	31.4	25.7	2.6	71.6	25.7
ライフステージ別								
独身期	280	8.2	27.5	35.0	28.9	0.4	70.7	28.9
家族形成期	151	8.6	41.7	29.8	19.2	0.7	80.1	19.2
家族成長前期	205	6.8	38.0	35.1	20.0	-	80.0	20.0
家族成長後期	166	6.6	36.1	35.5	21.7	-	78.3	21.7
家族成熟期	373	6.2	34.0	33.8	25.5	0.5	74.0	25.5
高齢期	611	6.7	36.0	30.9	24.2	2.1	73.6	24.2
その他	660	7.1	27.0	30.0	32.3	3.6	64.1	32.3

(1-1) 家具転倒防止対策を実施していない理由

◇「面倒である」と「費用がかかる」が38.4%

(問18で「3. 一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」または「4. 特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えの方にお伺いします。)

問18-1 家具転倒防止対策が不十分、または、特に何もしておらず、安全が確保されていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

家具転倒防止対策を実施していない理由は、「面倒である」と「費用がかかる」(各38.4%)が4割弱と高く、次いで「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」(26.2%)、「どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない」(20.3%)、「家具や壁にキズをつけたくない」(16.0%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「費用がかかる」(38.4%)が7.4ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「面倒である」は南西部地域（46.0％）で4割台半ばを超えて最も高く、「費用がかかる」は北部地域（51.9％）で5割強と最も高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は利根地域（32.6％）で3割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n＝15）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「面倒である」は男性（46.8％）の方が女性（32.8％）よりも14.0ポイント高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は女性（34.3％）の方が男性（14.7％）よりも19.6ポイント、「どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない」は女性（23.3％）の方が男性（16.9％）よりも6.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「面倒である」と「費用がかかる」は30歳代（52.7％・47.3％）で最も高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は70歳以上（42.6％）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「面倒である」は男性30歳代（69.7％）で約7割と最も高くなっている。「費用がかかる」は男性10歳代・20歳代（58.3％）で6割弱と最も高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は女性70歳以上（55.3％）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「費用がかかる」は雇用者（計）（41.8％）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「面倒である」と「費用がかかる」は独身期（54.2％・46.4％）で最も高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は高齢期（37.7％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○家具転倒防止対策を実施していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

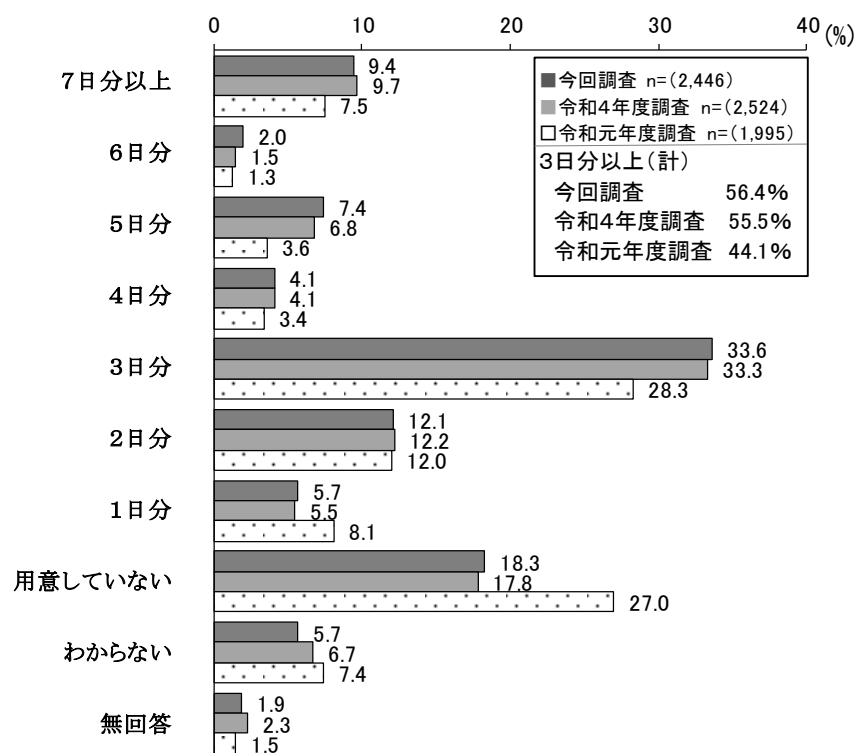
	調査数	面倒である	費用がかかる	ではできない	固定するなどの方法はない	どのような対策をしてよいかわからない	どのようにしてよいかわからない	家具や壁にキズをつけたくない	転倒・落下・移動しても危険ではないと思う	その他	無回答
	n										(%)
全 体	1,430	38.4	38.4	26.2	20.3	16.0	11.8	6.2	1.3		
地域別											
南部地域	132	31.8	33.3	27.3	23.5	17.4	10.6	3.8	1.5		
南西部地域	126	46.0	41.3	21.4	19.0	19.0	5.6	7.9	—		
東部地域	217	38.2	43.3	26.7	22.1	14.3	9.7	6.5	1.4		
さいたま地域	255	42.4	32.9	21.2	20.0	19.2	19.6	6.3	1.2		
県央地域	97	37.1	40.2	32.0	21.6	14.4	9.3	3.1	2.1		
川越比企地域	152	33.6	36.8	26.3	19.7	15.8	9.9	7.9	0.7		
西部地域	169	38.5	36.7	29.6	17.8	16.6	11.8	8.3	1.2		
利根地域	135	39.3	33.3	32.6	18.5	14.8	14.1	5.2	3.0		
北部地域	106	38.7	51.9	19.8	21.7	12.3	8.5	5.7	0.9		
秩父地域	15	40.0	46.7	13.3	20.0	6.7	13.3	6.7	6.7		
性別											
男性	586	46.8	38.6	14.7	16.9	16.6	15.5	7.0	1.2		
女性	784	32.8	37.1	34.3	23.3	16.2	8.9	5.9	1.5		
年代別											
18・19歳	19	63.2	36.8	15.8	15.8	5.3	—	5.3	—		
20歳代	107	49.5	47.7	15.0	16.8	22.4	6.5	4.7	0.9		
【再掲】10歳代・20歳代	126	51.6	46.0	15.1	16.7	19.8	5.6	4.8	0.8		
30歳代	148	52.7	47.3	14.9	23.0	30.4	8.8	4.1	—		
40歳代	212	44.8	41.5	21.2	24.5	20.8	8.5	5.2	—		
50歳代	303	35.3	44.9	19.1	18.5	13.9	13.2	5.9	0.3		
60歳代	237	36.7	33.8	24.9	16.9	16.0	11.4	9.3	1.3		
70歳以上	378	28.8	28.3	42.6	22.0	8.5	16.1	6.6	3.7		
性・年代別											
男性／18・19歳	5	60.0	40.0	20.0	20.0	—	—	—	—		
20歳代	43	53.5	60.5	7.0	16.3	23.3	7.0	4.7	—		
【再掲】10歳代・20歳代	48	54.2	58.3	8.3	16.7	20.8	6.3	4.2	—		
30歳代	66	69.7	50.0	7.6	21.2	25.8	12.1	7.6	—		
40歳代	75	48.0	37.3	14.7	18.7	20.0	10.7	8.0	—		
50歳代	130	40.8	42.3	6.9	11.5	19.2	18.5	6.9	—		
60歳代	103	43.7	35.0	13.6	13.6	18.4	13.6	7.8	1.0		
70歳以上	164	41.5	28.0	26.2	20.7	6.7	20.7	6.7	3.7		
女性／18・19歳	14	64.3	35.7	14.3	14.3	7.1	—	7.1	—		
20歳代	63	47.6	38.1	20.6	17.5	22.2	6.3	4.8	1.6		
【再掲】10歳代・20歳代	77	50.6	37.7	19.5	16.9	19.5	5.2	5.2	1.3		
30歳代	78	39.7	43.6	20.5	25.6	35.9	6.4	1.3	—		
40歳代	126	42.1	40.5	26.2	29.4	23.0	7.1	4.0	—		
50歳代	165	31.5	46.1	27.9	24.2	10.3	8.5	5.5	0.6		
60歳代	132	31.8	31.8	34.1	19.7	14.4	9.8	10.6	1.5		
70歳以上	206	19.4	28.6	55.3	22.8	9.2	12.1	6.3	3.9		
職業別											
自営業・家族従業（計）	95	41.1	28.4	16.8	16.8	8.4	14.7	10.5	—		
雇用者（計）	785	41.1	41.8	20.5	19.9	18.9	11.3	5.7	0.4		
無職（計）	519	34.3	35.3	35.5	22.0	13.7	12.1	6.4	2.9		
ライフステージ別											
独身期	179	54.2	46.4	14.5	19.6	21.8	6.1	5.0	0.6		
家族形成期	74	48.6	43.2	18.9	20.3	40.5	8.1	2.7	—		
家族成長前期	113	44.2	43.4	17.7	24.8	23.0	12.4	3.5	—		
家族成長後期	95	37.9	40.0	16.8	17.9	20.0	13.7	3.2	—		
家族成熟期	221	32.6	43.0	23.5	19.9	10.4	11.8	6.8	—		
高齢期	337	31.5	26.1	37.7	19.3	11.0	16.0	6.5	3.0		
その他	411	37.0	39.9	29.0	20.9	13.4	10.9	8.0	1.9		

(2) 災害時に利用可能な備蓄状況

◇『3日分以上（計）』は食料品が 56.4%、飲料水が 62.0%

問19 あなたの家では、災害時に利用できる食料品及び飲料水を何日分用意していますか。
(〇は1つだけ)

■食料品



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時に利用可能な備蓄状況について、食料品は「3日分」（33.6%）が3割強と最も高く、次いで「用意していない」（18.3%）、「2日分」（12.1%）となっている。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日分以上（計）』（56.4%）は5割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

『3日分以上（計）』は南部地域（60.8%）で6割を超えて最も高く、利根地域（52.5%）で最も低くなっている。一方で、「用意していない」は利根地域（21.7%）で2割強と最も高くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

③ 年代別

『3日分以上（計）』は年代が上がるほど割合が高くなり、70 歳以上（65.7%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、「用意していない」は30 歳代（25.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『3日分以上（計）』は女性 70 歳以上（66.8%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「用意していない」は男性 30 歳代（26.6%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『3日分以上（計）』は自営業・家族従業（計）（62.3%）で6割強と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は雇用者（計）（21.3%）で2割強と最も高くなっている。

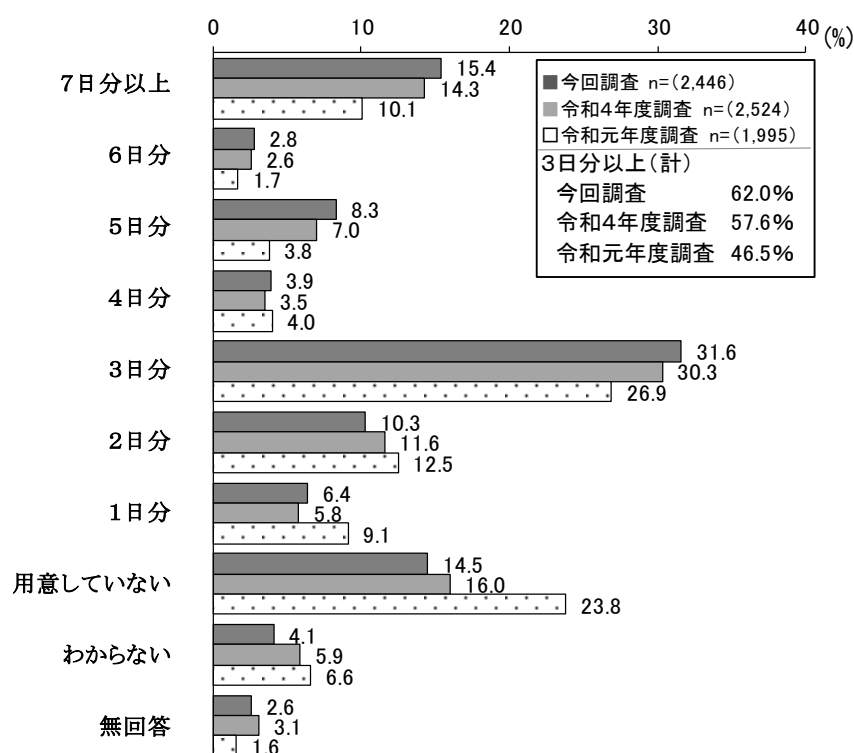
⑥ ライフステージ別

『3日分以上（計）』は高齢期（66.0%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「用意していない」は独身期（26.8%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○災害時に利用可能な備蓄状況（食料品）・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	7 日 分 以 上	6 日 分	5 日 分	4 日 分	3 日 分	2 日 分	1 日 分	用意 して い ない	わ か ら な い	無 回 答	(%) 3 日 分 以 上 (計)
全 体	2,446	9.4	2.0	7.4	4.1	33.6	12.1	5.7	18.3	5.7	1.9	56.4
地域別												
南部地域	245	9.8	1.6	11.8	6.1	31.4	9.4	4.1	15.9	7.8	2.0	60.8
南西部地域	224	10.7	1.8	7.1	4.0	29.5	13.8	6.7	16.5	6.7	3.1	53.1
東部地域	363	10.2	1.9	7.7	5.0	33.9	10.5	4.4	19.0	6.6	0.8	58.7
さいたま地域	447	9.2	3.4	6.3	3.4	33.3	15.0	5.8	19.2	3.8	0.7	55.5
県央地域	181	5.0	—	7.2	2.2	39.2	12.2	4.4	19.9	5.5	4.4	53.6
川越比企地域	253	11.1	2.8	7.9	4.0	34.4	11.1	4.7	16.6	5.9	1.6	60.1
西部地域	271	8.9	0.7	5.5	5.2	33.6	14.8	7.7	18.1	5.2	0.4	53.9
利根地域	217	6.5	1.4	7.8	2.3	34.6	10.1	6.9	21.7	5.1	3.7	52.5
北部地域	166	9.0	1.8	6.6	4.2	35.5	10.8	4.2	19.9	7.2	0.6	57.2
秩父地域	32	21.9	6.3	6.3	6.3	18.8	12.5	15.6	9.4	3.1	—	59.4
性別												
男性	1,010	11.1	1.7	7.7	4.2	33.3	10.7	4.8	18.7	6.1	1.8	57.9
女性	1,330	8.0	2.3	7.4	4.1	34.0	13.2	6.2	18.0	5.3	1.6	55.8
年代別												
18・19歳	32	6.3	6.3	9.4	3.1	18.8	6.3	3.1	12.5	34.4	—	43.8
20歳代	180	6.7	—	5.0	1.7	20.6	14.4	9.4	25.0	16.7	0.6	33.9
【再掲】10歳代・20歳代	212	6.6	0.9	5.7	1.9	20.3	13.2	8.5	23.1	19.3	0.5	35.4
30歳代	256	8.2	2.0	6.6	3.1	28.9	14.1	5.5	25.4	5.9	0.4	48.8
40歳代	361	9.1	1.1	6.9	3.6	31.6	13.0	10.0	19.1	5.3	0.3	52.4
50歳代	497	8.7	1.6	6.8	4.8	35.4	12.7	5.4	19.5	4.4	0.6	57.3
60歳代	428	11.4	0.7	6.5	4.0	36.7	11.9	4.9	18.9	4.4	0.5	59.3
70歳以上	648	9.7	3.9	9.6	5.1	37.5	10.5	2.9	12.5	3.4	4.9	65.7
性・年代別												
男性／18・19歳	9	22.2	—	—	—	33.3	—	—	11.1	33.3	—	55.6
20歳代	78	10.3	—	3.8	2.6	19.2	9.0	6.4	28.2	19.2	1.3	35.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	11.5	—	3.4	2.3	20.7	8.0	5.7	26.4	20.7	1.1	37.9
30歳代	109	9.2	2.8	9.2	—	27.5	11.9	6.4	26.6	6.4	—	48.6
40歳代	140	13.6	1.4	8.6	3.6	36.4	7.1	9.3	13.6	5.7	0.7	63.6
50歳代	201	8.5	0.5	6.5	6.5	33.3	14.4	3.5	21.9	4.0	1.0	55.2
60歳代	187	13.9	—	7.5	3.2	36.9	11.2	3.7	17.6	5.3	0.5	61.5
70歳以上	286	10.5	3.8	9.1	5.6	35.3	9.8	3.1	14.3	3.8	4.5	64.3
女性／18・19歳	23	—	8.7	13.0	4.3	13.0	8.7	4.3	13.0	34.8	—	39.1
20歳代	99	4.0	—	6.1	1.0	21.2	19.2	12.1	21.2	15.2	—	32.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	3.3	1.6	7.4	1.6	19.7	17.2	10.7	19.7	18.9	—	33.6
30歳代	135	5.9	1.5	4.4	5.2	30.4	16.3	5.2	25.9	4.4	0.7	47.4
40歳代	208	6.7	1.0	6.3	3.8	30.3	15.4	10.1	21.2	5.3	—	48.1
50歳代	280	8.9	2.5	7.5	3.9	37.1	11.4	6.8	17.9	3.6	0.4	60.0
60歳代	236	9.7	1.3	5.9	4.7	36.0	12.7	5.1	20.3	3.8	0.4	57.6
70歳以上	349	9.2	4.0	10.3	4.6	38.7	10.9	2.9	11.2	3.2	5.2	66.8
職業別												
自営業・家族従業（計）	183	15.3	0.5	9.8	6.6	30.1	10.9	4.9	15.8	4.4	1.6	62.3
雇用者（計）	1,293	8.8	1.2	6.3	3.2	32.6	14.1	6.6	21.3	5.5	0.4	52.1
無職（計）	909	8.7	3.4	8.6	5.0	35.8	9.9	4.3	15.0	6.3	3.2	61.4
ライフステージ別												
独身期	280	8.2	1.4	5.7	2.1	20.7	10.4	7.1	26.8	17.1	0.4	38.2
家族形成期	151	6.0	2.6	7.3	2.6	29.8	16.6	8.6	21.9	3.3	1.3	48.3
家族成長前期	205	7.3	0.5	5.9	5.4	37.1	18.5	6.8	15.1	3.4	—	56.1
家族成長後期	166	11.4	0.6	6.6	7.2	30.1	13.3	12.0	17.5	1.2	—	56.0
家族成熟期	373	7.8	1.3	6.7	2.7	39.7	11.8	6.2	19.3	4.0	0.5	58.2
高齢期	611	10.8	3.1	10.0	4.4	37.6	10.8	3.3	13.1	3.6	3.3	66.0
その他	660	10.3	2.1	7.0	4.5	32.4	10.8	4.4	19.2	6.1	3.2	56.4

■飲料水



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時に利用可能な備蓄状況について、飲料水は「3日分」(31.6%)が3割強と最も高く、次いで「7日分以上」(15.4%)、「用意していない」(14.5%)、「2日分」(10.3%)となっている。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日以上(計)』(62.0%)は6割強となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、『3日以上(計)』は4.4ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

『3日以上（計）』は南部地域（67.3%）で6割台半ばを超えて最も高く、秩父地域（56.3%）で低くなっている。一方で、「用意していない」は利根地域（20.7%）で2割を超えて最も高くなっている。

② 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

③ 年代別

『3日以上（計）』は年代が上がるほど割合が高くなり、70歳以上（68.5%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は30歳代（22.7%）で2割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『3日以上（計）』は女性70歳以上（71.1%）で7割強と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は女性30歳代（24.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『3日以上（計）』は自営業・家族従業（計）（69.4%）で約7割と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は雇用者（計）（17.2%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『3日以上（計）』は高齢期（70.4%）で7割を超えて最も高くなっている。一方で、「用意していない」は独身期（23.9%）で2割強と最も高くなっている。

○災害時に利用可能な備蓄状況（飲料水）・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	7 日 分 以上	6 日 分	5 日 分	4 日 分	3 日 分	2 日 分	1 日 分	用意 して い ない	わ か ら な い	無 回 答	(%) 3 日 分 以 上 (計)
全 体	2,446	15.4	2.8	8.3	3.9	31.6	10.3	6.4	14.5	4.1	2.6	62.0
地域別												
南部地域	245	19.6	1.6	12.7	3.7	29.8	9.0	4.1	12.2	4.9	2.4	67.3
南西部地域	224	14.3	2.2	8.5	4.5	28.6	12.1	8.9	14.7	4.5	1.8	58.0
東部地域	363	18.5	3.0	8.3	4.4	31.1	10.2	4.4	13.5	4.7	1.9	65.3
さいたま地域	447	13.9	3.8	6.9	3.6	34.9	11.2	6.0	15.2	2.7	1.8	63.1
県央地域	181	16.6	2.8	6.1	1.7	30.9	8.3	9.4	13.8	4.4	6.1	58.0
川越比企地域	253	13.0	4.0	9.9	2.8	34.8	8.7	5.1	11.9	6.3	3.6	64.4
西部地域	271	17.0	1.5	8.1	5.2	28.4	12.2	8.1	15.1	3.3	1.1	60.1
利根地域	217	11.5	3.2	8.8	4.1	30.0	10.1	5.5	20.7	2.8	3.2	57.6
北部地域	166	13.3	3.0	6.0	4.8	33.7	10.2	7.2	15.1	5.4	1.2	60.8
秩父地域	32	12.5	3.1	9.4	9.4	21.9	15.6	9.4	12.5	3.1	3.1	56.3
性別												
男性	1,010	19.0	2.9	8.5	3.6	28.7	8.4	5.9	15.6	4.9	2.5	62.7
女性	1,330	13.2	3.0	8.0	4.1	33.9	11.6	6.5	13.7	3.6	2.5	62.1
年代別												
18・19歳	32	15.6	-	9.4	3.1	15.6	3.1	3.1	12.5	37.5	-	43.8
20歳代	180	13.9	2.2	6.1	3.3	21.1	7.2	7.8	21.7	16.1	0.6	46.7
【再掲】10歳代・20歳代	212	14.2	1.9	6.6	3.3	20.3	6.6	7.1	20.3	19.3	0.5	46.2
30歳代	256	14.5	3.1	8.6	4.3	26.6	10.2	6.3	22.7	3.1	0.8	57.0
40歳代	361	16.1	1.7	6.9	3.0	32.4	13.0	8.6	13.9	3.6	0.8	60.1
50歳代	497	14.9	2.0	6.8	3.6	33.0	13.7	7.0	14.5	3.2	1.2	60.4
60歳代	428	15.9	1.9	7.5	4.4	36.9	9.6	5.4	14.3	2.3	1.9	66.6
70歳以上	648	15.7	5.1	11.1	4.5	32.1	8.5	4.9	10.3	1.9	5.9	68.5
性・年代別												
男性／18・19歳	9	22.2	-	-	-	22.2	-	-	11.1	44.4	-	44.4
20歳代	78	17.9	2.6	5.1	3.8	20.5	1.3	3.8	23.1	20.5	1.3	50.0
【再掲】10歳代・20歳代	87	18.4	2.3	4.6	3.4	20.7	1.1	3.4	21.8	23.0	1.1	49.4
30歳代	109	17.4	3.7	8.3	3.7	22.0	10.1	9.2	21.1	2.8	1.8	55.0
40歳代	140	22.9	3.6	5.7	4.3	30.7	9.3	7.9	10.0	4.3	1.4	67.1
50歳代	201	15.9	0.5	7.5	5.0	30.8	10.0	6.5	17.9	4.5	1.5	59.7
60歳代	187	20.3	1.6	9.1	2.7	35.8	7.5	4.3	15.5	2.7	0.5	69.5
70歳以上	286	19.2	4.9	11.5	2.8	26.6	9.1	5.2	12.9	2.1	5.6	65.0
女性／18・19歳	23	13.0	-	13.0	4.3	13.0	4.3	4.3	13.0	34.8	-	43.5
20歳代	99	11.1	2.0	7.1	3.0	21.2	12.1	10.1	20.2	13.1	-	44.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	11.5	1.6	8.2	3.3	19.7	10.7	9.0	18.9	17.2	-	44.3
30歳代	135	12.6	3.0	7.4	4.4	30.4	9.6	4.4	24.4	3.7	-	57.8
40歳代	208	12.5	0.5	7.2	2.4	35.6	14.9	8.7	14.4	3.4	0.5	58.2
50歳代	280	14.6	3.2	6.8	2.5	34.6	15.7	7.5	12.5	1.4	1.1	61.8
60歳代	236	12.7	2.1	6.4	5.5	37.7	11.0	5.9	13.6	2.1	3.0	64.4
70歳以上	349	13.5	5.4	10.6	5.4	36.1	7.7	4.9	8.3	1.7	6.3	71.1
職業別												
自営業・家族従業（計）	183	19.1	3.3	10.9	5.5	30.6	9.3	6.0	10.9	3.3	1.1	69.4
雇用者（計）	1,293	15.7	2.1	6.9	3.5	30.2	12.3	7.1	17.2	3.9	1.1	58.4
無職（計）	909	14.2	3.9	9.9	4.4	34.0	8.0	5.3	11.9	4.5	4.0	66.3
ライフステージ別												
独身期	280	16.4	1.8	6.1	3.6	18.2	7.1	6.4	23.9	15.7	0.7	46.1
家族形成期	151	12.6	6.0	9.3	3.3	30.5	9.9	7.9	17.2	2.0	1.3	61.6
家族成長前期	205	14.1	-	6.3	3.4	36.1	17.1	8.3	12.2	2.0	0.5	60.0
家族成長後期	166	16.3	1.8	9.6	3.6	27.7	13.9	13.9	11.4	1.8	-	59.0
家族成熟期	373	14.2	2.4	7.5	2.7	35.9	10.5	6.7	16.9	1.9	1.3	62.7
高齢期	611	15.9	4.4	10.0	4.9	35.2	9.0	4.7	9.7	1.6	4.6	70.4
その他	660	16.1	2.4	8.2	4.2	31.2	10.0	4.8	14.5	4.5	3.9	62.1

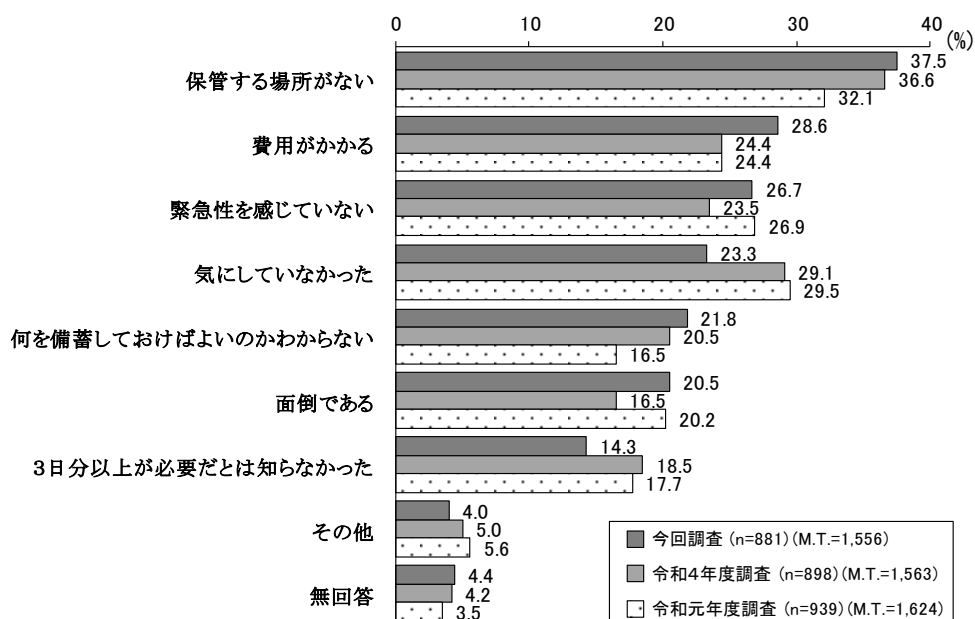
(2-1) 3日以上の食料品を備蓄していない理由

◇「保管する場所がない」が37.5%

(問19(1)で「6. 2日分」、「7. 1日分」、「8. 用意していない」のいずれかとお答えの方にお伺いします。)

問19-1 あなたの家で、3日以上の食料品の備蓄をしていない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

3日以上の食料品の備蓄をしていない理由は、「保管する場所がない」(37.5%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「費用がかかる」(28.6%)、「緊急性を感じていない」(26.7%)、「気にしていなかった」(23.3%)、「何を備蓄しておけばよいかわからない」(21.8%)、「面倒である」(20.5%)、「3日以上が必要だとは知らなかった」(14.3%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「気にしていなかった」(23.3%)が5.8ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「保管する場所がない」は南西部地域（47.0％）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。「費用がかかる」と「緊急性を感じていない」は北部地域（36.2％・44.8％）で最も高くなっている。

※秩父地域（n＝12）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「緊急性を感じていない」は男性（31.9％）の方が女性（23.9％）よりも8.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「保管する場所がない」は40歳代（50.0％）で5割と最も高くなっている。「費用がかかる」は30歳代（36.5％）で3割台半ばを超えて最も高く、「緊急性を感じていない」は60歳代（35.3％）で3割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「保管する場所がない」は女性40歳代（52.6％）で5割強と最も高くなっている。「費用がかかる」は女性30歳代（43.8％）で4割強と最も高く、「緊急性を感じていない」は男性70歳以上（42.3％）で4割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「保管する場所がない」と「費用がかかる」は雇用者（計）（41.6％・29.8％）で最も高くなっている。「緊急性を感じていない」は自営業・家族従業（計）（31.0％）で3割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「保管する場所がない」と「費用がかかる」は家族成長前期（59.0％・42.2％）で最も高くなっている。「緊急性を感じていない」は高齢期（36.1％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○3日分以上の食料品を備蓄していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	保管する場所がない	費用がかかる	緊急性を感じていない	気にしていなかった	いのか分らない	何を備蓄しておけばよいのか	面倒である	3日分以上が必要だと知らなかった	その他	無回答	(%)
	n											
全 体	881	37.5	28.6	26.7	23.3	21.8	20.5	14.3	4.0	4.4		
地域別												
南部地域	72	33.3	29.2	26.4	26.4	16.7	26.4	9.7	4.2	5.6		
南西部地域	83	47.0	28.9	16.9	19.3	22.9	28.9	21.7	3.6	3.6		
東部地域	123	33.3	31.7	20.3	24.4	26.8	15.4	8.9	4.1	4.9		
さいたま地域	179	44.1	24.6	25.7	22.3	23.5	22.3	16.8	2.2	3.9		
県央地域	66	25.8	19.7	31.8	22.7	21.2	15.2	13.6	6.1	6.1		
川越比企地域	82	35.4	32.9	25.6	17.1	25.6	12.2	12.2	3.7	6.1		
西部地域	110	39.1	27.3	30.9	24.5	15.5	25.5	10.0	6.4	1.8		
利根地域	84	35.7	28.6	28.6	25.0	16.7	19.0	19.0	3.6	3.6		
北部地域	58	27.6	36.2	44.8	27.6	24.1	22.4	15.5	-	5.2		
秩父地域	12	50.0	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3		
性別												
男性	345	35.1	26.7	31.9	26.4	19.4	24.9	15.1	3.8	3.8		
女性	497	38.4	28.2	23.9	21.5	22.9	18.1	13.5	4.2	4.8		
年代別												
18・19歳	7	42.9	42.9	14.3	14.3	-	42.9	-	28.6	-		
20歳代	88	36.4	34.1	23.9	22.7	10.2	31.8	6.8	3.4	-		
【再掲】10歳代・20歳代	95	36.8	34.7	23.2	22.1	9.5	32.6	6.3	5.3	-		
30歳代	115	48.7	36.5	24.3	20.9	22.6	25.2	10.4	5.2	0.9		
40歳代	152	50.0	33.6	15.1	18.4	26.3	14.5	12.5	2.0	3.3		
50歳代	187	36.4	33.2	25.1	17.6	18.2	20.3	11.2	4.8	5.9		
60歳代	153	31.4	18.3	35.3	26.8	26.1	17.0	18.3	3.3	6.5		
70歳以上	168	25.0	18.5	35.1	32.1	23.2	19.6	22.6	3.6	6.5		
性・年代別												
男性／18・19歳	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-		
20歳代	34	38.2	41.2	29.4	14.7	8.8	38.2	8.8	-	-		
【再掲】10歳代・20歳代	35	37.1	42.9	28.6	14.3	8.6	40.0	8.6	-	-		
30歳代	49	49.0	28.6	24.5	28.6	22.4	34.7	12.2	6.1	-		
40歳代	42	45.2	26.2	23.8	26.2	26.2	14.3	16.7	4.8	-		
50歳代	80	35.0	26.3	30.0	17.5	18.8	20.0	12.5	2.5	2.5		
60歳代	61	31.1	27.9	34.4	31.1	16.4	23.0	16.4	6.6	3.3		
70歳以上	78	23.1	17.9	42.3	35.9	21.8	24.4	20.5	2.6	11.5		
女性／18・19歳	6	50.0	33.3	16.7	16.7	-	33.3	-	33.3	-		
20歳代	52	36.5	28.8	21.2	26.9	11.5	28.8	5.8	5.8	-		
【再掲】10歳代・20歳代	58	37.9	29.3	20.7	25.9	10.3	29.3	5.2	8.6	-		
30歳代	64	48.4	43.8	25.0	14.1	23.4	18.8	9.4	4.7	-		
40歳代	97	52.6	33.0	11.3	17.5	24.7	15.5	10.3	1.0	5.2		
50歳代	101	35.6	36.6	21.8	18.8	18.8	20.8	9.9	6.9	8.9		
60歳代	90	31.1	11.1	35.6	23.3	31.1	12.2	18.9	1.1	8.9		
70歳以上	87	26.4	18.4	29.9	29.9	25.3	16.1	24.1	4.6	2.3		
職業別												
自営業・家族従業（計）	58	24.1	24.1	31.0	20.7	10.3	22.4	17.2	3.4	3.4		
雇用者（計）	543	41.6	29.8	25.6	22.7	20.6	19.2	12.3	4.1	4.1		
無職（計）	265	31.7	25.7	28.7	24.9	25.7	23.0	17.4	3.8	5.3		
ライフステージ別												
独身期	124	40.3	32.3	28.2	24.2	15.3	34.7	10.5	4.0	0.8		
家族形成期	71	43.7	36.6	16.9	22.5	18.3	22.5	7.0	7.0	1.4		
家族成長前期	83	59.0	42.2	12.0	10.8	21.7	14.5	12.0	2.4	3.6		
家族成長後期	71	46.5	33.8	26.8	16.9	19.7	22.5	8.5	1.4	5.6		
家族成熟期	139	34.5	29.5	27.3	15.8	21.6	17.3	15.1	5.0	7.9		
高齢期	166	27.7	12.7	36.1	35.5	22.3	17.5	21.1	3.6	4.8		
その他	227	32.2	28.6	26.9	25.1	26.9	18.1	15.9	4.0	4.8		

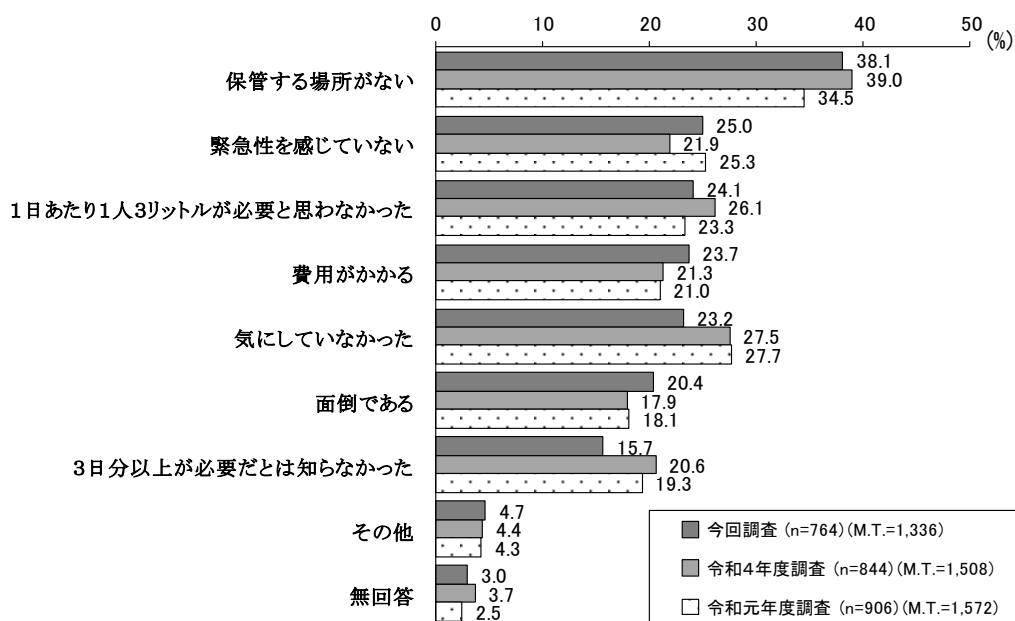
(2-2) 3日以上の飲料水を備蓄していない理由

◇「保管する場所がない」が38.1%

(問19(2)で「6. 2日分」、「7. 1日分」、「8. 用意していない」のいずれかとお答えの方にお伺いします。)

問19-2 あなたの家で、3日以上の飲料水の備蓄をしていない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

3日以上の飲料水の備蓄をしていない理由は、「保管する場所がない」(38.1%)が4割弱と最も高く、次いで「緊急性を感じていない」(25.0%)、「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」(24.1%)、「費用がかかる」(23.7%)、「気にしていなかった」(23.2%)、「面倒である」(20.4%)、「3日以上が必要だとは知らなかった」(15.7%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、「気にしていなかった」(4.3ポイント減)、「3日以上が必要だとは知らなかった」(4.9ポイント減)が減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「保管する場所がない」は東部地域（42.2%）で4割強と最も高くなっている。「緊急性を感じていない」は北部地域（40.7%）で4割を超えて最も高くなっている。「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は県央地域（31.6%）で3割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n=12）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「保管する場所がない」は女性（43.5%）の方が男性（29.4%）よりも14.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「保管する場所がない」は40歳代（50.8%）で5割を超えて最も高くなっている。「緊急性を感じていない」と「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は70歳以上（33.8%・33.1%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「保管する場所がない」は女性40歳代（57.0%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「緊急性を感じていない」は男性70歳以上（32.1%）で3割強と最も高く、「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は女性60歳代（36.1%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

※男性 10 歳代・20 歳代（n=23）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「保管する場所がない」は雇用者（計）（40.6%）で4割を超えて最も高く、「緊急性を感じていない」と「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は無職（計）（28.8%・29.7%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「保管する場所がない」は家族成長前期（57.1%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「緊急性を感じていない」と「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は高齢期（32.2%・36.4%）で最も高くなっている。

○3日分以上の飲料水を備蓄していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	保管する場所がない	緊急性を感じていない	1日あたり1人3リットルが必要と思われる	費用がかかる	気にしていなかった	面倒である	3日分以上が必要だと知らなかった	その他	無回答
全 体	764	38.1	25.0	24.1	23.7	23.2	20.4	15.7	4.7	3.0
地域別										
南部地域	62	38.7	24.2	19.4	19.4	25.8	22.6	14.5	4.8	1.6
南西部地域	80	40.0	21.3	27.5	22.5	15.0	21.3	22.5	5.0	2.5
東部地域	102	42.2	23.5	27.5	29.4	22.5	23.5	9.8	2.9	3.9
さいたま地域	145	40.7	24.1	24.8	22.1	20.7	24.8	19.3	4.1	4.8
県央地域	57	33.3	19.3	31.6	24.6	24.6	15.8	14.0	8.8	-
川越比企地域	65	41.5	27.7	16.9	27.7	18.5	10.8	16.9	4.6	-
西部地域	96	39.6	26.0	18.8	21.9	24.0	24.0	8.3	7.3	1.0
利根地域	79	30.4	24.1	21.5	17.7	27.8	15.2	13.9	1.3	8.9
北部地域	54	27.8	40.7	29.6	27.8	33.3	22.2	18.5	1.9	1.9
秩父地域	12	41.7	16.7	25.0	33.3	25.0	8.3	33.3	8.3	-
性別										
男性	303	29.4	26.1	22.8	22.4	30.4	29.4	17.5	5.0	3.0
女性	423	43.5	25.1	24.8	23.2	19.1	15.1	14.9	4.3	3.1
年代別										
18・19歳	6	33.3	-	-	33.3	16.7	16.7	-	33.3	-
20歳代	66	47.0	21.2	13.6	22.7	22.7	34.8	12.1	3.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	72	45.8	19.4	12.5	23.6	22.2	33.3	11.1	5.6	-
30歳代	100	41.0	21.0	14.0	33.0	27.0	26.0	12.0	7.0	-
40歳代	128	50.8	18.8	20.3	28.9	15.6	15.6	16.4	3.9	1.6
50歳代	175	39.4	24.6	24.6	26.3	14.9	17.7	15.4	4.6	3.4
60歳代	125	31.2	28.0	31.2	15.2	25.6	13.6	15.2	1.6	6.4
70歳以上	154	25.3	33.8	33.1	17.5	34.4	24.0	20.1	5.2	4.5
性・年代別										
男性／18・19歳	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
20歳代	22	31.8	22.7	9.1	31.8	31.8	54.5	13.6	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	23	30.4	21.7	8.7	34.8	30.4	56.5	13.0	-	-
30歳代	44	38.6	20.5	18.2	27.3	31.8	34.1	15.9	6.8	-
40歳代	38	34.2	18.4	21.1	18.4	28.9	15.8	18.4	10.5	2.6
50歳代	69	31.9	29.0	18.8	20.3	18.8	27.5	15.9	4.3	5.8
60歳代	51	29.4	25.5	23.5	23.5	35.3	21.6	9.8	2.0	3.9
70歳以上	78	19.2	32.1	33.3	19.2	37.2	32.1	25.6	5.1	2.6
女性／18・19歳	5	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	40.0	-
20歳代	42	57.1	19.0	16.7	19.0	16.7	26.2	11.9	4.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	47	55.3	17.0	14.9	19.1	17.0	23.4	10.6	8.5	-
30歳代	52	42.3	23.1	11.5	36.5	25.0	21.2	9.6	7.7	-
40歳代	79	57.0	20.3	19.0	29.1	11.4	16.5	16.5	1.3	1.3
50歳代	100	45.0	22.0	28.0	29.0	13.0	11.0	15.0	5.0	2.0
60歳代	72	31.9	29.2	36.1	8.3	19.4	8.3	19.4	1.4	6.9
70歳以上	73	31.5	37.0	31.5	16.4	32.9	16.4	15.1	4.1	6.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	48	25.0	27.1	27.1	20.8	27.1	18.8	18.8	2.1	-
雇用者（計）	473	40.6	23.3	20.9	23.3	20.7	19.5	16.3	4.4	2.7
無職（計）	229	35.4	28.8	29.7	24.9	27.1	23.6	13.5	5.2	4.4
ライフステージ別										
独身期	105	42.9	22.9	12.4	25.7	27.6	33.3	13.3	4.8	-
家族形成期	53	37.7	15.1	15.1	34.0	26.4	28.3	9.4	9.4	-
家族成長前期	77	57.1	13.0	22.1	32.5	13.0	10.4	19.5	3.9	2.6
家族成長後期	65	47.7	26.2	26.2	35.4	7.7	20.0	10.8	1.5	-
家族成熟期	127	37.0	29.9	26.0	24.4	16.5	15.0	11.0	5.5	3.1
高齢期	143	25.9	32.2	36.4	9.8	30.1	17.5	18.9	3.5	5.6
その他	194	34.5	24.7	22.7	22.2	28.4	21.1	19.6	5.2	4.6

(3) 災害用伝言サービスの体験利用経験

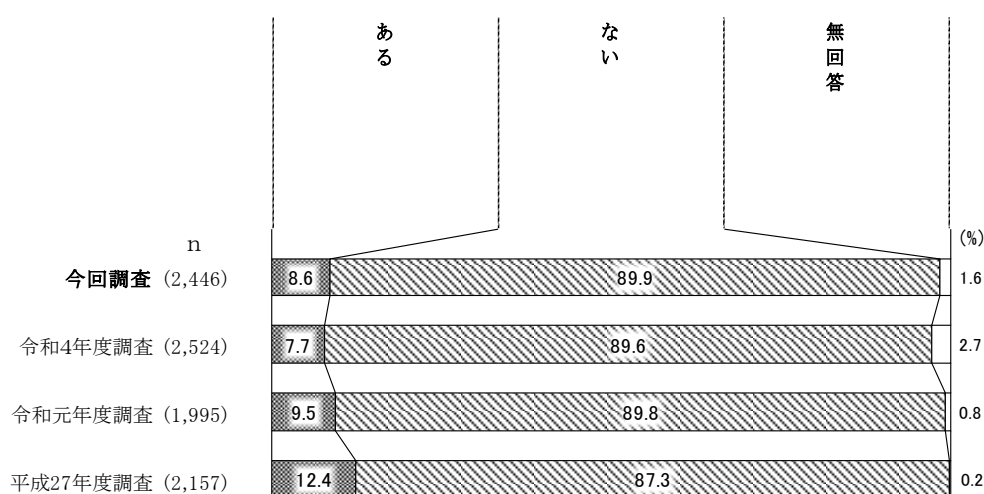
◇「ない」が89.9%

「災害用伝言サービス」は、大規模な災害が発生した場合、被災地への電話がつながりにくくなることから、家族や知人との間での安否確認などを行うために通信事業者が提供しています。NTT東日本が提供する「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板web171」や、携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」「災害用音声お届けサービス」があります。

問20 あなたは「災害用伝言サービス」を体験利用*したことがありますか。

(○は1つだけ)

*体験利用日：毎月1日・15日、防災週間（8/30～9/5）、
正月三が日（1/1～3）、防災とボランティア週間（1/15～21）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害用伝言サービスの体験利用経験は、「ある」が8.6%、「ない」(89.9%)が約9割となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

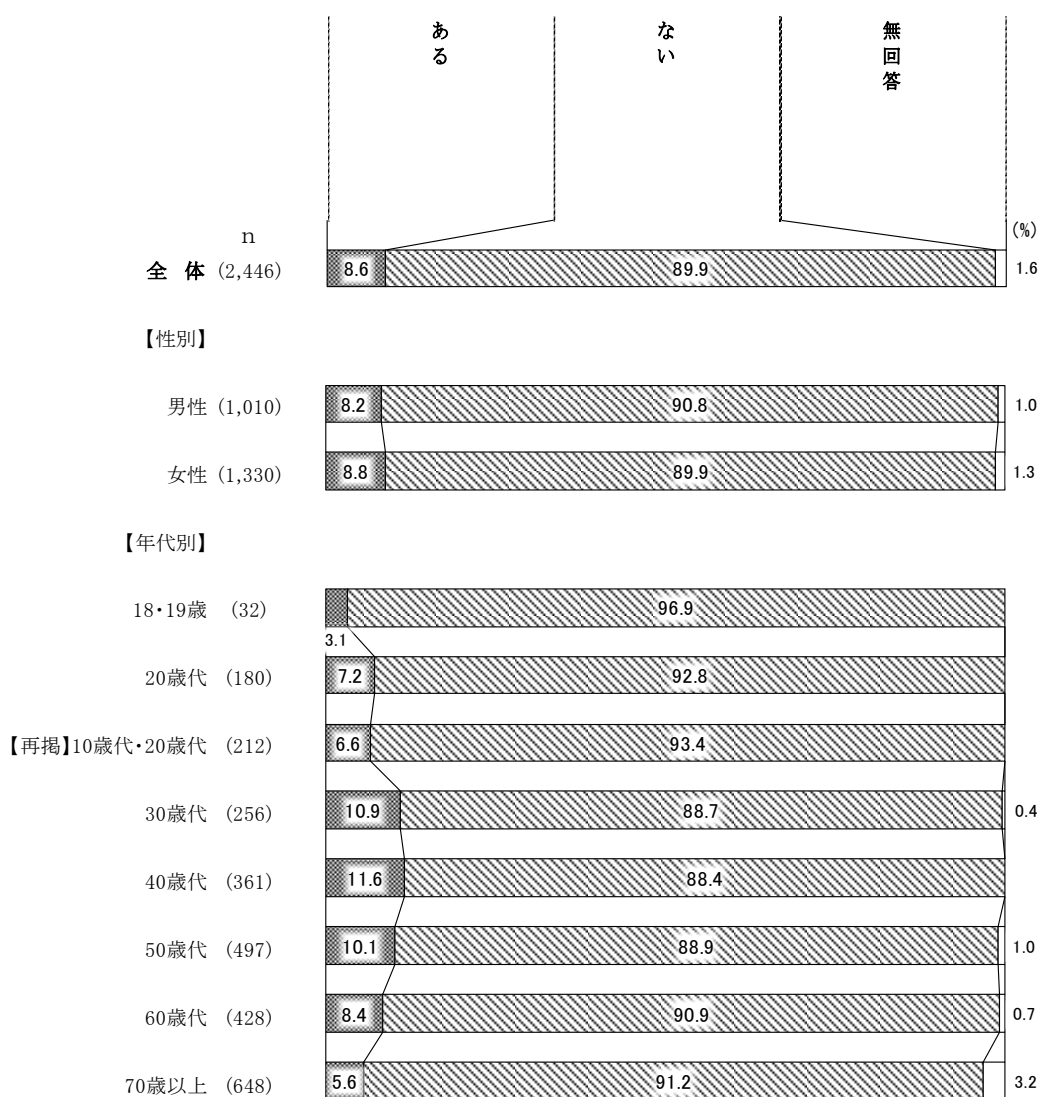
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「ある」は40歳代(11.6%)で1割強と最も高く、70歳以上(5.6%)で最も低くなっている。「ない」は10歳代・20歳代(93.4%)で9割強と最も高くなっている。

○災害用伝言サービスの体験利用経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は県央地域（13.8％）で1割強と最も高く、北部地域（4.8％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性30歳代（12.6％）で1割強と最も高く、女性70歳以上（4.3％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（10.4％）で1割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は家族形成期（17.2％）で1割台半ばを超えて最も高く、高齢期（6.2％）で最も低くなっている。

○災害用伝言サービスの体験利用経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

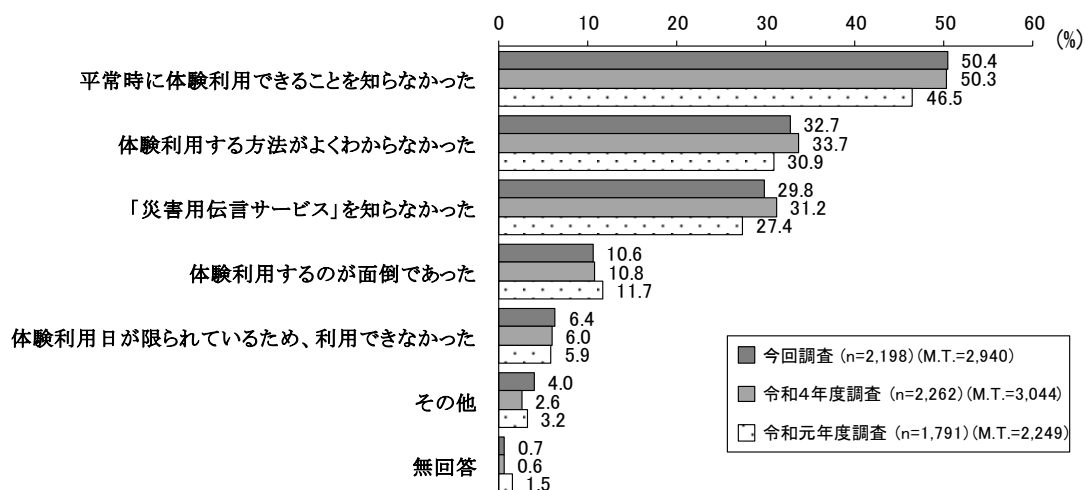
	調査数 n	ある	ない	(%) 無回答
全 体	2,446	8.6	89.9	1.6
地域別				
南部地域	245	7.3	91.4	1.2
南西部地域	224	5.8	93.3	0.9
東部地域	363	8.3	90.6	1.1
さいたま地域	447	11.6	87.2	1.1
県央地域	181	13.8	84.5	1.7
川越比企地域	253	9.1	89.3	1.6
西部地域	271	8.5	90.8	0.7
利根地域	217	6.5	92.2	1.4
北部地域	166	4.8	94.0	1.2
秩父地域	32	-	93.8	6.3
性・年代別				
男性／18・19歳	9	-	100.0	-
20歳代	78	7.7	92.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	87	6.9	93.1	-
30歳代	109	10.1	89.0	0.9
40歳代	140	11.4	88.6	-
50歳代	201	7.5	91.5	1.0
60歳代	187	8.0	91.4	0.5
70歳以上	286	7.0	90.9	2.1
女性／18・19歳	23	4.3	95.7	-
20歳代	99	6.1	93.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	5.7	94.3	-
30歳代	135	12.6	87.4	-
40歳代	208	11.1	88.9	-
50歳代	280	12.1	87.1	0.7
60歳代	236	8.9	90.7	0.4
70歳以上	349	4.3	91.7	4.0
職業別				
自営業・家族従業（計）	183	10.4	88.5	1.1
雇用者（計）	1,293	9.7	89.9	0.5
無職（計）	909	6.8	91.1	2.1
ライフステージ別				
独身期	280	6.4	93.6	-
家族形成期	151	17.2	82.1	0.7
家族成長前期	205	8.3	91.7	-
家族成長後期	166	10.8	88.6	0.6
家族成熟期	373	10.2	89.3	0.5
高齢期	611	6.2	92.3	1.5
その他	660	8.3	87.9	3.8

(3-1) 災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由

◇「平常時に体験利用できることを知らなかった」が50.4%

(問20で「2. ない」と答えた方にお伺いします。)

問20-1 あなたが「災害用伝言サービス」を体験利用したことがない理由は何ですか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由は、「平常時に体験利用できることを知らなかった」(50.4%) が5割を超えて最も高く、次いで「体験利用する方法がよくわからなかった」(32.7%)、「『災害用伝言サービス』を知らなかった」(29.8%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」はさいたま地域（53.8%）で5割強と最も高くなっている。「体験利用する方法がよくわからなかった」は利根地域（36.5%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「『災害用伝言サービス』を知らなかった」は秩父地域（33.3%）で3割強と最も高くなっている。

② 性別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は女性（54.6%）の方が男性（45.5%）よりも9.1ポイント高くなっている。「『災害用伝言サービス』を知らなかった」は男性（33.9%）の方が女性（26.4%）よりも7.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は50歳代（55.0%）で5割台半ばと最も高くなっている。「体験利用する方法がよくわからなかった」は70歳以上（44.3%）で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は女性50歳代（59.4%）で約6割と最も高くなっている。「体験利用する方法がよくわからなかった」は男性70歳以上（45.4%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「体験利用する方法がよくわからなかった」は無職（計）（37.0%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は家族成長後期（53.7%）で5割強と最も高く、「体験利用する方法がよくわからなかった」は高齢期（40.6%）で4割を超えて最も高くなっている。

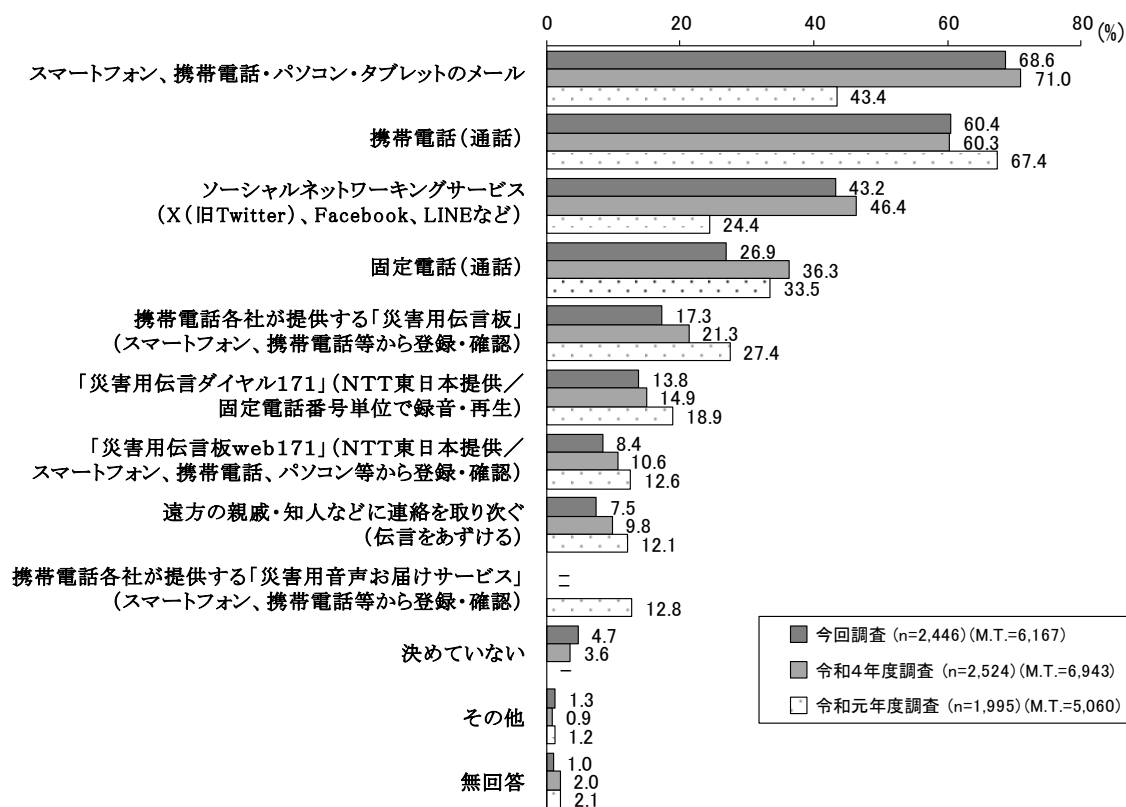
○災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由・地域別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	平常時に体験利用できなかった	体験利用する方法がよ くわからなかった	「災害用伝言サービス」を知らなかった	体験利用するのが面倒 であった	体験利用日に限られて いたため、利用できな かった	その他	無回答
全 体	2,198	50.4	32.7	29.8	10.6	6.4	4.0	0.7
地域別								
南部地域	224	53.1	31.7	30.4	8.9	5.8	2.2	-
南西部地域	209	49.3	32.1	29.2	15.3	5.3	2.9	0.5
東部地域	329	51.1	33.1	32.2	11.9	5.8	5.2	1.5
さいたま地域	390	53.8	33.3	29.7	8.7	7.4	3.1	0.5
県央地域	153	43.1	33.3	29.4	11.1	4.6	5.9	-
川越比企地域	226	51.8	35.8	26.5	6.2	6.2	2.2	0.4
西部地域	246	49.2	28.0	26.0	10.2	7.3	4.1	0.4
利根地域	200	48.0	36.5	31.5	9.5	9.0	6.5	0.5
北部地域	156	48.1	30.1	28.8	14.1	3.2	1.9	1.3
秩父地域	30	50.0	20.0	33.3	13.3	6.7	16.7	-
性別								
男性	917	45.5	32.3	33.9	12.1	5.7	4.9	0.5
女性	1,196	54.6	32.4	26.4	8.8	6.5	3.0	0.6
年代別								
18・19歳	31	38.7	6.5	54.8	3.2	-	3.2	-
20歳代	167	42.5	21.0	39.5	7.8	6.6	1.8	1.8
【再掲】10歳代・20歳代	198	41.9	18.7	41.9	7.1	5.6	2.0	1.5
30歳代	227	51.5	25.6	22.5	17.2	7.9	2.2	0.9
40歳代	319	52.0	25.7	20.4	12.5	5.3	3.8	0.6
50歳代	442	55.0	31.2	21.9	11.5	5.0	4.1	0.2
60歳代	389	51.9	33.4	24.4	9.5	6.9	4.9	0.3
70歳以上	591	47.7	44.3	41.8	7.4	6.9	4.6	0.8
性・年代別								
男性／18・19歳	9	44.4	-	33.3	11.1	-	11.1	-
20歳代	72	36.1	20.8	44.4	9.7	8.3	1.4	2.8
【再掲】10歳代・20歳代	81	37.0	18.5	43.2	9.9	7.4	2.5	2.5
30歳代	97	49.5	27.8	22.7	19.6	8.2	2.1	1.0
40歳代	124	41.9	27.4	27.4	14.5	6.5	4.0	0.8
50歳代	184	50.0	29.3	25.0	15.2	2.2	6.0	-
60歳代	171	46.2	28.1	29.8	9.9	6.4	5.8	-
70歳以上	260	44.6	45.4	47.3	8.1	5.8	5.8	0.4
女性／18・19歳	22	36.4	9.1	63.6	-	-	-	-
20歳代	93	47.3	20.4	36.6	6.5	5.4	2.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	115	45.2	18.3	41.7	5.2	4.3	1.7	-
30歳代	118	55.1	22.0	23.7	13.6	5.9	0.8	-
40歳代	185	57.8	24.3	15.7	11.4	4.9	3.8	0.5
50歳代	244	59.4	32.4	19.3	8.6	6.1	2.9	0.4
60歳代	214	57.0	36.9	20.6	9.3	7.5	3.7	0.5
70歳以上	320	50.6	42.8	37.5	6.6	8.1	3.4	1.3
職業別								
自営業・家族従業（計）	162	51.9	32.1	30.2	9.9	4.9	4.9	1.2
雇用者（計）	1,162	51.3	29.6	24.3	12.2	6.2	3.9	0.3
無職（計）	828	49.4	37.0	36.6	8.0	6.6	3.6	0.7
ライフステージ別								
独身期	262	45.0	21.0	36.3	10.3	7.3	1.1	1.5
家族形成期	124	53.2	29.0	23.4	10.5	4.8	3.2	-
家族成長前期	188	51.6	26.6	18.6	14.9	6.4	4.3	-
家族成長後期	147	53.7	28.6	21.8	12.9	8.8	3.4	-
家族成熟期	333	50.8	29.7	28.5	9.6	5.7	5.4	0.9
高齢期	564	52.7	40.6	34.8	6.9	6.4	2.8	0.5
その他	580	48.4	35.9	29.8	12.8	6.0	5.7	0.9

(4) 災害時の家族や知人の安否確認手段

◇「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」が68.6%

問21 あなたは、災害時に家族や知人の安否を確認する手段として、どのような手段を考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



※「携帯電話各社が提供する「災害用音声お届けサービス」(スマートフォン、携帯電話等から登録・確認)」

は令和元年度調査のみの選択肢

※調査方法の変更により令和元年度の結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時の家族や知人の安否確認手段は、「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」(68.6%)が7割弱と最も高く、次いで「携帯電話(通話)」(60.4%)、「ソーシャルネットワーキングサービス(X(旧Twitter)、Facebook、LINEなど)」(43.2%)、「固定電話(通話)」(26.9%)、「携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」(スマートフォン、携帯電話等から登録・確認)」(17.3%)などとなっている。一方で、「決めていない」(4.7%)は1割未満となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「固定電話(通話)」(26.9%)が9.4ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は西部地域（74.5%）で7割台半ばと最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は北部地域（68.7%）で7割弱と最も高く、「ソーシャルネットワーキングサービス（X（旧Twitter）、Facebook、LINEなど）」は秩父地域（50.0%）で5割と最も高くなっている。

② 性別

「携帯電話（通話）」は男性（65.0%）の方が女性（57.8%）よりも7.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は60歳代（76.9%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は70歳以上（66.4%）で6割台半ばを超えて最も高く、「ソーシャルネットワーキングサービス（X（旧Twitter）、Facebook、LINEなど）」は30歳代（64.8%）で6割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は男性60歳代（80.7%）で8割を超えて最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は男性70歳以上（72.0%）で7割強と最も高く、「ソーシャルネットワーキングサービス（X（旧Twitter）、Facebook、LINEなど）」は男性10歳代・20歳代（66.7%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「携帯電話（通話）」は無職（計）（64.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は家族成熟期（73.5%）で7割強と最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は高齢期（65.3%）で6割台半ばと最も高く、「ソーシャルネットワーキングサービス（X（旧Twitter）、Facebook、LINEなど）」は家族形成期（68.2%）で7割弱と最も高くなっている。

○災害時の家族や知人の安否確認手段・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

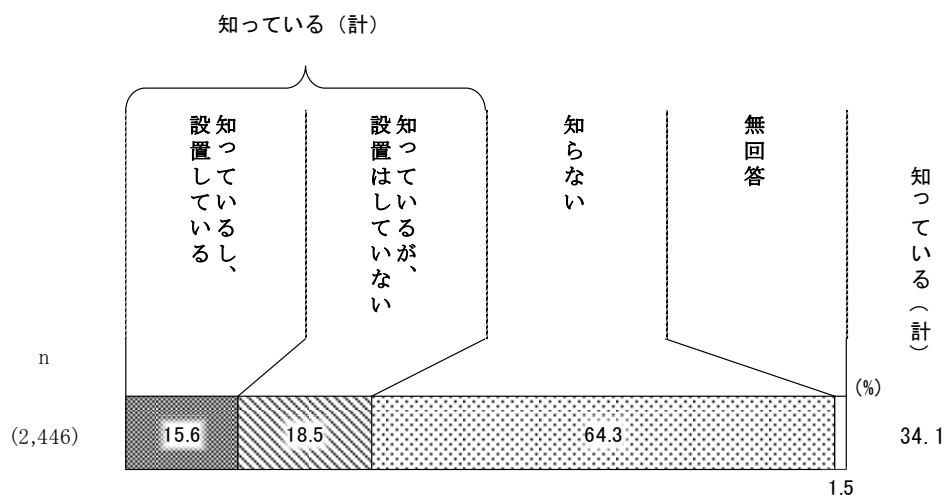
	調査数	スマートフォンのメール、携帯電話・パソコン・タブレット	携帯電話（通話）	Facebook、Twitter、LINEなど	ソーシャルネットワークサービス（X（旧Twitter））	固定電話（通話）	携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」（スマートフォン、携帯電話等から登録・再生）	日本提供／固定電話番号単位で録音・再録	「災害用伝言ダイヤル171」（NTT東ソコ等から登録・確認）	日本提供／伝言板web171（NTT東ソコ等から登録・確認）	遠方の親戚・知人などに連絡を取り次ぐ（伝言をあずける）	決めていない	その他	無回答	(%)
全体	2,446	68.6	60.4	43.2	26.9	17.3	13.8	8.4	7.5	4.7	1.3	1.0			
地域別															
南部地域	245	64.9	59.6	40.0	23.7	16.3	15.1	9.0	4.1	5.7	2.0	1.2			
南西部地域	224	70.1	57.6	41.1	21.0	15.6	9.8	8.0	7.1	7.6	-	0.9			
東部地域	363	63.6	62.0	43.3	24.0	19.6	15.4	6.1	9.4	4.1	1.1	1.1			
さいたま地域	447	69.8	59.1	47.4	27.5	17.2	16.1	11.2	11.9	4.7	0.7	0.7			
県央地域	181	65.7	57.5	45.3	30.9	18.8	11.0	8.8	5.0	5.0	1.1	1.1			
川越比企地域	253	73.5	59.7	46.2	24.1	17.0	11.5	6.7	7.1	3.6	-	0.8			
西部地域	271	74.5	60.9	44.3	29.2	18.1	13.3	10.0	7.4	2.6	1.8	0.4			
利根地域	217	69.1	61.3	33.2	31.8	17.5	14.3	7.8	6.5	5.1	3.2	0.5			
北部地域	166	67.5	68.7	47.6	34.3	15.7	14.5	5.4	4.2	4.2	0.6	-			
秩父地域	32	59.4	65.6	50.0	43.8	12.5	18.8	18.8	3.1	3.1	12.5	-			
性別															
男性	1,010	70.0	65.0	43.1	27.1	16.6	12.9	7.9	7.2	4.3	1.0	0.8			
女性	1,330	68.3	57.8	44.1	27.0	17.9	14.4	8.9	7.7	4.8	1.4	0.7			
年代別															
18・19歳	32	59.4	53.1	37.5	21.9	6.3	15.6	9.4	6.3	9.4	-	-			
20歳代	180	62.2	56.7	68.3	13.9	13.3	10.0	7.2	6.7	6.7	1.1	-			
【再掲】10歳代・20歳代	212	61.8	56.1	63.7	15.1	12.3	10.8	7.5	6.6	7.1	0.9	-			
30歳代	256	63.3	60.2	64.8	13.3	16.0	12.9	11.3	6.3	6.3	1.6	0.4			
40歳代	361	70.9	57.3	52.4	18.8	18.6	16.3	9.4	7.2	6.9	1.4	-			
50歳代	497	69.8	56.9	52.3	22.7	20.9	15.7	10.9	4.6	4.0	0.6	0.4			
60歳代	428	76.9	61.7	43.0	25.0	20.8	15.7	7.0	7.0	3.0	2.1	0.5			
70歳以上	648	66.0	66.4	17.0	46.1	14.4	11.3	6.5	11.3	3.2	1.2	2.0			
性・年代別															
男性／18・19歳	9	77.8	66.7	44.4	22.2	-	44.4	11.1	11.1	-	-	-			
20歳代	78	57.7	59.0	69.2	17.9	9.0	9.0	6.4	7.7	6.4	1.3	-			
【再掲】10歳代・20歳代	87	59.8	59.8	66.7	18.4	8.0	12.6	6.9	8.0	5.7	1.1	-			
30歳代	109	62.4	62.4	65.1	14.7	13.8	12.8	7.3	6.4	6.4	-	0.9			
40歳代	140	74.3	61.4	52.9	20.0	20.0	17.9	10.7	5.7	10.0	0.7	-			
50歳代	201	70.6	63.2	47.8	23.4	16.4	12.4	8.5	5.5	2.5	0.5	0.5			
60歳代	187	80.7	62.6	43.3	24.6	21.4	12.8	5.3	5.3	2.7	2.7	0.5			
70歳以上	286	66.4	72.0	19.2	42.3	15.7	10.8	8.4	10.5	2.4	0.7	1.7			
女性／18・19歳	23	52.2	47.8	34.8	21.7	8.7	4.3	8.7	4.3	13.0	-	-			
20歳代	99	66.7	53.5	68.7	11.1	16.2	11.1	7.1	6.1	7.1	1.0	-			
【再掲】10歳代・20歳代	122	63.9	52.5	62.3	13.1	14.8	9.8	7.4	5.7	8.2	0.8	-			
30歳代	135	63.7	57.0	65.2	10.4	17.8	11.9	12.6	5.9	5.2	1.5	-			
40歳代	208	69.2	55.3	53.8	17.8	16.8	14.9	9.1	8.2	4.8	1.9	-			
50歳代	280	70.0	53.9	55.7	22.5	24.3	17.1	12.9	4.3	5.4	0.7	0.4			
60歳代	236	74.2	61.0	42.8	25.0	19.9	17.8	8.1	8.1	3.4	1.7	-			
70歳以上	349	65.9	62.5	15.2	48.7	13.2	12.0	5.2	11.5	4.0	1.4	2.3			
職業別															
自営業・家族従業（計）	183	68.9	60.1	50.3	20.8	22.4	18.0	7.1	6.6	1.1	2.2	1.1			
雇用者（計）	1,293	69.8	58.3	51.7	19.3	18.9	14.1	9.5	6.0	5.0	1.0	0.4			
無職（計）	909	68.3	64.0	31.2	39.4	14.3	13.0	7.6	10.1	4.6	1.5	1.0			
ライフステージ別															
独身期	280	62.1	58.9	63.2	17.1	14.6	10.4	6.8	6.4	7.1	0.7	-			
家族形成期	151	66.2	58.3	68.2	7.3	16.6	17.9	13.2	4.0	5.3	1.3	0.7			
家族成長前期	205	69.3	56.1	56.1	14.6	15.6	14.1	12.2	7.3	5.4	1.5	-			
家族成長後期	166	72.3	63.3	52.4	26.5	18.7	16.3	12.0	9.6	3.6	1.8	-			
家族成熟期	373	73.5	61.9	46.4	28.2	17.7	15.5	7.8	7.2	3.8	1.3	0.5			
高齢期	611	71.4	65.3	25.5	35.8	17.3	12.6	7.2	9.3	3.1	0.8	1.0			
その他	660	65.3	56.8	37.1	30.6	18.6	13.8	7.4	6.8	5.5	1.7	2.4			

(5) 感震ブレーカーの認知度

◇『知っている』が34.1%

問22 あなたは、感震ブレーカーの存在を知っていますか。また、あなたの家では、感震ブレーカーを設置していますか。(○は1つだけ)

*感震ブレーカーとは、設定値以上の地震の揺れを感知すると、自動的に電気を遮断する装置のことです。



感震ブレーカーの認知度は、「知っているし、設置している」(15.6%)と「知っているが、設置していない」(18.5%)を合わせた『知っている(計)』(34.1%)が3割台半ばとなっている。一方で、「知らない」(64.3%)は6割台半ばとなっている。

【属性別比較】

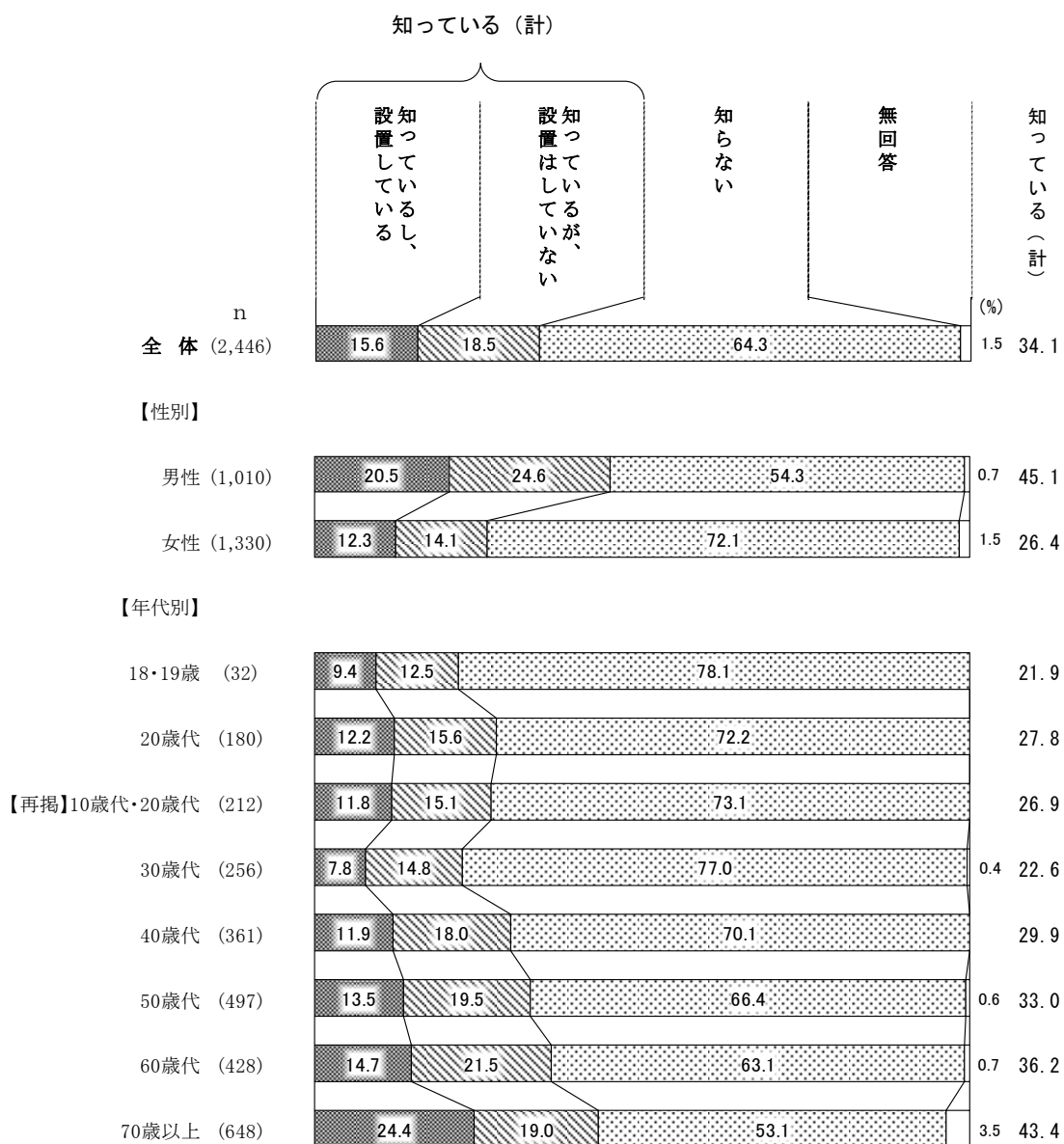
① 性別

『知っている(計)』は男性(45.1%)の方が女性(26.4%)よりも18.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている(計)』は70歳以上(43.4%)で4割強と最も高く、30歳代(22.6%)で最も低くなっている。

○感震ブレーカーの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は秩父地域（40.6％）で4割を超えて最も高く、南西部地域（31.7％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性70歳以上（49.7％）で約5割と最も高く、女性30歳代（16.3％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は自営業・家族従業（計）（43.2％）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は高齢期（39.0％）で約4割と最も高く、家族形成期（22.5％）で最も低くなっている。

○感震ブレーカーの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	設置しているし、 知っている	設置はしているが、 知らない	知らない	無回答	(%) 知っている (計)
全 体	2,446	15.6	18.5	64.3	1.5	34.1
地域別						
南部地域	245	20.8	15.9	61.6	1.6	36.7
南西部地域	224	16.1	15.6	66.5	1.8	31.7
東部地域	363	15.4	20.4	62.5	1.7	35.8
さいたま地域	447	15.9	18.6	64.7	0.9	34.5
県央地域	181	12.7	21.0	64.6	1.7	33.7
川越比企地域	253	15.0	18.6	65.6	0.8	33.6
西部地域	271	13.3	19.2	66.8	0.7	32.5
利根地域	217	19.8	14.3	65.0	0.9	34.1
北部地域	166	10.2	23.5	64.5	1.8	33.7
秩父地域	32	12.5	28.1	59.4	-	40.6
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	22.2	55.6	-	44.4
20歳代	78	23.1	17.9	59.0	-	41.0
【再掲】10歳代・20歳代	87	23.0	18.4	58.6	-	41.4
30歳代	109	10.1	20.2	68.8	0.9	30.3
40歳代	140	17.9	25.7	56.4	-	43.6
50歳代	201	17.9	29.4	52.2	0.5	47.3
60歳代	187	18.2	28.9	52.4	0.5	47.1
70歳以上	286	28.3	21.3	49.0	1.4	49.7
女性／18・19歳	23	4.3	8.7	87.0	-	13.0
20歳代	99	4.0	13.1	82.8	-	17.2
【再掲】10歳代・20歳代	122	4.1	12.3	83.6	-	16.4
30歳代	135	5.9	10.4	83.7	-	16.3
40歳代	208	8.7	12.5	78.8	-	21.2
50歳代	280	10.4	12.9	76.1	0.7	23.2
60歳代	236	12.3	15.7	71.6	0.4	28.0
70歳以上	349	21.2	17.2	56.7	4.9	38.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	20.8	22.4	55.7	1.1	43.2
雇用者（計）	1,293	11.8	18.6	69.3	0.3	30.4
無職（計）	909	19.7	17.9	60.0	2.4	37.6
ライフステージ別						
独身期	280	10.0	16.1	73.9	-	26.1
家族形成期	151	7.9	14.6	76.8	0.7	22.5
家族成長前期	205	12.7	15.6	71.7	-	28.3
家族成長後期	166	13.3	19.9	66.9	-	33.1
家族成熟期	373	16.1	18.2	64.3	1.3	34.3
高齢期	611	19.5	19.5	58.8	2.3	39.0
その他	660	17.4	20.3	59.7	2.6	37.7

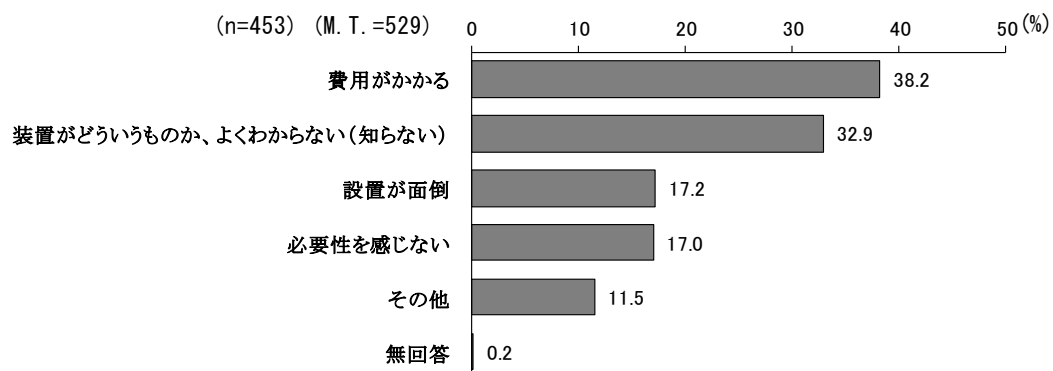
(5-1) 感震ブレーカーを設置していない理由

◇「費用がかかる」が 38.2%

(問22で「2. 知っているが、設置はしていない」とお答えの方にお伺いします。)

問22-1 感震ブレーカーを設置していない理由を次から選んでください。

(〇はいくつでも)



感震ブレーカーを設置していない理由は、「費用がかかる」(38.2%) が4割弱と最も高く、次いで「装置がどういうものか、よくわからない(知らない)」(32.9%)、「設置が面倒」(17.2%)、「必要性を感じない」(17.0%) などとなっている。

【属性別比較】

※下記の感震ブレーカーを設置していない理由の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「費用がかかる」は東部地域（47.3%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。「装置がどうい
うものか、よくわからない（知らない）」は北部地域（38.5%）で4割弱と最も高く、「設置が面倒」は
南西部地域（28.6%）で3割弱と最も高くなっている。

② 性別

「費用がかかる」は男性（42.3%）の方が女性（32.4%）よりも9.9ポイント高くなっている。一方
で、「装置がどういものか、よくわからない（知らない）」は女性（36.2%）の方が男性（29.8%）
よりも6.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「費用がかかる」は30歳代（52.6%）で5割強と最も高くなっている。「装置がどういものか、よ
くわからない（知らない）」は60歳代（40.2%）で4割を超えて最も高く、「設置が面倒」は70歳以上
（24.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「費用がかかる」と「設置が面倒」は男性70歳以上（45.9%・26.2%）で最も高くなっている。「装
置がどういものか、よくわからない（知らない）」は女性60歳代（54.1%）で5割台半ばと最も高
くなっている。

⑤ 職業別

「費用がかかる」は雇用者（計）（43.3%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「費用がかかる」は家族成長前期（46.9%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。「装置がど
ういものか、よくわからない（知らない）」と「設置が面倒」は高齢期（40.3%・26.9%）で最も高
くなっている。

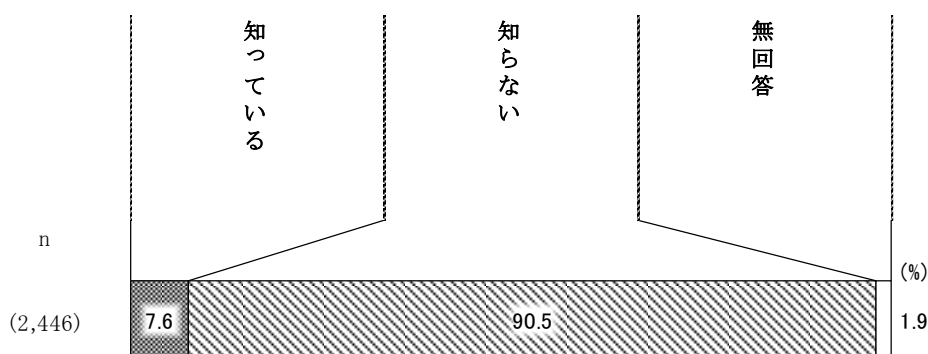
○感震ブレーカーを設置していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	費用がかかる	く装置がどうい わからないうものか、よ （知らない）	設置が面倒	必要性を感じない	その他	無回答
全体	453	38.2	32.9	17.2	17.0	11.5	0.2
地域別							
南部地域	39	43.6	33.3	17.9	2.6	12.8	-
南西部地域	35	22.9	31.4	28.6	25.7	8.6	-
東部地域	74	47.3	28.4	20.3	18.9	9.5	-
さいたま地域	83	34.9	37.3	16.9	15.7	9.6	-
県央地域	38	36.8	26.3	23.7	21.1	15.8	-
川越比企地域	47	38.3	31.9	19.1	17.0	12.8	-
西部地域	52	38.5	32.7	9.6	13.5	15.4	1.9
利根地域	31	25.8	25.8	9.7	32.3	9.7	-
北部地域	39	46.2	38.5	5.1	12.8	10.3	-
秩父地域	9	44.4	44.4	22.2	22.2	22.2	-
性別							
男性	248	42.3	29.8	16.5	17.7	8.9	-
女性	188	32.4	36.2	17.6	15.4	16.0	0.5
年代別							
18・19歳	4	25.0	75.0	-	-	25.0	-
20歳代	28	46.4	14.3	21.4	32.1	10.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	32	43.8	21.9	18.8	28.1	12.5	-
30歳代	38	52.6	15.8	18.4	13.2	13.2	-
40歳代	65	36.9	27.7	13.8	21.5	10.8	-
50歳代	97	39.2	29.9	10.3	16.5	17.5	-
60歳代	92	32.6	40.2	15.2	18.5	9.8	-
70歳以上	123	36.6	39.0	24.4	13.0	8.1	0.8
性・年代別							
男性／18・19歳	2	-	50.0	-	-	50.0	-
20歳代	14	64.3	14.3	21.4	21.4	7.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	16	56.3	18.8	18.8	18.8	12.5	-
30歳代	22	54.5	13.6	18.2	9.1	13.6	-
40歳代	36	36.1	30.6	8.3	25.0	5.6	-
50歳代	59	44.1	28.8	10.2	18.6	13.6	-
60歳代	54	31.5	29.6	16.7	25.9	9.3	-
70歳以上	61	45.9	39.3	26.2	8.2	3.3	-
女性／18・19歳	2	50.0	100.0	-	-	-	-
20歳代	13	30.8	15.4	23.1	38.5	15.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	15	33.3	26.7	20.0	33.3	13.3	-
30歳代	14	42.9	21.4	7.1	21.4	14.3	-
40歳代	26	34.6	26.9	23.1	15.4	19.2	-
50歳代	36	30.6	33.3	11.1	11.1	25.0	-
60歳代	37	35.1	54.1	13.5	8.1	10.8	-
70歳以上	60	28.3	36.7	23.3	16.7	13.3	1.7
職業別							
自営業・家族従業（計）	41	26.8	31.7	19.5	24.4	7.3	-
雇用者（計）	240	43.3	33.3	13.8	16.3	10.0	-
無職（計）	163	34.4	31.3	21.5	16.6	14.7	0.6
ライフステージ別							
独身期	45	40.0	20.0	20.0	24.4	15.6	-
家族形成期	22	45.5	22.7	9.1	22.7	9.1	-
家族成長前期	32	46.9	34.4	15.6	18.8	-	-
家族成長後期	33	42.4	21.2	12.1	6.1	27.3	-
家族成熟期	68	41.2	26.5	17.6	14.7	11.8	-
高齢期	119	36.1	40.3	26.9	13.4	6.7	0.8
その他	134	33.6	38.1	10.4	20.1	13.4	-

(6)「能美防災そなーえ 埼玉県防災学習センター」の認知度

◇「知っている」が7.6%、「知らない」が90.5%

問23 災害への備えを楽しく学べる施設として、県が鴻巣市に設置している「能美防災そなーえ 埼玉県防災学習センター」を知っていますか。(ネーミングライツにより、令和6年10月から「能美防災そなーえ」の愛称になりました。)(〇は1つだけ)



「能美防災そなーえ 埼玉県防災学習センター」の認知度は、「知っている」が7.6%、「知らない」(90.5%)が9割を超えている。

【属性別比較】

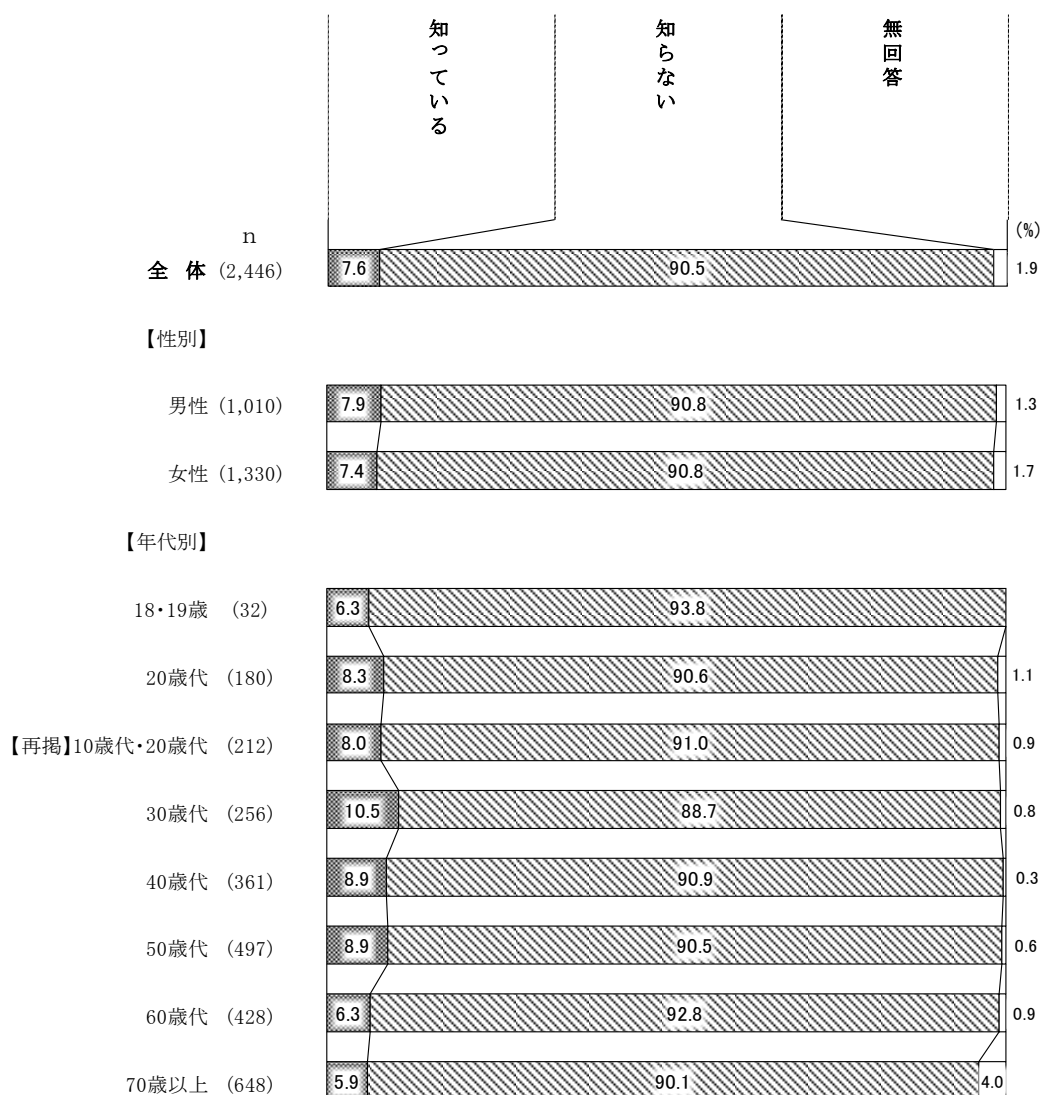
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「知っている」は30歳代(10.5%)で1割を超えて最も高く、それ以外の年代ではいずれも1割未満となっている。「知らない」は60歳代(92.8%)で9割強と最も高くなっている。

○「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」の認知度・性別／年代別



③ 地域別

「知っている」は秩父地域（21.9%）で2割強と最も高く、東部地域（3.0%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「知っている」は男性30歳代（11.0%）で1割強と最も高いが、それ以外の性・年代ではいずれも1割未満となっている。

⑤ 職業別

「知っている」はいずれの職業も1割未満となっている。

⑥ ライフステージ別

「知っている」は家族成長前期（18.0%）で2割弱と最も高くなっている。

○「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」の認知度・地域別／性・年代別／
職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知っている	知らない	無回答
全 体	2,446	7.6	90.5	1.9
地域別				
南部地域	245	5.3	92.2	2.4
南西部地域	224	4.5	94.2	1.3
東部地域	363	3.0	95.6	1.4
さいたま地域	447	4.7	94.0	1.3
県央地域	181	19.3	78.5	2.2
川越比企地域	253	8.7	88.9	2.4
西部地域	271	3.7	94.5	1.8
利根地域	217	11.5	88.5	—
北部地域	166	18.7	80.1	1.2
秩父地域	32	21.9	75.0	3.1
性・年代別				
男性／18・19歳	9	—	100.0	—
20歳代	78	10.3	88.5	1.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	9.2	89.7	1.1
30歳代	109	11.0	88.1	0.9
40歳代	140	9.3	90.7	—
50歳代	201	9.0	90.5	0.5
60歳代	187	5.9	93.0	1.1
70歳以上	286	6.3	90.9	2.8
女性／18・19歳	23	8.7	91.3	—
20歳代	99	7.1	91.9	1.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	7.4	91.8	0.8
30歳代	135	9.6	89.6	0.7
40歳代	208	9.1	90.4	0.5
50歳代	280	8.6	90.7	0.7
60歳代	236	6.4	93.2	0.4
70歳以上	349	5.4	89.7	4.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	183	8.7	90.2	1.1
雇用者（計）	1,293	8.7	90.6	0.7
無職（計）	909	6.1	91.3	2.6
ライフステージ別				
独身期	280	6.8	92.9	0.4
家族形成期	151	5.3	93.4	1.3
家族成長前期	205	18.0	81.5	0.5
家族成長後期	166	11.4	88.0	0.6
家族成熟期	373	9.4	88.7	1.9
高齢期	611	7.4	90.3	2.3
その他	660	3.5	93.5	3.0

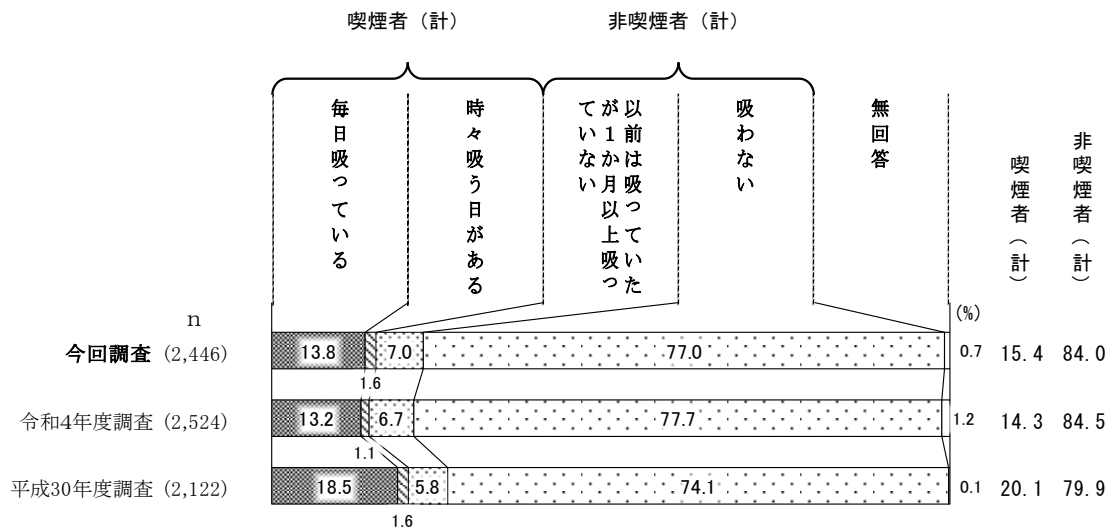
5 受動喫煙防止対策 について (問 24～問 29)

5. 受動喫煙防止対策について

(1) 喫煙状況

◇『喫煙者（計）』が15.4%、『非喫煙者（計）』が84.0%

問24 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

喫煙状況は、「吸わない」（77.0%）が7割台半ばを超えて最も高くなっている。これに「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」（7.0%）を合わせた『非喫煙者（計）』（84.0%）は8割台半ばとなっている。一方で、「毎日吸っている」（13.8%）と「時々吸う日がある」（1.6%）を合わせた『喫煙者（計）』（15.4%）は1割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

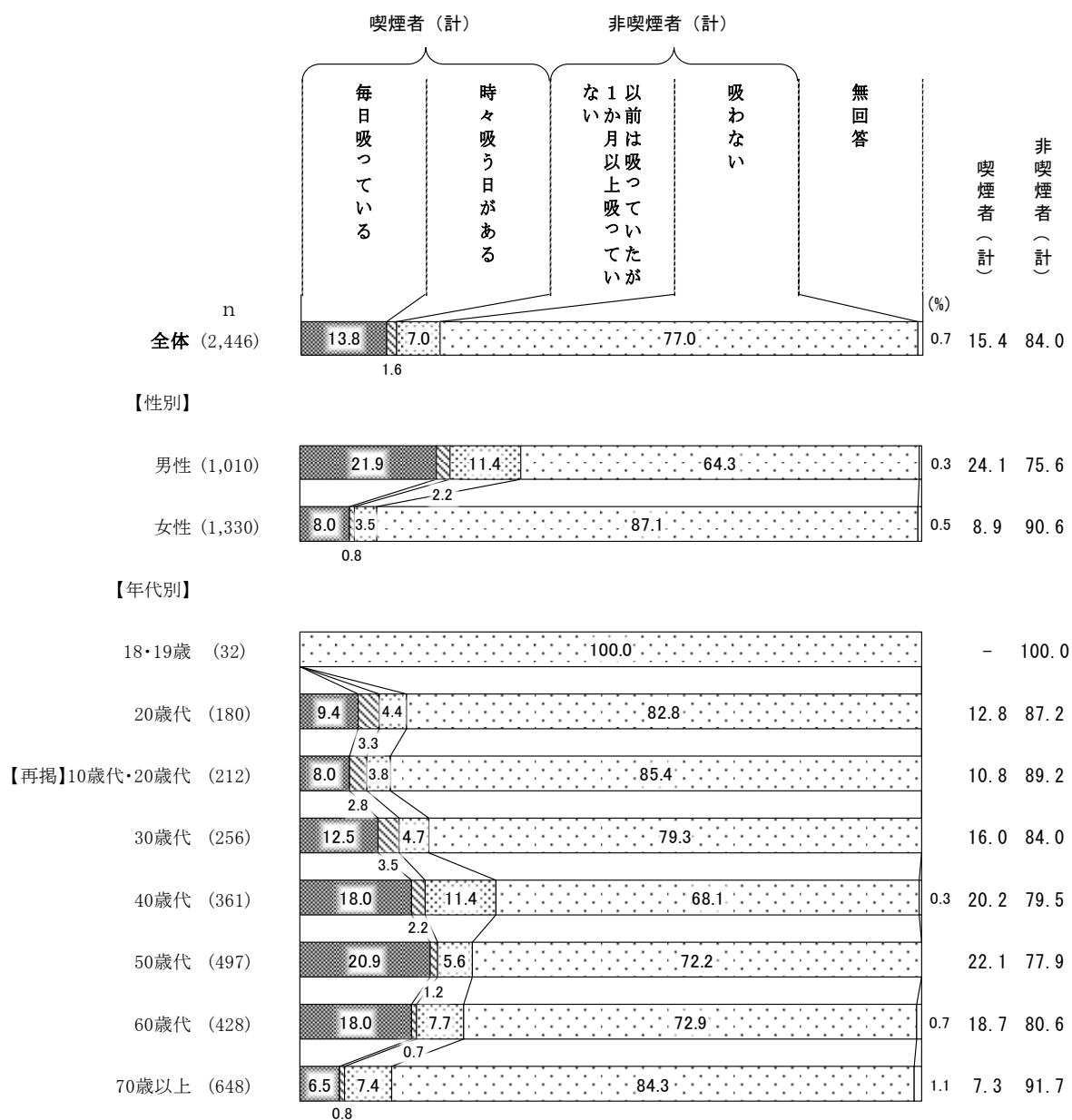
① 性別

『喫煙者（計）』は男性（24.1%）の方が女性（8.9%）よりも15.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『喫煙者（計）』は50歳代（22.1%）で2割強と最も高くなっている。一方で、『非喫煙者（計）』はいずれの年代でも7割台後半以上となっており、70歳以上（91.7%）で9割強となっている。

○喫煙状況・性別／年代別



③ 地域別

『喫煙者 (計)』は東部地域 (18.5%) で2割弱と最も高く、さいたま地域 (12.5%) で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『喫煙者 (計)』は男性 50 歳代 (33.8%) で3割強と最も高くなっている。一方で、『非喫煙者 (計)』は女性の 10 歳代・20 歳代 (95.9%) と 70 歳以上 (95.4%) で9割台半ばとなっており、女性ではいずれの年代でも8割台後半以上となっている。

⑤ 職業別

『非喫煙者 (計)』は無職 (計) (89.4%) で約9割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『非喫煙者 (計)』は高齢期 (89.5%) で約9割と最も高くなっている。

○喫煙状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

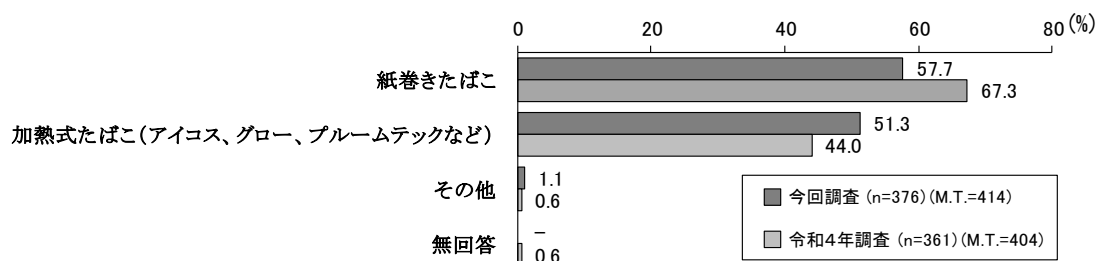
	調査数 n	毎日吸っている	時々吸う日がある	1 か月以上吸っていたがない	吸わない	無回答	(%)	
							喫煙者（計）	非喫煙者（計）
全 体	2,446	13.8	1.6	7.0	77.0	0.7	15.4	84.0
地域別								
南部地域	245	14.3	1.6	6.1	77.1	0.8	15.9	83.3
南西部地域	224	14.7	2.2	4.0	79.0	—	17.0	83.0
東部地域	363	16.8	1.7	7.7	73.0	0.8	18.5	80.7
さいたま地域	447	11.9	0.7	7.4	79.6	0.4	12.5	87.0
県央地域	181	13.8	0.6	4.4	80.7	0.6	14.4	85.1
川越比企地域	253	15.4	2.0	8.3	73.5	0.8	17.4	81.8
西部地域	271	13.3	1.8	9.2	75.6	—	15.1	84.9
利根地域	217	11.5	1.8	8.3	77.9	0.5	13.4	86.2
北部地域	166	15.1	1.2	6.0	77.7	—	16.3	83.7
秩父地域	32	9.4	6.3	9.4	75.0	—	15.6	84.4
性・年代別								
男性／18・19歳	9	—	—	—	100.0	—	—	100.0
20歳代	78	16.7	6.4	3.8	73.1	—	23.1	76.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	14.9	5.7	3.4	75.9	—	20.7	79.3
30歳代	109	17.4	3.7	6.4	72.5	—	21.1	78.9
40歳代	140	30.0	2.9	12.9	53.6	0.7	32.9	66.4
50歳代	201	32.3	1.5	10.4	55.7	—	33.8	66.2
60歳代	187	27.3	1.1	13.4	58.3	—	28.3	71.7
70歳以上	286	10.8	1.4	14.3	72.7	0.7	12.2	87.1
女性／18・19歳	23	—	—	—	100.0	—	—	100.0
20歳代	99	4.0	1.0	5.1	89.9	—	5.1	94.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	3.3	0.8	4.1	91.8	—	4.1	95.9
30歳代	135	8.9	1.5	3.0	86.7	—	10.4	89.6
40歳代	208	10.1	1.9	9.1	78.8	—	12.0	88.0
50歳代	280	11.8	1.1	2.1	85.0	—	12.9	87.1
60歳代	236	11.0	0.4	3.0	84.7	0.8	11.4	87.7
70歳以上	349	3.2	—	1.4	94.0	1.4	3.2	95.4
職業別								
自営業・家族従業（計）	183	19.1	2.7	7.7	69.9	0.5	21.9	77.6
雇用者（計）	1,293	16.9	1.8	7.3	73.9	0.2	18.7	81.1
無職（計）	909	9.0	1.0	6.8	82.6	0.6	10.0	89.4
ライフステージ別								
独身期	280	9.6	2.9	3.2	84.3	—	12.5	87.5
家族形成期	151	9.3	3.3	7.3	80.1	—	12.6	87.4
家族成長前期	205	10.7	1.5	9.3	78.5	—	12.2	87.8
家族成長後期	166	13.9	1.8	10.2	74.1	—	15.7	84.3
家族成熟期	373	19.3	1.1	7.8	71.6	0.3	20.4	79.4
高齢期	611	9.0	0.7	6.9	82.7	0.8	9.7	89.5
その他	660	18.9	1.7	6.7	71.2	1.5	20.6	77.9

(1-1) 吸っているたばこ製品

◇「紙巻きたばこ」が 57.7%

(問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」とお答えの方にお伺いします。)

問24-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。(〇はいくつでも)



吸っているたばこ製品は、「紙巻きたばこ」(57.7%)で5割台半ばを超えて最も高く、次いで「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」(51.3%)で5割強となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「紙巻きたばこ」(57.7%)が9.6ポイント減少し、「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」(51.3%)が7.3ポイント増加している。

【属性別比較】

※下記の吸っているたばこ製品の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「紙巻きたばこ」は南部地域(56.4%)で5割台半ばを超えて最も高く、「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は西部地域(61.0%)で6割強と最も高くなっている。

② 性別

「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は女性(55.9%)の方が男性(49.8%)よりも6.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「紙巻きたばこ」は年代が上がるにつれ割合が高くなり、70歳以上(89.4%)で約9割と最も高くなっている。一方で、「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は年代が下がるにつれ割合が高くなり、30歳代(73.2%)で7割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「紙巻きたばこ」は男性70歳以上(88.6%)で9割弱と最も高く、「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は男性50歳代(61.8%)で6割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「紙巻きたばこ」は無職(計)(75.8%)で7割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「紙巻きたばこ」は高齢期(69.5%)で約7割と最も高くなっている。

○吸っているたばこ製品・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／
ライフステージ別

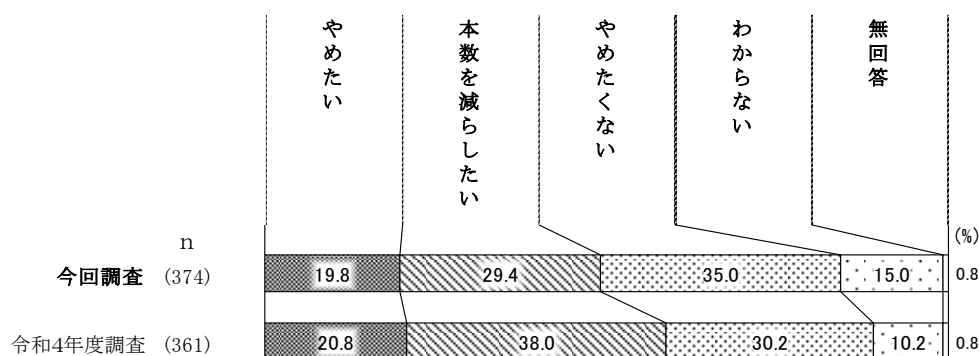
	調査数 n	紙巻きたばこ	プ(加 ル(ア ーイ ムコ ス、 テッ クグ など)	その他	無回答
全 体	376	57.7	51.3	1.1	-
地域別					
南部地域	39	56.4	53.8	-	-
南西部地域	38	52.6	57.9	-	-
東部地域	67	55.2	58.2	3.0	-
さいたま地域	56	55.4	51.8	-	-
県央地域	26	69.2	38.5	-	-
川越比企地域	44	50.0	54.5	2.3	-
西部地域	41	56.1	61.0	2.4	-
利根地域	29	69.0	34.5	-	-
北部地域	27	66.7	37.0	-	-
秩父地域	5	60.0	40.0	-	-
性別					
男性	243	58.0	49.8	1.6	-
女性	118	56.8	55.9	-	-
年代別					
18・19歳	-	-	-	-	-
20歳代	23	52.2	65.2	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	23	52.2	65.2	-	-
30歳代	41	31.7	73.2	2.4	-
40歳代	73	49.3	64.4	4.1	-
50歳代	110	51.8	58.2	-	-
60歳代	80	68.8	36.3	-	-
70歳以上	47	89.4	17.0	-	-
性・年代別					
男性／18・19歳	-	-	-	-	-
20歳代	18	55.6	61.1	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	18	55.6	61.1	-	-
30歳代	23	39.1	69.6	4.3	-
40歳代	46	45.7	60.9	6.5	-
50歳代	68	47.1	61.8	-	-
60歳代	53	71.7	35.8	-	-
70歳以上	35	88.6	14.3	-	-
女性／18・19歳	-	-	-	-	-
20歳代	5	40.0	80.0	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	5	40.0	80.0	-	-
30歳代	14	14.3	85.7	-	-
40歳代	25	52.0	76.0	-	-
50歳代	36	63.9	50.0	-	-
60歳代	27	63.0	37.0	-	-
70歳以上	11	90.9	27.3	-	-
職業別					
自営業・家族従業（計）	40	67.5	45.0	5.0	-
雇用者（計）	242	48.8	59.5	0.8	-
無職（計）	91	75.8	34.1	-	-
ライフステージ別					
独身期	35	51.4	62.9	2.9	-
家族形成期	19	26.3	78.9	-	-
家族成長前期	25	24.0	80.0	-	-
家族成長後期	26	50.0	61.5	-	-
家族成熟期	76	65.8	46.1	-	-
高齢期	59	69.5	32.2	-	-
その他	136	61.8	48.5	2.2	-

(1-2) 禁煙意思

◇「やめたくない」が35.0%

(問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」とお答えの方にお伺いします。)

問24-2 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つだけ)



禁煙意思については、「やめたくない」(35.0%)が3割台半ばと最も高く、次いで「本数を減らしたい」(29.4%)が約3割、「やめたい」(19.8%)が約2割となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「本数を減らしたい」(29.4%)が8.6ポイント減少している。

【属性別比較】

※下記の禁煙意思についての【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

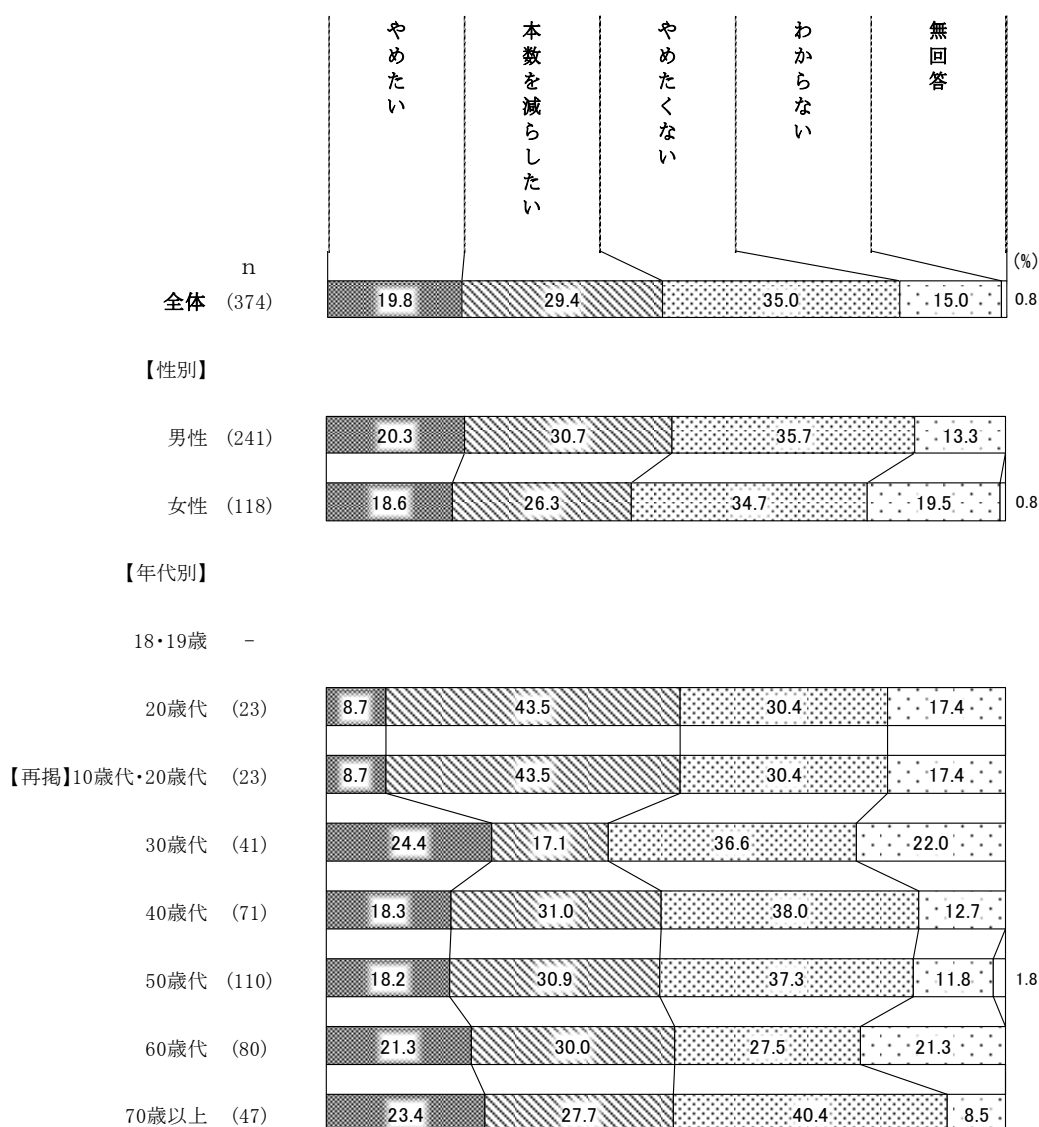
① 性別

「わからない」は女性(19.5%)の方が男性(13.3%)よりも6.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「やめたい」は30歳代(24.4%)が2割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(23.4%)で2割強と高くなっている。一方で、「やめたくない」は70歳以上(40.4%)で4割を超えて最も高くなっている。

○禁煙意思・性別／年代別



③ 地域別

「やめたい」はさいたま地域（23.2％）で2割強と最も高く、「やめたくない」は西部地域（41.5％）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「本数を減らしたい」は男性 70 歳以上（37.1％）で3割台半ばを超えて最も高く、「やめたくない」は男性 50 歳代（38.2％）で4割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「やめたい」は自営業・家族従業（計）（41.0％）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「やめたい」は高齢期（28.8％）で3割弱と最も高く、「やめたくない」は家族成熟期（42.1％）で4割強と最も高くなっている。

○禁煙意思・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

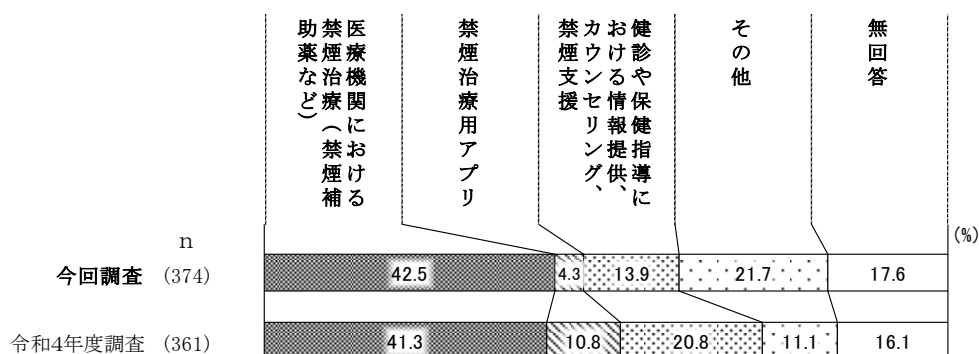
	調査数	やめたい	本数を減らしたい	やめたくない	わからない	無回答
	n					
全 体	374	19.8	29.4	35.0	15.0	0.8
地域別						
南部地域	39	17.9	28.2	38.5	10.3	5.1
南西部地域	38	15.8	26.3	39.5	18.4	-
東部地域	66	19.7	34.8	30.3	15.2	-
さいたま地域	56	23.2	33.9	26.8	16.1	-
県央地域	26	23.1	46.2	23.1	7.7	-
川越比企地域	43	11.6	23.3	39.5	25.6	-
西部地域	41	17.1	26.8	41.5	14.6	-
利根地域	29	24.1	20.7	51.7	3.4	-
北部地域	27	29.6	22.2	33.3	14.8	-
秩父地域	5	20.0	40.0	-	40.0	-
性・年代別						
男性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	18	11.1	44.4	27.8	16.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	18	11.1	44.4	27.8	16.7	-
30歳代	23	30.4	17.4	39.1	13.0	-
40歳代	44	20.5	29.5	36.4	13.6	-
50歳代	68	19.1	30.9	38.2	11.8	-
60歳代	53	20.8	28.3	32.1	18.9	-
70歳以上	35	20.0	37.1	37.1	5.7	-
女性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	5	-	40.0	40.0	20.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	5	-	40.0	40.0	20.0	-
30歳代	14	21.4	7.1	35.7	35.7	-
40歳代	25	16.0	32.0	40.0	12.0	-
50歳代	36	16.7	30.6	36.1	13.9	2.8
60歳代	27	22.2	33.3	18.5	25.9	-
70歳以上	11	27.3	-	54.5	18.2	-
職業別						
自営業・家族従業（計）	39	41.0	17.9	33.3	7.7	-
雇用者（計）	241	14.9	32.4	38.2	14.1	0.4
無職（計）	91	23.1	27.5	27.5	20.9	1.1
ライフステージ別						
独身期	35	20.0	28.6	31.4	20.0	-
家族形成期	19	10.5	26.3	42.1	21.1	-
家族成長前期	25	16.0	36.0	32.0	16.0	-
家族成長後期	26	46.2	19.2	23.1	11.5	-
家族成熟期	76	11.8	25.0	42.1	19.7	1.3
高齢期	59	28.8	28.8	30.5	11.9	-
その他	134	17.2	33.6	35.8	11.9	1.5

（１－３）禁煙するために最適なもの

◇「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」が 42.5%

（問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」とお答えの方にお伺いします。）

問24－3 あなたが、禁煙するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ）



禁煙するために最適なものは、「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」（42.5%）で4割強と最も高く、次いで「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」（13.9%）、「禁煙治療用アプリ」（4.3%）などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」（13.9%）が 6.9 ポイント、「禁煙治療用アプリ」（4.3%）が 6.5 ポイント減少している。

【属性別比較】

※下記の禁煙するために最適なものの【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

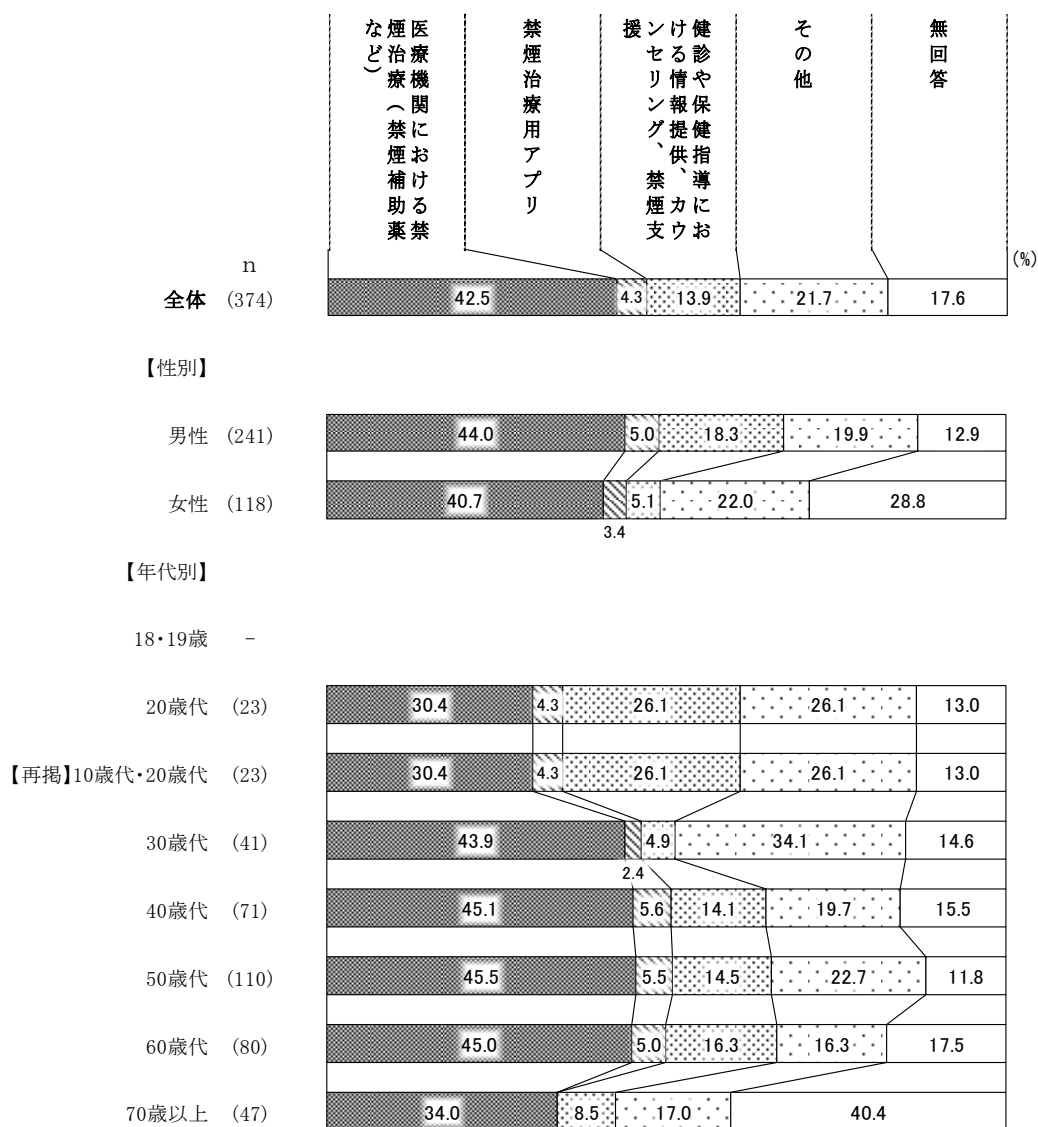
① 性別

「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は男性（18.3%）の方が女性（5.1%）よりも 13.2 ポイント高くなっている。

② 年代別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は 50 歳代（45.5%）で4割台半ばと最も高く、70 歳以上（34.0%）で最も低くなっている。「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は 60 歳代（16.3%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

○禁煙するために最適なもの・性別／年代別



③ 地域別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」はさいたま地域（51.8%）で5割強と最も高く、「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は西部地域（19.5%）で約2割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は男性の50歳代（50.0%）で5割と最も高く、「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は男性60歳代（22.6%）で2割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は自営業・家族従業（計）（20.5%）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は家族成熟期（47.4%）で4割台半ばを超えて最も高く、「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は高齢期（15.3%）で1割台半ばと最も高くなっている。

○禁煙するために最適なもの・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	療 医 療（禁 煙補 助薬 など）	禁 煙 治 療 用 ア プ リ	グ 情 健 、 報 診 禁 提 や 煙 供 保 支 カ 健 援 ウ 指 セ 導 リ にお け る	そ の 他	(%) 無 回 答
全 体	374	42.5	4.3	13.9	21.7	17.6
地域別						
南部地域	39	41.0	-	15.4	20.5	23.1
南西部地域	38	39.5	10.5	10.5	23.7	15.8
東部地域	66	47.0	6.1	15.2	19.7	12.1
さいたま地域	56	51.8	1.8	12.5	21.4	12.5
県央地域	26	61.5	-	11.5	11.5	15.4
川越比企地域	43	44.2	-	14.0	20.9	20.9
西部地域	41	26.8	12.2	19.5	19.5	22.0
利根地域	29	41.4	-	10.3	27.6	20.7
北部地域	27	37.0	7.4	11.1	22.2	22.2
秩父地域	5	-	-	-	80.0	20.0
性・年代別						
男性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	18	27.8	5.6	33.3	27.8	5.6
【再掲】10歳代・20歳代	18	27.8	5.6	33.3	27.8	5.6
30歳代	23	47.8	4.3	8.7	26.1	13.0
40歳代	44	47.7	4.5	20.5	18.2	9.1
50歳代	68	50.0	8.8	16.2	19.1	5.9
60歳代	53	39.6	3.8	22.6	18.9	15.1
70歳以上	35	40.0	-	11.4	17.1	31.4
女性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	5	40.0	-	-	20.0	40.0
【再掲】10歳代・20歳代	5	40.0	-	-	20.0	40.0
30歳代	14	50.0	-	-	35.7	14.3
40歳代	25	36.0	8.0	4.0	24.0	28.0
50歳代	36	36.1	-	11.1	27.8	25.0
60歳代	27	55.6	7.4	3.7	11.1	22.2
70歳以上	11	18.2	-	-	9.1	72.7
職業別						
自営業・家族従業（計）	39	43.6	2.6	20.5	28.2	5.1
雇用者（計）	241	41.5	5.4	14.9	22.0	16.2
無職（計）	91	45.1	2.2	7.7	17.6	27.5
ライフステージ別						
独身期	35	37.1	5.7	11.4	28.6	17.1
家族形成期	19	42.1	-	21.1	26.3	10.5
家族成長前期	25	44.0	-	24.0	20.0	12.0
家族成長後期	26	46.2	15.4	11.5	19.2	7.7
家族成熟期	76	47.4	3.9	7.9	23.7	17.1
高齢期	59	44.1	5.1	15.3	11.9	23.7
その他	134	39.6	3.0	14.9	23.1	19.4

(2) 健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度

◇「健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」が40.3%

問25 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」を言います。健康増進法^{*1}や埼玉県受動喫煙防止条例^{*2}では、望まない受動喫煙を防ぐため屋内での喫煙を規制しています。

＊1：健康増進法の主な内容

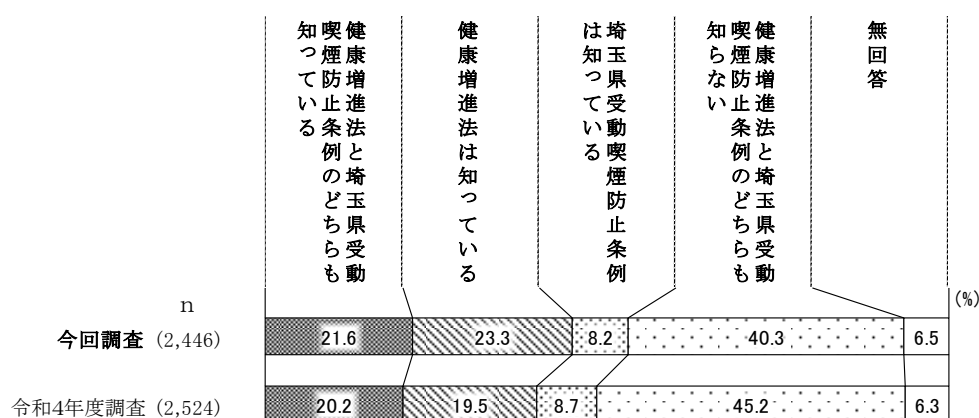
- ・学校、病院、行政機関等は、屋内、敷地内の屋外ともに喫煙禁止
- ・飲食店、事業所等は、喫煙専用室（飲食不可）以外、屋内での喫煙禁止
- ・既存の飲食店のうち経営規模が小さい事業者が運営するもの（既存特定飲食提供施設）は、標識の表示により喫煙可
- ・喫煙場所には、標識の掲示が必要であり、二十歳未満の者を立ち入らせてはいけない

＊2：埼玉県受動喫煙防止条例の主な内容

既存特定飲食提供施設が喫煙可にできるのは、健康増進法に定められた要件を満たし、かつ、従業員がいない場合又は全ての従業員から書面で承諾を得た場合とする。

あなたは、健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の内容を知っていますか。

（○は1つだけ）

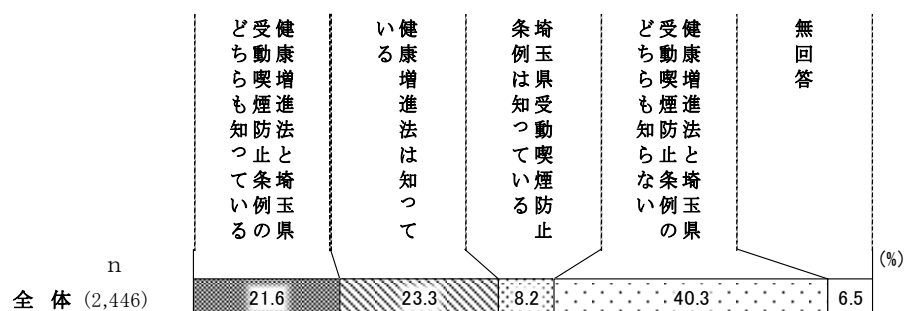


健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度は、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」（40.3%）が4割を超えて最も高く、次いで「健康増進法は知っている」（23.3%）、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」（21.6%）、「埼玉県受動喫煙防止条例は知っている」（8.2%）となっている。

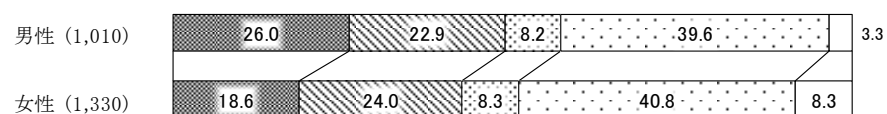
【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」（40.3%）が4.9ポイント減少している。

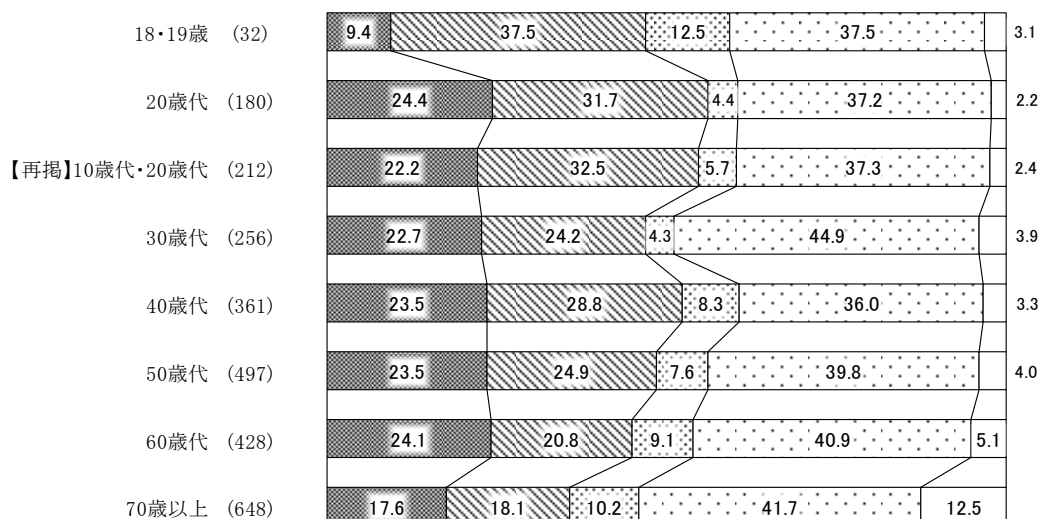
○健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



【属性別比較】

① 性別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は男性（26.0％）の方が女性（18.6％）よりも7.4ポイント高くなっている。

② 年代別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は30歳代（44.9％）で4割台半ばと最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は60歳代（24.1％）で2割台半ばと最も高くなっている。

③ 地域別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は利根地域（44.2％）で4割台半ばと最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は秩父地域（31.3％）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は女性 30 歳代（45.9％）で4割台半ばと最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は男性の 40 歳代（30.7％）と 50 歳代（30.8％）で3割を超えて高くなっている。

⑤ 職業別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は無職（計）（44.6％）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は独身期（42.1％）で4割強と最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は家族成長後期（25.9％）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は非喫煙者（計）（43.3％）で4割強と最も高くなっている。

○健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例の認知度	健康増進法は知っている	埼玉県受動喫煙防止条例は知っている	健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例の認知度	無回答
全体	2,446	21.6	23.3	8.2	40.3	6.5
地域別						
南部地域	245	20.4	23.7	9.4	42.0	4.5
南西部地域	224	26.8	24.1	5.4	37.5	6.3
東部地域	363	21.5	20.1	9.1	40.2	9.1
さいたま地域	447	21.0	25.3	7.8	40.7	5.1
県央地域	181	21.0	23.8	9.9	38.1	7.2
川越比企地域	253	25.7	25.3	8.7	36.0	4.3
西部地域	271	18.8	22.9	9.2	42.4	6.6
利根地域	217	18.0	22.1	7.8	44.2	7.8
北部地域	166	21.7	22.9	6.6	42.8	6.0
秩父地域	32	31.3	31.3	-	37.5	-
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	33.3	11.1	44.4	-
20歳代	78	26.9	29.5	2.6	41.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	87	25.3	29.9	3.4	41.4	-
30歳代	109	23.9	23.9	3.7	45.0	3.7
40歳代	140	30.7	31.4	7.1	30.0	0.7
50歳代	201	30.8	24.9	9.5	33.8	1.0
60歳代	187	28.9	18.7	9.1	42.2	1.1
70歳以上	286	19.6	17.5	10.5	44.1	8.4
女性／18・19歳	23	8.7	39.1	13.0	34.8	4.3
20歳代	99	23.2	33.3	5.1	35.4	3.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	20.5	34.4	6.6	35.2	3.3
30歳代	135	20.7	23.7	5.2	45.9	4.4
40歳代	208	19.2	28.4	9.1	38.5	4.8
50歳代	280	18.2	25.0	6.4	44.6	5.7
60歳代	236	20.8	22.5	9.3	39.4	8.1
70歳以上	349	15.8	18.1	10.3	39.8	16.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	25.1	19.7	6.6	41.0	7.7
雇用者（計）	1,293	24.0	27.2	7.9	37.4	3.6
無職（計）	909	18.3	19.1	8.8	44.6	9.2
ライフステージ別						
独身期	280	20.4	27.9	7.5	42.1	2.1
家族形成期	151	25.2	25.8	2.6	41.7	4.6
家族成長前期	205	20.5	34.1	3.9	37.1	4.4
家族成長後期	166	25.9	21.7	10.8	39.8	1.8
家族成熟期	373	22.5	21.7	9.4	39.4	7.0
高齢期	611	20.8	19.3	11.5	40.6	7.9
その他	660	20.9	22.6	6.7	40.6	9.2
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	42.6	20.7	10.1	25.5	1.1
非喫煙者（計）	2,054	18.0	24.0	7.9	43.3	6.9

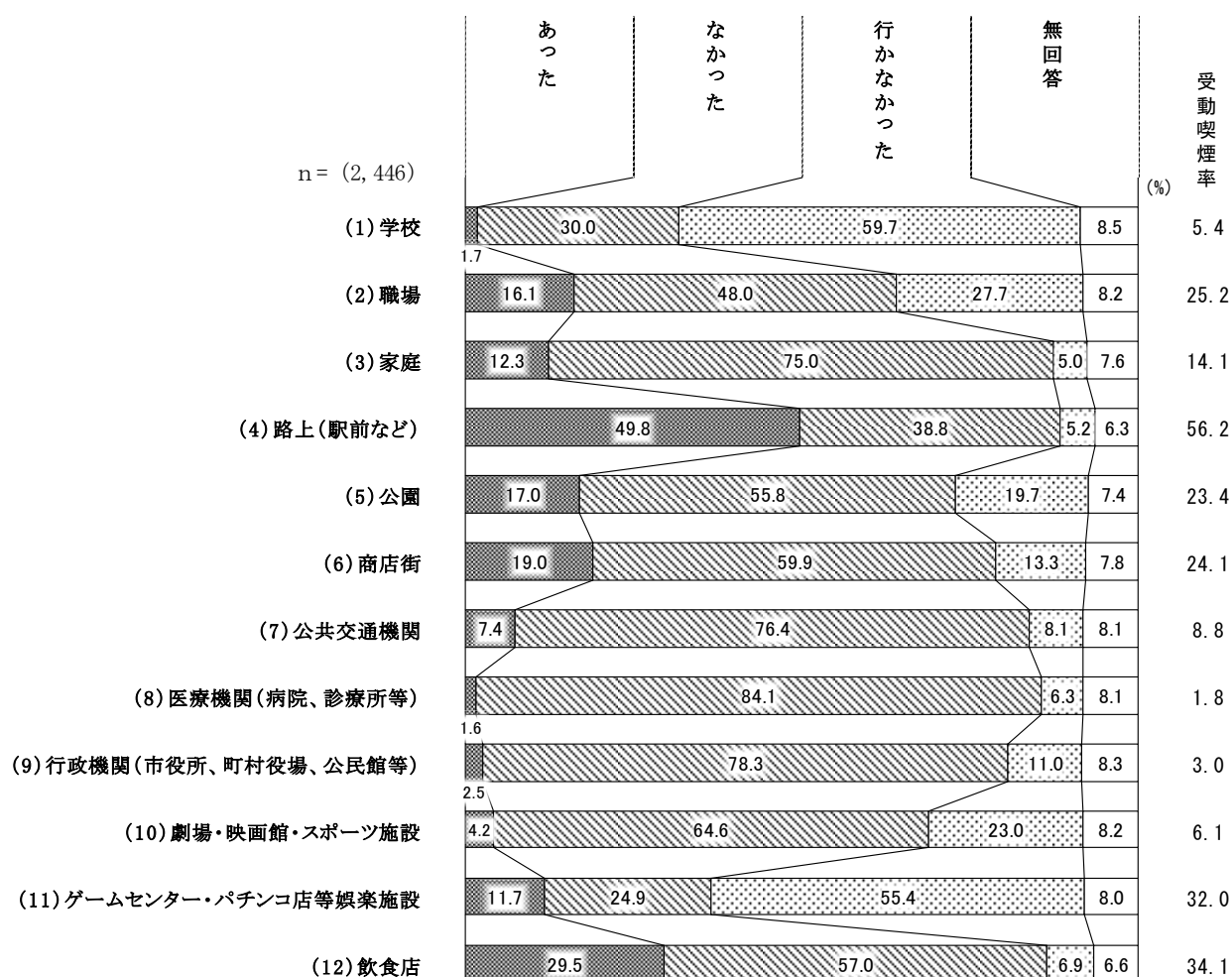
(3) 各施設における受動喫煙の有無

◇「あった」割合は路上が49.8%で第1位、次いで飲食店が29.5%

問26 あなたは、この1年間に、次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることがありましたか。

(1) から (12) の「施設」での「状況」を選んでください。

(各施設それぞれ〇は1つずつ)



各施設において受動喫煙に「あった」割合は、(4) 路上 (49.8%) が約5割と最も高く、次いで(12) 飲食店 (29.5%)、(6) 商店街 (19.0%)、(5) 公園 (17.0%)、(2) 職場 (16.1%) の順となっている。一方で、「なかった」割合は、(8) 医療機関 (病院、診療所等) (84.1%) が8割台半ばと最も高く、(9) 行政機関 (市役所、町村役場、公民館等) (78.3%)、(7) 公共交通機関 (76.4%)、(3) 家庭 (75.0%) が7割台で続いている。

『受動喫煙率』(受動喫煙に「あった」を、「あった」と「なかった」の合計で除したもの) でみると、(4) 路上 (56.2%) が5割台半ばを超えて最も高く、次いで(12) 飲食店 (34.1%)、(11) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設 (32.0%)、(2) 職場 (25.2%)、(6) 商店街 (24.1%) が続いている。

（１）学校

受動喫煙に「あった」割合は 1.7%、『受動喫煙率』は 5.4%となっている。

【過去調査との比較】

令和４年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

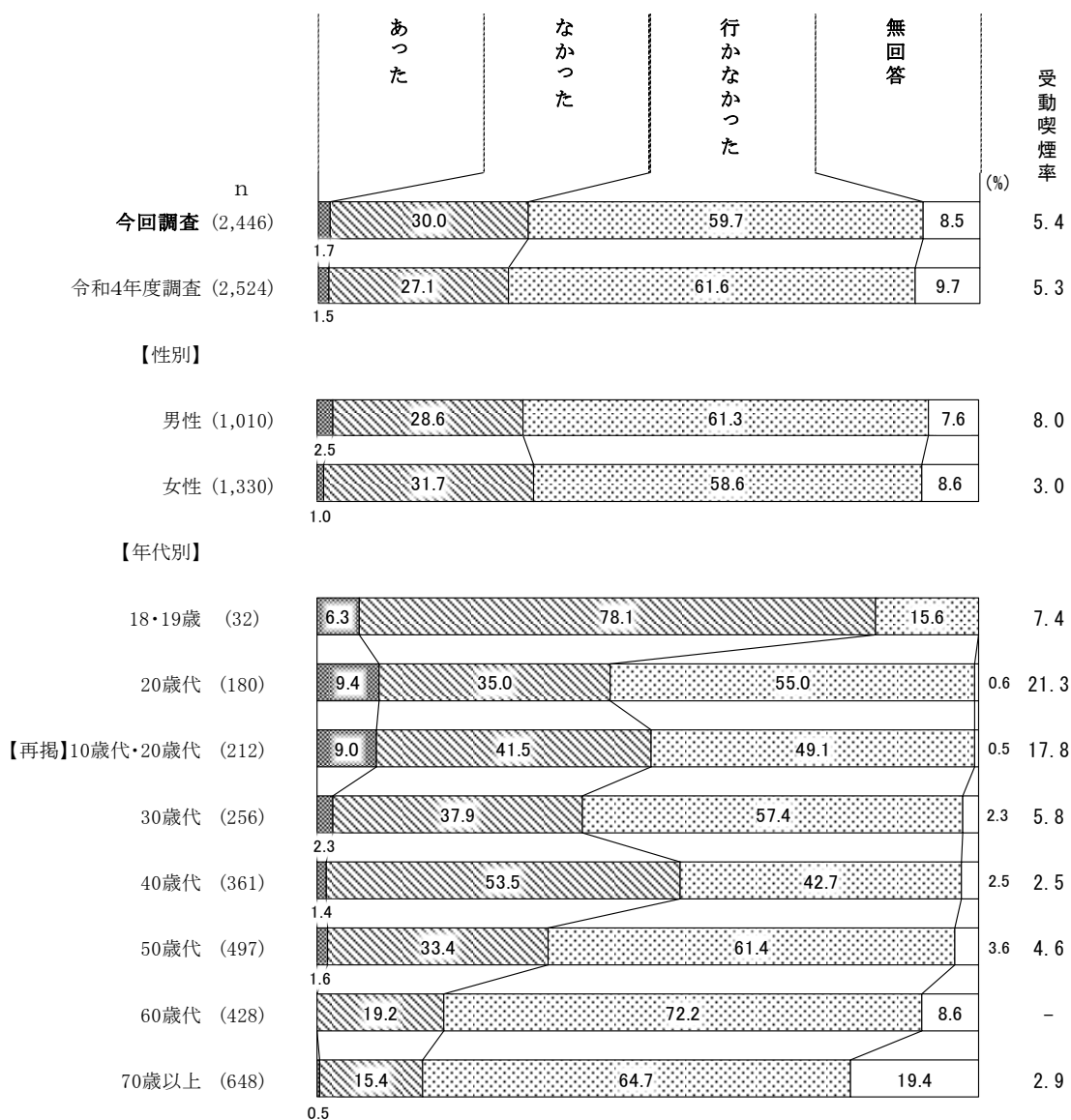
① 性別

『受動喫煙率』は男性（8.0%）の方が女性（3.0%）よりも 5.0 ポイント高くなっている。

② 年代別

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（17.8%）で 1 割台半ばを超えて最も高く、それ以外の年代では 1 割未満となっている。

○「（１）学校」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（16.7％）で1割台半ばを超えて最も高く、それ以外の地域では1割未満となっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性 10 歳代・20 歳代（22.9％）で2割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は無職（計）（8.1％）で1割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（15.4％）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「（１）学校」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査 数 n	あ つ た	な か つ た	行 か な か つ た	無 回 答	(%) 受 動 喫 煙 率
全 体	2,446	1.7	30.0	59.7	8.5	5.4
地域別						
南部地域	245	1.6	34.3	56.3	7.8	4.5
南西部地域	224	1.3	33.5	55.4	9.8	3.8
東部地域	363	1.7	24.8	63.4	10.2	6.3
さいたま地域	447	1.3	31.1	60.0	7.6	4.1
県央地域	181	2.8	27.6	59.1	10.5	9.1
川越比企地域	253	2.4	32.0	57.7	7.9	6.9
西部地域	271	1.8	29.5	64.6	4.1	5.9
利根地域	217	1.4	28.1	58.5	12.0	4.7
北部地域	166	-	30.1	65.7	4.2	-
秩父地域	32	9.4	46.9	40.6	3.1	16.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	66.7	22.2	-	14.3
20歳代	78	12.8	39.7	46.2	1.3	24.4
【再掲】10歳代・20歳代	87	12.6	42.5	43.7	1.1	22.9
30歳代	109	1.8	24.8	71.6	1.8	6.9
40歳代	140	2.9	44.3	50.0	2.9	6.1
50歳代	201	3.0	30.3	63.2	3.5	9.0
60歳代	187	-	26.2	67.9	5.9	-
70歳以上	286	0.7	18.5	62.6	18.2	3.6
女性／18・19歳	23	4.3	82.6	13.0	-	5.0
20歳代	99	7.1	31.3	61.6	-	18.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	6.6	41.0	52.5	-	13.8
30歳代	135	1.5	49.6	45.9	3.0	2.9
40歳代	208	0.5	60.6	36.5	2.4	0.8
50歳代	280	0.4	35.7	60.0	3.9	1.0
60歳代	236	-	13.6	75.8	10.6	-
70歳以上	349	0.3	13.5	66.2	20.1	2.1
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	1.1	33.9	57.4	7.7	3.1
雇用者（計）	1,293	1.7	36.1	58.5	3.7	4.5
無職（計）	909	1.9	21.3	62.8	14.0	8.1
ライフステージ別						
独身期	280	6.8	37.1	55.0	1.1	15.4
家族形成期	151	3.3	27.2	67.5	2.0	10.9
家族成長前期	205	2.0	81.5	16.1	0.5	2.3
家族成長後期	166	1.2	66.3	29.5	3.0	1.8
家族成熟期	373	0.8	24.1	66.5	8.6	3.2
高齢期	611	0.2	17.0	71.2	11.6	1.0
その他	660	1.2	18.0	66.5	14.2	6.3
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	2.7	30.9	62.2	4.3	7.9
非喫煙者（計）	2,054	1.6	30.1	59.6	8.7	4.9

(2) 職場

受動喫煙に「あった」割合は 16.1%、『受動喫煙率』は 25.2%となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（20.4%）の方が女性（12.8%）よりも 7.6 ポイント高くなっている。

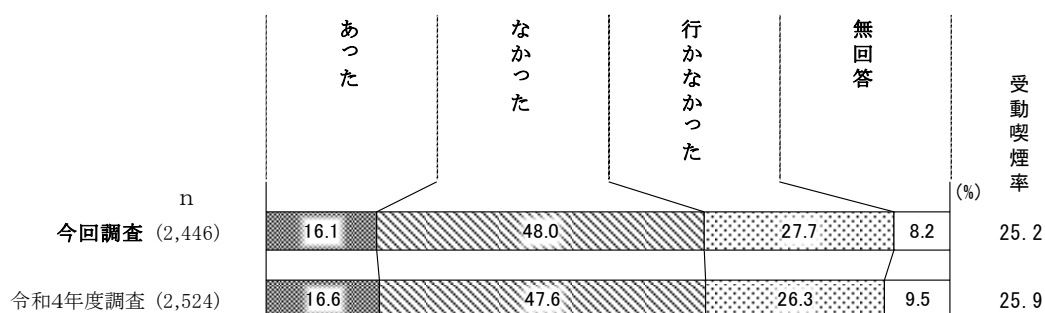
『受動喫煙率』は男性（29.2%）の方が女性（21.2%）よりも 8.0 ポイント高くなっている。

② 年代別

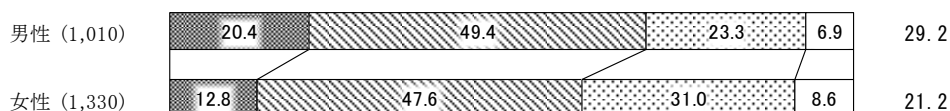
受動喫煙に「あった」は 10 歳代・20 歳代と 40 歳代（各 27.4%）で 2 割台半ばを超えて高く、70 歳以上（2.5%）で低くなっている。

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（33.0%）で 3 割強と最も高くなっている。

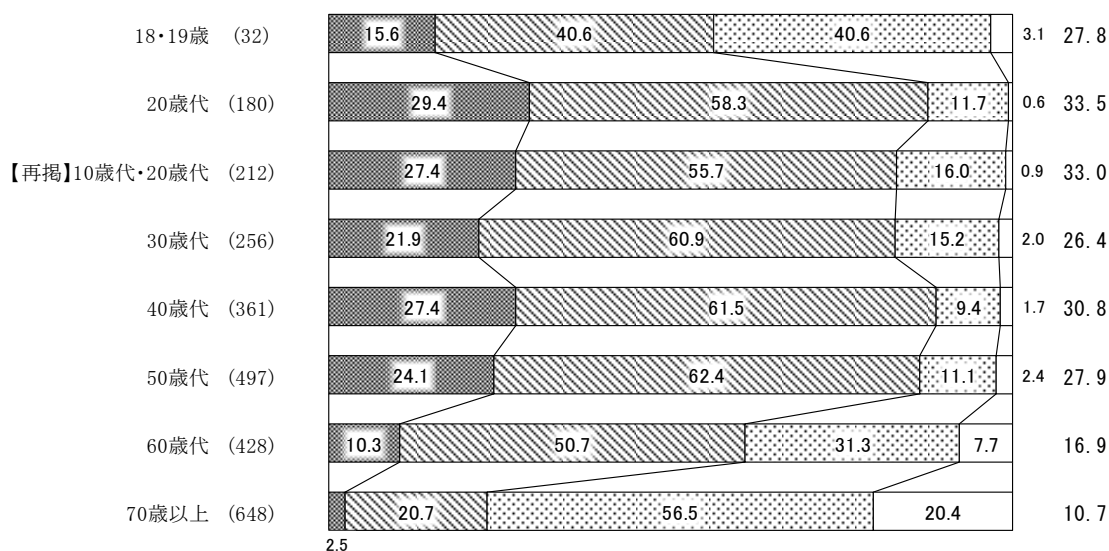
○「(2) 職場」・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『受動喫煙率』は西部地域（31.8%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性 30 歳代（38.5%）で4割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（27.9%）が2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はその他（31.9%）で3割強と最も高く、高齢期（11.5%）で最も低くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（37.6%）の方が非喫煙者（計）（22.2%）よりも 15.4 ポイント高くなっている。

○「(2) 職場」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	16.1	48.0	27.7	8.2	25.2
地域別						
南部地域	245	15.1	53.1	23.3	8.6	22.2
南西部地域	224	19.2	49.1	24.1	7.6	28.1
東部地域	363	17.4	49.3	22.9	10.5	26.0
さいたま地域	447	13.9	50.8	27.5	7.8	21.5
県央地域	181	18.8	43.6	29.3	8.3	30.1
川越比企地域	253	15.4	49.4	28.5	6.7	23.8
西部地域	271	20.7	44.3	31.0	4.1	31.8
利根地域	217	12.4	37.3	37.3	12.9	25.0
北部地域	166	15.1	52.4	28.9	3.6	22.3
秩父地域	32	21.9	59.4	15.6	3.1	26.9
性・年代別						
男性／18・19歳	9	—	44.4	55.6	—	—
20歳代	78	29.5	55.1	14.1	1.3	34.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	26.4	54.0	18.4	1.1	32.9
30歳代	109	33.9	54.1	11.0	0.9	38.5
40歳代	140	34.3	58.6	5.0	2.1	36.9
50歳代	201	28.9	61.7	7.0	2.5	31.9
60歳代	187	16.0	57.2	21.9	4.8	21.9
70歳以上	286	3.5	28.0	50.7	17.8	11.1
女性／18・19歳	23	21.7	39.1	34.8	4.3	35.7
20歳代	99	30.3	59.6	10.1	—	33.7
【再掲】10歳代・20歳代	122	28.7	55.7	14.8	0.8	34.0
30歳代	135	11.1	67.4	18.5	3.0	14.2
40歳代	208	21.6	65.4	11.5	1.4	24.9
50歳代	280	20.4	62.9	14.3	2.5	24.5
60歳代	236	5.9	45.8	38.6	9.7	11.5
70歳以上	349	1.1	15.5	61.3	22.1	6.9
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	14.2	59.0	20.2	6.6	19.4
雇用者（計）	1,293	26.3	68.0	3.2	2.5	27.9
無職（計）	909	2.9	18.2	63.9	15.1	13.6
ライフステージ別						
独身期	280	23.9	56.8	18.2	1.1	29.6
家族形成期	151	25.8	60.3	11.9	2.0	30.0
家族成長前期	205	22.4	65.4	11.7	0.5	25.6
家族成長後期	166	22.9	68.7	6.0	2.4	25.0
家族成熟期	373	14.5	57.4	20.4	7.8	20.1
高齢期	611	4.1	31.4	52.9	11.6	11.5
その他	660	19.1	40.8	26.5	13.6	31.9
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	29.8	49.5	17.0	3.7	37.6
非喫煙者（計）	2,054	13.7	48.1	29.8	8.4	22.2

（３）家庭

受動喫煙に「あった」割合は 12.3%、『受動喫煙率』は 14.1%となっている。

【過去調査との比較】

令和４年度調査と比べて、受動喫煙が「なかった」は 5.9 ポイント増加している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は女性（14.7%）の方が男性（9.2%）より 5.5 ポイント高くなっている。

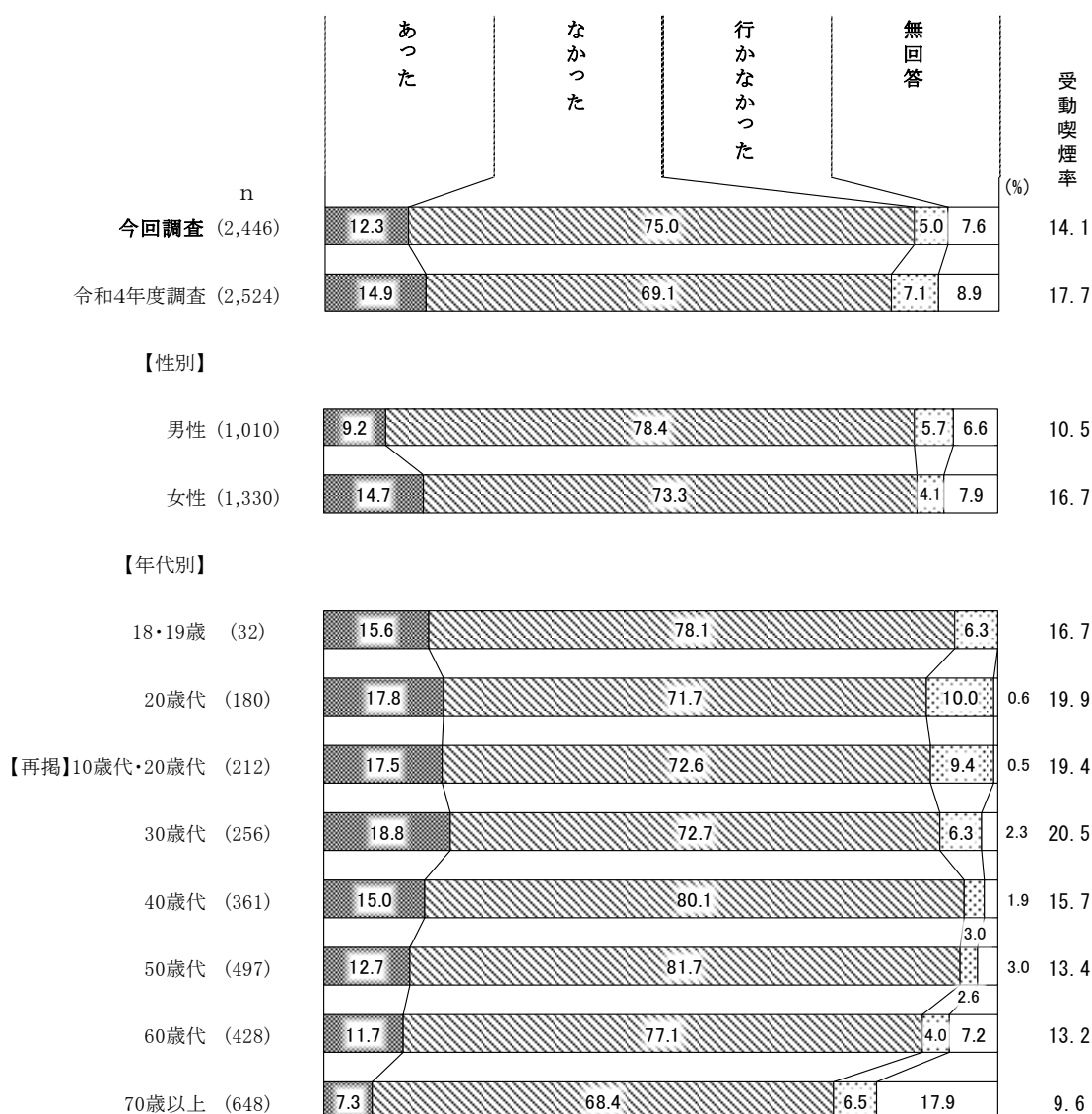
『受動喫煙率』は女性（16.7%）の方が男性（10.5%）よりも 6.2 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 30 歳代（18.8%）で 2 割弱と最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 30 歳代（20.5%）で 2 割を超えて最も高くなっている。

○「（３）家庭」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は東部地域（17.5%）と南西部地域（17.2%）で1割台半ばを超えて高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性30歳代（27.4%）で2割台半ばを超えて最も高く、男性ではすべての年代で2割未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（14.9%）と無職（計）（14.3%）が自営業・家族従業（計）（8.1%）と比べ高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（20.4%）で2割を超えて最も高く、高齢期（10.6%）で最も低くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（27.8%）の方が非喫煙者（計）（11.5%）よりも16.3ポイント高くなっている。

○「(3) 家庭」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	12.3	75.0	5.0	7.6	14.1
地域別						
南部地域	245	12.2	73.9	5.7	8.2	14.2
南西部地域	224	14.7	71.0	5.8	8.5	17.2
東部地域	363	14.9	70.2	5.0	9.9	17.5
さいたま地域	447	10.7	79.2	4.0	6.0	11.9
県央地域	181	13.8	74.0	3.3	8.8	15.7
川越比企地域	253	12.6	75.5	5.1	6.7	14.3
西部地域	271	12.5	79.0	5.2	3.3	13.7
利根地域	217	10.1	71.9	7.4	10.6	12.4
北部地域	166	11.4	81.9	2.4	4.2	12.3
秩父地域	32	3.1	87.5	6.3	3.1	3.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	88.9	11.1	-	-
20歳代	78	16.7	71.8	10.3	1.3	18.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	14.9	73.6	10.3	1.1	16.9
30歳代	109	11.9	78.9	7.3	1.8	13.1
40歳代	140	11.4	82.9	3.6	2.1	12.1
50歳代	201	8.0	84.6	4.0	3.5	8.6
60歳代	187	9.1	81.3	4.8	4.8	10.1
70歳以上	286	6.3	71.3	6.6	15.7	8.1
女性／18・19歳	23	21.7	73.9	4.3	-	22.7
20歳代	99	19.2	72.7	8.1	-	20.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	19.7	73.0	7.4	-	21.2
30歳代	135	25.2	66.7	5.2	3.0	27.4
40歳代	208	17.3	78.4	2.4	1.9	18.1
50歳代	280	15.0	80.4	1.8	2.9	15.7
60歳代	236	14.0	74.2	3.0	8.9	15.9
70歳以上	349	7.7	66.8	6.0	19.5	10.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	7.1	80.9	4.9	7.1	8.1
雇用者（計）	1,293	13.8	79.2	3.9	3.1	14.9
無職（計）	909	11.6	69.4	6.5	12.5	14.3
ライフステージ別						
独身期	280	18.2	71.1	9.6	1.1	20.4
家族形成期	151	16.6	76.2	5.3	2.0	17.9
家族成長前期	205	14.1	83.9	1.5	0.5	14.4
家族成長後期	166	10.8	84.9	1.2	3.0	11.3
家族成熟期	373	13.4	77.5	1.9	7.2	14.7
高齢期	611	8.8	74.8	5.7	10.6	10.6
その他	660	11.4	70.0	6.2	12.4	14.0
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	25.3	65.7	4.5	4.5	27.8
非喫煙者（計）	2,054	10.0	77.3	5.2	7.5	11.5

（４）路上

受動喫煙に「あった」割合は 49.8%、『受動喫煙率』は 56.2%となっている。

【過去調査との比較】

令和４年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 性別

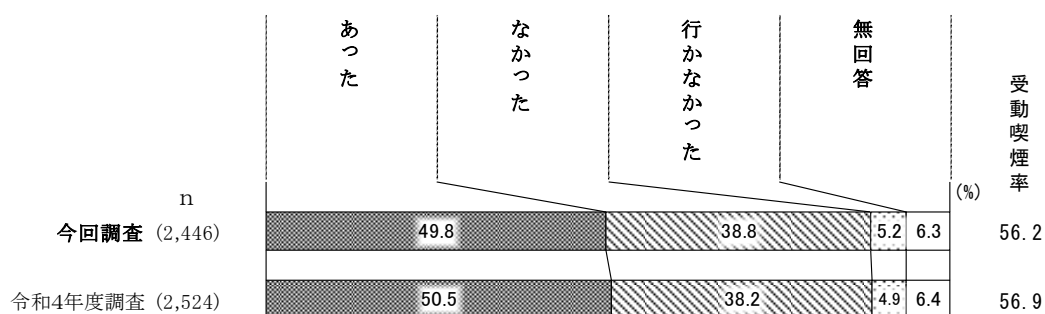
性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

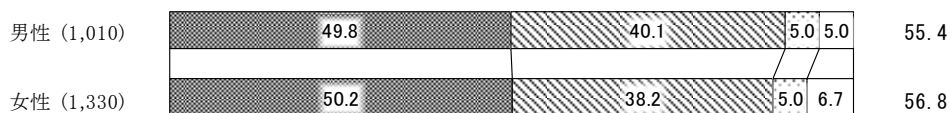
受動喫煙に「あった」は 30 歳代（69.1%）で約 7 割と最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 30 歳代（72.2%）で 7 割強と最も高くなっている。

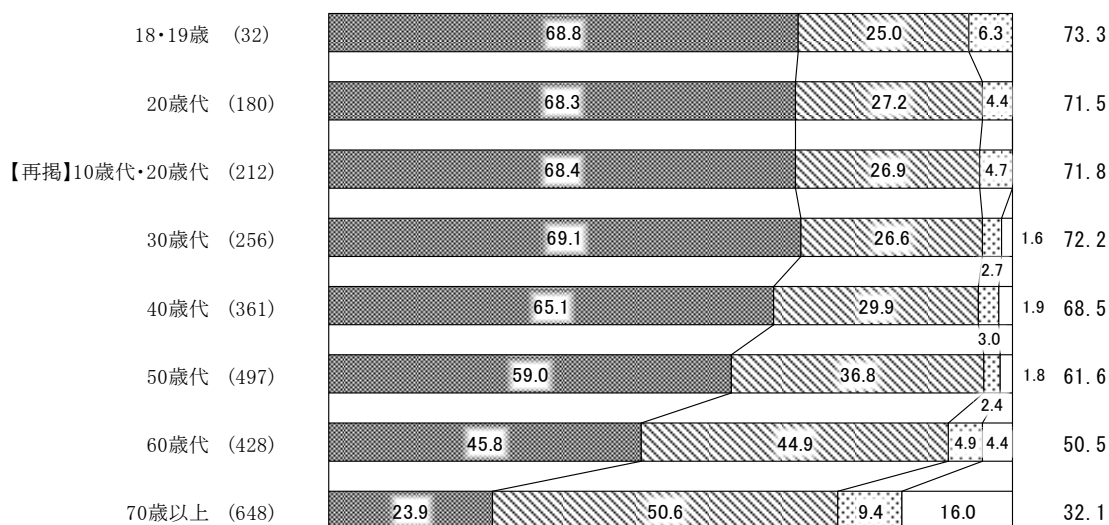
○「（４）路上」・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③ 地域別

『受動喫煙率』は南部地域（70.8%）で7割を超えて最も高く、利根地域（37.6%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性の10歳代・20歳代（75.4%）と30歳代（75.8%）で7割台半ばと高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（63.9%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族形成期（76.6%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は非喫煙者（計）（57.2%）の方が喫煙者（計）（51.0%）よりも6.2ポイント高くなっている。

○「(4) 路上」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	49.8	38.8	5.2	6.3	56.2
地域別						
南部地域	245	62.4	25.7	4.5	7.3	70.8
南西部地域	224	61.6	29.9	2.7	5.8	67.3
東部地域	363	52.1	35.0	6.1	6.9	59.8
さいたま地域	447	55.0	35.8	4.3	4.9	60.6
県央地域	181	45.9	39.2	6.6	8.3	53.9
川越比企地域	253	42.7	44.7	6.3	6.3	48.9
西部地域	271	51.3	43.5	3.0	2.2	54.1
利根地域	217	30.0	49.8	10.1	10.1	37.6
北部地域	166	38.0	56.6	2.4	3.0	40.1
秩父地域	32	46.9	46.9	3.1	3.1	50.0
性・年代別						
男性／18・19歳	9	55.6	33.3	11.1	—	62.5
20歳代	78	64.1	29.5	6.4	—	68.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	63.2	29.9	6.9	—	67.9
30歳代	109	67.0	30.3	0.9	1.8	68.9
40歳代	140	64.3	30.7	2.1	2.9	67.7
50歳代	201	61.7	32.8	3.5	2.0	65.3
60歳代	187	47.1	45.5	5.9	1.6	50.9
70歳以上	286	25.5	53.1	8.0	13.3	32.4
女性／18・19歳	23	73.9	21.7	4.3	—	77.3
20歳代	99	72.7	24.2	3.0	—	75.0
【再掲】10歳代・20歳代	122	73.0	23.8	3.3	—	75.4
30歳代	135	71.9	23.0	3.7	1.5	75.8
40歳代	208	64.4	30.3	3.8	1.4	68.0
50歳代	280	57.5	39.3	1.4	1.8	59.4
60歳代	236	45.8	43.6	4.2	6.4	51.2
70歳以上	349	22.3	49.3	10.0	18.3	31.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	43.7	46.4	4.4	5.5	48.5
雇用者（計）	1,293	60.7	34.3	2.6	2.5	63.9
無職（計）	909	36.6	44.3	8.8	10.2	45.2
ライフステージ別						
独身期	280	67.1	27.5	4.6	0.7	70.9
家族形成期	151	73.5	22.5	2.6	1.3	76.6
家族成長前期	205	75.1	23.9	1.0	—	75.9
家族成長後期	166	62.0	34.9	1.8	1.2	64.0
家族成熟期	373	46.4	44.2	4.0	5.4	51.2
高齢期	611	30.3	51.9	8.7	9.2	36.9
その他	660	45.9	37.7	5.6	10.8	54.9
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	46.3	44.4	5.6	3.7	51.0
非喫煙者（計）	2,054	50.8	38.0	5.2	6.0	57.2

(5) 公園

受動喫煙に「あった」割合は 17.0%、『受動喫煙率』は 23.4%となっている。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（20.0%）の方が女性（14.7%）よりも 5.3 ポイント高くなっている。

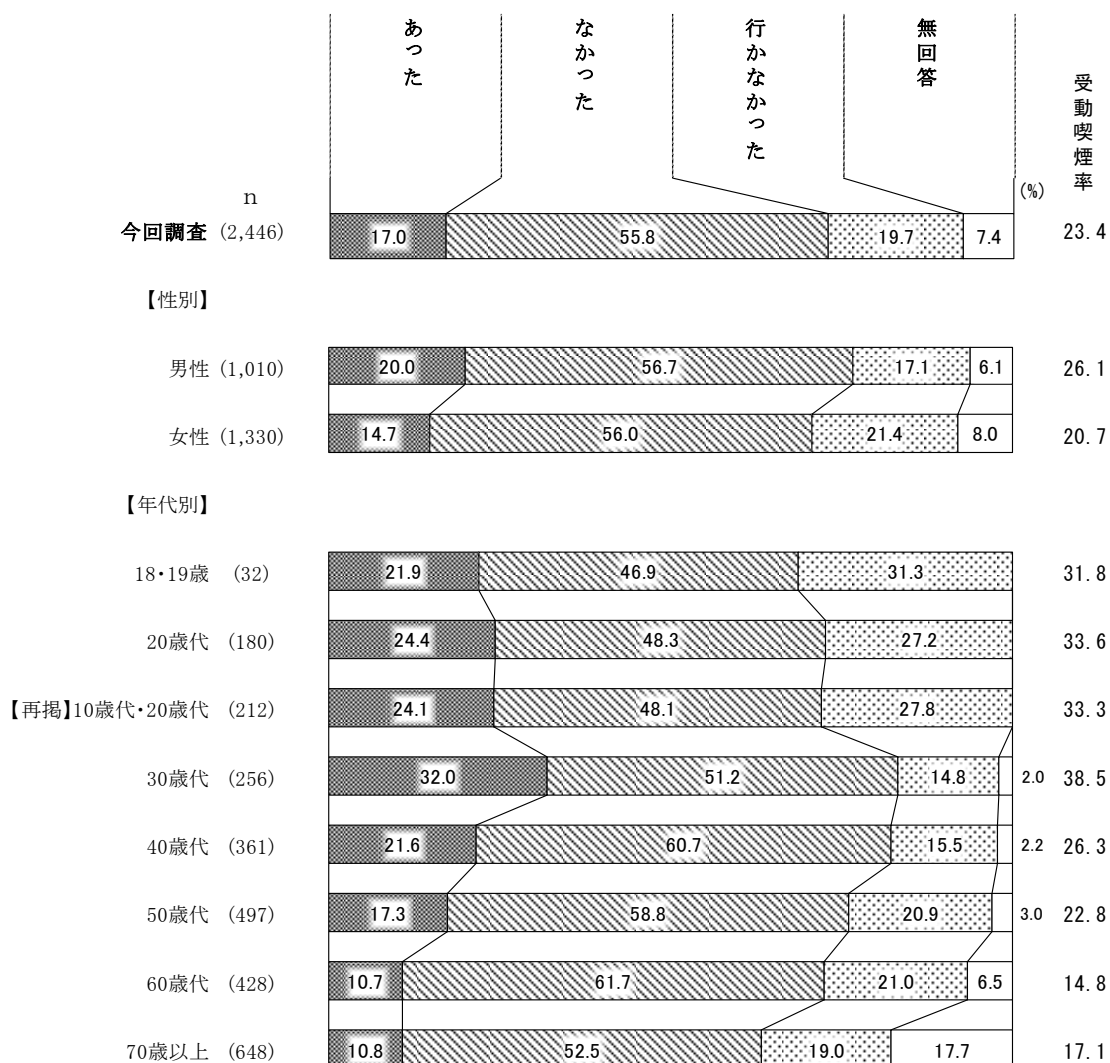
『受動喫煙率』も男性（26.1%）の方が女性（20.7%）よりも 5.4 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 30 歳代（32.0%）で 3 割強と最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 30 歳代（38.5%）で 4 割弱と最も高くなっている。

○ 「(5) 公園」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は南西部地域（31.4%）で3割強と最も高く、秩父地域（11.5%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男女ともに30歳代（女性38.9%・男性38.5%）で4割弱と高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（25.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族形成期（39.6%）で約4割と最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「(5) 公園」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	なかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	17.0	55.8	19.7	7.4	23.4
地域別						
南部地域	245	20.8	49.8	21.6	7.8	29.5
南西部地域	224	23.7	51.8	16.1	8.5	31.4
東部地域	363	19.3	51.2	19.8	9.6	27.3
さいたま地域	447	19.0	55.9	18.8	6.3	25.4
県央地域	181	12.2	60.2	18.8	8.8	16.8
川越比企地域	253	14.6	58.9	19.0	7.5	19.9
西部地域	271	18.8	62.7	15.9	2.6	23.1
利根地域	217	11.1	55.3	23.5	10.1	16.7
北部地域	166	8.4	62.0	25.9	3.6	12.0
秩父地域	32	9.4	71.9	18.8	-	11.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	33.3	44.4	22.2	-	42.9
20歳代	78	21.8	51.3	26.9	-	29.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	23.0	50.6	26.4	-	31.3
30歳代	109	32.1	51.4	14.7	1.8	38.5
40歳代	140	27.1	57.1	12.9	2.9	32.2
50歳代	201	21.4	56.2	18.4	4.0	27.6
60歳代	187	12.3	65.8	18.2	3.7	15.8
70歳以上	286	15.0	54.9	15.7	14.3	21.5
女性／18・19歳	23	17.4	47.8	34.8	-	26.7
20歳代	99	26.3	45.5	28.3	-	36.6
【再掲】10歳代・20歳代	122	24.6	45.9	29.5	-	34.9
30歳代	135	32.6	51.1	14.1	2.2	38.9
40歳代	208	15.9	64.9	17.3	1.9	19.6
50歳代	280	14.3	60.7	22.5	2.5	19.0
60歳代	236	9.7	58.5	23.3	8.5	14.3
70歳以上	349	7.2	50.7	21.5	20.6	12.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	18.0	61.2	13.7	7.1	22.8
雇用者（計）	1,293	19.6	57.5	19.8	3.1	25.4
無職（計）	909	13.9	53.8	20.4	12.0	20.5
ライフステージ別						
独身期	280	21.1	47.5	30.7	0.7	30.7
家族形成期	151	36.4	55.6	6.0	2.0	39.6
家族成長前期	205	31.2	63.4	5.4	-	33.0
家族成長後期	166	16.3	69.3	12.0	2.4	19.0
家族成熟期	373	12.3	60.1	20.6	7.0	17.0
高齢期	611	7.7	60.7	20.6	11.0	11.2
その他	660	18.0	46.8	23.2	12.0	27.8
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	15.4	60.4	19.4	4.8	20.4
非喫煙者（計）	2,054	17.5	55.5	19.9	7.2	24.0

(6) 商店街

受動喫煙に「あった」割合は 19.0%、『受動喫煙率』は 24.1%となっている。

【属性別比較】

① 性別

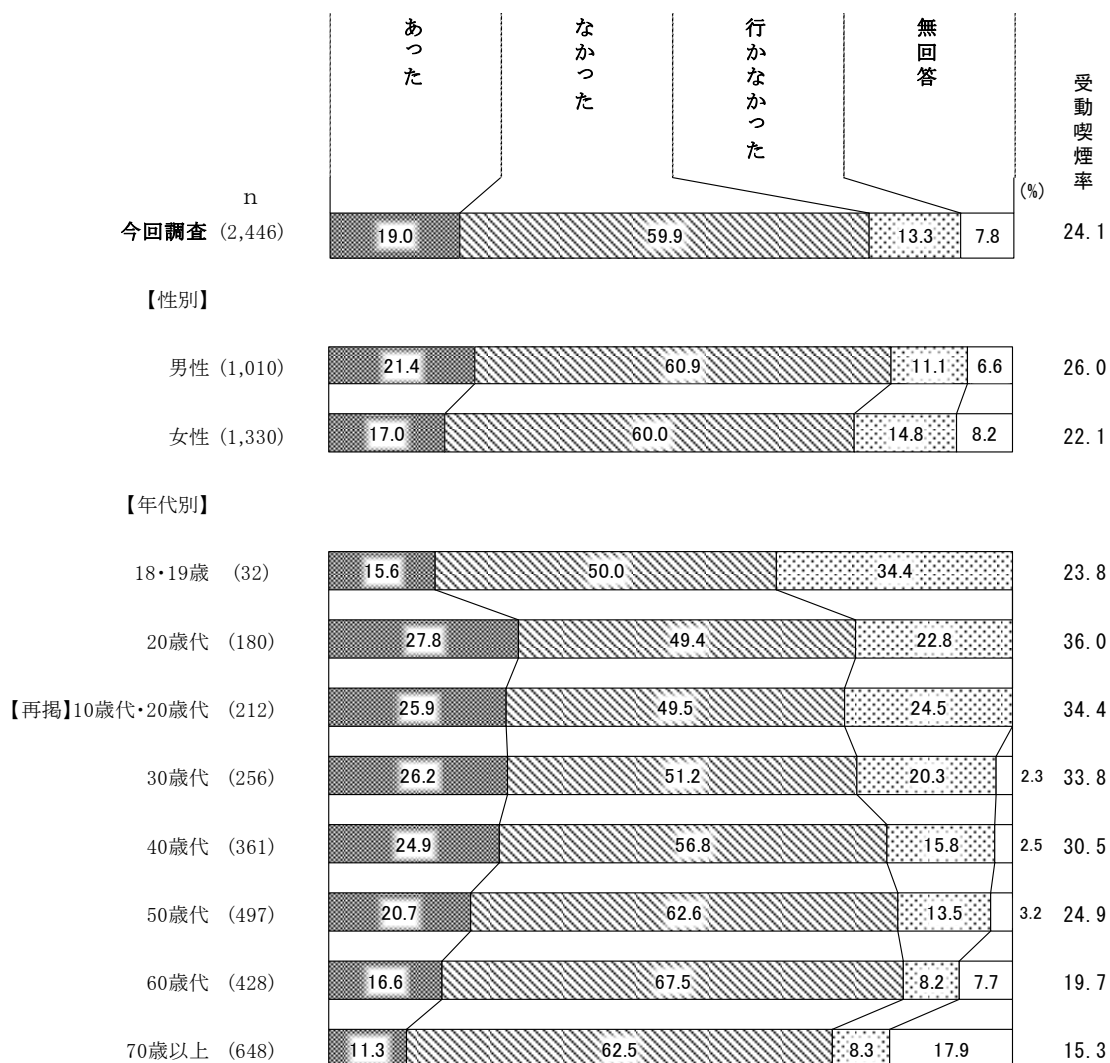
性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 30 歳代（26.2%）で 2 割台半ばを超えて最も高くなっている。

『受動喫煙率』は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10 歳代・20 歳代（34.4%）で 3 割台半ばと最も高くなっている。

○「(6) 商店街」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は南部地域（30.8%）で3割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性 30 歳代（38.9%）と女性 10 歳代・20 歳代（38.5%）で4割弱と高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（27.4%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族形成期（40.3%）で4割を超えて最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況の回答割合では特に大きな差はみられないが、『受動喫煙率』は非喫煙者（計）（24.8%）の方が喫煙者（計）（19.9%）よりも 4.9 ポイント高くなっている。

○「（6）商店街」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	なかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	19.0	59.9	13.3	7.8	24.1
地域別						
南部地域	245	23.3	52.2	16.7	7.8	30.8
南西部地域	224	21.9	57.1	12.1	8.9	27.7
東部地域	363	17.6	55.6	16.5	10.2	24.1
さいたま地域	447	20.8	60.2	12.1	6.9	25.7
県央地域	181	19.9	56.9	13.8	9.4	25.9
川越比企地域	253	19.8	59.7	13.4	7.1	24.9
西部地域	271	21.8	66.8	9.2	2.2	24.6
利根地域	217	11.5	65.4	12.0	11.1	15.0
北部地域	166	10.8	71.7	13.9	3.6	13.1
秩父地域	32	25.0	65.6	6.3	3.1	27.6
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	66.7	22.2	—	14.3
20歳代	78	23.1	52.6	24.4	—	30.5
【再掲】10歳代・20歳代	87	21.8	54.0	24.1	—	28.8
30歳代	109	32.1	50.5	15.6	1.8	38.9
40歳代	140	27.9	57.9	11.4	2.9	32.5
50歳代	201	23.4	61.2	11.9	3.5	27.6
60歳代	187	18.2	67.9	8.6	5.3	21.1
70歳以上	286	14.7	63.6	6.3	15.4	18.8
女性／18・19歳	23	17.4	43.5	39.1	—	28.6
20歳代	99	31.3	46.5	22.2	—	40.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	28.7	45.9	25.4	—	38.5
30歳代	135	21.5	51.9	23.7	3.0	29.3
40歳代	208	20.7	57.7	19.2	2.4	26.4
50歳代	280	18.9	63.2	14.6	3.2	23.0
60歳代	236	15.7	66.9	8.1	9.3	19.0
70歳以上	349	8.3	62.2	9.7	19.8	11.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	20.8	62.3	9.8	7.1	25.0
雇用者（計）	1,293	22.5	59.7	14.5	3.3	27.4
無職（計）	909	14.1	60.9	12.3	12.7	18.8
ライフステージ別						
独身期	280	22.5	50.4	26.4	0.7	30.9
家族形成期	151	34.4	51.0	12.6	2.0	40.3
家族成長前期	205	30.7	54.1	14.6	0.5	36.2
家族成長後期	166	21.1	63.9	12.0	3.0	24.8
家族成熟期	373	15.8	64.9	10.7	8.6	19.6
高齢期	611	11.3	69.9	8.2	10.6	13.9
その他	660	18.8	54.7	13.9	12.6	25.6
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	16.0	64.4	15.4	4.3	19.9
非喫煙者（計）	2,054	19.7	59.5	13.0	7.8	24.8

（７）公共交通機関

受動喫煙に「あった」割合は 7.4%、『受動喫煙率』は 8.8%となっている。

【過去調査との比較】

令和 4 年度調査と比べて、受動喫煙が「なかった」は 6.7 ポイント増加している。

【属性別比較】

① 性別

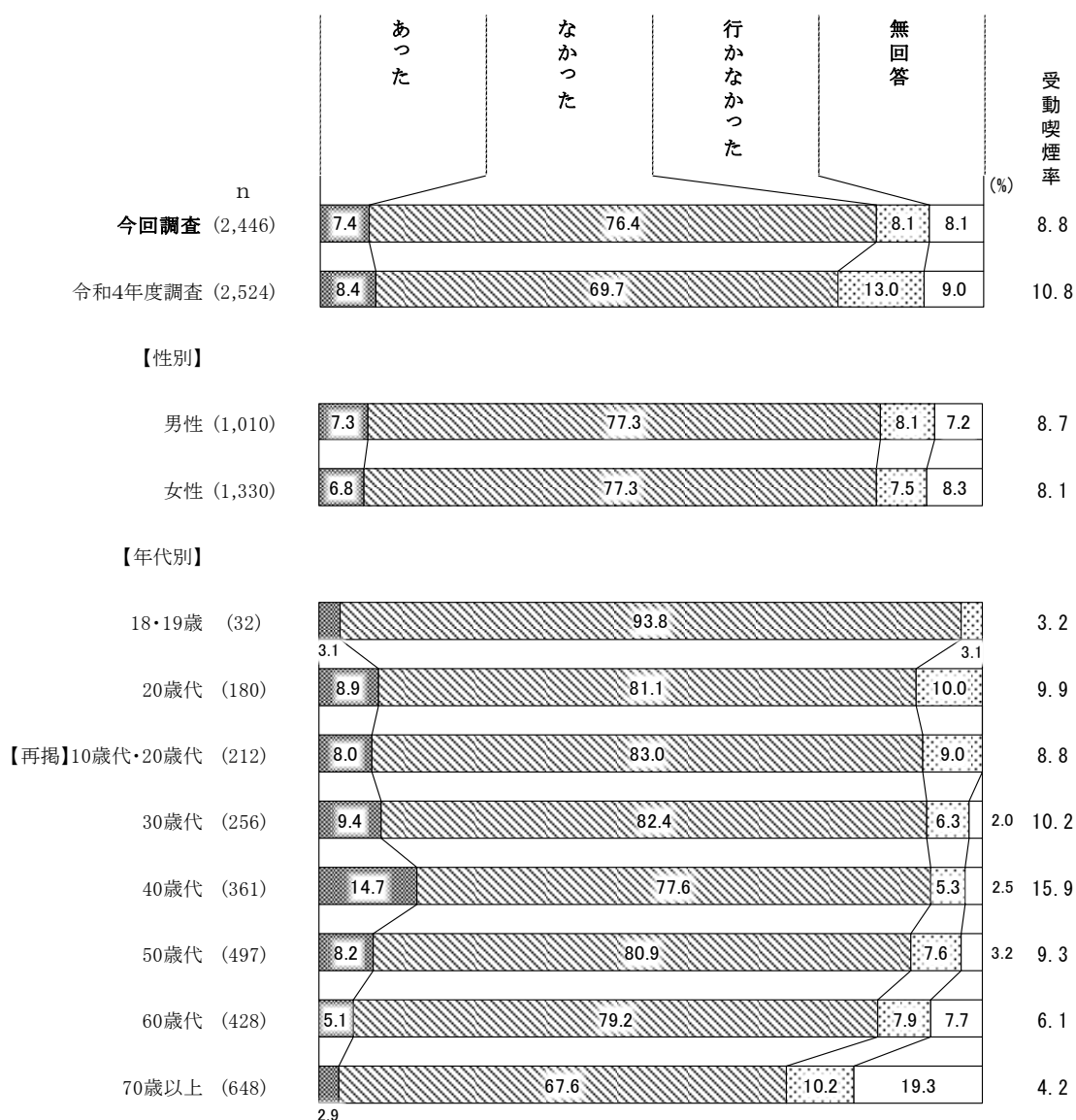
性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 40 歳代（14.7%）で 1 割台半ばと最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 40 歳代（15.9%）で 1 割台半ばと最も高くなっている。

○「（７）公共交通機関」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は東部地域（11.8%）で1割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性 40 歳代（13.1%）で1割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は自営業・家族従業（計）（10.3%）と雇用者（計）（10.1%）が無職（計）（5.9%）と比べ高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族成長前期（14.9%）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「（7）公共交通機関」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	7.4	76.4	8.1	8.1	8.8
地域別						
南部地域	245	8.6	75.1	8.2	8.2	10.2
南西部地域	224	7.6	78.6	4.9	8.9	8.8
東部地域	363	9.4	70.0	10.5	10.2	11.8
さいたま地域	447	8.5	79.4	5.1	6.9	9.7
県央地域	181	6.1	74.6	8.8	10.5	7.5
川越比企地域	253	5.1	79.1	7.9	7.9	6.1
西部地域	271	7.0	83.8	6.6	2.6	7.7
利根地域	217	5.5	70.0	12.4	12.0	7.3
北部地域	166	4.8	82.5	9.0	3.6	5.5
秩父地域	32	9.4	78.1	9.4	3.1	10.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	—	88.9	11.1	—	—
20歳代	78	5.1	82.1	12.8	—	5.9
【再掲】10歳代・20歳代	87	4.6	82.8	12.6	—	5.3
30歳代	109	11.0	82.6	4.6	1.8	11.8
40歳代	140	15.0	77.1	5.0	2.9	16.3
50歳代	201	10.0	78.6	8.0	3.5	11.2
60歳代	187	4.3	80.7	9.6	5.3	5.0
70歳以上	286	3.1	70.6	8.7	17.5	4.3
女性／18・19歳	23	4.3	95.7	—	—	4.3
20歳代	99	11.1	80.8	8.1	—	12.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	9.8	83.6	6.6	—	10.5
30歳代	135	8.9	83.0	5.9	2.2	9.7
40歳代	208	12.0	79.8	5.8	2.4	13.1
50歳代	280	7.1	83.2	6.4	3.2	7.9
60歳代	236	5.9	78.0	6.8	9.3	7.1
70歳以上	349	2.3	66.2	10.9	20.6	3.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	8.7	76.5	7.1	7.7	10.3
雇用者（計）	1,293	9.1	81.4	6.1	3.4	10.1
無職（計）	909	4.5	71.4	10.9	13.2	5.9
ライフステージ別						
独身期	280	8.2	81.8	9.3	0.7	9.1
家族形成期	151	9.3	83.4	5.3	2.0	10.0
家族成長前期	205	14.6	83.4	2.0	—	14.9
家族成長後期	166	10.2	81.9	4.8	3.0	11.1
家族成熟期	373	7.5	77.7	6.2	8.6	8.8
高齢期	611	2.8	76.6	9.3	11.3	3.5
その他	660	7.9	68.0	10.8	13.3	10.4
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	4.8	80.3	10.4	4.5	5.6
非喫煙者（計）	2,054	7.9	76.2	7.7	8.1	9.4

（８）医療機関（病院、診療所等）

受動喫煙に「あった」割合は 1.6%、『受動喫煙率』は 1.8%となっている。

【過去調査との比較】

令和４年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、受動喫煙が「なかった」は 4.6 ポイント増加している。

【属性別比較】

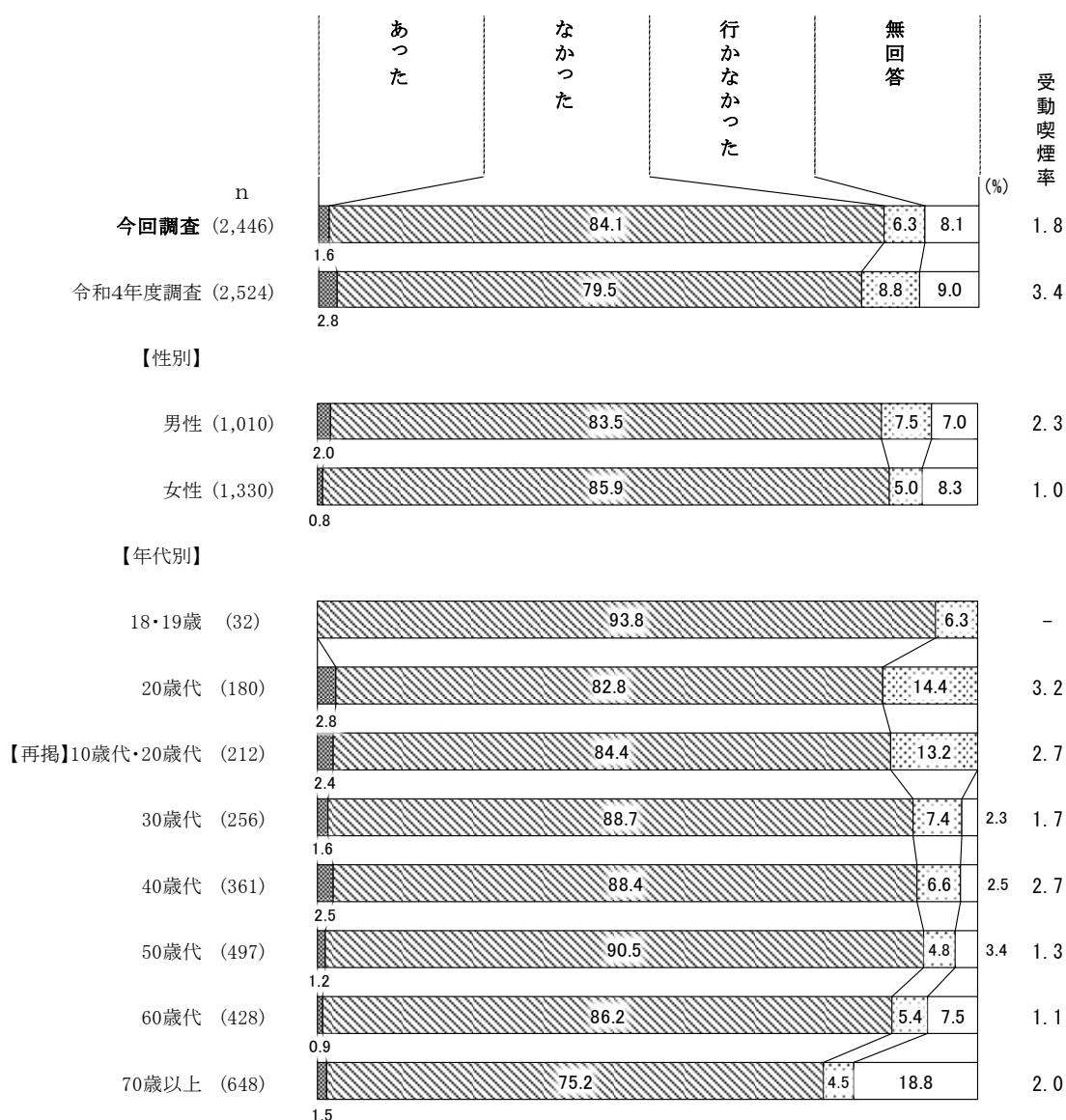
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

受動喫煙が「なかった」は 70 歳以上（75.2%）で最も低く、それ以外の年代で 8 割以上となっており、『受動喫煙率』はすべての年代で 5% 未満となっている。

○「（８）医療機関（病院、診療所等）」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』はすべての地域で5%未満となっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』はすべての性・年代で5%未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』はすべての職業で5%未満となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はすべてのライフステージで5%未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「(8) 医療機関（病院、診療所等）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	1.6	84.1	6.3	8.1	1.8
地域別						
南部地域	245	1.6	81.6	9.4	7.3	2.0
南西部地域	224	1.8	82.1	6.7	9.4	2.1
東部地域	363	1.4	81.8	6.3	10.5	1.7
さいたま地域	447	1.6	86.4	5.4	6.7	1.8
県央地域	181	0.6	85.1	3.9	10.5	0.6
川越比企地域	253	1.6	85.8	4.7	7.9	1.8
西部地域	271	1.5	89.7	5.9	3.0	1.6
利根地域	217	3.2	78.3	7.4	11.1	4.0
北部地域	166	0.6	89.8	6.0	3.6	0.7
秩父地域	32	3.1	90.6	3.1	3.1	3.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	77.8	22.2	-	-
20歳代	78	3.8	78.2	17.9	-	4.7
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	78.2	18.4	-	4.2
30歳代	109	2.8	87.2	8.3	1.8	3.1
40歳代	140	3.6	85.0	8.6	2.9	4.0
50歳代	201	1.5	89.1	6.0	3.5	1.6
60歳代	187	0.5	86.6	8.0	4.8	0.6
70歳以上	286	1.7	76.9	4.2	17.1	2.2
女性／18・19歳	23	-	100.0	-	-	-
20歳代	99	2.0	85.9	12.1	-	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	1.6	88.5	9.8	-	1.8
30歳代	135	0.7	90.4	5.9	3.0	0.8
40歳代	208	0.5	91.8	5.3	2.4	0.5
50歳代	280	0.7	91.8	3.9	3.6	0.8
60歳代	236	1.3	86.0	3.4	9.3	1.5
70歳以上	349	0.6	74.8	4.6	20.1	0.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	2.7	85.8	3.3	8.2	3.1
雇用者（計）	1,293	1.5	88.9	6.3	3.3	1.6
無職（計）	909	1.5	79.1	6.4	13.0	1.9
ライフステージ別						
独身期	280	1.8	83.6	13.9	0.7	2.1
家族形成期	151	2.6	90.1	5.3	2.0	2.9
家族成長前期	205	1.5	96.6	1.5	0.5	1.5
家族成長後期	166	1.8	91.0	4.2	3.0	1.9
家族成熟期	373	1.3	86.9	3.5	8.3	1.5
高齢期	611	0.8	84.1	4.1	11.0	1.0
その他	660	2.0	75.8	8.8	13.5	2.5
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	1.6	85.4	8.8	4.3	1.8
非喫煙者（計）	2,054	1.6	84.5	5.8	8.1	1.8

（９）行政機関（市役所、町村役場、公民館等）

受動喫煙に「あった」割合は 2.5%、『受動喫煙率』は 3.0%となっている。

【過去調査との比較】

令和４年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

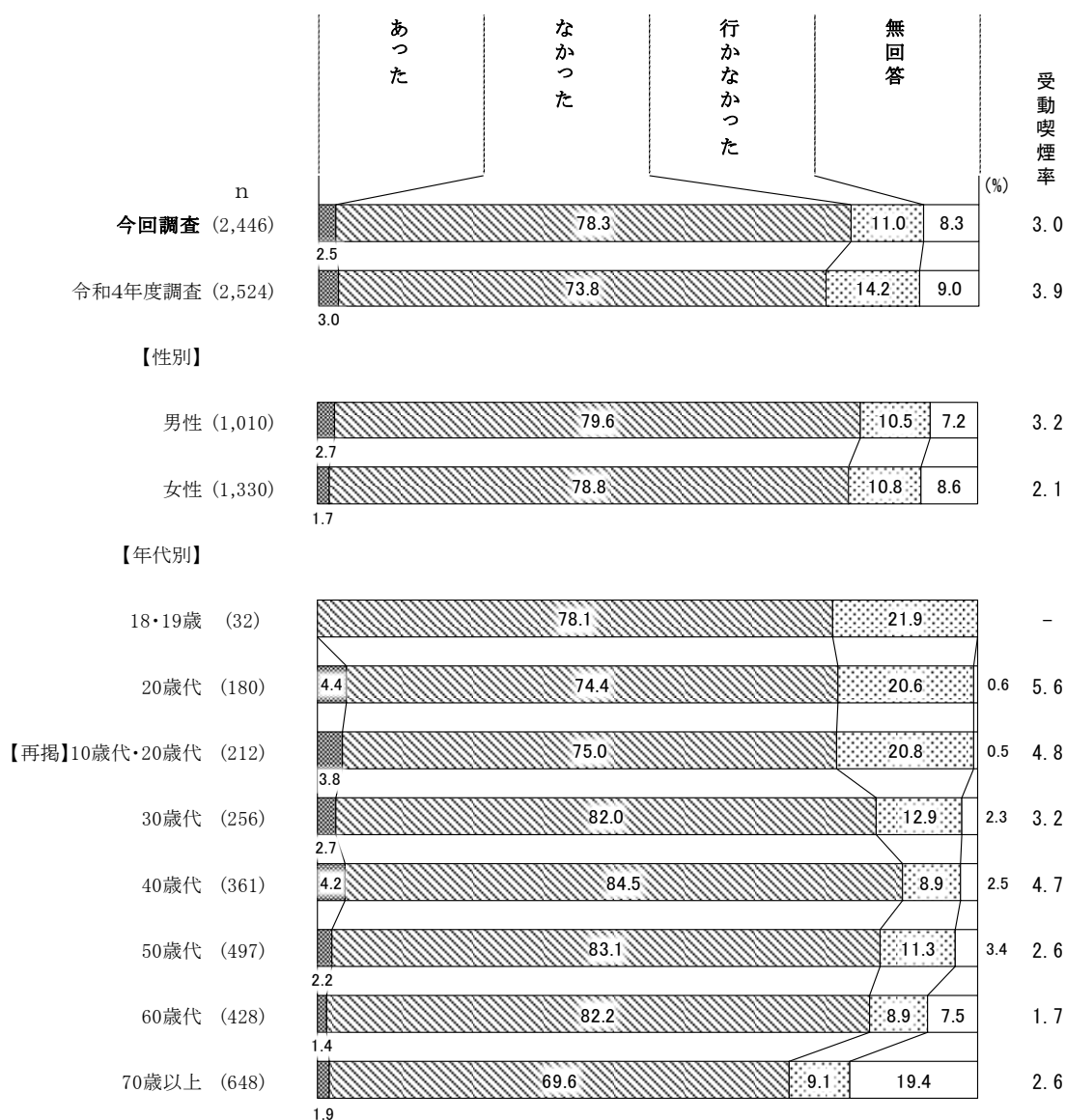
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

受動喫煙に「あった」はすべての年代で５％未満となっており、『受動喫煙率』もすべての年代で５％未満となっている。

○「（９）行政機関（市役所、町村役場、公民館等）」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（10.0%）で1割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』はすべての性・年代で1割未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』はすべての職業で1割未満となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はすべてのライフステージで1割未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「(9) 行政機関（市役所、町村役場、公民館等）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査 数 n	あ つ た	な か つ た	行 か な か つ た	無 回 答	(%) 受 動 喫 煙 率
全 体	2,446	2.5	78.3	11.0	8.3	3.0
地域別						
南部地域	245	1.6	74.3	16.3	7.8	2.2
南西部地域	224	3.1	73.7	13.8	9.4	4.1
東部地域	363	3.3	73.8	12.7	10.2	4.3
さいたま地域	447	2.0	80.8	9.8	7.4	2.4
県央地域	181	2.8	77.9	8.8	10.5	3.4
川越比企地域	253	2.4	79.1	10.7	7.9	2.9
西部地域	271	2.6	85.6	8.9	3.0	2.9
利根地域	217	2.8	75.6	10.1	11.5	3.5
北部地域	166	-	88.6	7.2	4.2	-
秩父地域	32	9.4	84.4	3.1	3.1	10.0
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	77.8	22.2	-	-
20歳代	78	3.8	75.6	19.2	1.3	4.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	3.4	75.9	19.5	1.1	4.3
30歳代	109	3.7	81.7	12.8	1.8	4.3
40歳代	140	4.3	85.7	7.1	2.9	4.8
50歳代	201	3.0	82.1	11.4	3.5	3.5
60歳代	187	1.1	83.4	10.7	4.8	1.3
70歳以上	286	2.1	72.7	7.7	17.5	2.8
女性／18・19歳	23	-	78.3	21.7	-	-
20歳代	99	5.1	73.7	21.2	-	6.4
【再掲】10歳代・20歳代	122	4.1	74.6	21.3	-	5.2
30歳代	135	0.7	83.7	12.6	3.0	0.9
40歳代	208	2.9	85.1	9.6	2.4	3.3
50歳代	280	1.4	84.6	10.4	3.6	1.7
60歳代	236	1.7	81.4	7.6	9.3	2.0
70歳以上	349	0.9	68.2	9.7	21.2	1.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	4.9	79.2	8.2	7.7	5.8
雇用者（計）	1,293	2.7	82.7	11.3	3.3	3.2
無職（計）	909	1.7	73.7	11.0	13.6	2.2
ライフステージ別						
独身期	280	2.5	73.2	23.2	1.1	3.3
家族形成期	151	5.3	86.1	6.6	2.0	5.8
家族成長前期	205	2.0	95.6	2.0	0.5	2.0
家族成長後期	166	1.2	88.0	7.8	3.0	1.4
家族成熟期	373	2.1	79.9	9.4	8.6	2.6
高齢期	611	1.3	77.4	9.3	11.9	1.7
その他	660	3.5	70.6	12.9	13.0	4.7
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	1.9	80.9	13.0	4.3	2.3
非喫煙者（計）	2,054	2.6	78.3	10.7	8.4	3.2

(10) 劇場・映画館・スポーツ施設

受動喫煙に「あった」割合は 4.2%、『受動喫煙率』は 6.1%となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、受動喫煙が「なかった」は 10.3 ポイント増加している。

【属性別比較】

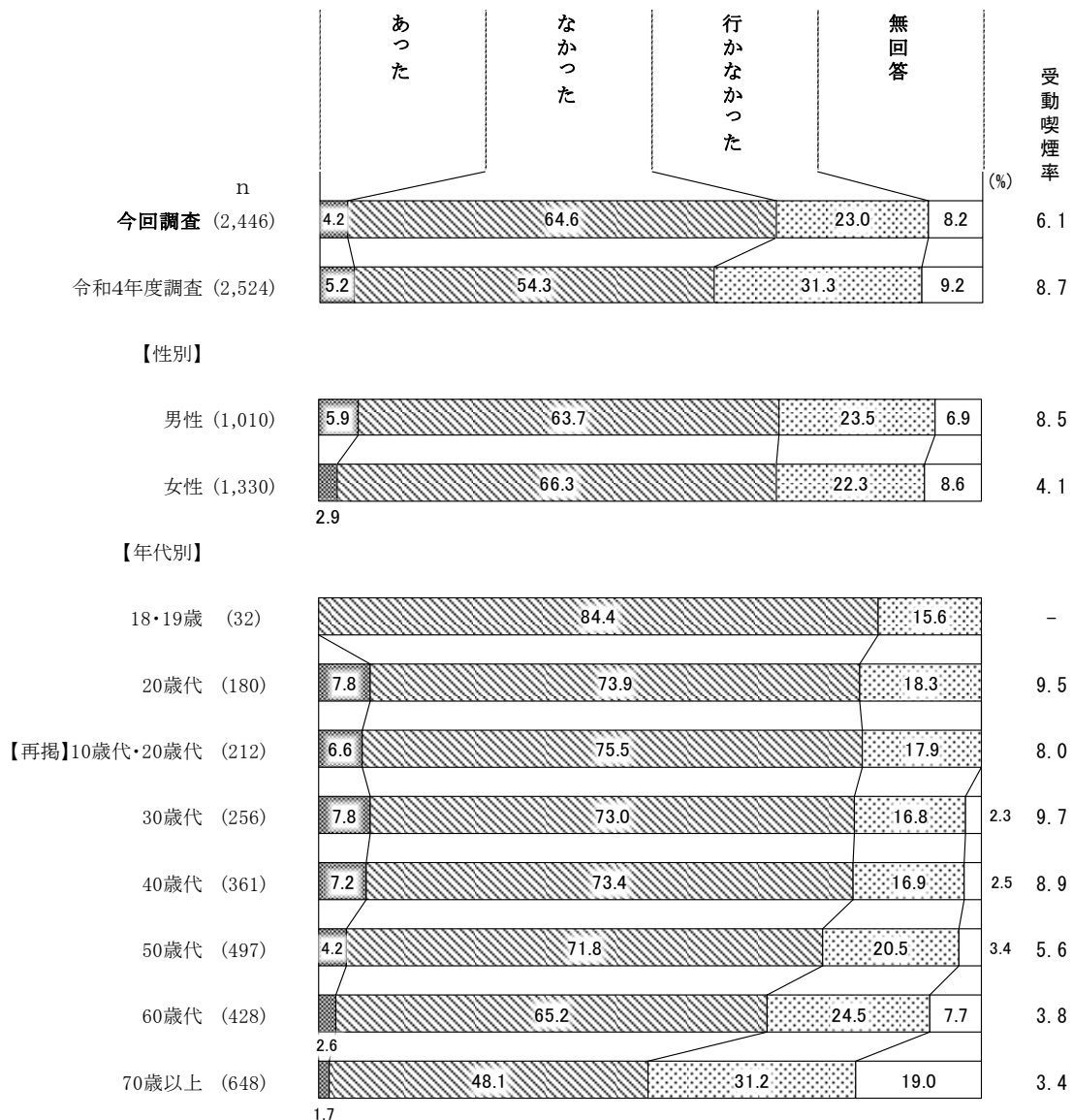
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『受動喫煙率』は 30 歳代（9.7%）で約 1 割と最も高く、すべての年代で 1 割未満となっている。

○「(10) 劇場・映画館・スポーツ施設」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（11.5%）で1割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性30歳代（14.1%）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』はすべての職業で1割未満となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（10.5%）で1割を超えて最も高く、それ以外のライフステージでは1割未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

○「(10) 劇場・映画館・スポーツ施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	4.2	64.6	23.0	8.2	6.1
地域別						
南部地域	245	5.3	60.4	26.5	7.8	8.1
南西部地域	224	3.6	66.1	20.5	9.8	5.1
東部地域	363	4.1	62.5	22.9	10.5	6.2
さいたま地域	447	5.4	69.4	18.3	6.9	7.2
県央地域	181	3.3	61.9	24.3	10.5	5.1
川越比企地域	253	3.2	64.4	24.1	8.3	4.7
西部地域	271	5.2	69.4	23.2	2.2	6.9
利根地域	217	3.7	54.4	30.9	11.1	6.3
北部地域	166	2.4	72.9	21.1	3.6	3.2
秩父地域	32	9.4	71.9	15.6	3.1	11.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	—	77.8	22.2	—	—
20歳代	78	11.5	69.2	19.2	—	14.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	10.3	70.1	19.5	—	12.9
30歳代	109	11.9	72.5	13.8	1.8	14.1
40歳代	140	10.7	68.6	17.9	2.9	13.5
50歳代	201	3.5	69.7	23.4	3.5	4.8
60歳代	187	3.7	65.8	25.7	4.8	5.4
70歳以上	286	3.1	50.3	29.7	16.8	5.9
女性／18・19歳	23	—	87.0	13.0	—	—
20歳代	99	4.0	77.8	18.2	—	4.9
【再掲】10歳代・20歳代	122	3.3	79.5	17.2	—	4.0
30歳代	135	5.2	74.1	17.8	3.0	6.5
40歳代	208	3.8	77.9	15.9	2.4	4.7
50歳代	280	4.6	73.6	18.2	3.6	5.9
60歳代	236	1.7	64.8	23.7	9.7	2.5
70歳以上	349	0.6	47.0	31.8	20.6	1.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	3.8	69.4	19.7	7.1	5.2
雇用者（計）	1,293	5.6	72.4	18.6	3.4	7.1
無職（計）	909	2.4	54.2	30.0	13.3	4.3
ライフステージ別						
独身期	280	8.6	72.9	17.9	0.7	10.5
家族形成期	151	6.6	73.5	17.9	2.0	8.3
家族成長前期	205	5.4	83.9	10.2	0.5	6.0
家族成長後期	166	4.8	78.3	13.9	3.0	5.8
家族成熟期	373	3.2	67.0	21.4	8.3	4.6
高齢期	611	1.1	55.5	31.8	11.6	2.0
その他	660	4.7	56.8	25.3	13.2	7.6
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	2.9	68.1	24.7	4.3	4.1
非喫煙者（計）	2,054	4.4	64.5	22.8	8.2	6.4

(11) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設

受動喫煙に「あった」割合は 11.7%、『受動喫煙率』は 32.0%となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（15.1%）の方が女性（8.9%）より 6.2 ポイント高くなっている。

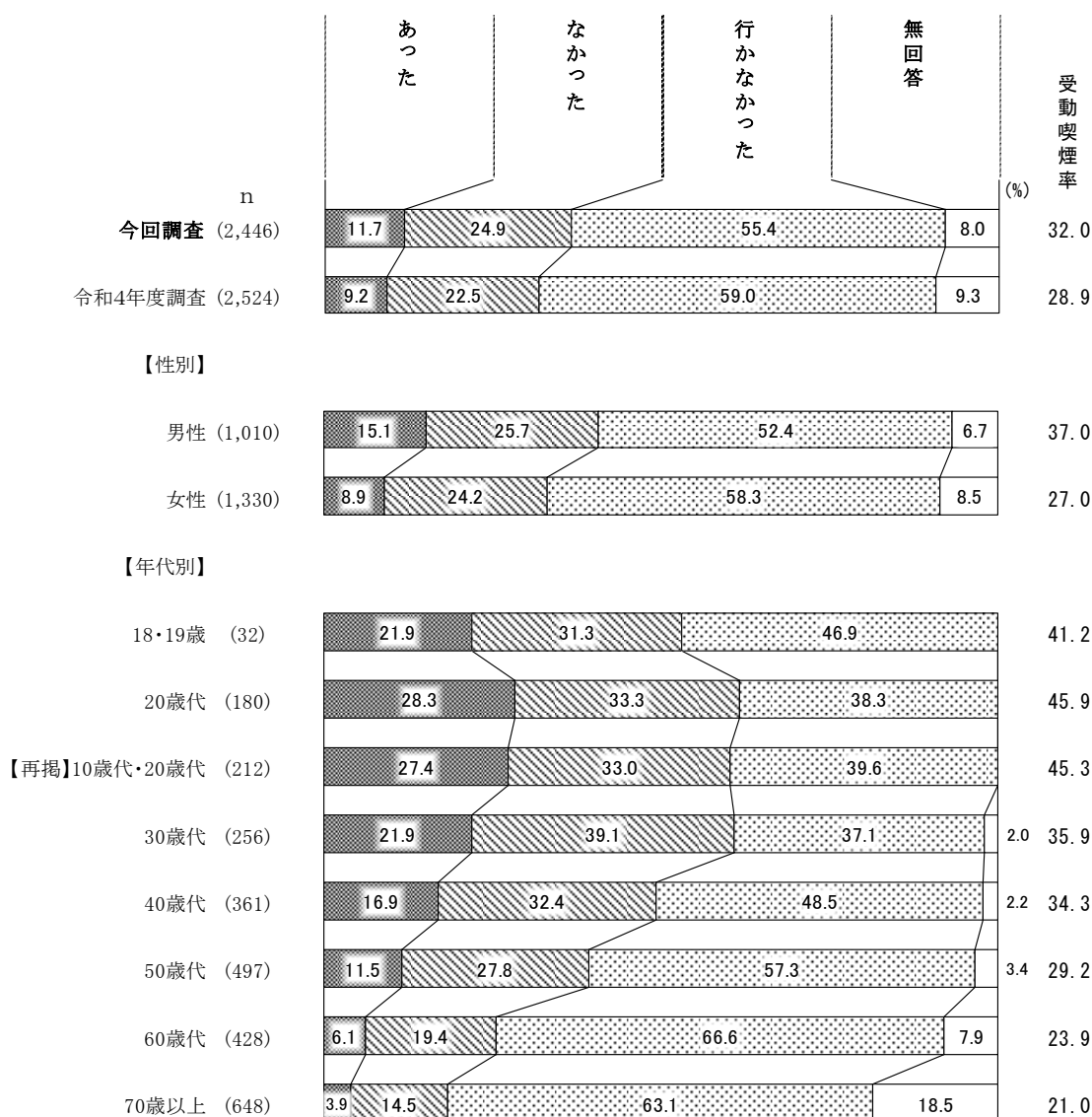
『受動喫煙率』は男性（37.0%）の方が女性（27.0%）よりも 10.0 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は年代が下がるにつれ割合が高く、10 歳代・20 歳代（27.4%）で 2 割台半ばを超えて最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（45.3%）で 4 割台半ばと最も高くなっている。

○「(11) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（38.5%）で4割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性 10 歳代・20 歳代（49.3%）で約5割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（34.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（44.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

受動喫煙に「あった」は喫煙者（計）（18.1%）の方が非喫煙者（計）（10.6%）よりも7.5ポイント高くなっている。

○「(11) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あ つ た	な か つ た	行 か な か つ た	無 回 答	(%) 受 動 喫 煙 率
全 体	2,446	11.7	24.9	55.4	8.0	32.0
地域別						
南部地域	245	14.3	26.9	51.4	7.3	34.7
南西部地域	224	14.3	25.4	51.3	8.9	36.0
東部地域	363	13.8	25.6	51.5	9.1	35.0
さいたま地域	447	11.4	19.9	61.5	7.2	36.4
県央地域	181	10.5	22.7	55.8	11.0	31.7
川越比企地域	253	11.1	24.1	57.3	7.5	31.5
西部地域	271	12.2	29.2	55.4	3.3	29.5
利根地域	217	6.9	26.3	55.8	11.1	20.8
北部地域	166	7.8	30.7	57.2	4.2	20.3
秩父地域	32	15.6	25.0	56.3	3.1	38.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	44.4	44.4	—	20.0
20歳代	78	28.2	38.5	33.3	—	42.3
【再掲】10歳代・20歳代	87	26.4	39.1	34.5	—	40.4
30歳代	109	27.5	31.2	39.4	1.8	46.9
40歳代	140	23.6	28.6	45.0	2.9	45.2
50歳代	201	17.9	28.4	50.2	3.5	38.7
60歳代	187	8.6	25.1	61.5	4.8	25.4
70歳以上	286	5.2	16.8	61.9	16.1	23.8
女性／18・19歳	23	26.1	26.1	47.8	—	50.0
20歳代	99	28.3	29.3	42.4	—	49.1
【再掲】10歳代・20歳代	122	27.9	28.7	43.4	—	49.3
30歳代	135	17.0	45.2	35.6	2.2	27.4
40歳代	208	11.1	36.1	51.0	1.9	23.5
50歳代	280	7.1	26.1	63.2	3.6	21.5
60歳代	236	4.2	14.4	71.2	10.2	22.7
70歳以上	349	2.6	12.6	64.2	20.6	17.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	8.7	29.0	54.1	8.2	23.2
雇用者（計）	1,293	15.2	29.4	52.1	3.2	34.1
無職（計）	909	7.6	18.4	61.2	12.9	29.2
ライフステージ別						
独身期	280	26.4	32.5	40.4	0.7	44.8
家族形成期	151	19.9	41.1	37.1	2.0	32.6
家族成長前期	205	20.0	35.6	44.4	—	36.0
家族成長後期	166	9.0	34.3	54.2	2.4	20.8
家族成熟期	373	9.9	23.3	59.0	7.8	29.8
高齢期	611	3.6	15.4	69.6	11.5	19.0
その他	660	10.2	22.0	54.5	13.3	31.6
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	18.1	33.2	44.7	4.0	35.2
非喫煙者（計）	2,054	10.6	23.6	57.8	8.1	31.0

(12) 飲食店

受動喫煙に「あった」割合は 29.5%、『受動喫煙率』は 34.1%となっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は 5.5 ポイント増加している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（32.4%）の方が女性（27.1%）より 5.3 ポイント高くなっている。

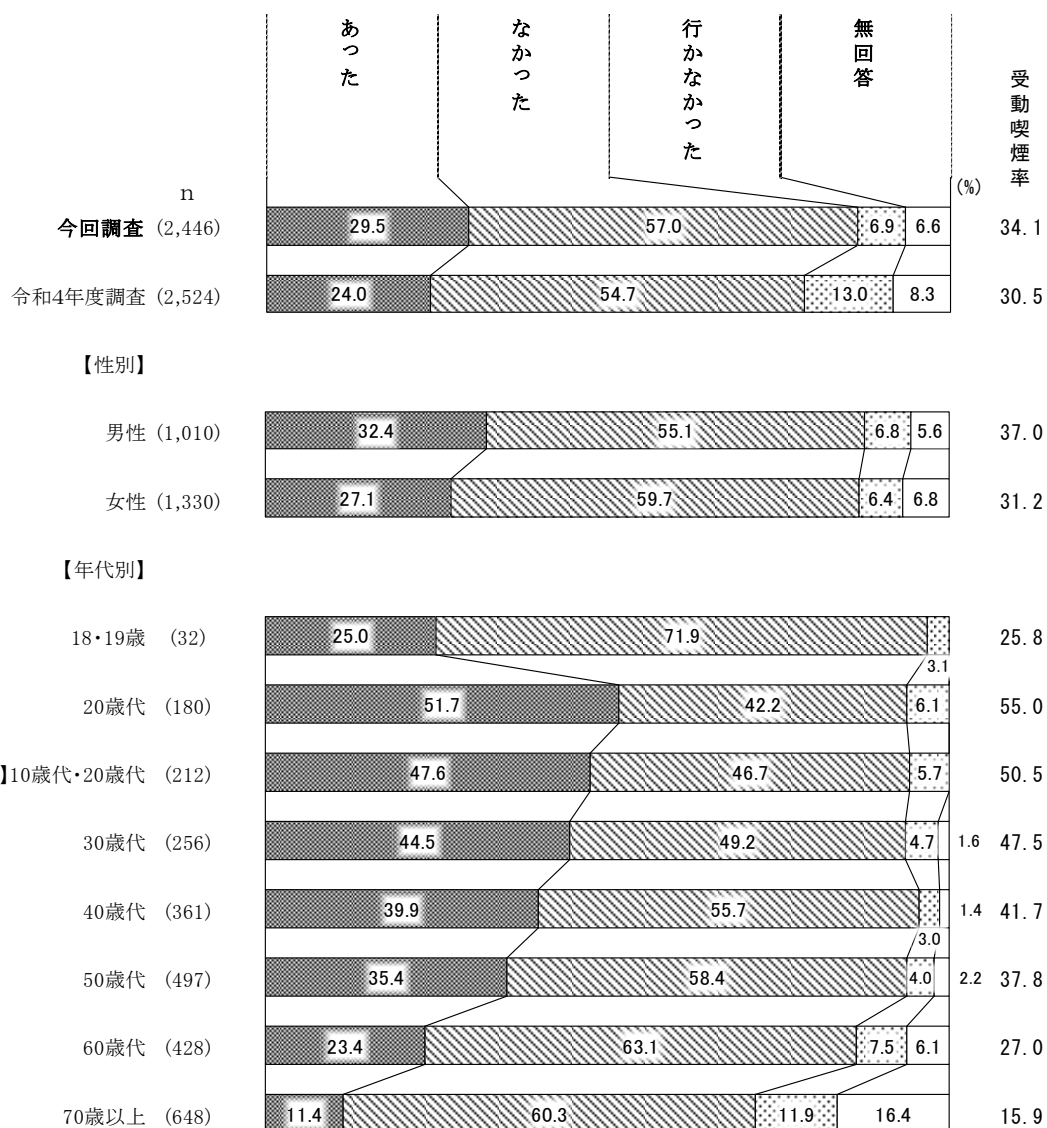
『受動喫煙率』は男性（37.0%）の方が女性（31.2%）よりも 5.8 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は年代が下がるにつれ割合が高く、10 歳代・20 歳代（47.6%）で 4 割台半ばを超えて最も高くなっている。

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（50.5%）で 5 割を超えて最も高くなっている。

○「(12) 飲食店」・性別／年代別



③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（43.3%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性 30 歳代（53.4%）で5割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（40.0%）で4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族形成期（55.2%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別の回答割合では特に大きな差はみられない。

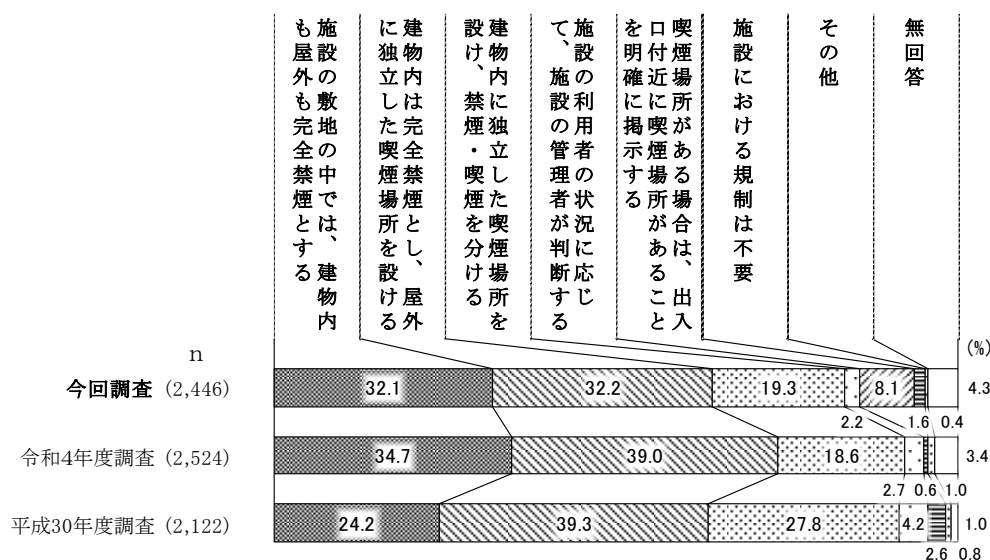
○「(12) 飲食店」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	なかった	行かなかった	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,446	29.5	57.0	6.9	6.6	34.1
地域別						
南部地域	245	34.7	49.8	9.0	6.5	41.1
南西部地域	224	31.3	54.9	5.4	8.5	36.3
東部地域	363	35.0	48.5	8.5	8.0	41.9
さいたま地域	447	31.8	57.0	6.0	5.1	35.8
県央地域	181	26.0	59.7	5.0	9.4	30.3
川越比企地域	253	24.5	61.7	7.1	6.7	28.4
西部地域	271	30.6	62.0	5.2	2.2	33.1
利根地域	217	18.4	61.8	11.5	8.3	23.0
北部地域	166	22.9	71.1	3.0	3.0	24.4
秩父地域	32	40.6	53.1	3.1	3.1	43.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	66.7	11.1	-	25.0
20歳代	78	46.2	44.9	9.0	-	50.7
【再掲】10歳代・20歳代	87	43.7	47.1	9.2	-	48.1
30歳代	109	50.5	44.0	3.7	1.8	53.4
40歳代	140	41.4	52.1	3.6	2.9	44.3
50歳代	201	40.3	53.7	4.0	2.0	42.9
60歳代	187	26.7	61.0	7.5	4.8	30.5
70歳以上	286	15.7	60.5	10.5	13.3	20.6
女性／18・19歳	23	26.1	73.9	-	-	26.1
20歳代	99	55.6	41.4	3.0	-	57.3
【再掲】10歳代・20歳代	122	50.0	47.5	2.5	-	51.3
30歳代	135	39.3	54.1	5.2	1.5	42.1
40歳代	208	37.5	59.1	2.9	0.5	38.8
50歳代	280	32.5	61.4	3.6	2.5	34.6
60歳代	236	20.8	64.8	7.6	6.8	24.3
70歳以上	349	8.0	61.6	11.7	18.6	11.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	183	33.9	56.8	4.4	4.9	37.3
雇用者（計）	1,293	37.4	56.1	4.3	2.2	40.0
無職（計）	909	17.6	59.8	11.0	11.6	22.7
ライフステージ別						
独身期	280	43.6	49.6	6.1	0.7	46.7
家族形成期	151	53.0	43.0	2.6	1.3	55.2
家族成長前期	205	42.4	55.6	2.0	-	43.3
家族成長後期	166	38.6	57.2	1.8	2.4	40.3
家族成熟期	373	25.7	62.7	4.6	7.0	29.1
高齢期	611	13.6	66.9	10.1	9.3	16.9
その他	660	28.6	51.4	9.4	10.6	35.8
喫煙状況別						
喫煙者（計）	376	32.2	56.6	7.4	3.7	36.2
非喫煙者（計）	2,054	29.2	57.5	6.9	6.4	33.6

(4) 劇場等、娯楽施設における受動喫煙防止対策

◇「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が 32.2%

問27 あなたが問26の(10)劇場等、(11)娯楽施設において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。(〇は1つだけ)



※「喫煙場所がある場合は、出入口付近に喫煙場所があることを明確に掲示する」は今回調査からの選択肢

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

劇場等、娯楽施設における受動喫煙防止対策は、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(32.2%)が3割強と最も高く、次いで「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(32.1%)、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(19.3%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(32.2%)が6.8ポイント減少している。

【属性別比較】

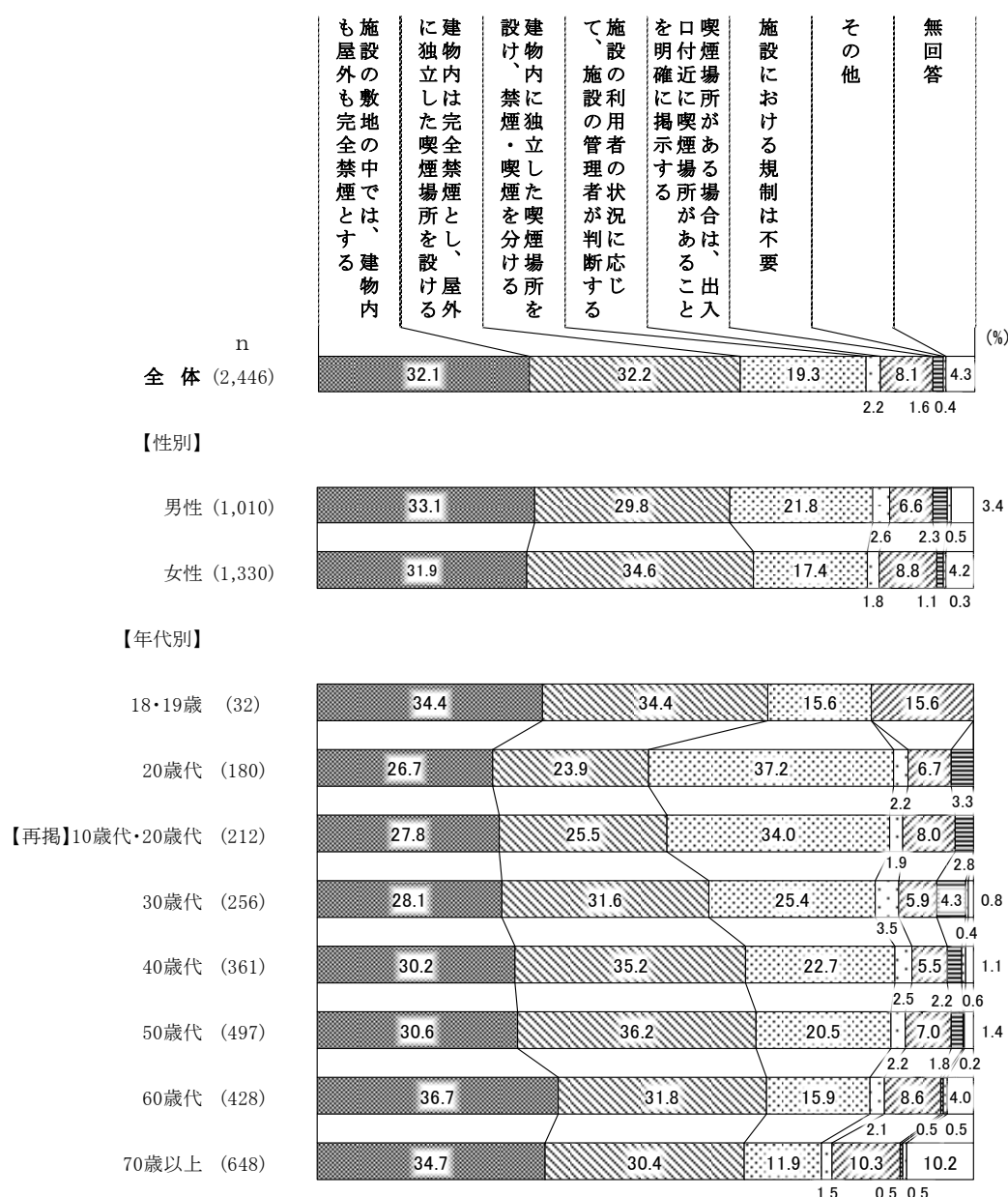
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は60歳代(36.7%)で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10歳代・20歳代(34.0%)で3割台半ばと最も高くなっている。

○劇場等、娯楽施設における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は北部地域（38.0％）で4割弱と最も高くなっている。「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は県央地域（37.0％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性 30 歳代（40.7％）で4割を超えて最も高く、「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は男性 70 歳以上（38.1％）で4割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は無職（計）（34.7％）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は家族成長前期（36.1％）で3割台半ばを超えて最も高く、「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は高齢期（35.7％）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は非喫煙者（計）（36.7％）で3割台半ばを超えて最も高く、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は喫煙者（計）（37.5％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

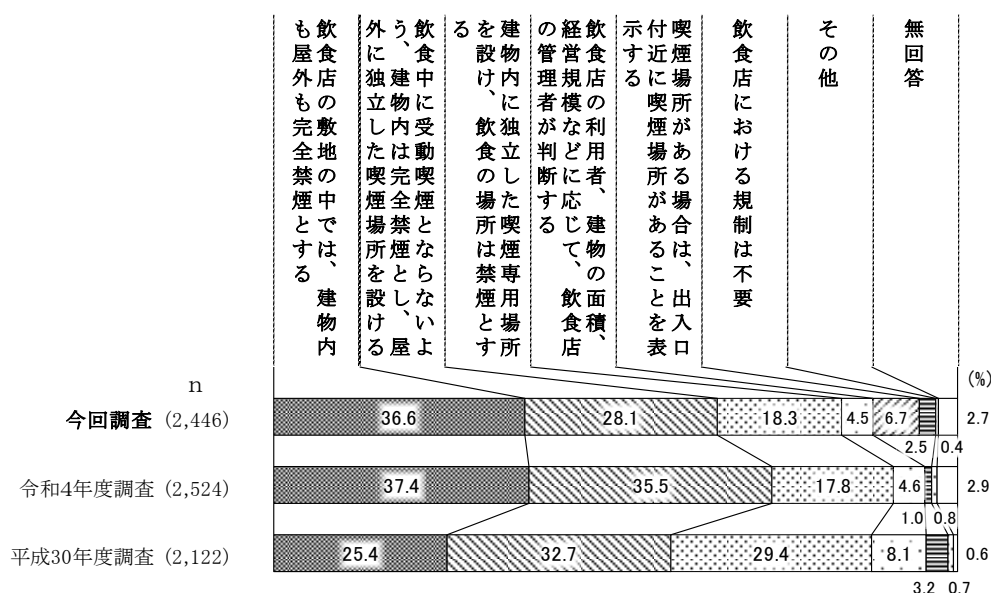
○劇場等、娯楽施設における受動喫煙防止対策・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	も施設 屋外敷地 の完全 禁煙と する 建物内	に建物 内は完 全禁煙 とし、 屋外に 独立し た喫煙 場所を 設ける	建物内 に独立 した喫 煙場所 を設け 、禁煙 ・喫煙 を分け る	て、施 設の利 用者の 状況に 応じて 、施設 の管理 者が断 する	を口喫 付煙場 近所に 喫煙場 所があ る場合 は、出 入を明 確に掲 示する	施設に おける 規制は 不要	その他	(%) 無回答
全 体	2,446	32.1	32.2	19.3	2.2	8.1	1.6	0.4	4.3
地域別									
南部地域	245	34.7	29.8	19.6	0.8	9.4	1.2	0.4	4.1
南西部地域	224	29.9	29.5	22.3	3.1	8.0	2.2	0.4	4.5
東部地域	363	25.9	36.9	19.0	2.8	7.2	3.0	-	5.2
さいたま地域	447	32.4	34.0	19.9	2.0	7.4	0.9	0.9	2.5
県央地域	181	37.0	30.4	18.2	1.1	6.6	1.1	-	5.5
川越比企地域	253	33.6	30.8	18.2	2.0	9.5	2.4	-	3.6
西部地域	271	34.7	33.2	17.3	2.6	7.4	1.5	0.7	2.6
利根地域	217	35.9	25.8	19.4	3.2	7.8	1.4	0.5	6.0
北部地域	166	30.7	38.0	19.9	0.6	7.8	-	-	3.0
秩父地域	32	18.8	25.0	28.1	6.3	15.6	3.1	-	3.1
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	11.1	22.2	-	33.3	-	-	-
20歳代	78	21.8	15.4	46.2	2.6	10.3	3.8	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	87	23.0	14.9	43.7	2.3	12.6	3.4	-	-
30歳代	109	33.0	22.0	30.3	5.5	2.8	5.5	0.9	-
40歳代	140	28.6	34.3	20.7	2.9	6.4	5.0	1.4	0.7
50歳代	201	29.9	38.3	18.9	3.0	7.0	2.0	-	1.0
60歳代	187	36.9	28.3	22.5	3.2	5.9	0.5	0.5	2.1
70歳以上	286	38.1	30.1	14.0	0.7	6.6	0.7	0.3	9.4
女性／18・19歳	23	34.8	43.5	13.0	-	8.7	-	-	-
20歳代	99	30.3	31.3	30.3	2.0	3.0	3.0	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	122	31.1	33.6	27.0	1.6	4.1	2.5	-	-
30歳代	135	25.2	40.7	20.7	2.2	7.4	3.0	-	0.7
40歳代	208	31.7	35.1	24.5	1.9	4.8	0.5	-	1.4
50歳代	280	31.8	35.7	20.7	1.8	7.1	1.4	0.4	1.1
60歳代	236	36.4	34.7	10.6	1.3	11.0	0.4	0.4	5.1
70歳以上	349	31.8	31.2	10.3	2.0	13.2	0.3	0.6	10.6
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	26.8	32.2	21.9	2.7	8.7	3.8	-	3.8
雇用者（計）	1,293	31.3	33.6	23.0	2.2	6.2	1.6	0.3	1.7
無職（計）	909	34.7	30.6	14.1	2.0	10.2	1.2	0.6	6.7
ライフステージ別									
独身期	280	25.4	27.1	32.9	2.1	8.2	4.3	-	-
家族形成期	151	31.8	30.5	22.5	6.0	6.0	2.6	-	0.7
家族成長前期	205	32.7	36.1	23.9	0.5	3.9	2.0	0.5	0.5
家族成長後期	166	34.3	31.9	22.3	2.4	6.6	1.2	0.6	0.6
家族成熟期	373	31.9	33.2	22.0	1.3	7.2	1.3	-	2.9
高齢期	611	35.7	34.4	12.4	1.1	8.3	0.3	0.5	7.2
その他	660	30.9	31.1	15.3	3.2	10.3	1.5	0.6	7.1
喫煙状況別									
喫煙者（計）	376	8.0	29.0	37.5	2.9	14.6	4.8	0.8	2.4
非喫煙者（計）	2,054	36.7	33.0	16.1	2.0	6.9	1.0	0.3	3.9

（５）飲食店における受動喫煙防止対策

◇「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」が 36.6%

問28 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は１つだけ）



※「喫煙場所がある場合は、出入口付近に喫煙場所があることを表示する」は今回調査からの選択肢

※令和4年度までは「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」

「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」

「飲食店の利用者の状況に応じて、飲食店の管理者が判断する」

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

飲食店における受動喫煙防止対策は、「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」（36.6%）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」（28.1%）、「建物内に独立した喫煙場所を設け、飲食の場所は禁煙とする」（18.3%）などとなっている。

【過去調査との比較】

令和4年度調査と比べて、「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」（28.1%）が7.4ポイント減少している。

【属性別比較】

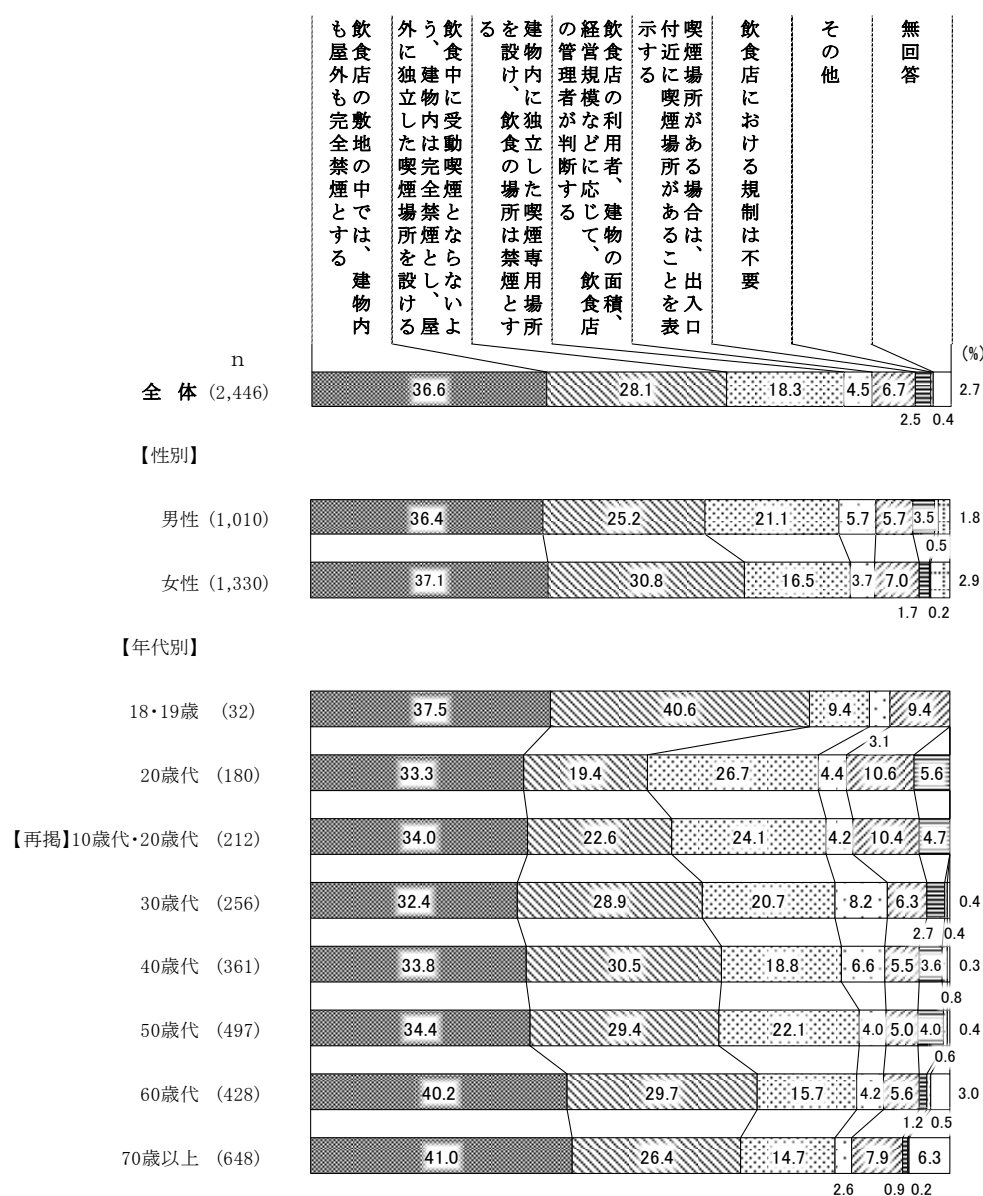
① 性別

「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性（30.8%）の方が男性（25.2%）よりも5.6ポイント高くなっている。

② 年代別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は年代が上がるにつれ割合が高く、70歳以上（41.0%）で4割強と最も高くなっている。「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は40歳代（30.5%）で3割を超えて最も高くなっている。

○飲食店における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は県央地域（44.8％）で4割台半ばと最も高くなっている。「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は北部地域（32.5％）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は女性 60 歳代（41.5％）で4割強と最も高くなっている。「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性 30 歳代（35.6％）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は無職（計）（42.9％）で4割強と最も高くなっている。

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は高齢期（41.9%）で4割強と最も高く、「飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は家族成長前期（34.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は非喫煙者（計）（41.7%）で4割強と最も高く、「建物内に独立した喫煙場所を設け、飲食の場所は禁煙とする」は喫煙者（計）（30.9%）で3割を超えて最も高くなっている。

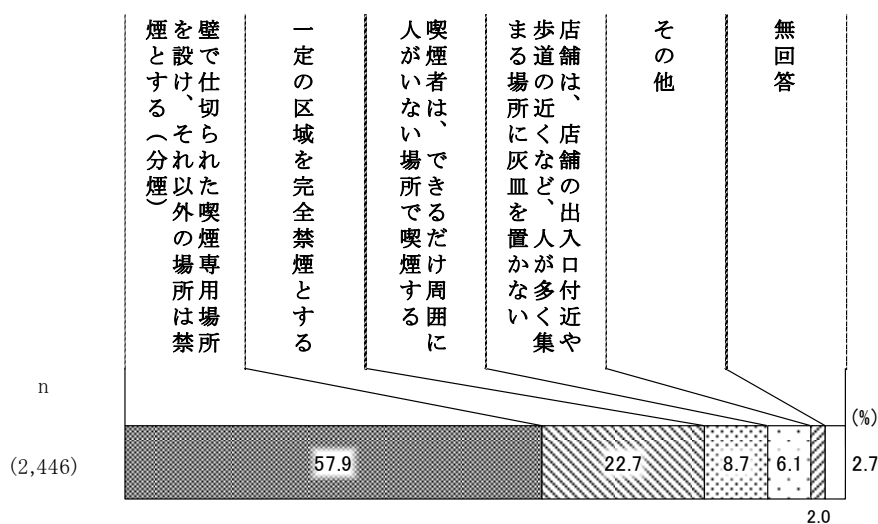
(%)

— 298 —

(6) 屋外における受動喫煙防止対策

◇「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」が 57.9%

問29 あなたが、駅前などの路上、公園などの屋外において、受動喫煙を防止するために、最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ）



屋外における受動喫煙防止対策は、「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」（57.9%）が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「一定の区域を完全禁煙とする」（22.7%）、「喫煙者は、できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙する」（8.7%）などとなっている。

【属性別比較】

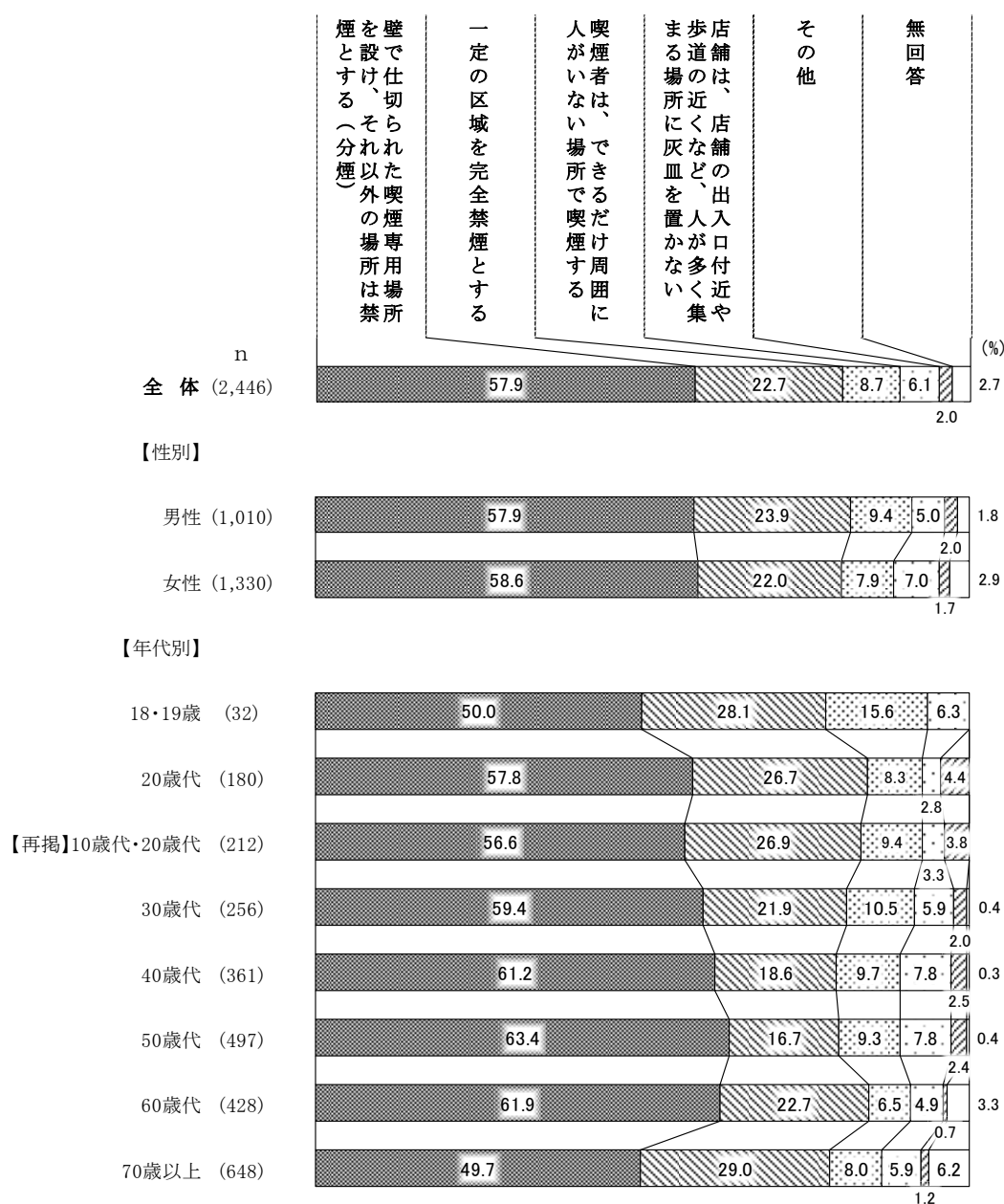
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」は 50 歳代（63.4%）で6割強と最も高く、「一定の区域を完全禁煙とする」は 70 歳以上（29.0%）で約3割と最も高くなっている。

○屋外における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」はさいたま地域（62.6%）と東部地域（62.0%）で6割強と高く、「一定の区域を完全禁煙とする」は南西部地域（27.2%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」は男性 60 歳代（65.8%）で6割台半ばと最も高く、「一定の区域を完全禁煙とする」は男性 70 歳以上（31.8%）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「一定の区域を完全禁煙とする」は無職（計）（27.4%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）」は家族成長後期（60.8%）で6割を超えて最も高くなっている。

「壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする(分煙)」は喫煙者(計)(72.3%)で7割強と高くなっている。「一定の区域を完全禁煙とする」は非喫煙者(計)(25.7%)で2割台半ばと高くなっている。

	調査数 n	煙と する (分煙)	壁で仕切られた喫煙専用場所 を設け、それ以外の場所は禁煙とする	一定の区域を完全禁煙とする	喫煙者は、できるだけ周囲に 人がいない場所です喫煙する	歩道の近くなど、人が多く集 まる場所に灰皿を置かない	店舗は、店舗の出入口付近や	その他	無回答 (%)
全体	2,446	57.9	22.7	8.7	6.1	2.0	2.7		
地域別									
南部地域	245	54.7	24.9	9.4	9.0	0.8	1.2		
南西部地域	224	52.2	27.2	9.8	4.5	3.6	2.7		
東部地域	363	62.0	17.6	10.2	4.7	2.2	3.3		
さいたま地域	447	62.6	23.5	5.4	4.9	1.6	2.0		
県央地域	181	61.3	21.5	6.6	5.5	1.7	3.3		
川越比企地域	253	57.7	23.3	10.3	5.5	0.4	2.4		
西部地域	271	54.6	25.1	7.4	7.7	4.1	1.1		
利根地域	217	52.1	23.0	12.0	6.9	1.4	4.6		
北部地域	166	61.4	20.5	7.2	8.4	1.2	1.2		
秩父地域	32	46.9	25.0	15.6	6.3	3.1	3.1		
性・年代別									
男性／18・19歳	9	55.6	22.2	22.2	-	-	-		
20歳代	78	55.1	28.2	9.0	3.8	3.8	-		
【再掲】10歳代・20歳代	87	55.2	27.6	10.3	3.4	3.4	-		
30歳代	109	56.9	25.7	11.0	6.4	-	-		
40歳代	140	60.7	20.0	8.6	6.4	4.3	-		
50歳代	201	63.7	14.9	11.4	7.0	3.0	-		
60歳代	187	65.8	21.4	8.6	2.7	-	1.6		
70歳以上	286	48.6	31.8	8.0	4.5	1.7	5.2		
女性／18・19歳	23	47.8	30.4	13.0	8.7	-	-		
20歳代	99	59.6	26.3	7.1	2.0	5.1	-		
【再掲】10歳代・20歳代	122	57.4	27.0	8.2	3.3	4.1	-		
30歳代	135	63.0	20.0	8.9	5.2	2.2	0.7		
40歳代	208	62.5	17.3	10.6	7.7	1.4	0.5		
50歳代	280	62.9	18.2	7.5	8.9	1.8	0.7		
60歳代	236	59.3	23.3	5.1	6.8	1.3	4.2		
70歳以上	349	51.0	25.8	8.0	7.2	0.9	7.2		
職業別									
自営業・家族従業（計）	183	67.2	15.8	7.7	4.9	1.1	3.3		
雇用者（計）	1,293	61.3	20.6	8.7	6.6	2.1	0.8		
無職（計）	909	52.0	27.4	8.8	5.9	1.8	4.1		
ライフステージ別									
独身期	280	57.9	25.4	8.6	4.6	3.6	-		
家族形成期	151	55.6	25.8	10.6	5.3	2.0	0.7		
家族成長前期	205	59.5	18.5	13.2	7.3	1.5	-		
家族成長後期	166	60.8	18.7	8.4	9.6	2.4	-		
家族成熟期	373	57.6	23.9	8.8	7.0	0.8	1.9		
高齢期	611	57.3	25.4	6.7	5.4	1.1	4.1		
その他	660	57.9	20.2	8.6	5.8	2.7	4.8		
喫煙状況別									
喫煙者（計）	376	72.3	7.7	15.2	2.7	0.8	1.3		
非喫煙者（計）	2054	55.6	25.7	7.5	6.8	2.2	2.2		

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査 調査票

(令和7年7月 / 調査実施主体：埼玉県)

御回答にあたってのお願い

回答方法は“郵送” または “インターネット” のいずれかをお選びいただけます。

【郵送で回答する場合】

- ・ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
(○は1つだけ)の質問では、当てはまる選択肢の番号1つを囲むように○印をつけてください。 例) ①
(○はいくつでも) や (○は3つまで) などの複数回答可の質問では、当てはまる選択肢の番号すべて、または指定の数を選び、番号を囲むように○印をつけてください。
- ・ お答えが「その他」に当てはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ 御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要/宛先は調査実施機関）に入れ、令和7年7月25日（金）までにポストに投函してください。
(お名前や御住所の記入は不要です)

【インターネットで回答する場合】

- ・ 別紙「令和7年度埼玉県政世論調査オンライン回答の御案内」を御覧ください。

回答用ID : _____ パスワード : _____

【回答期限（郵送・インターネット共通）】

令和7年7月25日（金）

○お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について／県調査担当部署】

- ・ 埼玉県 県民生活部 県民広聴課 広聴担当
- ・ 電 話 : 048-830-2850 (平日 8:30~17:15)

【調査票の記入方法・締め切りなどについて／調査実施機関】

- ・ 株式会社サーベイリサーチセンター
- ・ 電 話 : 0120-203-662 (平日 9:00~18:00)

※「調査票・単純集計表」の集団母数について

特にサンプル数の表記のない設問は、全数ベース（n=2,446）で集計しており、集計母数の記載（n=2,446）を割愛した。なお、一部の該当設問については、設問ごとにその設問の集計母数を表記した。

I 生活意識について

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。（○は1つだけ）

0.9 楽になった	33.2 少し苦しくなった	33.4 変わらない	0.7 無回答
3.3 少し楽になった	27.3 苦しくなった	1.3 わからない	

（問1で「少し苦しくなった」または「苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。）

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

n=1,479

49.7 賃金などの収入が増えない、または減った	41.6 税金や保険料などの支払いが増えた
11.8 失業、退職、病気などで働き手が減った	12.6 結婚、出産、病気など特別な出費が増えた
3.6 事業などの経費が増えた	8.0 金利が低い
73.6 家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	5.2 その他
13.9 教育費が増えた	0.2 特にない
24.7 家や自動車、家電などの支出が増えた	0.2 わからない
	0.1 無回答

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。

（○は1つだけ）

0.3 上の上	28.3 中の上	14.1 下の上	14.7 わからない
1.9 上の下	35.1 中の下	4.6 下の下	0.9 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。（○は1つだけ）

2.5 大変満足している	38.1 やや不満である	4.3 わからない
42.8 まあ満足している	11.1 大変不満である	1.2 無回答

問4 では、次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
（1）自分や家族の健康について	9.0	48.6	29.7	9.7	1.8	1.3
（2）近所や職場での人間関係について	6.3	62.1	18.2	5.4	6.4	1.5
（3）家庭内の夫婦・親子関係について	20.1	55.0	13.8	3.6	5.3	2.2
（4）収入や預貯金など経済的な面について	2.3	27.4	39.2	26.9	3.1	1.1
（5）精神的な充実感について	5.7	48.2	30.5	10.5	4.1	1.0

問5 あなたは、日頃の生活の中で今お住まいの地域について、犯罪におびやかされることなく生活ができると感じますか。(○は1つだけ)

6.0 まったくそうだと思う	27.7 あまりそう思わない	5.0 わからない
53.2 まあそうだと思う	7.2 まったくそう思わない	0.9 無回答

問6 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。(○は1つだけ)

10.8 魅力を感じる	5.3 魅力を感じない
51.4 どちらかといえば魅力を感じる	9.8 わからない
21.4 どちらかといえば魅力を感じない	1.3 無回答



(問6で「魅力を感じる」または「どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問6-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

n=1,523

37.0 山、川などの自然が豊か	24.1 地域の人々の良さや優しさ
17.4 魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある	6.8 魅力的な街並み、歴史的建造物がある
13.1 魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある	8.1 埼玉県のスポーツチーム
60.9 道路や交通の便がよい	6.2 埼玉県出身の歴史上の人物、著名人
69.4 住みやすさ	4.7 埼玉県のご当地キャラクター
67.6 災害の少なさ	2.6 その他
10.2 埼玉県産の食材や特産品	- 無回答
5.3 埼玉県の郷土料理やご当地グルメ	

Ⅱ 日常生活について

問7 あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、地域社会活動*に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

* 地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含みます。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃活動や防犯パトロール等、町内会や自治会の活動 ・ 地域のイベント・祭事等への参加 ・ PTA活動や子ども会の活動 ・ 趣味やスポーツなど地域のクラブ・サークル活動への参加 ・ 所属する企業や団体等で行った地域への社会貢献活動 ・ 障害者や高齢者のための活動 ・ 青少年健全育成のための活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ みどりと川の再生活動など環境保全の活動 ・ 子ども食堂やフードバンクへの寄付、募金などの活動 ・ SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動 ・ 子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加 ・ 生涯学習や市(町)民大学への参加 ・ その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動 |
|--|--|

40.4 ある

問7(2)へ

58.7 ない

0.9 無回答

(問7(1)で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで)

n=1,435

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 32.8 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない | 8.5 その他 |
| 12.1 団体・活動についての情報が得られない | 8.5 特になし |
| 27.9 参加するきっかけが得られない | 2.0 わからない |
| 13.3 参加したいと思う団体や活動がない | 3.1 無回答 |
| 25.9 興味がない | |

(2) あなたは、この1年間に、趣味や習い事、サークル活動、体験教室などで文化や芸術の活動*を行ったことがありますか。(インターネット上で行う活動も含みます。)(○は1つだけ)

* 例えば以下のような分野での活動です。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など) ・ 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など) ・ 舞踊(バレエ、ダンス、よさこいなど) ・ 生活文化(書道、茶道、華道、盆栽など) ・ 伝統芸能(和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど) ・ 伝統工芸、文化財の継承・保存 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真(風景、人物、花、動物、料理など。スマートフォンでの撮影も含む) ・ 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 ・ 演劇(現代劇、ミュージカルなど) ・ 文芸(小説、詩、俳句、短歌など) ・ 演芸(落語、漫談、漫才など) ・ 国民娯楽(囲碁、将棋など) |
|---|--|

38.9 ある

59.3 ない

1.8 無回答

(問7(2)で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

(2)-1 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(○はいくつでも)

n=1,451

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 39.2 仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない | 41.0 活動するきっかけがない |
| 26.1 費用がかかる | 15.2 どこで情報を得たらいいかわからない |
| 10.2 参加できる団体やイベントがない | 13.4 文化や芸術の活動に関心がない |
| 10.3 活動するための場所や施設が身近にない | 5.8 感染症が心配 |
| 2.1 適切な指導者や講師がいない | 10.1 その他 |
| | 1.2 無回答 |

(3) 今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

31.9 音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）	22.0 写真（風景、人物、花、動物、料理など。スマートフォンでの撮影も含む）
20.4 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）	21.1 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術
6.1 舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）	9.8 演劇（現代劇、ミュージカルなど）
16.5 生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）	7.4 文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
8.3 伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど）	5.0 演芸（落語、漫談、漫才など）
7.1 伝統工芸、文化財の継承・保存	5.2 国民娯楽（囲碁、将棋など）
	20.5 無回答

(4) あなたは、この1年間に、文化や芸術を鑑賞しましたか。(○は1つだけ)
(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞を含みます。)

69.3 した	27.6 していない	3.1 無回答
---------	------------	---------

問8 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

(1) あなたは、この1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動*をしましたか。(○は1つだけ)

*スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング（ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む）、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操（軽い体操・ラジオ体操を含む）、ヨガ・バレエ、登山（トレッキングを含む）、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング（筋力・その他運動器具を使った運動）、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス（フォークダンス、民謡踊りを含む）バーチャルスポーツ（体の動きを伴うコンピューターゲーム） など

72.3 した	→ 問8(1)-1へ	26.5 していない	→ 問8(1)-2へ	1.2 無回答
---------	------------	------------	------------	---------

(問8(1)で「した」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-1 それはどのくらいの頻度でしたか。(○は1つだけ) n=1,768

40.1 週に3回以上	20.1 週に1回程度	11.8 月に1～3回程度	0.2 無回答
23.0 週に2回程度		4.8 年に数回程度	

▼
(問8(1)で「していない」とお答えの方、または(1)-1で「月に1～3回程度」もしくは「年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=942

14.8 運動やスポーツは好きでないから	14.6 病気や障がいなど身体的に不安があるから
44.8 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから	1.6 指導者がいないから
9.7 仲間がいないから	20.1 機会がなかったから
19.2 体力が衰えたから	3.8 その他
16.5 費用がかかるから	7.7 特に理由はない
11.7 身近に場所や施設がないから	4.0 無回答

(2) あなたは、「eスポーツ*」に関心がありますか。(○は1つだけ)

*「eスポーツ(esports)」とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。

3.1 関心があり、日常的に「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している
5.6 関心があり、ときどき「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している
22.4 関心はあるが、「eスポーツ」をほとんどしたことはない、かつ配信等で観戦もほとんどしたことはない
65.6 関心はない
3.3 無回答

(3) あなたは、「パラスポーツ*」とどのような関わりがありますか。(〇はいくつでも)

*パラスポーツとは、身体機能や知的発育などに障害をもつ人が行うスポーツです。また、障害のある方の運動機能にあわせて考えられたスポーツです(パラリンピック・デフリンピック競技を含みます)。最近では、障害のある人もない人も共に楽しめるという点も注目されています。

- 0.4 パラスポーツを日常的に行っている
 1.4 パラアスリートや指導者が指導するパラスポーツ体験イベントや講演会に参加した
 1.1 パラスポーツの競技大会を直接観戦した
 15.2 パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した
 0.9 パラスポーツ指導や大会補助などのパラスポーツ活動に関わった
 78.9 関わりはない
 3.5 無回答

問9 消費生活についておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(〇は1つだけ)

- 2.0 訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある
 18.6 経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある
 25.3 訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった
 51.9 訪問販売等の勧誘を受けたことがない
 2.2 無回答

(2) あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター(または消費生活相談窓口)を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 49.0 名前も、行っていることも知っている
 35.5 名前は知っているが、何を行っているかは知らない
 13.8 名前も何を行っているところかも知らない
 1.7 無回答

問10 エスカレーターの利用についておたずねします。

(1) あなたは、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例(以下「条例」という。)」で、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定していることを知っていますか。(〇は1つだけ)

- 52.4 条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている
 16.5 条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない
 22.6 条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている
 7.2 条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない
 1.2 無回答

(2) あなたは、この1年間に、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。(各施設それぞれ〇は1つずつ)

	歩 日 常 的 に 利 用 し た	歩 ど い ち て ら 利 用 し た と い う と	利 立 用 し ち 止 ま つ て い う と	利 立 用 し ち 止 ま つ て い う と	利 立 用 し ち 止 ま つ て い う と	無 回 答
(1) 駅	6.2	14.3	26.6	41.3	9.6	2.0
(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗	2.8	6.3	26.0	57.9	4.9	2.1
(3) ホテルなどの宿泊施設	2.2	2.3	17.3	41.7	31.8	4.7
(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設	2.4	3.0	17.5	43.3	29.7	4.1

問 11 性の多様性についておたずねします。

- (1) あなたは、「性的指向*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。
(○は1つだけ)

*「性的指向」とは、自己の恋愛又は性的な関心の対象となる性別についての指向のことです。

56.1 言葉を知っている
25.1 言葉を知っているが、意味は知らない
17.6 言葉を知っているが、意味は知らない
1.2 無回答

- (2) あなたは、「性自認*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。
(○は1つだけ)

*「性自認」とは、自己の性別についての認識のことです。

46.6 言葉を知っている
17.2 言葉を知っているが、意味は知らない
35.1 言葉を知っているが、意味は知らない
1.1 無回答

- (3) あなたは、「アライ (A L L Y) *」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「アライ (A L L Y)」とは、性的マイノリティを理解し、支援している人、または支援したいと思う人のことです。

7.6 言葉を知っている
12.6 言葉を知っているが、意味は知らない
78.7 言葉を知っているが、意味は知らない
1.2 無回答

- (4) あなたは、「アウトティング*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「アウトティング」とは、性的指向又は性自認に関して、本人の意に反して本人が秘密にしていることを明かすことです。

13.2 言葉を知っている
8.0 言葉を知っているが、意味は知らない
77.8 言葉を知っているが、意味は知らない
1.0 無回答

- (5) あなたの職場では、性の多様性に対する配慮や支援はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

9.8 性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表	2.6 採用における配慮 (応募書類における性別欄の廃止等)
8.6 研修の実施など、従業員への理解促進	1.0 性的マイノリティの利用者を対象としたサービスの提供
4.3 従業員への配慮 (通称利用可、書類の性別記入欄の廃止等)	1.5 性の多様性関連イベント等への参加・協力
2.8 性的指向や性自認に関する従業員からの相談体制の整備	2.7 その他
1.8 同性パートナーがいる従業員向けの福利厚生制度の整備	38.7 特に配慮や支援はない
	35.8 自分は現在、職場で働いていない
	5.6 無回答

問 12 多文化共生*についておたずねします。

*「多文化共生」とは、国籍等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

- (1) あなたは、多文化共生のために、日本人と外国人がお互いにできることは何だと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

57.4 日本人と外国人お互いが、あいさつなど声をかけ合う
46.2 日本人と外国人が、交流を通して異文化への理解を深める
27.6 外国人が、就学・就業に十分な日本語を身につける
30.2 日本人が、コミュニケーションをとるため「やさしい日本語」*を使う
14.8 外国人が、地域活動や行事を通して地域に参画する
12.7 日本人が、外国人に地域活動への参加を働きかける
5.6 その他
14.4 わからない
1.1 無回答

*「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

- (2) あなたは、多文化共生社会を目指すうえで、県がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

62.3 生活ルールや文化についての周知、 多言語での情報発信	15.2 「やさしい日本語」の周知など、多文化 共生の意識醸成
25.6 外国人向け相談体制の充実	18.5 日本人と外国人の交流支援
25.2 外国人への日本語学習支援	12.1 防災、災害時の外国人支援
15.4 外国人児童生徒への生活及び学習支援	5.3 その他
14.5 外国人への就業・就労支援	12.5 わからない
10.2 外国人が地域で活躍するための支援	1.7 無回答

問 13 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP、愛称：人生会議)についておたずねします。

*アドバンス・ケア・プランニング(ACP、愛称：人生会議)とは、もしものときのために、人生の最終段階においてあなたが望む医療やケア(受けたくないものも含む)について前もって考え、家族や医療・介護関係者と話し合い、共有する取組です。

- (1) あなたは、これらの言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

7.2 言葉の意味も含めて知っている	81.1 知らない
10.5 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	1.2 無回答

- (2) - 1 あなたは、あなた自身又は家族に関し、人生の最終段階において望む医療やケア(受けたくないものも含む)について、前もって家族等や医療・介護従事者と話し合ったことはありますか。(○は1つだけ)

29.9 一応話し合ったことがある	65.1 話し合ったことがない
3.2 詳しく話し合ったことがある	1.8 無回答

(問 13 (2) - 5 へ)

(問 13 (2) - 1 で「一応話し合ったことがある」または「詳しく話し合ったことがある」とお答えの方にお伺いします。)

- (2) - 2 どなたと話し合ったことがありますか。(○はいくつでも)

n=809

95.4 家族・親族	7.0 医療・介護従事者
11.0 友人・知人	0.1 その他
	0.6 無回答

(問 13 (2) - 2 で「家族・親族」または「友人・知人」とお答えの方にお伺いします。)

- (2) - 3 話し合った内容を、医療・介護従事者と共有していますか。(○は1つだけ)

n=787

18.3 共有している	78.5 共有していない	3.2 無回答
-------------	--------------	---------

(問 13 (2) - 1 で「一応話し合ったことがある」または「詳しく話し合ったことがある」とお答えの方にお伺いします。)

(2) - 4 話し合ったきっかけは何ですか。(○は 1 つだけ)

n=809

- 41.8 自分や家族・親族に長期入院や介護等が必要となったため
- 38.9 家族、友人・知人等との会話の話題で出たため
- 9.5 テレビ、新聞、インターネット等で情報を得たため
- 0.2 市町村等の講演会に参加して知ったため
- 7.7 その他
- 1.9 無回答

(問 13 (2) - 1 で「話し合ったことがない」とお答えの方にお伺いします。)

(2) - 5 話し合ったことがない理由は何ですか。(○は 1 つだけ)

n=1,593

- 4.6 話し合いに抵抗を感じるから
- 13.6 話し合う必要性を感じていないから
- 60.8 話し合うきっかけがないから
- 14.4 何を話し合っているかわからないから
- 4.6 その他
- 2.1 無回答

(3) あなたが人生の最期を迎えたい場所はどこですか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-----------|----------------------|------------|
| 42.8 自宅 | 0.3 兄弟姉妹などの親族の家 | 28.3 わからない |
| 15.6 病院 | 4.4 高齢者向けのケア付き住宅 | 2.4 その他 |
| 0.1 子どもの家 | 4.7 特別養護老人ホームなどの福祉施設 | 1.3 無回答 |

(4) (3) について、その場所を選んだ理由は何ですか。お考えに近いものをお選びください。

(○はいくつでも)

n=1,722

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 53.3 住み慣れた場所で最期を迎えたいから | 6.7 介護してくれる家族等がないから |
| 31.8 家族等との時間を多くしたいから | 1.7 訪問してくれる医師がないから |
| 1.4 訪問してくれる医師がいるから | 4.0 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから |
| 6.6 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから | 4.4 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できるか不安だから |
| 4.8 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから | 14.6 病院や福祉施設の方が、安心できるから |
| 8.1 病院は経済的に負担が大きいと思うから | 5.2 その他 |
| 19.7 介護してくれる家族等に負担がかかるから | 3.2 無回答 |

問 14 現在、「生物多様性」の保全という、地球上の様々な生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の外来生物により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(○は 1 つだけ)

- 25.6 言葉の意味も含めて知っている
- 33.9 言葉は聞いたことがある
- 39.4 知らない
- 1.1 無回答

問 15 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

40.4 県広報紙「彩の国だより」(紙版)	41.6 市町村の広報紙
1.9 県広報紙「彩の国だより」(WEB版)	19.3 新聞の記事
2.5 県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」 (テレビ埼玉/土曜朝 8:30~9:00)	24.6 テレビ・ラジオのニュース(3、4以外)
1.3 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」 (FM NACK5/月~金曜朝 8:15~8:25)	1.5 ミニコミ紙やタウン紙
9.1 県ホームページ	1.3 ケーブルテレビ・コミュニティ FM
9.0 埼玉県庁 LINE(ライン)	18.4 インターネット(5~11以外)
0.9 埼玉県庁 X(旧 Twitter)(エックス)	0.3 県庁・県の地域機関から直接 (窓口、出前講座等)
0.2 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)	0.7 市町村から直接(窓口、出前講座等)
0.4 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)	11.8 自治会・婦人会・老人会などの回覧
0.4 埼玉県庁 Instagram(インスタグラム)	6.2 口コミ
9.9 市町村ホームページ	3.2 その他
	1.9 無回答

問 16 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。

(1) あなたは、県広報紙、広報テレビ番組や広報ラジオ番組を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。(○は1つだけ)

	毎回、読んでいる (見ている・聴いている)	ほとんど読んでいる (見ている・聴いている)	ときどき読んでいる (見ている・聴いている)	読んだこと(見たこと・ 聴いたこと)がない	その広報紙、広報テレビ 番組、広報ラジオ番組を 知らない	無回答
県広報紙「彩の国だより」(紙版)	12.6	9.4	34.5	20.6	20.2	2.6
県広報紙「彩の国だより」(WEB版)	0.9	1.6	7.8	44.9	36.0	8.8
県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」 (テレビ埼玉/土曜朝 8:30~9:00)	0.5	0.5	10.0	31.7	50.2	7.1
県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」 (FM NACK5/月~金曜朝 8:15~8:25)	0.6	0.7	5.4	29.6	56.2	7.6

(問 16 (1) で「毎回、読んでいる（見ている・聴いている）」から「読んだこと（見たこと・聴いたこと）」がない」とお答えの方にお伺いします。)

(2) あなたは、県の広報媒体（広報テレビ番組、広報ラジオ番組）を何をきっかけに知りましたか。

	たまたま見た（聴いた）	県公式 SNS（LINE、X、Youtube、Instagram 等）	県ホームページ	口コミ	その他	チラシ、ポスター、デジタルビジョンの広告	無回答
県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00） n=1,044	47.2	2.4	3.8	3.6	21.4	3.6	17.9
県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」（FM NACK5/月～金曜朝8:15～8:25） n=887	39.0	2.8	4.2	3.7	27.7	—	22.5

(3) あなたは、県広報紙「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。（○はいくつでも）

29.5 県の主要計画（5 か年計画など）の解説	50.5 県が実施するイベントの紹介
38.2 県の施策の紹介	46.4 県内の観光地等の魅力の紹介
20.3 県が実施する講演・講習の紹介	5.6 その他
	10.2 無回答

(4) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。（○はいくつでも）

27.8 県が行っている施策の紹介	36.1 旬のもの（食べ物・農産物）
45.3 観光情報（花・歴史名所・施設等）	32.8 あまり知られていないような情報
44.3 お祭り・イベント情報	4.8 その他
	11.3 無回答

(問 16 (1) で「毎回、読んでいる（見ている・聴いている）」から「読んだこと（見たこと・聴いたこと）」がない」とお答えの方にお伺いします。)

(5) あなたは、県の広報媒体（県広報紙、広報テレビ番組、広報ラジオ番組）で見たり聴いたりした情報を、インターネット等で詳しく調べたことはありますか。また、イベント等に申し込んだり、出かけたりしたことがありますか。そのきっかけとなったかどうかおたずねします。

		インターネット等 詳しく調べたか			イベント等 に申し込んだり 出かけたりしたか		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
県広報紙「彩の国だより」（紙版） n=1,888		21.3	64.8	13.9	19.4	66.9	13.6
県広報紙「彩の国だより」（WEB版） n=1,350		8.8	75.6	15.6	5.8	78.1	16.1
県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00） n=1,044		10.3	75.4	14.3	8.3	76.5	15.1
県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」（FM NACK5/月～金曜朝8:15～8:25） n=887		8.0	76.1	15.9	6.1	77.3	16.6

Ⅲ 県政への要望について

問17 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。（○は3つまで）

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| 6.6 省資源やリサイクルを進める | 1.0 男女共同参画社会の実現をはかる |
| 13.6 地球温暖化を防止する | 2.0 人権尊重の社会づくりを進める |
| 13.0 自然をまもり、緑を育てる | 1.3 生涯学習対策を充実する |
| 7.4 川や大気環境をまもる | 4.9 学力、規律ある態度、体力を身につける
学校教育を充実する |
| 4.6 廃棄物対策を充実する | 5.1 青少年を健全に育てる |
| 9.5 交通事故をなくす | 3.3 農林業をさかんにする |
| 27.4 災害から県民をまもる | 2.0 観光振興を進める |
| 8.9 消費生活の安全を高める | 1.8 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー
企業への支援を充実する |
| 26.7 防犯の地域づくりを進める | 6.1 雇用の場を広げる |
| 16.5 道路や街路を整備する | 2.5 市町村が主役の地域づくりを進める |
| 4.5 生活排水対策を進める | 0.8 県民参加の行政を進める |
| 5.2 公園、緑地を整備する | 0.6 NPOやボランティアへの活動支援を
充実する |
| 11.9 便利な交通網をつくる | 2.3 芸術・文化活動をさかんにする |
| 1.9 都市のバリアフリー化を進める | 2.5 スポーツ、レクリエーションをさかんにする |
| 2.9 IT（情報通信技術）を生かした社会
づくりを進める | 0.8 国際交流や国際協力を進める |
| 17.1 高齢者の福祉を充実する | 5.5 その他 |
| 3.7 障がい者の社会参加と福祉対策を進める | 2.5 わからない |
| 16.8 子育て支援を充実する | 1.3 無回答 |
| 20.6 医療サービス体制を整備する | |
| 2.9 健康づくりを進めて、疾病を予防する | |
| 4.2 食品の安全をまもる | |

Ⅳ 大地震に備えた取組について

問18 あなたの家では、地震に備えて家具転倒防止対策を実施していますか。（家具類（タンスや食器棚、本棚、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ等）が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫、家具類がない部屋で就寝するなどを実施している場合、対策しているといえます。）

- 7.0 大部分が対策済みであり、安全が確保されている
 32.8 一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている
 32.2 一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない
 26.3 特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない
 1.7 無回答

（問18で「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」または「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えの方にお伺いします。）

問18-1 家具転倒防止対策が不十分、または、特に何もしておらず、安全が確保されていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも） n=1,430

- 20.3 どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない
 26.2 固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない
 16.0 家具や壁にキズをつけたくない
 38.4 面倒である
 38.4 費用がかかる
 11.8 転倒・落下・移動しても危険ではないと思う
 6.2 その他
 1.3 無回答

問19 あなたの家では、災害時に利用できる食料品及び飲料水を何日分用意していますか。

（○は1つだけ）

	7日分以上	6日分	5日分	4日分	3日分	2日分	1日分	用意していない	わからない	無回答
(1) 食料品	9.4	2.0	7.4	4.1	33.6	12.1	5.7	18.3	5.7	1.9
(2) 飲料水	15.4	2.8	8.3	3.9	31.6	10.3	6.4	14.5	4.1	2.6

（問19-2へ）

（問19（1）で「2日分」から「用意していない」のいずれかとお答えの方にお伺いします。）

問19-1 あなたの家で、3日分以上の食料品の備蓄をしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも） n=881

- 14.3 3日分以上が必要だとは知らなかった
 20.5 面倒である
 21.8 何を備蓄しておけばよいのかわからない
 23.3 気にしていなかった
 37.5 保管する場所がない
 26.7 緊急性を感じていない
 28.6 費用がかかる
 4.0 その他
 4.4 無回答

(問19(2)で「2日分」から「用意していない」のいずれかとお答えの方にお伺いします。)

問19-2 あなたの家で、3日以上飲料水(1日あたり1人3リットル)の備蓄をしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=764

- 15.7 3日以上が必要だとは知らなかった
- 24.1 1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった
- 38.1 保管する場所がない
- 23.7 費用がかかる
- 20.4 面倒である
- 23.2 気にしていなかった
- 25.0 緊急性を感じていない
- 4.7 その他
- 3.0 無回答

「災害用伝言サービス」は、大規模な災害が発生した場合、被災地への電話がつながりにくくなることから、家族や知人との間での安否確認などを行うために通信事業者が提供しています。NTT東日本が提供する「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板web171」や、携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」「災害用音声お届けサービス」があります。

問20 あなたは「災害用伝言サービス」を体験利用*したことがありますか。(○は1つだけ)

* 体験利用日：毎月1日・15日、防災週間(8/30~9/5)、
正月三が日(1/1~3)、防災とボランティア週間(1/15~21)

8.6 ある

89.9 ない

1.6 無回答

(問20で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

問20-1 あなたが「災害用伝言サービス」を体験利用したことがない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

n=2,198

- 29.8 「災害用伝言サービス」を知らなかった
- 50.4 平常時に体験利用できることを知らなかった
- 32.7 体験利用する方法がよくわからなかった
- 10.6 体験利用するのが面倒であった
- 6.4 体験利用日が限られているため、利用できなかった
- 4.0 その他
- 0.7 無回答

問21 あなたは、災害時に家族や知人の安否を確認する手段として、どのような手段を考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

- 43.2 ソーシャルネットワーキングサービス（Facebook や Twitter、LINE など）
- 68.6 スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール
- 13.8 「災害用伝言ダイヤル171」（NTT東日本提供／固定電話番号単位で録音・再生）
- 8.4 「災害用伝言板web171」（NTT東日本提供／スマートフォン、携帯電話、パソコン等から登録・確認）
- 17.3 携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」（スマートフォン、携帯電話等から登録・確認）
- 60.4 携帯電話（通話）
- 26.9 固定電話（通話）
- 7.5 遠方の親戚・知人などに連絡を取り次ぐ（伝言をあずける）
- 4.7 決めていない
- 1.3 その他
- 1.0 無回答

問22 あなたは、感震ブレーカーの存在を知っていますか。また、あなたの家では、感震ブレーカーを設置していますか。（○は1つだけ）

* 感震ブレーカーとは、設定値以上の地震の揺れを感知すると、自動的に電気を遮断する装置のことです。

15.6 知っているし、設置している

18.5 知っているが、設置はしていない



問22－1へ

64.3 知らない

1.3 無回答

（問22で「知っているが、設置はしていない」とお答えの方にお伺いします。）

問22－1 感震ブレーカーを設置していない理由を次から選んでください。（○はいくつでも）n=453

32.9 装置がどういうものか、よくわからない（知らない）

17.2 設置が面倒

38.2 費用がかかる

11.5 その他

17.0 必要性を感じない

0.2 無回答

問23 災害への備えを楽しく学べる施設として、県が鴻巣市に設置している「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」を知っていますか。（ネーミングライツにより、令和6年10月から「能美防災そなえ」の愛称になりました。）（○は1つだけ）

7.6 知っている

90.5 知らない

1.9 無回答

V 受動喫煙防止対策について

問24 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|--------------------------|---------|
| 13.8 毎日吸っている | 7.0 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない | 0.7 無回答 |
| 1.6 時々吸う日がある | 77.0 吸わない | |

（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。（○はいくつでも）

n=376

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 57.7 紙巻きたばこ | -----▶ 問24-2、問24-3へ |
| 51.3 加熱式たばこ（アイコス、グロー、プルームテックなど） | |
| 1.1 その他 | |
| - 無回答 | |

（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-2 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。（○は1つだけ）

n=374

- | | | | | |
|-----------|---------------|-------------|------------|---------|
| 19.8 やめたい | 29.4 本数を減らしたい | 35.0 やめたくない | 15.0 わからない | 0.8 無回答 |
|-----------|---------------|-------------|------------|---------|

（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-3 あなたが、禁煙するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ） n=374

- | |
|-----------------------------------|
| 42.5 医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など） |
| 4.3 禁煙治療用アプリ |
| 13.9 健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援 |
| 21.7 その他 |
| 17.6 無回答 |

問25 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」を言います。健康増進法^{*1}や埼玉県受動喫煙防止条例^{*2}では、望まない受動喫煙を防ぐため屋内での喫煙を規制しています。

* 1：健康増進法の主な内容

- ・ 学校、病院、行政機関等は、屋内、敷地内の屋外ともに喫煙禁止
- ・ 飲食店、事業所等は、喫煙専用室（飲食不可）以外、屋内での喫煙禁止
- ・ 既存の飲食店のうち経営規模が小さい事業者が運営するもの（既存特定飲食提供施設）は、標識の表示により喫煙可
- ・ 喫煙場所には、標識の掲示が必要であり、二十歳未満の者を立ち入らせてはいけない

* 2：埼玉県受動喫煙防止条例の主な内容

既存特定飲食提供施設が喫煙可にできるのは、健康増進法に定められた要件を満たし、かつ、従業員がいない場合又は全ての従業員から書面で承諾を得た場合とする。

あなたは、健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の内容を知っていますか。（○は1つだけ）

- | |
|----------------------------------|
| 21.6 健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている |
| 23.3 健康増進法は知っている |
| 8.2 埼玉県受動喫煙防止条例は知っている |
| 40.3 健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない |
| 6.5 無回答 |

問 26 あなたは、この 1 年間に、次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることがありましたか。

（１）から（12）の「施設」での「状況」を選んでください。（各施設それぞれ○は 1 つずつ）

	あった	なかった	行かなかった	無回答
（１）学校	1.7	30.0	59.7	8.5
（２）職場	16.1	48.0	27.7	8.2
（３）家庭	12.3	75.0	5.0	7.6
（４）路上	49.8	38.8	5.2	6.3
（５）公園	17.0	55.8	19.7	7.4
（６）商店街	19.0	59.9	13.3	7.8
（７）公共交通機関	7.4	76.4	8.1	8.1
（８）医療機関（病院、診療所等）	1.6	84.1	6.3	8.1
（９）行政機関（市役所、町村役場、公民館等）	2.5	78.3	11.0	8.3
（10）劇場・映画館・スポーツ施設	4.2	64.6	23.0	8.2
（11）ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	11.7	24.9	55.4	8.0
（12）飲食店	29.5	57.0	6.9	6.6

問 27 あなたが問 26 の（10）劇場等、（11）娯楽施設において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は 1 つだけ）

- 32.1 施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする
- 32.2 建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける
- 19.3 建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける
- 2.2 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する
- 8.1 喫煙場所がある場合は、出入口付近に喫煙場所があることを明確に掲示する
- 1.6 施設における規制は不要
- 0.4 その他
- 4.3 無回答

問 28 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は 1 つだけ）

- 36.6 飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする
- 28.1 飲食中に受動喫煙とならないよう、建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける
- 18.1 建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける
- 4.5 飲食店利用者、建物の面積、経営規模などに応じて、飲食店の管理者が判断する
- 6.7 喫煙場所がある場合は、出入口付近に喫煙場所があることを表示する
- 2.5 飲食店における規制は不要
- 0.4 その他
- 2.7 無回答

問 29 あなたは、商店街など人通りの多い屋外の場所における喫煙に対し、どのような受動喫煙防止対策が進むことを望みますか。（○は 1 つだけ）

- 57.9 壁で仕切られた喫煙専用場所を設け、それ以外の場所は禁煙とする（分煙）
- 22.7 一定の区域を完全禁煙とする
- 8.7 喫煙者は、できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙する
- 6.1 店舗は、店舗の出入口付近や歩道の近くなど、人が多く集まる場所に灰皿を置かない
- 2.0 その他
- 2.7 無回答

VI フェースシート

御意見をお伺いすることは以上で終わりですが、最後に、統計解析に必要な事項をお伺いいたします。

F 1 【性別】※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。(○は1つだけ)

41.3 男 性	54.4 女 性	4.4 無回答
----------	----------	---------

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。(○は1つだけ)

1.3 18・19 歳	5.2 30～34 歳	8.6 45～49 歳	8.8 60～64 歳	1.8 無回答
3.1 20～24 歳	5.3 35～39 歳	11.4 50～54 歳	8.7 65～69 歳	
4.2 25～29 歳	6.2 40～44 歳	9.0 55～59 歳	26.5 70 歳以上	

F 3 【職業】あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

6.4 自営業主	14.8 無職の主婦・主夫	2.5 無回答
1.1 家族従業(家業手伝い)	2.7 学生	
37.0 勤め(全日)	19.7 その他の無職(年金、配当、仕送り などで暮らしている人。無職の人)	
15.8 勤め(パートタイム)		

→(F 3で「自営業主」または「家族従業(家業手伝い)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-1 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=183

7.7 農林漁業	25.7 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)
64.5 商工・サービス業	2.2 無回答

→(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-2 あなたの働き方は、次のどちらですか。(○は1つだけ) n=1,293

55.5 正社員、正規職員	13.1 無回答
31.5 非正社員(派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど)	

→(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-3 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,293

8.0 経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上)
25.6 専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など)
23.3 事務職(事務員、オペレーターなど)
11.4 生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など)
17.5 販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など)
11.8 その他
2.5 無回答

F 4 【県内居住地】あなたは、埼玉県のどの地域にお住まいですか。（○は1つだけ）

- 10.0 南部地域（川口市、蕨市、戸田市）
 9.2 南西部地域（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）
 14.8 東部地域（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）
 18.3 さいたま地域（さいたま市）
 7.4 県央地域（鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町）
 10.3 川越比企地域（川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）
 11.1 西部地域（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）
 8.9 利根地域（行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）
 6.8 北部地域（熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町）
 1.3 秩父地域（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町）
 1.9 無回答

F 5 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| 0.8 1年未満 | 4.9 5年～10年未満 | 15.1 20年～30年未満 |
| 2.5 1年～3年未満 | 6.7 10年～15年未満 | 60.6 30年以上 |
| 2.2 3年～5年未満 | 5.2 15年～20年未満 | 2.0 無回答 |

F 6 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|----------------|---------|
| 41.7 はい（埼玉県） | → F 7 へ | 55.9 いいえ（埼玉県外） | 2.4 無回答 |
|--------------|---------|----------------|---------|

（F 6で「いいえ（埼玉県外）」とお答えの方にお伺いします。）

F 6－1 あなたの出身県（または出身国）はどちらですか。（○は1つだけ）

n=1,368

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 4.1 北海道 | 4.2 神奈川県 | 1.0 京都府 | 0.5 愛媛県 |
| 1.6 青森県 | 4.3 新潟県 | 2.6 大阪府 | 0.3 高知県 |
| 2.9 岩手県 | 0.9 富山県 | 1.1 兵庫県 | 1.9 福岡県 |
| 1.7 宮城県 | 0.2 石川県 | 0.4 奈良県 | 0.1 佐賀県 |
| 1.8 秋田県 | 0.3 福井県 | 0.2 和歌山県 | 0.5 長崎県 |
| 2.0 山形県 | 0.9 山梨県 | 0.4 鳥取県 | 1.2 熊本県 |
| 4.0 福島県 | 2.6 長野県 | 0.3 島根県 | 0.7 大分県 |
| 2.4 茨城県 | 1.0 岐阜県 | 0.1 岡山県 | 0.9 宮崎県 |
| 3.2 栃木県 | 1.7 静岡県 | 1.0 広島県 | 1.5 鹿児島県 |
| 4.5 群馬県 | 1.9 愛知県 | 0.8 山口県 | 0.6 沖縄県 |
| 3.7 千葉県 | 0.4 三重県 | 0.1 徳島県 | 1.6 海外 |
| 30.1 東京都 | 0.2 滋賀県 | 0.7 香川県 | 0.7 無回答 |

F 7 【家族人数】いま一緒に暮らしている御家族は、あなたを含めて何人ですか。

（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------------|---------|--------|----------|
| 12.6 1人（単身） | 24.9 3人 | 4.9 5人 | 0.7 7人以上 |
| 35.1 2人 | 17.6 4人 | 2.0 6人 | 2.3 無回答 |

F 8 【結婚】あなたは結婚（事実婚を含む）していますか。次の中のどれにあたりますか。
（○は1つだけ）

22.9 未婚	→ F 9へ	65.2 既婚・有配偶	10.3 既婚・離死別	1.6 無回答
---------	--------	-------------	-------------	---------

（F 8で「既婚・有配偶」または「既婚・離死別」とお答えの方にお伺いします。）

F 8－1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。（○は1つだけ） n=1,847

19.3 1人	16.0 3人	0.3 5人以上	12.9 子どもはいない
48.8 2人	1.7 4人		1.0 無回答

（F 8－1で「1人」から「5人以上」までのいずれかをお答えの方にお伺いします。）

F 8－1－1 お子さんはそれぞれの段階ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
（○はいくつでも） n=1,590

7.1 0～3歳	1.7 短大生・専門学校生	1.6 無回答
5.7 4歳以上で小学校入学前	8.0 大学生・大学院生	
12.4 小学生	35.7 学校教育終了・未婚	
8.7 中学生	46.3 学校教育終了・既婚	
7.8 高校生	4.2 その他	

F 9 【家族形態】お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

13.8 単身	48.4 二世帯世帯（親と子）	2.0 その他
28.5 夫婦のみ	6.0 三世帯世帯（親と子と孫）	1.2 無回答

F 10 【居住形態】お宅のお住まいは、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

64.3 持家（一戸建て）	2.9 UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート
16.6 持家（分譲マンションなど集合住宅）	
13.8 民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建ての借家など）	1.3 社宅・公務員住宅など給与住宅
	0.1 住み込み、寮、寄宿舍など
	0.5 その他
	0.6 無回答

長時間にわたり御協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数ですが、記入漏れなどがないことを御確認いただいた上で、
同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、なるべく早めに
ポストに御投函くださいますようお願いいたします。
なお、返信用封筒には、御住所やお名前は書かないでください。

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和 43 年度から世論調査を実施しており、今回が 61 回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。
- 平成 27 年度までは、満 20 歳以上の方を調査対象として実施しており、平成 28 年度以降は満 18 歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和 2 年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

世論調査実施状況

(参考資料)

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシアム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいくにつくり、人と環境にやさしいサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版うまノミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%
51	平成27年度	7月3日～26日	生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.9%
52	平成28年度	7月8日～31日	生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	72.5%
53	平成29年度	7月7日～31日	生活意識、日常生活、シニアの社会参加、性的少数者(LGBT)、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.3%
54	平成30年度	7月6日～31日	生活意識、日常生活、定住意向、受動喫煙防止対策、社会貢献活動における寄附、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.7%
55	令和元年度	7月5日～31日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組について、生涯現役に向けた定年後の準備、就労希望等について、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	66.5%
56	令和2年度	8月8日～28日	生活意識、日常生活、住みよさ、新型コロナウイルス感染症への不安、環境への関心と行動、川の再生、県政への要望	5,000	郵送法	56.7%
57	令和3年度	7月9日～30日	生活意識、日常生活、定住意向、新型コロナウイルス感染症への不安、共生社会、エスカレーターの利用、県政への要望	5,000	郵送法	55.3%
58	令和4年度	7月8日～29日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組、受動喫煙対策、県立図書館の将来像に関するニーズ、県政への要望	5,000	郵送法	50.5%
59	令和5年度	7月7日～28日	生活意識、日常生活、ケアラー・ヤングケアラーの認知度等、人と人とのつながり・支え合いの状況、県政への要望	5,000	郵送法	49.5%
60	令和6年度	7月5日～26日	生活意識、日常生活、特殊詐欺被害防止に対する意識調査、県内外からの移住、県政への要望	5,000	郵送法	50.0%
61	令和7年度	7月4日～25日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組、受動喫煙対策、県政への要望	5,000	郵送法	48.9%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料を電子メールで下記の担当課へ送付願います。

令和 7 年度

埼玉県政世論調査

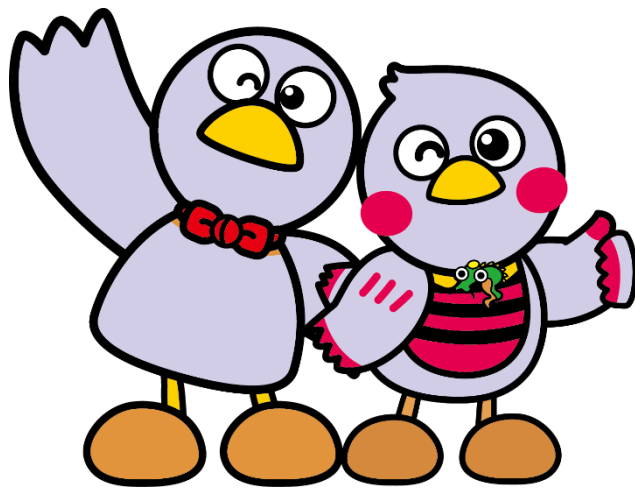
令和 7 年 11 月発行

埼玉県県民生活部県民広聴課
広聴担当

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

a2840-09@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」